

第4章 中世大友府内町跡第8次調査

第1節 調査の経緯

大友氏館跡
御蔵場

中世大友府内町跡第8次調査区は、大分市中心部の東南にあたる大分市六坊北町に所在する。大分川左岸に位置しており、国道10号線とJR線が交差する万寿橋の西側にあたり、『大分市史』に掲載されている『戦国時代の府内復元想定図』によれば国指定史跡大友氏館跡の南外郭線の外、大友氏館と御蔵場の間の空閑地と想定される場所に該当する。また、中世大友府内町跡第5次B調査区とは調査区西側で里道をはさんで隣接しており、大友氏館跡南側の状況や、御蔵場との関係を知る上で重要な場所である。

第8次調査区は国道10号線とJR線に沿うように東西約100m、南北に10～20mに展開している。遺構検出面は、現地表面から近世・近代の水田・畑地層を除去した標高約4.4mである。遺構面としては1面であり、調査区西側で検出した近世の埋設窠が上半分を削平された状態で出土していることから、近世以降の水田開発に伴い調査区はかなりの削平を受けており、その結果、時期の異なる複数の遺構面が同一の遺構面で検出された可能性が高い。

この中世大友府内町跡第8次調査については、大分県教育委員会が大分駅周辺総合整備事務所の依頼を受け、平成12年度に実施することとなったが、第8次調査区は、周知遺跡である「中世大友城下町跡」内に存在するため、調査にあたってまず確認調査から開始する予定であった。しかし、すでに中世大友府内町跡第5次調査区において16世紀代に比定される遺構・遺物が確認されたこと、大友氏館跡の庭園遺構に隣接することなどから、この調査区内にも遺跡が展開している可能性が高いため確認調査は実施せずに本格的な調査へと移行した。

調査は平成12年4月17日から平成13年3月27日の間実施したが、調査終了後に調査区内の埋め戻しを行うため、排土置場を用地内で確保しなければならず、そのために調査区を東西に分け(第495図)、まず、調査区東側から調査を開始し、埋め戻した後に西側の調査を実施する順序で、切り替えての調査を実施することとなった。

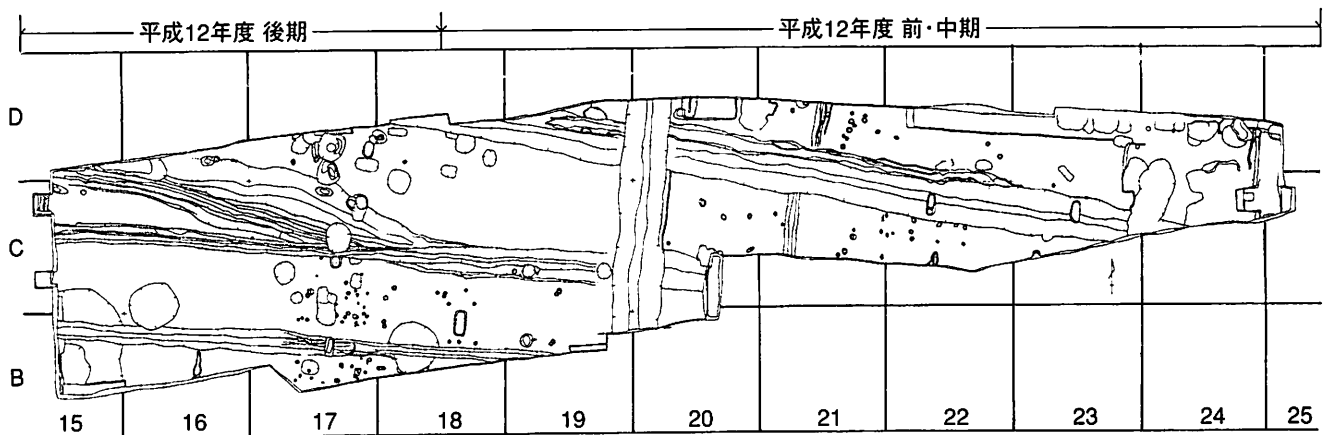
平成12年度前・中期調査区 (B18～25区・C18～25区・D18～25区)

2000年4月～12月 調査面積 約1,600m²

平成12年度後期調査区 (B15～18区・C15～18区・D15～18区)

2000年12月～2001年3月 調査面積 約400m²

調査面積 以上のように、調査期間は2000年4月から2001年3月までの12ヶ月であり、最終的な発掘調査面積は約2,000m²であった。



第495図 中世大友府内町跡第8次調査区

第2節 遺構と遺物

I. 遺構の概要と基本層序

基本層序

中世大友府内町跡第8次調査区では、遺構検出にあたって現状が水田であることから、まず、バックホウを使用し表土である水田及び水田基盤層を掘り下げる作業から開始した。水田及び水田基盤層は0.3～0.5mほど堆積しており、その下層には、近世の遺物を含む灰色及び灰黄色砂質土が0.2mほど堆積することを確認した。この遺物を含む包含層については、近世と思われる集石遺構を確認したものの遺物も少なく、また、中世大友府内町跡に関わる明確な遺構は確認できなかった。さらにバックホウ及び人力で掘り下げを行った結果、この下層で遺構面を確認した。なお、この灰色及び灰黄色砂質土層については、その後の調査の結果、遺構面を覆うように第8次調査区全体に広がっていることから、包含層というよりも水田開発に伴う整地層の可能性が高い。

遺構の検出

遺構の検出にあたっては、まず本遺跡の性格を把握するために調査区東端部に先行トレンチを設定し、遺構面の把握を試みたが、地山層は確認したものの明確な遺構面を把握するには至らなかった。そこで調査区北端にトレンチを設定し部分的に断ち割りを実施したところ、前述のように遺構面を1面確認した。本遺跡において出土した遺物は縄文時代から近世に至る各時代の遺物が出土しているが、遺構が主体的に検出される時期は、14世紀代から16世紀後半代の中世段階であり、これらの遺構はすべてこの面において検出したものである。このことは、複数存在したであろう遺構面が後世の水田開発の際に削平されたことを示すものであろう。

遺構検出の結果、まず調査区東では東西・南北方向に伸びる大型の掘り込み（後に堀 SD101、102、103）や土坑群等を、調査区西側では東西方向に伸びる掘り込み（後に堀 SD107）や土坑群、井戸跡などを検出した。しかし、遺構面が1面のため、遺構の切り合いで新旧の関係を把握できるものの、各遺構の時期については層位的に把握できないため、それぞれの遺構の時期については、出土した遺物によって比定せざるを得ない状況となった。

遺構面検出後は、調査区内に国土座標に乗せた10m×10mの方眼を設定し、遺構の掘り下げ及び調査を実施した。このグリット及びグリット番号については、中世大友府内町跡第5次B調査区の延長として設定し、それぞれの方眼を西から東へ15～25、南から北へB～Dの番号を付し、第5次調査区と同様に数字とアルファベットの組み合わせで各々の区画を呼称することにした。

遺構について

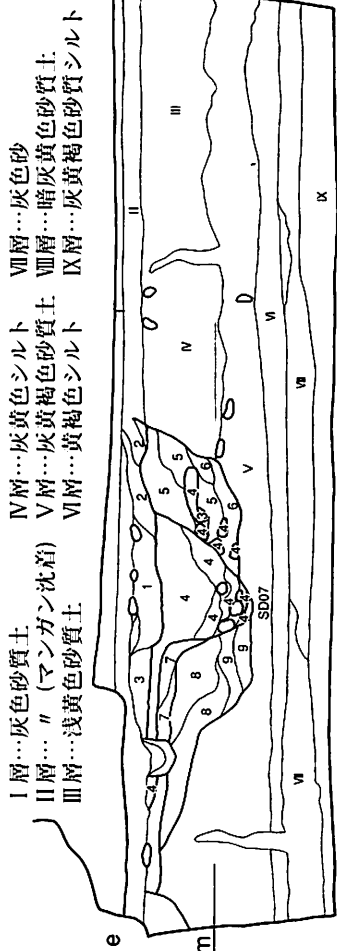
第8次調査区は、前述のように大友氏館跡の南外郭線の外にあたり、大友氏館と御蔵場の間の空閑地と想定される場所である。そのため都市空間としての性格は不明であったが、調査の結果、本調査区は14世紀の大型土坑群、15世紀の大型溝状遺構、井戸跡、16世紀の大型溝状遺構、土塁状遺構、土坑群などで構成されることが明らかとなった。特に溝状遺構については大友館の外郭ラインに平行するグループ、主軸をやや北に振るグループに大別できること、14～15世紀の遺構が調査区西側に、16世紀の遺構が東側に集中すること、また、調査区東側の整地層より、中世大友府内町跡では初のキリシタン遺物であるコンタが出土するなど、当時の府内の様子や、大友氏館の成立や規模、町屋の変遷を考える上で重要な遺構を検出することができた。

なお、本遺跡における遺構の配置及び土層の堆積状況は、第497～499図である。また、本報告書で使用する遺構番号と発掘調査時に使用した遺構名称が異なるため、遺構一覧表（第5表）で整理を行った。

以下、遺構と出土遺物についての詳細を報告するが、遺構については溝、土坑、土塁、ピット、井戸の順に、遺物については出土した遺構ごとに掲載し説明を加えるが、一括遺物についてはその他遺物で説明を加える。また、説明についてはこの遺跡の主体が16世紀であることから、16世紀後半から14世紀代の順に行いたい。なお、縄文時代～古墳時代などの遺物については、いずれも遺構の埋土から出土したものであり、出土地点を把握するためにも、出土した遺構の項で説明を加える。

第5表 遺構一覧表

本報告での遺構番号	旧遺構番号	遺構の性格	遺構の位置	遺構の時期	特記事項	掲載頁
SK101	SK 1	土坑	C23	15世紀以降		439
SK102	SK 3	土坑	C19	15世紀以降		439
SK103	SK 4	土坑	C19	15世紀以降		439
SK104	SK 5	土坑	D24	16世紀末		431
SK105	SK 6	土坑	D24	16世紀末	京都系土師器	431
SK106	SK 7	土坑	D23	14世紀中～後葉		450
SK107	SK 8	土坑	D23	16世紀末		433
SK108	SK26	土坑	D23	16世紀末	京都系土師器	433
SK109	SK11	土坑	D23	16世紀末	京都系土師器・天目茶碗	434
SK110	SK 9	土坑	D23	16世紀末	黒釉陶器 京都系土師器・火炉	435
SK111	SK10	土坑	D23	16世紀末		438
SK112	SK13	土坑	C24	14世紀	在地系土師質土器	450
SK113	SK14	土坑	D22	14世紀?		451
SK114	SK15	土坑	D18	14世紀中～後葉		451
SK115	SK16	土坑	B18	15世紀前葉	在地系土師質土器	
SK116	SK17	土坑	D18	14世紀前葉	在地系土師質土器・托	452
SK117	SK18	土坑	D18	15世紀	在地系土師質土器	
SK118	SK19	土坑	D18	15世紀末		441
SK119	SK20	土坑	B19	14世紀	在地系土師質土器	454
SK120	SK22	土坑	D25	14世紀末～15世紀前葉	在地系土師質土器	
SK121	SK24	土坑	B19	15世紀	銅銭	446
SK122	SK27	土坑	B・C17	14世紀中～後葉	在地系土師質土器	455
SK123	SK28	土坑	B17	14世紀中～後葉	在地系土師質土器	457
SK124	SK29	土坑	B17	14世紀中～後葉	在地系土師質土器	458
SK125	SK30	土坑	B18	15世紀?		442
SK126	SK31	土坑	B18	15世紀?	銅銭45枚	442
SK127	SK32	土坑	C17	14世紀前葉	在地系土師質土器	459
SK128	SK33	土坑	C17	15世紀?		460
SK130	SK35	土坑	C17	15世紀		447
SK131	SK36	土坑	C・D17	14世紀後葉	在地系土師質土器	
SK132	SK37	土坑	D17	15世紀前葉		447
SK133	SK38	土坑	C・D18	14世紀?	在地系土師質土器	461
SK134	SK39	土坑	D17	14世紀?		463
SK135	SK45	土坑	D18	14世紀?		463
SK136	SK51	土坑	D18	14世紀?		463
SK137	SK40	土坑	D18	14世紀後葉	在地系土師質土器	463
SK138	SK43	土坑	D17・18	14世紀前葉		464
SK139	SK44	土坑	C17	15世紀前葉	在地系土師質土器	447
SK140	SK47	土坑	D17	14世紀後葉	在地系土師質土器	464
SK141	SK49	土坑	D17	14世紀中～後葉	在地系土師質土器	466
SK142	SK50	土坑	C17	14世紀中～後葉	在地系土師質土器	466
SK143	SK53	土坑	D17	14世紀中～後葉	在地系土師質土器	470
SK144	SK54	土坑	D16	15世紀末?		448
SK145	SK55	土坑	D18	14世紀中～後葉?		
SK146	SK56	土坑	C17	15世紀		
SK147	SK41	土坑	D18	15世紀	在地系土師質土器	449
SK148	SK42	土坑	B17	15世紀		449
SD101	SD01	溝状遺構	B・C・D18～24	14世紀末～15世紀前葉	在地系土師質土器・白磁皿	414
SD102	SD02	溝状遺構	B・C・D19～23	15世紀前葉	青磁皿	424
SD103	SD03	溝状遺構	B・C・D19～20	16世紀末	在地系土師質土器・地藏菩薩・埴塼	339
SD104	SD08	溝状遺構	B・C・D21	14世紀前半?	在地系土師質土器	429
SD105	SD06	溝状遺構	B15～19	15世紀前・中葉	在地系土師質土器・白磁皿	425
SD106A	SD07A	溝状遺構	C・D15～20	14世紀末～15世紀前葉	在地系土師質土器・白磁碗	426
SD106B	SD07B	溝状遺構	C15～20	15世紀前・中		
SD107	SX02	溝状遺構	D20	14世紀末～15世紀前葉		428
SD108	SD09	溝状遺構	C15	16世紀末		414
SX101	SX103	大型の掘込み	C20	16世紀末	京都系土師器	482
SX102	SX104	大型の掘込み	D21	14世紀後葉		483
SX103	SX106	大型の掘込み	B・C15	15世紀後葉		484
SE101	SE01	井戸	B18	15世紀末～16世紀第1四半期	常滑窯系壺	487
SE102	SE02	井戸	B・C16	15世紀後葉?	在地系土師質土器・白磁碗	490
土塁状遺構	土塁状遺構	土塁	C・D24～25	16世紀後葉～末		481
東端土坑群	東端土坑群	整地跡	C・D24	16世紀後葉～末	コンタ	470



- I層…灰色砂質土
- II層…" (マンガン沈着)
- III層…浅黄色砂質土
- IV層…灰黄色シルト
- V層…灰黄褐色砂質土
- VI層…黄褐色シルト
- VII層…灰色砂
- VIII層…暗灰黄色砂質土
- IX層…灰黄褐色砂質シルト

SD07 1…灰色砂質土 2…灰褐色砂質土 3…浅黄色砂質土 4…灰黄褐色砂質シルト 5…灰黄褐色砂質土
6…暗灰黄褐色砂質土 7…灰褐色砂質シルト 8…灰黄褐色砂質シルト 9…灰黄褐色砂質土

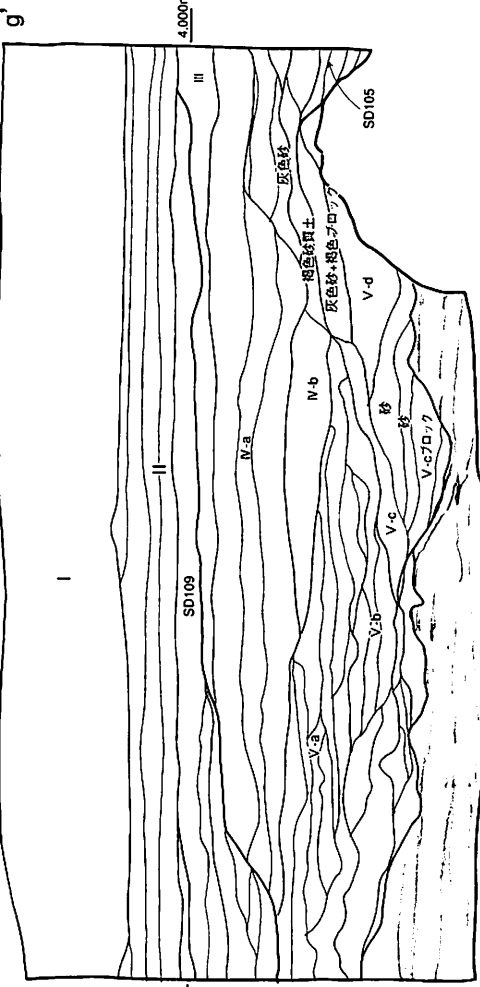
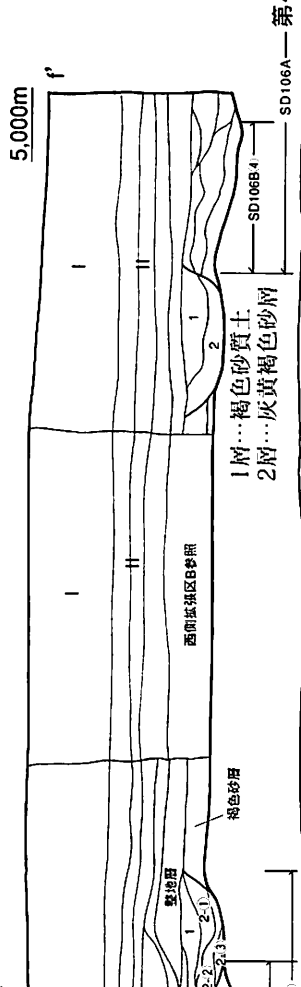
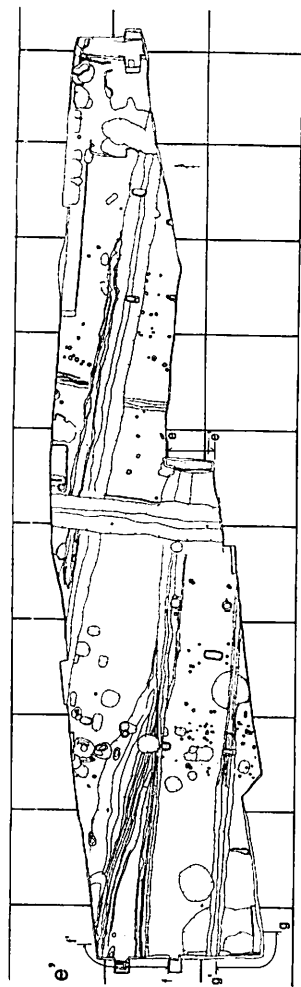
SD106B②

- 1層…褐色砂質土
 - 2層…灰黄褐色砂
- a. 褐色土の細かいブロックを含む
b. ブロックが少ない

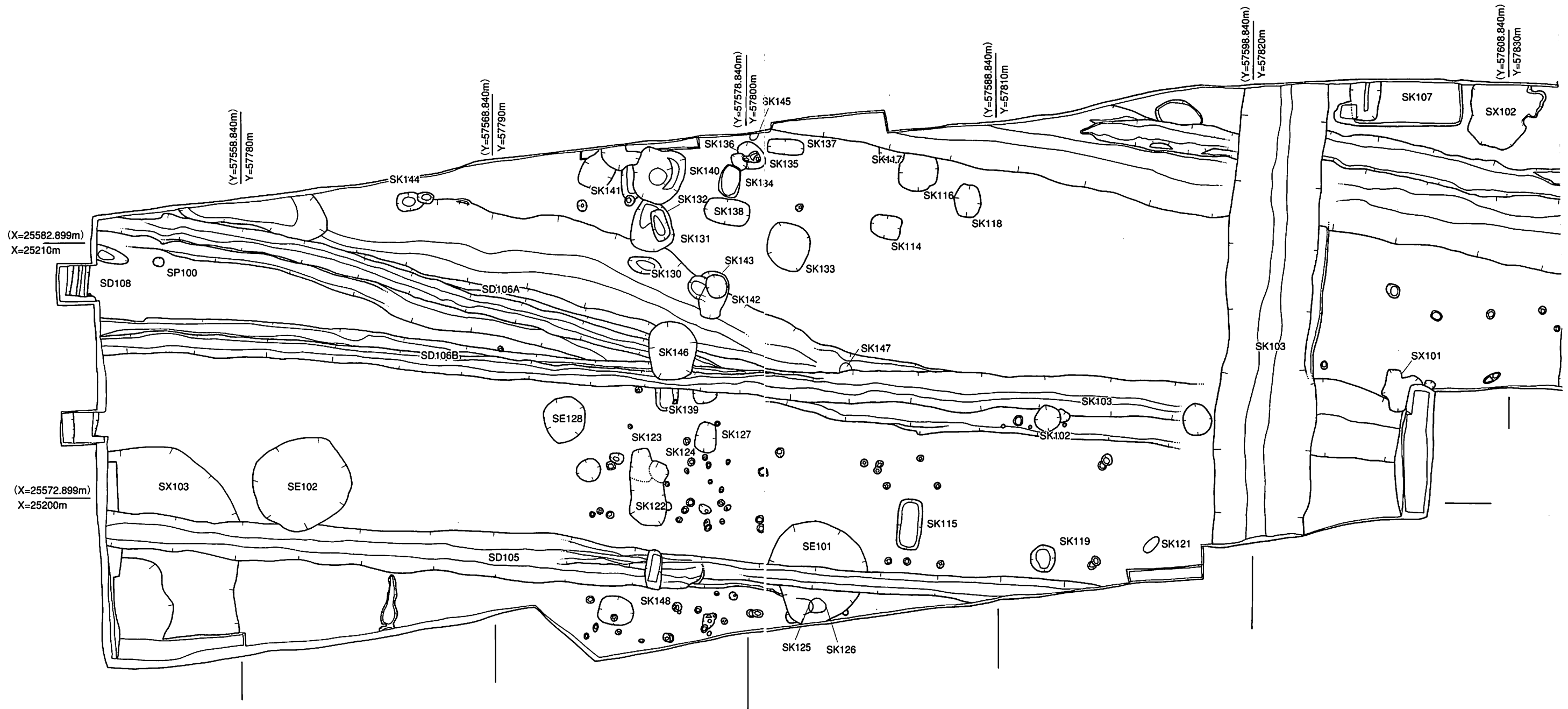
SD106B①

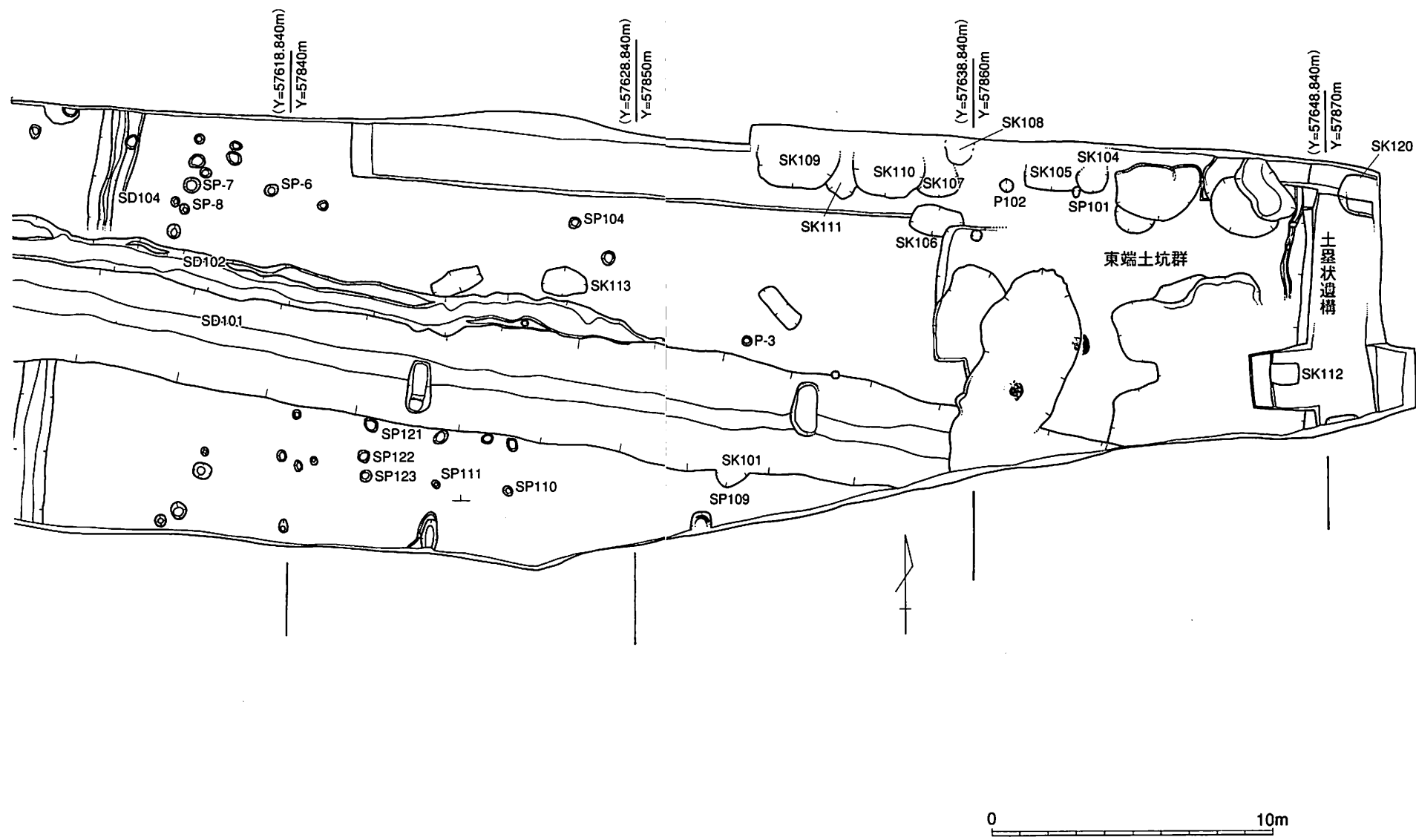
- 1層…灰黄褐色砂質土
- 2層…褐色砂質土(分層はブロックの大小)

SD106A④については第4図参照



- I…客土層もしく
 - II…水田基盤層
 - III…褐色砂質土層
 - IV…暗褐色砂質土
 - V…褐灰色砂質土層
- a. きめが粗くしきりあり
b. aに比べ褐色が強い
c. 褐色が強い
d. 黄褐色の砂利が混じる
e. 灰黄褐色砂質土層
f. 褐色が強い
g. 灰黄褐色砂質土層





※数値は旧日本測地系・括弧内は世界測地系による

第499図 中世大友府内町跡第8次調査区遺構配置図 (1/200)

II. 溝状遺構

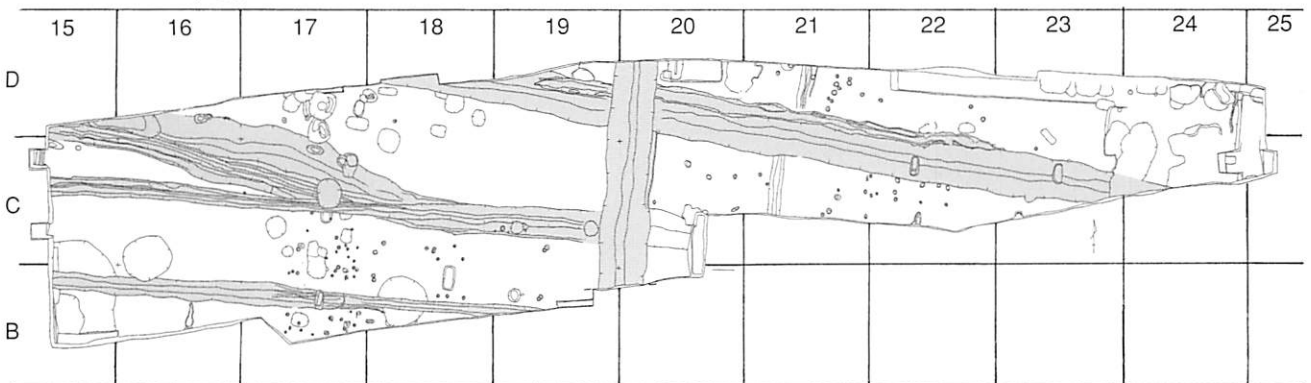
概要

中世大友府内町跡第8次調査区では、中世の溝状遺構として第500図のように東西方向に走る5本の溝状遺構と、(SD101、102、105、106A、106B)南北方向に走る4本(SD103、104、107、108)の溝状遺構を検出した。

東西方向に走る溝状遺構については、主軸を大友氏館跡の推定外郭ラインとほぼ平行するグループA(SD101、SD102、SD107B)と、やや北に振るグループB(SD106とSD107A)に大別することができる。出土した遺物からグループAは14世紀後葉～15世紀前葉、グループBについては15世紀後葉の所産と推定される。まずAグループであるが、SD101からは森田B類に比定される白磁や乗岡中世3期に比定される備前系焼締陶器挿鉢や大甕、14世紀末～15世紀初頭に比定できる在地系土師器等が出土している。またSD102からは15世紀頃の遺物が出土した。SD106Bについては、14世紀後葉から15世紀後葉までの幅広い時期の遺物が出土したが、遺物の集中する調査区中央部分でSD106Aと重複しておりSD106のAとBで明確に遺物を区別することは困難であった。そこで他の溝との平行関係から、基本的には古い時期の遺物をSD106B、その他をBグループのSD106Aに伴うものと判断した。SD105についても幅広い時期の遺物が出土しているが、これも平行関係からSD106Aとほぼ同時期と判断、Bグループとした。南北に走る遺構については、切り合い関係や出土した遺物からSD104が14世紀前葉、SD107が15世紀後葉、SD103・SD108が16世紀代で、特に出土した遺物の中に明確に時期の比定できる漳州窯の青花皿やⅢ期の京都系土師器等が出土したSD103については1570年以降の所産と推定される。

16世紀の遺構の中で注目されるのがSD103である。溝というよりもその形状や規模から堀の可能性が高く、大友館の外郭ラインに直交するように主軸をとり大友館へと続く。今回検出した遺構の中で最大の規模を誇る。これに平行するように調査区西端でSD108を検出したが、調査区外に続いたため一部確認しただけである。しかし、これらの遺構は16世紀後葉と推定される調査区東端の土塁状の積土遺構から西へ約50m 間隔(半町)でSD103、SD108と並ぶなど、かなり企画性が高く、大友館の南にあたることから大友館の一部若しくはそれに伴う何らかの施設もしくは区画遺構であった可能性が高い。次に、15世紀後葉の遺構であるが、東西方向に走るBグループのみであり、2つの遺構に挟まれた直線的に伸びる空間については、道路であった可能性が高く、14世紀～15世紀前葉の遺構であるAグループについても同様であるが、SD101については堀状の遺構であり、また、ほぼ同時期の南北方向に伸びるSD108が、SD101と同様の形状を示すなど、道路に伴うというより屋敷もしくは施設にともなう遺構の可能性が高い。

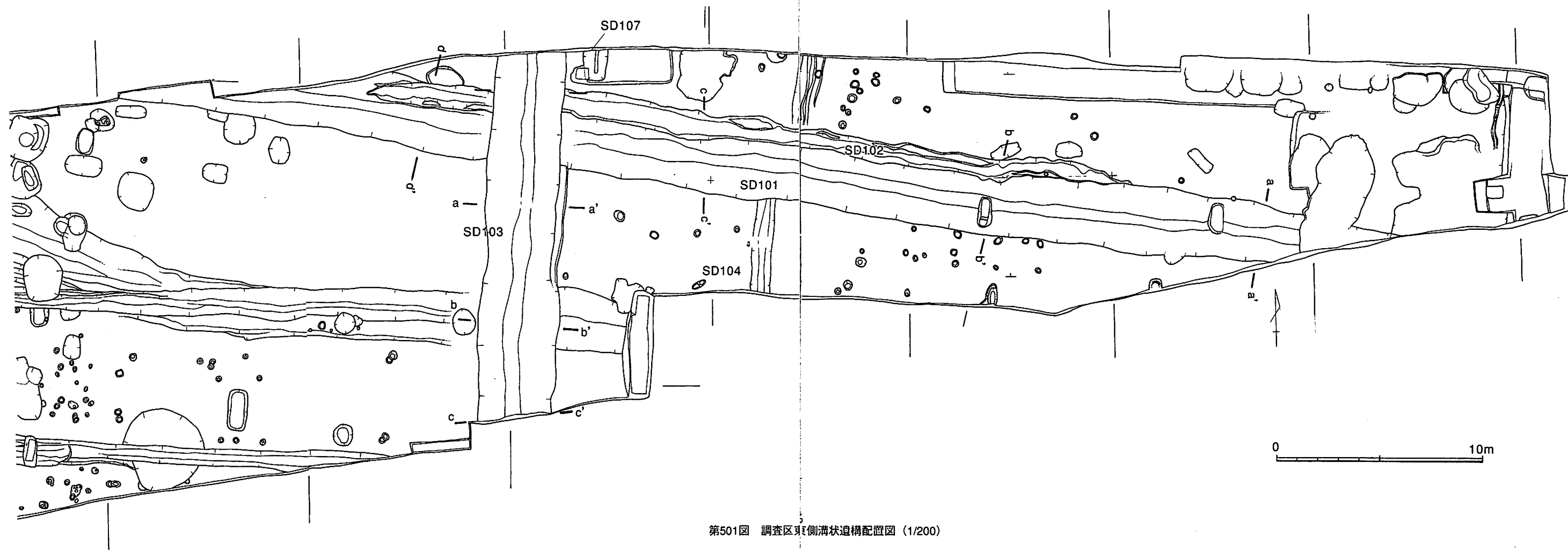
ここでは、第8次調査区で検出した溝状遺構の内、中世の9基について報告をするが、中世大友府内町の最盛期が16世紀であることから、16世紀を中心に時代を遡りながら、説明を加えることとする。



第500図 中世大友府内町跡第8次調査区溝状遺構分布図

387
388
①

387
388
①



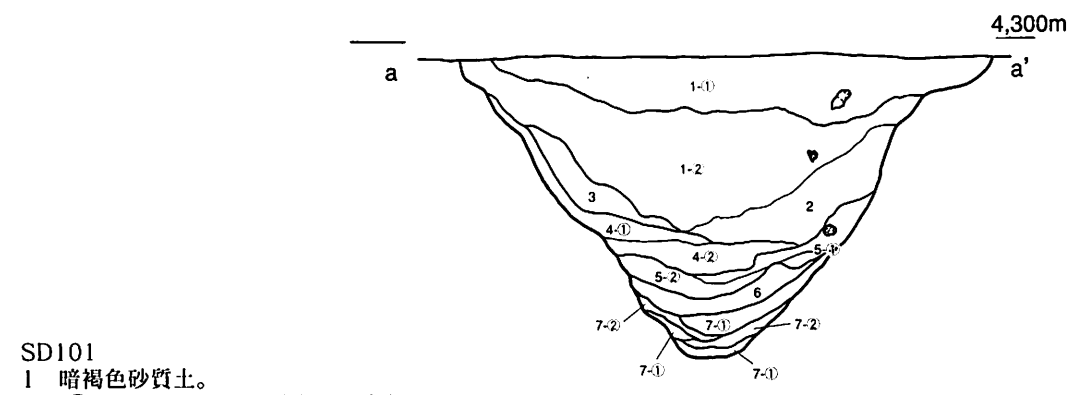
第501図 調査区東側溝状遺構配置図 (1/200)

387
388
②

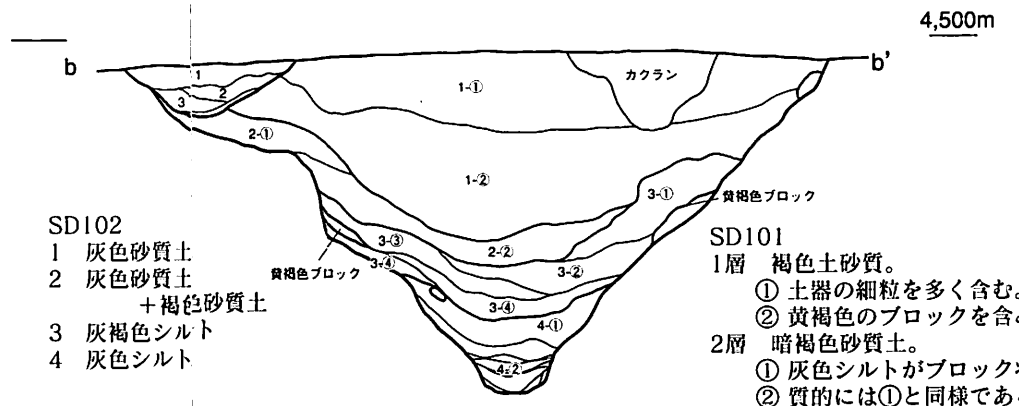
387
388
②

389
390
①

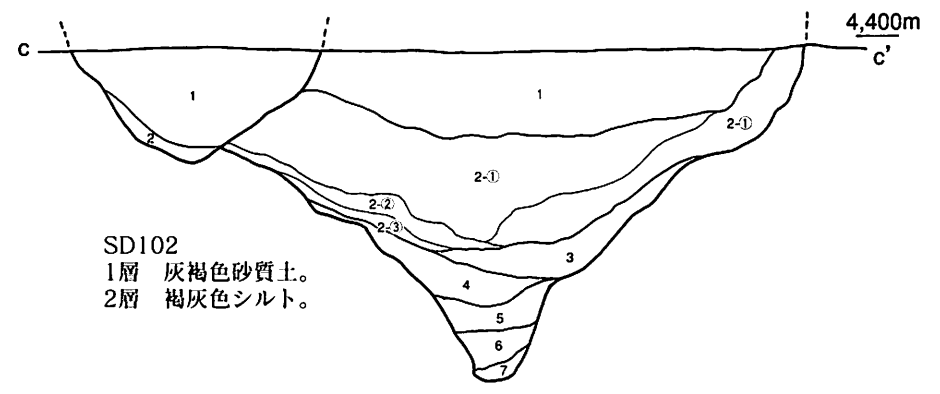
389
390
①



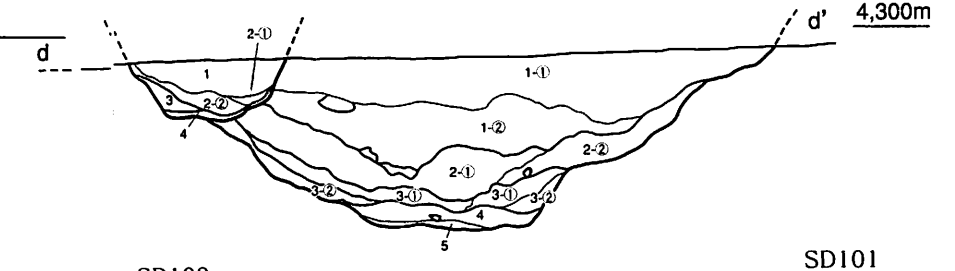
- SD101
- 1 暗褐色砂質土。
① 土器片や炭化物、礫などを含む。
② 土器片や炭化物、礫などを含む。黄褐色の小ブロックを含む。
- 2 灰褐色砂質シルト。遺物の細粒や炭化物を含む。
- 3 褐色砂質シルト。しまりがあり土器の細粒を若干含む。
- 4 褐灰色砂質シルト。
① 土器の細粒を若干含む。
② 砂質が強くややしまりがない。



- SD102
- 1 灰色砂質土
2 灰色砂質土 + 褐色砂質土
3 灰褐色シルト
4 灰色シルト
- SD101
- 1層 褐色土砂質。
① 土器の細粒を多く含む。
② 黄褐色のブロックを含み硬くしまる。
- 2層 暗褐色砂質土。
① 灰色シルトがブロック状に混じる。
② 質的には①と同様であるが、堆積の単位として分層。
- 3層 灰褐色砂質シルト。
① 黄褐色のブロックを含む。遺物の細粒や炭化物を含み、硬くしまる。
② マンガンの沈着が見られる。
③ ②と質的には同じであるが、堆積の単位として分層。
- 4層 灰色砂質シルト。
① 黄褐色ブロックを含む。
② 砂層とシルト層の互層が認められる。



- SD102
- 1層 灰褐色砂質土。
2層 褐灰色シルト。
- 0 2m



- SD101
- 1層 褐色砂質土。土器や炭化物を多く含む。
2層 明褐色砂質土。
① やや灰色が強く、黄褐色のブロックを含む。
② ①より灰色が強い。①から③へ漸移層である。
③ ①・②と比べシルト質が強い。
- 3層 灰褐色シルト。土器の細片を含む。
4層 明褐色砂質シルト。土器片を含む。
5層 褐灰色シルト。粘質が強い。
6層 明褐色砂質土。灰色粘土の層を含む。
7層 灰褐色シルト。粘質が強く、土器の細片や褐色のブロックを含む。
- SD102
- 1 灰褐色砂質土。土器片を含み、硬くしまっている。
2 褐灰色砂質土。
① 土器片を含み、硬くしまっている。
② 土器の細粒を含む。
3 褐色シルト。土器の細粒や黄褐色の小さなブロックを含む。
4 明褐色砂質シルト。溝底に溜まるように堆積している。
- SD101
- 1 褐色砂質土。
① 黄褐色の小ブロックや土器片や炭化物を多く含む。
② 黄褐色のブロックを含み、硬くしまる。
- 2 暗褐色砂質シルト。
① 砂質がよく、遺物の細粒や炭化物を含む。
② 遺物の細粒や炭化物を含む。
- 3 灰褐色砂質シルト。
① 遺物の細粒や炭化物を含み、硬くしまる。
② しまりがあり土器片を若干含む。
- 4 黄褐色砂質シルト。しまりがあり土器の細粒を若干含む。
5 褐灰色シルト。粘質が強い。わずかに土器の細粒を含む。

第502図 SD101・SD102土層断面図 (1/40)

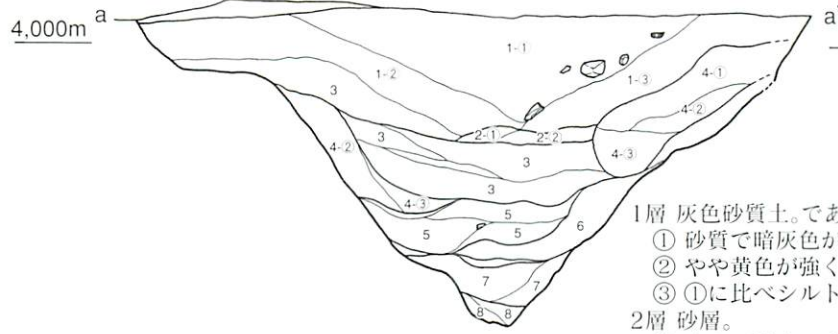
389
390
②

389
390
②

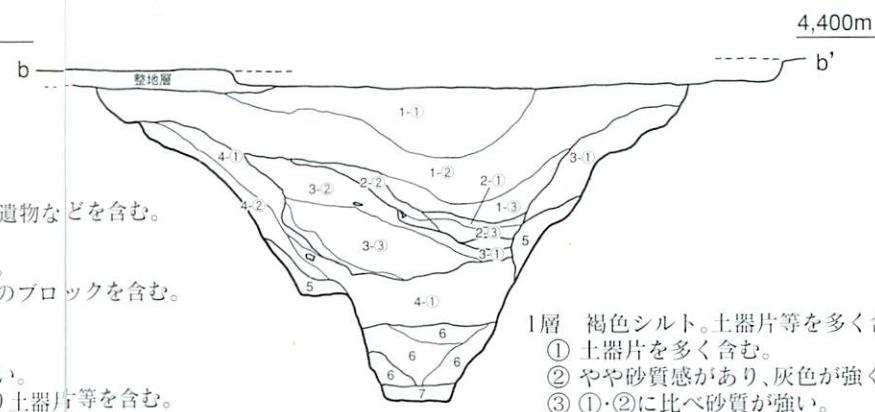
391
392
①

391
392
①

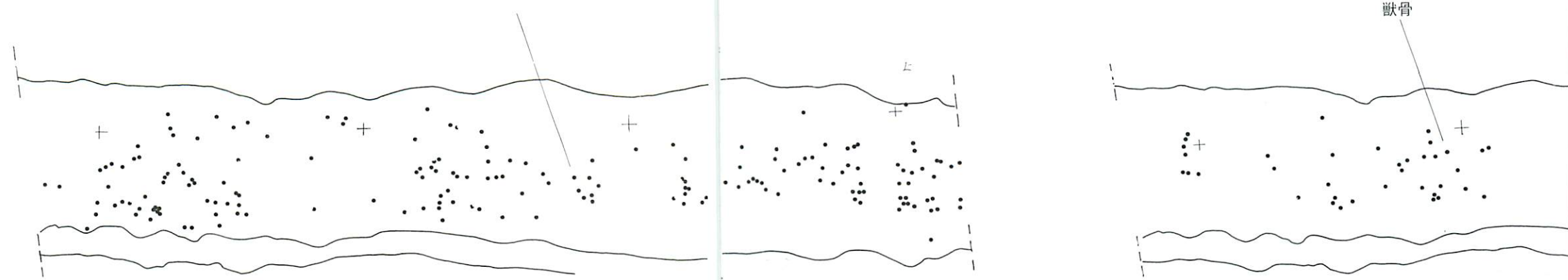
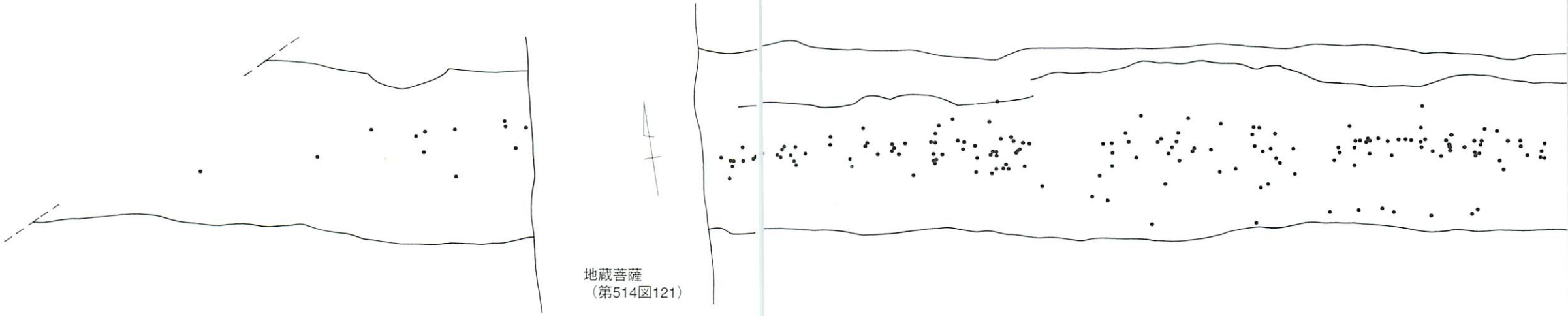
391
392
②



- 1層 灰色砂質土。である。拳大の礫や遺物などを含む。
 ① 砂質で暗灰色が強い。
 ② やや黄色が強く、きめが細かい。
 ③ ①に比べシルト質が強く、褐色のブロックを含む。
- 2層 砂層。
 ① きめが粗くしまりはない。
 ② サラサラしており、粘質等はない。
- 3層 褐色土砂質シルト。しまりがあり土器片等を含む。
- 4層 黄褐色砂質シルト。しまりがある。
 ① 黄褐色のブロックや礫、土器片等を含む。
 ② 黄褐色のブロックを多く含む。
 ③ やや黒色を帯び、きめが粗い。
- 5層 茶褐色シルト。きめが細かく粘質あり。瓦や土器などの遺物を含む。
- 6層 黄褐色砂質シルト。きめが細かく粘質あり。
- 7層 灰色砂質シルト。きめが細かく、粘質有がある。
- 8層 灰色砂質土。下層ほど砂のきめが粗い。



- 1層 褐色シルト。土器片等を多く含む。
 ① 土器片を多く含む。
 ② やや砂質感があり、灰色が強く、土器片を含む。
 ③ ①・②に比べ砂質が強い。
- 2層 砂層。
 ① 灰色が強いきめが粗い。
 ② 黄褐色土が混ざる。
 ③ 黄褐色のブロックや遺物を多量に含む。
- 3層 暗褐色シルト。
 ① 砂質感がある。
 ② 黄褐色のブロックを多く含み、遺物等を含む。
 ③ 砂質感が強い。
- 4層 褐色シルト。褐色のブロックを含む。
 ① 遺物を含んでいる。
 ② 黄褐色のブロックを含む。
- 5層 黄褐色シルト。遺物は含んでいない。
- 6層 灰色砂質シルト。グライ層。
- 7層 砂利層。

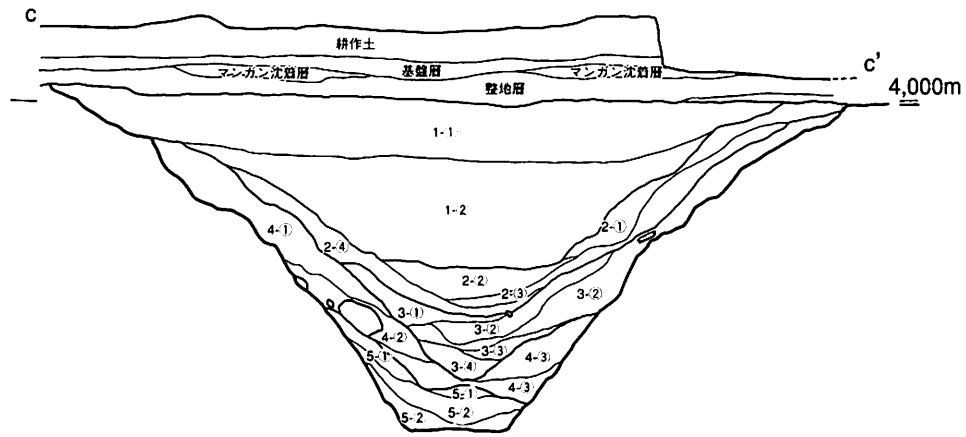


391
392
④

391
392
④

391
392
⑤

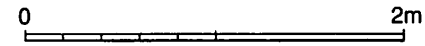
391
392
②



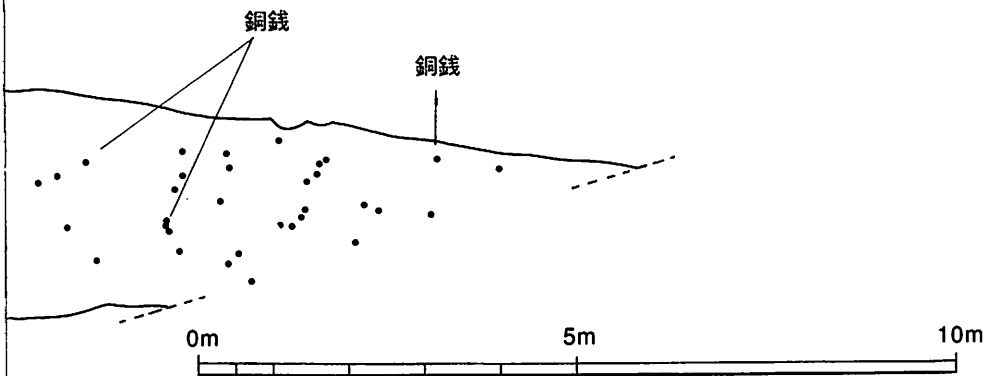
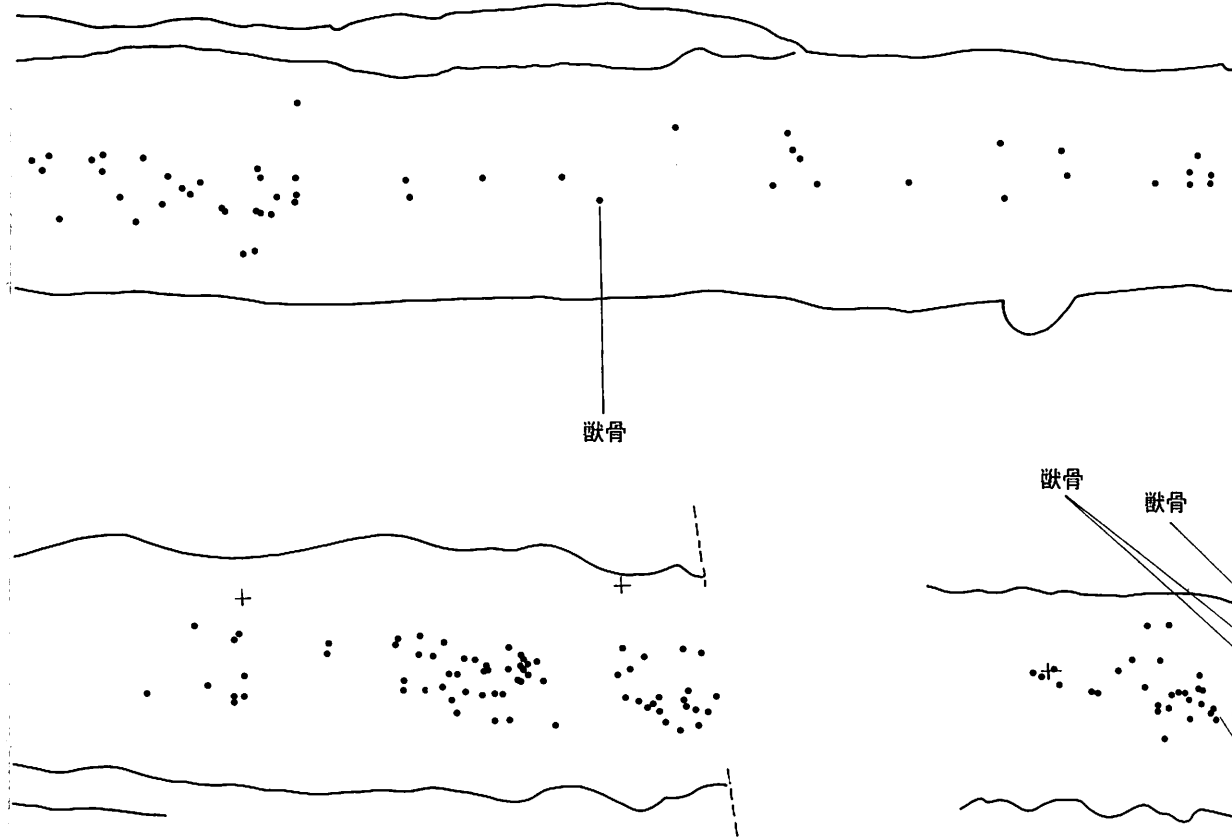
391
392
③

391
392
③

- 1層 灰黄褐色砂質土。
 ① やや黄色を帯びる。
 ② ①より褐色が強い。
- 2層 褐灰色砂質シルト。しまりがある。
 ① 褐色のブロックを含む。
 ② ①に比べシルト質が強く褐色のブロックを含む。
 ③ 粘質が強く帯状に入る。
 ④ 褐灰色のブロックを含む。
- 3層 灰褐色砂質シルト。
 ① 砂質であるがしまっている。
 ② ①より粘性が強い。
 ③ 粘性は弱くしまりが無い。
 ④ 黄褐色土を含む。
- 4層 明褐色シルト。
 ① 褐色が強く黄褐色のブロックを含む。
 ② しまりがあり、黄褐色土のブロックを含む。
 ③ 粘性が強く、マンガンの沈着がみられる。
- 5層 褐灰色シルト。粘質が強く、マンガン等の沈着がみられる。
 ① シルト層と砂層の互層。
 ② 砂利を含む。



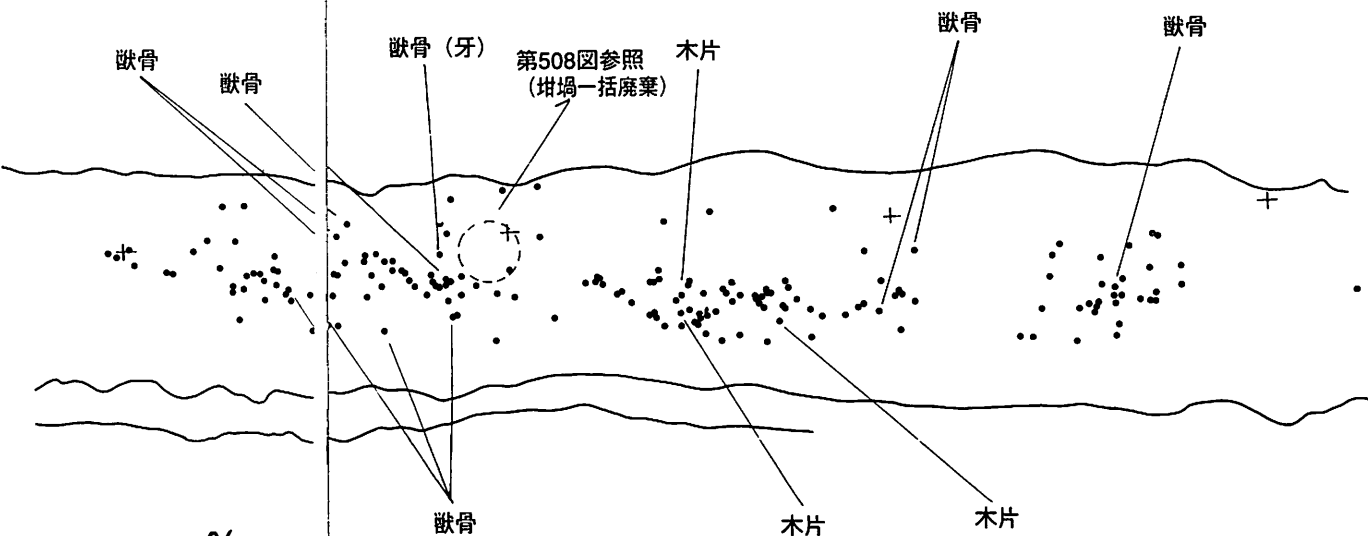
第503図 SD103土層断面図 (1/40)



391
392
⑤

391
392
⑥

391
392
⑥

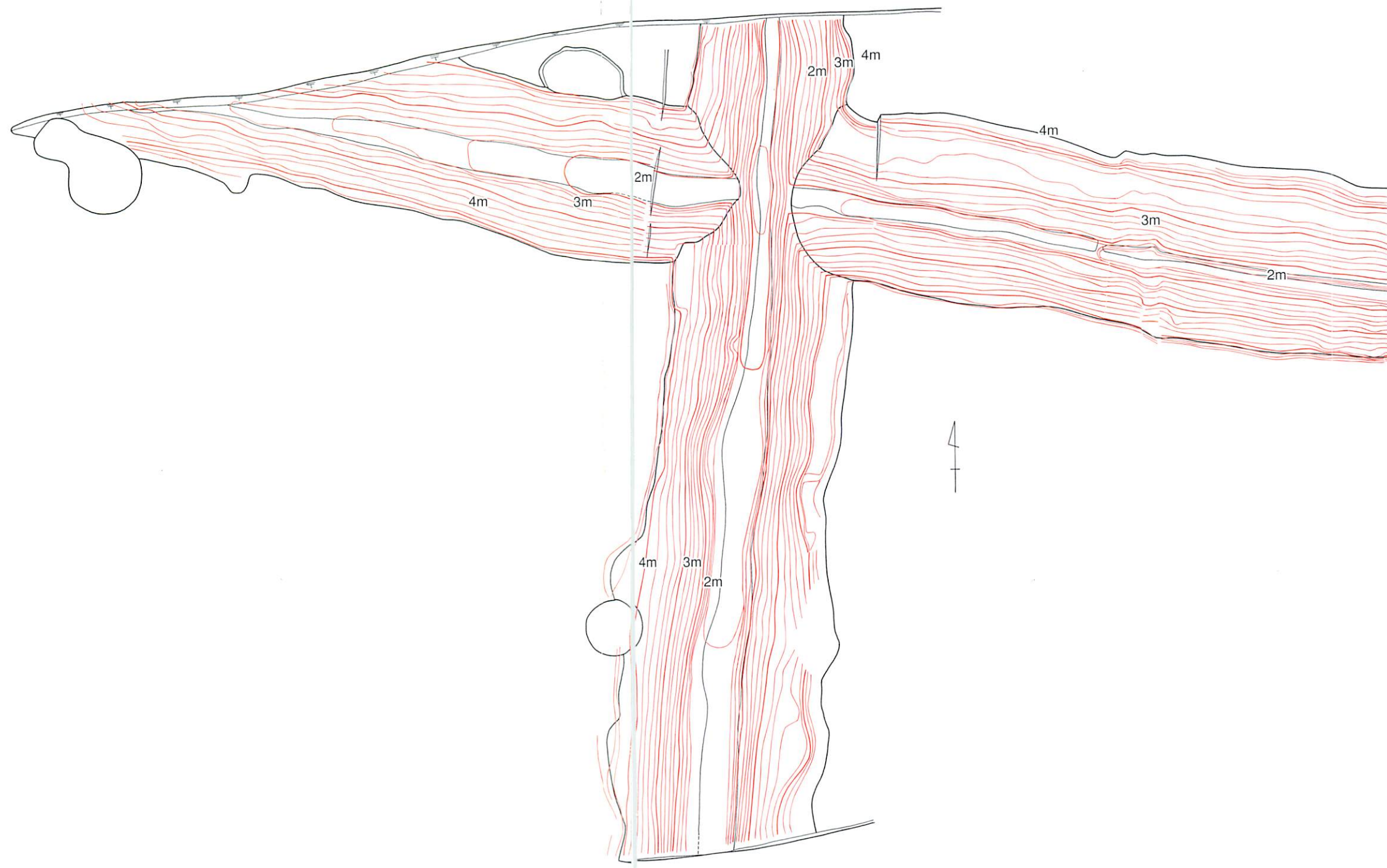


第504図 SD101・103遺物出土分布図 (1/100)

393
394
①

393
394
②

393
394
②



393
394
④

393
394
④

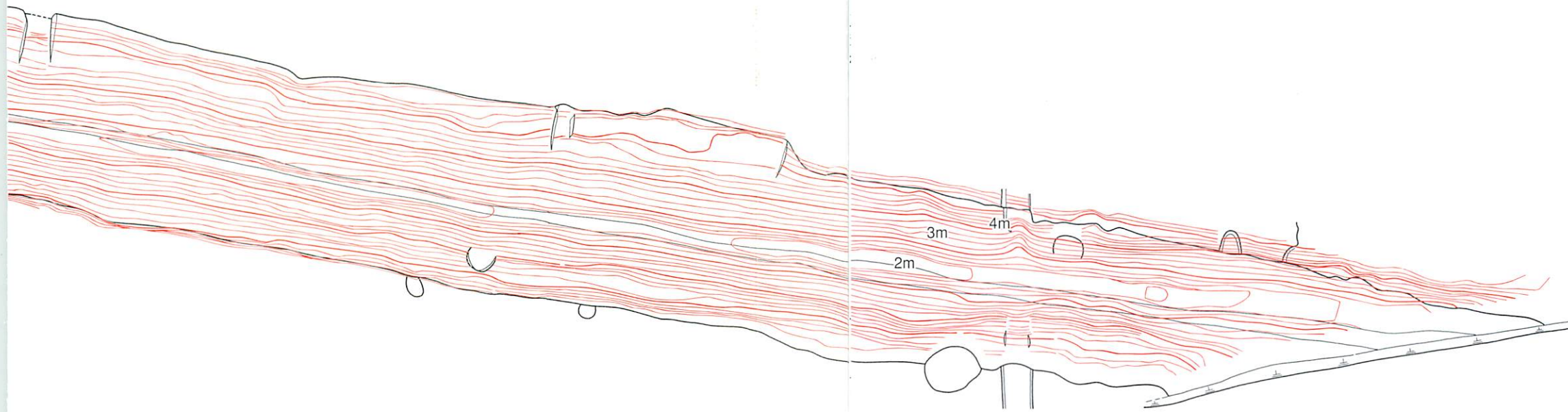
393
394
⑤

第505図 SD101・SD1

393
394
②

393
394
③

393
394
③



3m
4m
2m



03地形測量図 (1/100)

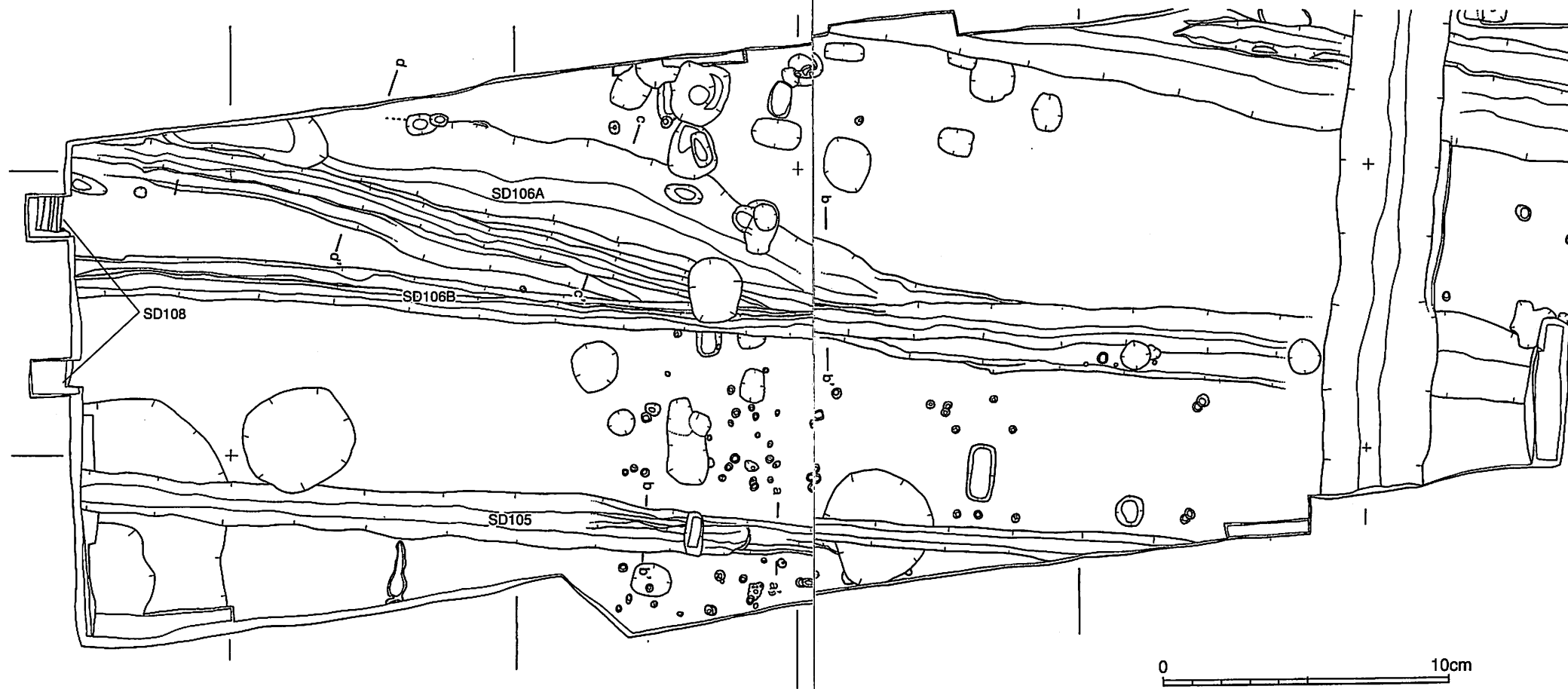
393
394
⑤

393
394
⑥

393
394
⑥

395
396
①

395
396
①

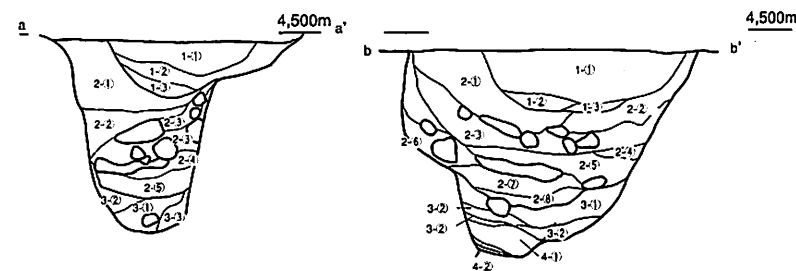


第506図 調査区西側構状遺構配置図 (1/200)

395
396
②

395
396
②

397
398 ①

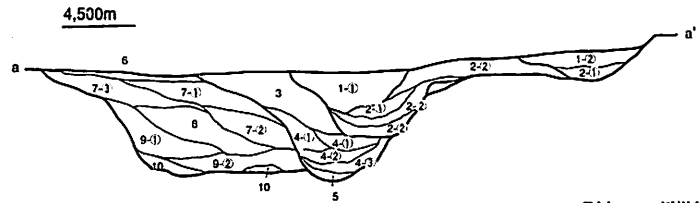


SD105土層断面図

- 1層... 褐灰色砂質土。
① 褐色のブロックを含む。しまりなし。
② ややきめが細かくしまりあり。
③ ②よりやや褐色が強くなる。
④ ③より褐色が強くなる。
⑤ ④より褐色が強くなる。
- 2層... 黄灰色砂質土。
① 1層に比べ砂質が強く、遺物の細粒等を含む。
② ①に比べ砂質が強い。
③ 灰色ブロックを含む。
④ シルト質が強くしまりあり。
⑤ 砂質が強い。
⑥ ⑤より黄褐色になる。
- 3層... 灰黄褐色砂。
① きめが粗い。
② きめが粗い。
③ きめが粗く、遺物の細粒を含む。

- 1層... 褐灰色砂質土。
① 褐色のブロックを含む。しまりなし。
② ややきめが細かくしまりあり。
③ ②よりやや褐色が強くなる。
④ ③よりやや褐色が強くなる。
- 2層... 黄灰色砂質土。
① 1層に比べ砂質が強く、遺物の細粒等を含む。
② シルト質が強い。
③ 褐色ブロックを多く含む。
④ きめが粗くしまりなし。
⑤ きめが粗くしまりあり。
⑥ 褐色ブロックを含む。
⑦ しまりなく、褐色ブロックを含む。
⑧ きめが粗くしまりあり。⑦との間に薄い砂層が存在する。
- 3層... 灰黄褐色砂。
① きめが粗い。
② 灰色が強い。
- 4層... 灰褐色砂質シルト。
① 砂質が強く、砂質土とシルトが互層をなす。
② シルト質が強い。

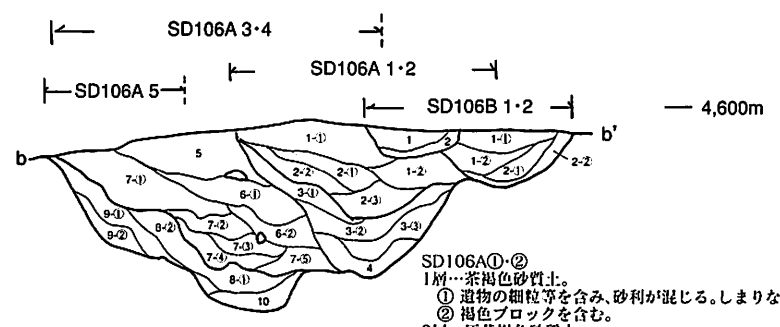
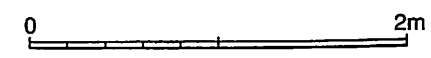
397
398 ①



SD106土層断面図

- 1層... 茶褐色砂質土。
① 土器の細粒や炭化物、砂利を含む。
② しまりがあり灰色ブロックを含む。
- 2層... 灰褐色砂質シルト。
① 土器の細粒や、礫を含む。
② 灰色ブロックや、土器の細粒、礫を含む。
③ 褐色や灰色のブロックが少量混ざる。
④ 褐色ブロックを多く含む。
⑤ ④と同質であるがシルト質が強い。
- 3層... 灰褐色砂。遺物の細粒や褐色のブロックを含む。
① 褐色ブロックを少量含む。
② 褐色ブロックを多量に含み、しまりあり。
③ 暗黄褐色のブロックをわずかに含む。
- 5層... 褐色シルト。きめ粗くしまりあり。
6層... 灰褐色砂質土。きめ粗く粘質はない。

- 7層... 灰褐色砂質土。
① 灰色ブロックを含む。
② 灰色が強い。
③ 褐色が強い。
- 8層... 灰色砂。
9層... 灰色砂質土。
① やや粘質があり、褐色が強い。
② ①よりもきめが細かい。
- 10層... 褐色砂質シルト。



SD106A①-②

- 1層... 茶褐色砂質土。
① 遺物の細粒等を含み、砂利が混じる。しまりなし。
② ①と同質であるがややシルト質である。
- 2層... 灰黄褐色砂質土。
① きめが細かく、しまりあり。
② 1~3cmの礫を含む。
③ 褐色ブロックや遺物の細粒を含む。
- 3層... 褐灰色砂。a-b-cの順に褐色が強くなる。
- 4層... 明黄褐色砂質シルト。きめが粗くしまりあり。遺物の細粒を含む。
- SD07③-④-⑤
5層... 褐色シルト。きめが粗く粘質あり。
6層... 灰褐色砂質土。
① シルト質が強くしまりあり。
② やや褐色が強い。
- 7層... 褐色砂質土層。
① 砂層とシルトが互層を成している。
② ややシルト質であり、灰黄色が強い。
③ ②より褐色が強い。
④ 灰黄褐色のブロックを含む。
⑤ ④より褐色が強い。
- 8層... 褐色砂質土。
① 褐色ブロックを含む。
② 褐色が強く、しまりあり。
- 9層... 明黄褐色砂質シルト。きめ粗くしまりあり。
① 大き目の灰色ブロックを含む。
② やや褐色が強く、しまりあり。
- 10層... 褐色砂。きめが粗くしまりあり。遺物の細粒やシルト質のブロックを含む。
- SD07B①
1層... 茶褐色砂質土。
2層... 灰黄褐色砂質土。
- SD07B②
1層... 茶褐色砂質土。①-②は堆積の単位で分層。
2層... 灰黄褐色砂質土。①-②は堆積の単位で分層。

SD106A①-②

- 1層... 灰黄褐色砂質土。
① きめが粗く遺物の細粒を含む。
② きめが粗く遺物の細粒や褐色の細かいブロックを含む。
③ 灰色が強い。
④ 褐色の大き目のブロックが入る。
- 2層... 灰褐色砂質土。
① 灰色砂が多く混じる。
② きめが粗く、褐色土のブロックを含む。
- 3層... 褐灰色砂。
①-②やや褐色が強く粗い。
① ①より灰色が強い。
② 褐色が強い。
- 4層... 明黄褐色砂。きめが粗い。

SD106A③

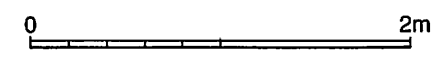
- 5層... 灰色砂。
① ①-②より褐色が強い。
② やや粗く、褐色土のブロックを含む。
③ 砂質が強く、褐色の細かいブロックを含む。
④ 褐色の細かいブロックを多く含み、きめが粗い。
- 6層... 褐色砂質土。きめが粗く遺物の細粒や褐色の細かいブロックを含む。
① 褐色の細かいブロックを多く含み、きめが粗い。
- 7層... 灰褐色砂質土。きめが粗く粘質はない。
① 褐色の細かいブロックを多く含み、しまりなし。

SD106A④

- 8層... 暗黄褐色砂。きめが粗い。
① 灰色が強い。
② やや褐色身を帯びる。
③ 褐色が強くしまりなし。
④ やや黄色を帯びしまりなし。
⑤ きめが粗く粘質あり。
- 9層... 灰黄褐色砂。
① きめは飛んでいる。
② やや褐色を帯びる。
③ きめが粗く、褐色のブロックを含む。

SD106A⑤

- 10層... 灰褐色砂質土。
① きめが粗く粘質がある。
② やや褐色が強い。
③ 砂質が強く、砂層に近い。
- 11層... 褐灰色砂。褐色粘土を含む。
① きめが細かい。
② 褐色が強く、しまりなし。



第507図 SD105・106A・106B土層図 (1/40)

397
398 ②

397
398 ②

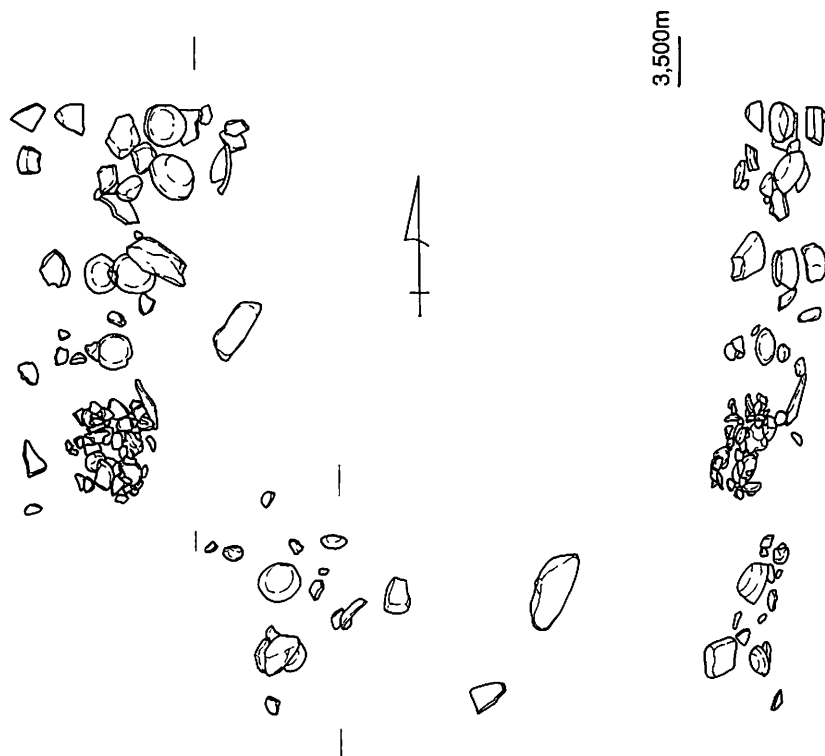
16世紀の溝状遺構

SD103

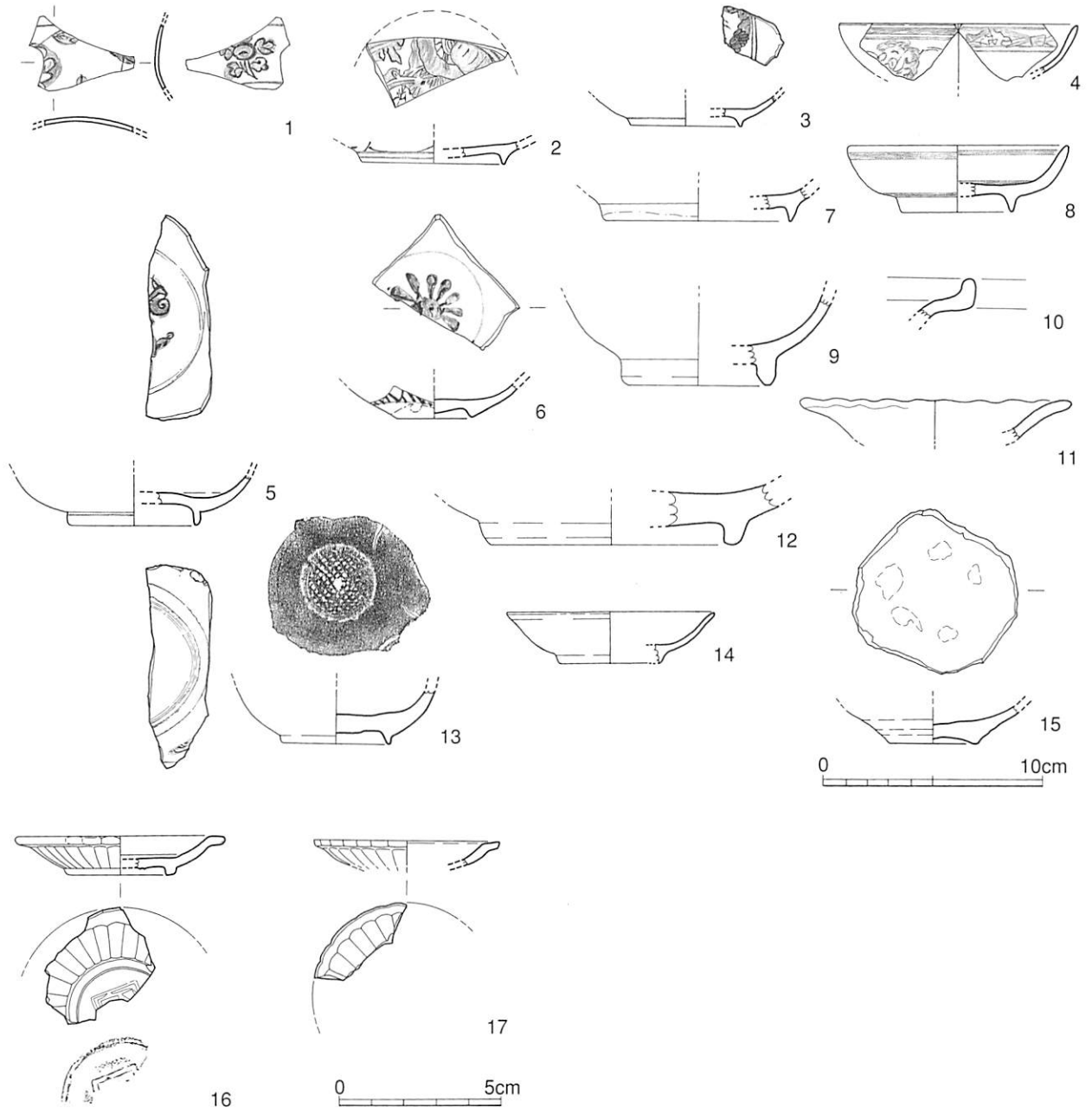
SD103 (第501図) 調査区西側の中央東側で検出した16世紀末頃の所産と思われる「堀」である。主軸をN-5°-Eにとり、南北に走る。現状で長さ約18.3m、幅は約3.5m～約4m、深さは約1.7m～約1.8mを測り、いずれも南端において最大となる。SD101と同様に「薬研堀(やげんぼり)」の形態に近いが、SD101のように床面には箱堀は認められず、幅約0.5m～約0.6mの底部が平坦に形成される。「薬研堀(やげんぼり)」というよりもむしろ「箱堀(はこぼり)」の形態に近い。覆土の土層観察では、SD101と同様に溝上部は削平されており、土塁の存在や、本来の掘方は確認できなかった。また、底部から約0.4mの中層付近までは、徐々に堆積した様子が認められ、床面の比高差から大友館方向南へ緩やかな水流があった様子がうかがえる。上層の覆土には、地山ブロック(黄褐色・褐色ブロック)等が含まれていることから、埋戻しに伴う埋土であろう。

出土遺物

SD103出土遺物 (第509～521図) SD103からは陶磁器類や土師器類などを検出したが、大半は小破片である。土師質土器の坏類をみると、3期の京都系土師器が主体であるなど出土した遺物は基本的には16世紀後葉～末の所産のものが主体を占める。また、その他にも、埴塙の一括廃棄や地藏菩薩像が出土するなど、この遺構の時代や空間の役割を示唆する上で重要な資料が出土している。1～7は中国製青花である。1～5は景德鎮窯系の青花碗で染付碗E群に属し、3・5はマントーシン碗である。6・7は漳州窯系の青花小皿である。8～13は中国産の青磁で、11は稜花皿であるが被熱し変色している。9・13は碗、12は鉢、8は皿である。14は白磁の端反り皿でE群の製品である。15は朝鮮産の小皿であるが、碁笥底で見込み部に胎土目の跡が残る。16・17は青釉小皿で、15は被熱し変色している。16世紀後半の所産であろう。18～50は焼締陶器類である。18～27は描鉢の口縁部片、胴部片、底部片である。いずれも備前系焼締陶器で、口縁部が口縁内に稜を持つものや、口縁短部が先細りになるタイプで、また、26のように交差するスリ目が存在することから近世1期bに相当する。28・29は壺の口縁部である。28はタイ産焼締陶器、29は備前系焼締陶器である。30～40は大甕の口縁部や底部、41は信楽系の甍か。42は壺もしくは瓶の底部である。



第508図 SD103埴塙出土状況(1/30)

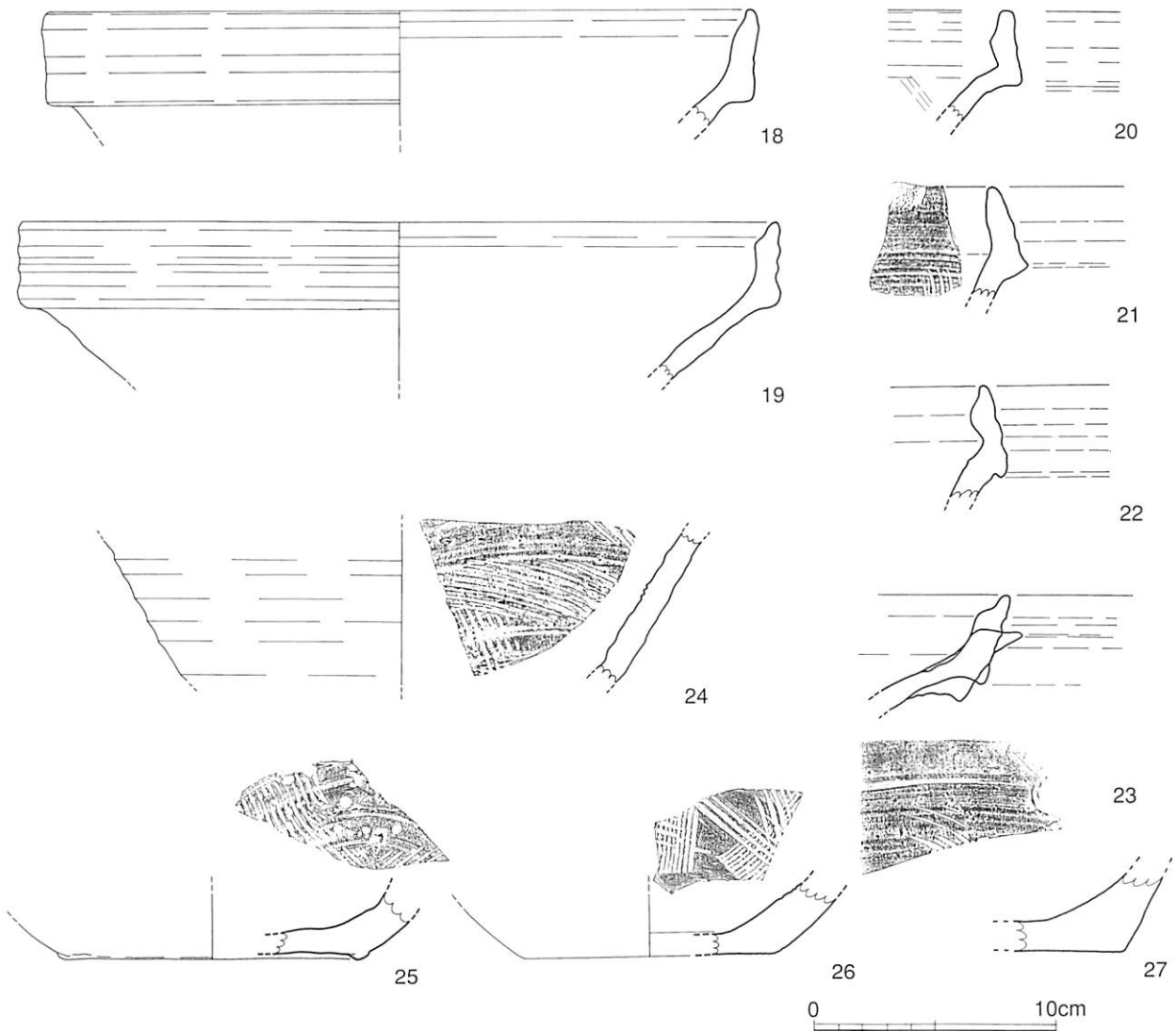


第509図 SD103出土遺物実測図① (1/3)

大甕の口縁部をみると、口縁部がやや外開きのものや内湾する、いわゆる近世1期a~bのものが主体をなしている。43は産地不明の焼締陶器で肩部に把手がつく。44~50は備前系焼締陶器で、44は鉢、45は瓶の口縁部、46は口縁端部が内側に折れる皿の口縁部、47~49は甕や鉢の底部である。50は壺の底部か。51~114は京都系土師質土器である。いずれも3期に相当するもので51~96は小皿で97~109は坏である。小皿については3法量に分かれるが、ここでは中・小のものが圧倒的に多い。また、小皿が灯明皿として使用されたものが多いのに対し、坏はいずれも坩堝とともに廃棄されており、坩堝として使用された痕跡もあり小皿との用途の違いが認められる。115~120は土師質土器である。115~117は土鍋、118は灯火具で燭台の脚部、119は溝底から出土した朝鮮産焼塩壺で16世紀後半、天正年間のものである。120は土師質土器であるが、9世紀前半頃の高台付碗で明らか

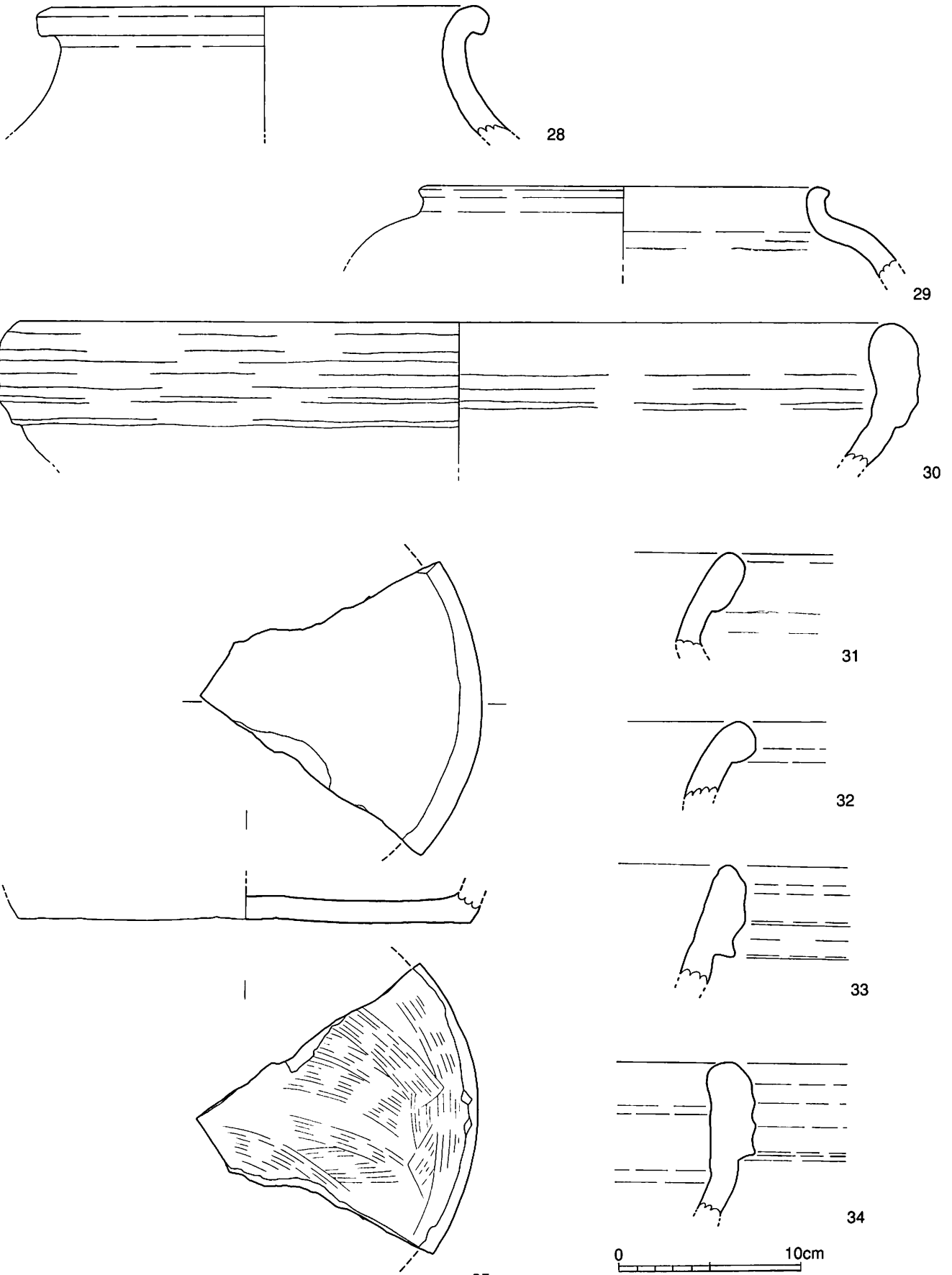
地藏菩薩像

かに混入品である。121は型を使った僧形坐像で、前後2枚の型形成である。地藏菩薩像であるが、頭部・底部及び手の一部が欠損している。完全な中空構造ではなく、型から出した後に底からヘラで中をくり込み擬似的な中空構造を採る。正面の袈裟には「万寿」の文字が表現され、背面にも袈裟模様などが表現される。このような僧形坐像は太宰府観世音寺を中心に佐賀、福岡平野で広く分布することが知られ、基本的には在家信者の所持するものと考えられている⁽¹⁾。太宰府史跡57・67次調査で出土した地藏菩薩は14世紀、佐賀県大貞遺跡で出土したものは16世紀に比定される。122～136は瓦質土器である。122～128は火鉢である。122は在地系火鉢で、口縁部が肥厚するタイプで、124・125は風炉である。126・128は深鉢型火鉢の口縁部で127は脚付の底部である。129～133は播鉢である。129は防長系の播鉢で、134は鉢であろう。135は土鍋の底部片で内面に当て具痕、外面には格子目状のタタキ痕が残る防長系の土鍋か。136は蓋であるが器種は不明である。137～146は瓦である。137は丸瓦、138は軒丸瓦、その他は平瓦であるが142は塼か。147・148は銅製品であるが器種は不明である。149・150は銅銭である。150～156は石製品である。151・152は茶臼である。153は滑石製の石鍋の口縁部、154は結晶片岩製の砥石、155は両側に挟りの入る石錘、156は

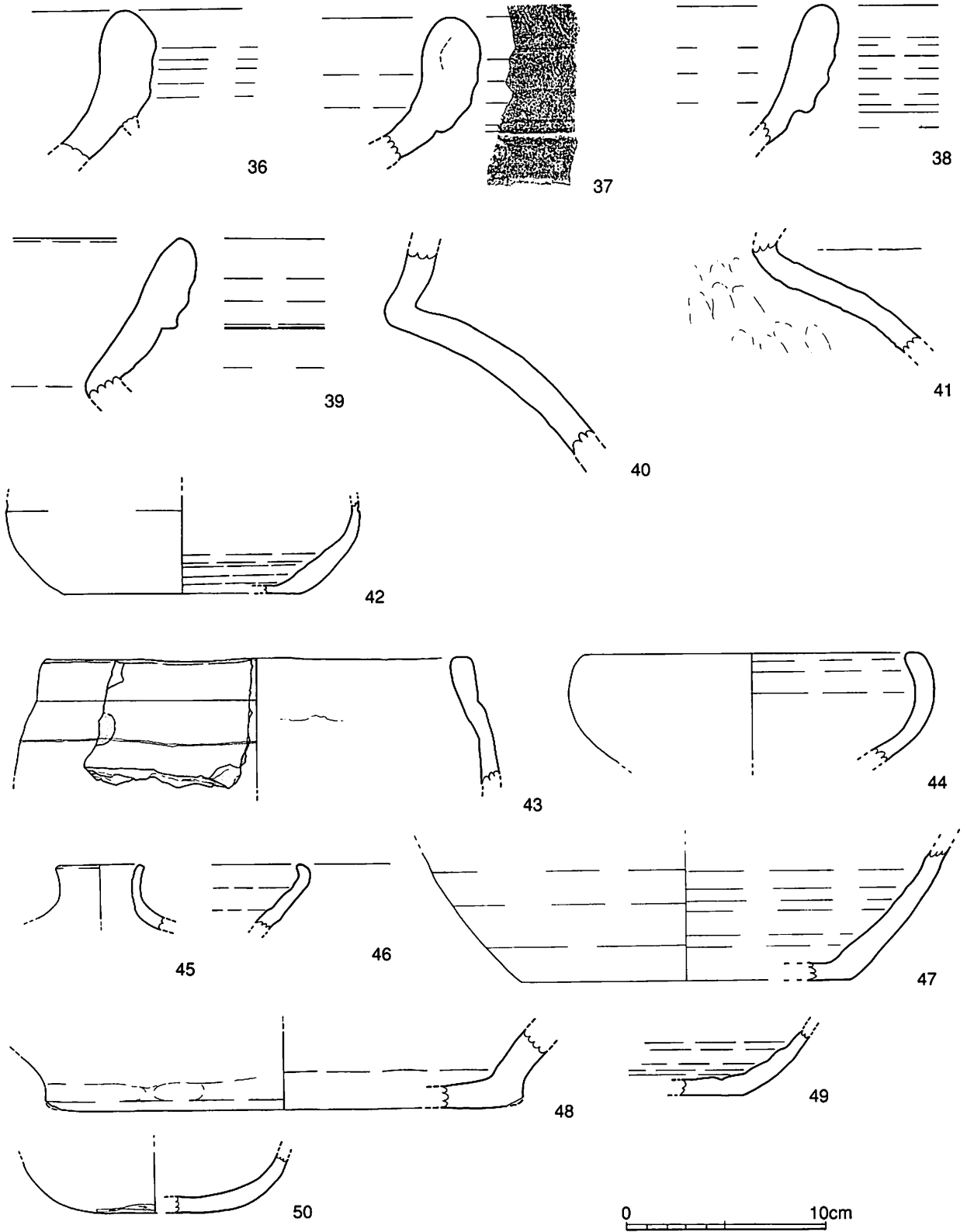


第510図 SD103出土遺物実測図② (1/3)

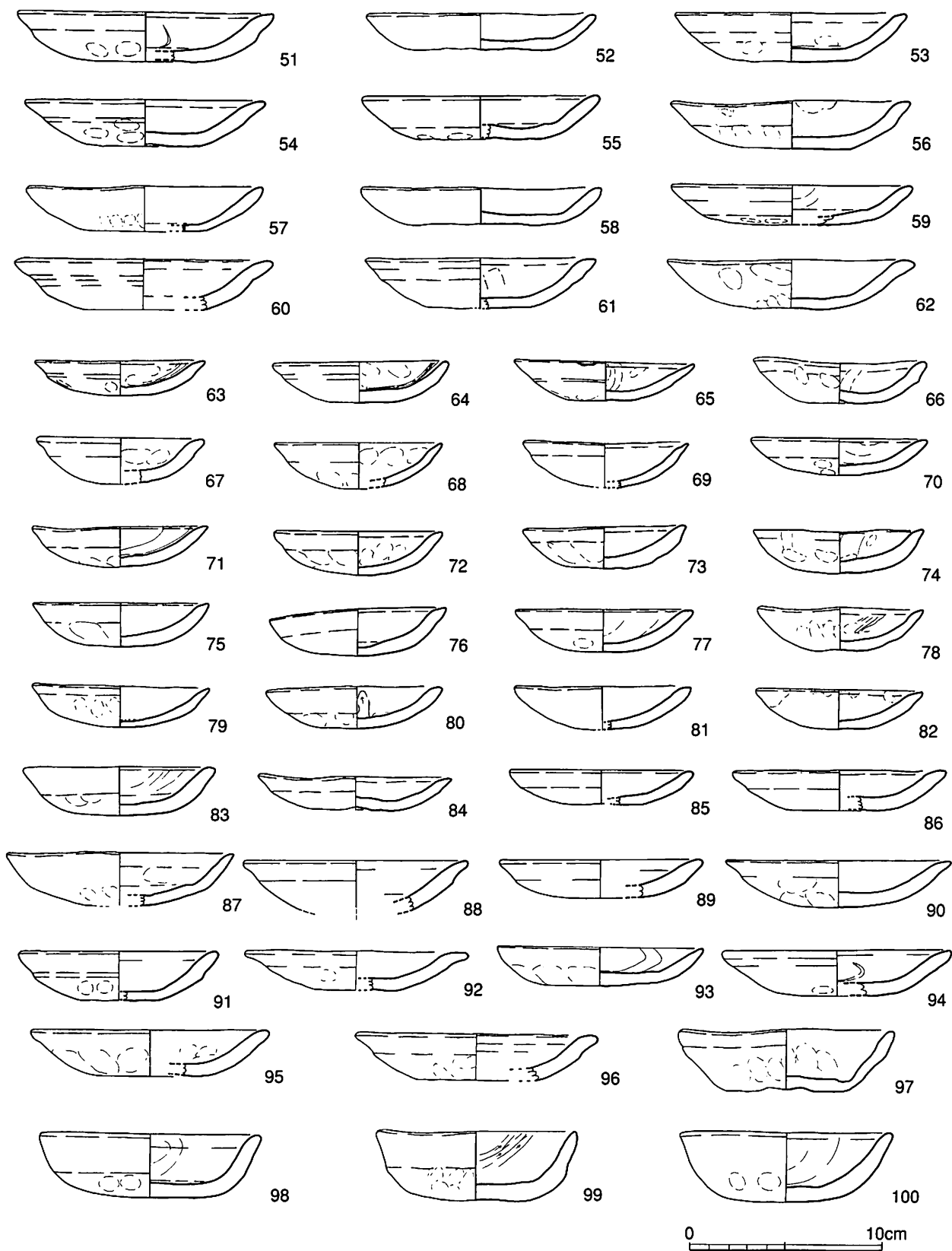
註(1) 山村信榮「中世素焼人形考」(『博多研究会誌』第5号 博多研究会)



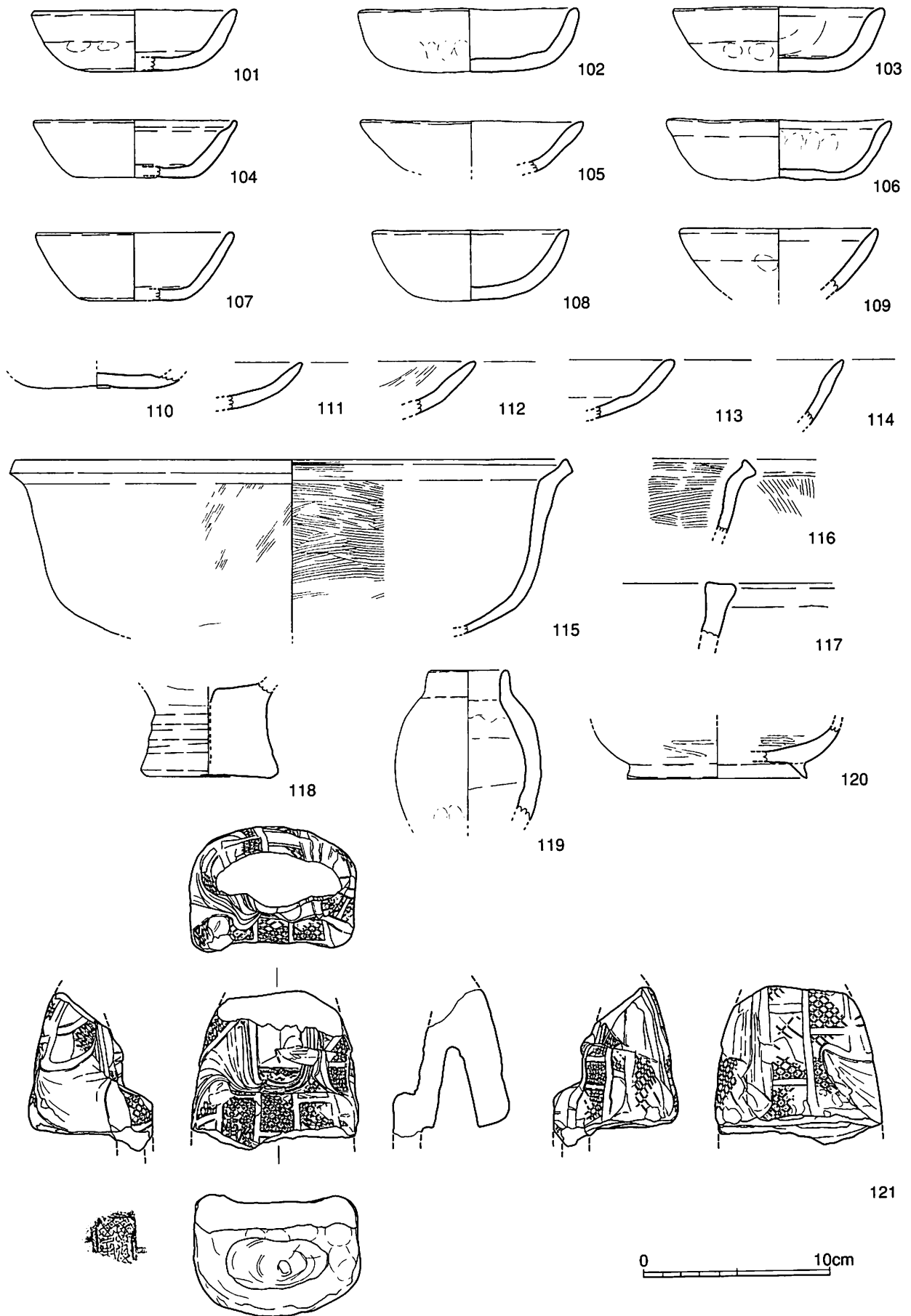
第511図 SD103出土遺物実測図③ (1/3)



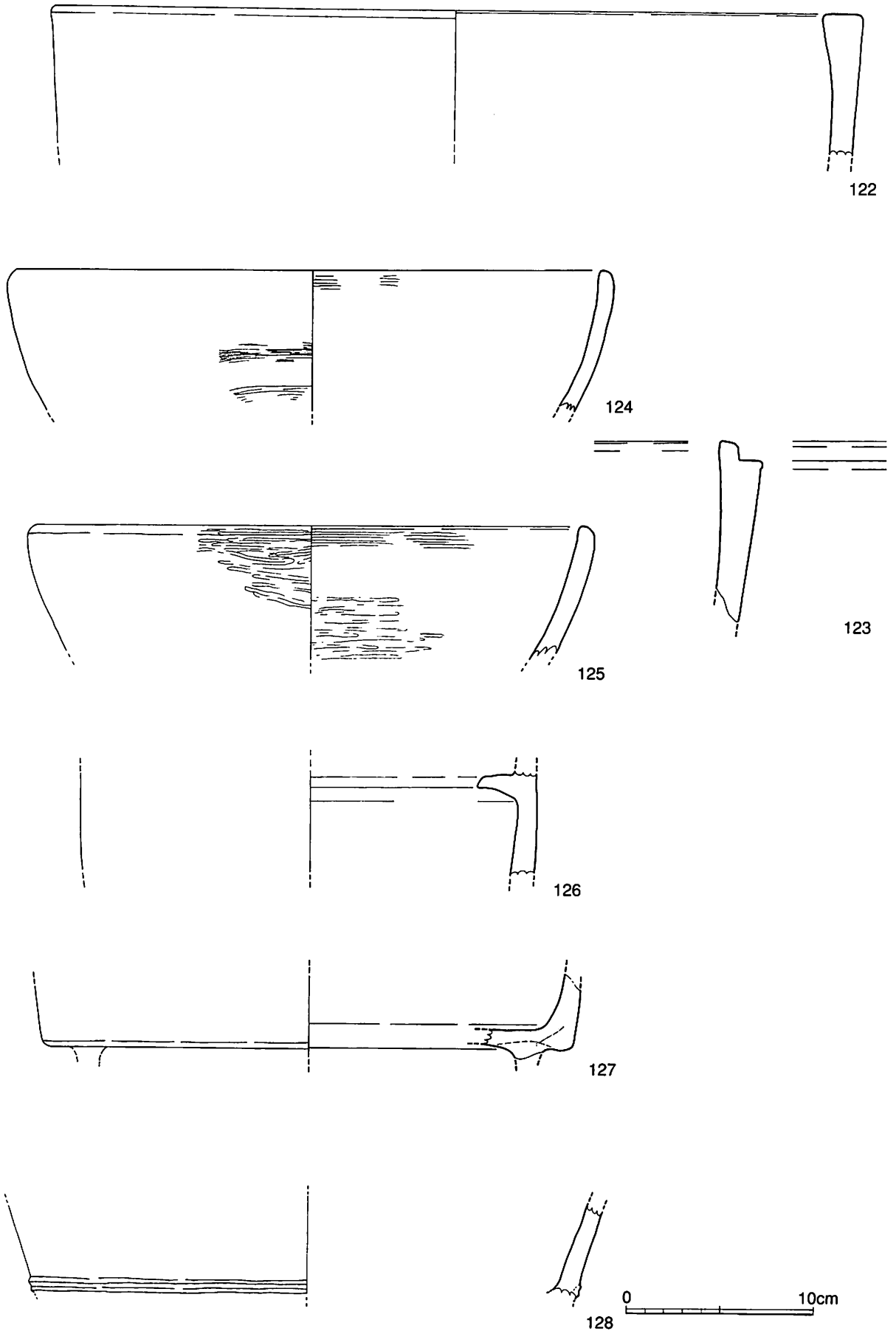
第512図 SD103出土遺物実測図④ (1/3)



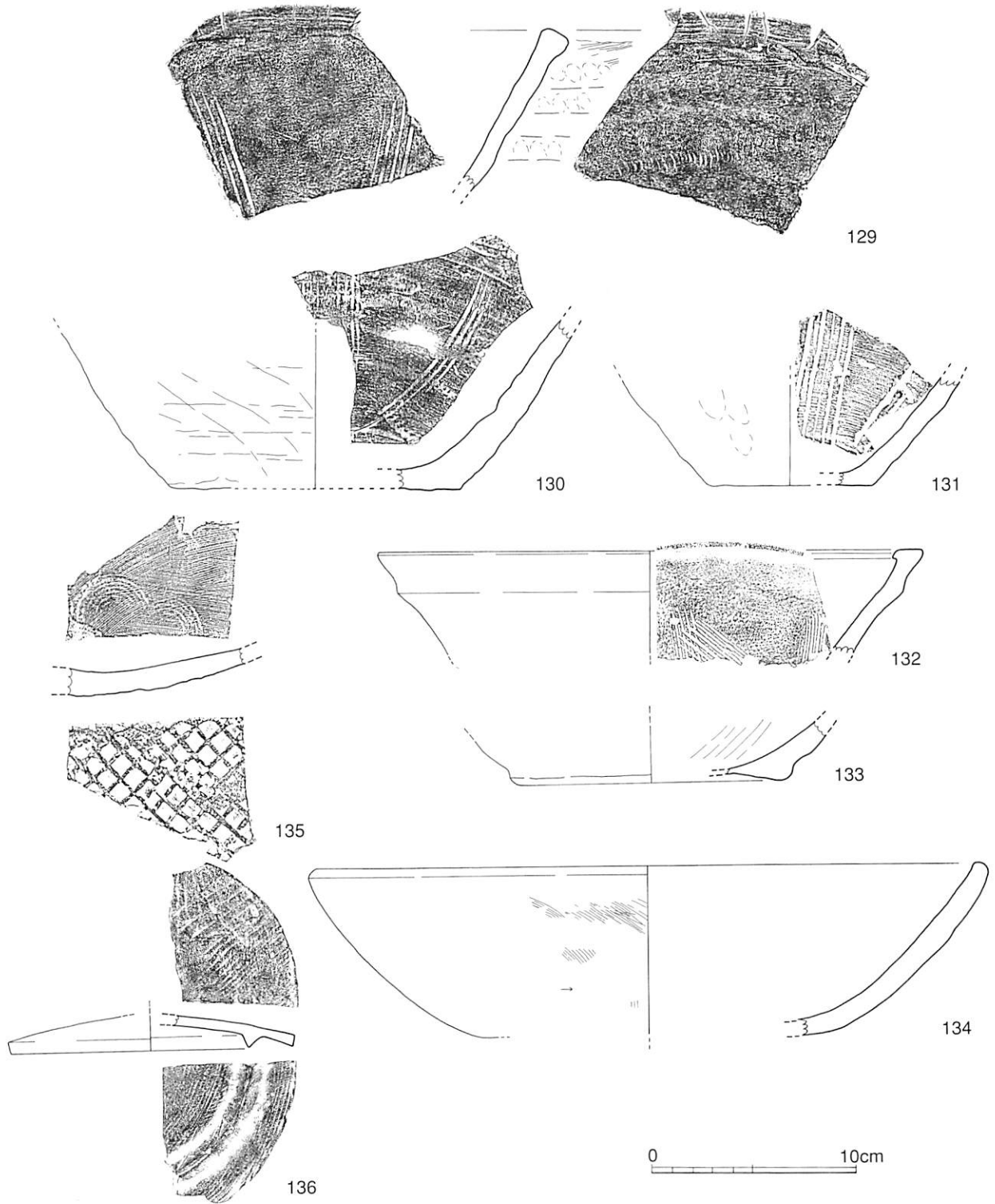
第513図 SD103出土遺物実測図⑤ (1/3)



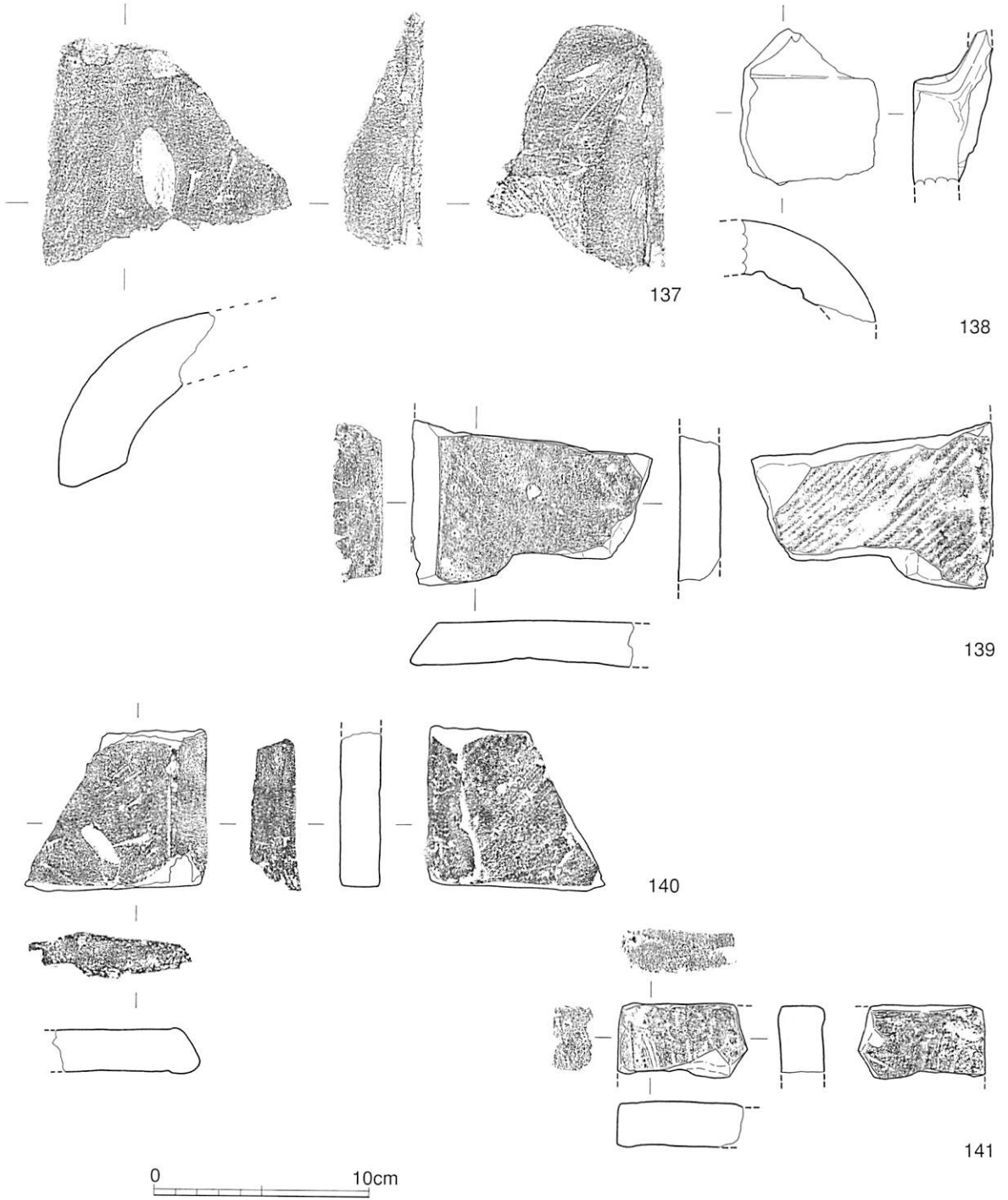
第514図 SD103出土遺物実測図⑥ (1/3)



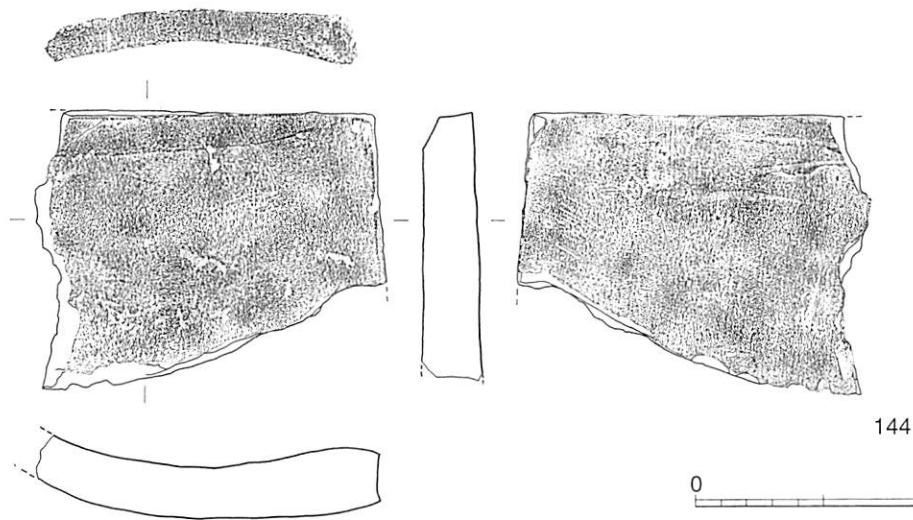
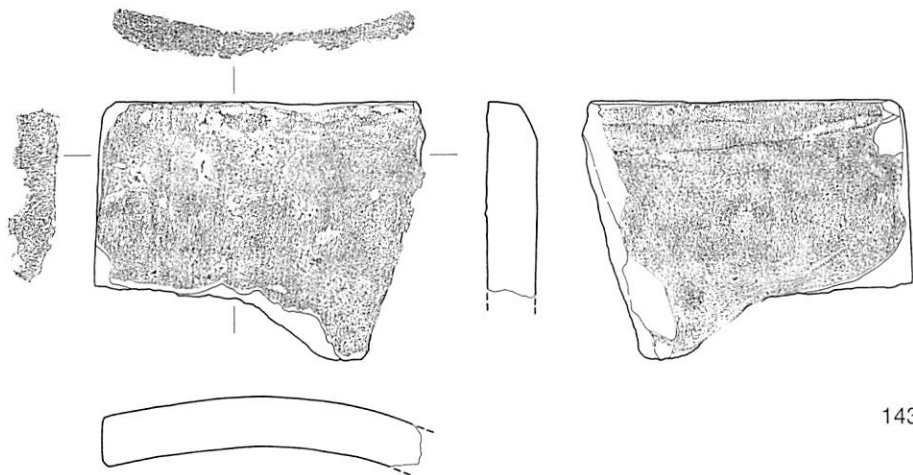
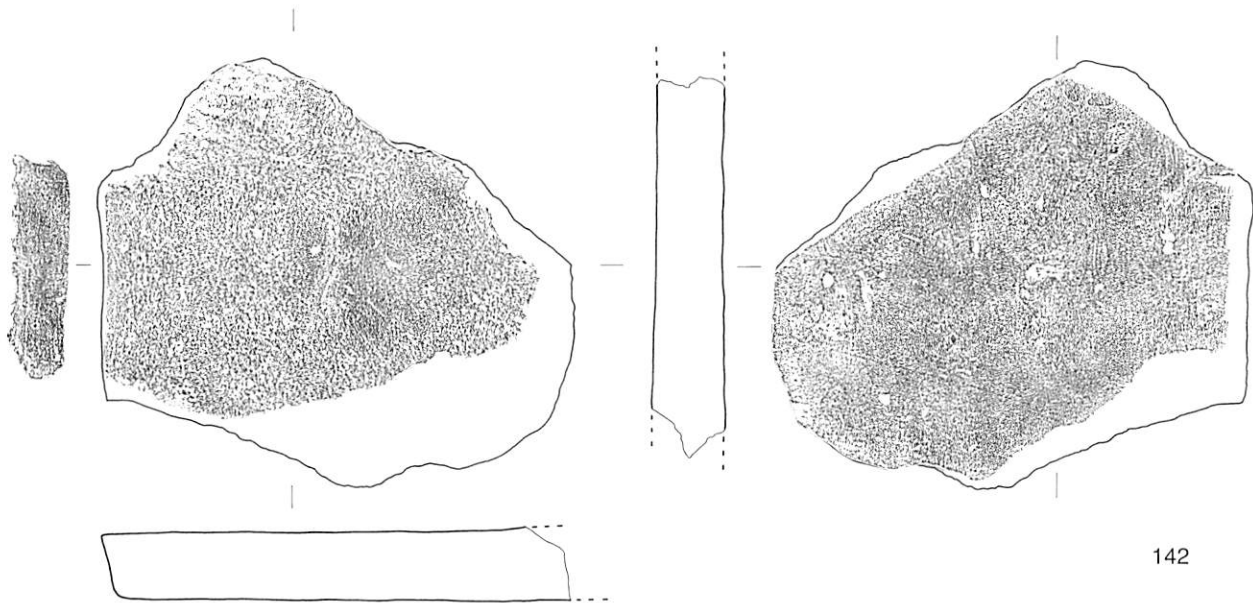
第515図 SD103出土遺物実測図⑦ (1/3)



第516図 SD103出土遺物実測図⑧ (1/3)

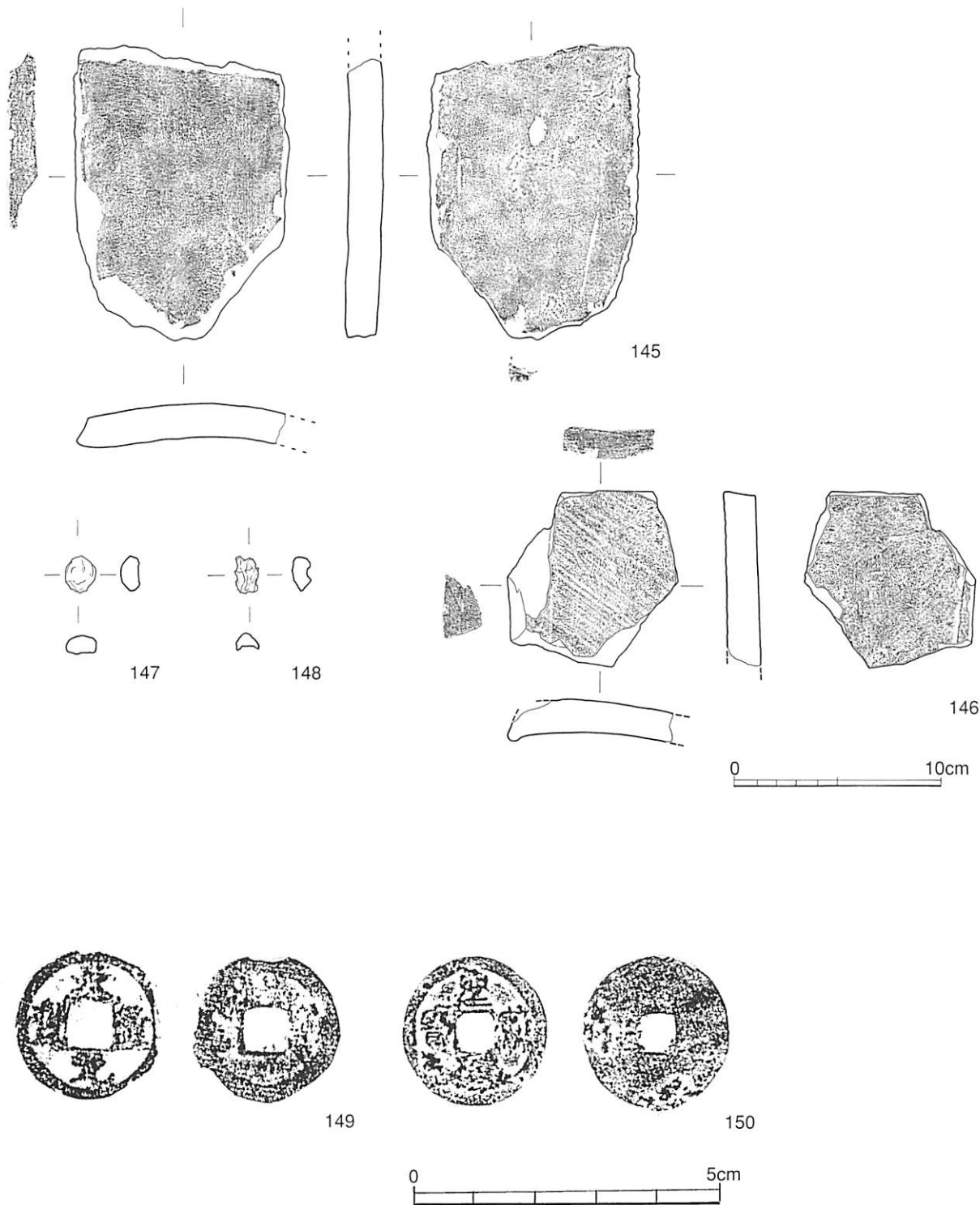


第517図 SD103出土遺物実測図⑨ (1/3)



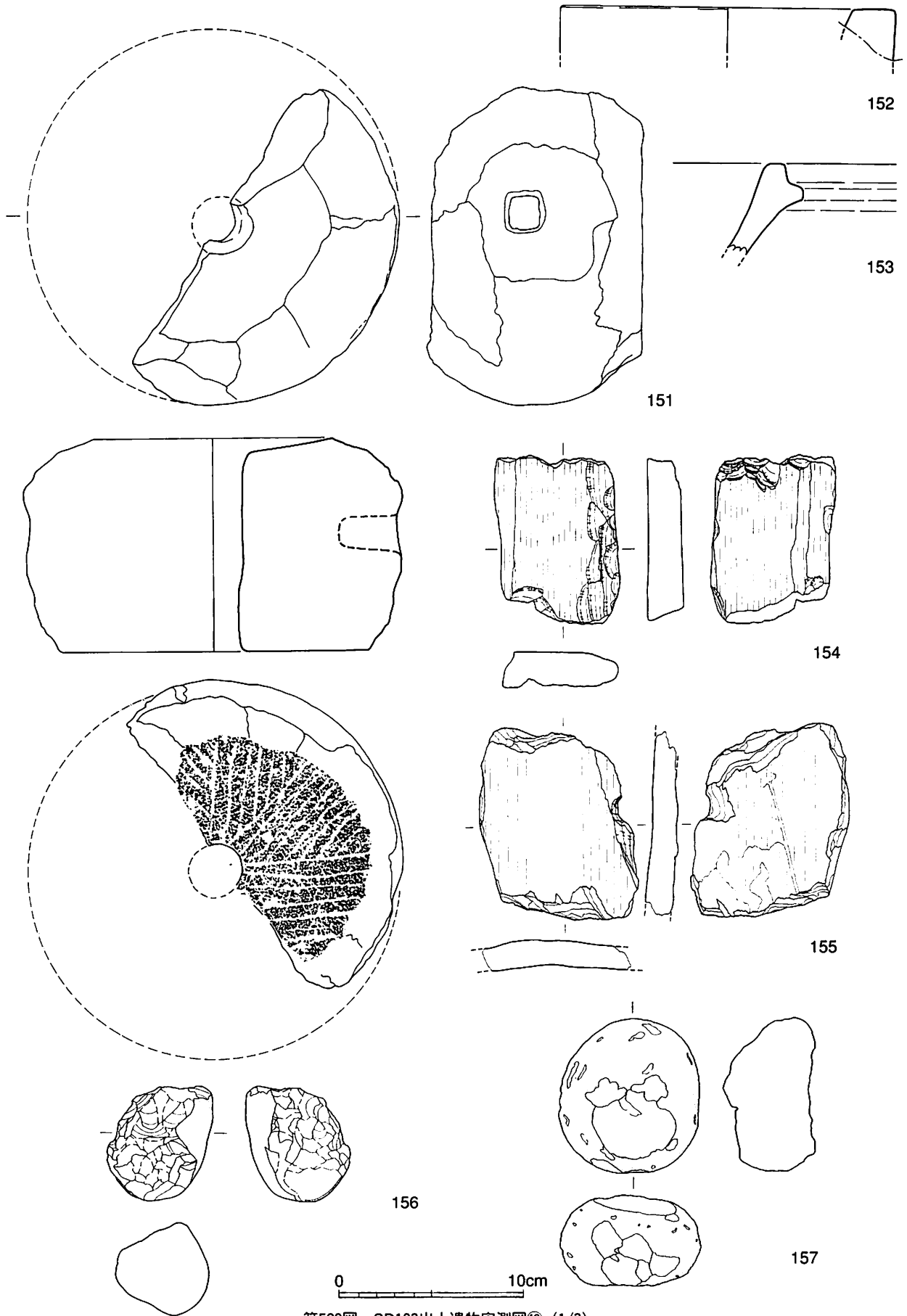
0 10cm

第518図 SD103出土遺物実測図^⑩ (1/3)

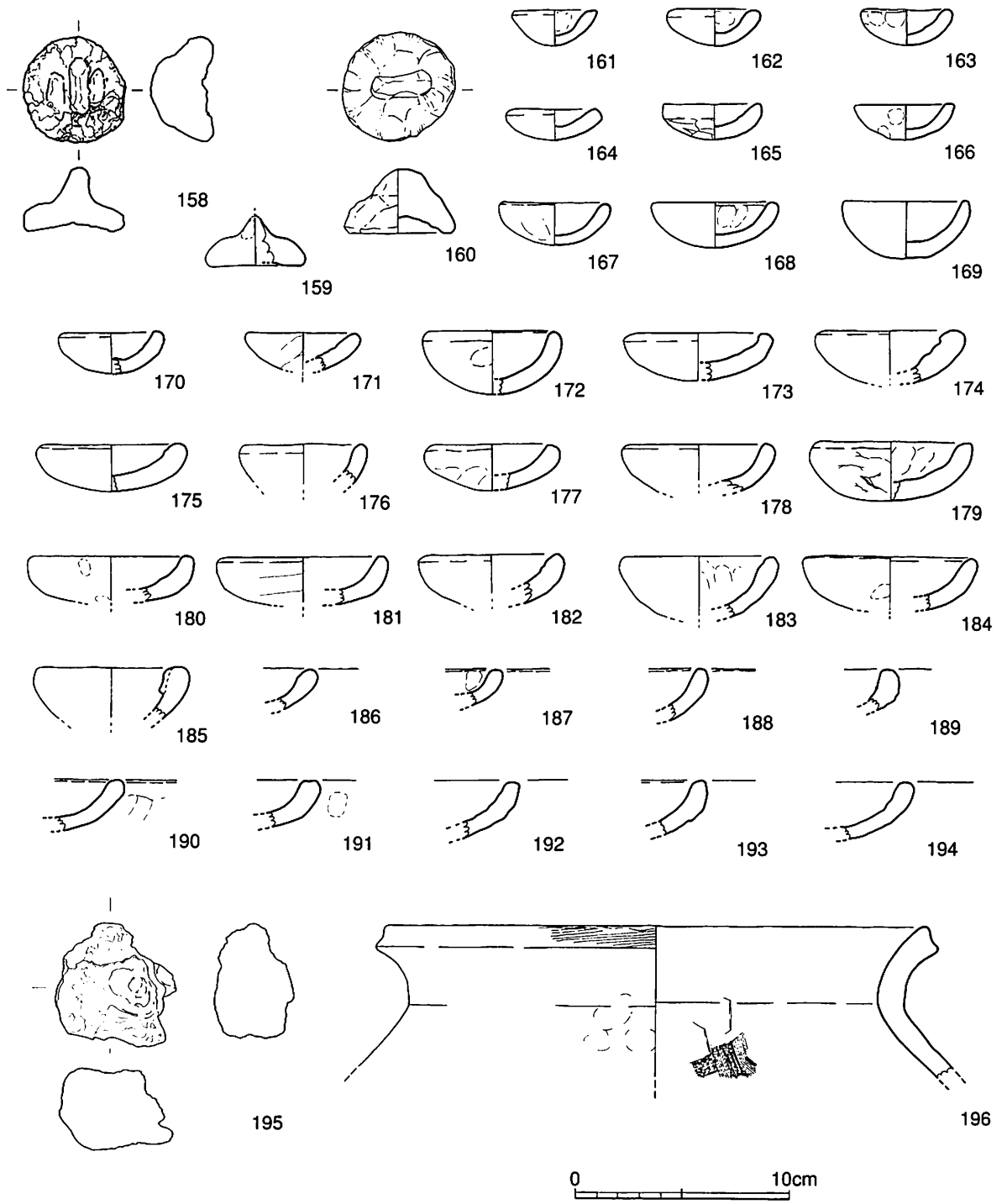


第519図 SD103出土遺物実測図① (1/3、1/1)

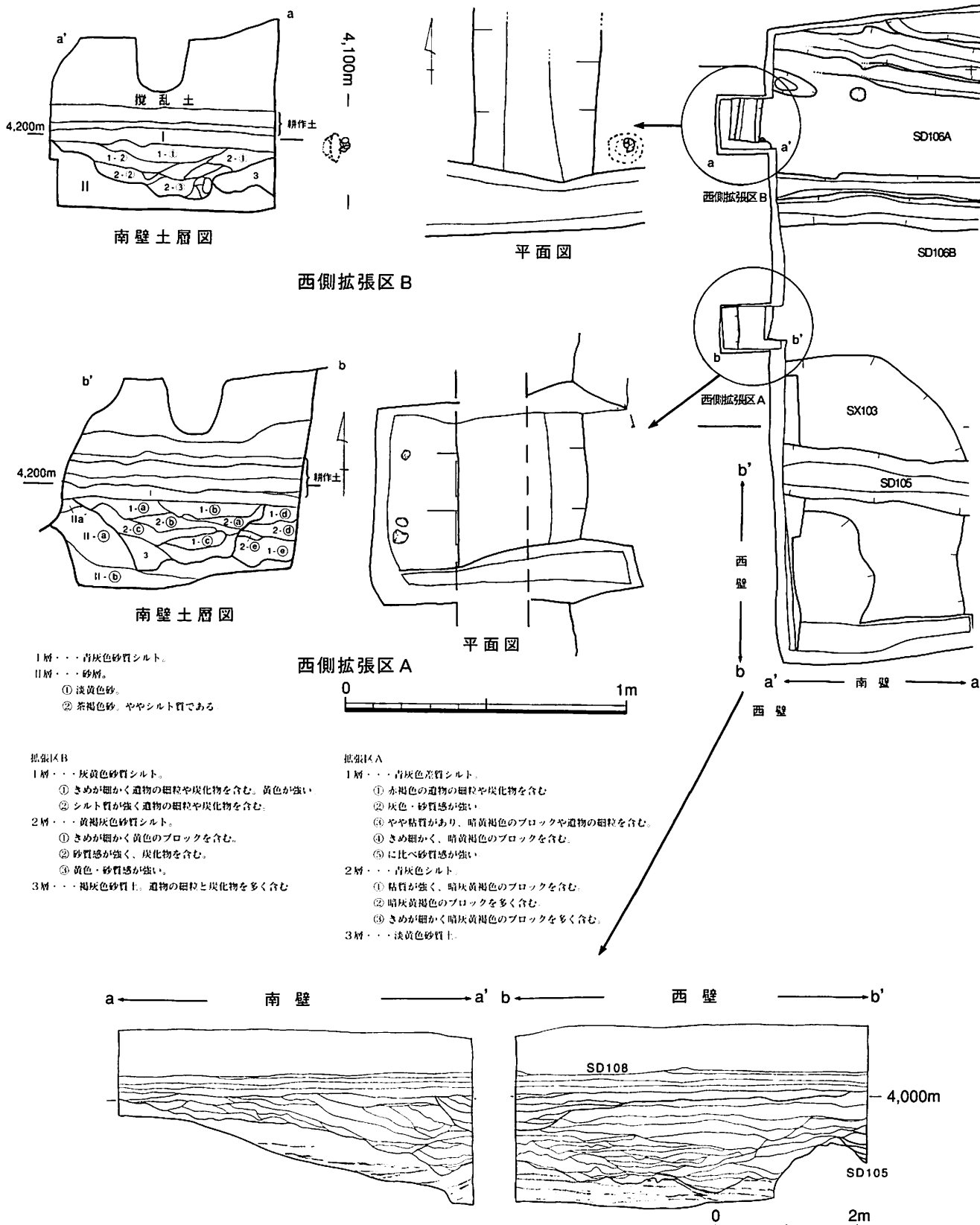
石英の火打石、157は敲き石であるが、154～157は縄文時代など時代を遡る遺物であり、明らかに混入品である。158～194は埴塼である。158・159・160は摘みの付いた蓋でその他は身である。身については、3法量に分かれており、内面にはガラス状の物質や青灰色の物質、胴などの付着物が残存する。いずれも手捏ね製で指頭圧痕が内外面に残る。195は碗型鉄滓、196は須恵器の甕の口縁



第520図 SD103出土遺物実測図② (1/3)



第521図 SD103出土遺物実測図⑬ (1/3)

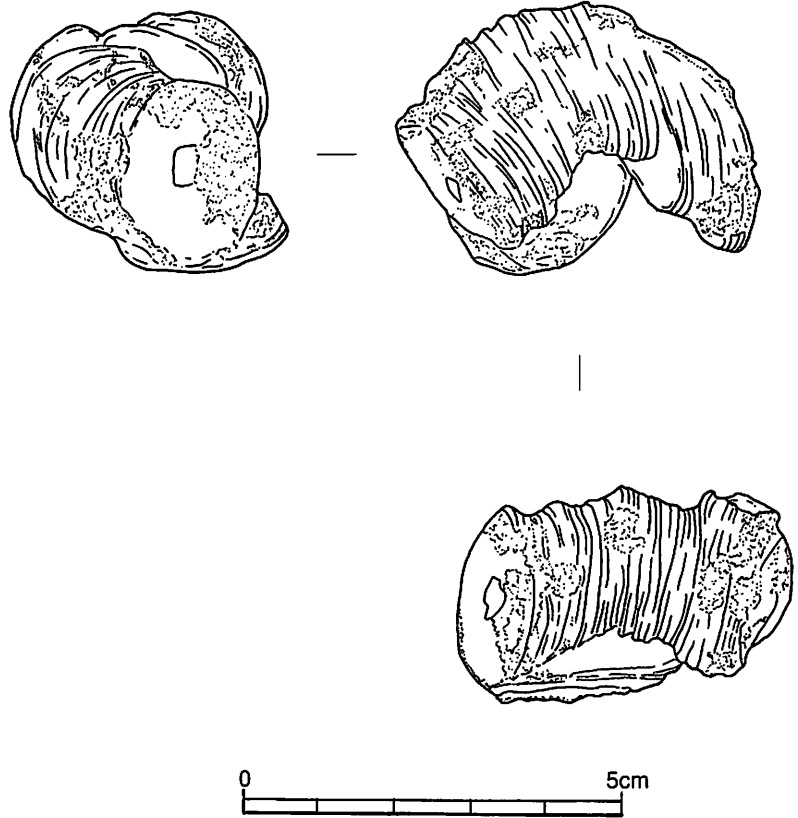


第522図 SD108平面図 (1/20) 及び土層断面図 (1/80)

SD108

部である。

SD108（第522図） 調査区西端B15区のS X 106の土層調査で確認した溝状の遺構である。土坑の可能性もあるため、調査区西端を一部拡張して確認調査を行い、延長と思われる溝を確認した。調査区外のため全体的な様相は確認できなかったが、現状では、幅約0.8m、深さ0.3mの箱掘り状の溝が現道の下を南北方向に走る様子うかがえる。



第523図 SD108肩出土遺物実測図（1/1）

出土遺物（第523

図） 拡張区Bの溝の肩付近で奉書紙に包まれた30～

銅銭

40枚の銅銭が不明瞭な土坑状の掘りこみから出土している。なお、土層観察の結果、この遺構はSD105が埋まった後に掘り込まれ、遺構検出面で確認できることから、16世紀後葉の所産と考える。

15世紀の溝状遺構

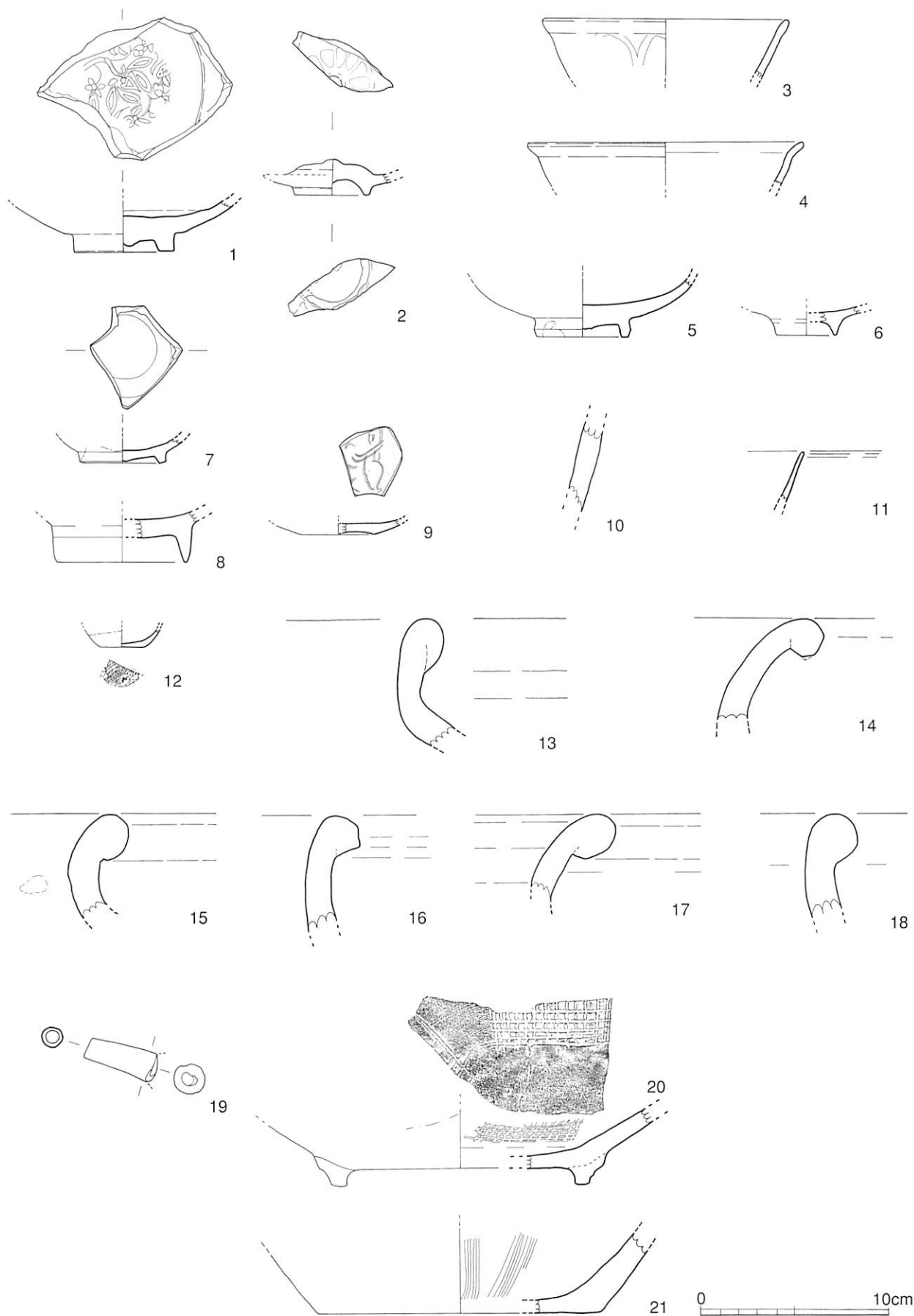
SD101

SD101（第501図） 調査区西側のほぼ中央で検出した。主軸をW-8° -Nにとり、東西方向に走る。現状で長さ約53m、幅は約2.6m～約3.8mを測り中央部分で最大となる。また、深さは約0.9m～約1.8mを測り、東端に近づくほど深くなる。いわゆる「葉研掘（やげんぼり）」の形態を呈しており、中央部ではさらに幅約0.2m、深さ約0.4mの箱堀が施されているなど、溝や水路というよりも「堀」の可能性が高い。覆土の土層観察では、溝上部は削平されており、土塁の存在や、本来の掘方は確認できなかった。また、底部から0.6m前後は砂層やシルト層が徐々に堆積した様子が認められ、緩やかな水流があった様子うかがえるが、上層については、埋土に地山ブロック（黄褐色ブロック）を含み硬くしまっていることなどから、埋戻しに伴う埋土であると思われる。

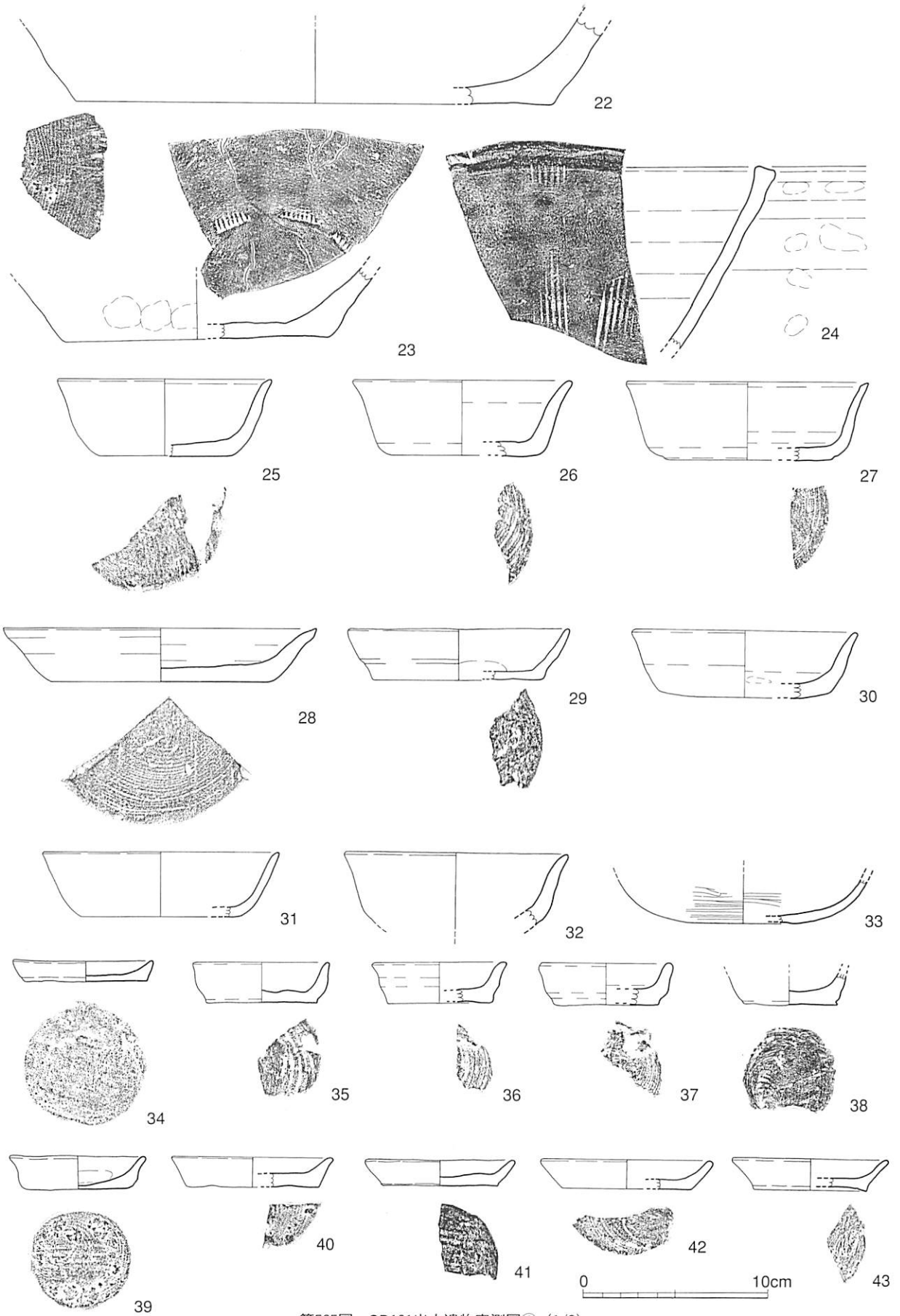
出土遺物

出土遺物（第524～533図） SD101からは陶磁器類や土師器類などを検出したが、大半は小破片であった。また、釘等の鉄器や鉄滓も認められた。しかし京都系土師器や赤褐色系の在来系土師器等は出土していない。

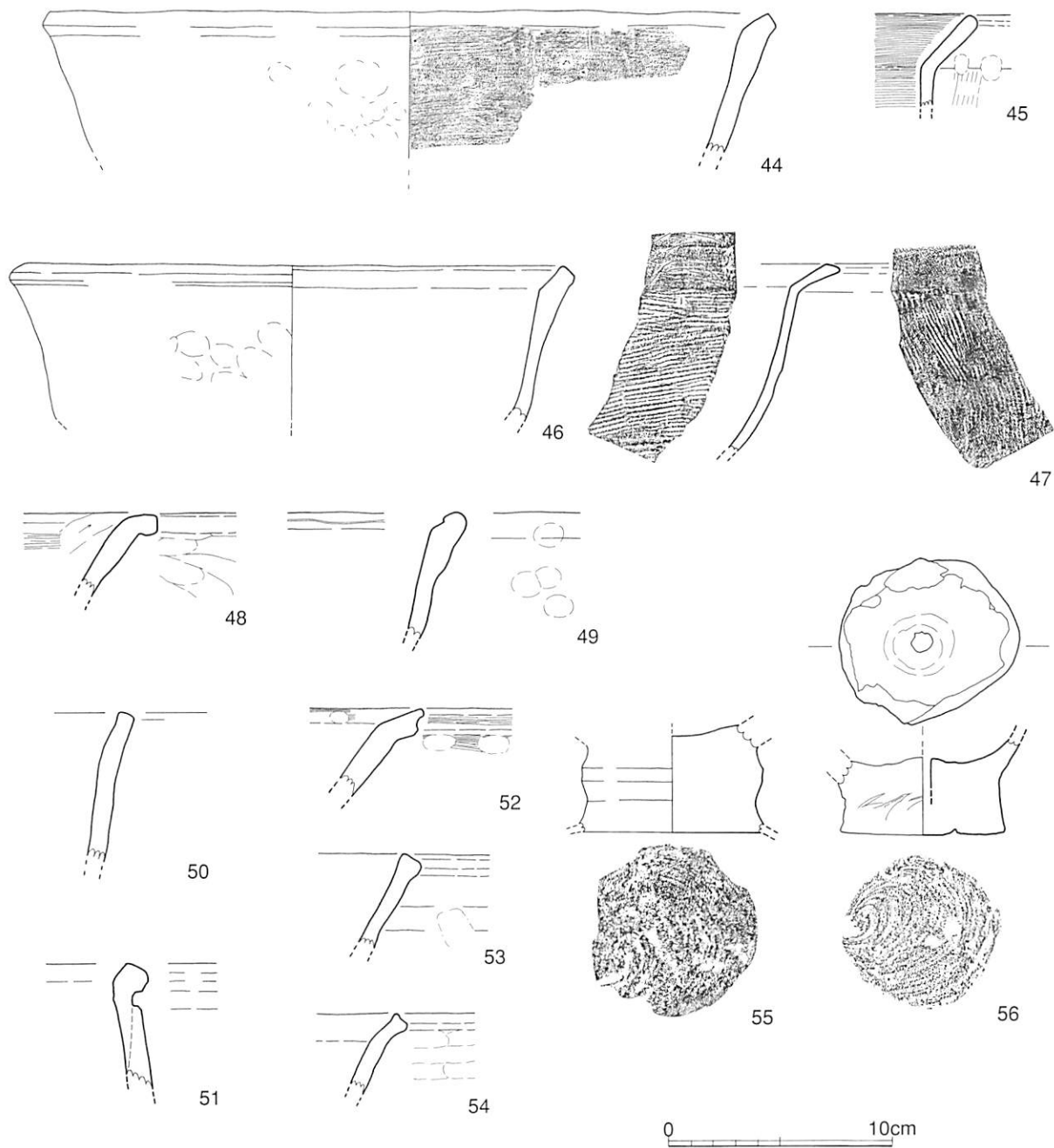
1～8は青磁および白磁片である。1は白磁の塊で、内面見込み部には印花による花文のスタン



第524図 SD101出土遺物実測図① (1/3)

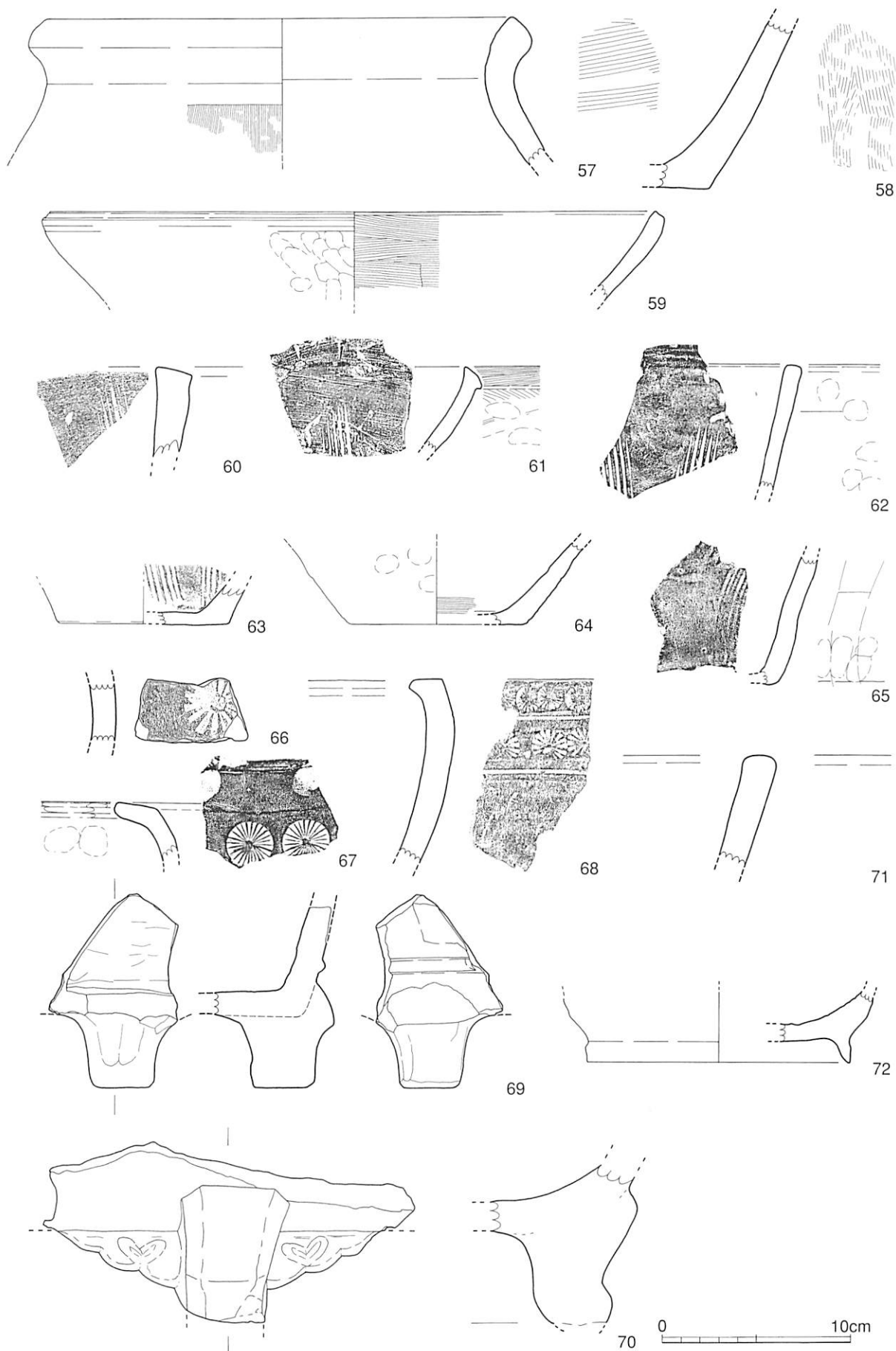


第525図 SD101出土遺物実測図② (1/3)

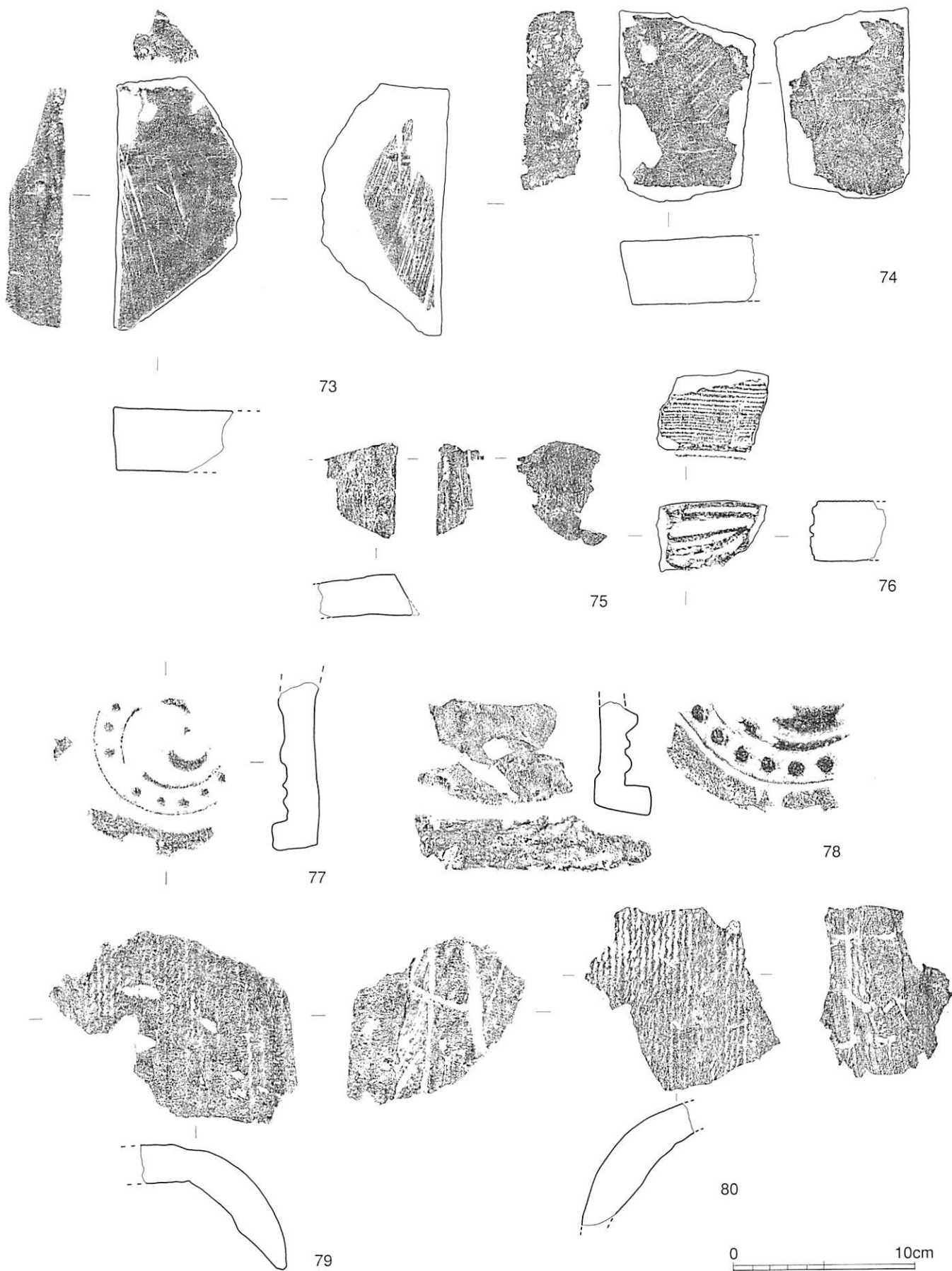


第526図 SD101出土遺物実測図③ (1/3)

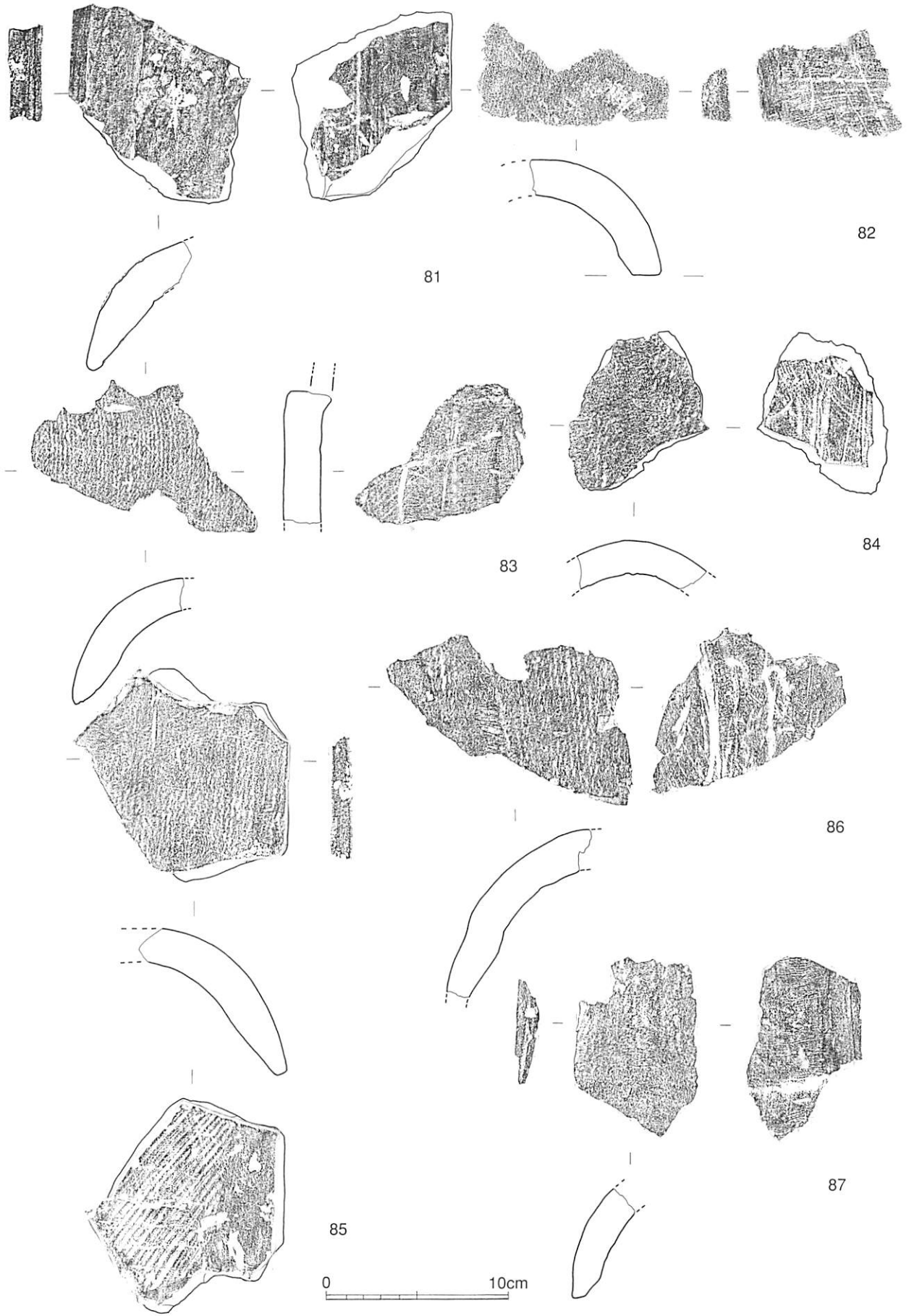
ブが施され、わずかに文様部分には朱色が認められる。内面は釉薬されるが、底部外面および高台部には施釉は認められない、いわゆる森田B類に属す。2は上層から出土した青磁の蓋である。外面には印花による菊花文をスタンプする。内面には施釉は認められない。3は蓮弁文青磁碗の口縁部片である。外面には片切彫りの蓮弁文が施され、内・外面とも施釉されている。4は青磁の端反り碗の口縁部である。5は青磁碗の底部である。内面には施釉されているが、高台下部外面、畳付および高台内には施釉されない。高台下部外面は斜めの面取が施される。6は青磁小皿の底部である。内・外面ともに施釉されているが、高台下部外面は茶褐色を呈し畳付及び高台内は施釉されない。7は白磁碗か。内・外面ともに施釉されているが高台下部外面、畳付および高台内には施釉されない。また内面見込み部には釉剥ぎが施される。8は白磁碗の底部か。内・外面ともに施釉されるが、高台端部外面および高台内には施釉されない。9は白磁の皿か。内面には片切彫りで花鳥



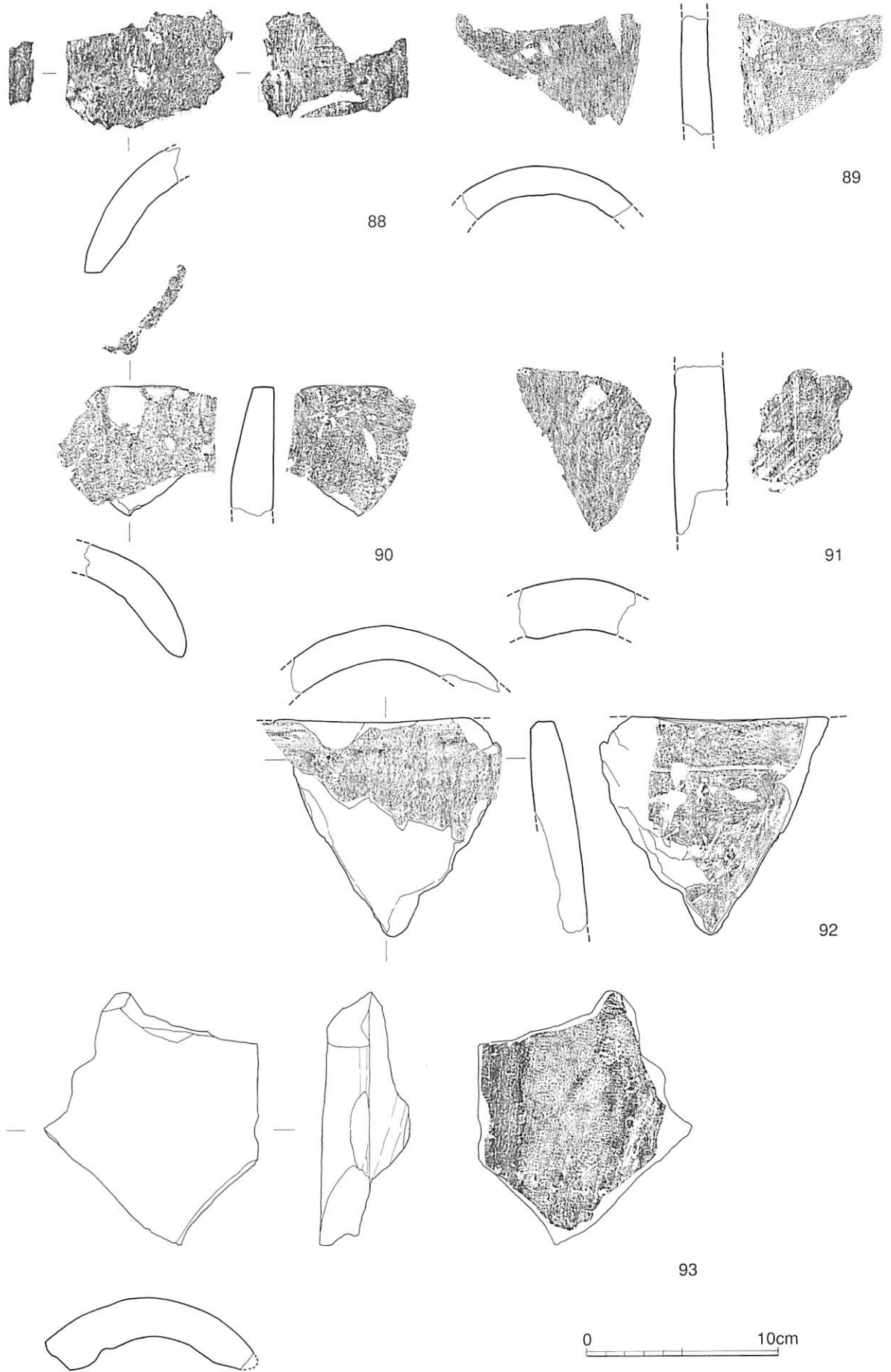
第527図 SD101出土遺物実測図④ (1/3)



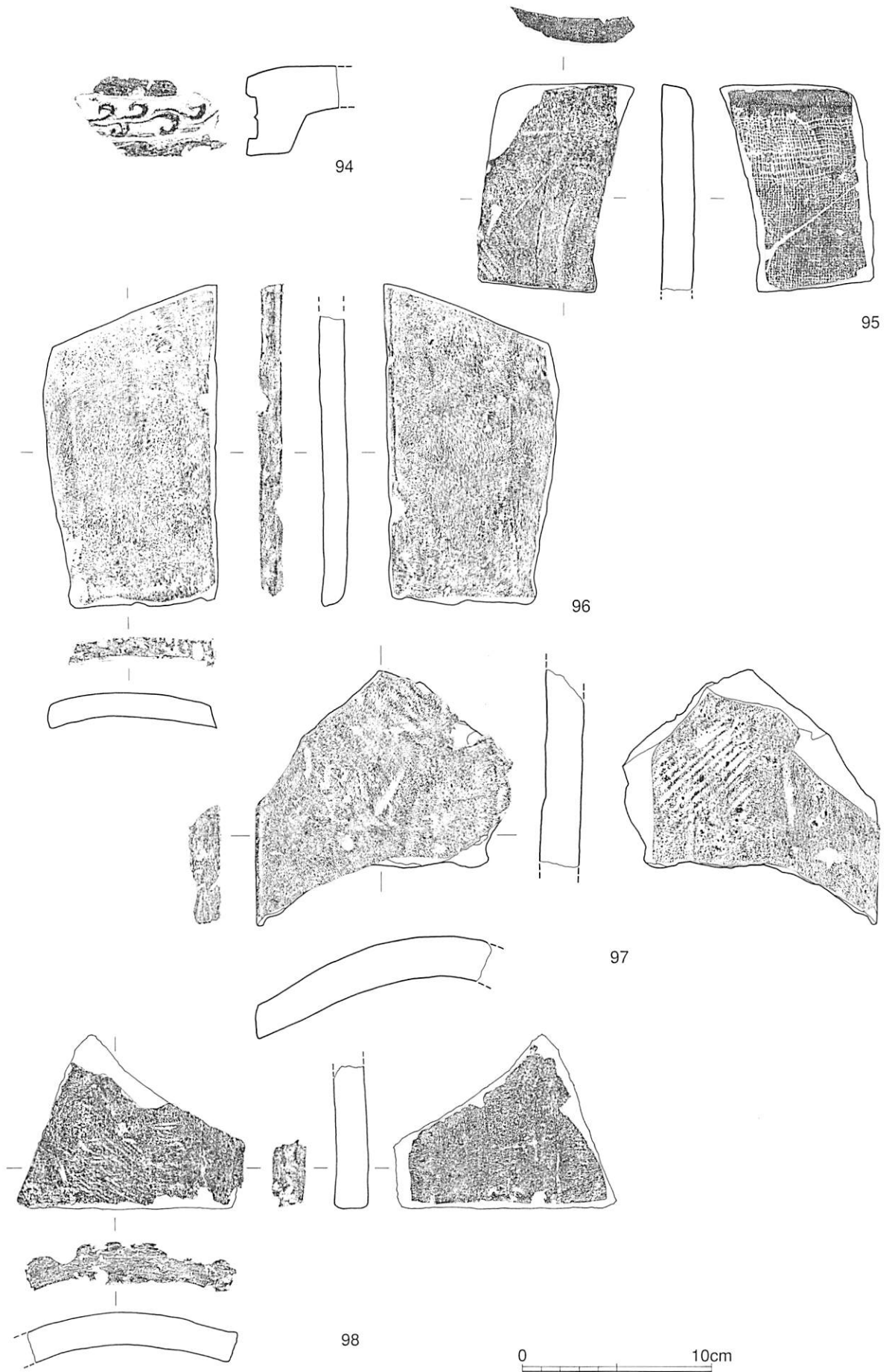
第528図 SD101出土遺物実測図⑤ (1/3)



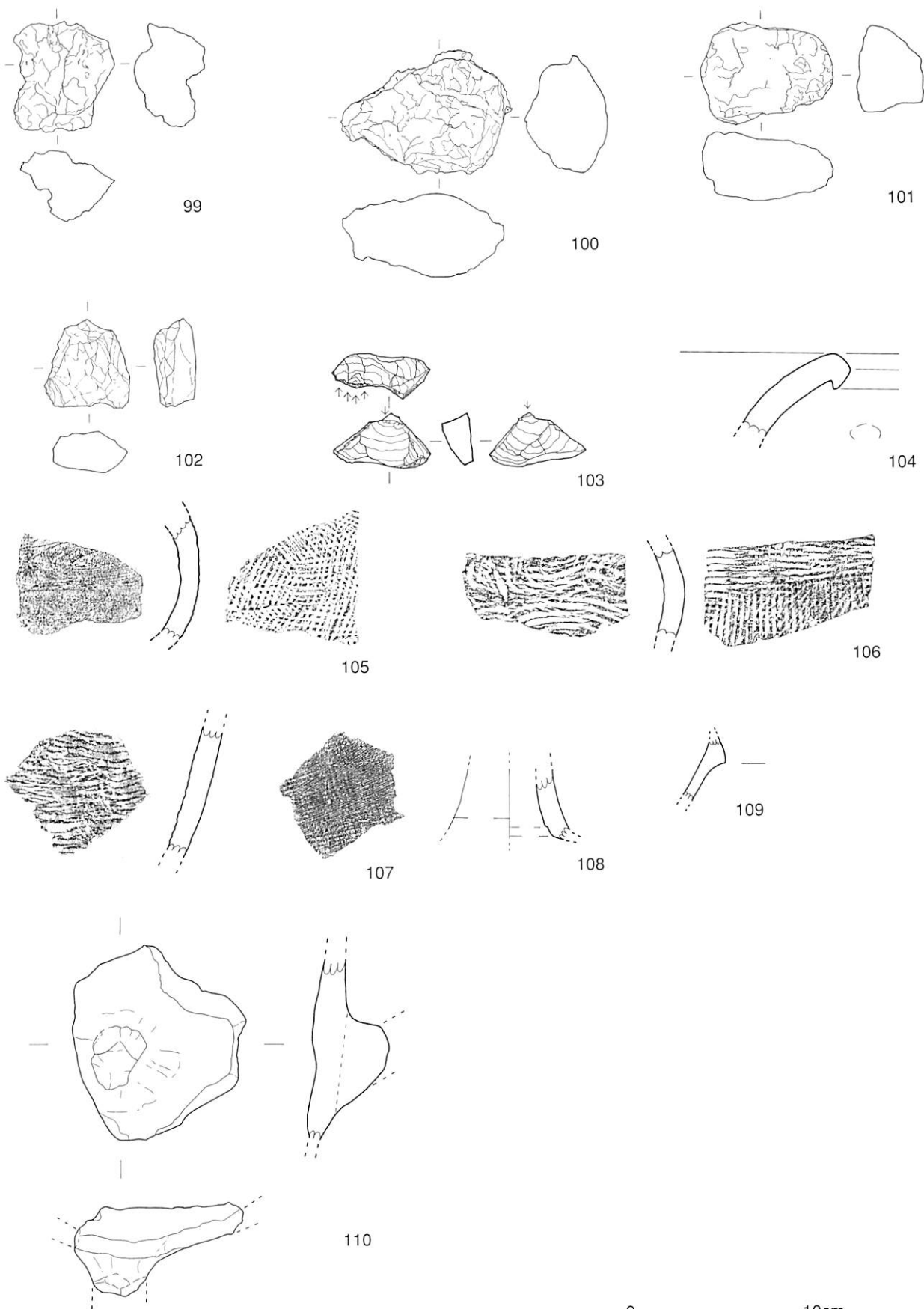
第529図 SD101出土遺物実測図⑥ (1/3)



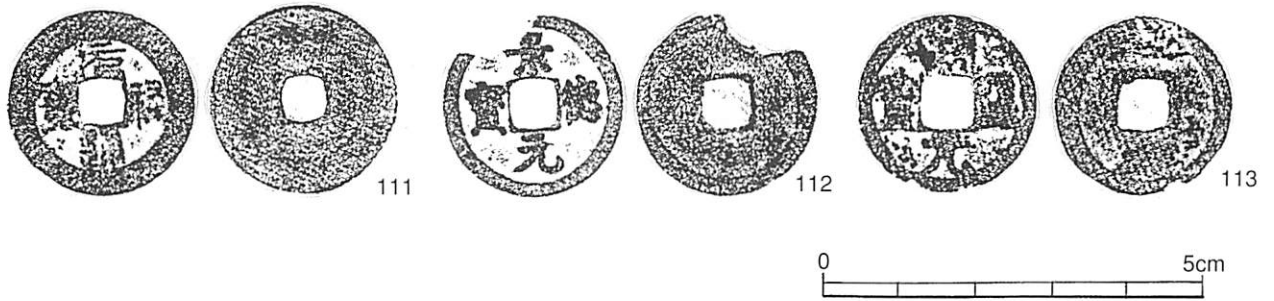
第530図 SD101出土遺物実測図⑦ (1/3)



第531図 SD101出土遺物実測図⑧ (1/3)



第532図 SD101出土遺物実測図⑨ (1/3)

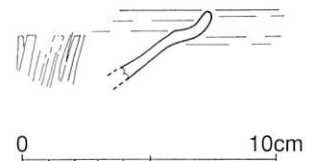


第533図 SD101出土遺物実測図⑩ (1/1)

文が施される。底部は碁笥底（ごけぞこ）であり、底部内面に一部釉がまわる。10・11は青磁の口縁部片、胴部片である。いずれも内・外面に施釉される。12は中国製の茶入れの底部である。糸切り底で外面底部付近まで鉄釉が施される。13～18は口縁が頸部の短い玉縁の備前焼大甕である。14と16については口縁外面の上縁と下縁に稜が形成されるが、まだ扁平化は進んでおらず中世3期に相当する。19は備前焼水柱の口先片である。20～23は播鉢である。20は瀬戸美濃系の脚付卸皿か。体部内面に格子目状のスリメが存在する。21～23は備前系焼締陶器で、いずれも底部片である。いずれも底部内面のスリメの条数が6本程度であることから、大甕同様に中世3期に属するものであろう。24は瓦質の播鉢で、口縁端部が肥厚する防長系の播鉢であろう。25～43は在地系土師質土器である。25～33は坏、34～43は小皿である。28は体部立ち上がり部に強いナデが施されており、その結果、端部付近が肥厚する14世紀後葉の特徴を残しているが、その他の坏は端部が外反する15世紀前葉の特徴を有す。小皿についても底部が体部に比べて肥厚するものも含まれており、やはり15世紀前葉のものであろう。なお33については9世紀前半の都城系土師質土器坏Dであり混入品であろう。43～54は土師質土器の土鍋の口縁部及び口縁部片である。49・53は口縁部が直線的に伸び、その他は口縁部が「く」の字状に外反する。55・56は灯火具の燭台である。57～68は瓦質土器である。57・58は東播系の甕の口縁部と底部であろうか。59～65は播鉢の口縁部及び底部で、58・59は口縁端部内側が、やや肥厚する防長系の播鉢である。14世紀後葉のものか。66～70は火鉢である。66～68は浅鉢形で口縁部外面には菊花文が押印される。67・68の口縁部は内側へ突出する。69・70は獸脚である。71は風炉の口縁部、72は小型のもので香炉と思われる。これらの火鉢については、口縁部に突帯を巡らせていなく、少なくとも15世紀前半代までには取まるものと考え。73～74は搏である。表はナデ仕上げであるが、裏面にタタキ痕が残る。75は小片のため器種は不明であるが搏か。76～98は瓦である。77・78は丸瓦の左巻三巴連珠紋瓦当である。79～93は丸瓦であるが、79～88の表は縄目タタキ後ナデ仕上げが施され、裏面には布目痕が残る樽作りの瓦である。90～93には縄目タタキ痕は認められず、91・92にはコビキAが認められる。94～98は平瓦で、94は軒平瓦の唐草紋瓦当である。いずれも表裏ともにナデ仕上げであるが、95には布目痕が、97にはコビキAが認められる。99～101は椀型滓であり中世段階のものか。102・103は火打石であるが時期は不明である。104～109は須恵器で104は甕の口縁部片、105～107は胴部片である。108は高坏の脚部、109は口縁部片である。110は古代の甌の把手部分であり、火打石を含め、須恵器や甌については遺構に伴うものではなく混入品であろう。111～113は銅銭である。

SD102

SD102 (第501図) SD101と同様に調査区西側のほぼ中央で検出した。SD101が埋戻された後、SD101に平行するように上面に掘り込まれている。主軸はSD101とはほぼ同様であり、現状で長さ約35.5m、幅が約1m～約1.5mを測り、中央付近で最大となる。深さは約0.2m～約0.6mでやはり中



第534図 SD102出土遺物実測図 (1/3)

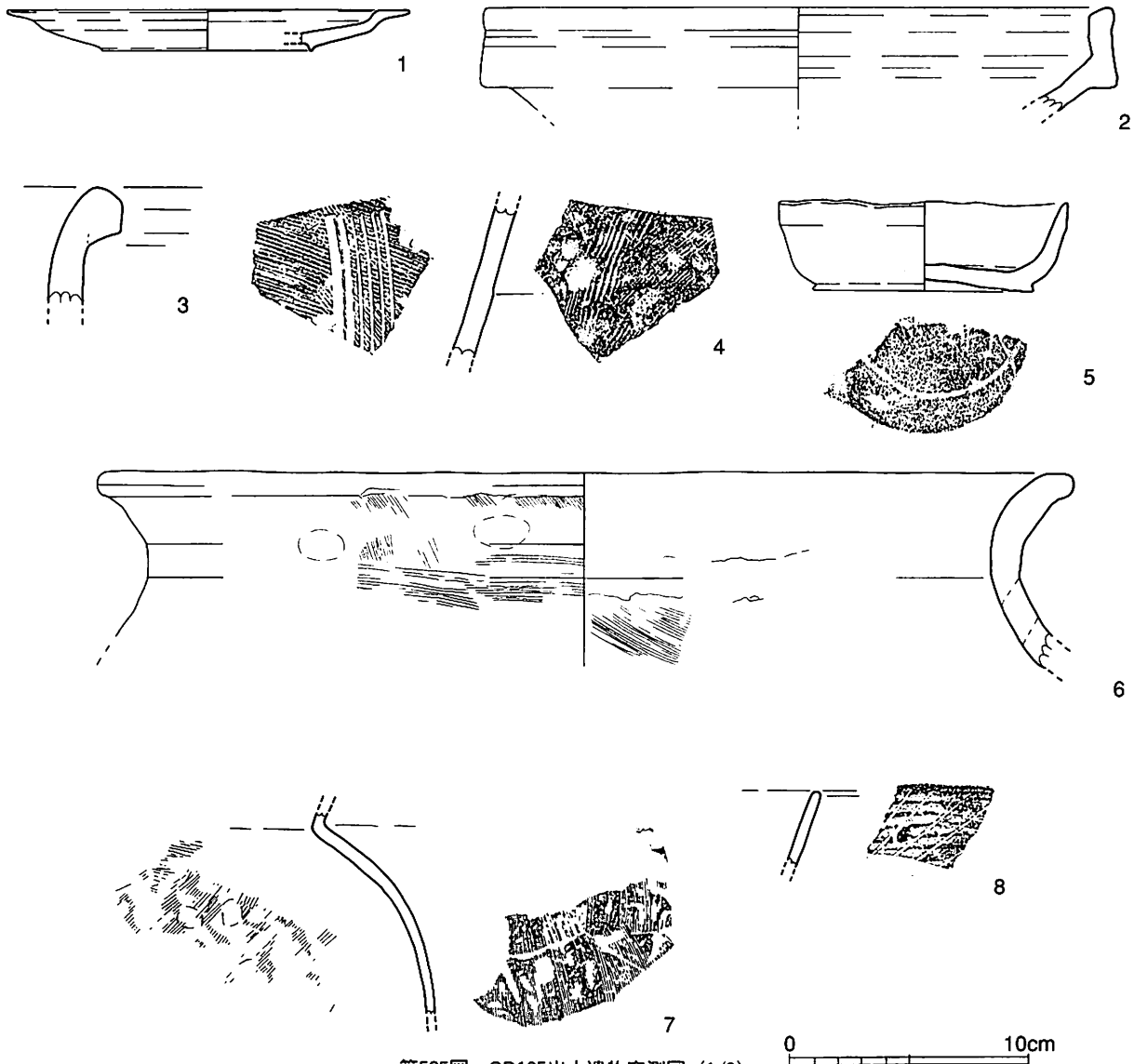
央付近で最大となる。覆土の土層観察では、底部付近に約0.1mのシルト層の堆積が認められるが、中層及び上層の埋土は埋戻しに伴う埋土であることから、長期間使用された痕跡は認められない。遺物は青磁皿が1点出土した。

出土遺物

出土遺物 (第534図) 1は内面に蓮弁文を持ち、口縁部を「く」の字状に外反させ更に端部を上方に引き上げた青磁皿の口縁部である。全体的に端部の形状に鋭さが無く15世紀前後のものであろう。

SD105

SD105 (第506図) 調査区西側中央で検出した。主軸をW-3° -Nにとり東西に走る。現状で長さ約36m、幅は約1m～約1.8mを測り中央部分で最大となる。また、深さは約1mを測り、西側は上部の削平が激しいため浅くなるが、基本的には東になるほど深くなる。また、西側は砂層に掘り込まれているため不定形な形状を呈すが、東端では幅が0.25mの平坦な底面が認められ箱堀状の溝であった可能性が高い。中層に地山ブロック(褐色ブロック)を含むなど覆土の土層観察では、2度の埋戻しと掘り直した状況が看取でき、また底面から0.2～0.25mほどに砂の堆積が認められることから、若干の水流があったものと思われる。他の遺構と同様に遺構上面の削平が激しく土塁の存在や、本来の掘方は確認できなかった。内部からは縄文時代や古墳時代の遺物を含む若干



第535図 SD105出土遺物実測図 (1/3)

の遺物が出土している。

出土遺物

出土遺物 (第535図) 1は白磁皿である。口縁部が「く」の字状に外反する。2は備前系焼締陶器播鉢の口縁部で、口縁外面に稜が認められることから乗岡中世3期に相当する。3は備前系焼締陶器大甕の口縁部で端部に強いナデが認められることから乗岡中世6期aのもので、4は外面にハケ目が残る周防系の播鉢であろう。5は在地系土師質土器の坏で、体部がやや内湾気味に立ち上がり、先端が尖り気味に立ち上がることから14世紀中葉～後葉のものであろう。6は瓦質土器の東播系の大甕か。7は弥生土器の甕、8は縄文時代後期の鉢である。

SD106

SD106 (第506図) 調査区西側南で検出した。中央付近でやや南に膨らむがSD101とほぼ平行するように東西に走るSD105Aと、主軸をW-4°-Nにとり東西に走るSD106Bに分けられる。SD106Aは現状で長さ約42.5mを測るが、覆土の土層観察から少なくとも4回の掘直しが確認できた。これらの溝はC19区でSD106Bと交差し約5°～10°北寄りに向きを変え、掘直しの度に溝が南寄りに移行している。このSD106Aを構成する5本の溝の底面には若干の砂層とシルト層が確認でき、若干の水流があったものと考えられる。

SD106Bについては、ほぼ真っ直ぐに東端へと延びる。長さは約51mを測り、覆土の土層観察から2回掘直しが確認できた。SD106Aと同様に掘直しの溝は南側に存在する。それぞれの溝の底部には砂層やシルト層は確認できないことから恒常的に水流が存在した可能性は低い。

第6表 SD106計測表

遺構番号	幅(m)	深さ(m)
SD106A 1	—	0.5～0.55
SD106A 2	—	0.49～0.55
SD106A 3	—	0.7～0.84
SD106A 4	—	0.86～0.9
SD106A 5	—	0.63～0.7
SD106B 1	0.43	0.15～0.2
SD106B 2	—	0.24～0.27

出土遺物

出土遺物 (第536～538図) SD106A・Bからは14～15世紀を中心とした遺物が出土している。SD106Bについては特に遺物の時期幅が広いが、遺物が集中する調査区中央部分でSD106Aと重複し、掘直しが複数回行われているため遺物がシャッフルされており、SD106AとSD106Bで明確に遺物を区別することは困難であった。しかし、SD106Bと平行するSD101、SD102からは15世紀後半の遺物は出土していないことなどから、基本的には古い時期の遺物がSD106Bに伴うもので、14世紀後半から15世紀前半にかけての所産である可能性が高いと判断した。まずSD105Aから出土した遺物であるが、まず、1～4は磁器類である。1は中国景德鎮窯系の青花皿の底部、2は青磁碗の口縁部、3は華南三彩の小片であるが器種は不明である。5は白磁碗の底部であるが、内面見込み部には印花による花文のスタンプが施される、いわゆる森田B類に相当する。6・7はいずれも備前系焼締陶器である。6は大甕で、口縁の玉縁は扁平化し頸部が直立気味であることから乗岡中世5期aに相当、7の口縁部は不明であるが、スリ目の条数が6本程度であり、中世3期aの頃のものであろう。8～11は在地系の土師質土器の坏である。8・9は坏、10・11は小皿である。全体的に外開きであり8にはロクロナデの跡が認められることからこれらの一群は15世紀後葉のものであろう。13～15は瓦質土器で、12は瓦器碗の口縁部、13～15は火鉢の口縁部である。13には「X」字型のスタンプが施される。14は丸鉢タイプで口縁部外面に2条の細い突帯を巡らし、その間には銭型の文様がスタンプされる。15は深鉢タイプで口縁端部内面がわずかに突出しており15世紀前葉～中葉のものであろう。16は平瓦片である。17・18は碗型滓である。19～21はいずれも古代の土器で19は甌の把手部分、20・21は須恵器の高台付坏で、高台が底部端に近いことから9世紀前半のものであろう。次にSD105Bから出土した遺物であるが、1は青磁碗の口縁部で、

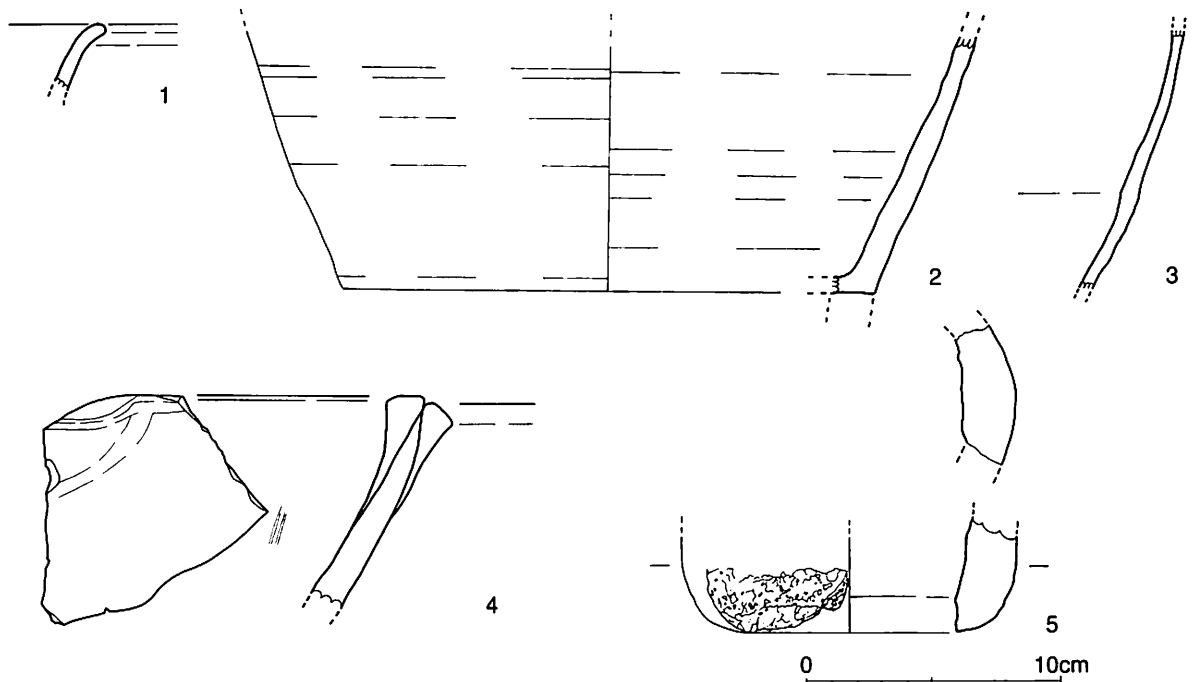


第536図 SD106A 出土遺物実測図 (1/3)

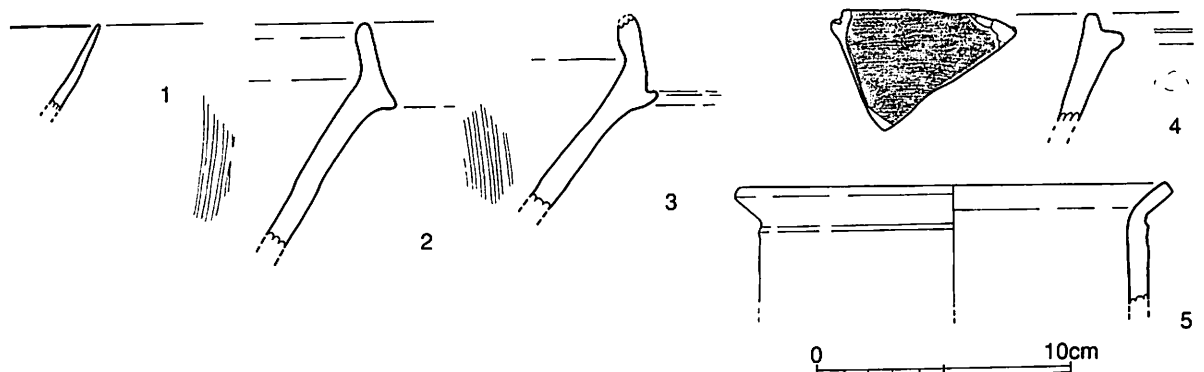
端部が外反する。2は産地不明の鉢の底部である。東南アジア産か。3も東南アジア産か。器種は不明である。4は備前系焼締陶器で片口播鉢か。5は鞆の羽口である。羽口の外面にはススやガラス状のものが付着する。次はSD105一括で取り上げた遺物である。1は朝鮮産の粉青沙器の胴部片である。2・3は備前系焼締陶器の播鉢で、口縁下角の垂下が小さくてシャープなことから乗岡中世5期aに相当しよう。4は土師質土器の羽釜の口縁部である。5は古代の土器で甕の口縁部であろう。

SD107 **SD107** (第539図) 調査区中央D20区で検出した、調査時にはSX02としていた遺構である。幅1.2mを測り、SD101と同様に「薬研掘(やげんぼり)」の形態を呈しており、中央部ではさらに幅約0.2m、深さ約0.2mの箱堀が施されることから堀状遺構と判断した。

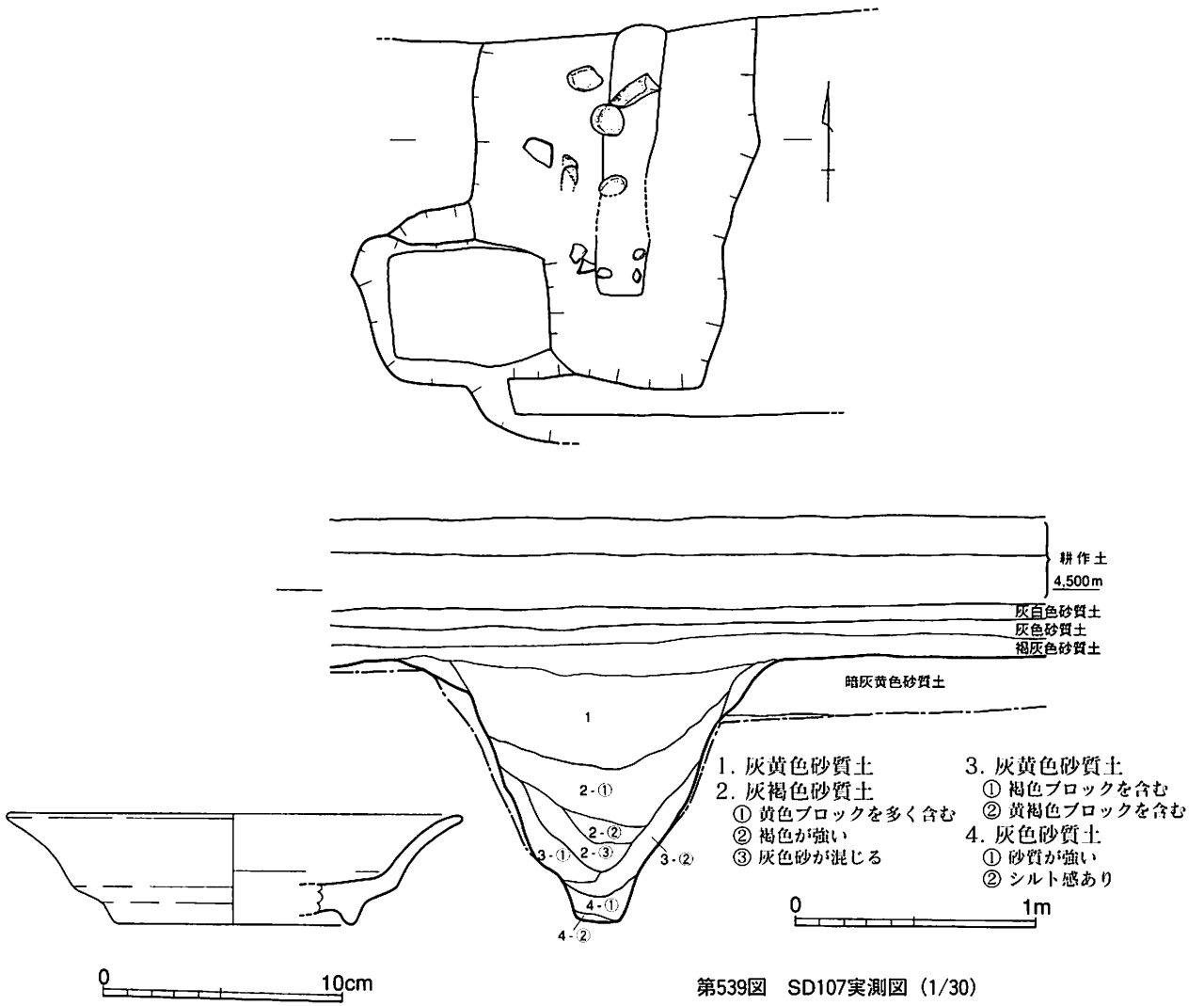
出土遺物 **出土遺物** (第540図) 1はSD107から出土した中国製の稜花皿である。高台内面まで施薬されていることから15世紀代のものである。



第537図 SD106B 出土遺物実測図 (1/3)



第538図 SD106一括出土遺物実測図 (1/3)



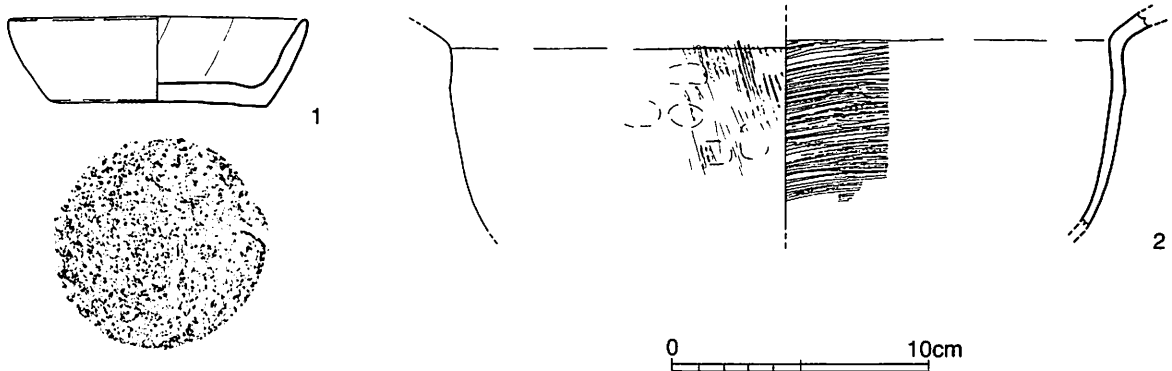
第539図 SD107実測図 (1/30)

第540図 SD107出土遺物実測図 (1/3)

14世紀の溝状遺構

SD104 SD104 (第501図) C・Dの21区で検出した南北に走る溝で、中央付近をSD101により切られる。底部の痕跡のため、本来の大きさは不明であるが、現状で約12m、幅約1mを測る。

出土遺物 出土遺物 (第541図) 1は在地系土師質土器坏である。直線的に伸びる部は端部でわずかに肥厚し尖り気味に仕上がる。径もやや小さく14世紀前葉ごろのものであろう。2は土鍋である。内面にハケ目が施される。



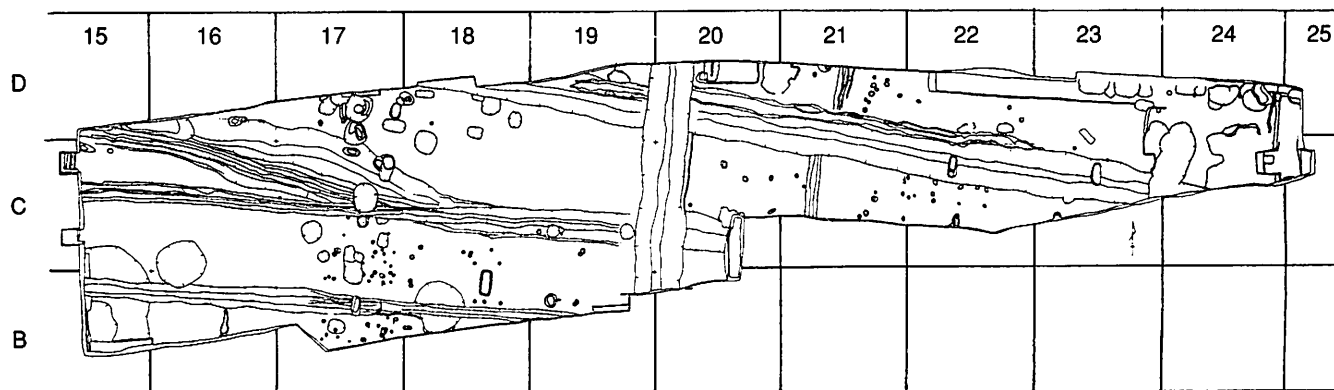
第541図 SD104出土遺物実測図 (1/3)

Ⅲ. 土坑について (第542図)

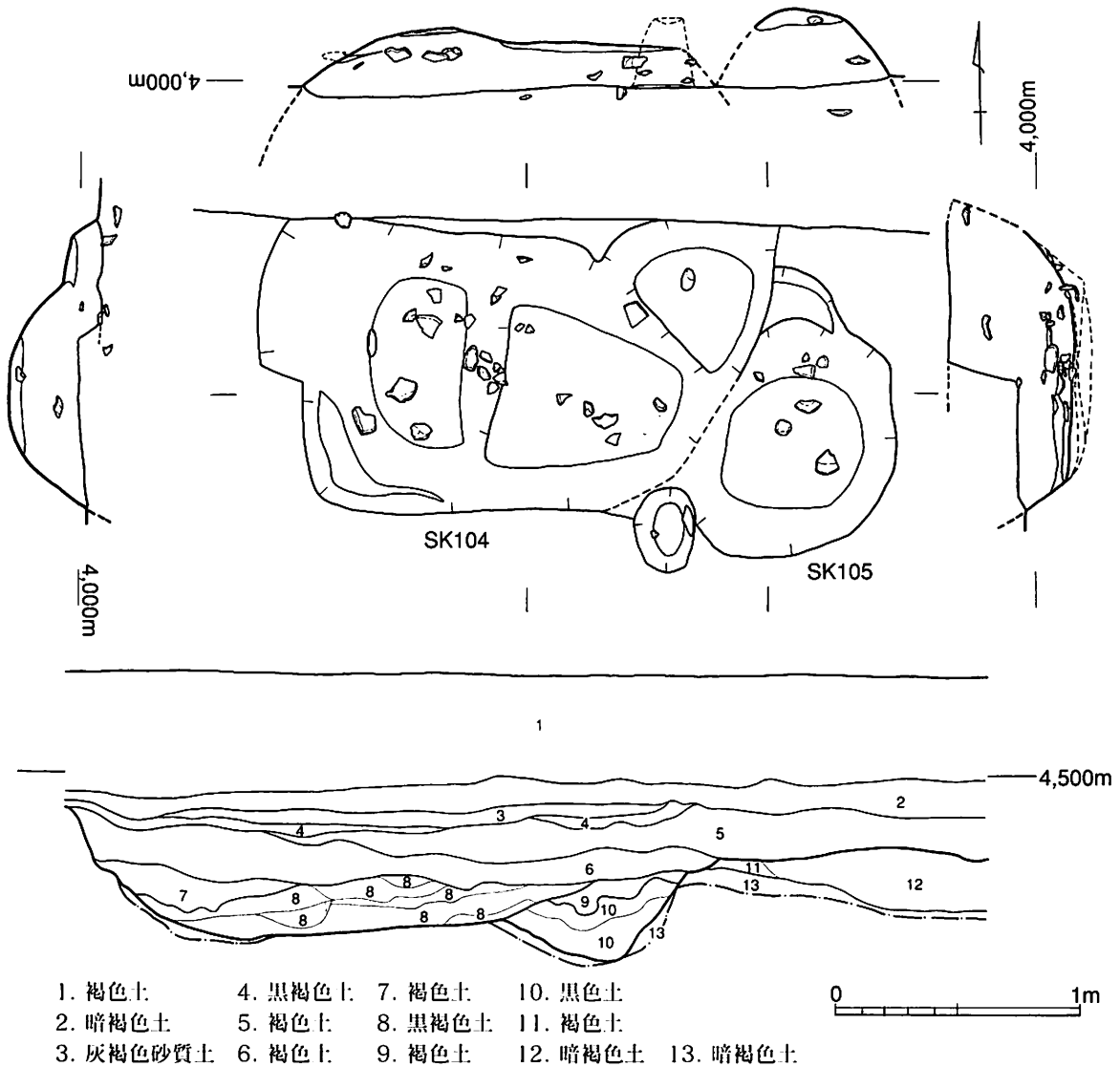
概説 中世大友府内町跡第8次調査区では、中世の土坑として第542図のように48基の土坑を検出した。いずれも出土した遺物から14世紀～16世紀後半の遺構である。

土坑 16世紀の土坑については、いずれも3期の京都系土師器を中心とした遺物が出土することから16世紀後葉～末の土坑であり、調査区東のD23・24区に東西方向に並ぶように集中するが、15世紀末から16世紀前葉の在来系土師質土器や京都系土師器を含む土坑は確認できなかった。また15世紀の土坑については15世紀初頭～前葉の在来系土師器の小皿や坏、雑器が出土しており、西側に集中するが、15世紀末の在来系土師質土器を含む土坑は検出していない。14世紀の遺構については在来系土師質土器や小皿を含む土坑が中央北側に集中する。遺構の配置で特徴的なのは14世紀及び16世紀であり、その配置関係から周辺に何らかの区画や施設が存在した可能性を示唆するような状況が看取できる。また、土坑の性格についても時期差が認められる。16世紀の土坑には埋土に遺物のほかに焼土や焼けた礫を含むなど火災処理と思われる土坑が中心であり、15世紀の土坑は焼土が確認できず、出土した遺物に雑器類が入ることから廃棄土坑の性格が強い。14世紀の土坑については大型で深く、出土遺物も在来系土師器の坏や小皿が中心となるなど、単なる廃棄土坑というよりも祭祀もしくは儀式に伴う土坑の可能性が強い。このように時期差に伴い、遺構配置や土坑の性格の違いが認められる状況は、当然、大友館の成立や大友府内町の形成・変遷に伴う可能性が高く、特に溝状遺構と同様に、15世紀後葉～16世紀前葉の遺構が存在しない状況は、この空間が大友館の南に位置することからも、大友館の変遷を解釈していく上で重要なポイントとなるであろう。いずれにしても土坑だけでなく他の遺構と共に総合的に判断・解釈していくことが、大友館の南としてこの第8次調査区の空間が果たす役割を明確にする上で肝要であると考えられる。

土壘状遺構 なお、調査当時のSK12やSX01など調査当初に土坑と考えていた東端の土坑群については、土層の観察により、埋土は土壘構築時の整地に伴うものであり、土坑というより土壘構築の際の土取り跡の可能性が高く、また、東端の土坑群出土と考えていた遺物についても、この整地層に伴うものでなく、水田化する際の埋土に伴うものであることが明らかとなった。そのため、当初東端土坑群と考えた土坑については配置のみ説明し、遺物については水田化に伴う整地層出土遺物として一括して取り扱うこととし、また、土壘状遺構については東端土坑群と関連するため、本項で取り扱うことにする。なお、性格不明の掘り込みについてはSXとし、本稿の最後で説明を加えていきたい。以下、それぞれの遺構について検討を加えるが、ここでも溝状遺構同様に16世紀の遺構から順に説明する。



第542図 土坑配置図



第543図 SK104・SK105実測図 (1/30)

16世紀の土坑

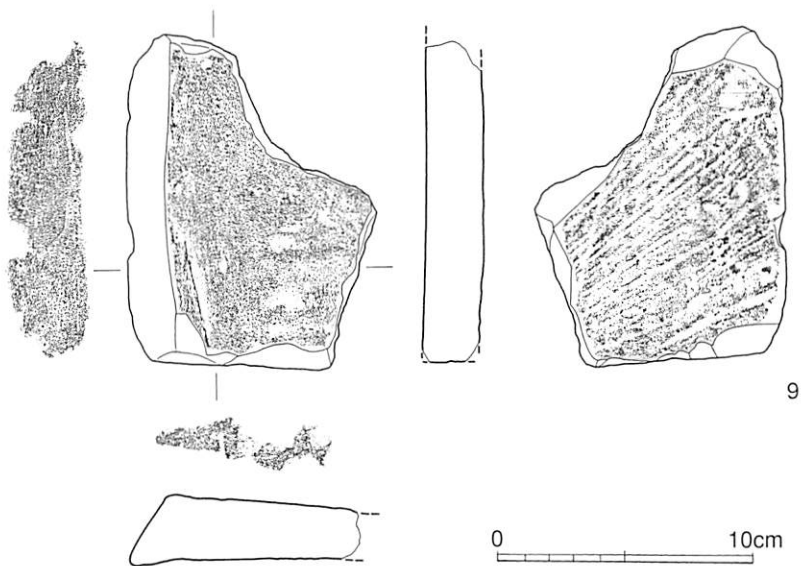
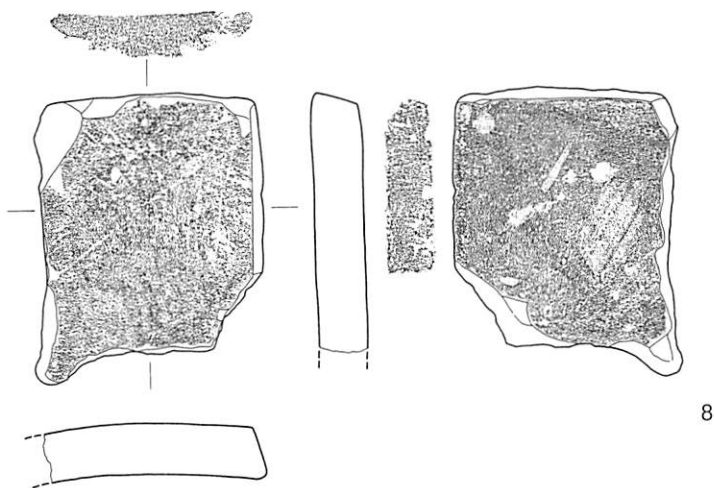
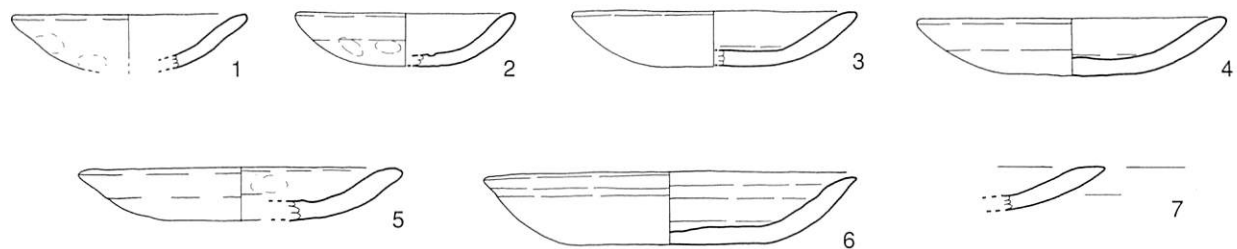
SK104

SK104 (第543図) 調査区東側のD24区で検出した。104・105号は重複して並んでおり、検出面の観察で104が105を切って掘り込まれた状態が認められた。複雑な平面形を呈しており、検出面の観察や、土層観察では確認できなかったが、複数の土坑が切り合っている可能性も残る。長軸約2.1m、短軸約1.2m、深さ約0.5mを測り、床面は平坦である。

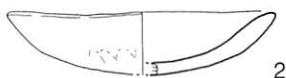
出土遺物 (第544図) 1～9はSK104から出土した遺物である。1～7は3期の京都系土師器の小皿である。9cm前後、12cm前後、15cm前後の3法量が認められる。これらの口縁部外面には強いナデが施されており、5・6の口縁端部は外反する。8・9は軒平瓦片である。いずれも裏面にコビキAの痕跡が認められる。

SK105 (第543図) 平面が不整な円形の土坑で床面は平坦である。長軸約1.2m、床面の深さまで約0.2mを測るが、床面南にはもう一段の掘込みが認められ、全体の深さは約0.4mになる。

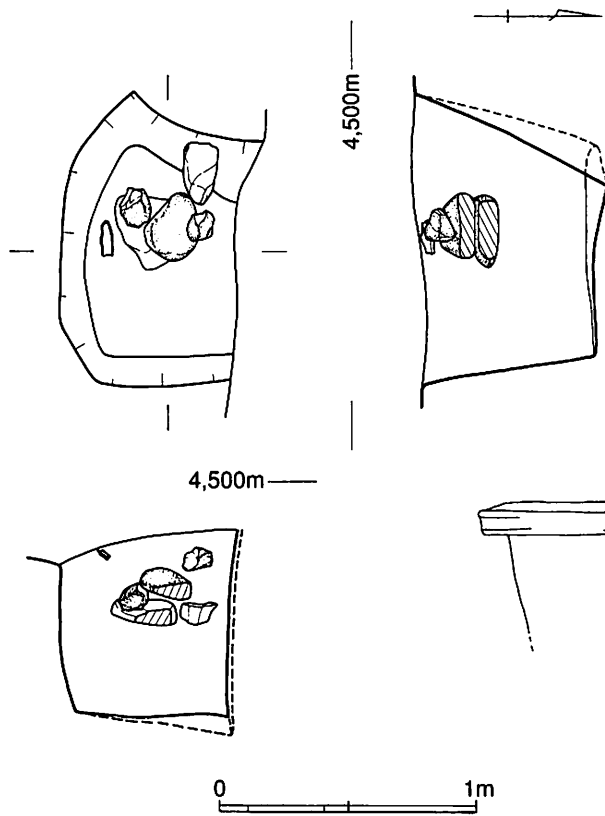
出土遺物 (第545図) 1～3はSK105から出土した遺物である。1・2は京都系土師器の坏である。これらの口縁部外面には強いナデが施されており、1の口縁部は大きく外反する。3は鉛製の玉である。鋳型痕が残る。



第544図 SK104出土遺物実測図 (1/3)



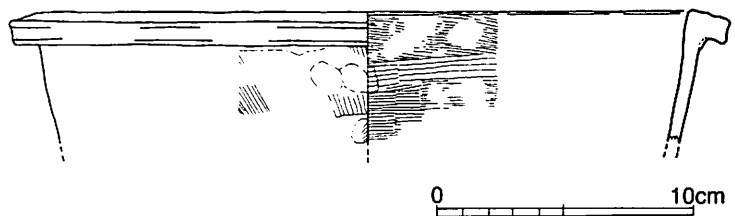
第545図 SK105出土遺物実測図 (1/3、1/1)



第546図 SK107実測図 (1/30)

SK107 (第546図) 調査区東側のP23区で検出した土坑である。SK107・108・109・110・111は重複して東西方向に並び、北側は調査区外へ続く。検出面の観察でSK108がSK107を切って掘り込まれた状態が認められた。不定形の土坑で長軸約1.0m、深さは約0.8mを測る。

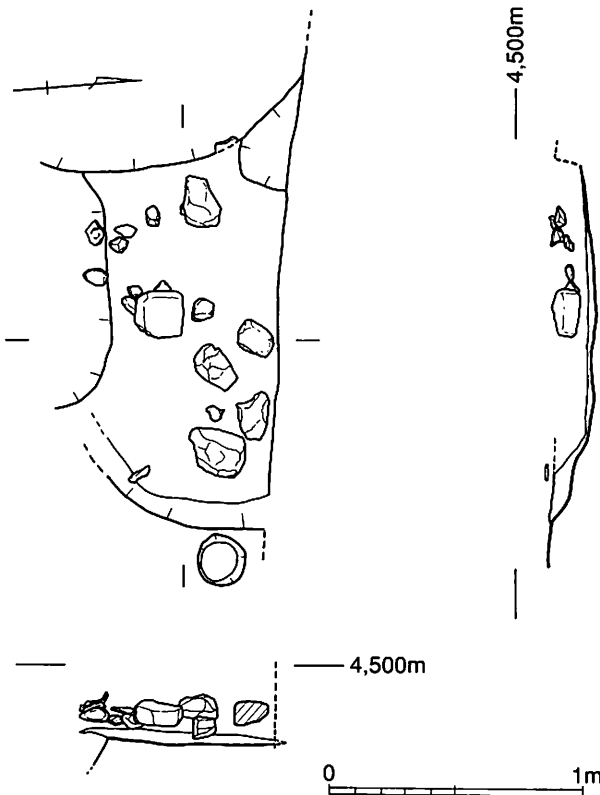
出土遺物 (第547図) 1はSK107から出土した土鍋である。逆L字状の口縁部を有す。



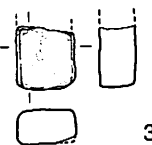
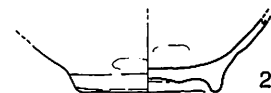
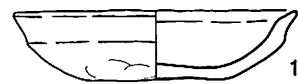
第547図 SK107出土遺物実測図 (1/3)

SK108 (第548図) SK107の東側に位置し、SK107により切られる。北側は調査区外へ続く。平面形は不明であるが床面はほぼ平坦で、深さは約0.1mを測る。礫を多く含む。

出土遺物 (第549図) 1～3はSK108から出土した遺物である。1は3期の京都系土師器の小皿で口縁部外面には強いナデが施される。2は瓦質土器の碗である。3は砥石で4面共に使用痕が残る。



第548図 SK108実測図 (1/30)



第549図 SK108出土遺物実測図 (1/3)

SK109

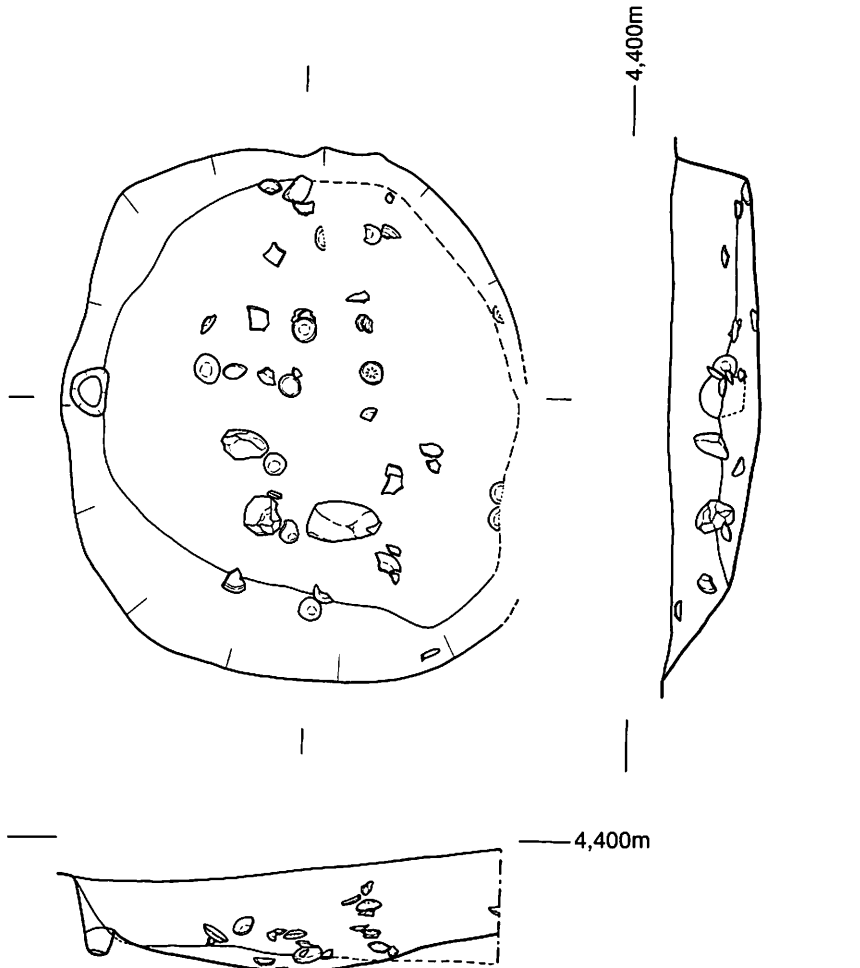
SK109 (第550

図) SK107の西側に位置し、SK107及びSK110を切り込むように掘り込まれた平面が楕円形の土坑である。床面はほぼ平坦で、長軸約2.1m、短軸約1.9m、深さは約0.4mを測る。礫を多く含む。

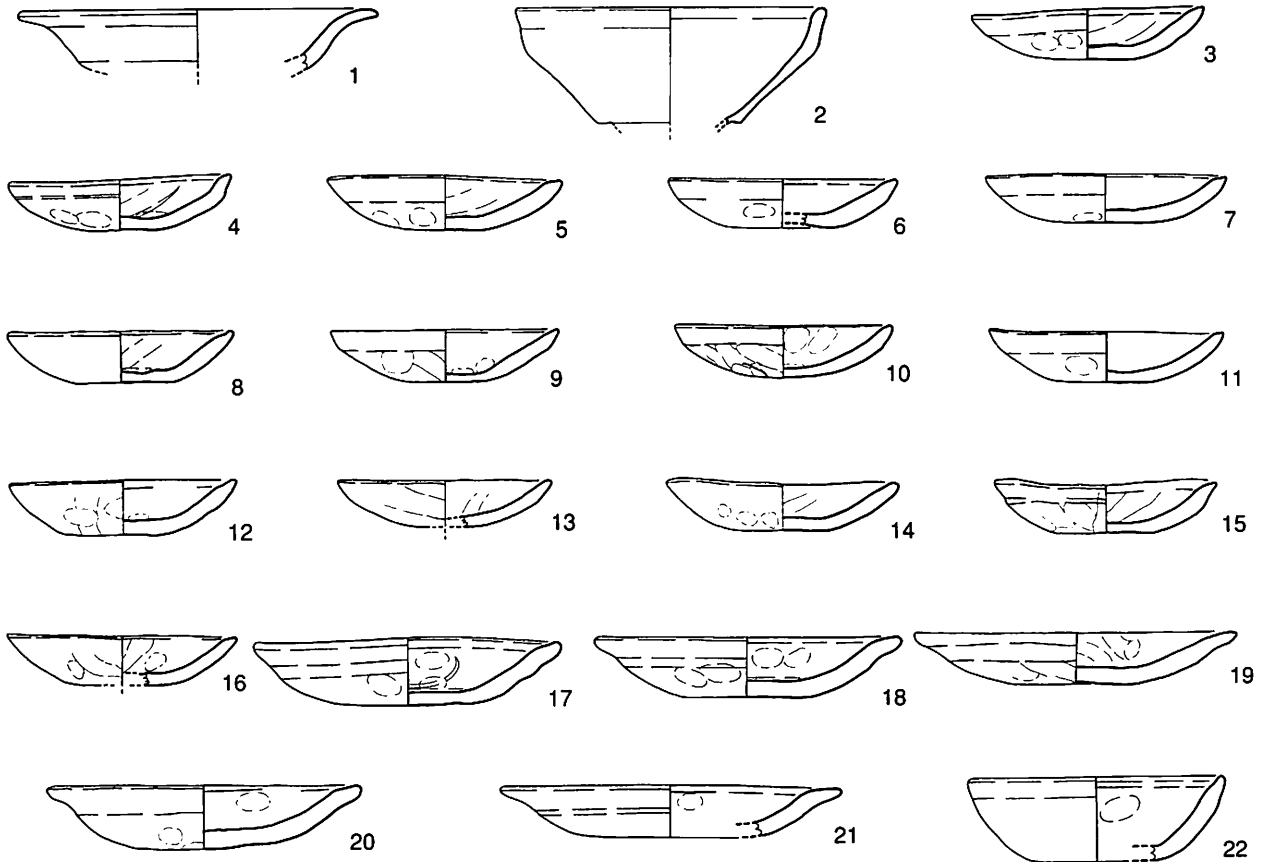
出土遺物

出土遺物(第551

図) 1～22はSK109から出土した遺物である。1は青磁の皿である。口縁部が屈折気味に大きく外反する。2は天目茶



第550図 SK109実測図 (1/30)



第551図 SK109出土遺物実測図 (1/3)

碗であるが、被熱して変色している。3～21は京都系土師器の小皿である。これらの口縁部外面には強いナデが施されており、9cm前後と12cm前後の2法量が存在する。口径が12cm前後のものは口縁部が外反する。22も手掛ねの京都系土師器であるが他の京都系土師器に比べ器口が高い坏である。

SK110

SK110 (第552

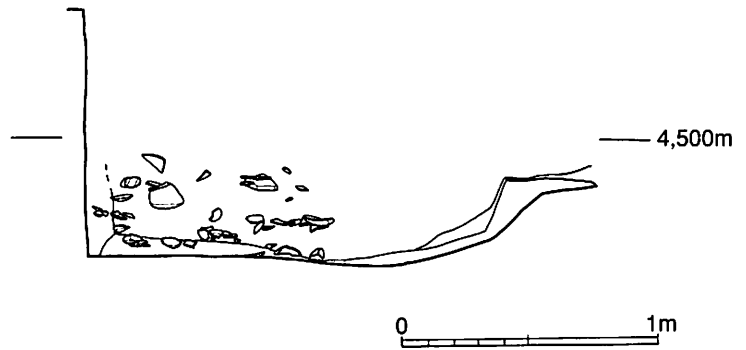
図) SK109の西側に位置する土坑である。SK109及びSK111により両端を切られているため、全体規模や平面形が不明である。検出面の観察では確認できなかったが、床面が両端の土坑より深いため、その存在が明らかとなった。床面は平坦であり京都系土師器や褐釉陶器、風炉などが出土した。



出土遺物

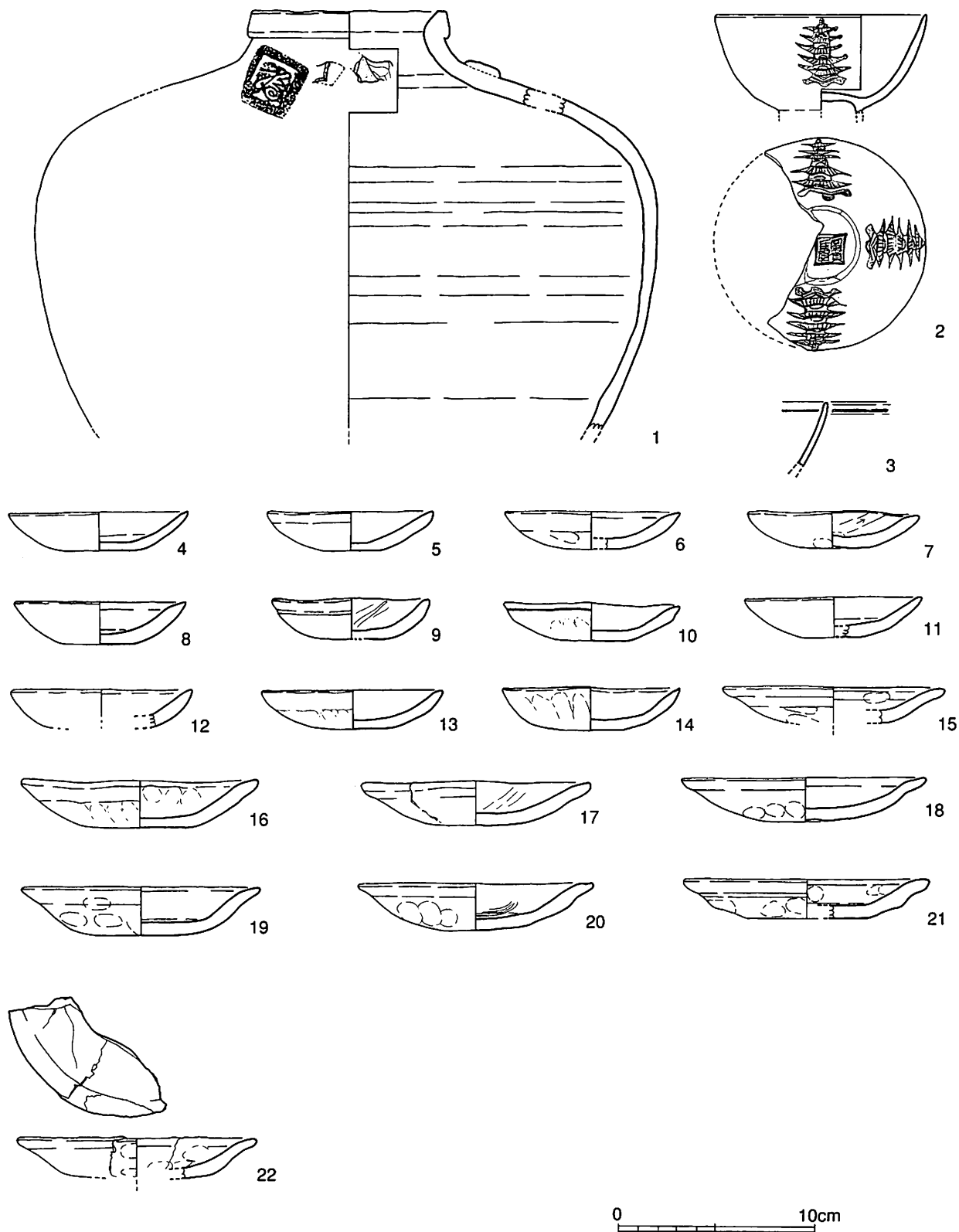
出土遺物 (第553

図) 1～28はSK110から出土した遺物である。1は中国産の黒釉陶器、いわゆる四耳壺である。肩部に「カド福」の刻印が見られる。2・3は景德鎮窯系の青花碗である。染付E群に属するマンテーション碗である。胴部には五層の樓閣が描かれ、高台内面には「富貴佳器」の銘

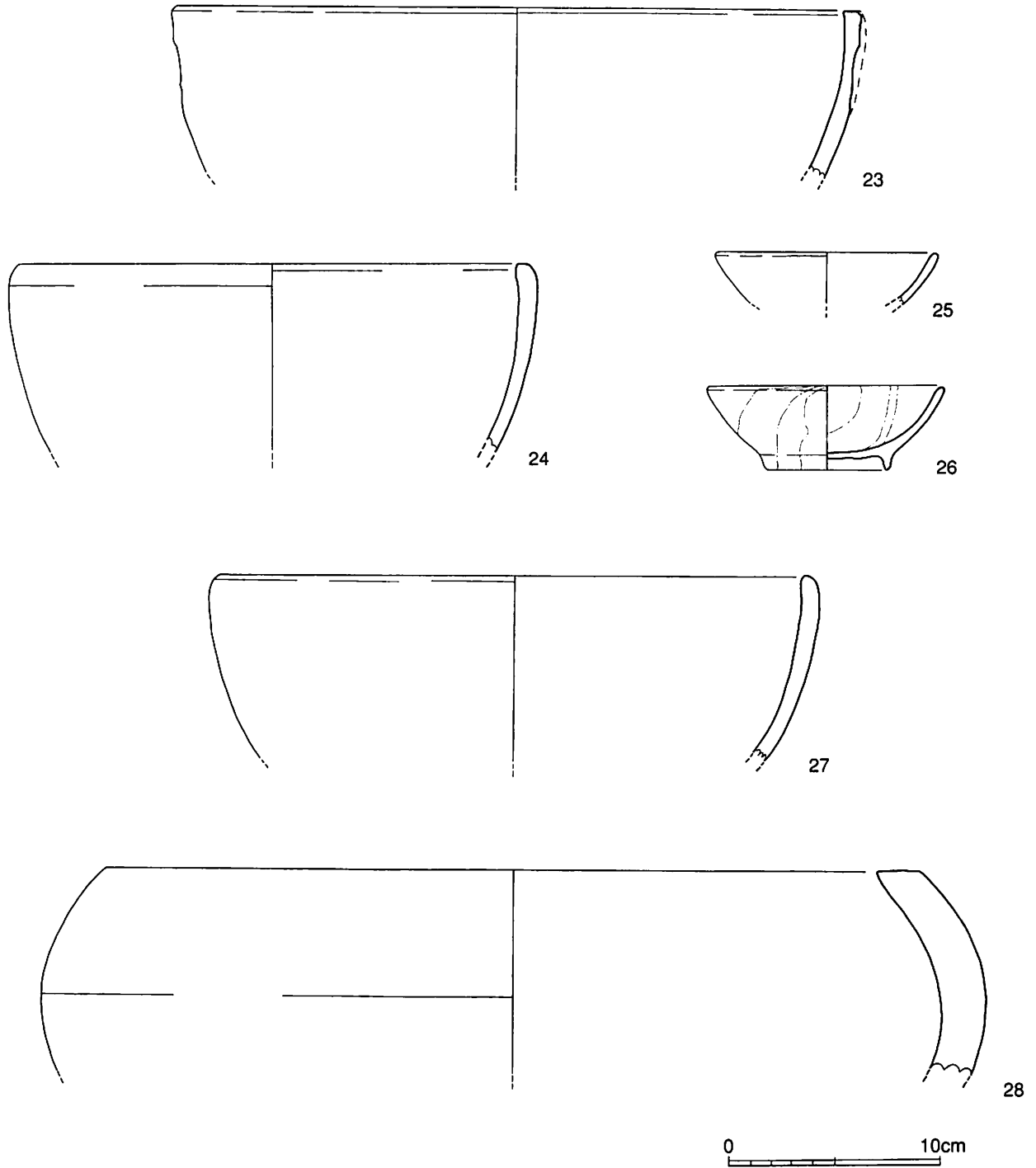


第552図 SK110実測図 (1/30)

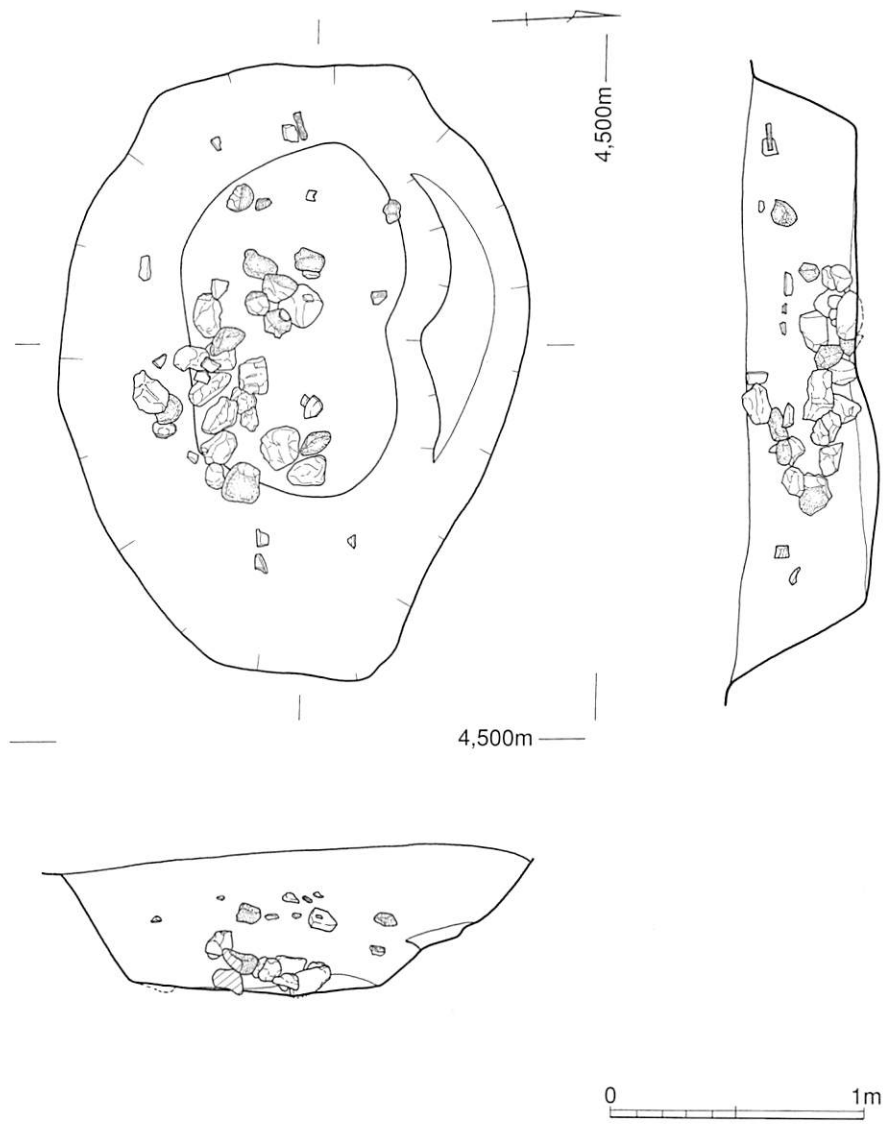
が入る。3は口縁部片で口縁端部外面に界線が描かれる。4～22は3期の京都系土師器であり、これらの口縁部外面には強いナデが施される。SK109出土の京都系土師器同様に口径が12cm前後のものは口縁部が外反する。6・7には煤が付着しており灯明皿として使用されたことがわかる。23～28は瓦質土器である。25・26は碗で、23・24・27・28は風炉であろう。



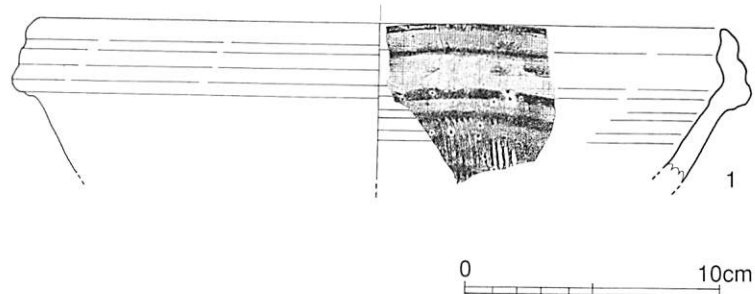
第553図 SK110出土遺物実測図① (1/3)



第554図 SK110出土遺物実測図② (1/3)



第555図 SK111実測図 (1/30)



第556図 SK111出土遺物実測図 (1/3)

SK111

SK111 (第555図) SK110の西側に位置する土坑である。平面が不整な楕円形で、床面は平坦、北側には小さなテラスを有す。全体規模は長軸約2.4m、短軸約1.9m、テラスまでは約0.3m、全体の深さは約0.6mを測る。

出土遺物

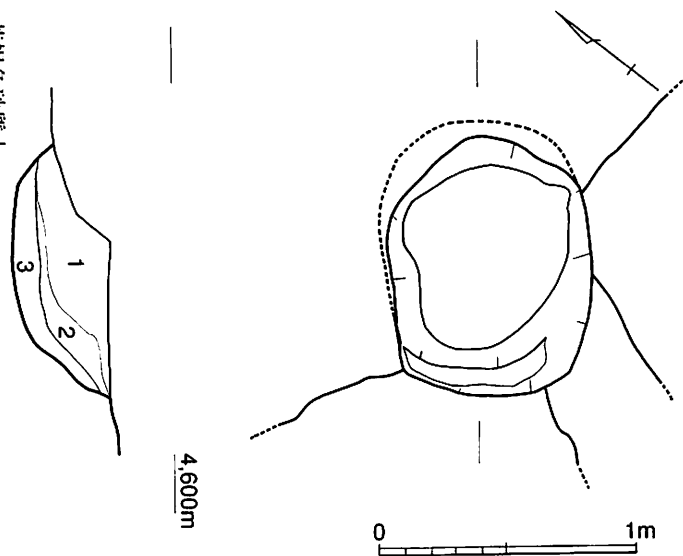
出土遺物 (第556図) 1はSK111から出土した備前焼の播鉢の口縁部である。口縁端部のナデが鋭く口縁帯に2条の凹線を有するなど近世1期に属するものであろう。

15世紀の土坑

SK101

SK101 (第557図) 調査区東側のC23区で検出した平面が隅丸方形の土坑である。SD101と重複しており、その切り合い関係からSD101が埋まってから掘り込まれたものである。長軸約1.0m、短軸約0.8m、深さ約0.4mを測る。遺物は出土していない。

- 1. 灰褐色砂質土
- 2. 灰褐色砂質シルト
- 3. 灰褐色シルト



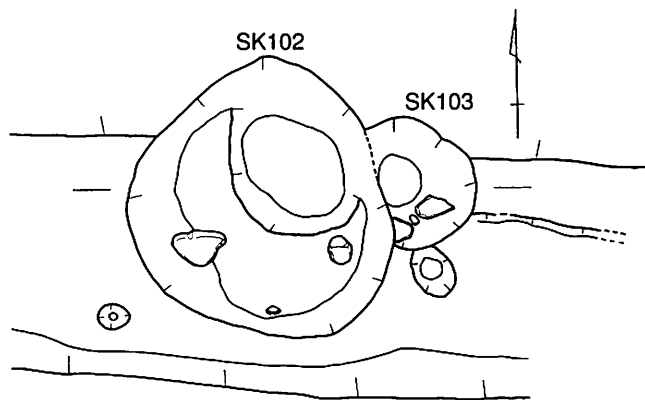
第557図 SK101実測図 (1/30)

SK102

SK102 (第558図) 調査区中央南側のC19区で検出した。SK102・SK103は重複して並んでおり、検出面の観察でSK102がSK103を切って作られた状態が認められた。平面が不整な円形の土坑で床面は平坦で北側で一段さがる。長軸約1.1m、短軸約1.0m、深さ約0.3mを測る。礫を含む。

SK103

SK103 (第558図) 楕円形の土坑である。長軸約0.5m、深さ約0.2mを測り、礫を含む。



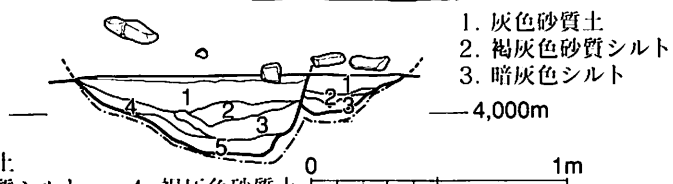
SK115

SK115 (第559図) 調査区中央東側のB18区で検出した隅丸方形の南北方向に長い土坑で、床面は平坦である。長軸約2.0m、短軸約1.0m、深さ約0.25mを測る。

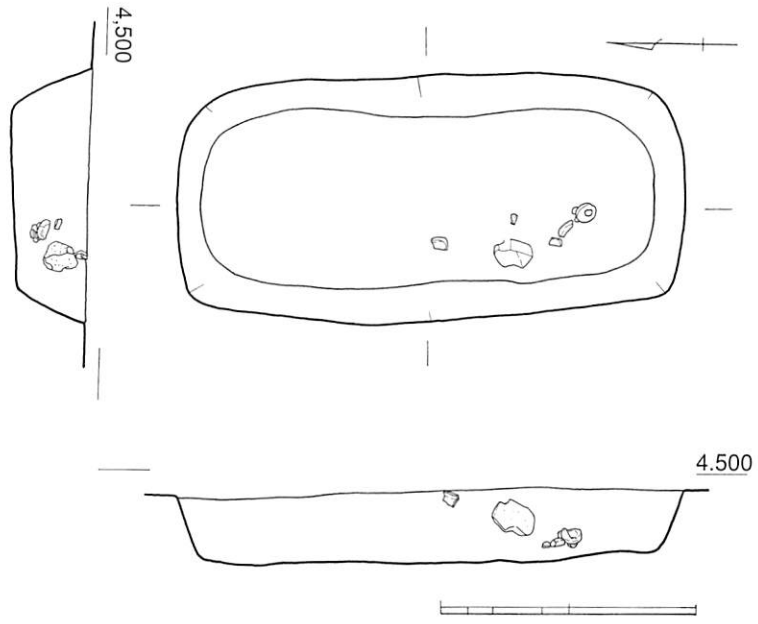
出土遺物

出土遺物 (第560図) 1・2はSK115から出土した遺物である。1は在地系土師質土器の坏である。体部はやや内湾気味に立ち上がり端部は外反する。2は器種不明の土製品である。

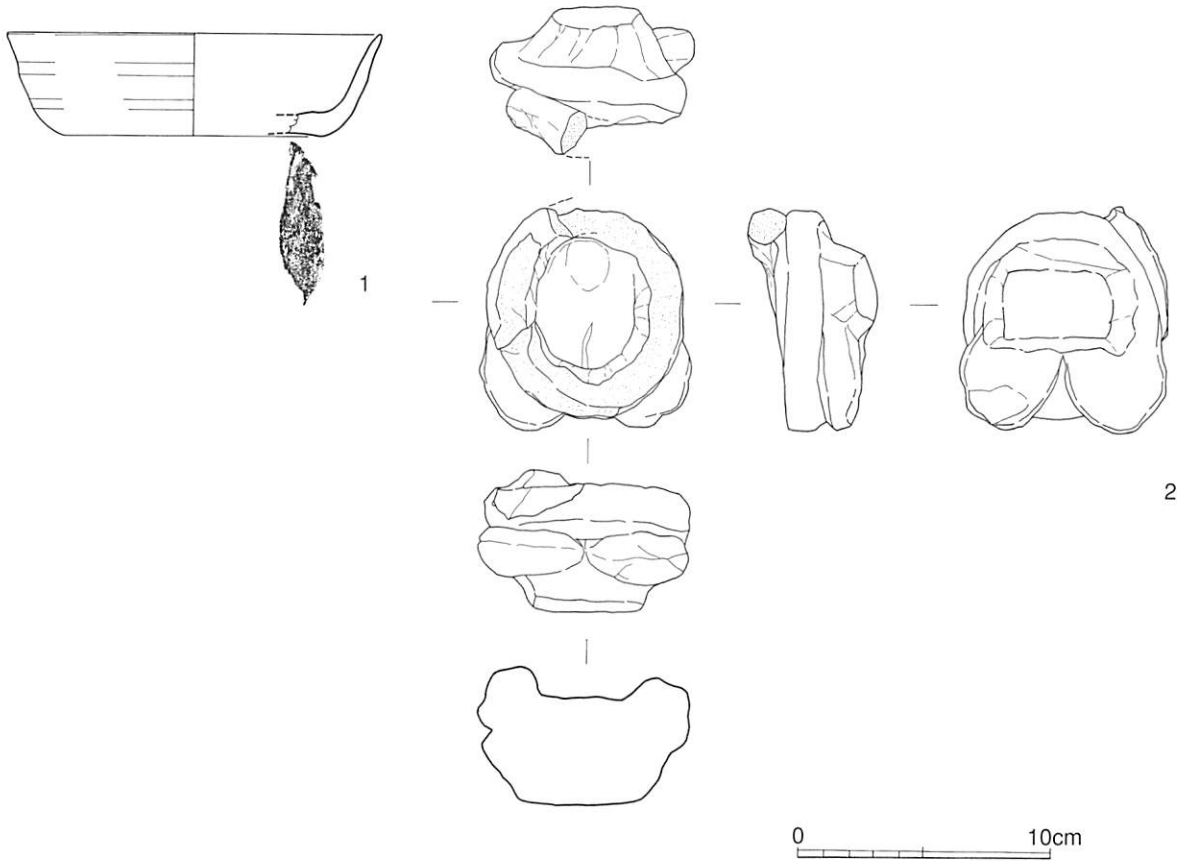
- 1. 灰色砂質土
- 2. 暗褐色砂質シルト
- 3. 灰褐色砂質シルト
- 4. 褐灰色砂質土
- 5. 暗灰色砂



第558図 SK102・103実測図 (1/30)



第559図 SK115実測図 (1/30)

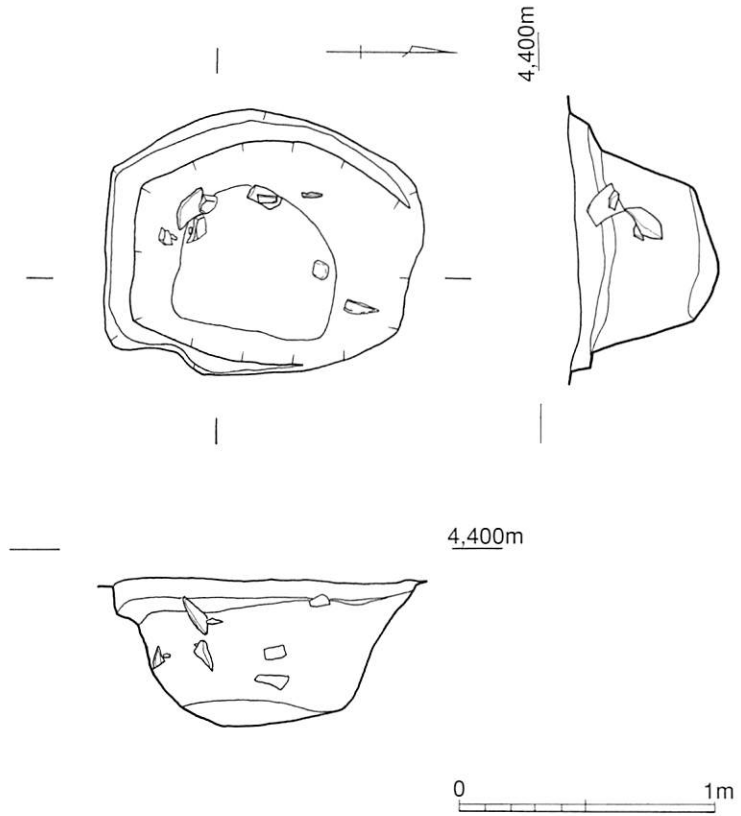


第560図 SK115出土遺物実測図 (1/3)

SK118

SK118 (第561図)

調査区東側のD18区で検出した。平面が不整な隅丸方形で、床面中央が1段下がり底面は丸みを帯びる。長軸約1.3m、短軸約1.0m、深さは床面までが約0.1m、底まで約0.6mを測る。

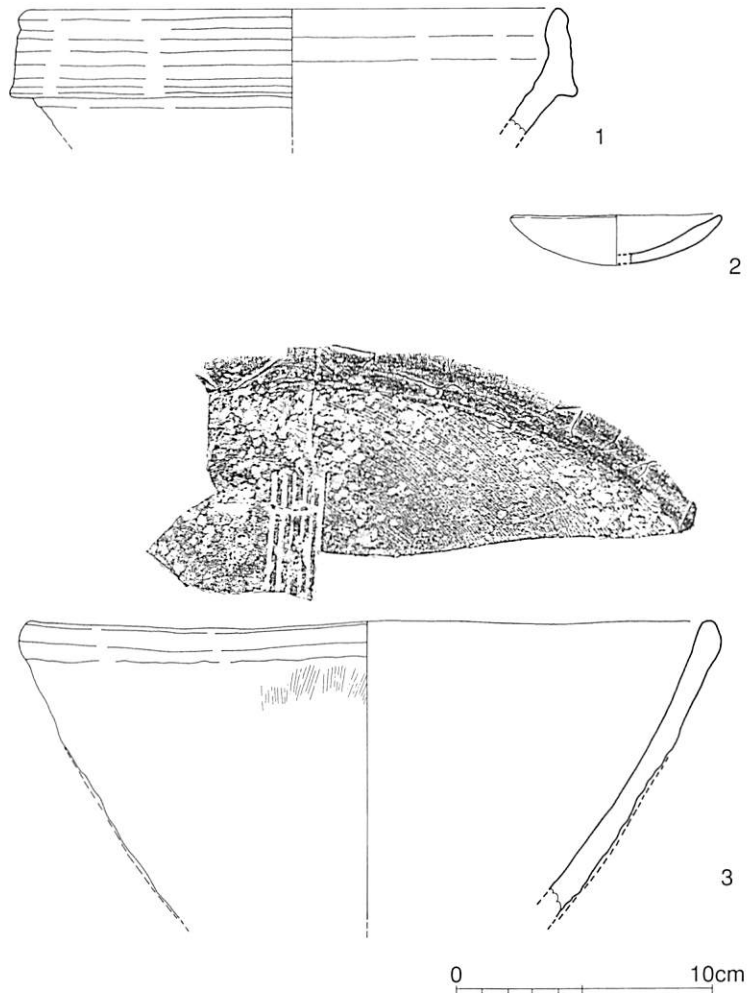


第561図 SK118実測図 (1/30)

出土遺物

出土遺物 (第562図)

第1～3はSK118から出土した遺物である。1は備前焼の播鉢の口縁部である。中世5期に属するものである。2は3期の京都系土師器であるが、1・3に比べると時期差があるため混入物であろう。3は播鉢の口縁部である。スリ目の単位は6条ある。



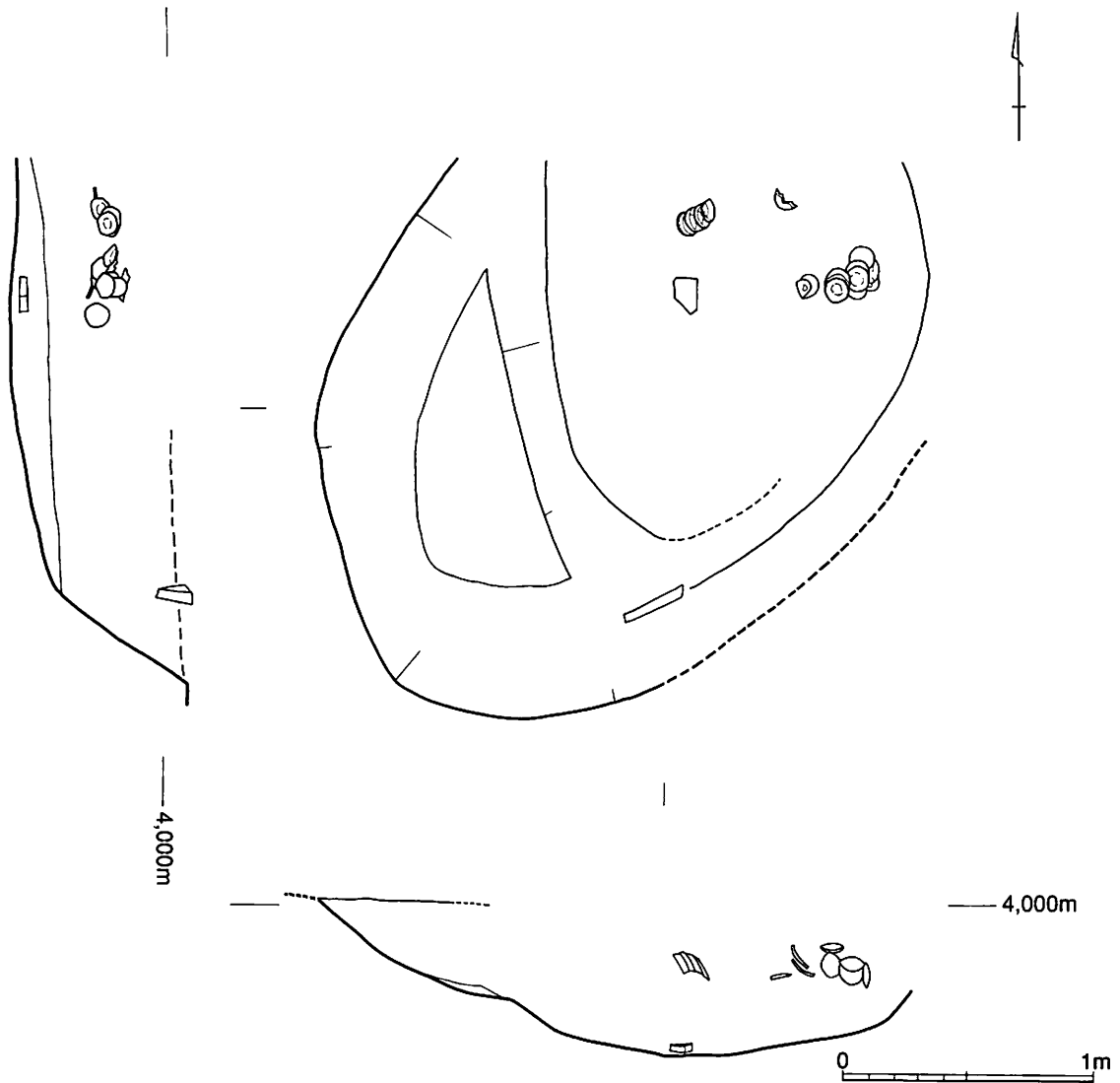
第562図 SK118出土遺物実測図 (1/3)

SK125 **SK125** (第563図) 調査区西側B18区、SE101の上面で検出した土坑である。平面プランや底部の形状が不明確であり、土坑でない可能性も考えられたが、内部に礫が存在したことから土坑と判断した。SK126と重複する。これらの遺構の上面には礫が存在するが、どちらの遺構に伴うものであるか正確に捉えることはできなかった。なおSK125はSK126により東側を切られる。長軸は不明であるが、現状で短軸約1.0m、深さ約0.3mを測る。遺物は出土していない。

SK126 **SK126** (第564図) SK125同様に西側B18区、SE101の上面で検出した土坑である。平面が楕円形の土坑であるが、西側のプランが明確ではない。SK125と同様に平面プランや底部の形状が不明確であり、土坑でない可能性も考えられたが、若干の土器片と銅銭45枚が出土していることから土坑と判断した。(第565～567図) 長軸については不明であるが、現状で短軸2.0m、深さ0.6mを測る。南西側に緩やかなテラスの形状を呈している。SK126はSK125の東側を切っているが、重複した部分についてはかなり不明瞭である。



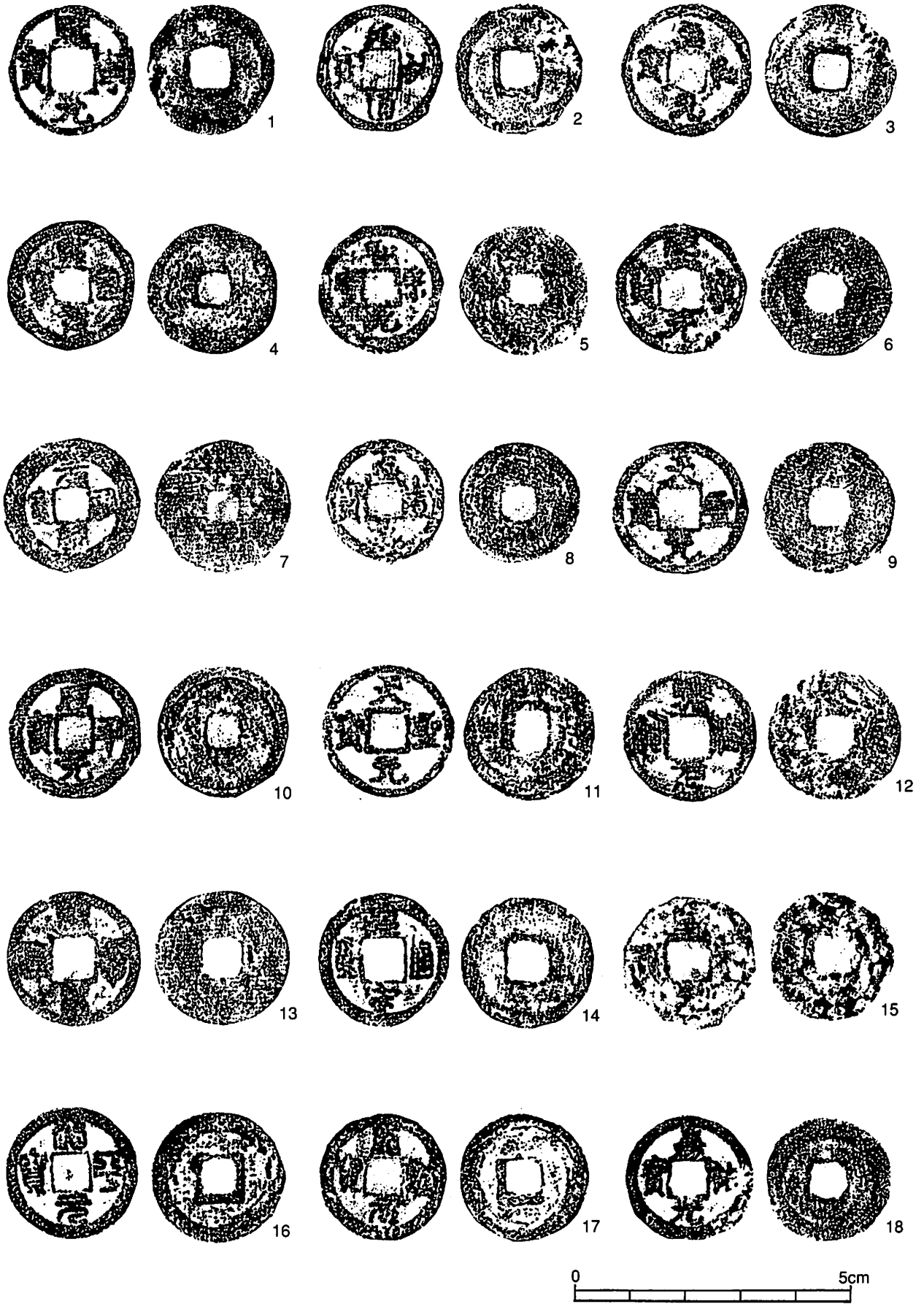
第563図 SK125実測図 (1/30)



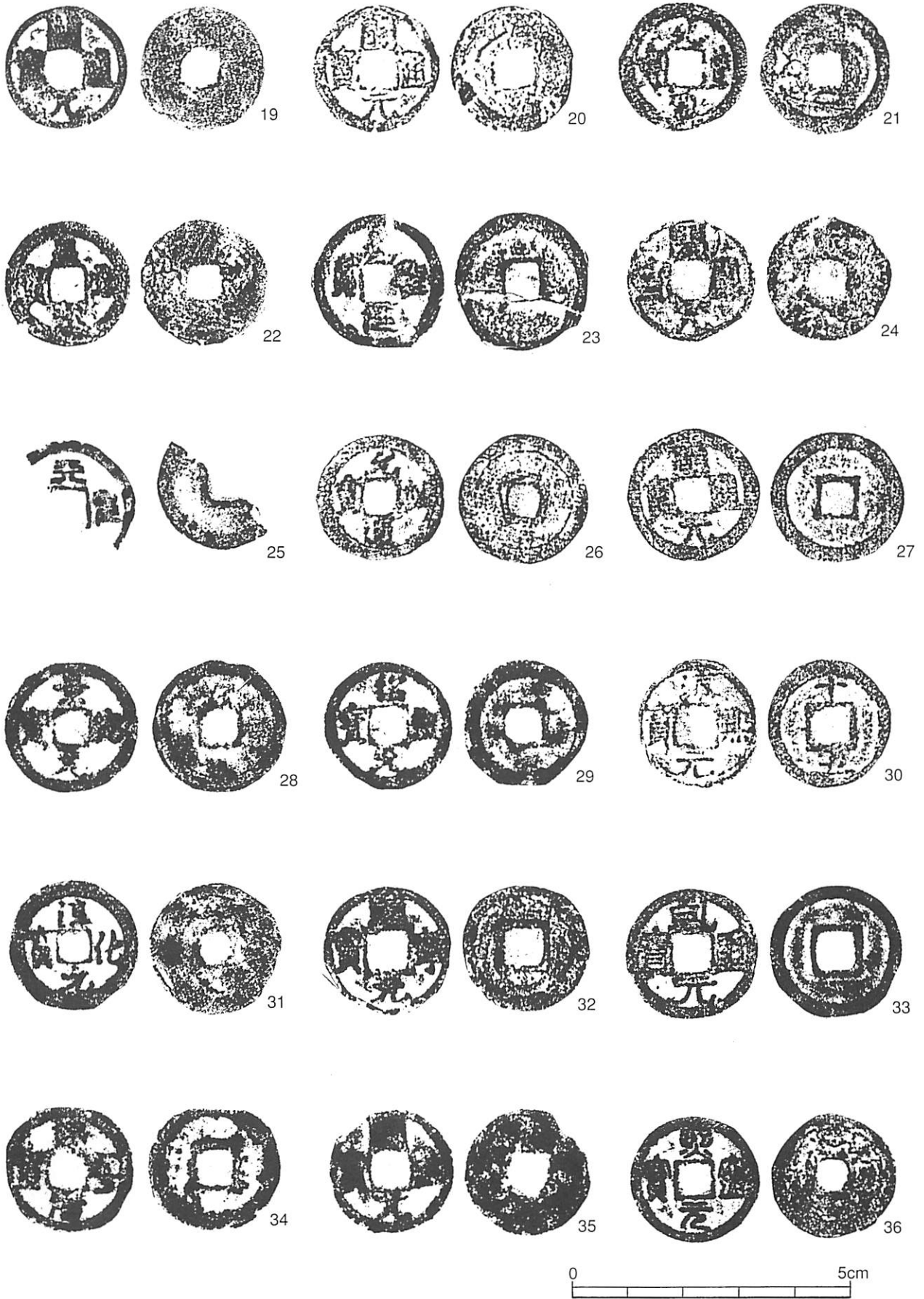
第564図 SK126実測図 (1/30)

第7表 SK126出土銅錢一覽表

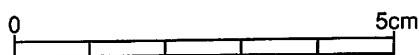
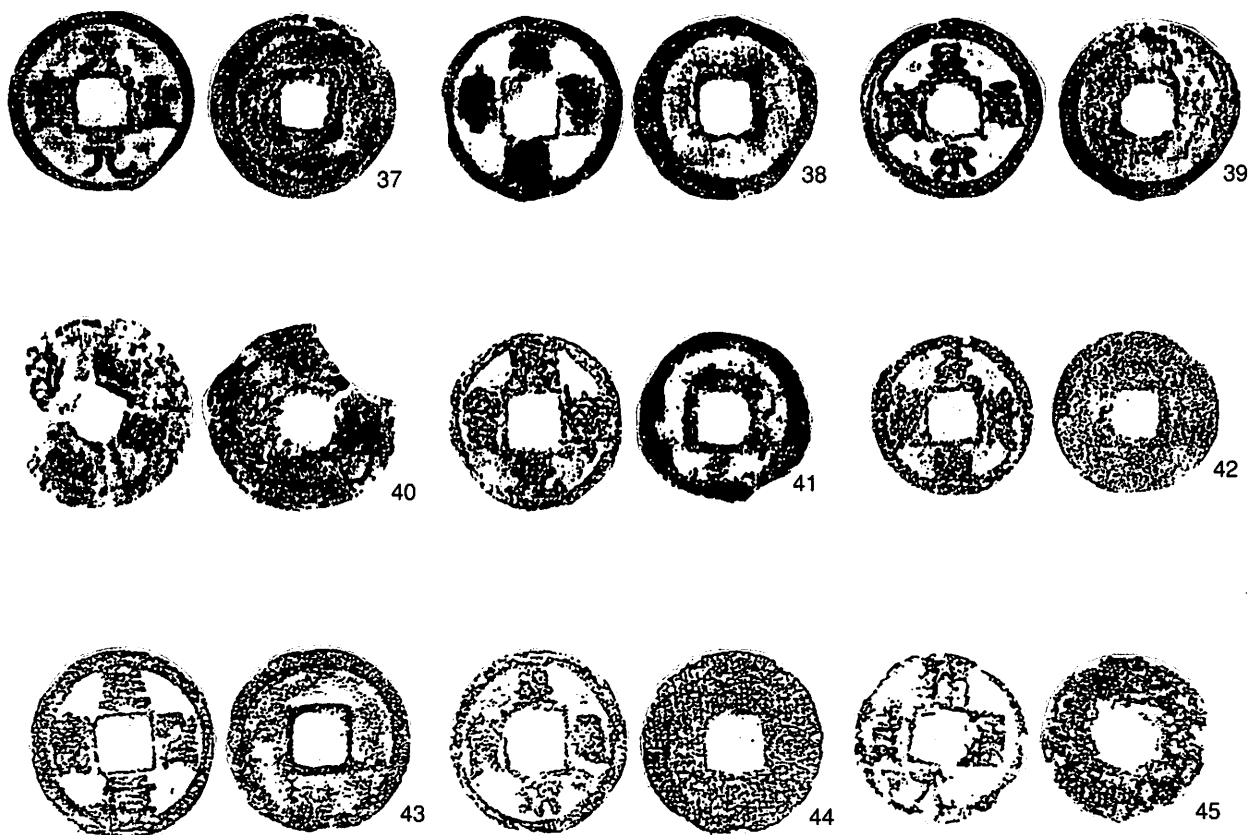
番	種類	初 鑄 年	番	種類	初 鑄 年	番	種類	初 鑄 年
1	熙寧元寶	北宋1068年	16	治平元寶	北宋1064年	31	淳化元寶	北宋 990年
2	元祐通寶	北宋1086年	17	紹聖元寶	北宋1094年	32	熙寧元寶	北宋1068年
3	至和元寶	北宋1054年	18	景祐元寶	北宋1034年	33	元重寶	唐 758年
4	熙寧元寶	北宋1068年	19	開元通寶	唐 621年	34	治平元寶	北宋1064年
5	聖宋元寶	北宋1101年	20	開元通寶	唐 621年	35	開元通寶	唐 621年
6	熙寧元寶	北宋1068年	21	元豐通寶	北宋1078年	36	熙寧元寶	北宋1068年
7	元祐通寶	北宋1086年	22	皇宋通寶	北宋1038年	37	天聖元寶	北宋1023年
8	至道元寶	北宋 995年	23	天聖元寶	北宋1023年	38	元豐通寶	北宋1078年
9	天聖元寶	北宋1023年	24	開元通寶	唐 621年	39	皇宋通寶	北宋1038年
10	咸平元寶	北宋 998年	25	天聖元寶	北宋1023年	40	不明	
11	天聖元寶	北宋1023年	26	元祐通寶	北宋1086年	41	熙寧元寶	北宋1068年
12	熙寧元寶	北宋1068年	27	開元通寶	唐 621年	42	元符通寶	北宋1098年
13	皇宋通寶	北宋1038年	28	景德元寶	北宋1004年	43	天聖元寶	北宋1023年
14	皇宋通寶	北宋1038年	29	紹聖元寶	北宋1094年	44	皇宋通寶	北宋1038年
15	皇宋通寶	北宋1038年	30	淳熙元寶	南宋1174年	45	開元通寶	唐 621年



第565図 SK126出土遺物実測図① (1/1)



第566図 SK126出土遺物実測図② (1/1)



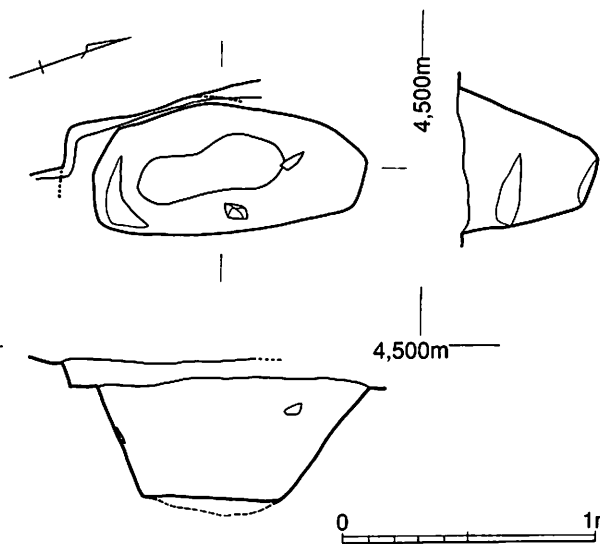
第567図 SK126出土遺物実測図③ (1/1)

SK121

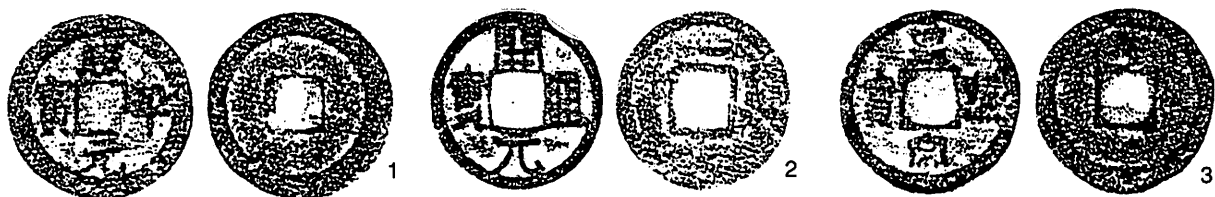
SK121 (第568図) 調査区中央南側 B19区で検出した土坑である。平面が楕円形を呈しており南側にテラスを有する。床面はやや丸みを帯び、長軸約1.1m、短軸約0.5m、テラスまで0.1m、底まで0.5mを測る。

出土遺物

出土遺物 (第569図) 1～3はSK121から出土した遺物である。いずれも銅銭で、1が初鑄年が998年(北宋)の「咸平元寶」、2が初鑄年が845年(唐)の「開元通寶」、3が1038年(北宋)の「皇宋通寶」である。



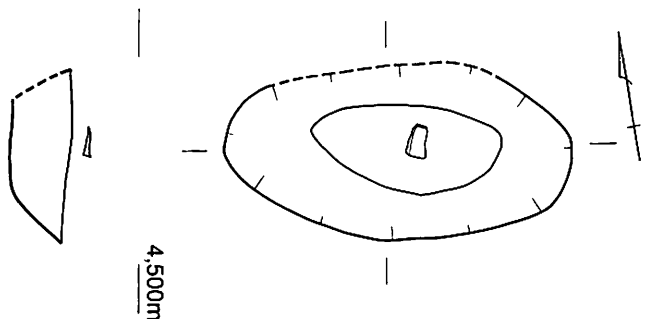
第568図 SK121実測図 (1/30)



第569図 SK121出土遺物実測図 (1/1)

SK130

SK130 (第570図) SK128と同様に調査区西側C17区で検出した平面が楕円形の土坑である。床面はほぼ平坦である。長軸は約1.4m、短軸約0.7m、深さ約0.25mを測る。北側をSD105Aによって切られる。遺物は出土しなかった。

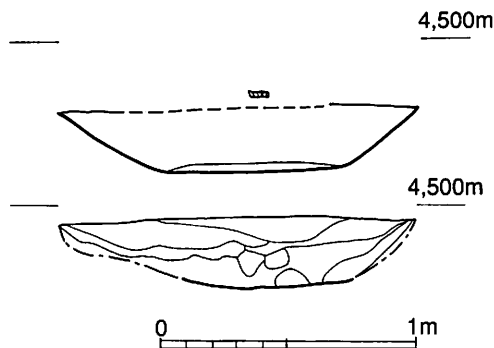


SK132

SK132 (第566図) 調査区西側D17区で検出した平面が不整形の土坑で、床面はほぼ平坦である。長軸は約1.3m、短軸約0.6m、深さ約0.2mを測る。

出土遺物

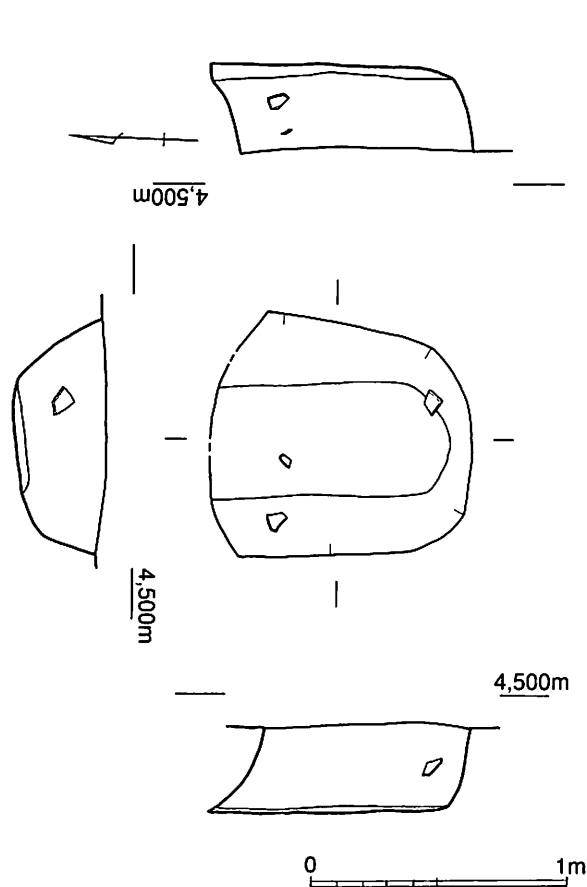
出土遺物 (第572図) 1・2はSK132から出土した遺物である。1は在地系土師質土器の小皿で底部が肥厚しており15世紀代の所産であろう。2は土鍋の胴部片で、外面に格子目状のタタキ痕が残る。



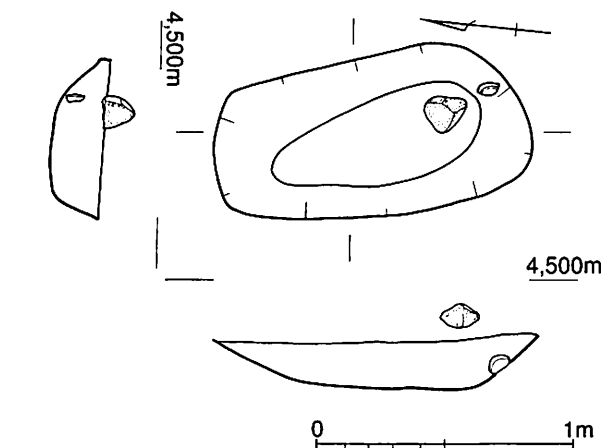
第570図 SK130実測図 (1/30)

SK139

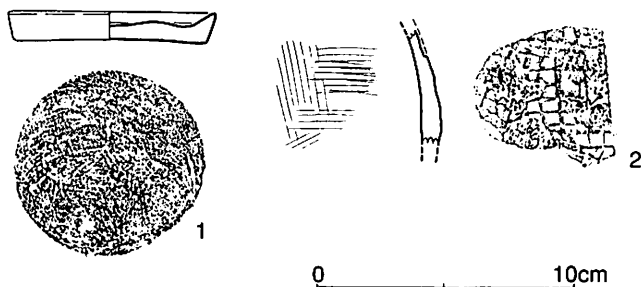
SK139 (第573図) 調査区西側C17区で検出した土坑である。北側がSD105Aによって切られている。平面は楕円形を呈していた可能性が高い。床面はほぼ平坦で長軸は不明、短軸約1.0m、深さ約0.3mを測る。



第573図 SK139実測図 (1/30)



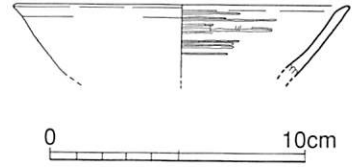
第571図 SK132実測図 (1/30)



第572図 SK132出土遺物実測図 (1/3)

出土遺物

出土遺物 (第574図) 1はSK139から出土した遺物である。坏の口縁部片であるが、内面にミガキ調整の残る都城系土師質土器の坏であり、調査区から当該期の遺構は検出されておらず、混入品であろう。



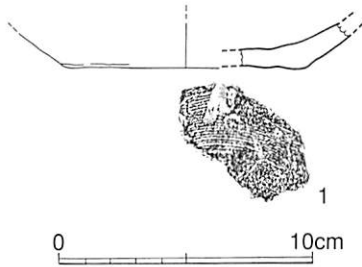
第574図 SK139出土遺物実測図 (1/3)

SK144

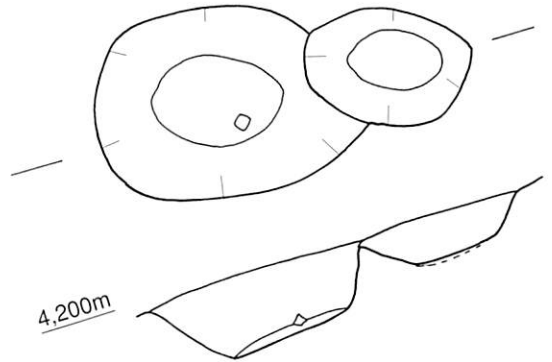
SK144 (第575図) 調査区西側のD16区で検出した平面が楕円形の土坑である。床面はほぼ平坦である。長軸約1.1m、短軸約0.7mで、深さは0.3mを測り、東側をピットで切られる。

出土遺物

出土遺物 (第576図) 1はSK144から出土した瓦質土器の底部である。糸切り底で体部はかなり外傾して立ち上がる。



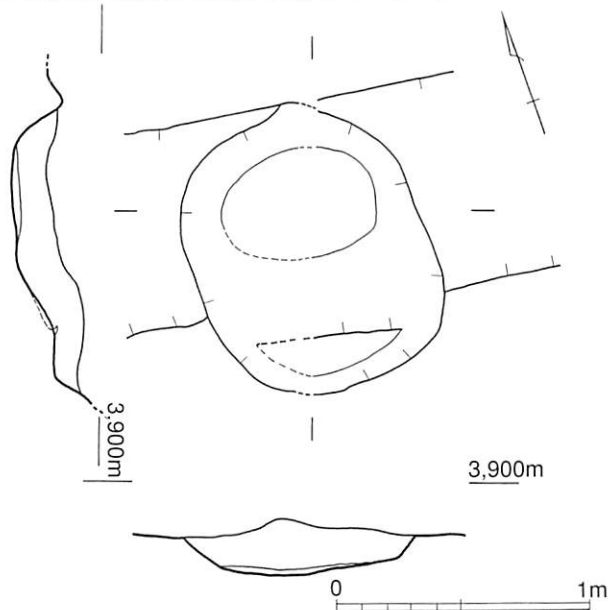
第576図 SK144出土遺物実測図 (1/3)



第575図 SK144実測図 (1/30)

SK146

SK146 (第577図) 調査区西側のD18区で検出した平面が楕円形の土坑である。SD101の上面から掘り込まれており、床面はほぼ平坦で中央北側が1段下がる。長軸約1.2m、短軸0.9mで、深さは0.1m、底まで0.2mを測る。遺物は出土していない。



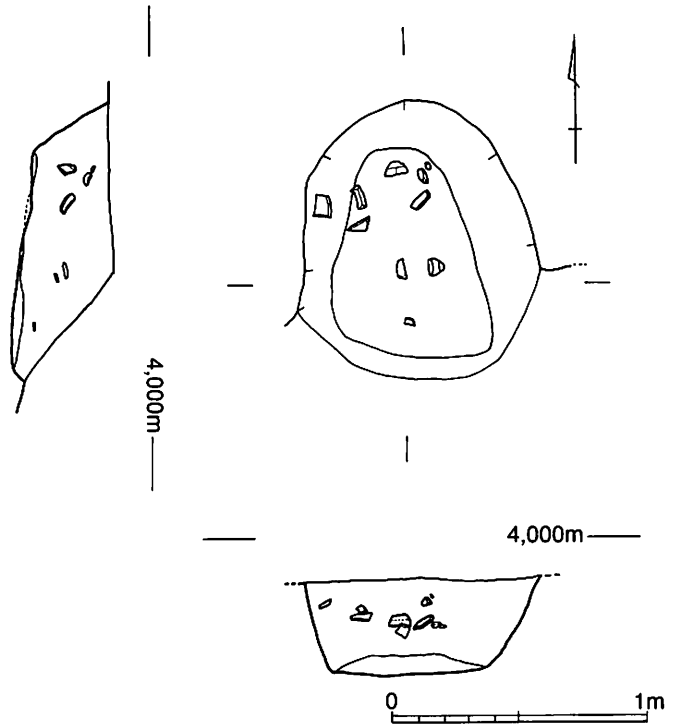
第577図 SK146実測図 (1/30)

SK147

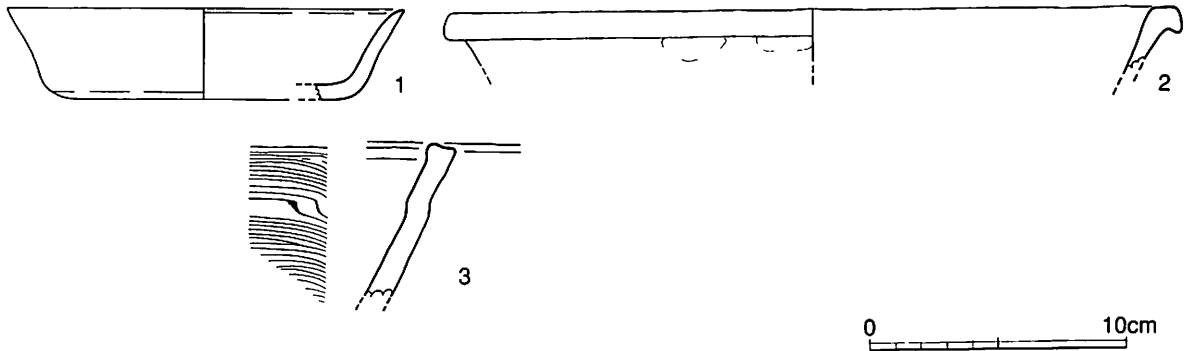
SK147 (第578図) 調査区西側のC18区で検出した平面が楕円形の土坑である。SD106Bにより西側を切られている。SD106Aの上面から掘り込まれており、床面はほぼ平坦であるが、東にやや上る。長軸約1.5m、短軸1.2mで、深さは0.67mを測る。

出土遺物

出土遺物 (第579図) 1～3はSK147出土の遺物である。1は在地系土師質土器である。箱形で口径と底径があまり差がないタイプである。体部は外反し直線的に立ち上がる。口縁端部はさらに外反しており、15世紀初頭頃のものであろう。2は土鍋の口縁部か。端部は屈曲する。3は防長系播鉢の口縁部か。端部内面に肥厚帯を巡らす。内面にハケ目が残る。



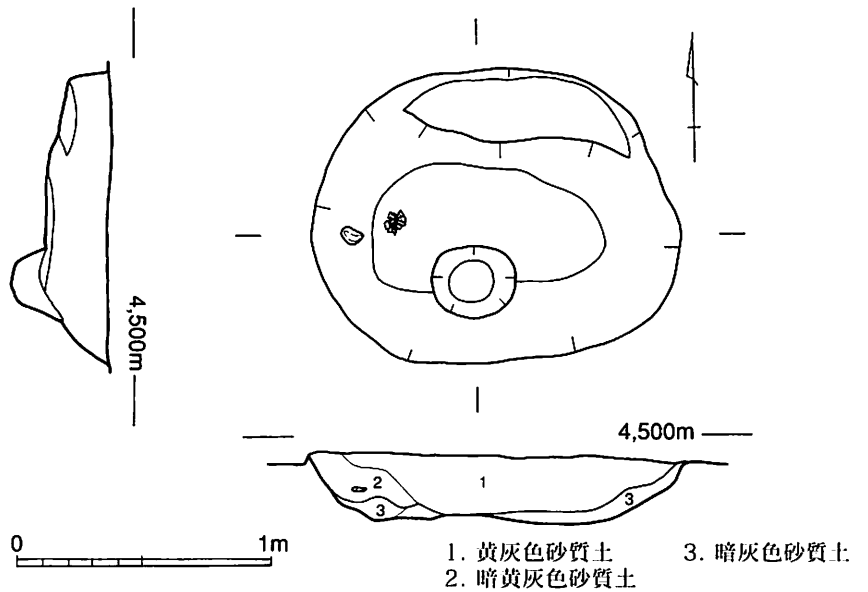
第578図 SK147実測図 (1/30)



第579図 SK147出土遺物実測図 (1/3)

SK148

SK148 (第580図) 調査区西側のB19区で検出した平面が楕円形の土坑である。床面はほぼ平坦で中央北側が1段下がる。15世紀の土坑が集中する付近で検出したことから、15世紀の土坑と判断した。長軸約1.9m、短軸1.5mで、深さは0.28m、底まで0.32mを測る。遺物は土師器の細片が出土しているが、実測できるものはなく遺物については割愛した。



第580図 SK148実測図 (1/30)

14世紀の土坑

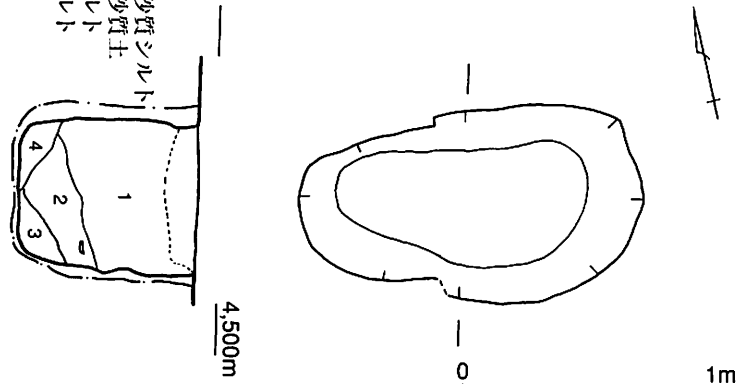
SK106

SK106 (第581図) 調査区東側のD23区で検出した平面が楕円形の土坑である。床面はほぼ平坦で長軸約1.4m、短軸約0.7m、深さ約0.7mを測る。

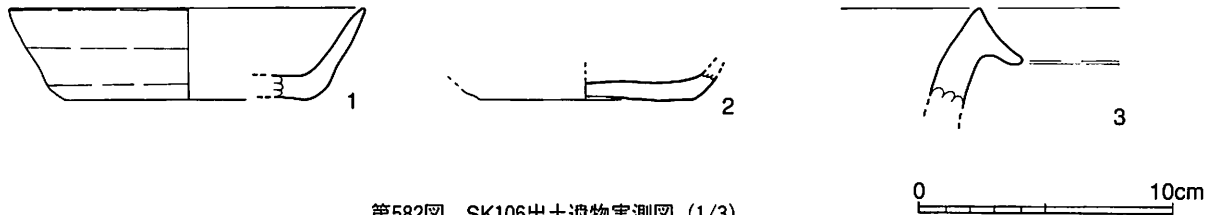
出土遺物

出土遺物 (第582図) 1～3はSK106から出土した遺物である。1は在地系土師器の坏である。口径と底径の差が少なく、体部は底部から外傾し直線的に伸びる。14世紀後半の所産である。2は在地系土師器の小皿の底部である。体部がやや内湾するものであろう。3は須恵器の口縁部か。他の遺物と時期差があることから混入物である。

- 1. 灰黄褐色砂質シルト
- 2. 灰黄褐色砂質土
- 3. 黄褐色シルト
- 4. 黄褐色シルト



第581図 SK106実測図 (1/30)



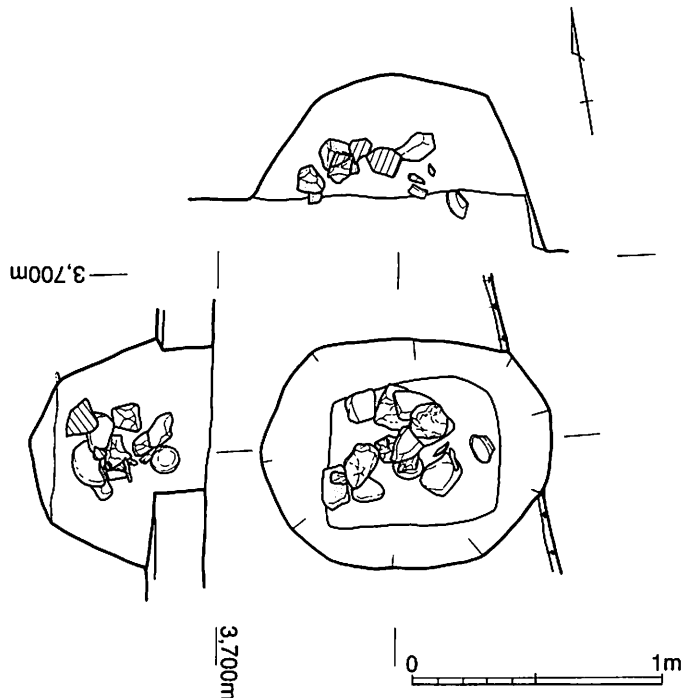
第582図 SK106出土遺物実測図 (1/3)

SK112

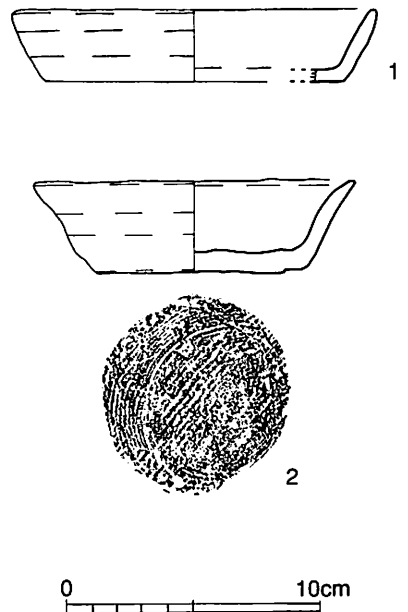
SK112 (第583図) 調査区東端の土塁状遺構をトレンチ調査のため上部構造物を取り除いた際、その下で検出した土坑である。C24区に位置する。平面が楕円形で床面は丸みを帯びる。全体規模は長軸1.2m、短軸約0.9m、深さは約0.7mを測る。

出土遺物

出土遺物 (第584図) 1・2はSK112から出土した遺物である。1・2ともに在地系土師質土



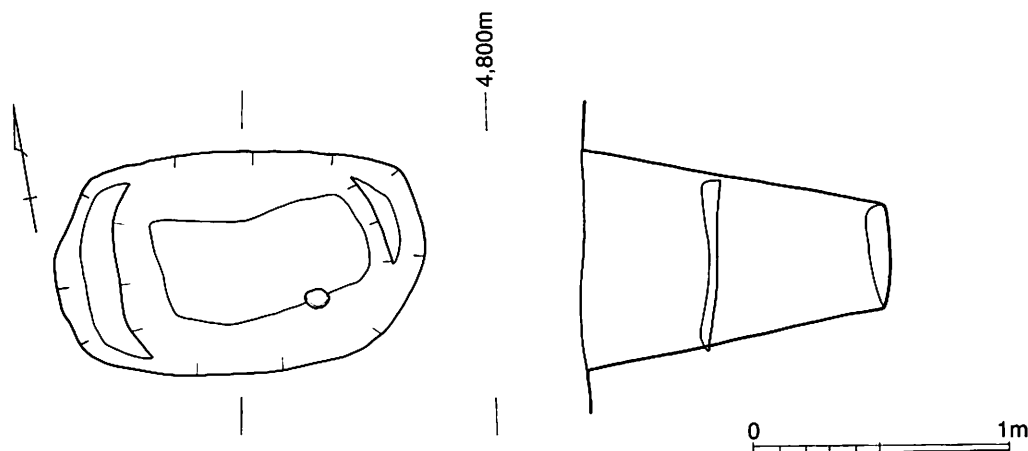
第583図 SK112実測図 (1/30)



第584図 SK112出土遺物実測図 (1/3)

器の坏であるが、1は口径と底径の差があまりないタイプである。1の体部が底部から直線的に立ち上がり、2は外反するように立ち上がる14世紀末から15世紀初頭の所産であろう。

SK113 SK113 (第585図) 調査区東側のD23区で検出した平面が楕円形の土坑である。床面はほぼ平坦であるが、中央部が1段下がっている。長軸約1.5m、短軸約0.9mで、深さは床面までが0.6m、底までが1.2mを測る。土師質土器の胴部小片が1点出土した。

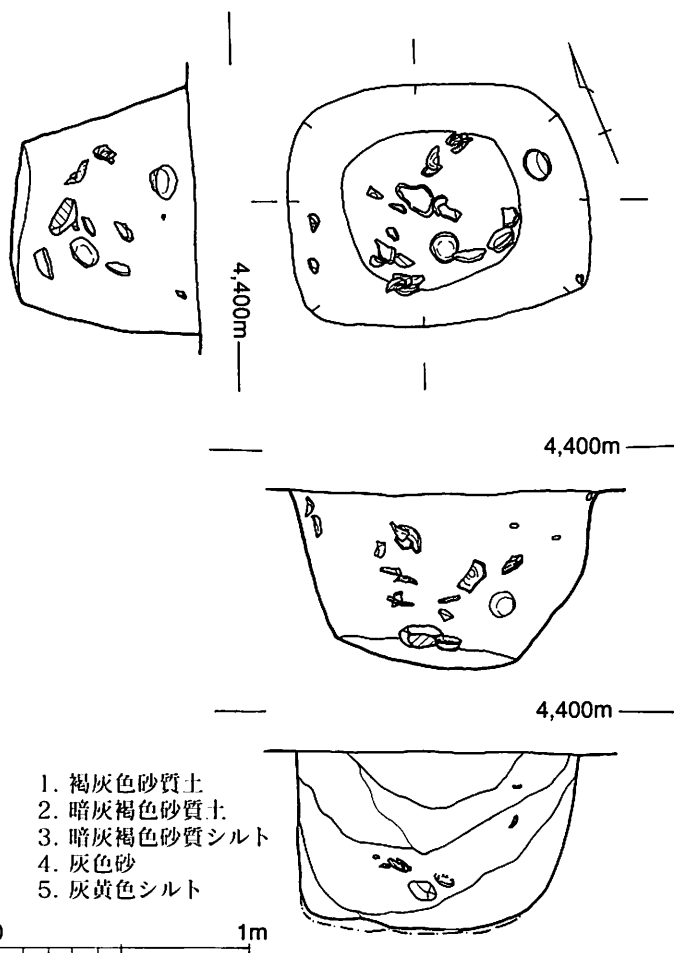


第585図 SK113実測図 (1/30)

SK114 SK114 (第586図) 調査区中央東寄りD18区で検出した平面が隅丸方形の土坑である。床面はやや南下がり、ほぼ平坦である。長軸約1.2m、短軸約0.9m、深さ約0.8mを測る。

出土遺物

出土遺物 (第587図) 1～13はSK114から出土した遺物である。いずれも在地形土師質土器で1～10までは坏、11～13は小皿である。坏については、3～10は底径と口径にあまり差がないタイプである。6・7は体部がやや内湾気味に立ち上がるものの、全体的には体部が直線的に立ち上がる。端部については基本的には直線的に伸びるが、3は外反する。小皿は、11・12は体部が直線的に立ち上がるのに対し、13はやや内湾気味に立ち上がる。いずれも14世紀後葉の所産であろう。

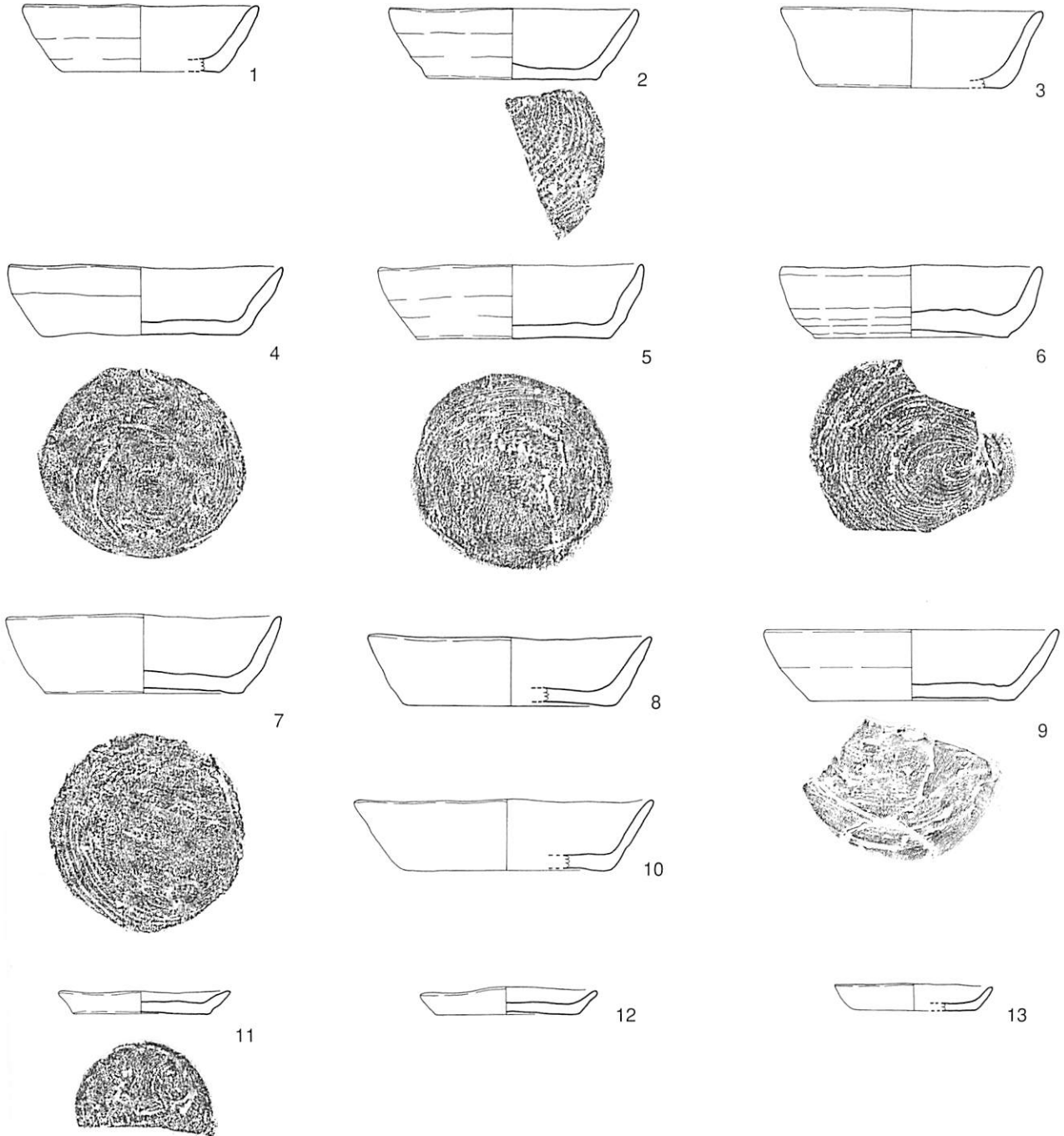


第586図 SK114実測図 (1/30)

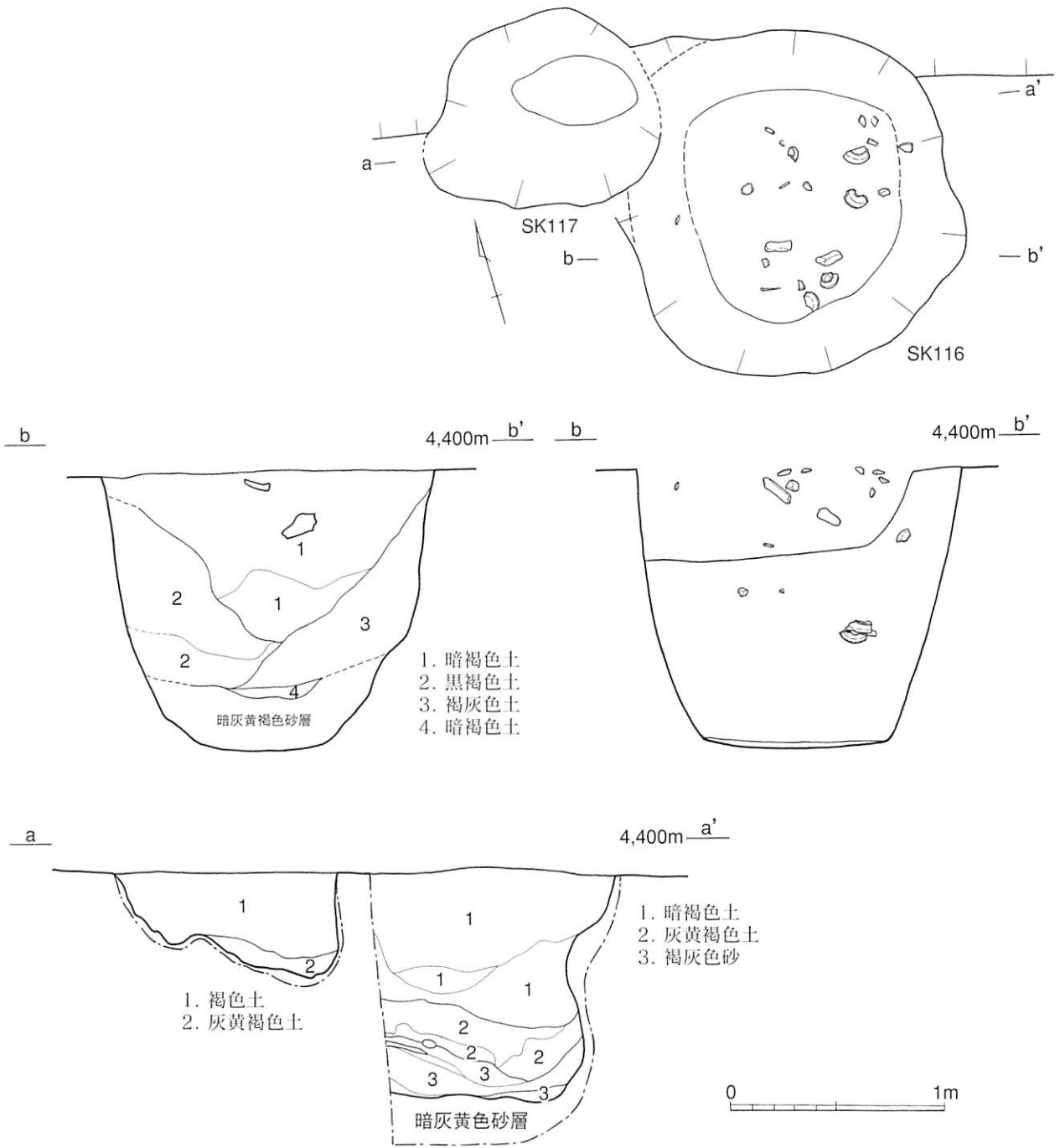
SK116 (第588図) 調査区東側のD18区で検出した。SK116はSK117と重複して並ぶが、この二つの土坑の切りあい関係については明確にできなかった。いずれもSD101に切られる。SK116は不整な円形を呈しており、床面は平坦である。長軸・短軸ともに約1.6m、深さ約1.3mを測り、土師質土器や托(たく)などが出土した。

出土遺物 (第589図) 1～4はSK116から出土した遺物である。1は托(たく)もしくは台坏皿か。2・3は在地系土師質土器の坏である。口縁端部が尖り気味に収まる。4は飾り金具か。

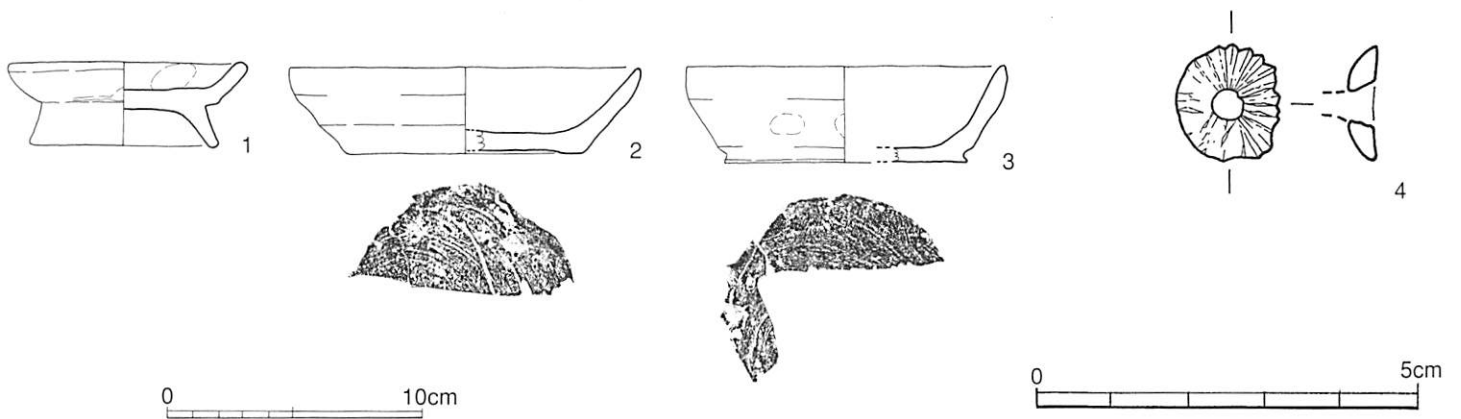
SK117 (第589図) 不整な楕円形の土坑である。床面は平坦で、長軸約1.1m、短軸0.9m、深さ0.5mを測る。



第587図 SK114出土遺物実測図 (1/3)



第588図 SK116実測図 (1/30)



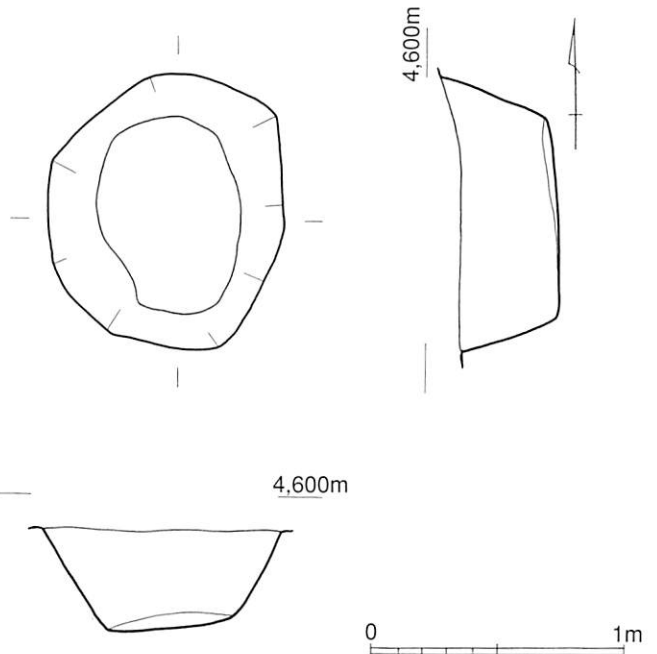
第589図 SK116出土遺物実測図 (1/3)

SK119

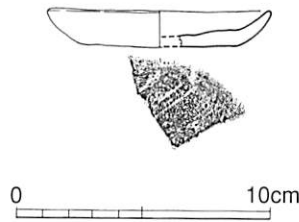
SK119 (第590図) 調査区中央のB19区で検出した。平面が不整な楕円形で、床面は丸みを帯びる。長軸約1.1m、短軸約0.9m、深さは約0.4mを測る。

出土遺物

出土遺物 (第591図) 1はSK119より出土した在地系土師質土器の小皿である。体部はやや内湾気味に立ち上がり、端部は丸く収まる。底部の肥厚がまだ認められないことから14世紀後葉の所産であろう。



第590図 SK119実測図 (1/30)



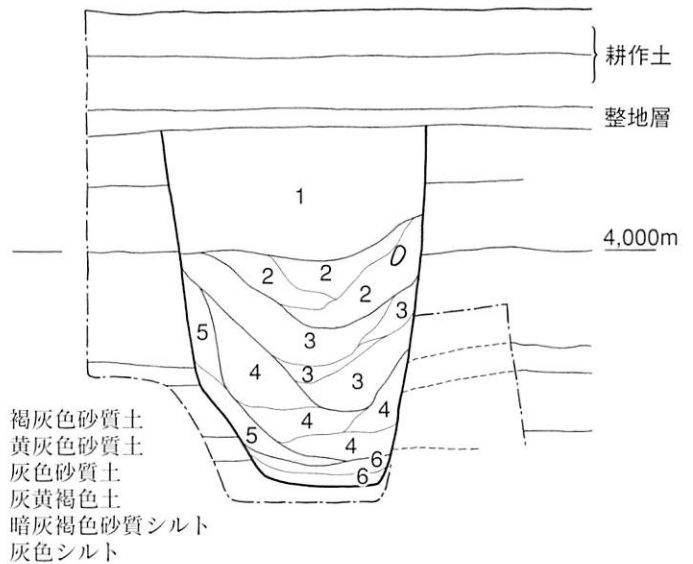
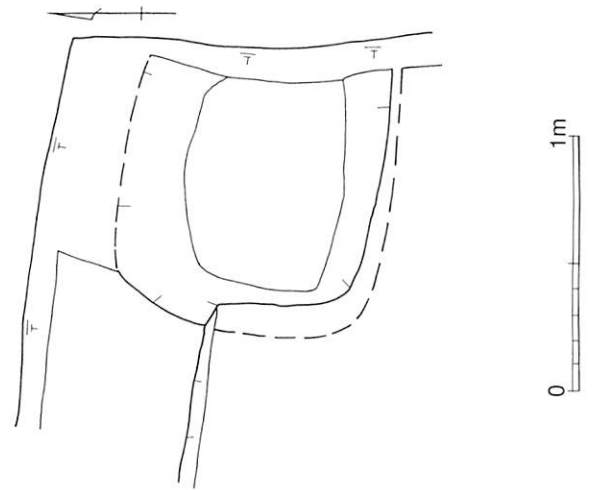
第591図 SK119出土遺物実測図 (1/3)

SK120

SK120 (第592図) 調査区東端北側D25区で検出した。東側が調査区外に続いたため全体規模は不明であるが、平面は隅丸方形か。土塁状遺構の下面から掘り込まれた可能性が高く、床面はほぼ平坦で、現状で短軸約1.1m、深さ約1.5mを測る。

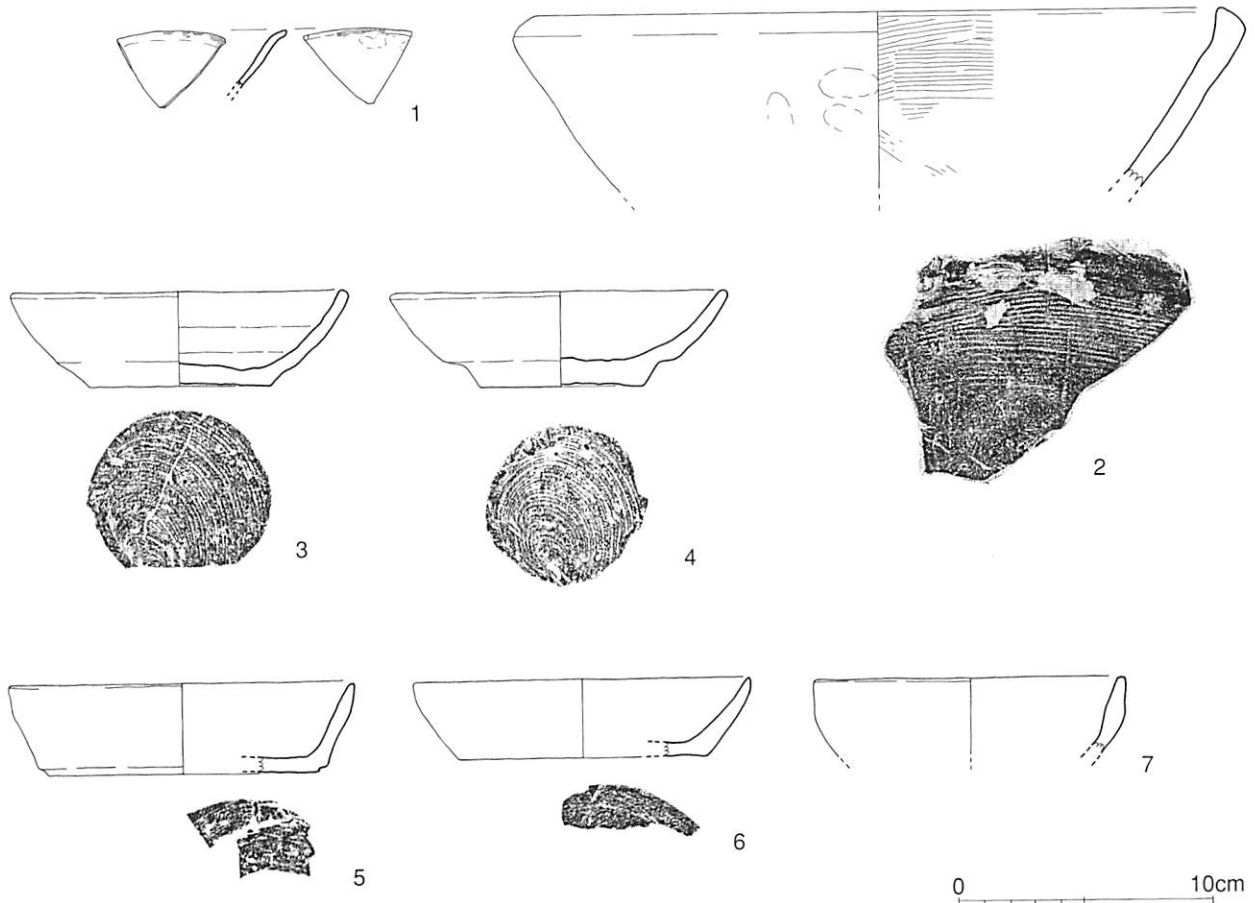
出土遺物

出土遺物 (第593図) 1～7はSK120から出土した遺物である。1は森田A群に属するいわゆる「口禿げの白磁」碗の口縁部である。口縁端部は外反し、端部には煤が付着しており、灯明皿として使用された可能性が高い。2は防長型播鉢である。ハケ目による調整痕が残り、口縁端部内側に断面三角形の肥厚帯が貼り付けられる。3～7は在地系の土師質土器の坏である。3・4は在地系土師質土器の坏である。底部から口縁部にかけて内湾気味に立ち上がり、口縁端部は尖り気味に仕上がる。5・6は外傾しながら直線的に立ち上がり、口縁端部は丸く仕上がる。7は口縁部片である。いずれも14世紀後葉の所産であろう。



- 1. 褐灰色砂質土
- 2. 黄灰色砂質土
- 3. 灰色砂質土
- 4. 灰黄褐色土
- 5. 暗灰褐色砂質シルト
- 6. 灰色シルト

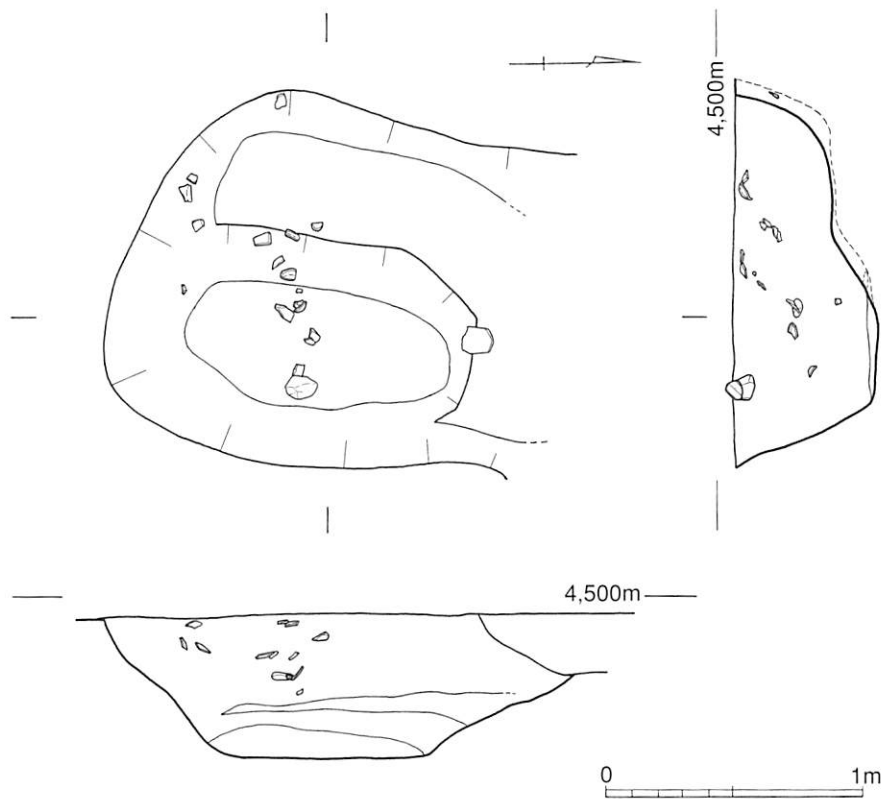
第592図 SK120実測図 (1/30)



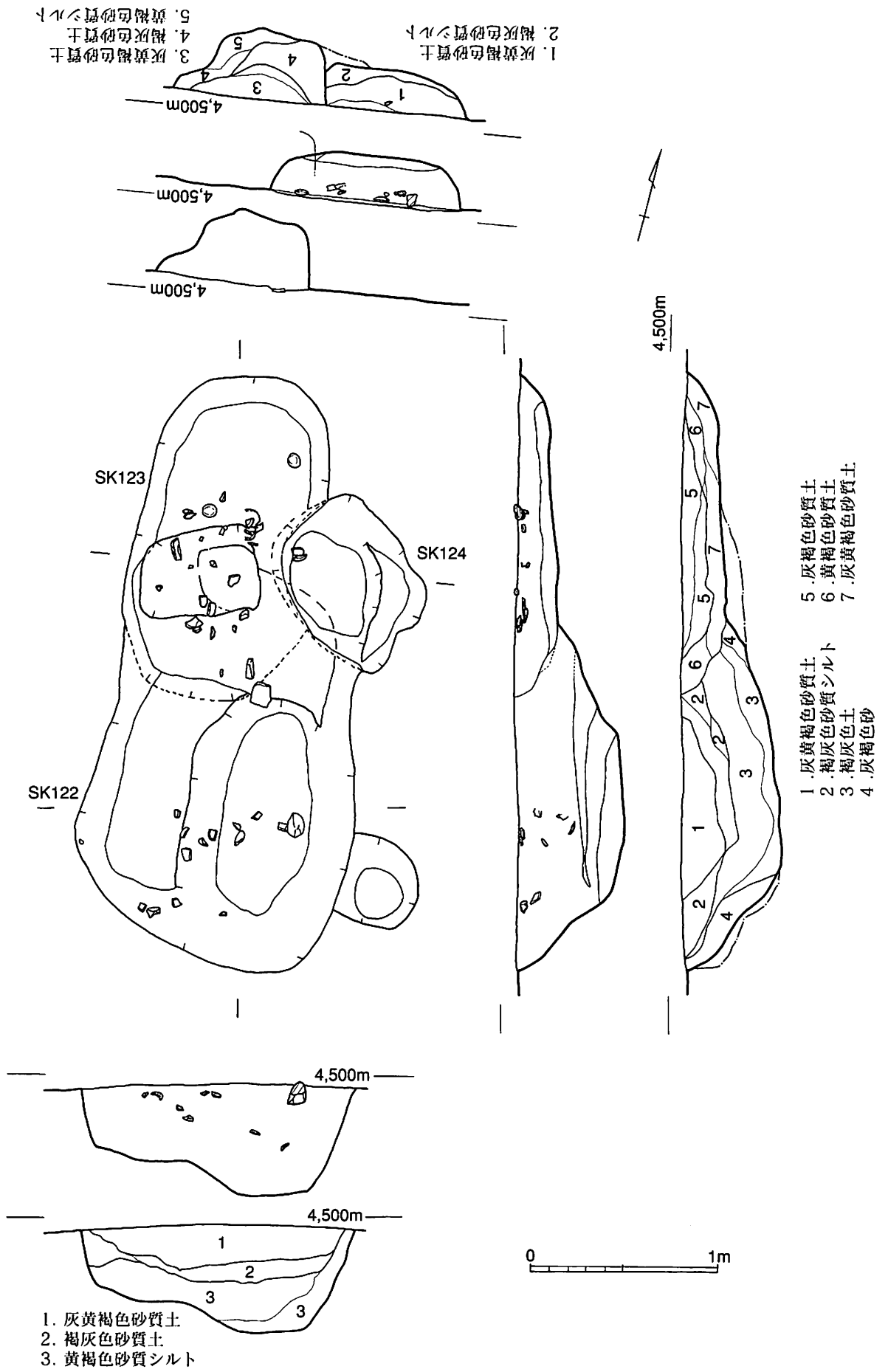
第593図 SK120出土遺物実測図 (1/3)

SK122

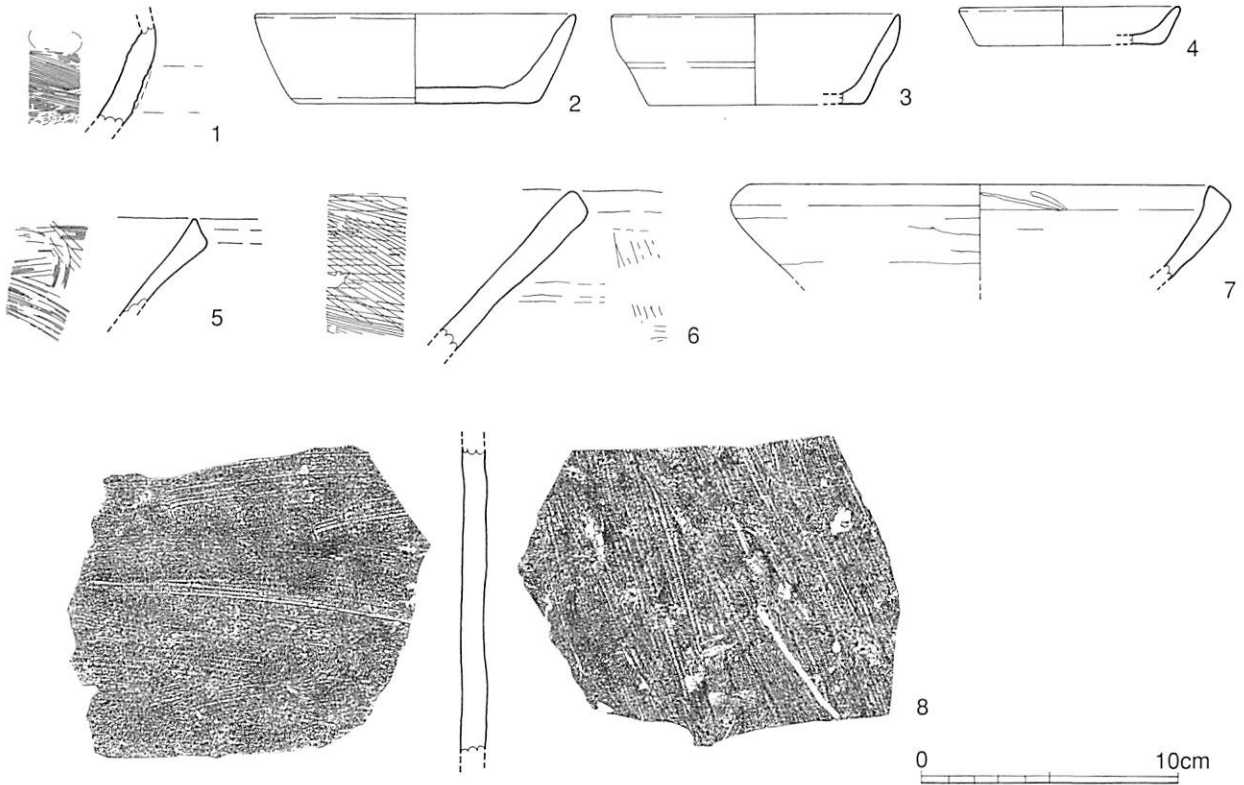
SK122 (第594図) 調査区西側B・C17区で検出。SK123・SK124と重複するように並ぶ。検出面の観察では明確ではなかったが、土層を観察するとSK123・SK124・SK125の順に作られたことが明らかとなった。SK122は不定形の土坑であり、北側を



第594図 SK122実測図 (1/30)



第595図 SK122~SK124実測図 (1/30)

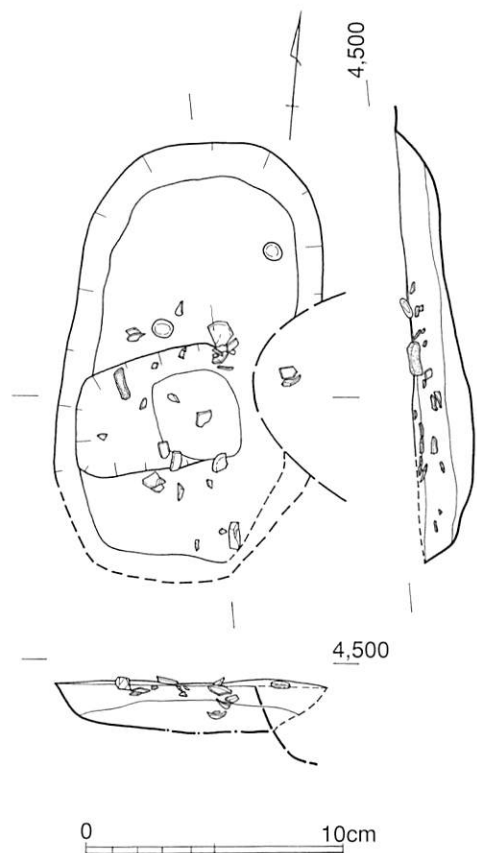


第596図 SK122出土遺物実測図 (1/3)

SK123・SK124によって切られる。床面はほぼ平坦であるが、南側で1段下がる。長軸は不明であるが短軸約1.3m、床面まで約0.4m、底まで約0.6mを測る。

出土遺物

出土遺物(第596図) 1～8はSK122から出土した遺物である。1は緑釉陶器片である。2～4は在地系土師質土器で2・3は坏、4は小皿である。2・3は底部から体部が外傾し直線的に伸び、口縁端部は尖り気味に仕上がる。3の体部には沈線状の段が残るが、これは体部下外面に強い横ナデが施されたためである。4は在地系土師質土器の小皿である。底部から体部が外傾し直線的に伸び、口縁端部は尖り気味に仕上がる。5は土師質土器の鍋である。口縁端部外側に断面三角形の肥厚帯を貼り付けた後、端部を面取りする。6・7は瓦質の鉢である。6の内面にはハケ目調整が施され、口縁端部内側に肥厚帯が貼り付けられていることから防長系の播鉢か。11は須恵器の甕の胴部片である。



第597図 SK123実測図 (1/30)

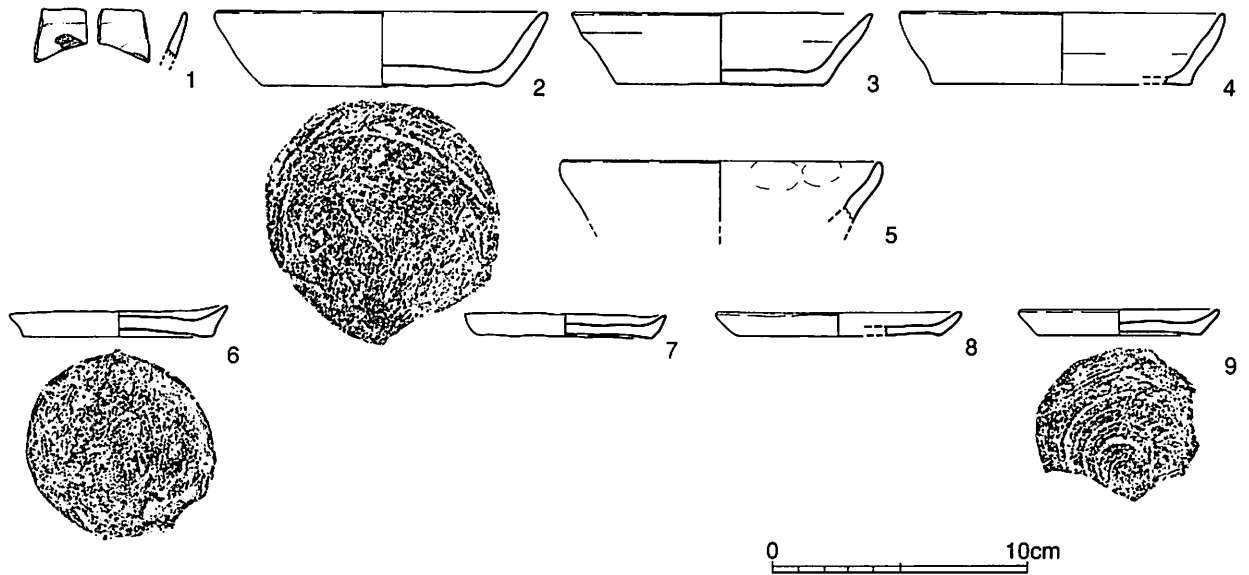
SK123

SK123 (第597図) SK122の上面に掘

り込まれ、SK124に切られる、平面が楕円形の土坑である。床面は平坦であるが南向きに下がる。長軸約1.7m、短軸1.0m、深さ0.17mを測る。

出土遺物

出土遺物(第598図) 1～9はSK123から出土した遺物である。1は青花碗の口縁部片である。他の遺物に比べると時期が新しいことから混入物であろう。2～9は在地系土師質土器で2～5は坏、6～9は小皿である。坏はいずれも口径と底径の差があまりないタイプで、体部は外傾し直線的に伸びるが、中央付近でやや肥厚し、口縁端部は尖り気味に仕上がる。5は口縁部片である。小皿は、いずれも口径は8cm前後であるが、6は底部から体部が外傾し直線的に伸びるのに対し、7～9はやや内湾しながら伸びる。これらの土師質土器は14世紀前葉頃～中葉の所産であろう。



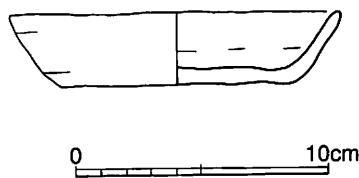
第598図 SK123出土遺物実測図 (1/3)

SK124

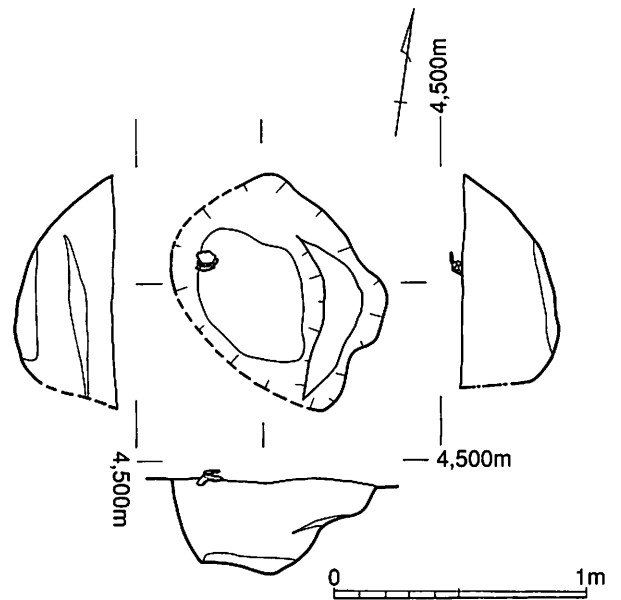
SK124 (第599図) 平面が不定形の土坑である。床面はやや丸みを帯びており、西側で1段下がる。長軸は約0.9m、短軸0.7m、床面まで約0.17m、底まで約0.35mを測る。

出土遺物

出土遺物(第600図) 1はSK124から出土した在地系土師質土器の坏である。口径と底径の差があまりないタイプで、底部から体部は外傾し直線的に伸び、端部は丸く収まる。14世紀後半の所産か。



第600図 SK124出土遺物実測図 (1/3)



第599図 SK124実測図

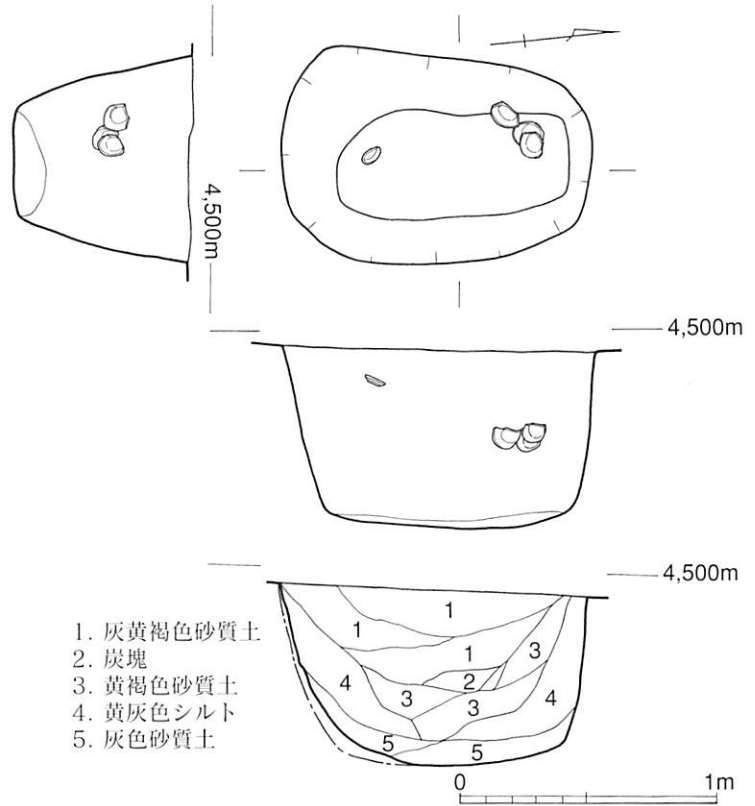
SK127

SK127 (第601図) 調査区西側 C17区で検出した平面が不正な楕円形の土坑である。床面は丸みを帯びる。長軸約1.2m、短軸0.8m、深さ0.68mを測る。

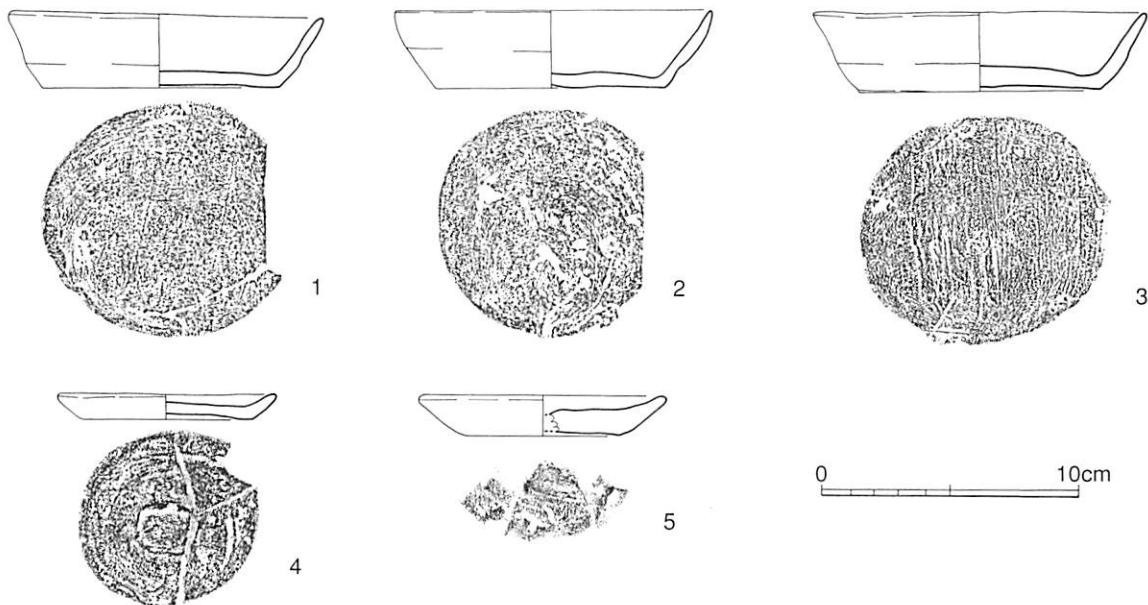
出土遺物

出土遺物 (第602図)

1～5はSK127から出土した遺物である。1～5は在地系土師質土器で、1～3は坏、4・5は小皿である。坏はいずれも口径と底径の差があまりないタイプで、底部から体部が外傾して直線的に伸びる。端部は丸く収まるが、2は尖り気味に仕上がる。小皿は、坏同様に底部から体部が外傾し直線的に伸び端部は丸く収まるが、5の底部は肥厚する。SK126同様、これらの土師質土器は14世紀前葉頃～中葉の所産であろう。



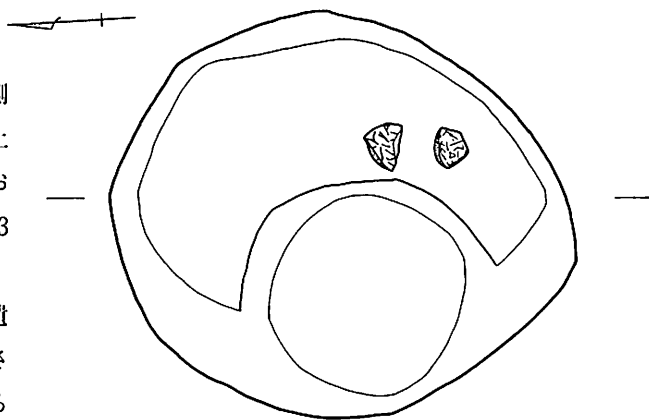
第601図 SK127実測図 (1/30)



第602図 SK127出土遺物実測図 (1/3)

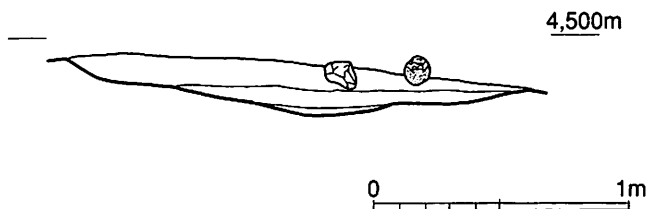
SK128

SK128 (第603図) 調査区西側
C17区で検出した平面が楕円形の土坑である。床面は丸みを帯びており、西側で1段下がる。長軸は0.53m、短軸0.35m、床面まで0.1m、底まで0.2mを測る。礫を含むが遺物は出土しなかった。上部が削平されており、全体の形状は不明であるが、床面の規模や検出状況から14世紀の土坑と判断した。

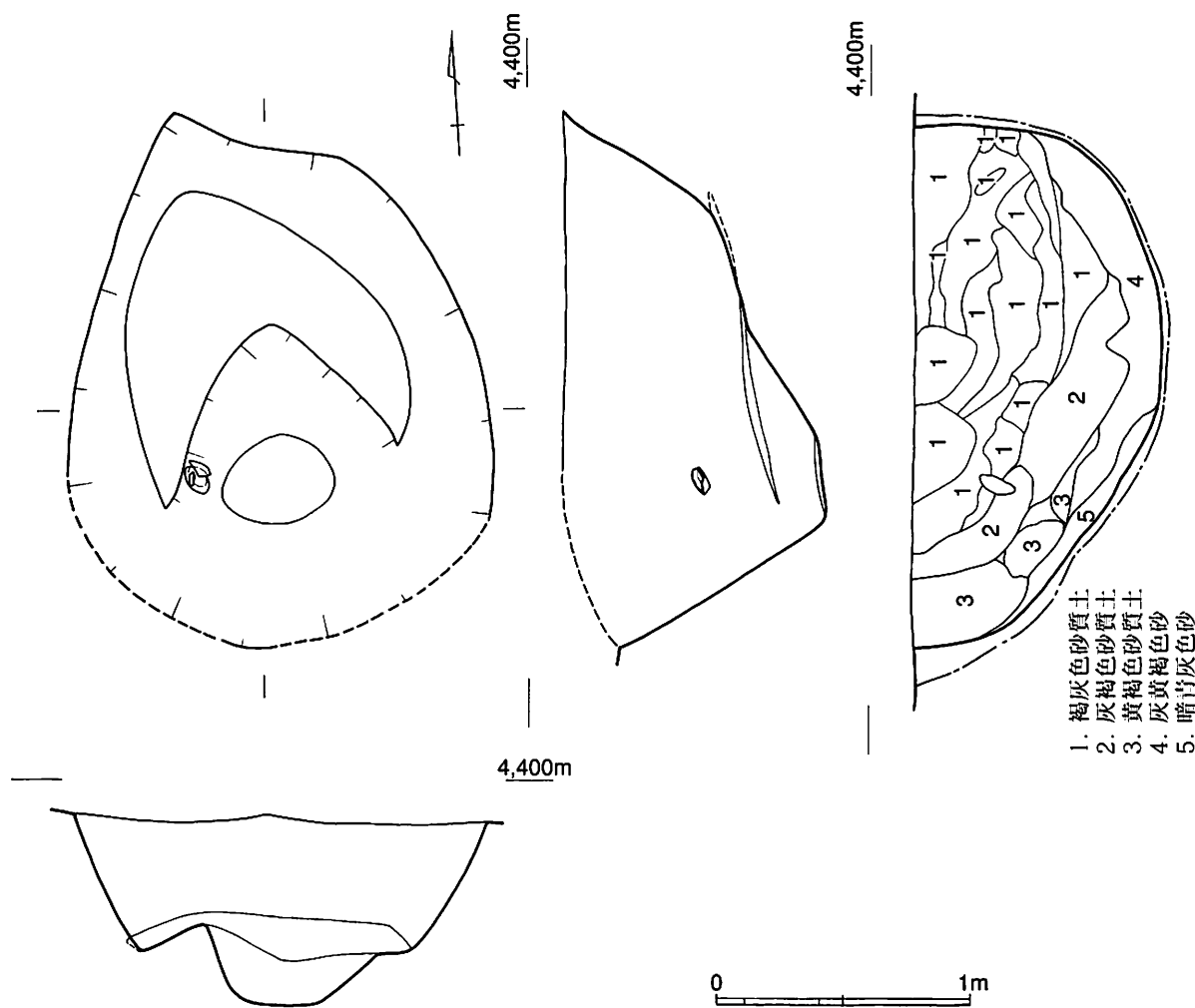


SK131

SK131 (第604図) 調査区西側
C・Dの17区で検出した平面が不整の楕円形の大型土坑である。床面は北側で1段下がるが、床面はほぼ平坦である。南側をSD105Aによって上部が切られる。長軸は0.37m、



第603図 SK128実測図 (1/30)

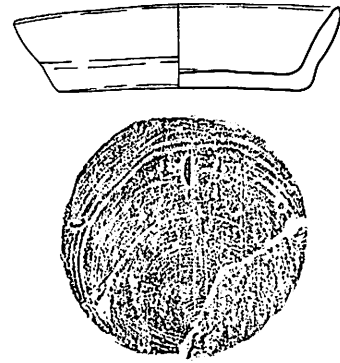


第604図 SK133実測図 (1/30)

短軸0.37m、床面まで0.17m、底まで0.40mを測る。

出土遺物

出土遺物 (第605図) 1はSK131から出土した遺物である。在地系土師質土器の坏である。口径と底径の差があまりないタイプで、底部外面に強いナデが施されるため、体部中央付近が肥厚する。



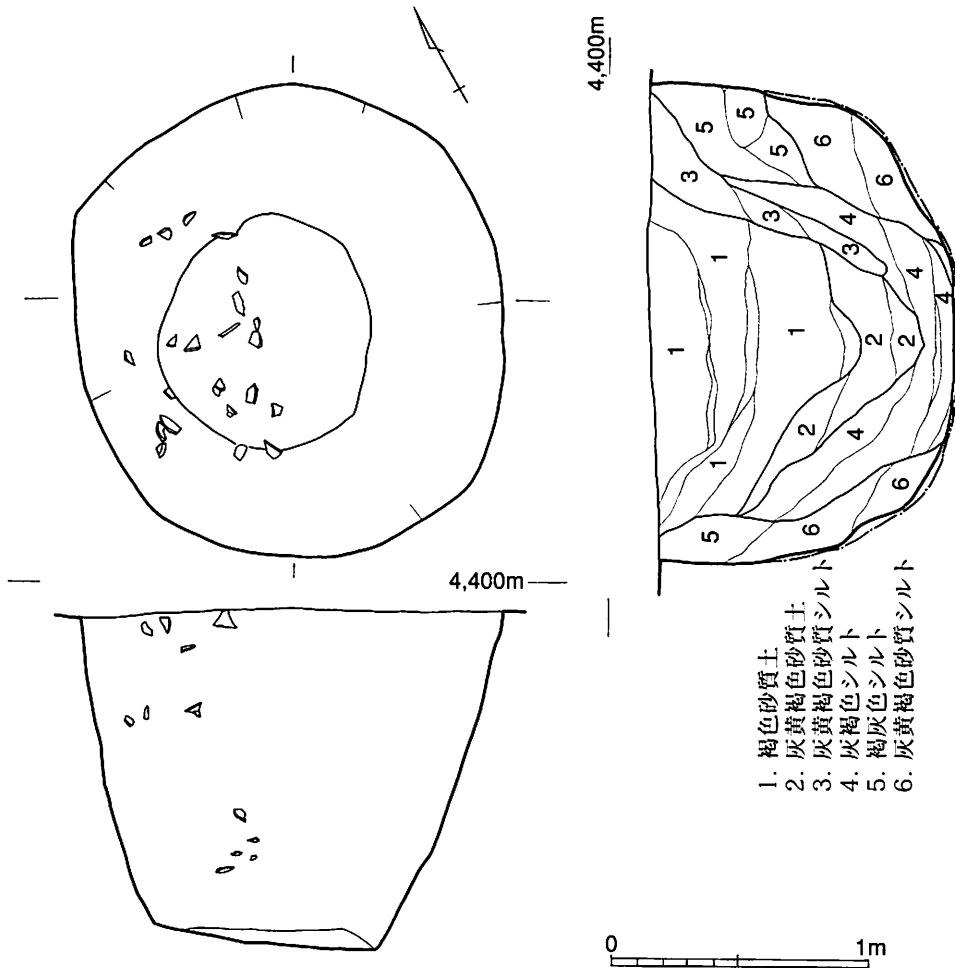
第605図 SK131出土遺物実測図 (1/3)

SK133

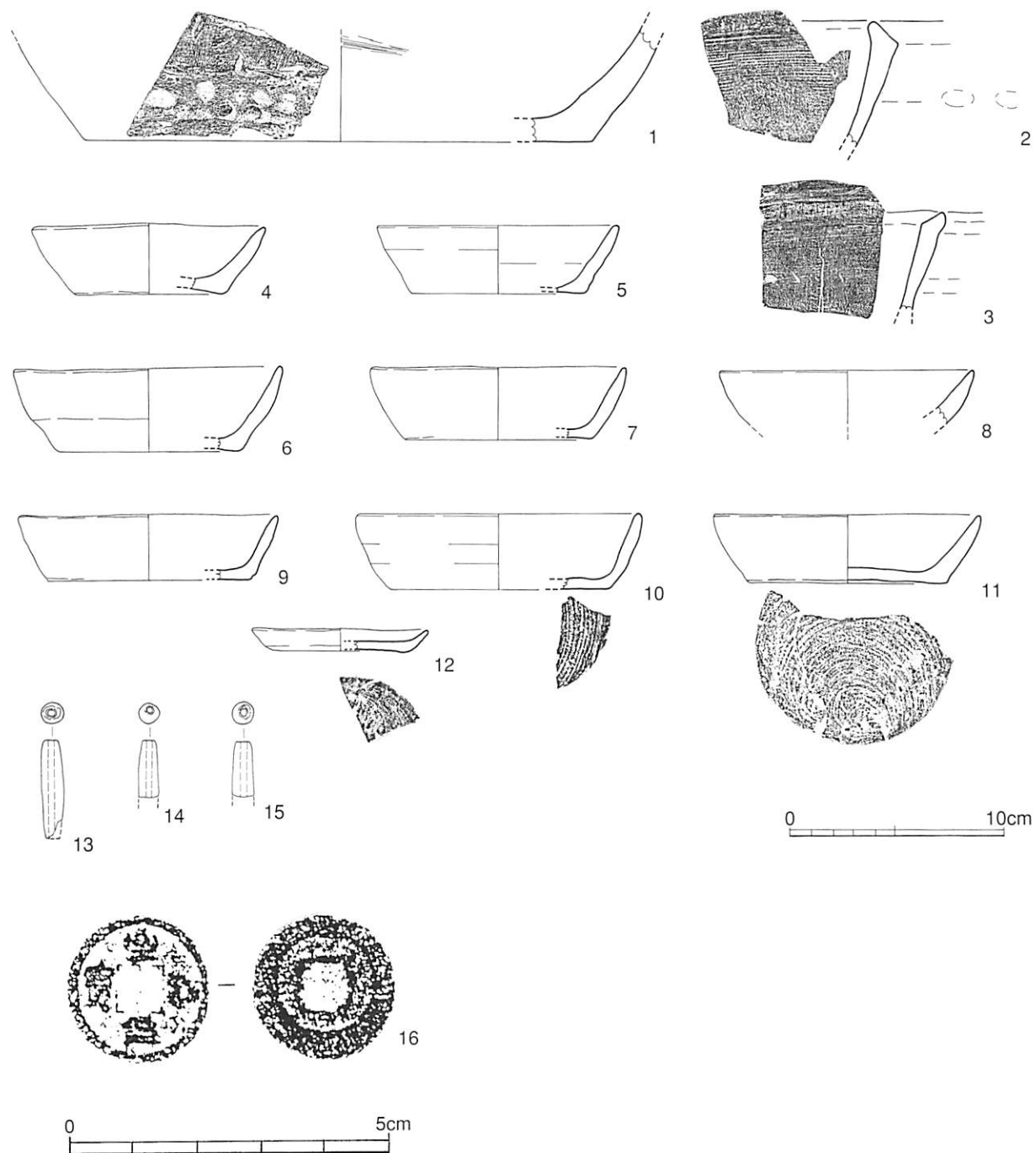
SK133 (第606図) 調査区西側C・Dの18区で検出した平面が楕円形的大型土坑である。床面はほぼ平坦である。長軸は約1.78m、短軸約1.65m、深さ約1.2mを測る。

出土遺物

出土遺物 (第607図) 1～16はSK133から出土した遺物である。1は備前系の甕の底部である。2・3は土師質土器の捏ね鉢の口縁部片である。4～12は在地系土師質土器で4～11は坏、12は小皿である。いずれも底部から体部が外傾し直線的に伸び、端部は丸く取まる。6の体部下半外面には強い横ナデが施される。いずれも器高が3cmを超えるが、4・5は6～11に比べて底径と口径の差が少ない。小皿も坏同様に体部が外傾し直線的に伸びる。13から15は土錘である。16は銅銭で、初鑄年が1054年(北宋)の「至和元寶」である。



第606図 SK133実測図 (1/30)



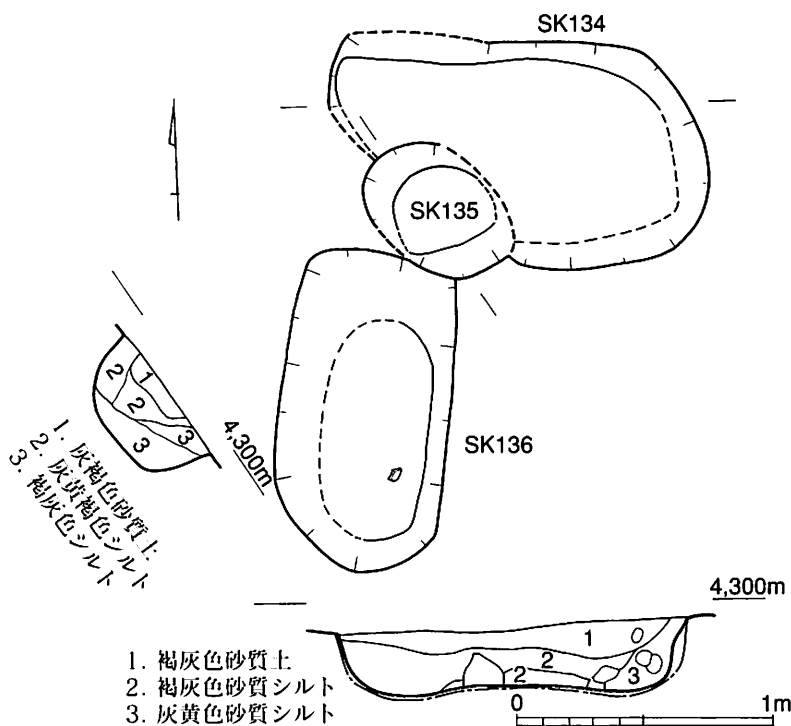
第607図 SK133出土遺物実測図 (1/3、1/1)

SK134

SK134 (第608図) 調査区東側D17区でSK135・SK136と重複して検出した。平面が楕円形の土坑で、床面は丸みを帯びており、長軸は約1.6m、短軸約1.0m、深さ0.22mを測る。

出土遺物

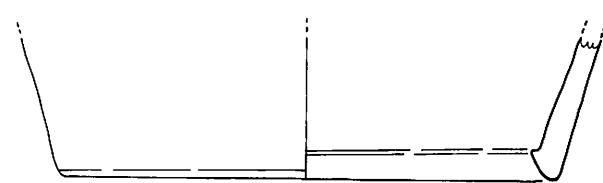
出土遺物 (第609図) 1はSK134から出土した瓶の底部片である。底部の返りが残ることから9世紀前半のものであり、混入物の可能性が高い。



第608図 SK134・135・136実測図 (1/30)

SK135

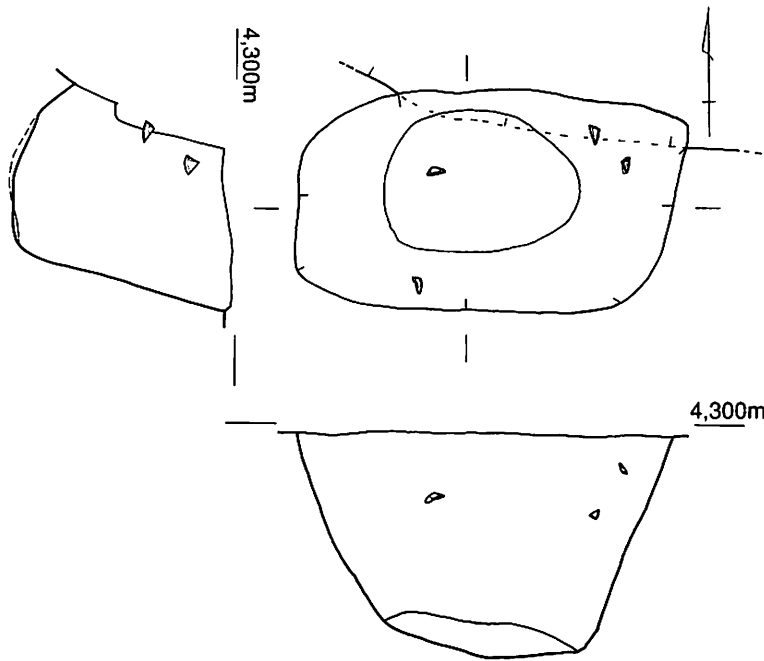
SK135 (第608図) SK39とSK40を切るように掘り込まれた楕円形の土坑である。床面はほぼ平坦で長軸は約0.6m、短軸約0.45m、深さ0.28mを測る。遺物は出土していない。



第609図 SK134出土遺物実測図 (1/3)

SK136

SK136 (第608図) 不整な楕円形の土坑である。床面はやや凸凹しており、長軸は約1.22m、短軸約0.7m、深さ0.26mを測る。遺物は出土していない。



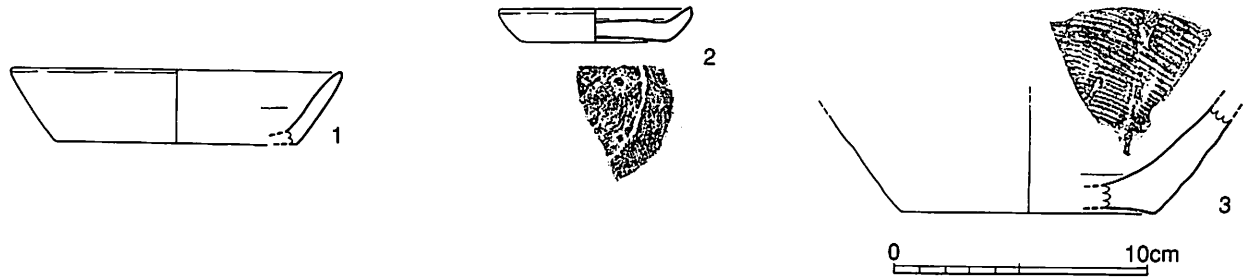
SK137

SK137 (第608図) 調査区西側D18区で検出した平面が不整な隅丸方形で北側がSD101によって切られる。床面はほぼ平坦であるが、南向きに下がる。長軸は約1.5m、短軸約0.86m、深さ約0.9mを測る。

出土遺物

出土遺物 (第610図) 1～3はSK137から出土した遺物である。1は在地系土師質土器の坏

第610図 SK137実測図 (1/30)



第611図 SK137出土遺物実測図 (1/3)

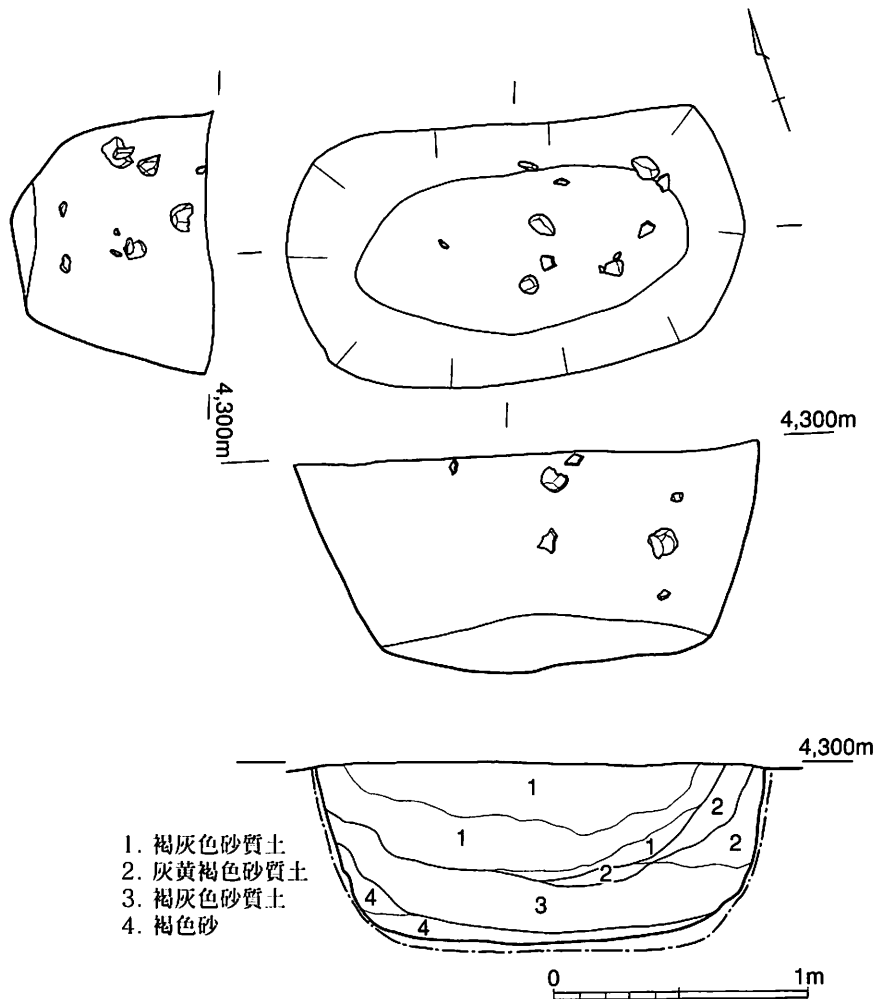
の口縁部である。底部から体部が外に傾き直線的に伸び、端部は丸く収まる。底径と口径の差が少ないタイプである。2は在地系土師質土器の小皿である。体部の立ち上がりはやや内湾する。これらの土師質土器は14世紀中葉～後葉の所産であろう。3は鉢の底部か。底部外面にはハケ目状の調整痕が残る。

SK138

SK138(第612図) 調査区西側D17・18区で検出した平面が東西方向に長い大型の土坑である。平面は楕円形を呈しており、床面はやや丸みを帯びる。長軸は約1.8m、短軸約1.0m、深さ約0.8mを測る。礫とともに遺物も出土したが、いずれも小片であり、図示できるものはなかった。

SK140

SK140(第613図) 調査区西側D17区で検出した不定形の大型の土坑である。北西側は後世の攪乱のために削平される。床面は中央部で2段下がり底部はやや丸みを帯びる。長軸は約2.5m、短軸約2.3m、床面まで約0.9m、1段目まで深さ約1.2mを測る。



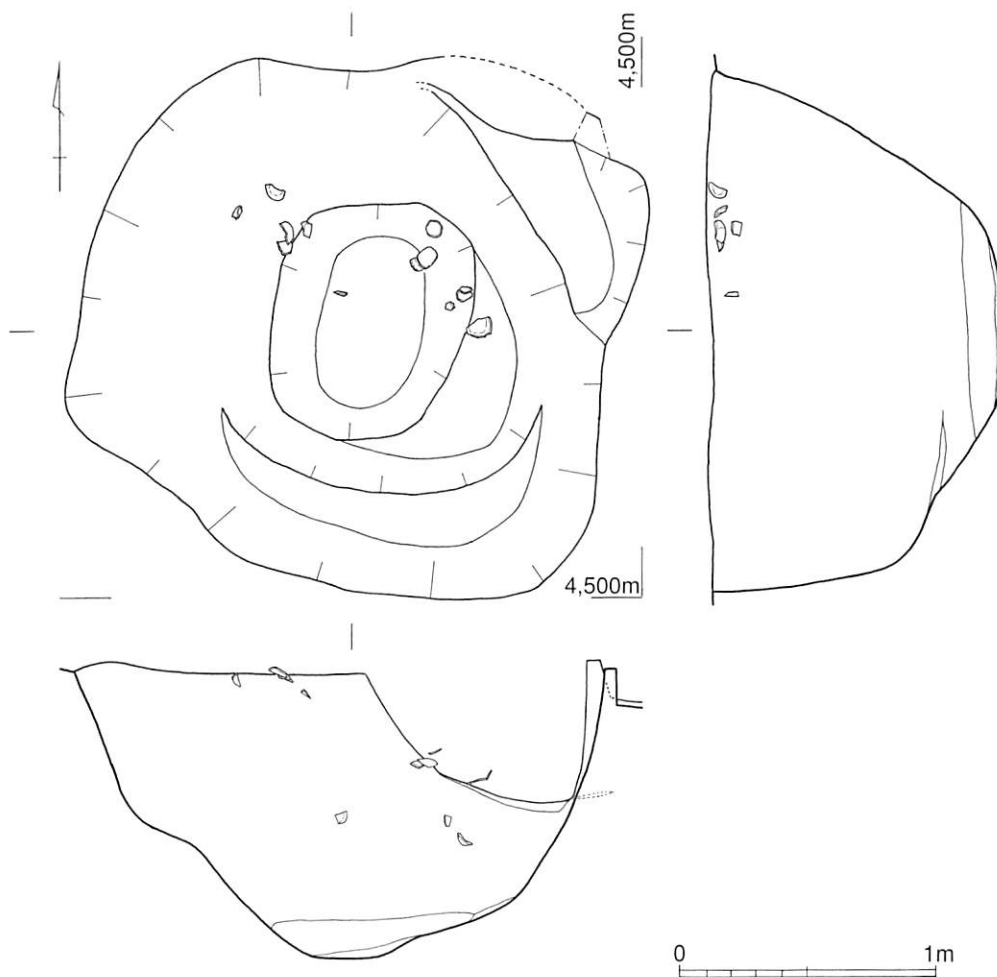
- 1. 褐灰色砂質土
- 2. 灰黄褐色砂質土
- 3. 褐灰色砂質土
- 4. 褐色砂

第612図 SK138実測図 (1/30)

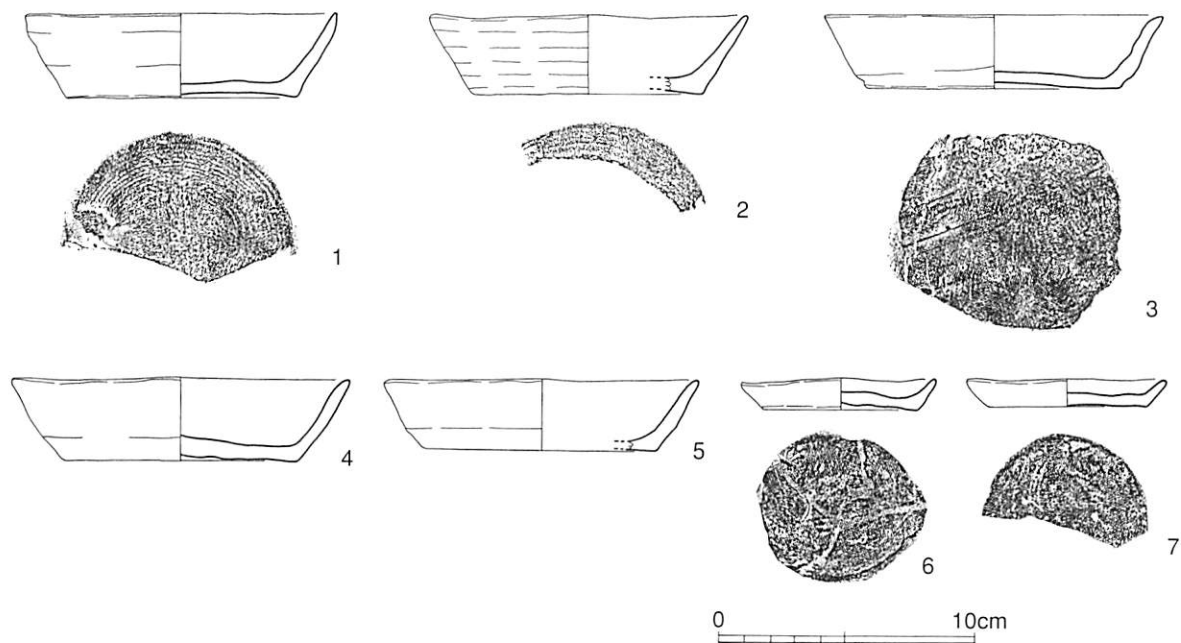
出土遺物

出土遺物(第614図) 1～7は

SK140から出土した遺物である。いずれも在地系土師質土器で1～5は坏。3～5は小皿である。坏はいずれも口径と底径にあまり差がないタイプで1・2は底部から体部が外傾し直線的に伸びて端部は丸く収まるのに対し、3～5は体部がやや内湾しながら伸び、口縁端部はさらに外反する。小皿については、いずれも底部から体部が外傾し直線的に伸びて端部は丸く収まる。体部の形状か



第613図 SK140実測図 (1/30)



第614図 SK140出土遺物実測図 (1/3)

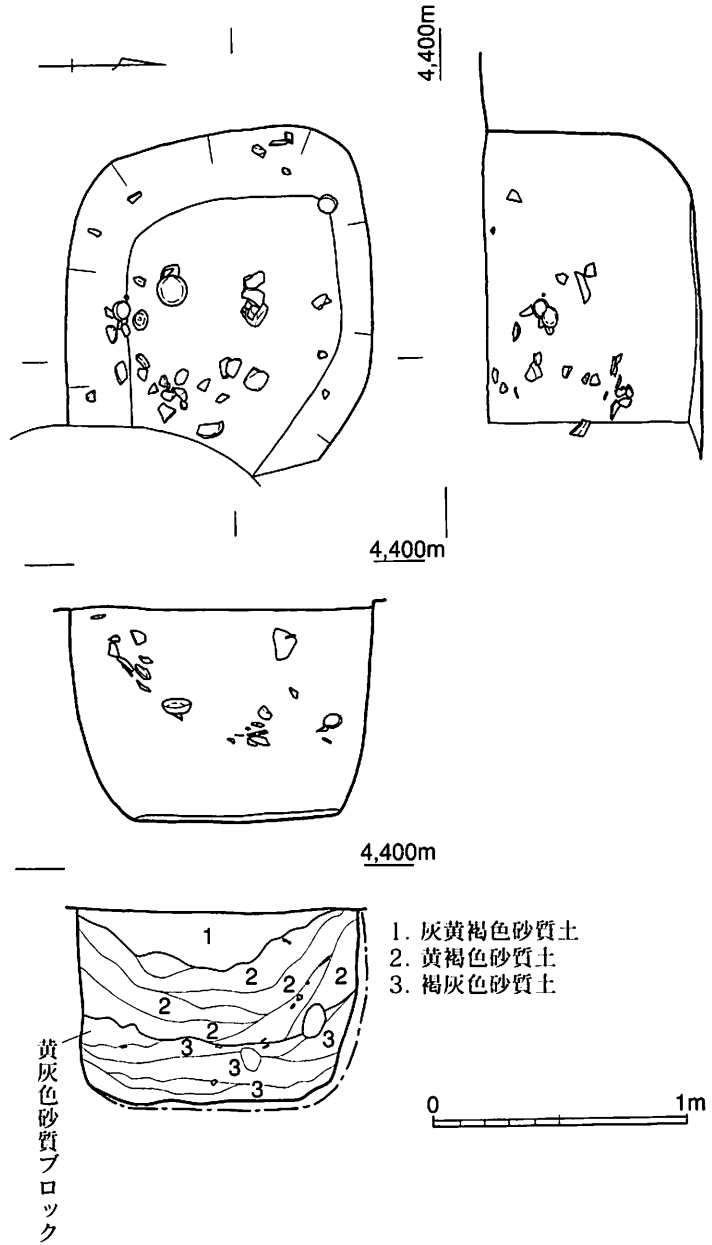
ら14世紀中葉～後葉の所産であろう。

SK141

SK141 (第615図) 調査区西側D17区でSK45の西側で検出した東西方向に長い大型の土坑である。SK45同様に東側が後世の攪乱のために削平される。平面は楕円形を呈しており、床面はほぼ平坦である。長軸は不明であるが、短軸1.2m、深さ約0.8mを測る。

出土遺物

出土遺物 (第616図) 1～24はSK141から出土した遺物である。1～24は在地系土師質土器である。1～8は坏、9～24は小皿である。いずれも箱型であるが4～8は口径と底径にあまり差のないタイプである。1～3は、体部の立ち上がりは1が直線的、2は内湾気味、3は口縁が外反するなど、バラエティーに富む。それに比べると3～8の体部はいずれも外に傾きながら直線的に立ち上がる。小皿については、9～18まではいずれも底部から体部が外傾し直線的に伸び端部は



第615図 SK141実測図 (1/30)

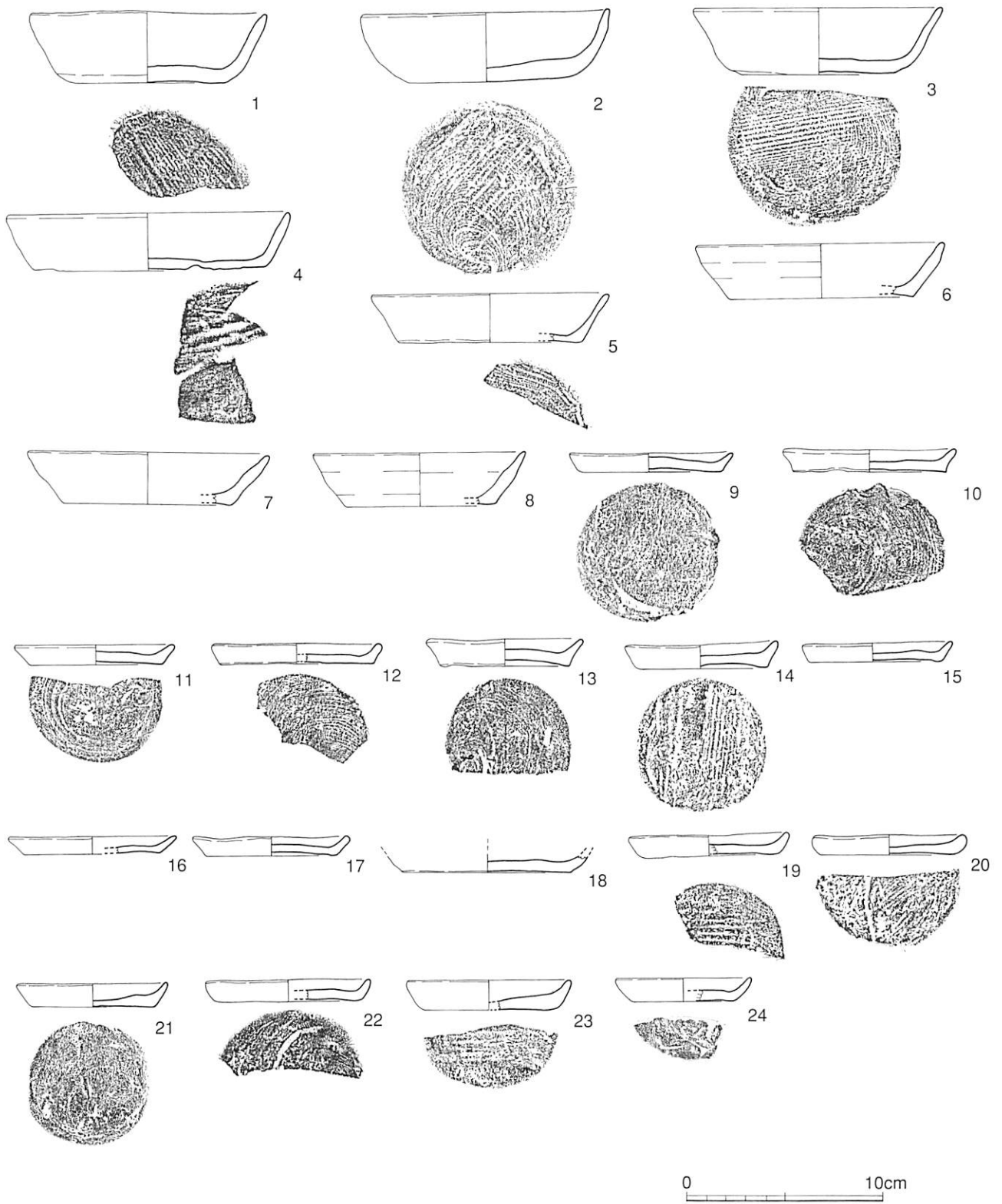
丸く収まる。19～24は体部が内湾気味に立ち上がる。1～3については15世紀代にみられることから、これらの土師質土器は14世紀末～15世紀初頭の所産と考えてよいであろう。

SK142

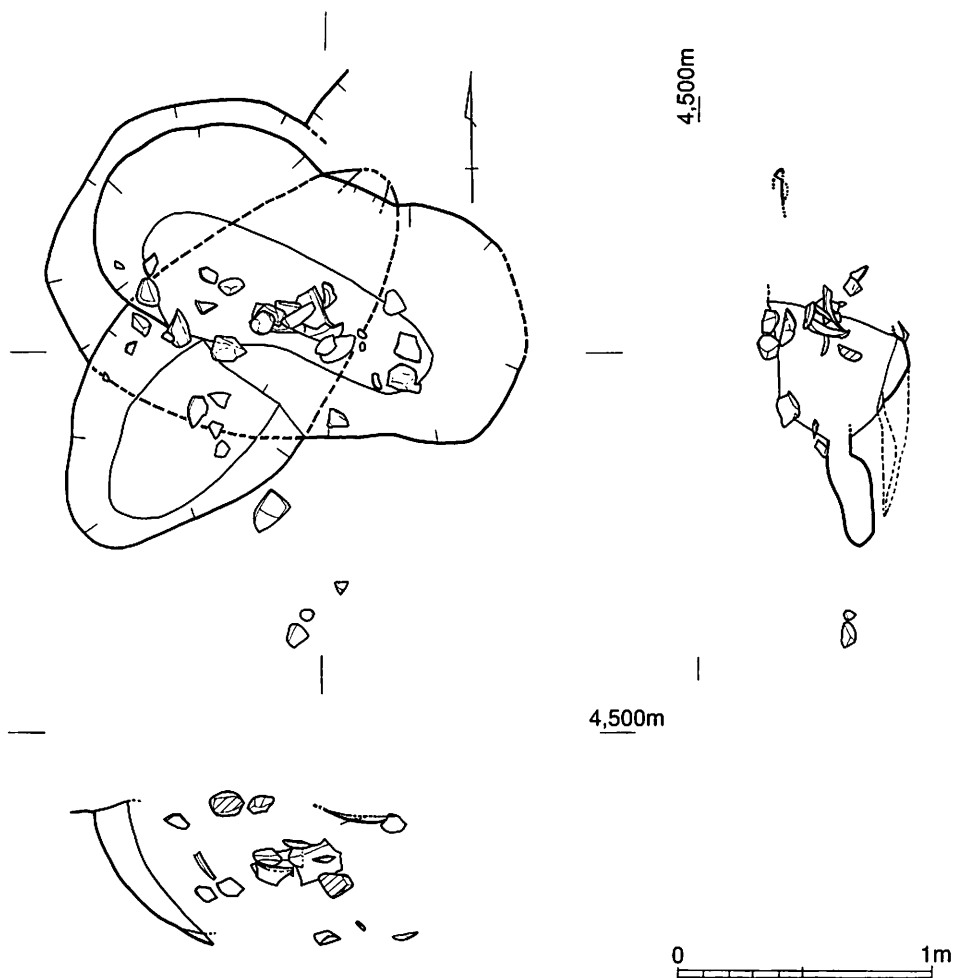
SK142 (第617図) 調査区西側C17区で検出した土坑である。後世の攪乱により平面プランは不明であるが、楕円形を呈していたと思われる。床面はやや丸みを帯びる。長軸は約1.9m、短軸約1.2m、深さ約0.5mを測る。

出土遺物

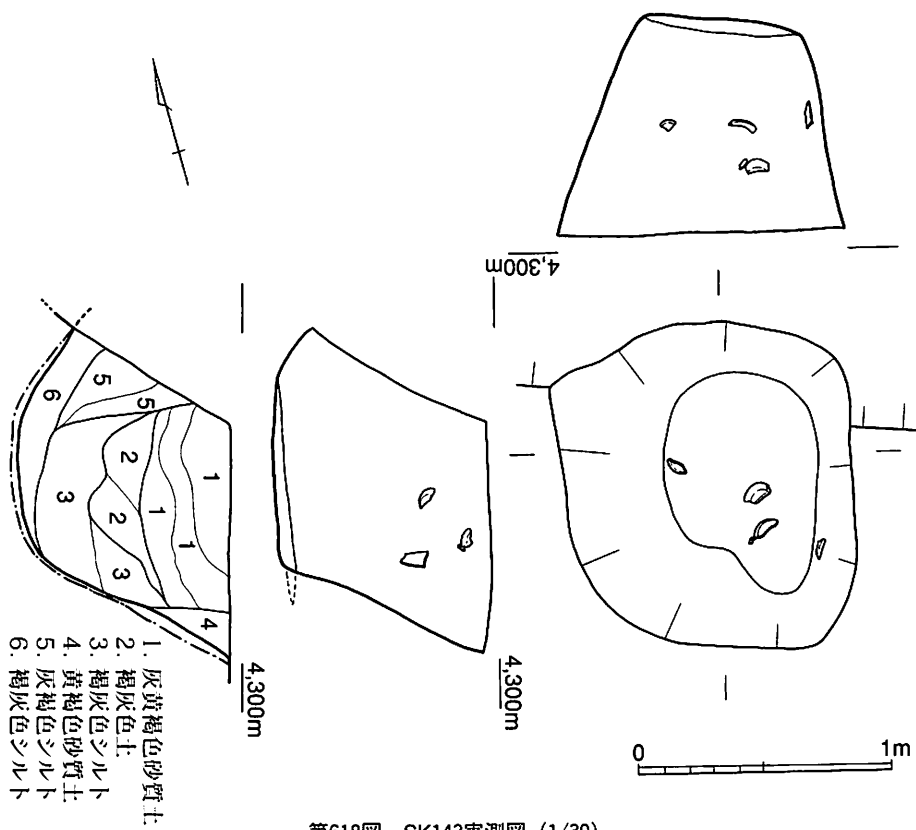
出土遺物 (第618図) 1～8はSK142から出土した遺物である。1は在地系土師質土器の坏で、体部がやや内湾しながら伸び、口縁端部はさらに外反する。底径と口径の差が少ないタイプである。14世紀後葉の所産であろう。2は口縁が受け口状の縁帯を持つ信楽系の甕の口縁部か。3は土鍋の口縁部である。体部外面下半分から底部にかけて格子目状のタタキ痕が残る。4～8は瓦質土器である。4は鉢の口縁部で内外面にハケ目が施されている。5・6・7は捏ね鉢、8は播鉢で、スリ目の条数は5本程度と少ない。



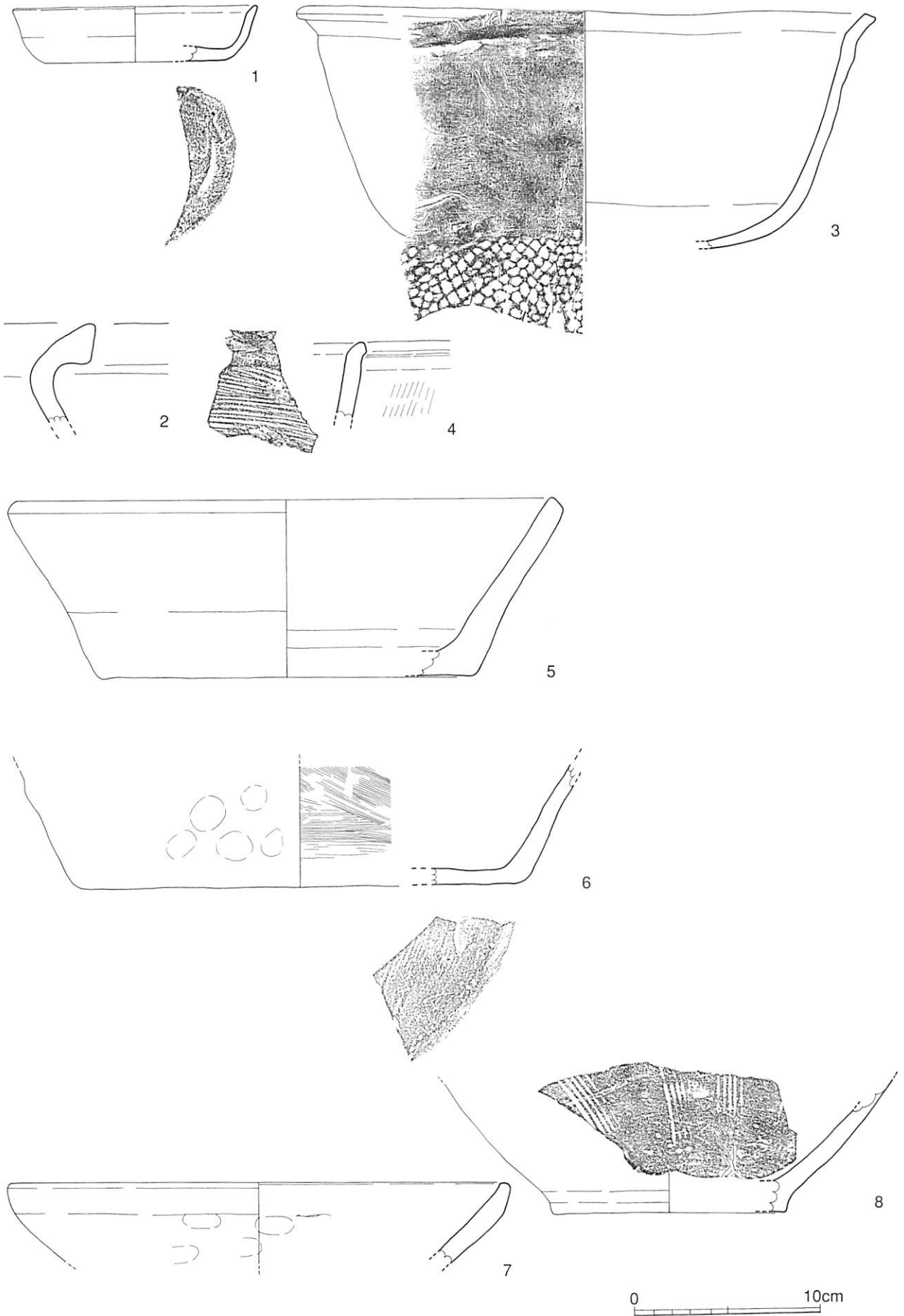
第616図 SK141出土遺物実測図 (1/3)



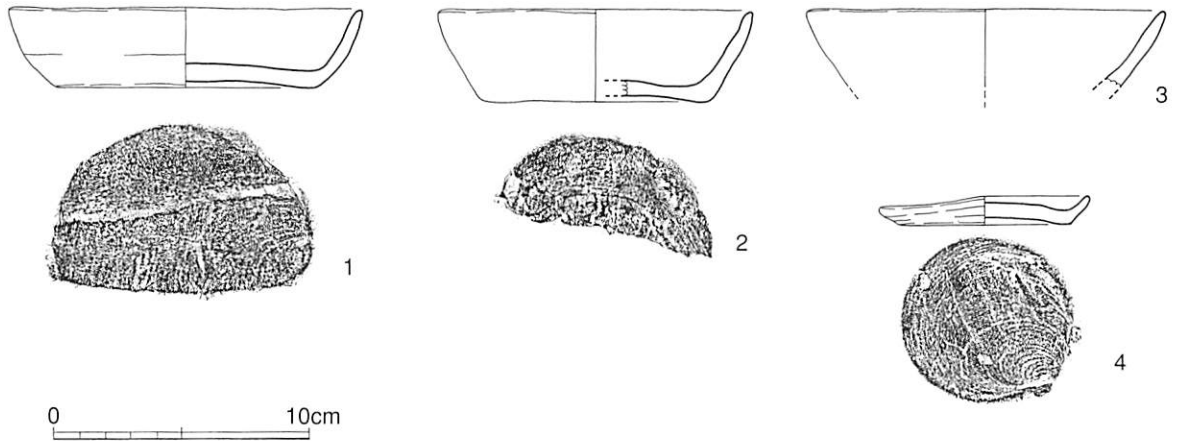
第617図 SK142実測図 (1/30)



第618図 SK143実測図 (1/30)



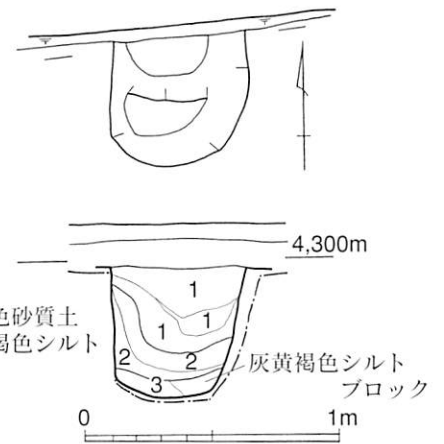
第619図 SK142出土遺物実測図 (1/3)



第620図 SK143出土遺物実測図 (1/3)

SK143 **SK143** (第618図) SK47に北東側を切られた平面が隅丸方形の土坑である。床面はやや丸みを帯びる。長軸は約1.3m、短軸約1.8m、深さ0.8mを測る。

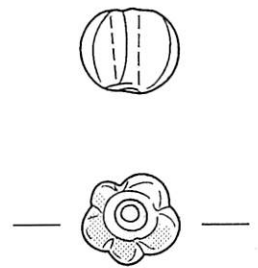
出土遺物 **出土遺物** (第620図) 1～4はSK143から出土した遺物である。1・2は在地系土師質土器の坏である。いずれも体部がやや内湾しながら伸び、口縁端部は丸く収まる。3は同じく在地系土師質土器の坏の口縁部片である。4は在地系土師質土器の小皿で、坏同様体部がやや内湾しながら伸びる。14世紀中葉頃の所産であろう。



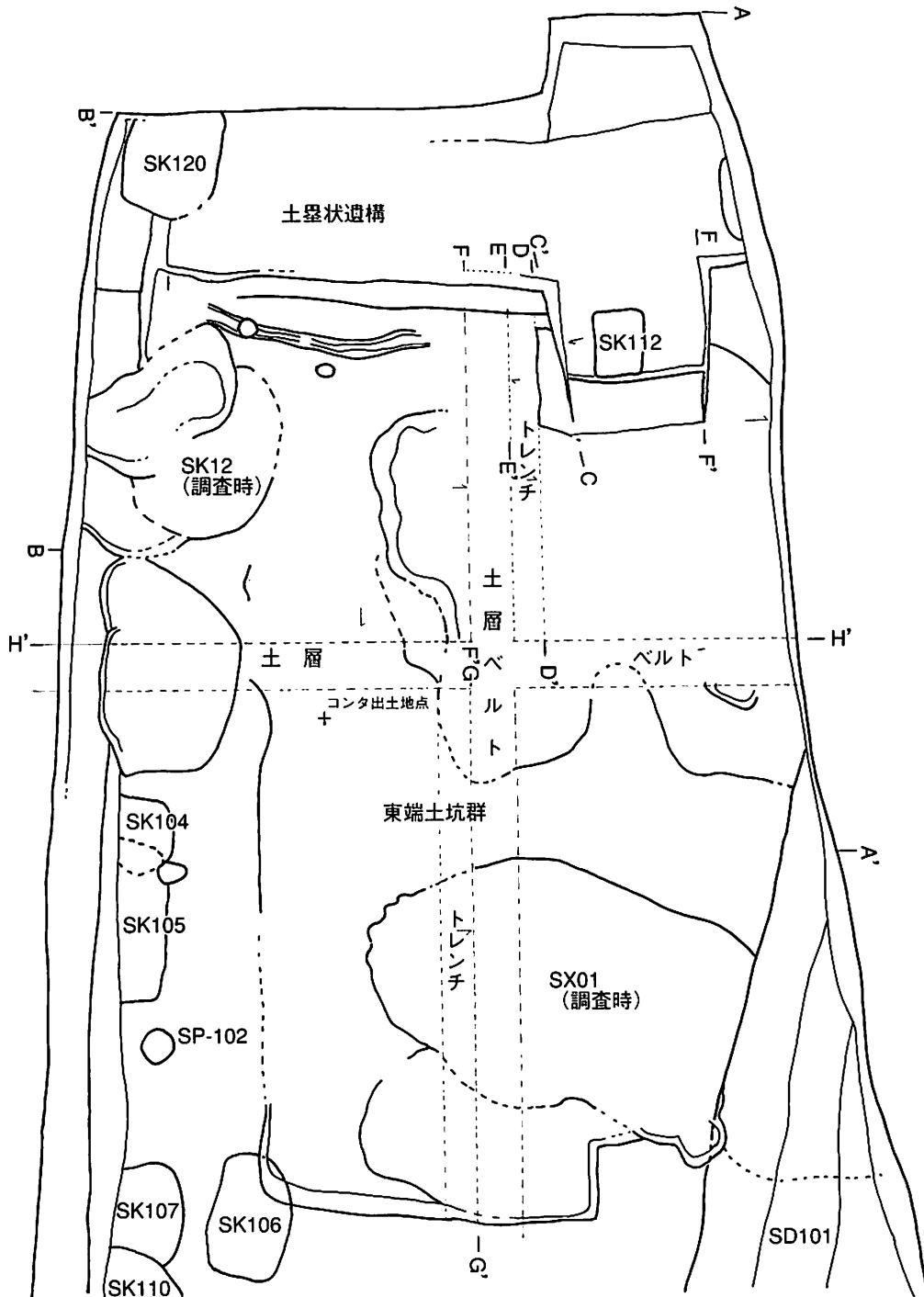
第621図 SK145実測図

SK145 **SK145** (第621図) 調査区西側 D18区で検出した土坑である。北側が調査区外へと続く。平面は楕円形の可能性が高い。床面はやや丸みを帯び北側に1段下がる。短軸約0.52m、深さ0.52mを測る。遺物は出土していないが14世紀代の土坑が集中する場所で検出したので14世紀代の遺構とした。

概説 **東端土坑群** (第623図) 第623図は調査区東端の遺構配置状況である。東端には土塁状遺構が存在し、その西側には、SK104やSK105などの土坑とは別に、SX01やSX02など不定形の大型の掘り込みが存在する。当初は大型土坑群と考えたが、これらの土坑の土層を観察すると、遺構の上面に硬くしまった整地層(灰褐色砂質土)が土塁状遺構の基部から覆うように続いており、遺物はその上面から出土していること、また、土坑群から出土したとされていた遺物が水田開発に伴う整地層から出土した遺物と接合関係があることなどから、遺物は整地に伴うものであり、これらの大型の掘り込みは、土塁状遺構の構築に伴う土取りのための掘り込みの可能性が高いと判断した。掘り込みを覆う整地面は不規則であるがD23区まで続いており、府内で最初にキリシタン遺物となったコンタはこの整地層から出土している。(第622図)はロザリオの珠の「コンタ」である。ロザリオはキリシタンが祈りをさ

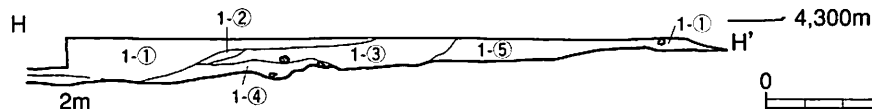
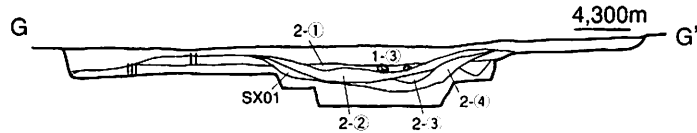
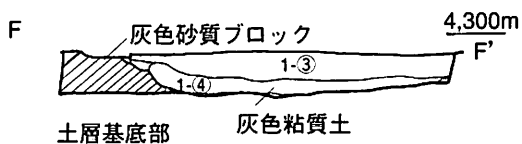


第622図 コンタ実測図 (1/1)

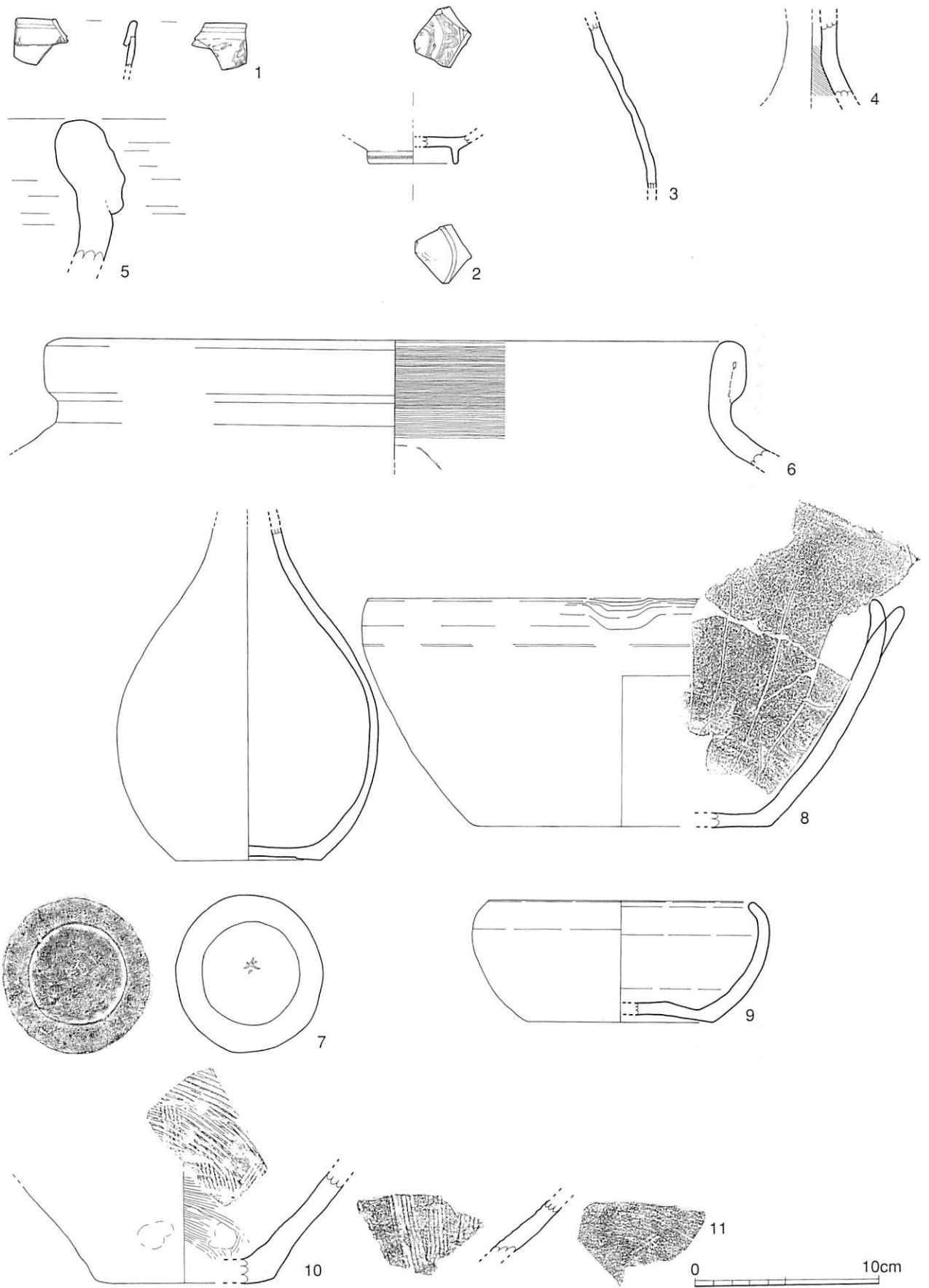


II・III(地山層)
 II層…暗褐色砂質シルト。
 III層…黄褐色砂質土。

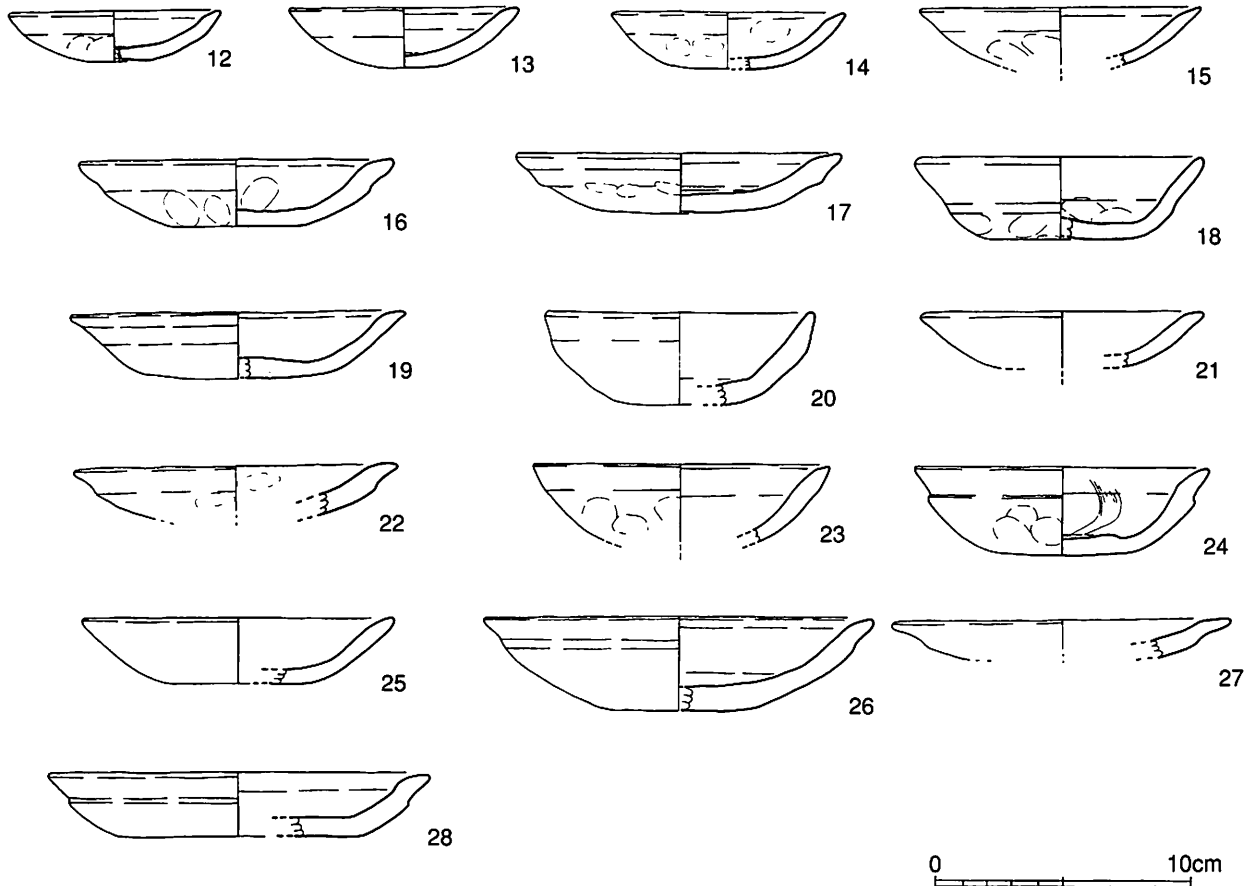
1・2層(整地層)
 1層…暗灰色砂質土。遺物の細粒や礫を含む。
 ① 灰色が強く、黄褐色のブロックを含む。
 ② やや白色が強い。
 ③ 固くしまっている。
 ④ 地山ブロックを多く含む。
 ⑤ シルト質できめが細かい。コンタ出土層。
 2層…青灰色砂質土。
 ① 灰色が強く固くしまる。
 ② やや粘質が強い。
 ③ 青色が強い。
 ④ ③と同質であるが、青色が強い。
 ⑤ 地山ブロックを含む。



第623図 調査区東端遺構配置図 (1/40)



第624図 東端土坑群出土遺物実測図① (1/3)



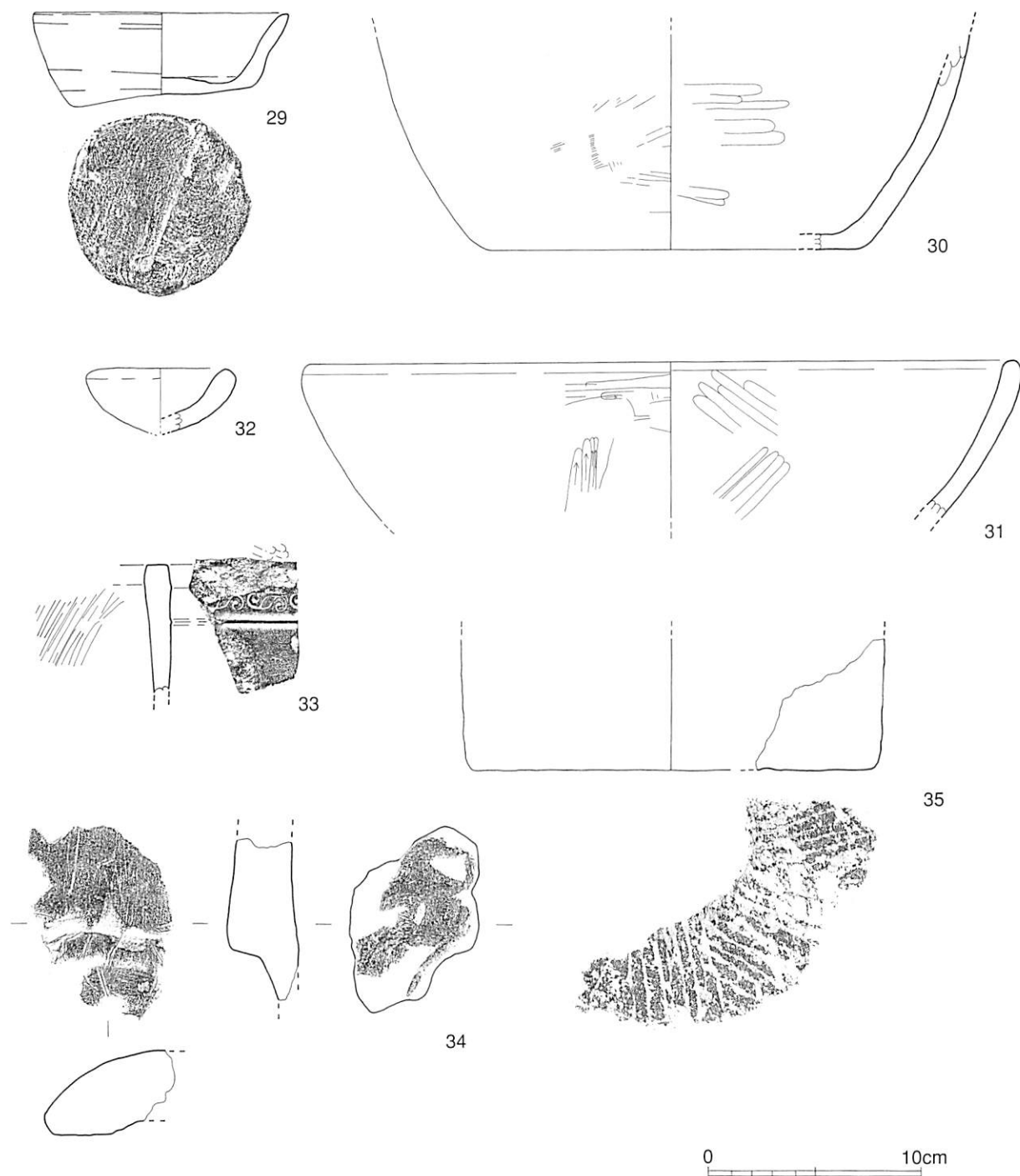
第625図 東端土坑群出土遺物実測図② (1/3)

さげる際に使用したクルスのついた数珠で、「聖母マリアへの祈り（天子祝詞）」を「コンタ」を繰り返り、数えながら祈りをささげたといわれる。その様子がバラの花輪を編むような形に良く似ていることから、この数珠がラテン語で「バラの冠」の意味であるロザリオと呼ばれるようになったと言われる。今回出土した「コンタ」はガラス製で高さ1cm、最大幅1.2cmを測り、珠の中央は紐を通すために穿孔され、胴部には縦方向に5ヶ所の縊れがあり、表面にはわずかに帯色している（白色）。

以上東端土坑群について説明を加えたが、ここでは遺構の説明は行わず、遺物のみの説明にとどめたい。なお土塁状遺構については、本来ならば別項で取り扱うべきであるが、東端土坑群とは密接な関係があることから、この項で扱うが、この土塁状の遺構については、当初、その存在が予想できずに土塁状遺構上面に先行トレンチを設定し掘り込んだため、積土部分をかなり削平してしまった。そのため、その構造については、土層断面でしか確認できなくなってしまった。以下、東端土坑群出土遺物の説明の後に、土塁状遺構の説明を加えるが、これらの遺物は16世紀末のものが中心であり、他の土坑から出土した遺物と接合するものも存在することから、島津の府内進入後一旦は復興し、近世府内城下町へ移行する際に大規模な整地が行われたことを物語っているといえよう。

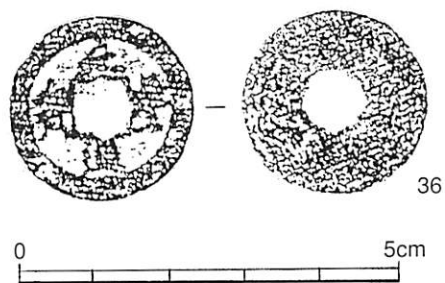
出土遺物

出土遺物（第624～632図） 1～36は東端土坑群の西端の、調査当時SX01とした掘り込みの上面から出土した遺物である。土層観察により、これらはいずれも水田開発の際に整地に伴う遺物であることが明らかとなった。1は中国製の青花で、重ね焼きの際に癒着したものか。2も同じく中国製であるが、景徳鎮窯系の碗E群に属す碗の底部であろう。3は産地不明の焼締陶器の瓶である。中国南部か東南アジア製であろう。4～7は備前系焼締陶器である。4は徳利の頸部、5・6

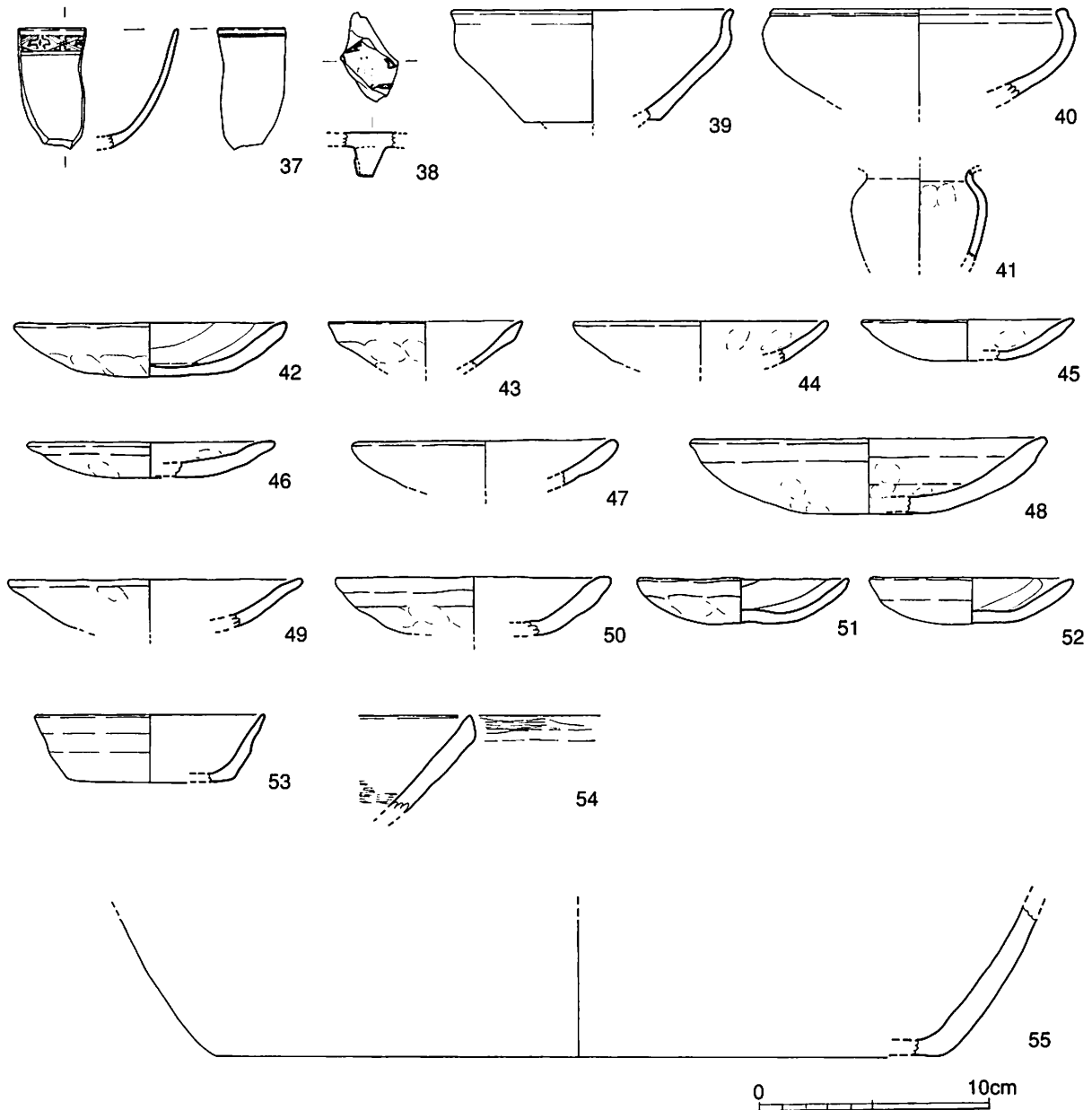


第626図 東端土坑群出土遺物実測図③ (1/3)

は大甕の口縁部である。5は凹線帯がやや内湾気味であり近世I期に属す。6はまだ凹線帯が出現する前の口縁の玉縁の偏平化が進んだ状態で中世5期に属するものであろう。7は舟徳利で底部外面には「大」の刻印が施される。8は鉢で体部から口縁端部にかけて内湾する。9~10は備前、10は在地系の搦鉢である。10は交差スリ目が認められる。12~28は3期の京都系土師

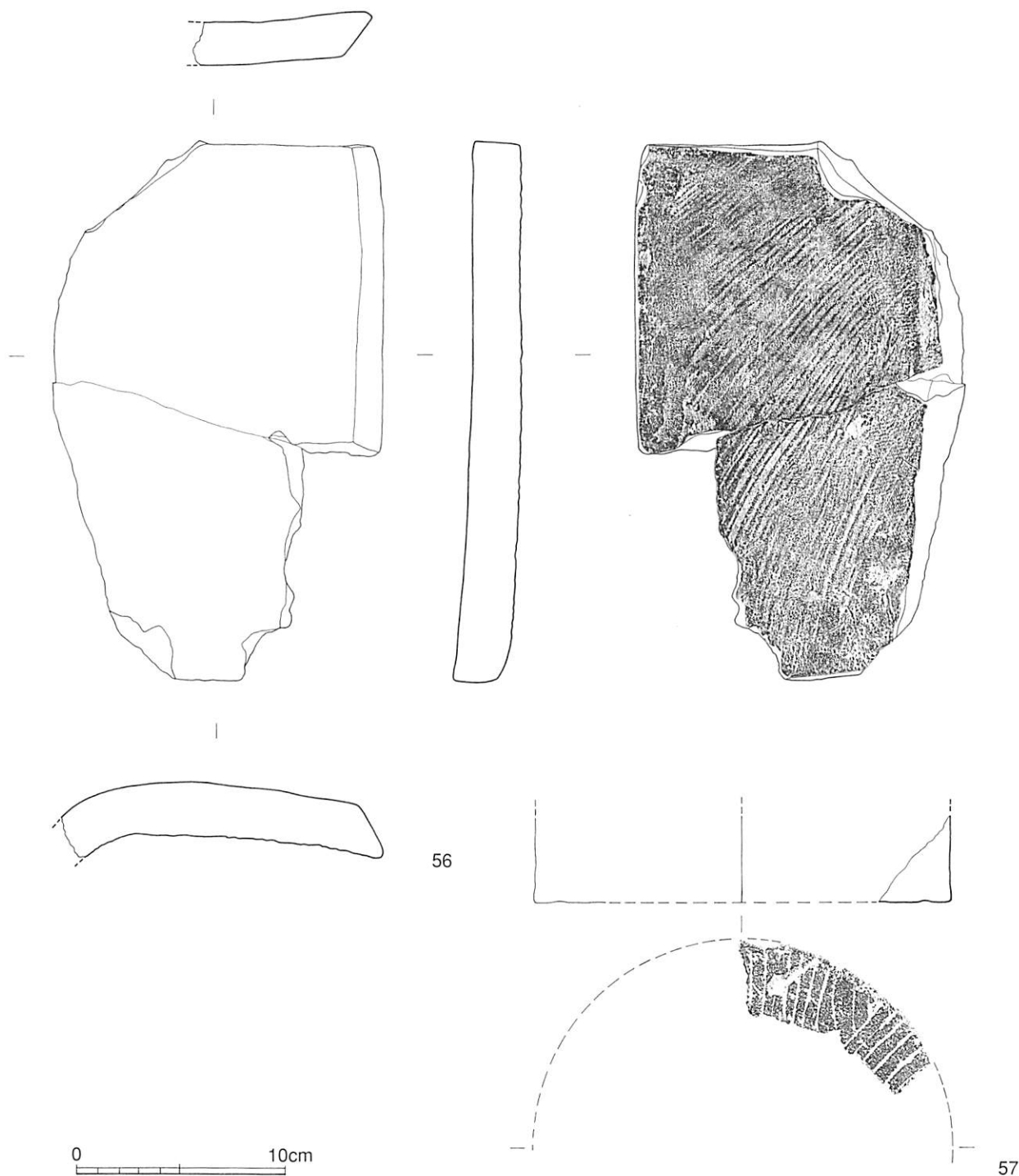


第627図 東端土坑群出土遺物実測図④ (1/1)



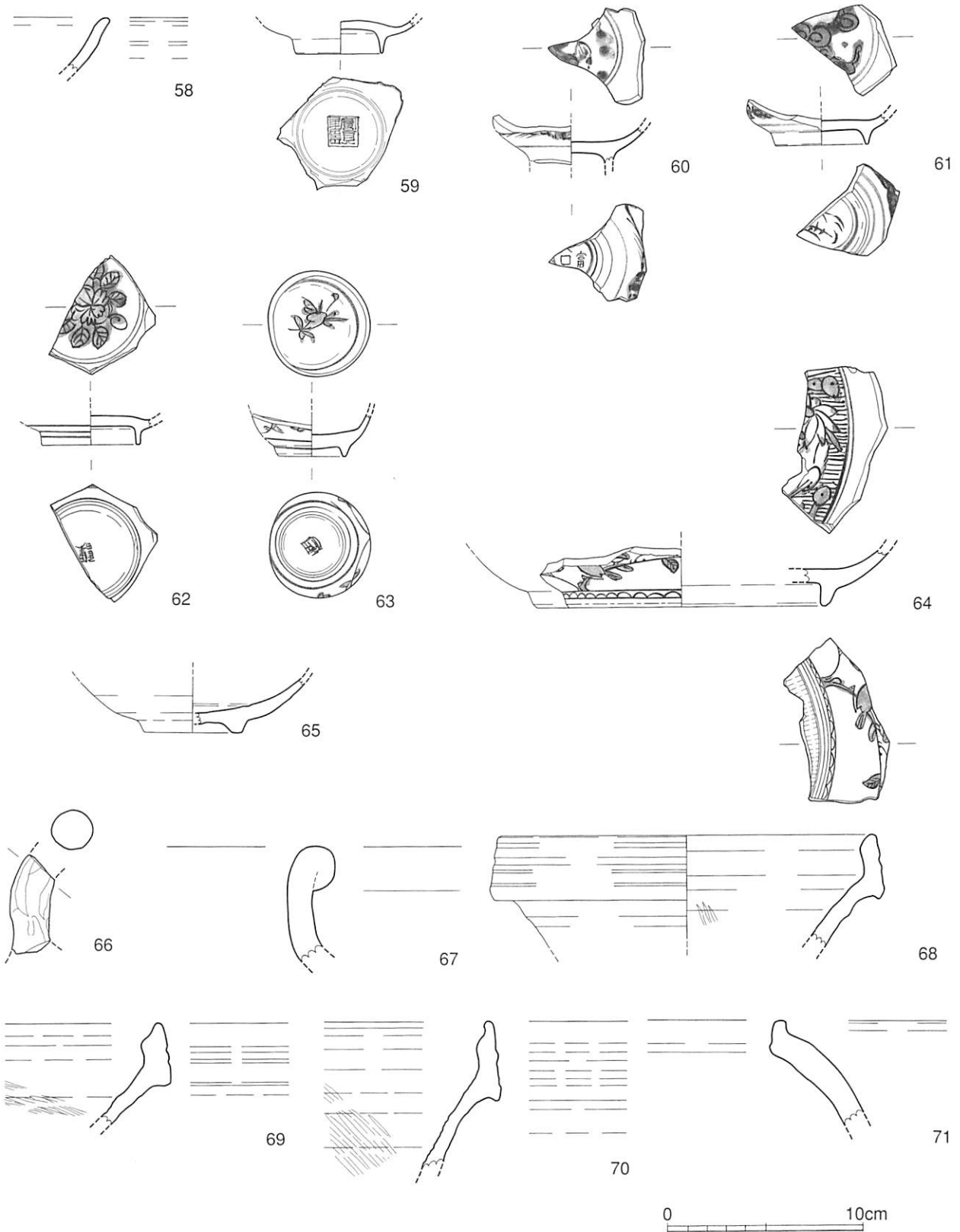
第628図 東端土坑群出土遺物実測図⑤ (1/3)

質土器である。12～17・19・21～28は小皿、18・20はやや器口が高い杯である。いずれも口縁部外面に強いナデが施されている。29は在地系土師質土器である。体部下端に強いナデが施される。30・31は瓦質土器である。内外面にミガキが施されていることから風炉であろう。32は埴塙である。SD103で出土したものに類似する。33は火鉢の口縁部である。口縁端部が肥厚するいわゆる豊後型火鉢であり2条の突帯の間に連続する蕨手文が施される。34は瓦片、35は安山岩製の茶臼か。36は鑄銭で初鑄年が1078年(北宋)の「元豊通寶」である。37～57は、調査当時SK12とした掘り込みから出土した遺物である。37は景德鎮窯系の青花碗の口縁部である。外面には界線が、内面には四方禪文が描かれており、染付碗E群に属するものである。38は漳州窯系の青花小皿の高台部である。39は志戸呂焼の天目茶碗で、底部付近まで施釉される。40・41は中国南部もしくは東南アジア産系の焼締陶器か。40は鉢、41は茶入れである。42～53は3期の京都系土師質土器で、42～52は小皿、53は坏である。いずれも口縁端部外面に強いナデが施されており、小皿については3法量が認められる。54・55は瓦質土器である。54は鉢の口縁部、55は風炉か。内外面ともに丁寧に仕上げら



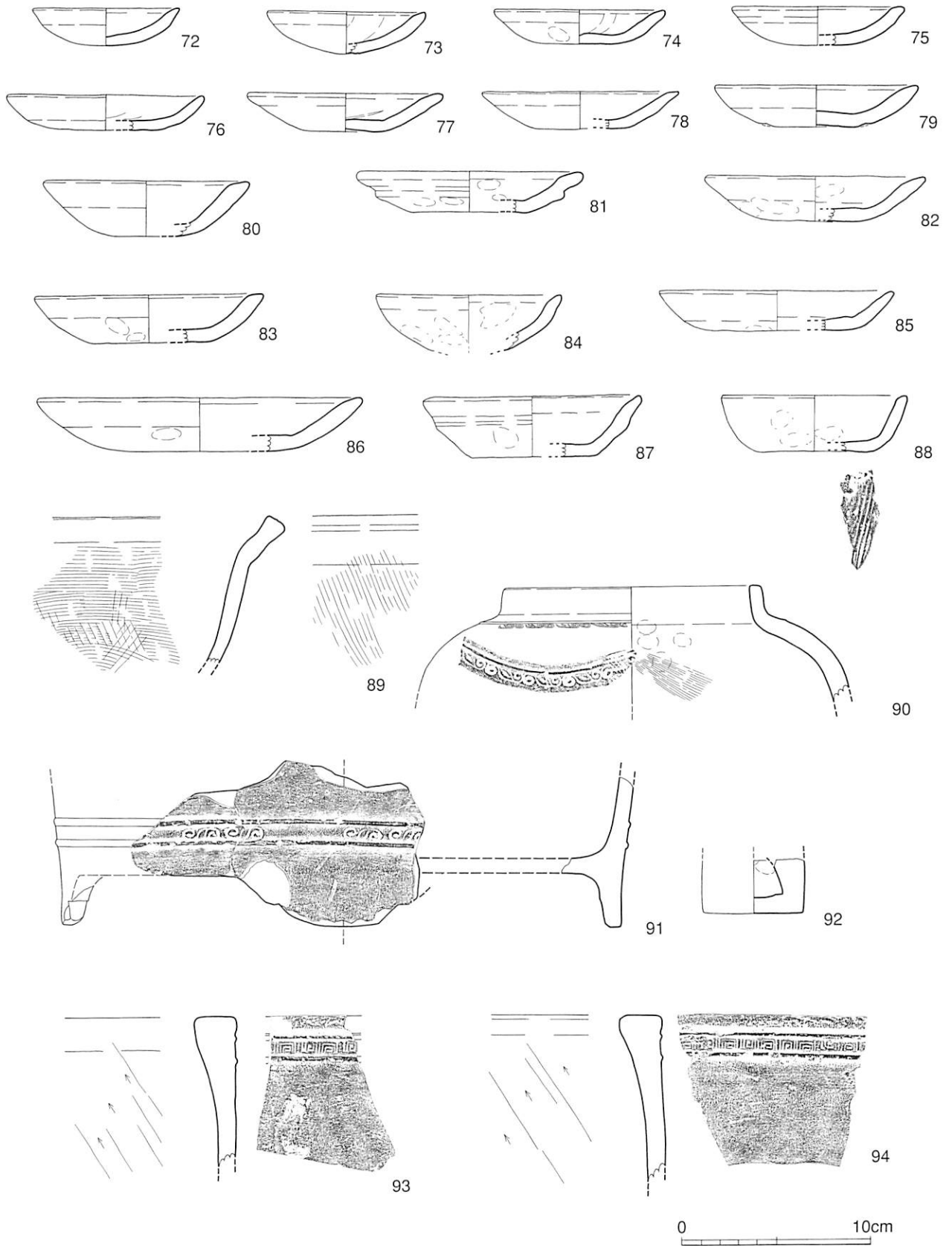
第629図 東端土坑群出土遺物実測図⑥ (1/3)

れる。56は鬘斗瓦で、裏面には斜めのハケ目と布目痕が残る。57は茶白か。溝が6本・4本の単位になる。58~102は調査時に整地層一括で取り上げた遺物である。58は青磁碗の口縁部片、59~64はいずれも景德鎮窯産系の青花である。59~62は碗、63は小坏、64は皿である。いずれも染付けE群に属するもので、59の高台内面には「富貴佳器」の銘が入る。61の見込み部には雲気紋、62には牡丹唐草文が描かれる。小坏の見込み部には花文が描かれており、皿の内面には花文、外面には花鳥文が描かれる。65は朝鮮産の碗である。内外面ともに施釉される。66・67は東南アジア産の焼締陶器で66はタイ産の四耳壺の把手部分、67は東南アジア産系の甕の口縁部である。68~71は備前系



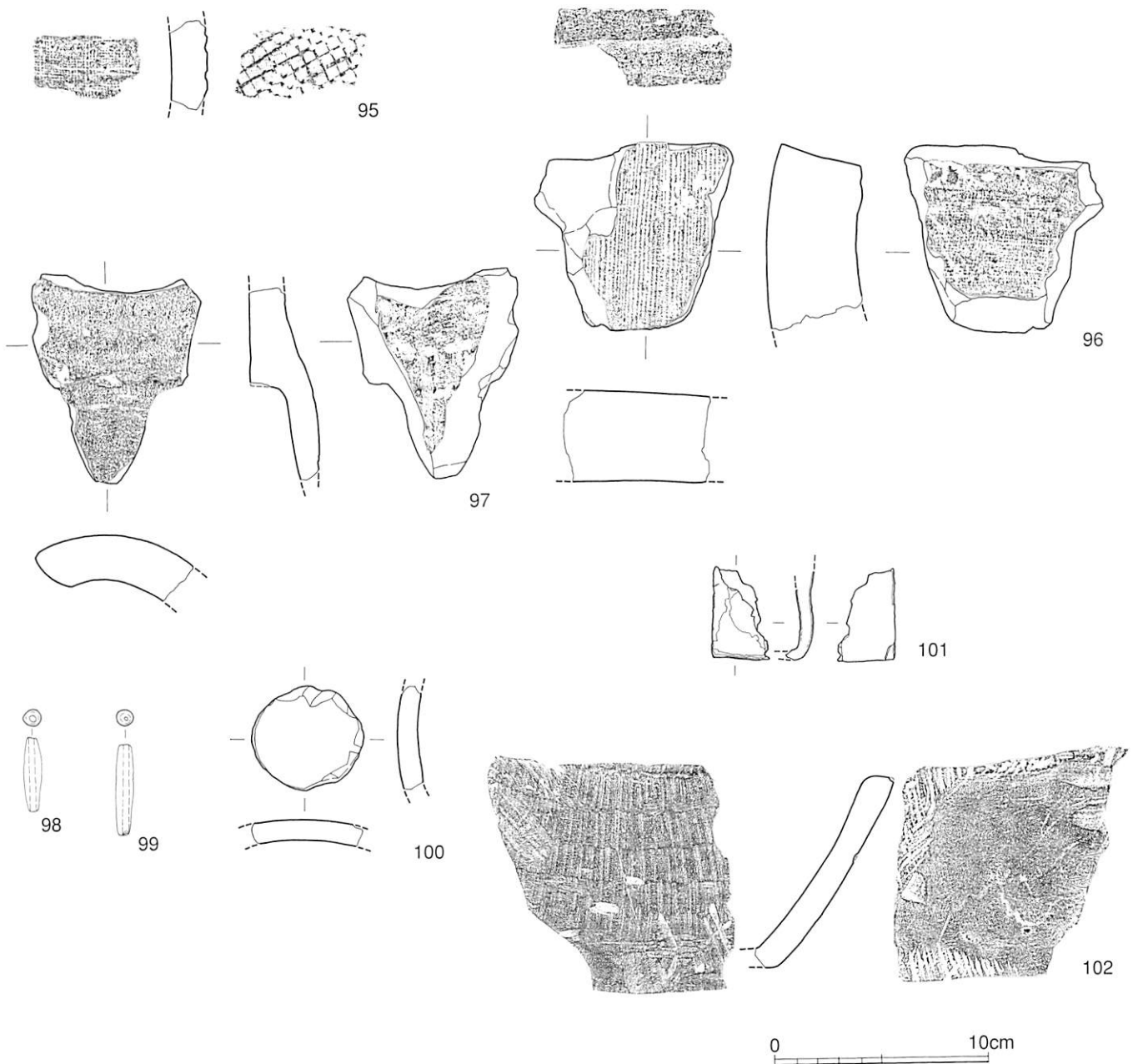
第630図 整地層出土遺物実測図① (1/3)

焼締陶器で、68～70は搦鉢の口縁部、71は水屋甕の口縁部である。搦鉢については口縁帯の立ち上がりや凹線の条数から中世6期～近世1期に属するもので16世紀後葉に位置付けられよう。72～86は3期の京都系土師質土器の小皿である。81や85のように器高の高いものもあるが、基本的には3



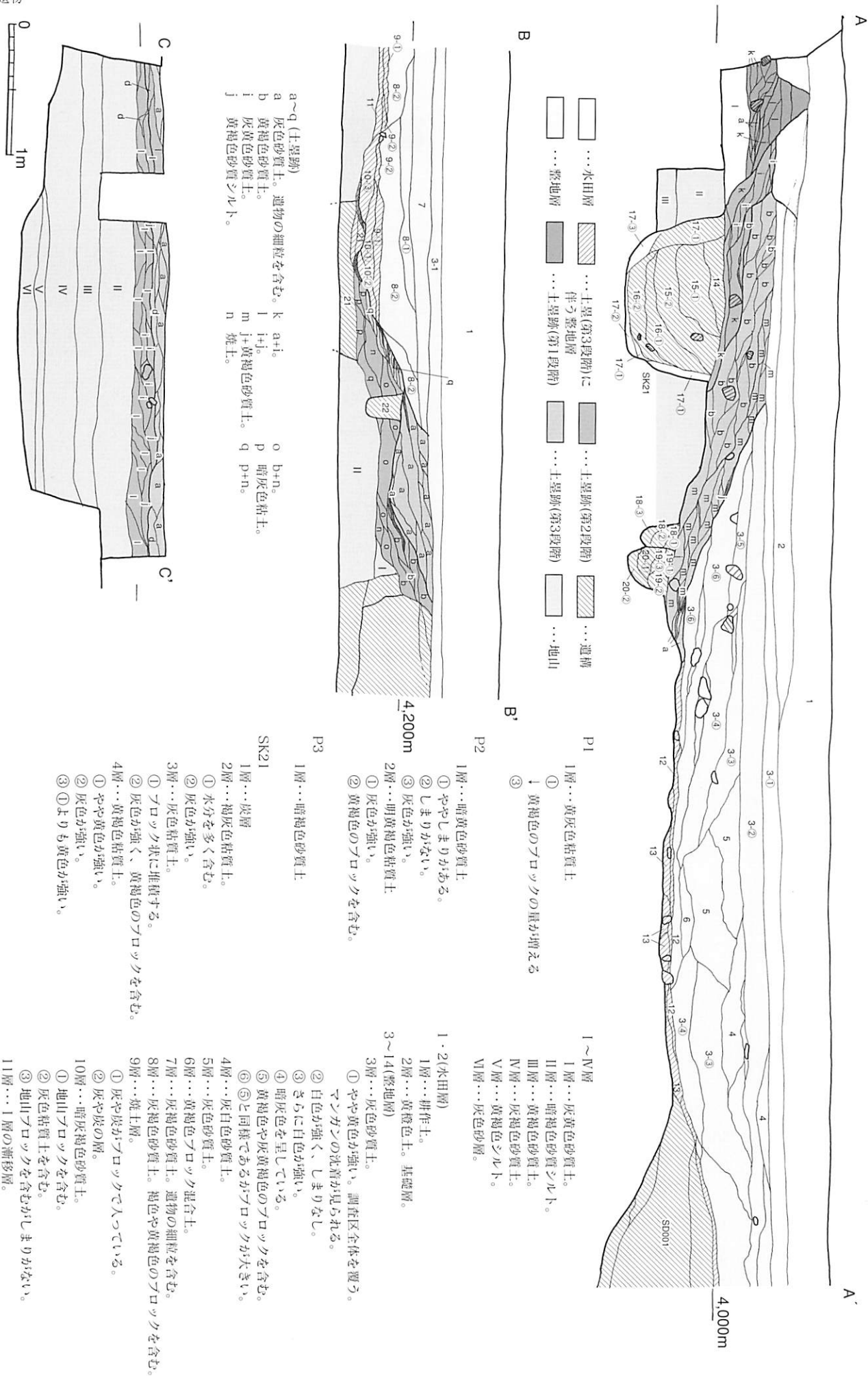
第631図 整地層出土遺物実測図② (1/3)

法量に分けることができる。いずれも口縁部外面に強いナデが施される。87・88は坏で89底部には板状の圧痕が残る。89は土鍋の口縁部で、内外面にハケ目が施される。90～94は瓦質土器である。



第632図 整地層出土遺物実測図③ (1/3)

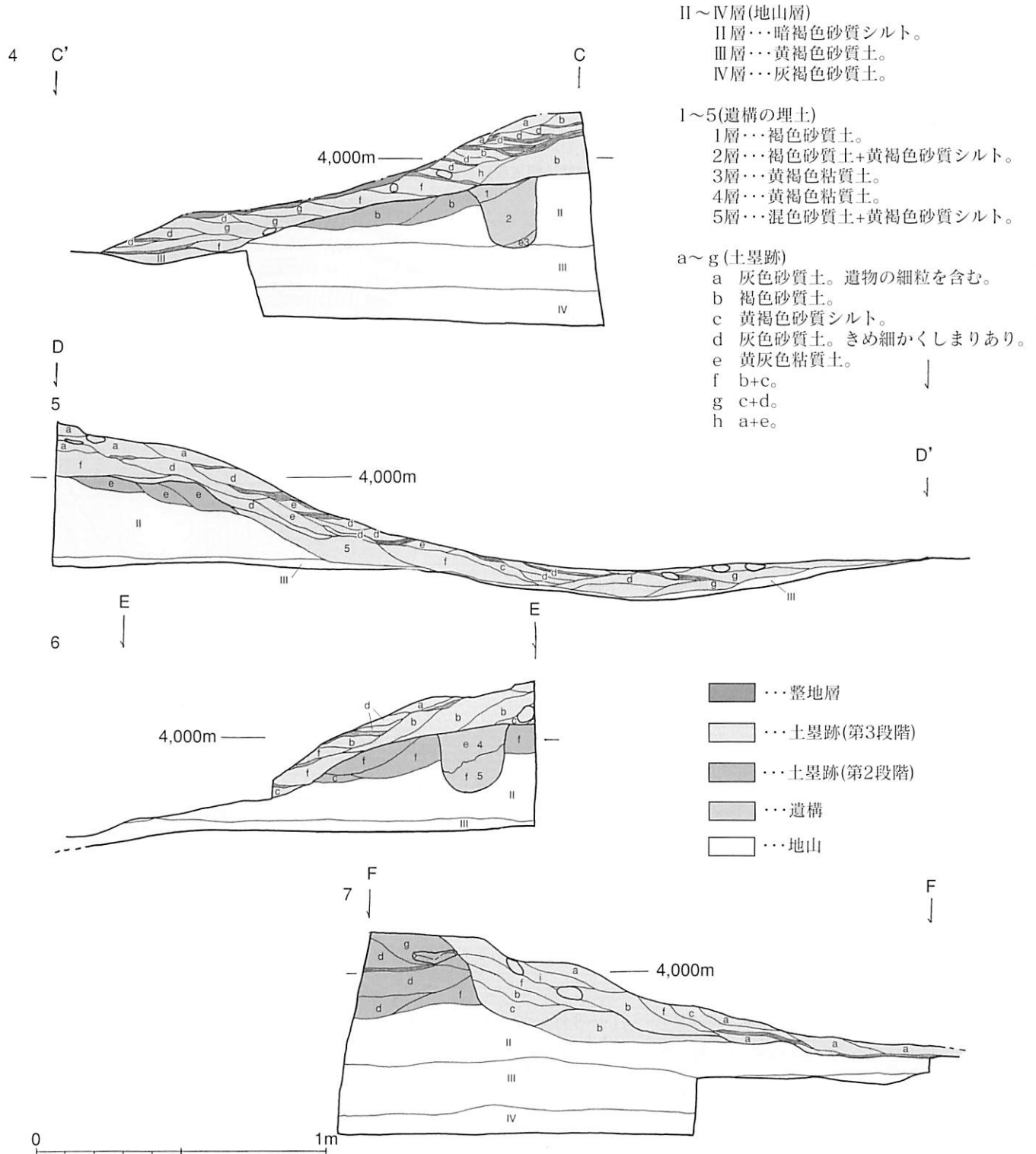
90は壺の口縁部である。口縁はほぼ垂直に立ち上がり、肩部には連続した蕨手文がスタンプされる。91～94は火鉢である。90の底部外面には2本の突帯が巡らされ、その間に蕨手文が2つを単位にスタンプされる。91は風炉の脚部であろう。92・93は口縁部であるが、端部が肥厚するいわゆる在地系の火鉢であり、いずれも端部外面に2本の突帯が巡らされ、連続した雷文がスタンプされる。95・96は古代瓦である。95の外面にはカキ目痕が、96には平行タタキ痕が残る。いずれも内面には布目痕が残っており、95の外面には赤色顔料が付着する。97は丸瓦の玉縁部分である。97～99は土製品で、98・99は土錘、100はメンコである。100・101は金属製品である。101は銅製品であるが器種は不明、102は石鍋の体部である。内外面に調整痕が残る。



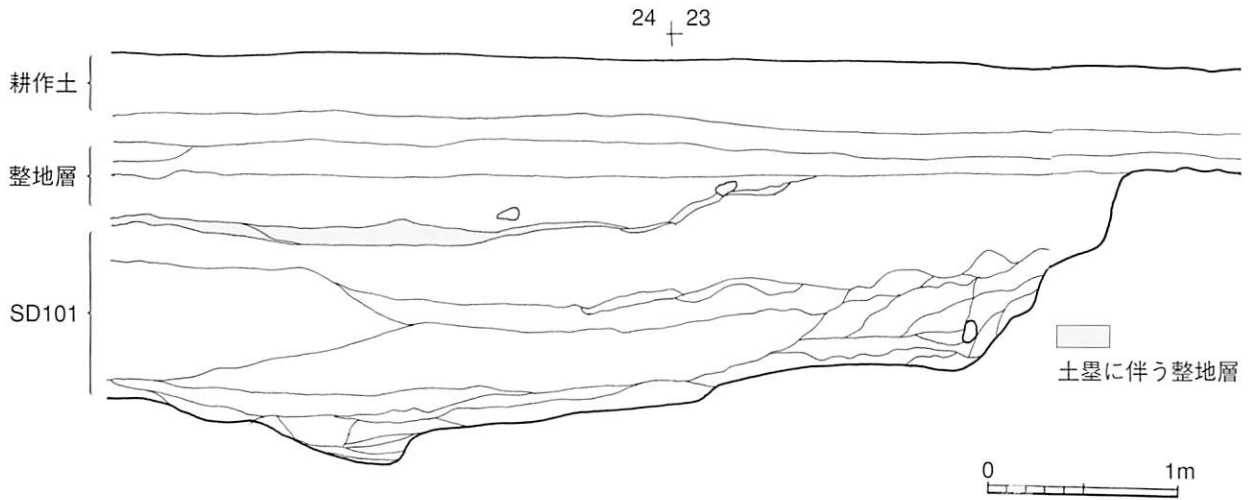
第633図 土塁状遺構土層断面図① (1/40)

概説

土塁状遺構 (第633図) 土塁状遺構は調査区東端で検出した南北に走る積土遺構である。基底層は現状で約4.5mを測る。土塁は2～3回の改修の跡が認められる。まず、地山層まで削平した後基部を成形し、斜め方向に積み土する方法がとられている。2回目以降は、改修前の土塁を成形し基部を作り、同様に斜め方向に積み土をしている。なお、積み土を構成する土は、灰色系・灰黄



第634図 土塁状遺構土層断面図② (1/20)

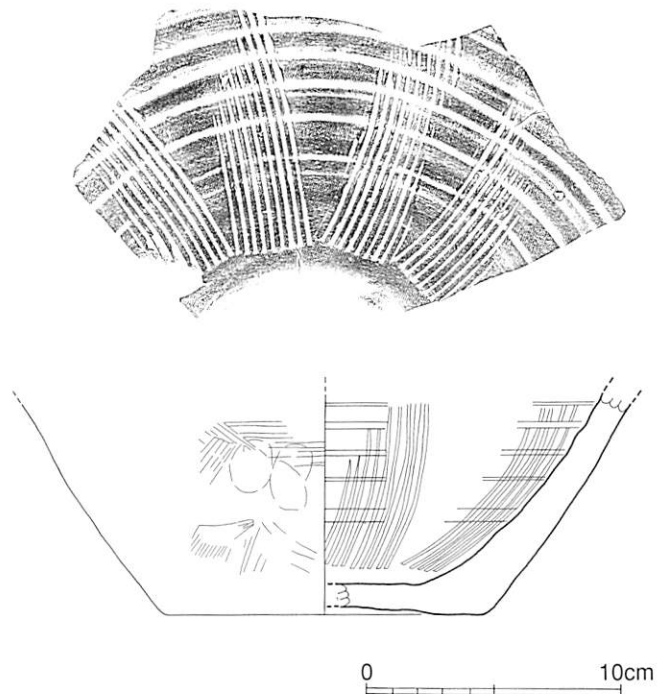


第636図 整地層延長部分 (1/40)

色系・黄褐色系の土色と砂質やシルト質の土質であるが、これらの土は地山層を構成するものであり、土塁の西側が大きくえぐれ、大型の掘り込みが認められることから（東端土坑群）、積み土は土塁西側の土を使用したものであろう。なお、基部付近から硬くしまった整地層（灰褐色砂質土・シルト）が土塁状遺構の西側裾部から延長する形で伸びている（第636図）。

出土遺物

出土遺物（第635図） 1は土塁状遺構の積み土内から出土した備前焼の播鉢である。口縁部が存在しないため明確な時期が比定できない。しかし、東端土坑群出土の3と接合する焼締陶器片が出土していることから、いずれにしても16世紀後半の時期を考えたい。



第635図 土塁出土遺物実測図 (1/2)

SX101

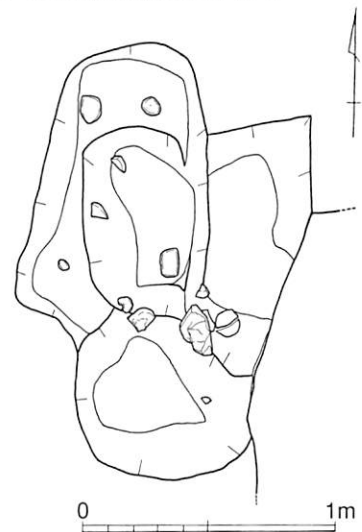
SX101（第637図） C20区で検出した複数の土坑が切りあった遺構である。表面観察では、切り合い関係が判断できず性格不明の遺構としていたが、掘り進むにつれ複数の土坑が切り合った遺構である可能性が高いことが明らかとなった。

出土遺物

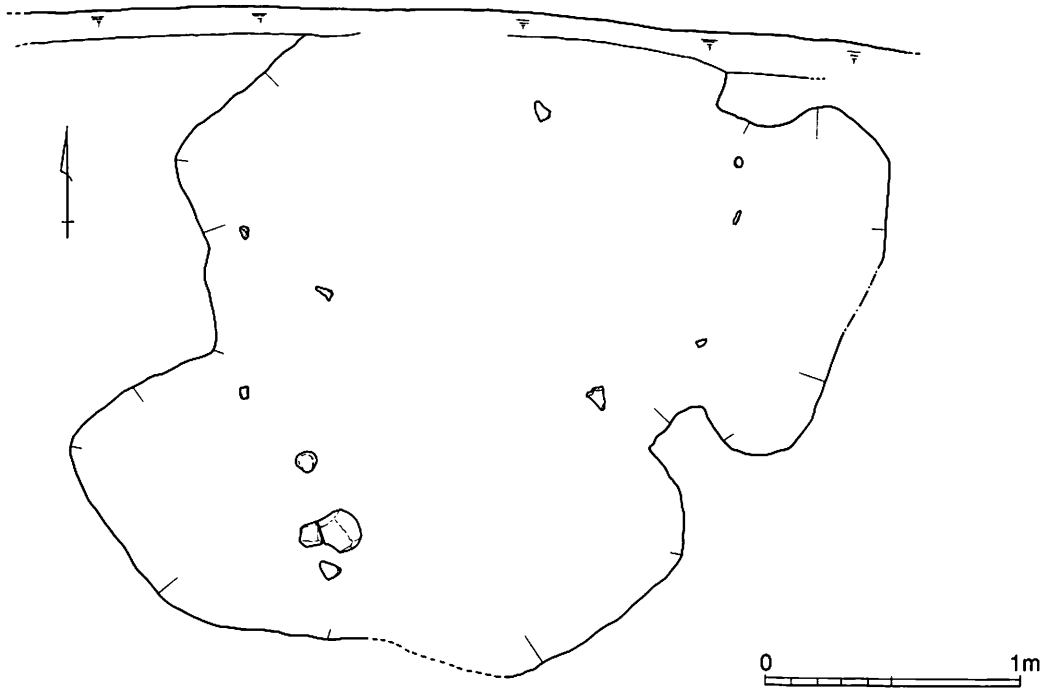
出土遺物（第640図） 1～3はいずれもⅢ期の京都系土師器の小皿である。口縁部外面には強いナデが施されていることから、遺構も16世紀末に位置付けられよう。

SX102

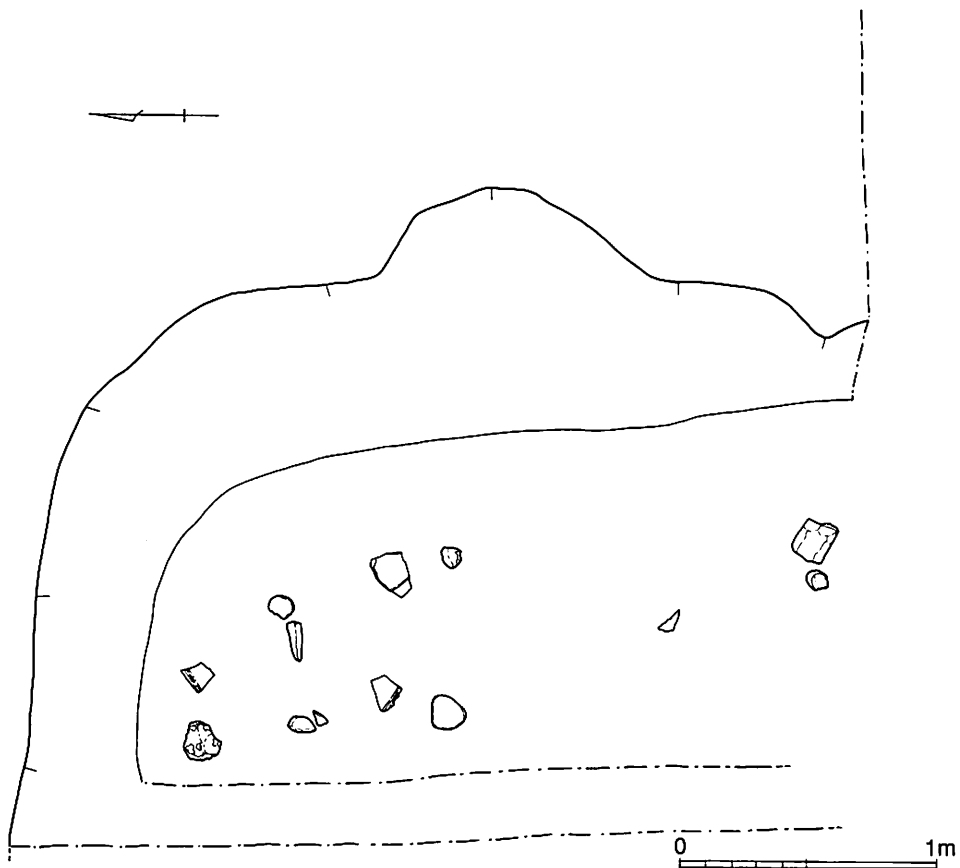
SX102（第638図） D21区で検出した不定形の浅い掘り込みである。床面の痕跡を検出したに過ぎず、



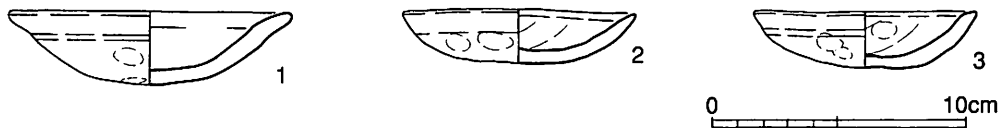
第637図 SX101実測図 (1/30)



第638図 SX102実測図 (1/30)



第639図 SX103実測図 (1/30)

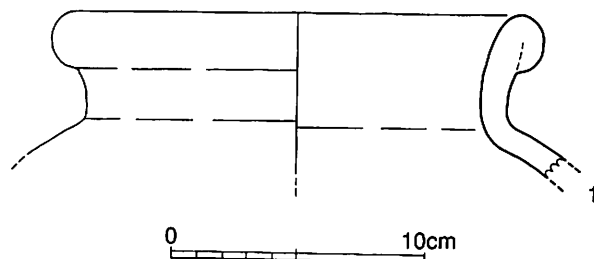


第640図 SX101出土遺物実測図 (1/3)

遺構なのか窪地なのか判断できなかったが、遺物が出土したためSX102とした。出土した遺物からこの遺構は14世紀後葉以降のものであろう。

出土遺物

出土遺物 (第641図) 1はSX104から出土した遺物である。備前焼の甕の口縁部で、玉縁がやや扁平することから乗岡中世3期に位置付けられよう。



第641図 SX102出土遺物実測図 (1/3)

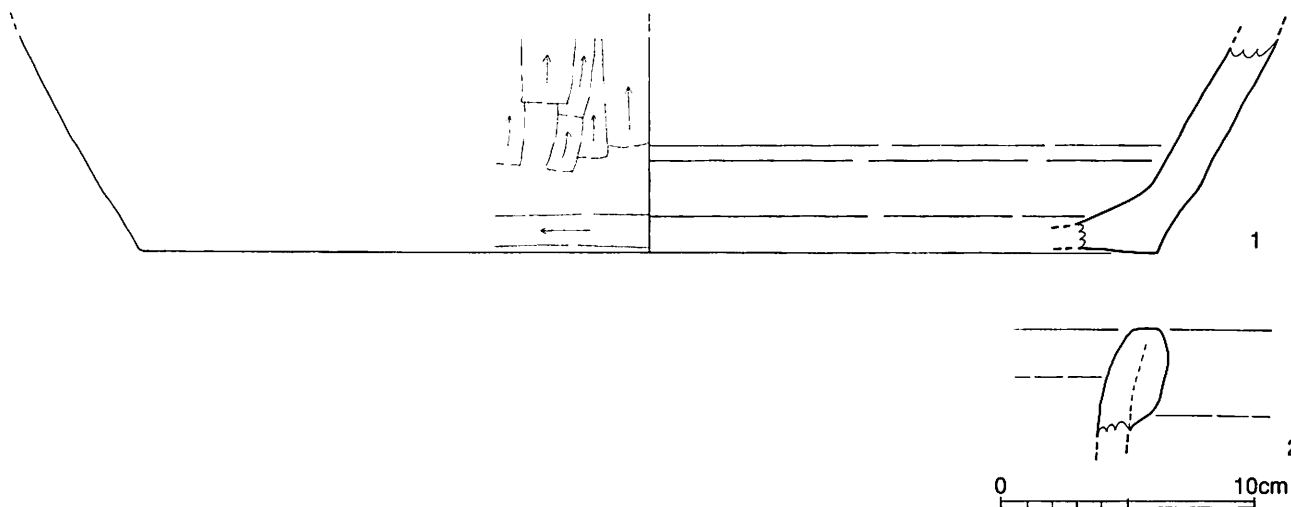
SX103

SX103 (第639図) B・C15区で検出した

性格不明の掘り込みである。当初は、最下層に灰色砂と暗青灰色砂が互層になっており、自然流路に土砂が堆積した状態ではないかと考えられたが、土層を観察すると、埋土内に褐色土のブロックや灰色土のブロックが多く含まれることから人為的に埋められた可能性が高く、土器片が若干出土したため遺構と判断したものの、これが人為的に掘り込まれた土坑なのか自然流路や窪地であったのかは正確に判断はできなかった。この遺構の時期については、出土した遺物が少ないため時期の比定は難しいが、遺物から見て少なくとも15世紀代の可能性が高く、土層観察から、SX103が埋められた後にSD105が掘り込まれているなど、少なくとも15世紀後葉までには埋没していたと思われる。

出土遺物

出土遺物 (第642図) 1・2はSX103から出土した遺物である。いずれも備前系焼締陶器で1が大甕の底部、2が口縁部で、口縁部の玉縁の扁平化が進んでいることから、乗岡4期に位置付けられるであろう。



第642図 SX103出土遺物実測図 (1/3)

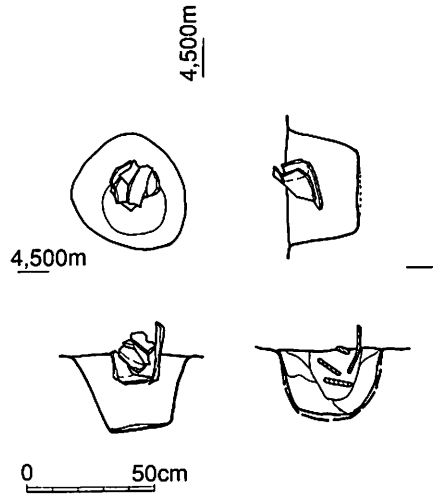
Ⅳ. ピットについて (第643~645図)

概説

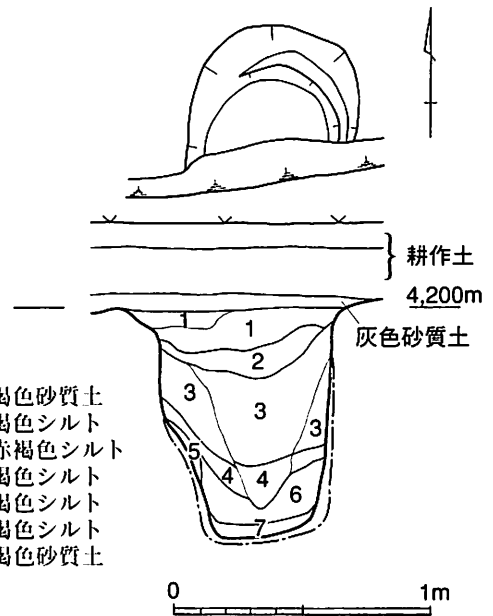
大友8次調査区では、B・C17区、D21区、C22区でまとまって柱穴を検出した。特にB・C17区にピット集中する。しかし、これらの柱穴は直線に並ぶものが若干存在するものの、建物としてのまとまりを見せる柱穴群は確認できなかった。第643図や第644図のように、柱痕の残る大型のピットや、遺物を埋納したピットも存在することから、何らかの建物が存在していた可能性もあるが、面積の割にはピットの密度は薄く、数に関しても、隣接する大友府内町跡第5次調査区に比べると極端に少ない。このことは、後世の開発によりピットが切り取られた可能性も残るものの、この空間が、恒常的に掘建柱建物が存在するような場所ではなかった事を示唆するものであろう。以下、各ピットから出土した遺物について説明を加える。

出土遺物

出土遺物 (第646図) 1はSP100出土の備前系焼締陶器大甕の胴部片である。「一石」の銘を有する灰被りの大甕であることから16世紀後葉のものであろう。2はSP012出土の瓦質土器で風炉か。内外面に磨きが施される。3はSP003、4はSP101出土の在地系土師質土器である。口径と底径にあまり差がない器高の低いタイプで、体部が直線的に伸び、体部中央がやや肥厚することから14世紀前葉~中葉のものであろう。5はSP100出土の備前焼の甕の底部である。ピット内に埋納された状態で出土した。内面には粗めの、胴部及び外面には細かなハケ目仕上げがある。

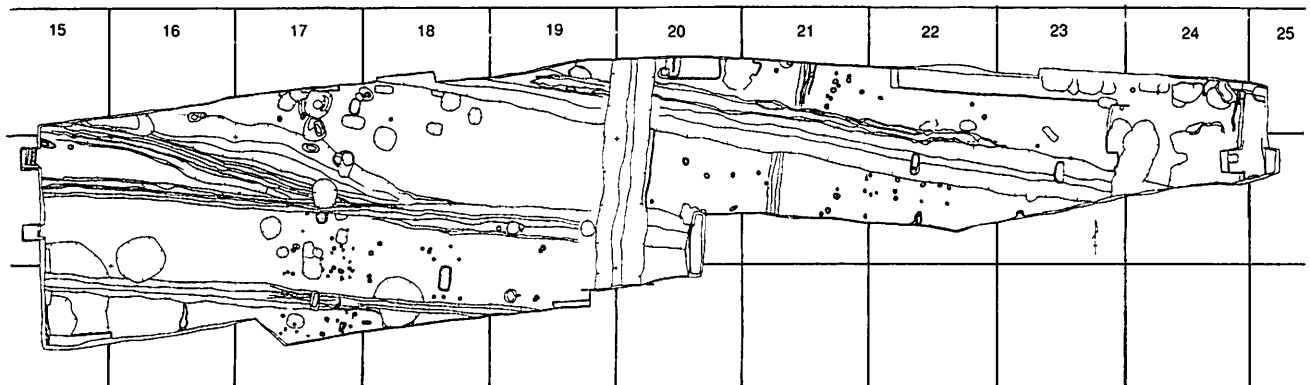


第643図 SP100実測図 (1/30)

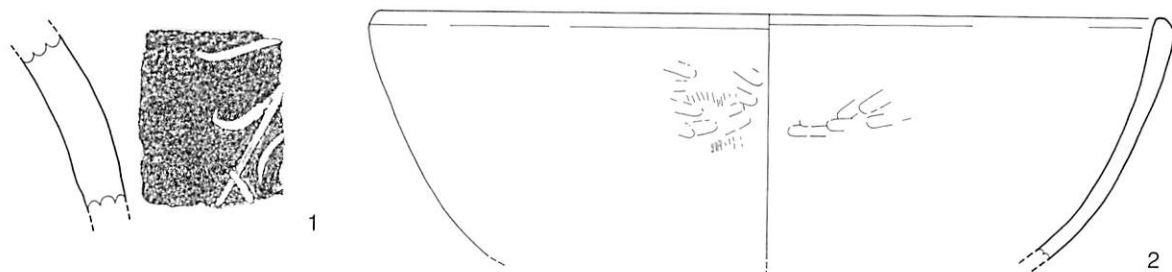


- 1. 黄褐色砂質土
- 2. 暗褐色シルト
- 3. 暗赤褐色シルト
- 4. 黒褐色シルト
- 5. 黄褐色シルト
- 6. 黄褐色シルト
- 7. 黄褐色砂質土

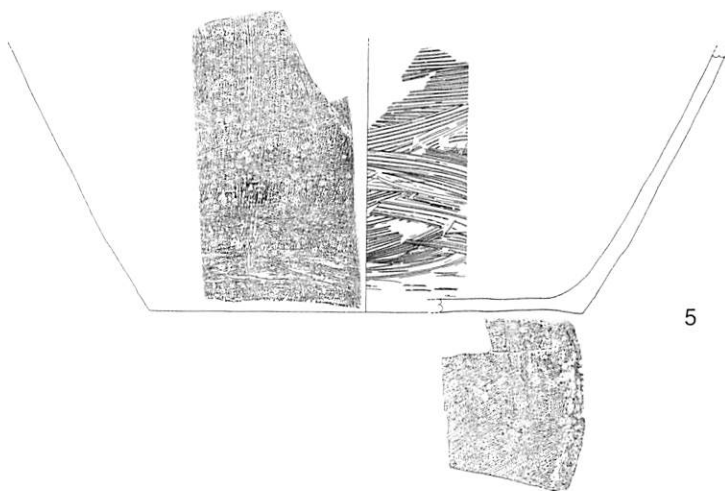
第644図 SP109実測図 (1/30)



第645図 ピット配置図

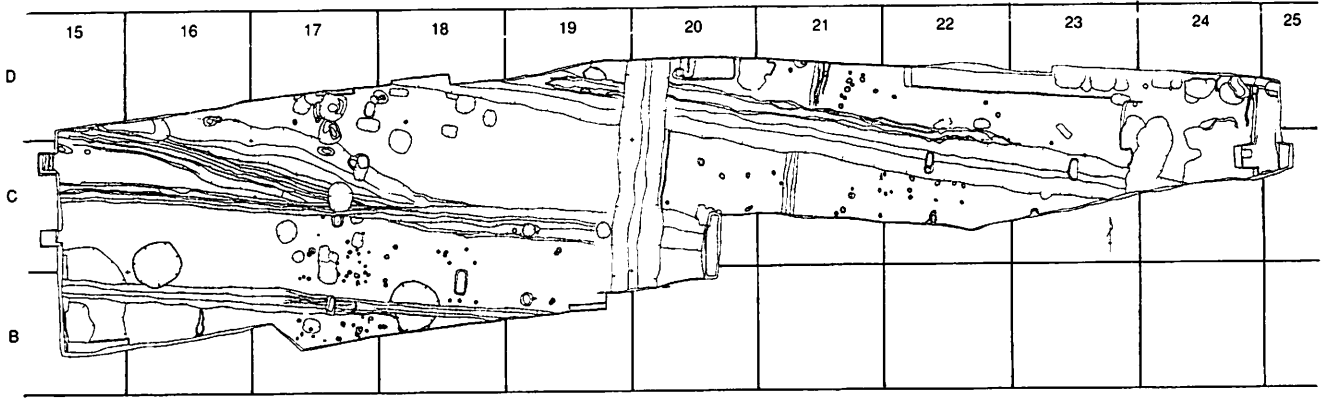


0 10cm



0 20cm

第646図 ピット出土遺物実測図 (1/3、1/6)



第647図 井戸配置図

V. 井戸について (第674図)

概説

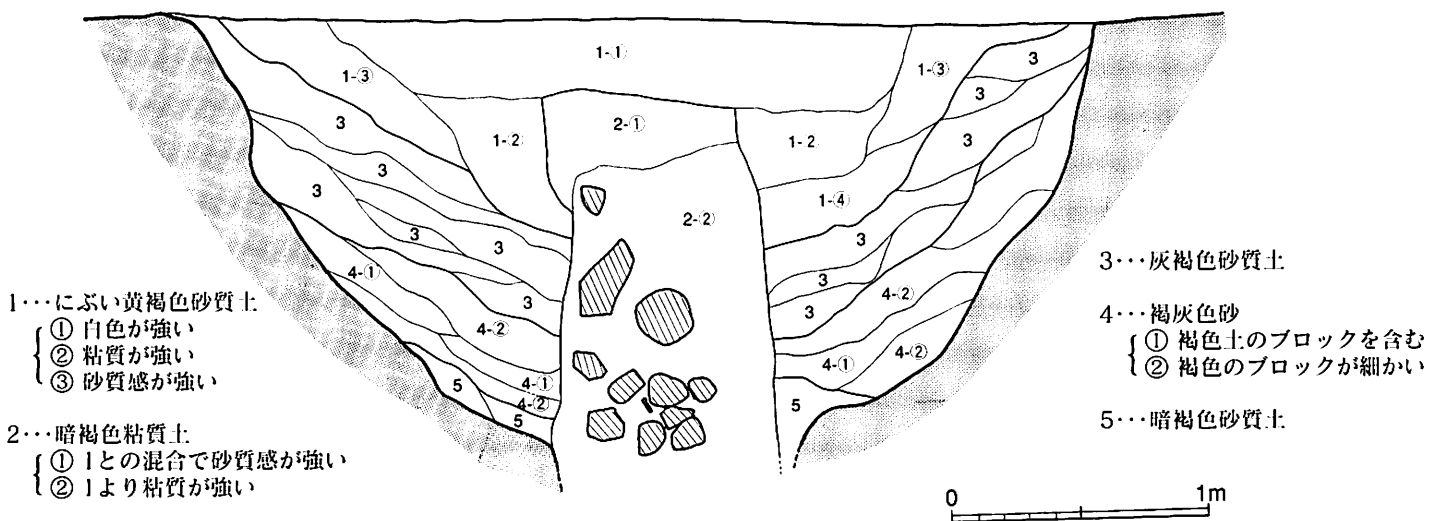
中世大友府内町第8次調査区ではB18区でSE101をB・C16区でSE102を検出した。これらの井戸の時期は、SE101はSD105との切り合い関係や出土した遺物から14世紀後葉の所産と推定され、SE102については、出土した遺物は14世紀後葉～15世紀前葉頃のもものが中心であるが、SD105との切り合い関係をみると、SD105が埋没して掘り込まれていることから、15世紀後葉の所産の可能性が高い。しかし、ロクロナデの残る在地系土師器や京都系土師器などが出土していないことから、これらの土師質土器が出現する15世紀末までには埋井されたものであろう。第8次調査区では井戸遺構はこの二つしか検出していない。

なお、SE102では大型の礎石が埋井の際に使用されており、SE102周辺ではまとまったピット群が存在しないことから、大型の礎石を利用した建造物の存在が予想される。以下、井戸について説明を加えるが、他の遺構同様に時期の新しい順に行う。

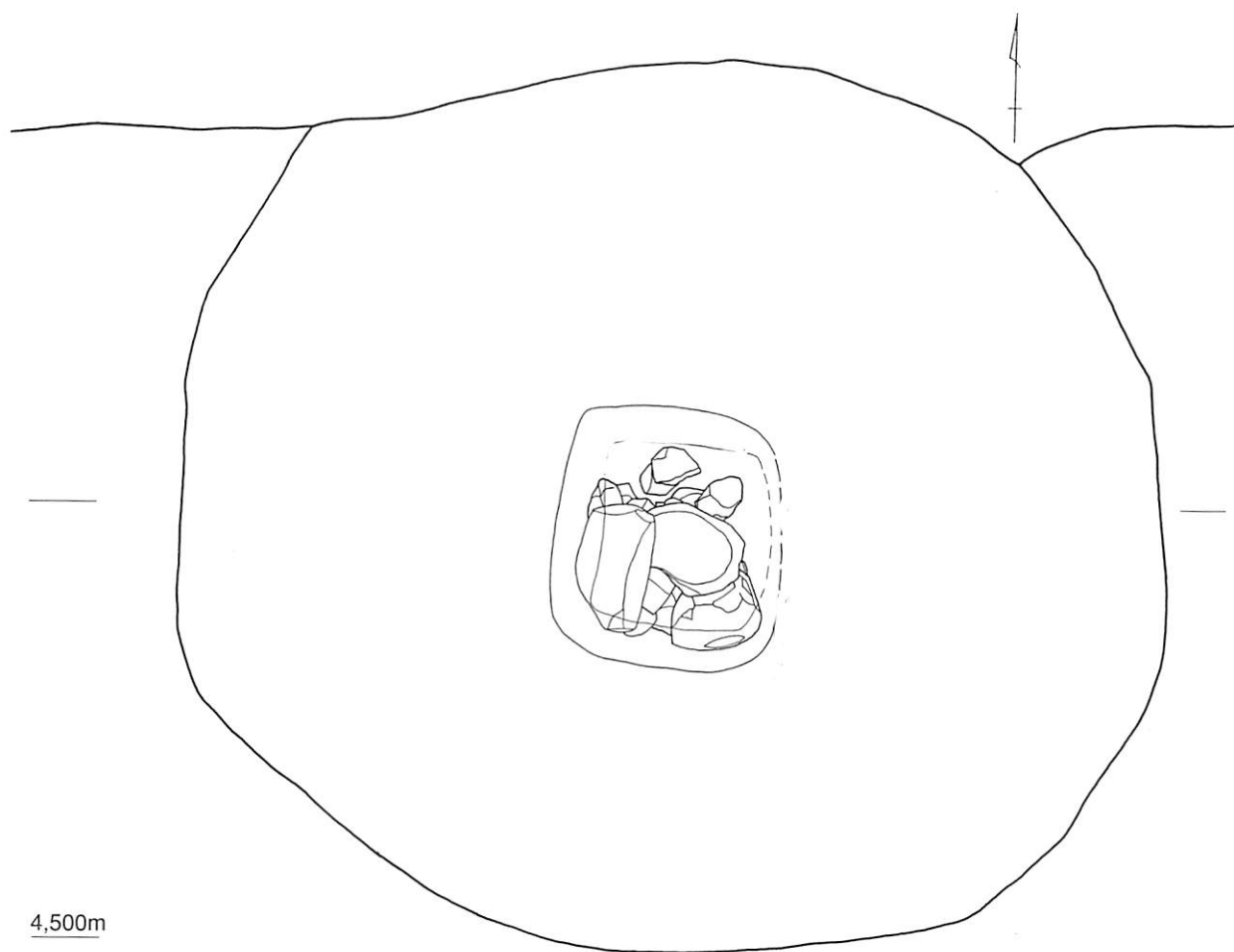
SE102

SE102 (第649図) SE102はB・C16区で検出した「段掘り」の井戸である。出土遺物から15世紀前葉に位置付けられるが、SD105との切り合い関係から15世紀後葉の所産の可能性も残る。掘方はSE101のように逆台形ではなく挿鉢型で、平面径は約3.5m、深さは約1.6mを測り、やはり中央部分に井戸枠の抜取坑が上層観察で確認できる。なお、井戸枠を抜き取り埋井する際に、大きな石が使用されているが、これらの石には加工の跡が残っており、建物の礎石を利用したもので、井

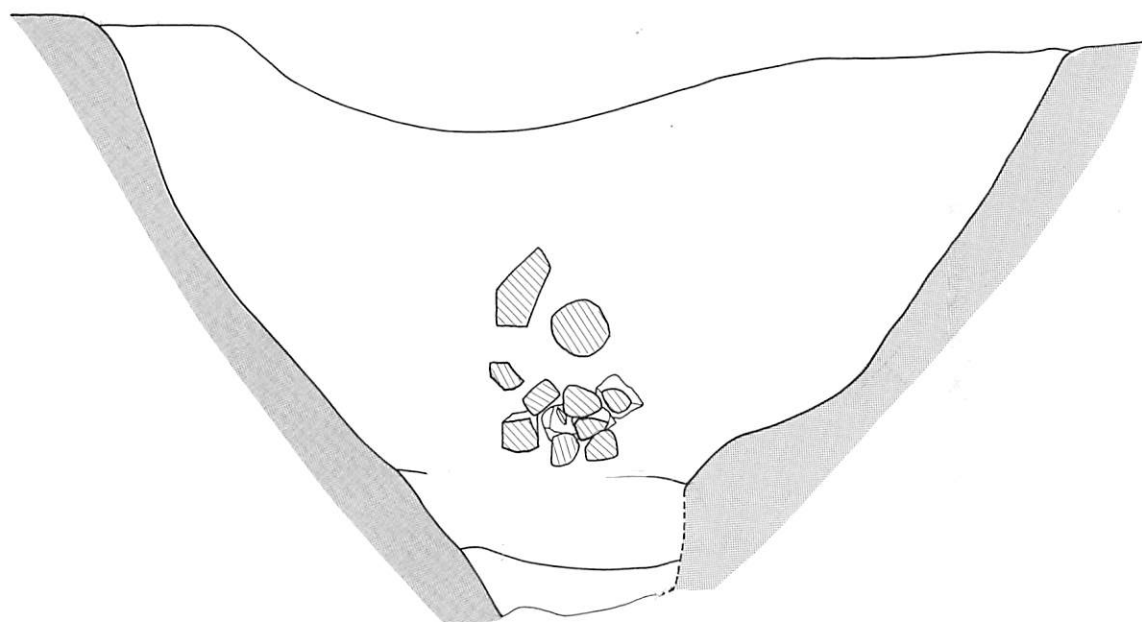
4,500m



第648図 SE102土層断面図 (1/30)

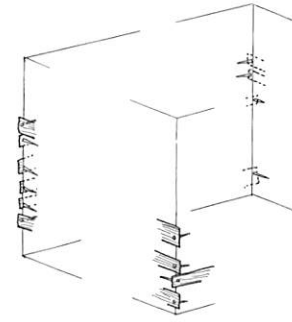
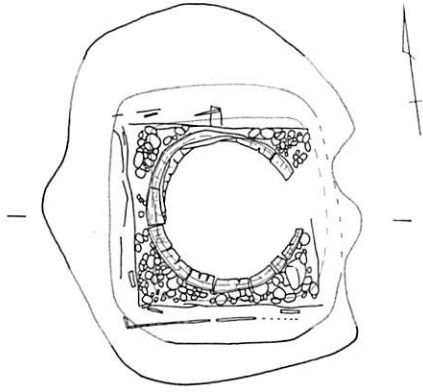


4,500m

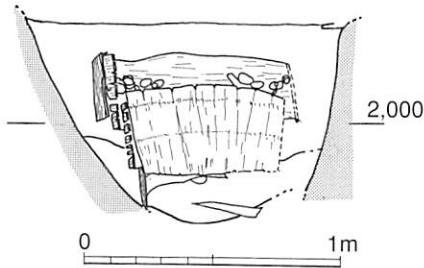


0 1m

第649図 SE102実測図 (1/30)

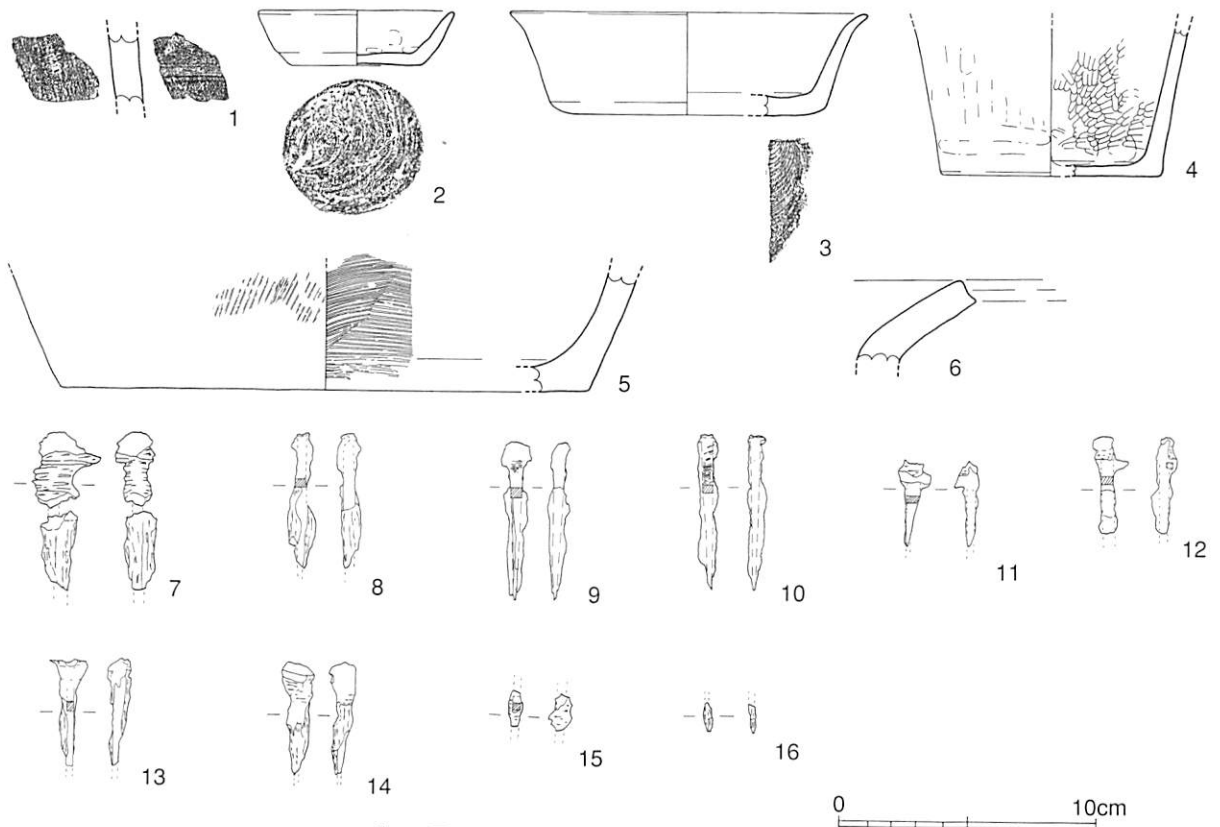


第651図 井筒方形横板枠上段の釘による木組模式図

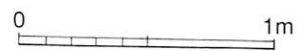
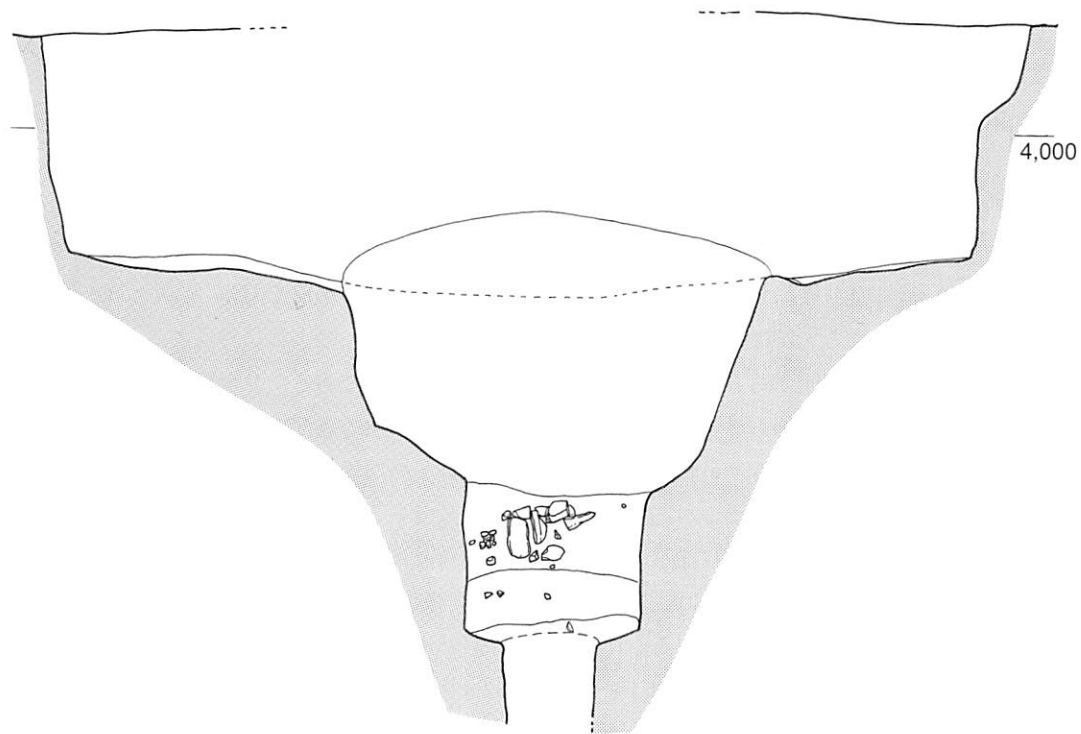
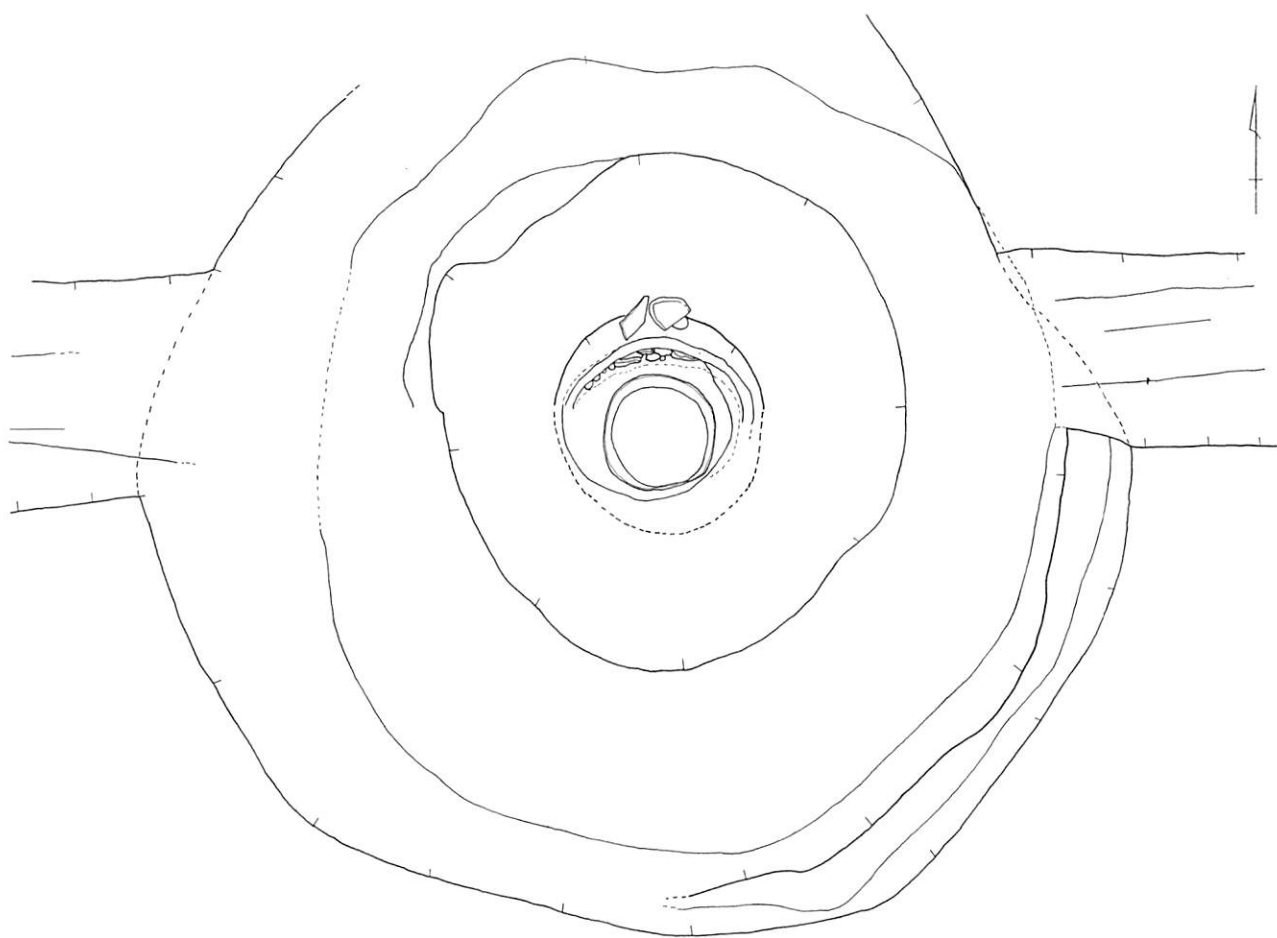


第650図 井戸枠実測図 (1/30)

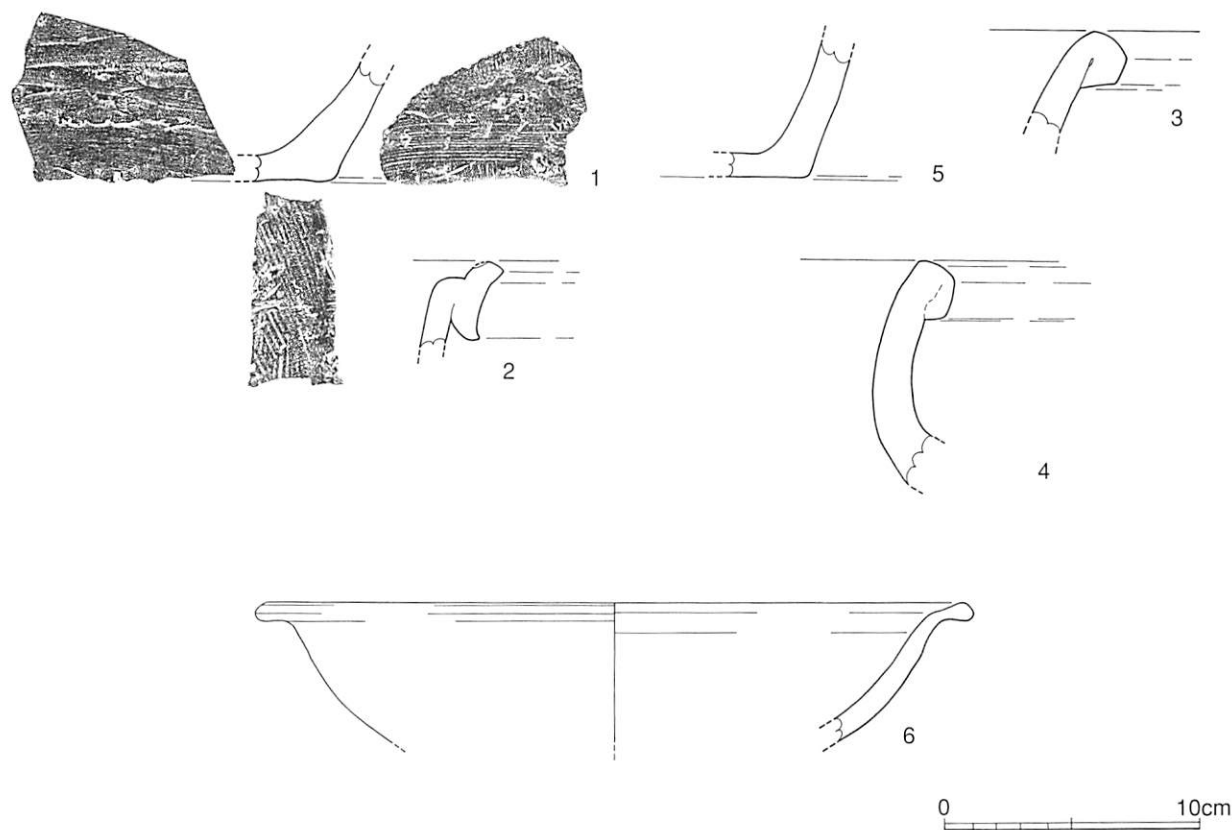
戸廃棄時の鎮井祭に伴うものであろう。次に井戸枠であるが、縦板と横板とで構成される。水桶を取り囲むように、1面につき1枚ものの横板で桶を方形に囲い（横板枠下段）、さらにその上部を同じように横板4枚で方形に囲み（横板枠上段）その間には裏込めの石が入る。この横板枠上段の外側にはそれを囲うように縦板が二重に巡る。この縦板については、横板との間に裏込めの石等が確認できず、井戸枠というよりも補強もしくは土止めのための縦板の可能性が高い。上部についてはSE101のように抜き取られている。水溜の桶には、縦板を箍で留めた樽を使用しているが、その下に曲物の一部が残存していることから、当初は曲物を使用していたが、使用不能になり樽へと改修されたのであろう。



第652図 SE102出土遺物実測図 (1/3)



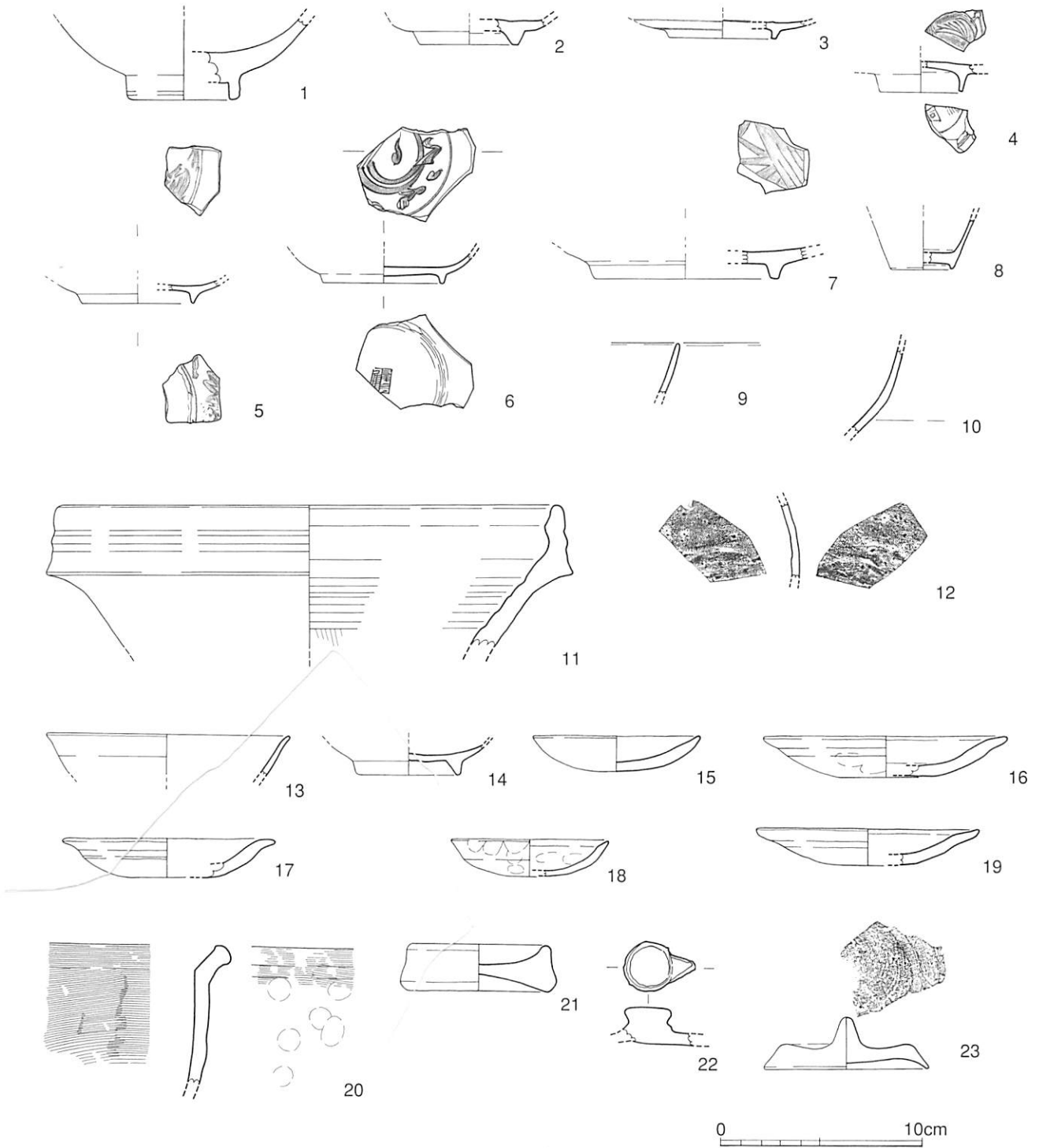
第654図 SE101実測図 (1/30)



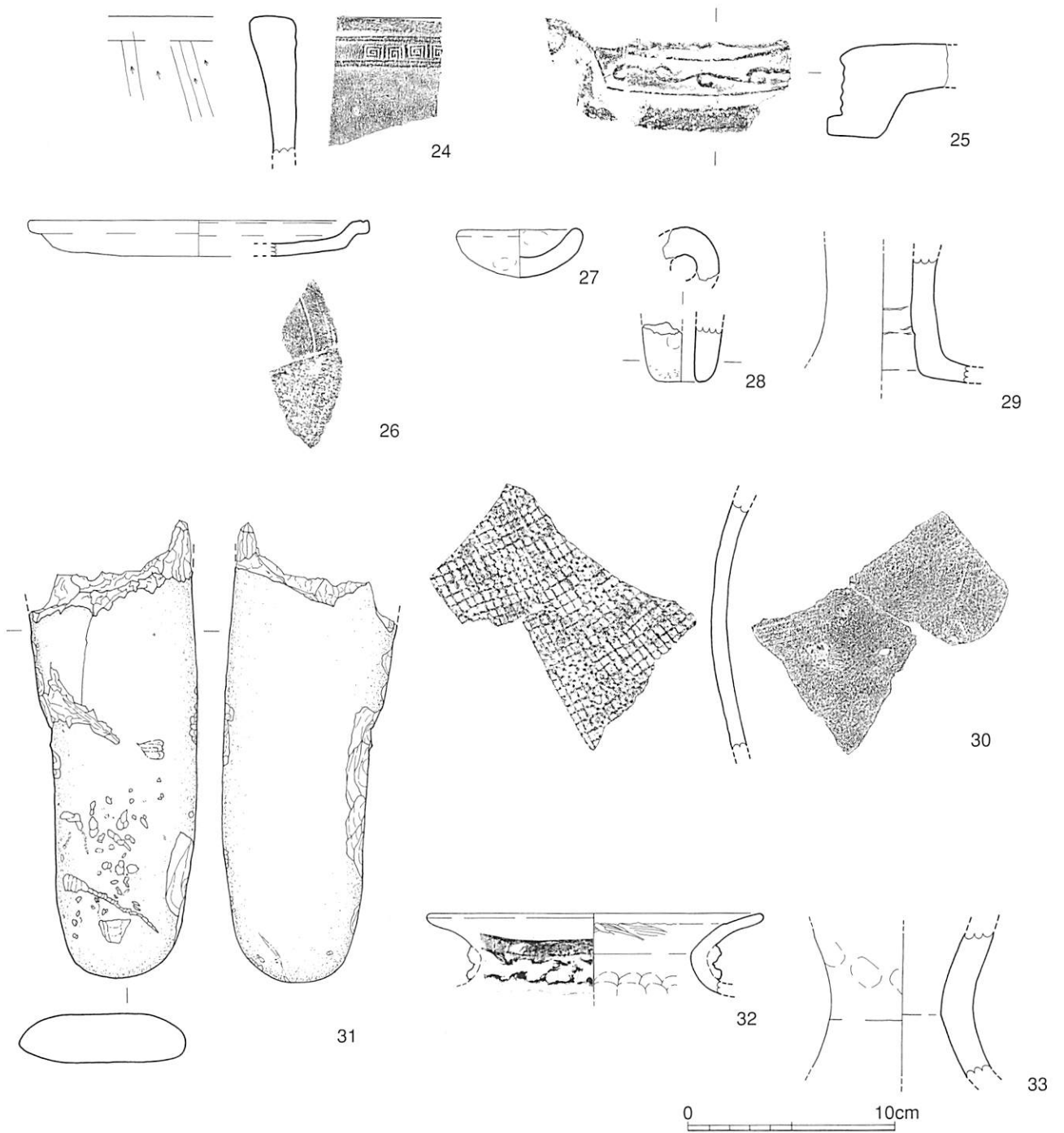
第655図 SE101出土遺物実測図 (1/3)

その他の遺物 VI. その他の遺物について (第656・657図)

1～33は中世大友府内町跡第8次調査区から出土した一括遺物である。ここでは図示できるもののみを掲載した。1・2は青磁である。1は碗であるが、高台の断面が四角形であることからC類に属するものか。2は皿の底部であろう。3・4・5・6・8は景德鎮窯系の青花である。3～5は皿、6は碗、8は小坏でいずれも染付E群に属する。7は漳州窯系の皿である。9・10は朝鮮産陶器の碗の口縁部で、内・外面には釉が施される。11は備前系焼締陶器の插鉢で口縁部の形状から近世1期に属するものである。12は胴部片であるが器種は不明である。13・14は産地不明の陶器碗の口縁部及び底部である。15～19は3期の京都系土師器の小皿である。いずれも口縁外面に強いナデが施される。20は土鍋の口縁部である。口縁部が「く」の字状に外反する。21は土師質土器であるが器種は不明である。22は土師質土器の坏蓋のつまみである。9世紀前後のものであろう。23は土師質土器の蓋である。これは在地系土師質土器の小皿の底部につまみを付けたものである。24は口縁端部が肥厚する、いわゆる「豊後大分型火鉢」の口縁部である端部外面には2条の突帯を巡らし、雷文をスタンプする。25は軒平瓦の瓦当部分である。唐草文様がスタンプされる。26は土師質土器の盤であらう。口縁部が「く」の字状に屈折し端部は短く垂直に伸びる。27は埴塙、28は鞆の羽口である。埴塙はSD103で出土したものと同様のものである。29・30は須恵器である。29は高坏の脚、30は甕の胴部片である。外面に格子目状のタタキ痕が残る。31は敲石であらう。欠損しているが使用痕が残る。32・33は弥生土器で32は複合口縁の頸部であり複合部は欠損している。33は高坏の脚部であらう。



第656図 一括出土遺物実測図① (1/3)



第657図 一括出土遺物実測図② (1/3)

第3節 小 結

I. はじめに

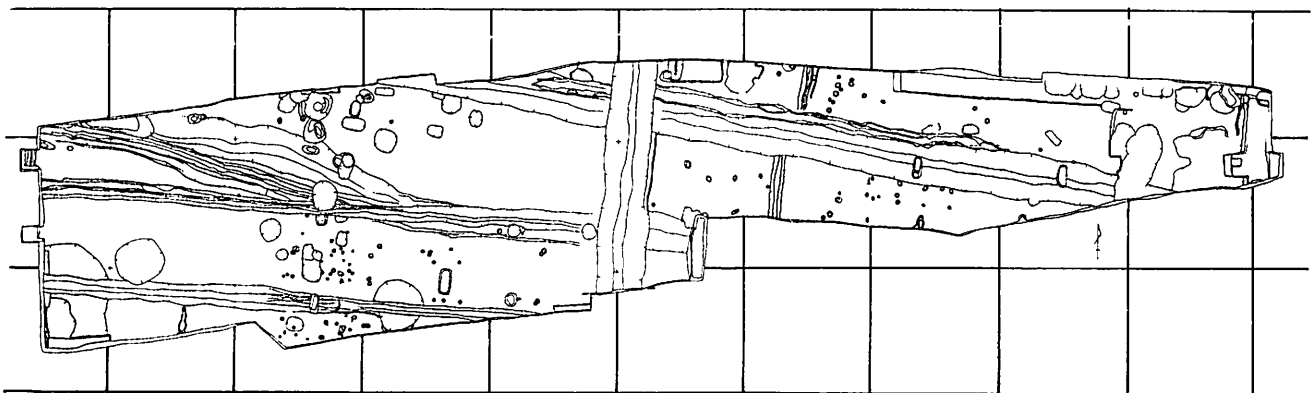
中世大友府内町跡第8次調査区は、「大分市史」に掲載されている「戦国時代の府内復元想定図」では国指定史跡大友氏館跡の南外郭線の外にあたり、大友氏館と御蔵場との間の空閑地と想定される場所に該当する。したがって調査前には調査区東側で柳町の一部は確認できるだろうが、基本的には大友館や中世府内町跡に関わる遺構・遺物を検出する可能性は低いと考えられていた場所である。しかし、調査の結果、本文で触れたように、遺構面は1面しか確認できなかったものの、出土した遺物から14世紀～16世紀末にかけての東西・南北の溝や堀、土塁状遺構、50近い土坑、2基の井戸を検出することとなった。しかし、本調査区では、隣接する第5次調査区や他の調査区で検出したロクロナデの残る在地系土師器や京都系土師器1期・2期が出現する15世紀末～16世紀前半にかけての遺構や遺物が、まったく検出できず、また、焼土を含む整地層など「かさ上げ」の状況も認められないなど、特殊な状況も窺えるのである。このように遺構状況は、本調査区を解釈するだけでなく、大友館の成立や中世府内町の変遷を考える上で重要なポイントとなると思われる。なお、本来ならば出土遺物について項目を起こすべきであるが、特殊遺物については本文で説明を加えており、また、それ以外の遺物については出土量が少なく、遺構一括遺物であるが、層位的な調査が不可能であったこと等から遺物の編年等は他稿に譲り、ここでは遺構の変遷について時代ごとに説明を加えながら、本調査区の解釈及び実像に迫っていきたい。

II. 14世紀の遺構について

14世紀の遺構は、第658図で示すように、調査区中央東よりで検出したSD104と調査区東側に点在する土坑や性格不明の掘り込みX103、西側に集中する土坑群で構成される。ピット数は少ないものの、調査区東側のピットから2点14世紀の在地形土師質土器が出土しており、掘建柱建物が存在した可能性もある。

次にこれらの遺構の性格であるが、SD103についてはSD101やSD103のように「堀」の規模ではなく、また、単独で存在していることから、この溝状遺構は道路に伴うというよりも、なんらかの区画の溝であろう。

次に土坑であるが、長径が1～2m、深さが2m程度の規模を持つものもあり、全体的に他の時期の土坑よりも大きい。また、SK142を除くと、いずれも在地系土師質土器の坏と小皿の一括廃棄が認められる。この土坑の性格であるが、この一括廃棄の坏と小皿には、灯明皿として使用された痕跡がないこと、坏・小皿の大量廃棄は認められないこと、日常雑器が含まれないことなどから、儀礼的儀式後の一括廃棄に伴う土坑の可能性が高いのではないかと考える。



第658図 14世紀遺構配置図

ピットについては、土師質土器を含む柱穴が存在することから、何らかの建物が存在したであろうが掘建柱建物群が存在した状況は、ピット数やそのまとまりから見ても想定できない。

以上、14世紀の遺構について説明を加えたが、検出した遺構やその分布から、14世紀において第8次調査区に町屋が展開していたとは考えにくい。また坏と小皿の一括廃棄土坑の存在から、儀礼的な儀式を執り行うような施設の存在も窺える。

Ⅲ. 15世紀の遺構について

15世紀の遺構は、第659図で示すように東西に走る溝状遺構、井戸、土坑、ピットなどで構成される。

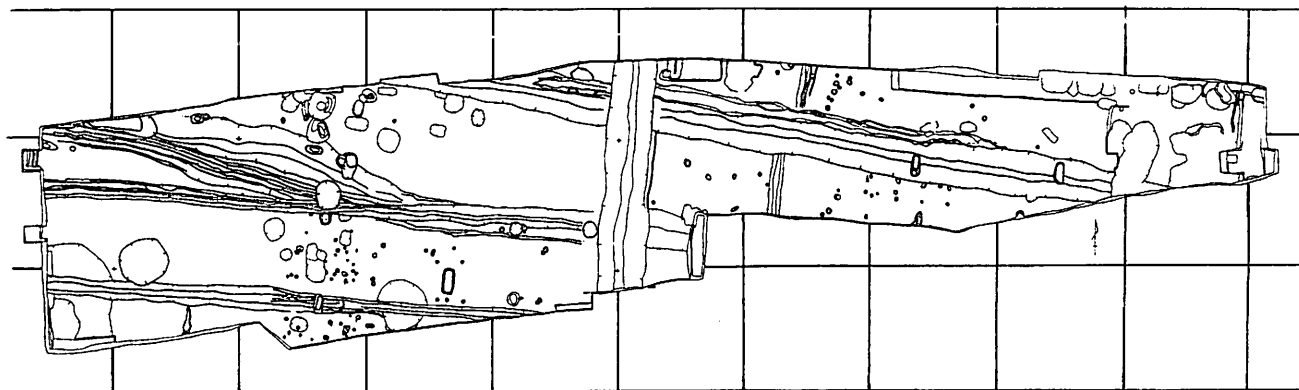
まず、溝であるが、本文ではA・Bグループに分けた軸線の異なる2グループの東西方向の溝が調査区を斜めに横断する。切り合い関係や出土遺物からまず14世紀末～15世紀前半にかけてAグループが掘られ、15世紀後半にはBグループが掘られる。これらの溝はグループごとにそれぞれ平行して走っており、出土遺物や軸線の関係から同時に存在していた可能性が高い。また、SD101についてはその形状や規模から「堀」であり、SD101に隣接する同時期のSD107は、規模は小さいが同じ形状を呈しておりSD101との関係が注目される。Bグループについては、ロクロナデの残る在地系土師器や京都系土師器などは出土していないため、これらの土器の出現以前には埋め戻されている。

次に土坑であるが、調査区西側に点在する。いずれも遺物をあまり含んでおらず、14世紀に比べると土鍋や播鉢を含む廃棄土坑や、銅銭を多量に含む性格不明の土坑が中心で、14世紀のように坏や小皿の一括廃棄は認められなくなる。土坑の前後関係であるが、遺物が少なく正確さを欠くものの溝との関係から南側の土坑が北に分布する土坑よりも新しいであろう。

ピットについては遺物が出土していないため時期の比定が難しいが、土坑との関係からB17・18区に集中するピットを当該期のものと判断した。これらのピットも、密度は低く建物としてのまとまりは認められない。しかし、SE102からは柱を受ける部分を丸く彫りくぼめた明らかな礎石が出土しており（写真図版50SE102）周辺に礎石の建物が存在していたことが想定できる。

井戸については2基であり、出土した遺物やSD105との切り合い関係からSD101がAグループの溝とほぼ同時期で、SD102はSD105が埋没してから掘り込まれている。しかし、SD102からはロクロナデの残る在地系土師器や京都系土師器は出土しておらず15世紀末～16世紀初頭までには埋井されたのであろう。

以上、15世紀の遺構についてまとめたが、第8次調査区では14世紀末～15世紀初頭にかけて堀や溝などの大型の遺構が登場し、その様相が大きく変化する。平行する溝の間の空間は、道路として使



第659図 15世紀遺構配置図

用された可能性が高く、その規模も幅8m前後の直線的な道路となり、まさに大路の規模である。また、堀の登場は、公的施設の登場を示唆するものであり、初期大友館との関係が注目される。さらに15世紀後半には溝の軸線が変化するなど中世府内町に大きな変化が生じたことが看取できる。なお、町屋についてはSE101周辺にピット群や土坑が存在することから、15世紀前半において一時的に町や部分が成立した可能性はあるが、継続して存続した状況は認められなかった。

IV. 16世紀の遺構について

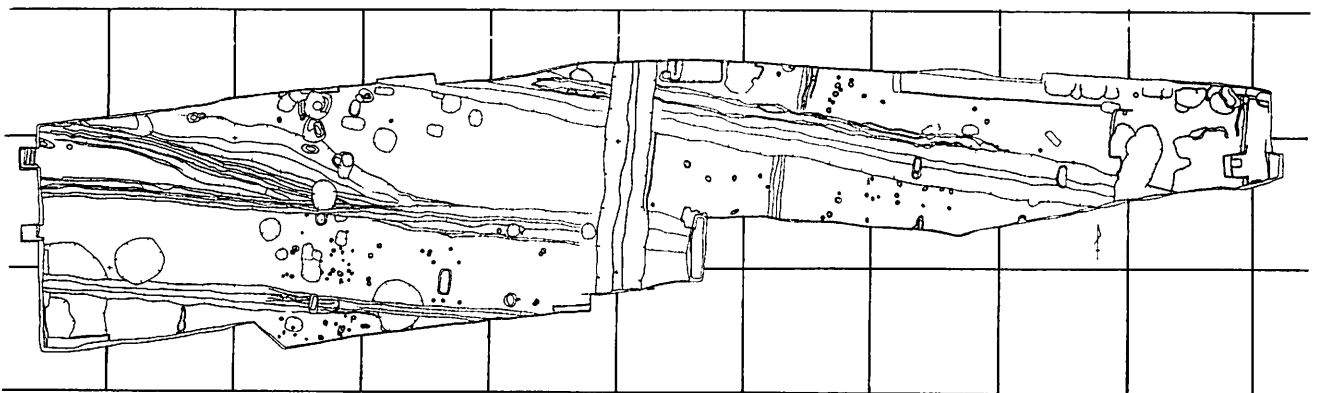
16世紀の遺構は、第660図のように調査区東端の土坑群や土塁状遺構、調査区中央と西端の溝であるが、いずれも16世紀後半の島津府内進入（1587年）前後のものである。

まず、溝であるが、SD103は調査区中央を南北に走る箱掘り状の大型の堀であり、大友館方向へ延びる。SD108は調査区西端の溝状遺構である。これらの溝は東端の土塁状遺構から約50m間隔（約半町）で掘られる。

土塁状遺構については、調査区東端に位置する。2～3回の改修工事の後が認められ、16世紀末までは存在していたようである。わずかに出土した遺物などからすくなくとも16世紀後半には構築した可能性が高く、若林文書等文献資料にみられる「土井廻屏」⁽¹⁾の建設時期とほぼ一致するようである。

土坑については、埋土に焼土が含まれていることから、当該期の土坑はいずれも火災処理土坑である。3期の京都系土師土器の一括廃棄や褐釉陶器、風炉、天目茶碗など茶道具関係の遺物の出土が出土しており、島津進入（1587年）前後の土坑と思われる。

以上、16世紀の遺構について説明を加えたが、この時期の大きな特徴としては、15世紀に存在した道路は15世紀末に姿を消し、それ以降16世紀の第3四半期前後まで遺構が出現しないことである。この第8次調査区については大友氏館と御蔵場の間の空閑地と想定される場所であったが、この遺構・遺物が存在しない時期がそれに該当するのであろうか。次に、16世紀の第4四半期に出現する堀や溝、土塁の問題であるが、これらの遺構は前述のように半町間隔で並ぶ。この土塁については宗麟が「土圃廻屏」の建設を指示した時期（1573年）と考古学的見地がほぼ一致することから、（この「土圃廻屏」については場所が明記されていないため、議論の分かれるところであるが、）大友館に関連する土塁の可能性が高い。また半町ごとに並ぶ堀及び溝については、SD108の外側には築地塀もしくは道路状の遺構が存在した可能性が挙げられており⁽²⁾、半町ごとに区切られた中には何らかの区画が存在した可能性が高い。この区画が、館の内部か否かについては、今後の周辺の調査を待たなければ結論は出ないだろうが、本調査区で検出したこの溝や土塁で仕切られ



第660図 16世紀遺構配置図

た区画についても、大友館に関連する区画である可能性は高いと考える。

V. まとめ

以上、本調査区で検出した遺構の変遷について、14世紀から順に説明を加えてきた。当初、大友館と御蔵場の間空き地と考えられていた本調査区から、初期大友館成立に関わる可能性の高い遺構や、中世府内町の町割を考える上で重要な道路状遺構などの遺構を検出できたことは大きな成果であるといえよう。また、16世紀初頭～16世紀第3四半期にかけて遺構・遺物がまったく存在しない状況、16世紀第4四半期に出現する堀や土塁状遺構の存在は、何らかの区画が存在した可能性を示唆している。事実、本調査区内では当該期の町屋に関連する遺構は存在せず、また、このような状況は本調査区の西側に隣接する第5次調査区では看取できず、土塁状遺構の延長部分は、本調査区の南側では検出できていない⁽³⁾。今回の調査では、区画の存在に言及できたものの、その性格を明らかにすることはできなかったが、大友館の周辺ということもあり、この区画の取り扱いについては、今後、大友館南限の問題を含め、大友館周辺の状況を考えるうえで非常に重要なポイントとなってくるであろう。いずれにせよ、大友館周辺の状況を明らかにするには、今後の調査の蓄積と、今までの発掘成果を総合的に判断しなければ解決できない問題であると考え。今後の調査に期待するところである。

註(1)「若林文書」32号「大分県資料」大分県教育委員会他

(2) 本報告書「第3章」参照

(3) 中世大友府内町跡第19次調査区(大分市教育委員会の調査)の所見による。

第5章 自然科学的分析

第1節 中世大友府内町跡第5次調査区出土人骨

石川健・田中良之

(九州大学大学院比較社会文化研究院基層構造講座)

I. はじめに

大分県大分市中世大友府内町跡第5次調査区から頭蓋骨を中心とした人骨が出土した。人骨は、大分県教育委員会による調査・取上が行われた後、九州大学大学院比較社会文化研究院基層構造講座へと搬入され、同講座で整理・分析を行った。以下に、これらの人骨についてその結果を記載する。なお、人骨は現在九州大学大学院比較社会文化研究院考古人類資料室に保管されている。

II. 出土状態

SD153出土人骨（人骨1）

SD153の堆積土中より、下顎骨を欠く頭蓋骨が出土している（第51図参照）。付近に本人骨のものと考えられる下顎や体部骨等は認められない。頭蓋骨は頭頂部を上に向けた状態である。

本頭蓋骨については、溝内を頭部が流れた際に下顎と遊離した可能性も考えられるが、出土状態からみると上顎歯列に乱れがない状態であることなどから、溝内を大きく移動した可能性は低いと考えられる。従って、本頭蓋骨は下顎と遊離した状態でSD153に廃棄されたものと推定される。

SD151出土人骨

当遺構からは、頭蓋骨3体分及び下肢骨1が出土している。頭蓋はそれぞれ数十メートル離れた場所から出土している。以下それぞれ人骨2～4として報告する。

人骨2

溝（SD151）の堆積土中から頭蓋冠が出土している（第60図参照）。頭蓋骨は側頭部を上面にした状態である。付近には本頭蓋骨に伴う下顎骨や体部骨は認められない。また、頭蓋骨の西側のほぼ同一のレベルより漆器碗が伏せた状態で出土し、頭蓋骨の下位より礫が出土している。

頭蓋骨付近に同一個体のもと考えられる四肢骨等他の骨が認められないことから、本来溝中に全身が関節した状態で廃棄された後、溝を流された際に本頭蓋骨のみが遊離してしまったのか、あるいは頭蓋骨のみが溝に廃棄されたのかは不明である。しかし、SD153出土の頭蓋骨の事例等を考慮すると、頭蓋のみが溝に遺棄された可能性が高いものと推定される。また、本頭蓋と漆器碗との関係については不明である。

人骨3

人骨2から東南へ22m離れた場所から、頭蓋骨と下肢骨が出土している（第60図参照）。頭蓋は下顎骨を伴わず、右側頭部を下位にした状態である。出土状態からみると上顎歯列に乱れがない状態で出土している。下肢骨は大腿骨であり、近位を頭蓋骨側に向けた状態である。頭蓋及び下肢骨ともに付近に礫が認められる。

頭蓋骨と下肢骨が同一個体かどうかについては、下肢骨の残存状況が良くなかったため、不明である。頭蓋骨については、上顎歯列に乱れがない状態であることから、SD153出土頭蓋骨と同様に、頭蓋骨と下顎骨の関節が外れ、下顎骨が伴わない状態で遺棄された可能性が想定される。

人骨4

人骨3から東南へ65m離れた場所から、頭蓋骨が下顎を欠落した状態で出土している。頭蓋底を下位にした状態である。付近から他の部位の人骨の出土は認められない。

定される。

人骨4

人骨4
性別不明
若年～
成年前半

【保存状況】頭蓋の残存状態は不良である。前頭骨から頭頂骨にかけての部分が残存し、後頭骨ラムダ状縫合付近がわずかに遺存する。残存歯牙は認められない。

頭蓋主縫合は、矢状縫合が内板・外板ともに開放している。

【性別・年齢】性別は、判定可能な部位が残存しないことから、不明である。年齢は、頭蓋縫合の癒合がみられないことから、若年から成年前半と推定される。

IV. まとめ

以上本遺跡出土人骨についての報告を行ってきた。本調査においては頭蓋骨が4体分出土し、また、人骨3頭蓋骨に近接した位置から下肢骨が出土した。これらの出土人骨はいずれも保存状況が良好でなかったため、計測に耐えうるものはほとんどなく、形質的比較を行える個体は得られなかった。

頭蓋骨の出土状況は、いずれの頭蓋骨も下顎骨を伴わない状態での出土であった。このような出土状態については、溝内を頭が流れて下顎骨と頭蓋骨が遊離した結果である可能性も考えられるが、人骨1や人骨3にみられるように上顎歯列に乱れがない状態であることから、溝内ではさほど移動していない可能性が高いものと考えられる。以上のような出土状況から、おそらく下顎と遊離した状態の頭蓋を溝に遺棄した可能性が高いものと考えられた。

頭蓋を
溝に遺棄

これらの人骨がどのような経緯で溝に遺棄されるに至ったのかについては不明であるが、都市の道路における遺体遺棄については、平安前期までは一般的に認められるようである⁽³⁾。このような遺体遺棄については穢れの観念と関係しており、都市管理者はこのような路上における遺体遺棄を好まず、特定の地に片づけようとしていたものとの指摘がある⁽⁴⁾。15世紀末から16世紀初頭の本人骨出土遺構において認められたような溝内への遺体遺棄が、平安前期における遺体の取扱にかかわる上記のような観念とどのような関連性をもつのかは、今後の検討課題であり、資料増加が望まれる。

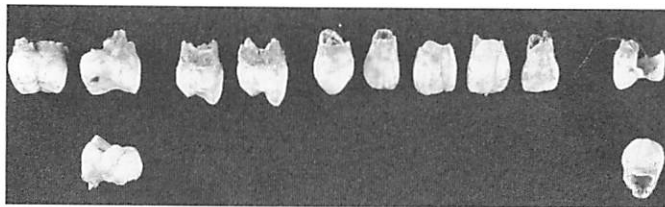
謝辞

本報告にあたり、坂本嘉弘氏、田中裕介氏、吉田寛氏を初め大分県教育庁埋蔵文化財センターの方々には様々なご便宜を賜りました。また、九州大学大学院比較社会文化学府基層構造講座の学生諸氏には整理段階で大変お世話になりました。記して深謝いたします。

註(3) 勝田至「中世民衆の葬制と死穢—特に死体遺棄について—」(『史林』第70巻第3号 1987年)

勝田至「死者たちの中世」(吉川弘文館 2003年)

(4) 註(3)に同じ。



人骨1 上下顎歯牙



人骨2 頭蓋骨正面観

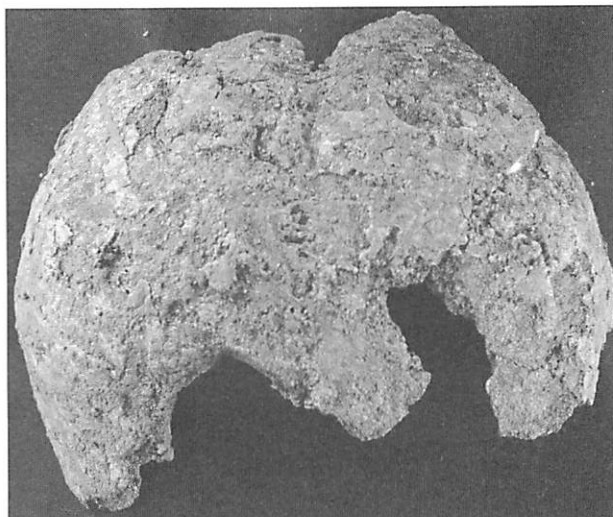


人骨2 頭蓋骨上面観

第661図 中世大友府内町跡第5次調査区出土人骨①



人骨3 上顎歯牙



人骨4 頭蓋骨上面観

第662図 中世大友府内町跡第5次調査区出土人骨②

第2節 中世大友府内町跡第8次調査区出土ガラス玉の自然科学的分析

山田拓伸（大分県立歴史博物館）

試料の状態 中世大友府内町跡第8次調査で出土したガラス玉について、蛍光X線分析を行った。試料は2.7g、最大径13mmである。色調は透明で、部分的に白色の付着物が認められる。

分析 試料は表面や中心部の孔についての汚れを取り除き、アセトンにて脱脂し、蛍光X線分析を行った。また、白色の付着物については、電子顕微鏡付属の分析装置（EDS）とX線回折装置により分析を行った。各装置の分析条件等は以下のとおりである。

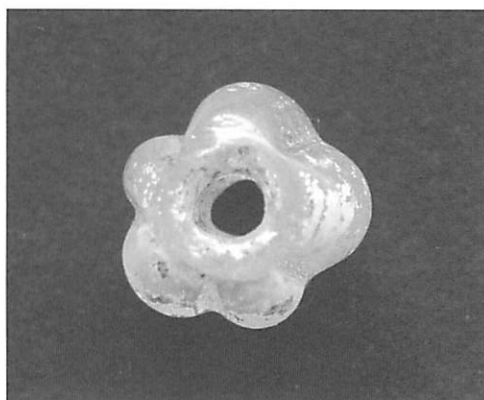
分析装置・
分析条件

蛍光X線分析装置	フィリップス：PW2400LS II
管	球：Sc管球
出	力：60KV、40mA
検出器	：シンチレーション検出器、ガスフロー検出器
EDS分析装置	日本電子：JSM-5600LV
電	圧：20KV
検出器	：Si検出器
X線回折装置	島津製作所：XRD-6000
管	球：Cu管球
出	力：40KV、30mA
検出器	：シンチレーション検出器

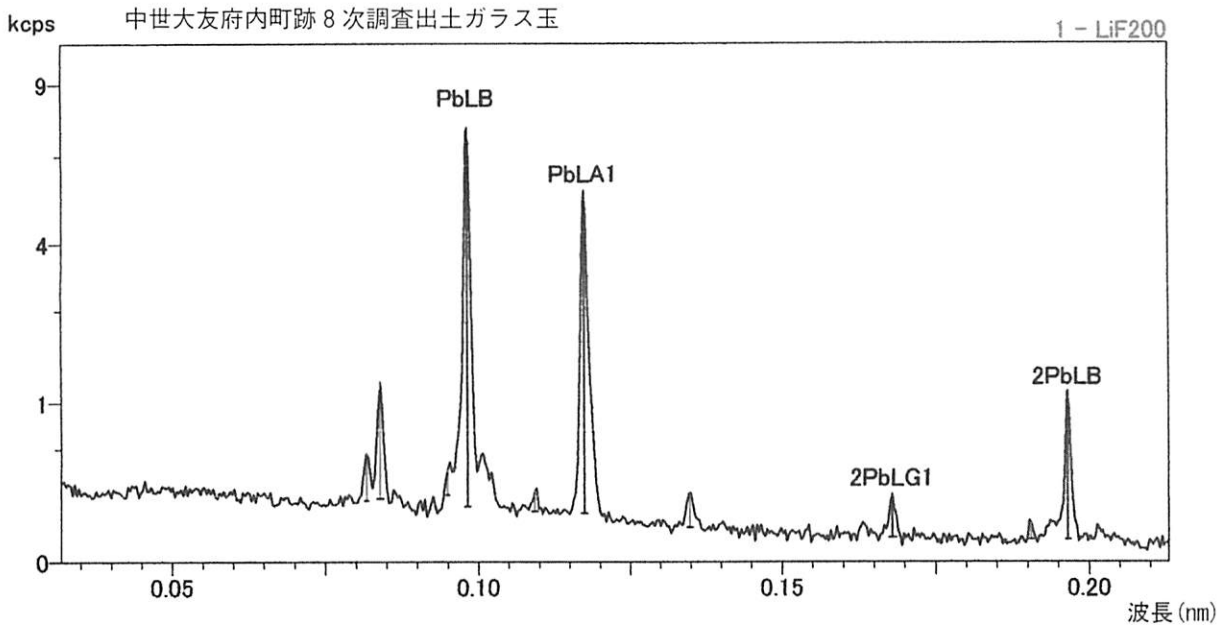
鉛ガラス 結果 蛍光X線分析では、Na、Al、Si、Cl、K、Ca、Pbが検出され、ピーク強度から鉛ガラスと判断される。

ガラス玉表面の白色付着物については、胡粉（CaCO₃）と鉛白〔2PbCO₃・Pb（OH）₂〕、それとガラスに含まれる鉛が劣化し、白色化したものの3つが考えられる。比較のために、白色の付着物部分とガラスの透明部分についてEDS分析を行った。それぞれNa、Si、Pbが検出され、付着物ではPbが強くSiが弱い。検出されたCaの強度も弱い。Caはガラス本体や汚れとして付着している土壤に微量含まれ、それと付着物の接着状況などから胡粉の可能性は低いといえる。

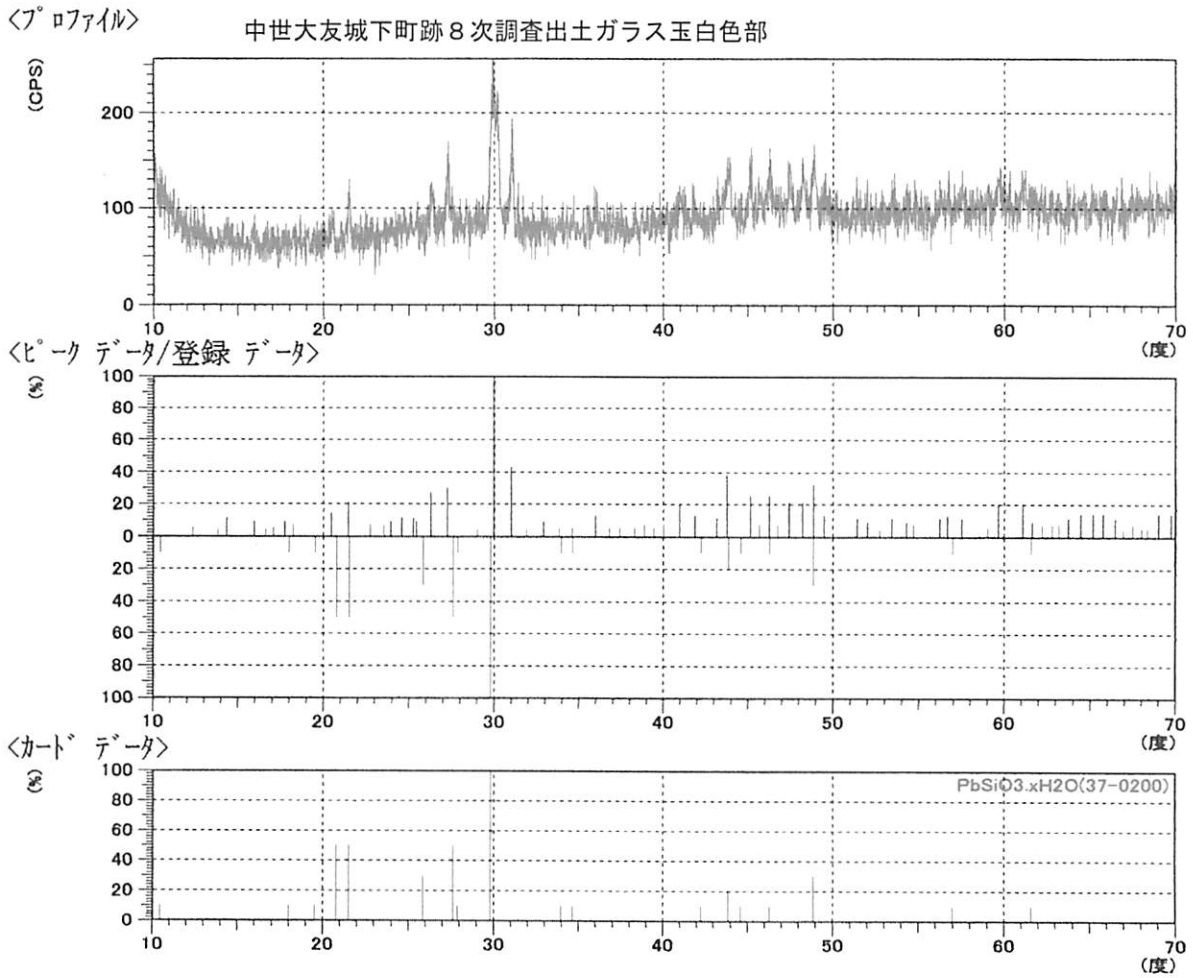
付着物の解釈 白色の付着物のX線回折分析では、小さいガラス玉の曲面を分析したためか十分な強度とピークが得られず判断しにくい、鉛白よりもガラス成分の劣化物の可能性を窺わせるものである。



第663図 中世大友府内町跡第8次調査出土ガラス玉
（最大径13mm）



第664図 蛍光 X 線分析チャート図



第665図 X 線回折分析チャート図

第6章 総括

JR日豊・豊肥線の高架化事業に伴う中世大友城下町跡の発掘調査は平成11年度に開始され、平成14年度に現場での作業はほぼ終了した。発掘調査区は、東は大分川の河畔から、大友氏館の南側を通り、西は「府内古図」後元葉の西側にあたる低湿地部までの約700mであり、「府内」を東西に横断する形状となった。本書は、その最初の調査報告書である。掲載された調査位置は、「府内古図」の復元図上で、東は大友氏館前を南北に「府内」を貫く街路（第2南北街路）西側から、西は「府内」の西側の街路（第4南北街路）までである。この発掘調査範囲は、これまで12枚確認されている「府内古図」をA類・B類・C類の3種類に分類しているが、それぞれで描かれ方の異なる場所でもあった。発掘調査では、大友氏館と御蔵場の間の街路（空地）、林小路町、御蔵場跡が検出されることが想定された。

調査の結果、この調査範囲では、14世紀から16世紀末まで継続的に遺構が認められた。特に16世紀後葉の遺構は、府内町跡5次調査区で、第4南北街路から東方にかけて、御蔵場を取り巻く築地の北側の基礎、林小路町と考えられる町屋跡などが検出された。また、8次調査区の東端部では、南北方向に築かれた土塁を検出した。さらに、府内町跡5次A調査区と府内町5次B調査区の間、府内町5次B調査区と8次調査区の間には町割を示す大規模な堀が検出され、府内町跡5次A調査区では屋敷割りと考えられる小規模な溝を検出している。

こうした遺構は、描かれた「府内古図」の復元図と、必ずしも完全に整合させることは出来なかった。しかし、府内町跡5次A調査区で、林小路町の変遷や構造の実態が明らかになった。すなわち、堀状の大区画で囲まれた中が、さらに、溝状の小区画で区切られている。また、出土する遺物は中国や東南アジア系の貿易陶磁器が多数出土した。さらに、検出された御蔵場の積土遺構（築地基礎）と想定される遺構は、府内町跡5次A調査区から府内町跡5次B調査区まで、約115mにわたり、直線的に検出され、両側に堀を持つことが確認された。そして、北西隅では礎石建物が存在することがわかった。このことは、「府内古図」の3分類のそれぞれで、表現や記載方法の異なる御蔵場の実態が、具体的な形で現れたことになる。すなわち、積土遺構（築地基礎）は幅約2mで、最下部に掌大の礫を敷き、その上を砂と土を交互に積み上げる版築状を呈している。その方向性は、第2南北街路と直交する方位で、「府内」の都市整備の中で企画された施設であることが推測される。

さらに府内町跡第5次B調査区では、御蔵場の積土遺構（築地基礎）に平行して、約5m北側に16世紀中葉から後葉の細い溝が検出された。また、この積土遺構（築地基礎）の以前には、15世紀末葉から16世紀初頭に掘削された、やや方向性の異なる大きな溝が存在し、府内町跡5次A調査区との境で、北に屈曲しており、一部は16世紀後半まで機能していることが判った。さらにこの調査区の東側にも16世紀後半の南北方向の大規模な溝があり、府内町跡第5次B調査区は、こうした溝に区画され区域であることが理解できた。その大区画の中には、15世紀後半から16世紀後半にかけての溝や焦土を含む廃棄土抗、井戸などが多数検出されおり、銭貨を使用した地鎮遺構が2箇所、土器による地鎮遺構が1箇所、検出されている。この調査区は大友館の推定地の南側にあたり、その性格については、館との関係を含め、注目される。

そして、大友氏館の南側にあたる8次調査区では、第1南北街路と直交する方向性を持つ15世紀代の断面V字の堀は、大分市教育委員会が大友氏館跡の東南隅にある庭園遺構の北側の発掘調査で検出している、15世紀代の規則性の強い建物遺構との関係を考えなければならない。また、調査区の東端で検出された南北方向に構築された16世紀後半の土塁状遺構は、大友氏館との関係が指摘されている。狭い範囲で確認された遺構であるが、平成17年度の発掘調査は、この土塁状遺構の東

側が予定されており、今後の調査が注目され、その性格が明らかにされることと思われる。

以上のように、本書で報告した調査範囲は、「府内古図」に描かれた「府内」の中枢部に当たるが、発掘調査の結果、御蔵場の構造や林小路町の状況が理解できるようになったが、なおも、大友氏館との関係など、今後とも検討しなければならない問題も残された。今回報告した地域に隣接した部分の発掘調査も今後予定されており、そうした中で、明らかになるものと期待する。

重要遺構の保存

最後に、本書で報告した調査範囲で検出された重要遺構の保存について述べる。大分県教育委員会が中世大友城下町跡を最初に調査した平成11年度から注目され、府内町跡5次A調査区から府内町跡5次B調査区まで、約115mにわたり直線的に御蔵場の積土遺構（築地基礎）が検出された。この遺構は、調査区の南端にあたり、工事計画では、高架橋の南側に沿った側道部分にあたった。しかし、その部分には、発掘調査時にJR日豊・豊肥線沿いに流れていた「金池下水道」が移設し、埋設されることが計画されていた。計画通りの工事施工ならば、検出された御蔵場の積土遺構（築地基礎）はすべて破壊されてしまうことが判明した。

そこで、開発関係者である大分県土木建築部・大分市土木建築部と、御蔵場を区画する積土遺構（築地基礎）の保存のための協議を行い、「金池下水道」のルート変更の可能性の検討をお願いした。その結果、いくつかの変更案が提示されたが、経費・工事期間の問題もあり、最終的には、現在の市道六坊新中島線の西側で「金池下水道」を高架橋の北側に方向を変え、北側側道の下に埋設し、府内町第8次調査区で再び南側の側道に方向を変え、本来の計画路線に戻す案を採用した。その結果、高架橋の南側の側道下であるが、検出された御蔵場の積土遺構（築地基礎）の大部分を保存することが出来た。

また、大友氏館跡が平成13年8月に国指定史跡になることが決定し、将来は史跡公園として整備される見通しとなった。一方JR日豊・豊肥線の南側はかねてから「元町公園」として都市計画決定されていた。その2つの将来の公園の間に計画された高架橋は、「ラーメン工法」という工区内を全面掘削し、10m間隔でコンクリートの橋脚を林立させるものであった。この工法が採用されると、府内町跡第5・8次調査で発掘した「府内」の中枢部の遺構の全てが消滅してしまうことが明らかになった。さらに、将来の「史跡公園」と「都市公園」を繋ぐ部分が遮断されてしまう懸念が生じた。そこで、JR九州・大分市・大分県土木建築部と協議を行い、「ラーメン工法」から高架下が利用可能な「橋脚工法」に工法変更をお願い、採用いただいた。その結果、大友氏館前の遺構の7割は地表下であるが保存することができ、高架下の通過も可能となった。

以上の工法変更による遺跡保存にあたっては、JR九州・大分市土木建築部・大分市教育委員会・大分県土木建築部など開発関係機関の御理解と協力があって達成できたことを銘記し、感謝の意を表したい。

遺物觀察表

5次調査 A区遺物観察表 (土器・陶磁器類①)

挿圖No	器 種		生産地	法量 (単位 cm)			遺構名	備 考	図版 No
				口径	底径	器高			
第14図1	青花	碗	中国(景德鎮窯)	10.8	4.1	4.8	SD101	E群(饅頭心碗)	
第14図2	青花	碗	中国(漳州窯)	—	4.4	—	SD101		
第14図3	青花	皿	中国(景德鎮窯)	(10.8)	2.6	4.5	SD101	C群	
第14図4	青花	皿	中国(景德鎮窯)	—	3.8	—	SD101	C群	
第14図5	華南三彩	水注?	中国	—	—	—	SD101		
第14図6	焼締陶器	播鉢	中国南部	—	—	—	SD101		
第14図7	焼締陶器	四耳壺	タイ(メナムノイ窯)	—	—	—	SD101		
第14図8	陶器	壺	中国	—	—	—	SD101	黒釉	
第14図9	陶器	壺	中国	—	—	—	SD101	黒釉	
第14図10	陶器	壺	中国	20.0	—	—	SD101	黒褐釉	
第14図11	焼締陶器	壺	備前	12.2	—	—	SD101		
第14図12	焼締陶器	壺	備前	—	9.6	—	SD101	底部にヘラ記号	
第14図13	焼締陶器	壺	備前	14.4	29.7	15.6	SD101		
第14図14	焼締陶器	壺	備前	10.0	—	—	SD101		
第14図15	焼締陶器	壺	備前	23.1	—	—	SD101		
第14図16	焼締陶器	播鉢	備前	(25.1)	—	—	SD101		
第14図17	焼締陶器	播鉢	備前	(29.0)	—	—	SD101		
第14図18	焼締陶器	瓶	備前	—	—	—	SD101		
第14図19	焼締陶器	瓶	備前	—	—	—	SD101		
第14図20	焼締陶器	小壺	備前	4.4	—	—	SD101		
第14図21	焼締陶器	鉢	備前	—	—	—	SD101		
第14図22	陶器	卸皿	瀬戸美濃	—	—	—	SD101		
第14図23	陶器	卸皿	瀬戸美濃	—	—	—	SD101		
第14図24	京都系土師器	皿	在地	8.8	—	2.0	SD101		
第14図25	京都系土師器	皿	在地	12.4	—	2.8	SD101		
第14図26	京都系土師器	皿	在地	12.0	—	2.2	SD101		
第14図27	京都系土師器	皿	在地	12.4	—	2.7	SD101		
第14図28	京都系土師器	坏	在地	12.4	—	2.6	SD101		
第14図29	土師質土器	皿	在地	6.6	2.0	3.4	SD101		
第14図30	土師質土器	皿	在地	7.2	1.6	4.6	SD101		
第14図31	土師質土器	燭台	在地	8.4	5.1	7.0	SD101		
第14図32	土師質土器	燭台	在地	—	6.6	—	SD101		
第14図33	土師質土器	土鐘	在地	—	—	—	SD101		
第14図34	瓦質土器	風炉	在地	(33.0)	—	—	SD101		
第14図35	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD101		
第14図36	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD101		
第14図37	瓦質土器	火鉢	在地	35.0	—	—	SD101		
第18図1	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	4.2	—	SD103	E群(饅頭心碗)	
第18図2	青花	皿	中国(景德鎮窯)	—	(3.0)	—	SD103	C群	
第18図3	青磁	皿	中国(龍泉窯)	—	8.8	—	SD103		
第18図4	青磁	酒会壺	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD103		
第18図5	白磁	瓶	中国	—	—	—	SD103		
第18図6	白磁	壺	中国	—	—	—	SD103		
第18図7	焼締陶器	鉢	中国南部	—	—	—	SD103	B類	
第18図8	焼締陶器	鉢	中国南部	—	—	—	SD103	C類	
第18図9	華南三彩	鳥形水滴	中国	—	—	—	SD103		
第18図10	陶器	壺	中国	—	(13.4)	—	SD103	黒褐釉	
第18図11	焼締陶器	播鉢	備前	(25.3)	—	—	SD103		
第18図12	焼締陶器	播鉢	備前	—	(10.0)	—	SD103		
第18図13	焼締陶器	瓶	備前	—	(10.0)	—	SD103		
第18図14	焼締陶器	壺	備前	—	—	—	SD103		
第18図15	焼締陶器	壺	備前	11.8	—	—	SD103		
第18図16	焼締陶器	壺	備前	11.4	13.0	30.4	SD103		
第18図17	焼締陶器	水屋瓿	備前	(19.3)	—	—	SD103		
第18図18	瓦質土器	播鉢	防長系	(23.4)	(13.8)	10.3	SD103		
第18図19	瓦質土器	鉢	在地	—	—	—	SD103		
第18図20	瓦質土器	火鉢	在地	(20.5)	—	—	SD103		
第18図21	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD103		
第18図22	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD103		
第18図23	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD103		
第18図24	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD103		
第18図25	瓦質土器	火鉢	在地	—	(29.6)	—	SD103		
第18図26	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD103		
第18図27	瓦質土器	火鉢	在地	(39.2)	—	—	SD103		
第18図28	京都系土師器	皿	在地	(12.6)	—	(2.4)	SD103		
第18図29	京都系土師器	皿	在地	(14.0)	—	(2.4)	SD103		
第18図30	土師質土器	皿	在地	7.4	4.0	3.1	SD103		
第18図31	土師質土器	皿	在地	(7.4)	4.8	3.1	SD103		
第18図32	土師質土器	燭台	在地	7.0	6.8	6.2	SD103		
第18図33	土師質土器	燭台	在地	—	6.8	—	SD103		
第22図1	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	3.7	—	SX102	E群(饅頭心碗)	
第22図2	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	3.9	—	SX103	E群(饅頭心碗)	
第22図3	青磁	皿	中国	(12.8)	—	—	SX102		
第22図4	青磁	皿	中国	—	6.2	—	SX102		
第22図5	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SX102		

遺物観察表 2
(5次調査 A 区)

5次調査 A 区遺物観察表 (土器・陶磁器類②)

持図No	器 種		生産地	法量 (単位 cm)			遺構名	備 考	図版 No
				口径	底径	器高			
第22図 6	青磁	瓶	中国(龍泉窯)	—	—	—	SX102		
第22図 7	磁器	碗	中国(景德鎮窯)	(18.8)	—	—	SX102	黄釉	
第22図 8	焼締陶器	槽鉢	中国南部	—	—	—	SX102		
第22図 9	焼締陶器	四耳壺	タイ(メナムノイ)	—	—	—	SX102		
第22図10	陶器	壺	中国	(13.2)	—	—	SX102	黒釉	
第22図11	陶器	壺	中国	—	—	—	SX102	褐釉	
第22図12	陶器	壺	中国	—	(11.8)	—	SX102		
第22図13	陶器	壺	中国	—	(12.0)	—	SX102		
第22図14	陶器	壺	中国	—	(16.8)	—	SX102	黒釉	
第22図15	陶器	碗	朝鮮王朝	—	4.0	—	SX102		
第22図16	陶器	碗	朝鮮王朝	—	5.0	—	SX102		
第22図17	陶器	碗	朝鮮王朝	(15.0)	6.6	5.8	SX102		
第22図18	陶器	碗	朝鮮王朝	—	—	—	SX102		
第22図19	焼締陶器	壺	備前	(10.2)	—	—	SX102		
第22図20	焼締陶器	壺	備前	(10.4)	—	—	SX102		
第22図21	焼締陶器	鉢	備前	(17.0)	—	—	SX102		
第22図22	焼締陶器	水屋壺	備前	(36.6)	(29.0)	—	SX102		
第22図23	焼締陶器	壺	備前	(56.0)	—	—	SX102		
第22図24	焼締陶器	槽鉢	備前	(34.4)	—	—	SX102		
第22図25	焼締陶器	槽鉢	備前	(33.0)	—	—	SX102		
第22図26	瓦質土器	碗	在地	—	(4.4)	—	SX102		
第22図27	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SX102		
第22図28	瓦質土器	槽鉢	在地	(28.6)	—	—	SX102		
第22図29	土師質土器	燭台	在地	—	6.0	—	SX102		
第22図30	土師質土器	燭台	在地	—	6.4	—	SX102		
第22図31	土師質土器	燭台	在地	—	6.6	—	SX102		
第22図32	京都系土師器	皿	在地	12.0	—	2.2	SX102		
第22図33	土師質土器	坏	在地	8.2	1.8	6.0	SX102		
第22図34	土師質土器	皿	在地	11.4	6.4	2.6	SX102		
第22図35	土師質土器	皿	在地	11.6	6.0	2.6	SX102		
第28図 1	葦南三彩	壺	中国	—	—	—	遺構間接合	1~13は同一個体	
第28図 2	葦南三彩	壺	中国	—	—	—	遺構間接合		
第28図 3	葦南三彩	壺	中国	—	—	—	遺構間接合		
第28図 4	葦南三彩	壺	中国	—	—	—	遺構間接合		
第28図 5	葦南三彩	壺	中国	—	—	—	遺構間接合		
第28図 6	葦南三彩	壺	中国	—	—	—	遺構間接合		
第28図 7	葦南三彩	壺	中国	—	—	—	遺構間接合		
第28図 8	葦南三彩	壺	中国	—	—	—	遺構間接合		
第28図 9	葦南三彩	壺	中国	—	—	—	遺構間接合		
第28図10	葦南三彩	壺	中国	—	—	—	遺構間接合		
第28図11	葦南三彩	壺	中国	—	—	—	遺構間接合		
第28図12	葦南三彩	壺	中国	—	—	—	遺構間接合		
第28図13	葦南三彩	壺	中国	—	—	—	遺構間接合		
第29図 1	青花	壺	中国	—	6.2	—	遺構間接合		
第29図 2	焼締陶器	壺	ベトナム	—	—	—	遺構間接合	2~8は同一個体	
第29図 3	焼締陶器	壺	ベトナム	—	—	—	遺構間接合		
第29図 4	焼締陶器	壺	ベトナム	—	—	—	遺構間接合		
第29図 5	焼締陶器	壺	ベトナム	—	—	—	遺構間接合		
第29図 6	焼締陶器	壺	ベトナム	—	—	—	遺構間接合		
第29図 7	焼締陶器	壺	ベトナム	—	—	—	遺構間接合		
第29図 8	焼締陶器	壺	ベトナム	—	—	—	遺構間接合		
第30図 1	陶器	壺	中国	(12.8)	—	—	遺構間接合		
第30図 2	陶器	壺	中国	(23.4)	—	—	遺構間接合		
第31図 1	陶器	壺	中国	—	—	—	遺構間接合		
第31図 2	陶器	壺	中国	—	—	—	遺構間接合		
第31図 3	陶器	壺	中国	—	16.0	—	遺構間接合		
第31図 4	陶器	壺	中国	(19.2)	—	—	遺構間接合		
第31図 5	陶器	壺	中国	—	—	—	遺構間接合		
第31図 6	焼締陶器	壺	備前	—	(6.4)	—	遺構間接合		
第31図 7	焼締陶器	槽鉢	備前	(27.0)	13.8	(13.8)	遺構間接合		
第31図 8	焼締陶器	鉢	備前	(45.6)	6.9	(26.6)	遺構間接合		
第31図 9	焼締陶器	壺	備前	9.8	11.0	17.6	遺構間接合	肩部にヘラ記号	15
第31図10	焼締陶器	広口壺(水指)	備前	18.2	16.2	17.8	遺構間接合		15
第32図 1	焼締陶器	槽鉢	備前	—	—	—	SD408		
第32図 2	焼締陶器	槽鉢	備前	—	—	—	SD408		
第32図 3	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD408		
第32図 4	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD408		
第34図 5	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SX604	外面に毛彫り文様	
第34図 6	青花	碗	中国(漳州窯)	—	—	—	SX604		
第34図 7	白磁	皿	中国	—	—	—	SX604		
第34図 8	白磁	壺	中国	—	—	—	SX604		
第34図 9	焼締陶器	鉢	中国南部	—	(12.8)	—	SX604		
第34図10	焼締陶器	槽鉢	備前	—	—	—	SX604		
第34図11	焼締陶器	槽鉢	備前	(32.4)	—	—	SX604		
第34図12	焼締陶器	槽鉢	備前	—	—	—	SX604		

5次調査A区遺物觀察表(土器・陶磁器類③)

挿圖No.	器種	生産地	法量(単位 cm)			遺構名	備考	図版 No.
			口径	底径	器高			
第34図13	焼締陶器	擂鉢	偏前	(32.4)	—	—	SX604	
第34図14	焼締陶器	鉢	偏前	(15.8)	—	4.9	SX604	
第34図15	土師質土器	土鐘	在地	—	—	—	SX604	
第34図16	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX604	
第34図17	京都系土師器	皿	在地	11.8	—	2.6	SX604	
第34図18	京都系土師器	坏	在地	(11.8)	—	3.6	SX604	
第34図19	土師質土器	燗台	在地	—	7.0	—	SX604	
第34図20	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SX604	
第34図21	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SX604	
第34図22	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SX604	
第34図23	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SX604	
第36図1	焼締陶器	鉢	中国南部	—	—	—	SX608	
第36図2	焼締陶器	擂鉢	偏前	—	—	—	SX608	
第36図3	焼締陶器	擂鉢	偏前	—	—	—	SX608	
第36図4	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SX608	
第36図5	土師質土器	土鍋	在地	—	—	—	SX608	
第36図6	京都系土師器	皿	在地	(12.6)	—	—	SX609	
第37図1	土師質土器	皿	在地	12.6	6.2	3.0	SD405	
第37図2	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD405	
第38図1	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD420	
第38図2	焼締陶器	擂鉢	偏前	(32.6)	—	—	SD415	
第38図3	青花	碗	中国(景德鎮窯)	13.2	—	—	SD429	C群
第40図1	京都系土師器	皿	在地	(8.0)	—	1.8	SD424	
第40図2	土師質土器	皿	在地	(8.4)	(5.4)	(1.6)	SD424	
第42図1	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図2	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図3	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図4	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図5	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図6	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図7	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図8	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図9	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図10	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図11	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図12	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図13	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図14	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図15	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図16	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図17	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図18	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図19	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図20	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図21	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図22	五彩	碗	中国	—	—	—	SD428	16
第42図23	五彩	皿	中国	—	—	—	SD428	16
第42図24	五彩	皿	中国	—	—	—	SD428	16
第42図25	五彩	皿	中国	—	—	—	SD428	16
第42図26	五彩	皿	中国	—	—	—	SD428	16
第42図27	五彩	皿	中国	—	—	—	SD428	16
第42図28	五彩	皿	中国	—	—	—	SD428	16
第42図29	五彩	皿	中国	—	—	—	SD428	16
第42図30	五彩	皿	中国	—	—	—	SD428	16
第42図31	五彩	皿	中国	—	—	—	SD428	16
第42図32	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	C群(蓮子碗)
第42図33	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	C群(蓮子碗)
第42図34	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	C群(蓮子碗)
第42図35	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	C群(蓮子碗)
第42図36	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	C群(蓮子碗)
第42図37	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	C群(蓮子碗)
第42図38	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	C群(蓮子碗)
第42図39	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	C群(蓮子碗)
第42図40	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	C群(蓮子碗)
第42図41	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	C群(蓮子碗)
第42図42	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	C群(蓮子碗)
第42図43	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	C群(蓮子碗)
第42図44	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	C群(蓮子碗)
第42図45	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	C群(蓮子碗)
第42図46	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	C群(蓮子碗)
第42図47	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	C群(蓮子碗)
第42図48	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	C群(蓮子碗)
第43図49	青花	皿	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	B1群
第43図50	青花	皿	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	C群
第43図51	青花	皿	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD428	C群

遺物観察表 4
(5次調査A区)

5次調査A区遺物観察表(土器・陶磁器類④)

挿圖No.	器種		生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考	図版No.
				口径	底径	器高			
第43図52	青花	皿	中国(景德鎮窯)	(10.6)	—	—	SD428	C群	16
第43図53	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD428		
第43図54	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD428		
第43図55	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD428		
第43図56	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD428		
第43図57	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD428		
第43図58	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD428		
第43図59	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD428		
第43図60	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD428		
第43図61	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD428		
第43図62	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD428		
第43図63	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD428		
第43図64	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD428		
第43図65	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD428		
第43図66	青磁	皿	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD428		
第43図67	青磁	皿	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD428		
第43図68	青磁	皿	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD428		
第43図69	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD428		
第43図70	青磁	盤	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD428		
第43図71	青磁	鉢	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD428		
第43図72	白磁	皿	中国	—	—	—	SD428		
第43図73	白磁	皿	中国	—	—	—	SD428		
第43図74	白磁	皿	中国	—	—	—	SD428		
第43図75	白磁	皿	中国	—	—	—	SD428		
第43図76	白磁	皿	中国	—	—	—	SD428		
第43図77	白磁	皿	中国	—	—	—	SD428		
第43図78	白磁	皿	中国	—	—	—	SD428		
第43図79	白磁	鉢	中国	—	—	—	SD428		
第43図80	陶器	碗	朝鮮王朝	—	—	—	SD428		
第43図81	陶器	天目碗	中国	—	3.9	—	SD428		
第43図82	焼締陶器	鉢	中国南部	(20.4)	—	—	SD428	鉢B類	
第43図83	焼締陶器	鉢	中国南部	—	(9.8)	—	SD428		
第43図84	焼締陶器	襜鉢	備前	—	—	—	SD428		
第43図85	焼締陶器	襜鉢	備前	—	—	—	SD428		
第43図86	焼締陶器	襜鉢	備前	—	—	—	SD428		
第43図87	焼締陶器	甕	備前	—	—	—	SD428		
第43図88	京都系土師器	皿	在地	(10.3)	—	—	SD428		16
第43図89	京都系土師器	皿	在地	(10.3)	—	2.5	SD428		16
第43図90	京都系土師器	皿	在地	10.5	—	2.5	SD428		16
第43図91	京都系土師器	皿	在地	10.5	—	2.0	SD428		16
第44図92	京都系土師器	皿	在地	(12.5)	—	—	SD428		16
第44図93	京都系土師器	皿	在地	(12.8)	—	(2.3)	SD428		16
第44図94	京都系土師器	皿	在地	12.6	—	2.5	SD428		16
第44図95	京都系土師器	皿	在地	12.6	—	2.5	SD428		16
第44図96	京都系土師器	皿	在地	12.6	—	2.5	SD428		16
第44図97	京都系土師器	皿	在地	(12.1)	—	2.5	SD428		16
第44図98	京都系土師器	皿	在地	12.8	—	2.3	SD428		16
第44図99	京都系土師器	皿	在地	(12.9)	—	—	SD428		16
第44図100	京都系土師器	皿	在地	14.1	—	2.5	SD428		16
第44図101	京都系土師器	皿	在地	(16.0)	—	—	SD428		16
第44図102	土師質土器	皿	在地	12.4	2.6	7.0	SD428		16
第44図103	土師質土器	皿	在地	(8.0)	—	5.2	SD428		
第44図104	瓦質土器	鍋	在地	—	—	—	SD428		
第44図105	瓦質土器	襜鉢	在地	(30.0)	—	—	SD428		
第44図106	瓦質土器	襜鉢	在地?	—	—	—	SD428		
第46図1	青花	碗	中国(景德鎮窯)	(13.4)	6.6	5.4	SD428	C群	
第46図2	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	5.4	SD436	C群	
第46図3	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD436	C群	
第46図4	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD436	C群	
第46図5	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD436	C群	
第46図6	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD436		
第46図7	青磁	盤	中国(龍泉窯)	(31.0)	(14.2)	8.0	SD436		
第46図8	白磁	皿	中国	—	—	—	SD436		
第46図9	白磁	皿	中国	14.6	6.2	4.4	SD436		
第46図10	焼締陶器	鉢(水指)	備前	(19.6)	(13.8)	(17.8)	SD436		
第46図11	焼締陶器	襜鉢	備前	—	—	—	SD436		
第46図12	焼締陶器	襜鉢	備前	—	—	—	SD436		
第46図13	焼締陶器	襜鉢	備前	—	(11.4)	—	SD436		
第46図14	京都系土師器	皿	在地	8.6	—	1.8	SD436		
第46図15	京都系土師器	皿	在地	10.4	—	2.1	SD436		
第46図16	京都系土師器	皿	在地	(10.0)	—	—	SD436		
第46図17	京都系土師器	皿	在地	10.7	—	2.1	SD436		
第46図18	京都系土師器	皿	在地	(10.6)	—	2.0	SD436		
第46図19	京都系土師器	皿	在地	11.0	—	2.0	SD436		
第46図20	京都系土師器	皿	在地	(11.0)	—	1.8	SD436		

5次調査 A区遺物観察表 (土器・陶磁器類⑤)

挿図No.	器 種		生産地	法量 (単位 cm)			遺構名	備 考	図版 No.
				口径	底径	器高			
第46図21	京都系土師器	皿	在地	(11.6)	—	1.9	SD436		
第46図22	京都系土師器	皿	在地	(12.6)	—	2.4	SD436		
第47図23	京都系土師器	皿	在地	(12.6)	—	2.4	SD436		
第47図24	京都系土師器	皿	在地	(13.0)	—	1.8	SD436		
第47図25	京都系土師器	皿	在地	(14.0)	—	1.9	SD436		
第47図26	京都系土師器	皿	在地	(13.2)	—	2.0	SD436		
第47図27	京都系土師器	皿	在地	(14.2)	—	—	SD436		
第47図28	京都系土師器	皿	在地	14.8	—	2.4	SD436		
第47図29	京都系土師器	皿	在地	13.2	—	2.2	SD436	胸部下半部に穿孔	
第47図30	土師質土器	皿	在地	(8.0)	(5.0)	1.8	SD436		
第47図31	土師質土器	皿	在地	—	(6.4)	—	SD436		
第47図32	土師質土器	皿	在地	—	(6.2)	—	SD436		
第47図33	土師質土器	皿	在地	—	(5.8)	—	SD436		
第47図34	土師質土器	皿	在地	(10.6)	(5.4)	2.8	SD436		
第47図35	土師質土器	皿	在地	—	(7.6)	—	SD436		
第47図36	土師質土器	皿	在地	(17.0)	(12.8)	2.2	SD436		
第47図37	土師質土器	土鍋	在地	—	—	—	SD436		
第47図39	瓦質土器	撻鉢	在地	—	—	—	SD436		
第47図40	瓦質土器	撻鉢	在地	—	—	—	SD436		
第47図41	瓦質土器	土鍋	在地	—	—	—	SD436		
第47図42	瓦質土器	*	在地	—	—	—	SD436		
第47図43	瓦質土器	香炉	在地	(11.6)	—	—	SD436		
第47図44	瓦質土器	羽釜	在地	(23.8)	—	—	SD436		
第49図 1	土師質土器	皿	在地	11.6	6.8	2.6	SD425a		
第49図 2	京都系土師器	皿	在地	(13.2)	—	(2.4)	SD425a		
第49図 3	京都系土師器	皿	在地	(18.8)	—	—	SD425a		
第49図 4	青磁	碗	中国	—	(4.5)	—	SD425a		
第49図 5	青磁	碗	中国	—	(5.0)	—	SD425a		
第49図 6	京都系土師器	皿	在地	10.0	—	2.0	SD425b		
第49図 7	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.4	SD425		
第49図 8	京都系土師器	皿	在地	(14.0)	—	(2.0)	SD425		
第49図 9	京都系土師器	皿	在地	(15.4)	—	—	SD425		
第49図10	土師質土器	皿	在地	(8.0)	(4.6)	1.4	SD425		
第49図13	瓦質土器	火鉢	在地	(30.4)	—	—	SD425		
第53図 1	土師質土器	皿	在地	7.0	4.2	1.9	SD153	1~3 第1集中部東側	18
第53図 2	土師質土器	皿	在地	—	4.7	—	SD153		18
第53図 3	焼締陶器	撻鉢	偏前	—	—	—	SD153		18
第53図 4	土師質土器	皿	在地	(6.1)	—	—	SD153	4~8 第1集中部上層	17
第53図 5	土師質土器	皿	在地	9.2	5.2	1.9	SD153		17
第53図 6	土師質土器	皿	在地	(11.0)	6.8	2.4	SD153		17
第53図 7	土師質土器	皿	在地	11.0	2.6	6.0	SD153		17
第53図 8	土師質土器	皿	在地	11.2	6.6	2.6	SD153		17
第53図 9	土師質土器	皿	在地	7.4	4.8	2.0	SD153	9~18 第1集中部下層	17
第53図10	土師質土器	皿	在地	9.0	5.4	1.9	SD153		17
第53図11	土師質土器	皿	在地	11.0	6.3	3.2	SD153		17
第53図12	土師質土器	皿	在地	11.6	6.2	2.8	SD153		17
第53図13	土師質土器	皿	在地	12.2	6.6	2.8	SD153		17
第53図14	土師質土器	皿	在地	(12.6)	6.2	(2.7)	SD153		17
第53図15	土師質土器	皿	在地	11.6	6.2	2.7	SD153		17
第53図16	土師質土器	皿	在地	11.0	6.8	2.6	SD153		17
第53図17	土師質土器	皿	在地	13.0	6.4	2.6	SD153		17
第53図18	京都系土師器	皿	在地?	15.2	—	2.0	SD153		17
第54図22	土師質土器	皿	在地	12.8	6.8	3.0	SD153	22・23 第2集中部	
第54図23	瓦質土器	羽釜	在地	—	—	—	SD153		
第54図24	土師質土器	小皿	在地	4.0	3.4	0.6	SD153		
第54図25	土師質土器	皿	在地	11.2	6.0	3.0	SD153		
第54図26	土師質土器	皿	在地	(12.0)	(6.6)	2.8	SD153		
第54図27	土師質土器	皿	在地	7.8	4.8	1.4	SD153		
第54図28	土師質土器	皿	在地	7.4	4.8	2.0	SD153		
第54図29	土師質土器	皿	在地	7.6	5.4	1.8	SD153		
第54図30	土師質土器	皿	在地	8.0	5.0	1.8	SD153		
第54図31	土師質土器	皿	在地	8.2	5.4	1.6	SD153		
第55図32	土師質土器	皿	在地	9.0	4.8	2.0	SD153		
第55図33	土師質土器	皿	在地	9.8	5.0	2.0	SD153		
第55図34	土師質土器	皿	在地	11.0	5.6	2.8	SD153		
第55図35	土師質土器	皿	在地	11.6	6.8	2.6	SD153		
第55図36	土師質土器	皿	在地	12.6	6.0	2.2	SD153		
第55図37	土師質土器	皿	在地	12.2	6.8	2.6	SD153		
第55図38	土師質土器	皿	在地	13.6	5.8	3.6	SD153		
第55図39	土師質土器	皿	在地	—	7.4	—	SD153		
第55図40	土師質土器	皿	在地?	—	5.4	—	SD153	白色系	
第55図41	土師質土器	燭台	在地	—	5.0	—	SD153		
第55図42	土師質土器	土鍋	在地	—	—	—	SD153		
第55図47	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD153		
第55図48	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD153		

遺物観察表 6
(5次調査A区)

5次調査A区遺物観察表(土器・陶磁器類⑥)

挿図No.	器種		生産地	法量(単位 cm)			遺構名	備考	図版No.
				口徑	底徑	器高			
第55図49	瓦質土器	壺	在地	—	—	—	SD153		
第55図50	瓦質土器	壺	在地	—	(5.0)	—	SD153		
第55図51	瓦質土器	不明	在地	(15.2)	—	0.6	SD153		
第56図52	焼締陶器	甕	備前	(27.4)	—	—	SD153		
第56図53	焼締陶器	搦鉢	備前	—	—	—	SD153		
第56図54	焼締陶器	搦鉢	備前	—	—	—	SD153		
第56図55	焼締陶器	不明	備前	—	7.0	—	SD153		
第56図56	青磁	小型碗 or 小杯	中国(龍泉窯)	9.0	—	—	SD153		
第56図57	青磁	盤	中国(龍泉窯)	(23.0)	—	—	SD153		
第56図58	青磁	碗	中国	—	3.4	—	SD153		
第56図59	青磁	碗	中国(龍泉窯)	6.0	—	—	SD153		
第58図1	土師質土器	皿	在地	12.0	6.0	2.7	SX603		
第58図2	土師質土器	皿	在地	12.0	6.2	2.8	SX603		
第58図3	土師質土器	皿	在地	14.2	6.8	3.2	SX603		
第58図4	土師質土器	皿	在地	15.2	7.2	2.6	SX603		
第59図1	土師質土器	皿	在地	13.2	7.2	2.6	SD403		
第59図2	土師質土器	皿	在地	15.0	7.8	2.8	SD403		
第61図1	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD151		
第61図2	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD151		
第61図3	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD151		
第61図4	青磁	碗	中国(龍泉窯)	(12.6)	—	—	SD151		
第61図5	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD151		
第61図6	青磁	碗	中国(龍泉窯)	(14.0)	—	—	SD151		
第61図7	青磁	小碗	中国(龍泉窯)	(8.2)	—	—	SD151		
第61図8	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD151		
第61図9	青磁	皿	中国(龍泉窯)	(13.2)	—	—	SD151		
第61図10	青磁	盤	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD151		
第61図11	白磁	皿	中国	(10.2)	—	—	SD151		
第61図12	白磁	皿	中国	13.4	6.4	3.0	SD151		
第61図14	陶器	碗	朝鮮王朝	3.8	—	—	SD151		
第61図15	焼締陶器	搦鉢	備前	(28.4)	(14.0)	12.4	SD151		
第61図16	焼締陶器	搦鉢	備前	(27.4)	(11.8)	11.8	SD151		
第62図17	焼締陶器	搦鉢	備前	—	—	—	SD151		
第62図18	焼締陶器	搦鉢	備前	—	—	—	SD151		
第62図19	焼締陶器	搦鉢	備前	—	—	—	SD151		
第62図20	焼締陶器	搦鉢	備前	—	—	—	SD151		
第62図21	焼締陶器	搦鉢	備前	—	—	—	SD151		
第62図22	焼締陶器	搦鉢	備前	—	—	—	SD151		
第62図23	焼締陶器	搦鉢	備前	—	(16.2)	—	SD151		
第62図24	焼締陶器	搦鉢	備前	—	(14.0)	—	SD151		
第62図25	焼締陶器	搦鉢	備前	—	—	—	SD151		
第62図26	焼締陶器	甕	備前	—	—	—	SD151		
第62図27	焼締陶器	甕	備前	—	—	—	SD151		
第62図28	焼締陶器	壺	備前	—	(15.2)	—	SD151		
第63図29	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	1.9	SD151		
第63図30	京都系土師器	皿	在地	13.2	—	2.0	SD151		
第63図31	京都系土師器	皿	在地	8.2	—	1.8	SD151		
第63図32	京都系土師器	皿	在地	10.6	—	2.1	SD151		
第63図33	京都系土師器	皿	在地	10.8	—	2.2	SD151		
第63図34	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.0	SD151		
第63図35	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.6	SD151		
第63図36	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.6	SD151		
第63図37	京都系土師器	皿	在地	13.6	—	2.6	SD151		
第63図38	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.6	SD151		
第63図39	京都系土師器	皿	在地	(14.0)	—	1.9	SD151		
第63図40	京都系土師器	皿	在地	15.0	—	2.2	SD151		
第63図41	京都系土師器	皿	在地	16.4	—	2.5	SD151		
第63図42	京都系土師器	皿	在地	17.3	—	3.4	SD151		
第63図43	土師質土器	耳皿	在地	6.0	—	2.0	SD151		
第63図44	土師質土器	蓋?	在地?	5.4	—	1.9	SD151	焼塼蓋または小皿 天井部にヘラ記号	
第63図45	土師質土器	蓋?	在地?	(5.0)	—	(1.8)	SD151	焼塼蓋または小皿	
第63図46	土師質土器	取瓶	在地	3.9	—	1.9	SD151		
第63図47	土師質土器	皿	在地	7.4	5.6	1.8	SD151		
第63図48	土師質土器	皿	在地	7.6	5.0	1.9	SD151		
第63図49	土師質土器	皿	在地	8.6	4.8	2.1	SD151		
第63図50	土師質土器	皿	在地	—	(6.0)	—	SD151		
第63図51	土師質土器	皿	在地	—	4.6	—	SD151		
第63図52	土師質土器	皿	在地	—	5.2	—	SD151		
第63図53	土師質土器	皿	在地	11.0	6.0	3.1	SD151		
第63図54	土師質土器	皿	在地	10.4	6.2	3.6	SD151		
第63図55	土師質土器	皿	在地	10.8	5.8	3.2	SD151		
第63図56	土師質土器	皿	在地	11.2	5.8	3.4	SD151		
第63図57	土師質土器	皿	在地	11.6	5.8	2.8	SD151		
第64図58	土師質土器	皿	在地	(11.4)	(7.0)	3.0	SD151		
第64図59	土師質土器	皿	在地	12.0	6.0	3.2	SD151		

5次調査 A区遺物觀察表 (土器・陶磁器類⑦)

挿図No.	器種	生産地	法量 (単位 cm)			遺構名	備考	図版No.
			口径	底径	器高			
第64図60	土師質土器	皿	在地	11.4	6.8	2.6	SD151	
第64図61	土師質土器	皿	在地	11.6	6.0	3.4	SD151	
第64図62	土師質土器	皿	在地	12.2	6.2	2.1	SD151	
第64図63	土師質土器	皿	在地	12.0	6.0	3.2	SD151	
第64図64	土師質土器	皿	在地	12.4	7.0	2.2	SD151	
第64図65	土師質土器	皿	在地	6.2	5.9	1.7	SD151	
第64図66	土師質土器	皿	在地	6.4	5.0	1.8	SD151	
第64図67	土師質土器	皿	在地	7.4	4.8	2.1	SD151	
第64図68	土師質土器	皿	在地	(8.0)	(5.0)	2.2	SD151	
第64図69	土師質土器	皿	在地	11.4	4.9	2.7	SD151	
第64図70	土師質土器	皿	在地	11.4	6.2	2.9	SD151	
第64図71	土師質土器	皿	在地	—	5.6	—	SD151	
第64図72	土師質土器	皿	在地	—	5.0	—	SD151	
第64図73	土師質土器	皿	在地	—	(3.0)	—	SD151	
第64図74	土師質土器	小皿	在地	3.2	2.7	1.0	SD151	
第64図75	土師質土器	皿	在地?	—	5.6	—	SD151	白色系
第64図76	土師質土器	皿	在地?	11.4	4.2	3.7	SD151	白色系?
第64図77	土師質土器	皿	在地?	15.2	6.2	3.2	SD151	白色系
第64図78	土師質土器	皿	在地?	(19.2)	9.3	4.2	SD151	白色系
第64図79	土師質土器	皿	在地	(11.8)	(10.0)	2.3	SD151	
第65図80	土師質土器	燭台	在地	—	7.2	—	SD151	
第65図81	土師質土器	燭台	在地	—	6.6	—	SD151	
第65図82	土師質土器	燭台	在地	—	7.3	—	SD151	
第65図83	土師質土器	燭台	在地	—	6.7	—	SD151	
第65図84	土師質土器	燭台	在地	—	6.0	—	SD151	
第65図85	土師質土器	燭台	在地	7.2	6.2	5.6	SD151	
第65図86	土師質土器	燭台	在地	7.0	7.8	5.6	SD151	
第65図87	瓦質土器	土鍋	在地	—	—	—	SD151	
第65図88	瓦質土器	土鍋	在地	—	—	—	SD151	
第65図89	瓦質土器	*	在地	(12.8)	—	—	SD151	
第65図90	瓦質土器	播鉢	在地	—	—	—	SD151	
第65図94	瓦質土器	火鉢 or 風炉	在地	—	(16.2)	—	SD151	
第65図95	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD151	
第65図96	瓦質土器	火鉢	在地	—	(25.2)	—	SD151	
第65図97	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD151	
第65図98	瓦質土器	火鉢	在地	—	(36.0)	—	SD151	
第65図99	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD151	
第66図100	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD151	
第66図101	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD151	
第66図102	瓦質土器	羽釜	在地	(14.8)	(13.0)	12.2	SD151	
第69図 1	青磁	碗	在地	—	—	—	SD404	
第69図 2	土師質土器	皿	在地	7.0	4.0	1.6	SD404	
第69図 3	土師質土器	皿	在地	6.6	5.0	1.6	SD404	
第69図 4	土師質土器	皿	在地	7.0	5.1	1.7	SD404	
第69図 5	土師質土器	皿	在地	7.0	5.6	1.9	SD404	
第69図 6	土師質土器	皿	在地	8.0	4.3	1.8	SD404	
第69図 7	土師質土器	皿	在地	9.2	6.0	2.0	SD404	
第69図 8	土師質土器	皿	在地	10.0	5.0	2.1	SD404	
第69図 9	土師質土器	皿	在地	(12.0)	6.0	3.7	SD404	
第69図10	土師質土器	皿	在地	11.2	6.0	3.4	SD404	
第69図11	土師質土器	皿	在地	(11.2)	(5.6)	3.6	SD404	
第69図12	土師質土器	皿	在地	12.0	7.0	2.1	SD404	
第69図13	瓦質土器	羽釜	在地	(17.2)	—	—	SD404	
第71図 1	土師質土器	皿	在地	11.0	6.6	3.7	SD411	19
第71図 2	土師質土器	皿	在地	11.0	7.0	4.2	SD411	19
第71図 3	土師質土器	皿	在地	12.6	3.8	7.4	SD411	19
第71図 4	土師質土器	皿	在地	(11.0)	—	—	SD411	19
第71図 5	土師質土器	皿	在地	—	(6.7)	—	SD411	19
第71図 6	土師質土器	皿	在地	(11.0)	(8.0)	4.1	SD411	19
第71図 7	京都系土師器	皿	在地	12.8	—	2.0	SD411	
第72図 1	土師質土器	皿	在地	(7.4)	5.2	2.9	SD412	
第73図 1	土師質土器	坏	在地	14.0	9.0	4.1	SD413	
第73図 2	土師質土器	坏	在地	—	7.8	—	SD413	
第73図 3	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD413	
第77図 1	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	5.4	—	SD431	
第77図 2	青磁	碗	中国(龍泉窯)	16.4	—	—	SD431	
第77図 3	焼締陶器	播鉢	備前	—	—	—	SD431	
第77図 4	焼締陶器	播鉢	備前	—	—	—	SD431	
第77図 5	焼締陶器	播鉢	備前	(35.4)	—	—	SD431	
第77図 6	焼締陶器	播鉢	備前	—	—	—	SD431	
第77図 7	焼締陶器	播鉢	備前	—	—	—	SD431	
第77図 8	焼締陶器	播鉢	備前	—	—	—	SD431	
第77図 9	焼締陶器	甕	備前	—	—	—	SD431	
第77図10	焼締陶器	甕	備前	(35.2)	—	—	SD431	
第78図11	土師質土器	小皿	在地	4.0	2.6	1.2	SD431	

遺物観察表 8
(5次調査 A区)

5次調査 A区遺物観察表 (土器・陶磁器類⑧)

挿図No.	器 種		生産地	法量 (単位 cm)			遺構名	備 考	図版 No.
				口径	底径	器高			
第78図12	土師質土器	皿	在地	9.6	5.6	2.5	SD431		
第78図13	土師質土器	皿	在地	11.0	6.0	3.2	SD431		
第78図14	土師質土器	皿	在地	6.6	—	—	SD431		
第78図15	瓦質土器	擂鉢	在地	—	—	—	SD431		
第78図16	瓦質土器	擂鉢	在地	—	—	—	SD431		
第78図17	瓦質土器	甕	在地	—	—	—	SD431		
第78図18	瓦質土器	土鍋	在地	—	—	—	SD431		
第78図19	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD431		
第78図20	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD431		
第78図21	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD431		
第78図22	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD431		
第78図23	瓦質土器	火鉢 or 風炉	在地	—	—	—	SD431		
第78図24	瓦質土器	不明	在地	—	—	—	SD431		
第83図 1	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SK001		
第83図 2	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SK001		
第83図 3	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SK001		
第83図 4	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SK001		
第85図 1	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SK026	C 群	
第85図 2	青花	皿	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SK026	B 1 群	
第85図 3	京都系土師器	皿	在地	(11.0)	—	2.0	SK026		
第85図 4	京都系土師器	皿	在地	(14.8)	—	2.0	SK026		
第86図 1	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SK027		
第86図 2	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SK027		
第86図 3	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SK027		
第86図 4	土師質土器	土鍋	在地	—	—	—	SK027		
第88図 1	青磁	碗	中国(龍泉窯)	(13.6)	—	—	SK006		
第88図 2	青磁	碗	中国(龍泉窯)	(13.8)	—	—	SK006		
第88図 3	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	5.2	—	SK006		
第88図 4	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	(5.6)	—	SK006		
第88図 5	焼締陶器	擂鉢	中国南部	—	—	—	SK006	SX635に同一個体	
第88図 6	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SK006		
第88図 7	土師質土器	耳皿	在地	6.2	—	2.2	SK006		
第88図 8	土師質土器	皿	在地	(8.2)	1.8	—	SK006		
第88図 9	土師質土器	皿	在地	10.6	—	2.4	SK006		
第88図10	土師質土器	皿	在地	12.8	—	1.9	SK006		
第88図11	土師質土器	皿	在地	(14.0)	—	—	SK006		
第88図12	土師質土器	皿	在地	(16.8)	—	—	SK006		
第90図 1	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SK012	金箔貼り	
第90図 2	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	5.0	—	SK012	E 群	
第90図 3	焼締陶器	甕	備前	—	—	—	SK012		
第90図 4	焼締陶器	擂鉢	備前	—	—	—	SK012		
第90図 5	焼締陶器	擂鉢	備前	—	—	—	SK012		
第92図 1	青花	碗	中国(揚州窯)	5.0	—	—	SK030		
第94図 1	青花	皿	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SK024	B 1 群	
第94図 2	青磁	碗	中国(龍泉窯)	7.0	—	—	SK024		
第94図 3	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SK024		
第96図	焼締陶器	壺	備前	13.0	18.2	40.0	SK028		15
第98図 1	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SK035		
第98図 2	土師質土器	皿	在地	—	6.7	—	SK035		
第98図 3	京都系土師器	皿	在地	(11.4)	—	2.8	SK035		
第100図 1	青花	碗	中国(揚州窯)	—	(5.4)	—	SK051		
第102図 1	焼締陶器	擂鉢	備前	—	—	—	SK048		
第102図 2	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SK048		
第102図 3	瓦質土器	*	在地	—	4.8	—	SK048		
第102図 4	瓦質土器	鉢	在地	—	14.0	—	SK048		
第104図 1	土師質土器	皿	在地	8.2	5.0	1.7	SK031		
第104図 2	土師質土器	皿	在地	8.8	4.8	1.7	SK031		
第104図 3	土師質土器	皿	在地	9.0	5.0	2.2	SK031		
第104図 5	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SK031		
第104図 6	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SK031		
第104図 7	土師質土器	小皿?	在地	4.4	—	1.0	SK031	焼壺蓋または小皿 胴部に穿孔	
第104図 8	土師質土器	耳皿	在地	5.4	—	1.5	SK031		
第104図 9	土師質土器	鉢?	在地	—	—	—	SK031		
第105図 1	青花	碗	中国(揚州窯)	—	—	—	SK032		
第105図 2	京都系土師器	皿	在地	(12.0)	—	—	SK032		
第107図 1	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SK033	E 群	
第107図 2	五彩	皿	中国	—	—	—	SK033		
第107図 3	白磁	皿	中国	—	—	—	SK033		
第107図 4	焼締陶器	擂鉢	備前	(20.6)	—	—	SK033		
第107図 5	焼締陶器	壺	備前	—	—	—	SK033		
第107図 6	瓦質土器	火鉢 or 風炉	在地	—	—	—	SK033		
第107図 7	瓦質土器	擂鉢	在地?	—	—	—	SK033	防長系	
第107図 8	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SK033		
第107図 9	土師質土器	不明	在地	—	—	—	SK033		
第107図10	土師質土器	不明	在地	(15.0)	—	—	SK033		

5次調査A区遺物観察表(土器・陶磁器類⑨)

挿図No	器種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考	図版No
			口径	底径	器高			
第107図11	京都系土師器 皿	在地	10.4	—	2.4	SK033		
第107図12	京都系土師器 皿	在地	7.8	—	1.8	SK033		
第107図13	京都系土師器 皿	在地	9.0	—	1.9	SK033		
第107図14	京都系土師器 皿	在地	(9.0)	—	2.0	SK033		
第107図15	京都系土師器 皿	在地	(9.0)	—	2.6	SK033		
第107図16	京都系土師器 皿	在地	(10.4)	—	—	SK033		
第107図17	京都系土師器 皿	在地	(10.6)	—	—	SK033		
第107図18	京都系土師器 皿	在地	(10.8)	—	(1.9)	SK033		
第107図19	京都系土師器 皿	在地	12.2	—	2.1	SK033		
第107図20	京都系土師器 皿	在地	12.6	—	(2.0)	SK033		
第107図21	京都系土師器 皿	在地	13.2	—	2.0	SK033		
第107図22	京都系土師器 皿	在地	(12.4)	—	(2.4)	SK033		
第107図23	京都系土師器 皿	在地	12.8	—	2.1	SK033		
第107図24	京都系土師器 皿	在地	(18.0)	—	—	SK033		
第107図25	土師質土器 皿	在地	9.0	5.0	1.9	SK033		
第107図26	土師質土器 皿	在地	(11.0)	(6.2)	2.1	SK033		
第107図27	土師質土器 皿	在地	12.0	5.0	2.4	SK033		
第110図1	青花 碗	中国(景德鎮窯)	—	(5.4)	—	SK004	C群	
第110図2	白磁 皿	中国	(13.4)	7.4	2.7	SK004		
第110図3	青磁 碗	中国	—	6.0	—	SK004		
第110図4	焼締陶器 撚鉢	偏前	—	—	—	SK004		
第110図5	焼締陶器 撚鉢	偏前	—	—	—	SK004		
第110図6	瓦質土器 火鉢	在地	—	—	—	SK004		
第110図7	瓦質土器 撚鉢	在地	—	—	—	SK004		
第110図8	土師質土器 皿	在地	15.0	8.4	2.7	SK004		
第110図9	土師質土器 皿	在地	—	7.0	—	SK004		
第110図10	京都系土師器 皿	在地	(12.6)	—	(1.9)	SK004		
第110図11	京都系土師器 皿	在地	8.6	—	1.7	SK004		
第110図12	京都系土師器 皿	在地	8.6	—	1.6	SK004		
第110図13	京都系土師器 皿	在地	11.0	—	2.0	SK004		
第110図14	京都系土師器 皿	在地	12.4	—	2.2	SK004		
第110図15	京都系土師器 皿	在地	12.4	—	(2.4)	SK004		
第110図16	京都系土師器 皿	在地	12.8	—	2.1	SK004	底部に穿孔	
第110図17	京都系土師器 皿	在地	12.8	—	2.0	SK004		
第110図18	京都系土師器 皿	在地	13.0	—	2.2	SK004		
第110図19	京都系土師器 皿	在地	13.0	—	2.1	SK004		
第110図20	京都系土師器 皿	在地	13.2	—	20.4	SK004		
第110図21	京都系土師器 皿	在地	14.8	—	(2.0)	SK004		
第110図22	土師質土器 皿	在地	(11.0)	6.4	2.0	SK004		
第110図23	土師質土器 皿	在地	10.6	5.0	2.2	SK004		
第110図24	土師質土器 皿	在地	11.4	6.4	2.1	SK004		
第110図25	土師質土器 皿	在地	13.8	7.2	2.4	SK004		
第112図1	土師質土器 皿	在地	12.0	6.2	2.4	SK002		
第112図2	土師質土器 皿	在地	12.3	6.6	3.0	SK002		
第112図3	土師質土器 皿	在地	—	—	—	SK002		
第112図4	土師質土器 皿	在地	—	—	—	SK002		
第112図5	土師質土器 小皿	在地	4.4	3.0	1.0	SK002		
第112図6	青磁 碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SK002		
第112図7	焼締陶器 撚鉢	偏前	—	—	—	SK002		
第113図1	青磁 碗	中国(龍泉窯)	5.0	—	—	SK003		
第113図2	土師質土器 皿	在地	12.0	6.8	2.8	SK003		
第113図3	土師質土器 皿	在地	—	—	—	SK003		
第113図4	土師質土器 皿	在地	(7.2)	5.6	1.8	SK003		
第113図5	土師質土器 皿	在地	8.4	4.2	2.2	SK003		
第113図6	土師質土器 皿	在地	(7.6)	(5.0)	1.5	SK003		
第113図7	土師質土器 皿	在地	(7.4)	(4.2)	2.0	SK003		
第113図8	土師質土器 皿	在地	(12.4)	(6.8)	2.2	SK003		
第113図9	土師質土器 皿	在地	(11.0)	(6.6)	3.4	SK003		
第113図10	青磁 皿	中国(龍泉窯)	—	—	—	SK003		
第113図11	青磁 皿	中国(景德鎮窯)	—	(7.4)	—	SK003	混入	
第115図	土師質土器 皿	在地	10.0	5.6	1.9	SK017		
第116図1	土師質土器 皿	在地	(7.0)	—	—	SK018		
第118図1	土師質土器 土鍋	在地	—	—	—	SK005		
第118図2	瓦質土器 土鍋	在地	—	—	—	SK005		
第118図3	土師質土器 皿	在地	(12.8)	6.4	2.8	SK005		
第120図	土師質土器 燗台	在地	6.4	6.4	4.8	SK013		20
第122図1	焼締陶器 撚鉢	偏前	—	—	—	SK037		
第122図2	瓦質土器 不明	不明	—	—	—	SK037		
第124図1	陶器 燗台?	中国(磁州窯)	—	—	—	SK053	絵高麗獅子形燗台?	21
第124図2	土師質土器 皿	在地	12.6	6.8	2.4	SK053		
第124図3	瓦質土器 火鉢	在地	—	—	—	SK053		
第127図	土師質土器 皿	在地	—	6.2	—	SK014		
第129図1	焼締陶器 壺	偏前	—	—	—	SK009		20
第129図2	土師質土器 坏	在地	13.6	8.6	3.1	SK009		20
第130図1	土師質土器 皿	在地	7.4	4.8	1.9	SK036		

遺物観察表10
(5次調査A区)

5次調査A区遺物観察表(土器・陶磁器類⑩)

押印No	器 種		生産地	法量 (単位 cm)			追掲名	備 考	図版 No
				口径	底径	器高			
第130図2	土師質土器	坏	在地	7.8	4.6	2.0	SK036		
第134図1	土師質土器	皿	在地	—	5.2	—	SK029		
第140図1	土師器	坏	在地	13.0	7.0	3.5	SK019	20	
第140図2	土師器	坏	在地	14.6	5.2	5.4	SK019	20	
第140図3	土師器	坏	在地	14.6	7.2	5.2	SK019	20	
第143図1	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SX629	C群(蓮子碗)	
第143図2	焼締陶器	播鉢	偏前	—	—	—	SX629		
第143図3	焼締陶器	壺	偏前	—	10.4	—	SX629		
第143図4	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX629		
第145図1	焼締陶器	播鉢	偏前	—	—	—	SX629		
第145図2	焼締陶器	播鉢	偏前	—	—	—	SX629		
第145図3	焼締陶器	播鉢	偏前	—	—	—	SX629		
第145図4	焼締陶器	播鉢	偏前	—	—	—	SX629		
第145図5	白磁	鉢	中国	—	—	—	SX629		
第145図6	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX629		
第149図	焼締陶器	播鉢	偏前	—	—	—	SX632		
第151図	焼締陶器	播鉢	中国南部	—	11.2	—	SX635	SK006に同一個体	
第153図1	青磁	碗	中国(龍泉窯)	13.7	—	—	SX625		
第153図2	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	5.0	—	SX625		
第153図3	白磁	皿	中国	(12.8)	(7.0)	2.9	SX625		
第153図4	白磁	皿	中国	(15.4)	—	—	SX625		
第153図5	白磁	皿	中国	—	(8.0)	—	SX625		
第153図6	焼締陶器	播鉢	偏前	—	—	—	SX625		
第153図7	土師質土器	皿	在地	—	—	—	SX625		
第155図1	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX626		
第155図2	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX626		
第155図3	焼締陶器	水屋壺	偏前	(25.6)	—	—	SX626		
第157図1	陶器	不明	中国(磁州窯)	—	—	—	SX638		
第157図2	青磁	碗	中国(景德鎮窯)	—	4.6	—	SX638		
第157図3	焼締陶器	播鉢	偏前	—	—	—	SX638		
第157図4	焼締陶器	播鉢	偏前	—	—	—	SX638		
第157図5	焼締陶器	播鉢	偏前	—	—	—	SX638		
第157図6	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX638		
第157図7	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX638		
第157図8	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SX638		
第160図1	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX620		
第160図2	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX620		
第160図3	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX620		
第160図4	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX620		
第160図5	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX620		
第160図6	瓦質土器	播鉢	偏前	—	—	—	SX620		
第160図7	焼締陶器	播鉢	偏前	—	—	—	SX620		
第160図8	焼締陶器	播鉢	偏前	—	—	—	SX620		
第161図9	焼締陶器	大甕	偏前	29.2	—	—	SX620		
第163図1	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SX617		
第163図2	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SX617		
第163図3	青花	皿	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SX617		
第163図4	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SX617		
第163図5	焼締陶器	大甕	偏前	—	—	—	SX617		
第163図6	焼締陶器	大甕	偏前	—	—	—	SX617		
第163図7	焼締陶器	播鉢	偏前	—	—	—	SX617		
第163図8	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX617		
第163図9	京都系土師器	皿	在地	(10.4)	—	2.0	SX617		
第163図10	京都系土師器	皿	在地	11.0	—	1.9	SX617		
第163図11	京都系土師器	皿	在地	(12.0)	—	—	SX617		
第163図12	京都系土師器	皿	在地	(13.6)	—	—	SX617		
第163図13	京都系土師器	皿	在地	(19.6)	—	—	SX617		
第163図14	土師質土器	皿	在地	—	5.2	—	SX617		
第163図15	土師質土器	皿	在地	(10.6)	(5.8)	1.7	SX617		
第163図16	瓦質土器	播鉢	在地	—	—	—	SX617		
第163図17	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SX617		
第163図20	白磁	碗	中国	—	(5.4)	—	SX618		
第163図21	京都系土師器	皿	在地	12.6	—	2.0	SX618		
第166図2	土師質土器	皿	在地	8.0	5.0	2.0	SX622		
第166図3	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	7.0	—	SX622		
第171図1	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX627		
第171図2	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX627		
第171図3	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX627		
第171図4	京都系土師器	皿	在地	8.2	—	1.9	SX627		
第171図5	瓦質土器	播鉢	在地?	—	—	—	SX627		
第171図6	焼締陶器	播鉢	偏前	—	—	—	SX627		
第171図7	焼締陶器	播鉢	偏前	—	—	—	SX627		
第177図1	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX607		
第177図2	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.5	SX607		
第178図1	京都系土師器	皿	在地	11.4	—	2.1	SX648		

5次調査A区遺物觀察表(土器・陶磁器類①)

挿図No	器種		生産地	法量(単位cm)			遺物名	備考	図版No
				口径	底径	器高			
第178図2	瓦質土器	火鉢	在地	—	(30.1)	—	SX648		
第180図1	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SX633		
第180図2	土師質土器	皿	在地	8.4	4.8	1.6	SX633		
第180図3	土師質土器	燗台	在地	—	(6.0)	—	SX633		
第180図5	瓦質土器	香炉	在地	(10.4)	—	—	SX633		
第180図6	瓦質土器	埴	在地	—	(4.0)	—	SX633		
第180図7	瓦質土器	埴	在地	—	4.4	—	SX633		
第180図10	焼締陶器	搥鉢	偏前	—	—	—	SX633		
第180図11	焼締陶器	搥鉢	偏前	—	—	—	SX633		
第180図12	焼締陶器	壺	偏前	14.4	—	—	SX633		
第185図1	京都系土師器	皿	在地	11.2	—	2.2	SE501		
第185図2	土師質土器	皿	在地	7.4	5.6	1.7	SE501		
第185図3	土師質土器	皿	在地	(12.0)	—	—	SE501		
第185図4	土師質土器	皿	在地	—	4.8	—	SE501		
第185図5	土師質土器	皿	在地?	(12.4)	1.9	(6.0)	SE501	白色系	
第185図6	土師質土器	皿	在地	—	7.2	—	SE501		
第185図7	土師質土器	皿	在地	(11.2)	6.0	(2.6)	SE501		
第185図8	土師質土器	皿	在地	(11.2)	(5.8)	2.2	SE501		
第185図9	土師質土器	皿	在地	11.8	5.8	2.6	SE501		
第185図10	土師質土器	皿	在地	11.6	6.0	2.2	SE501		
第185図11	土師質土器	皿	在地	12.4	6.1	3.0	SE501		
第185図12	土師質土器	皿	在地	16.6	9.0	3.0	SE501		
第185図13	土師質土器	耳皿	在地	—	—	—	SE501		
第187図1	青磁	皿	中国(龍泉窯)	11.0	—	—	SE502		
第187図2	土師質土器	土鍋	在地	—	—	—	SE502		
第187図3	土師質土器	皿	在地?	—	—	—	SE502	白色系	
第187図4	土師質土器	皿	在地	11.6	6.6	4.0	SE502		
第187図5	瓦質土器	羽釜	在地	16.0	—	—	SE502	5・6は同一個体	
第187図6	瓦質土器	羽釜	在地	—	—	—	SE502		
第187図7	焼締陶器	搥鉢	搥鉢	31.2	—	—	SE502		
第189図1	青花	皿	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SE505	E群	
第189図2	青花	碗	中国(温州窯)	—	—	—	SE505		
第189図3	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SE505		
第189図4	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SE505		
第189図5	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SE505		
第189図6	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SE505		
第189図7	瓦質土器	火鉢	在地	31.4	—	—	SE505		
第189図8	焼締陶器	搥鉢	偏前	—	—	—	SE505		
第189図9	焼締陶器	搥鉢	偏前	—	—	—	SE505		
第189図10	焼締陶器	搥鉢	偏前	22.8	—	—	SE505		
第189図11	焼締陶器	搥鉢	偏前	28.0	—	—	SE505		
第189図12	焼締陶器	鉢	中国南部	(28.2)	(14.8)	10.2	SE505	C類	
第191図1	青花	碗	中国(温州窯)	—	4.6	—	SE515		
第191図2	青磁	青磁	青磁	—	—	—	SE515		
第193図1	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SE514	C群(蓮子碗)	
第193図2	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SE514	C群(蓮子碗)	
第193図3	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SE514		
第193図4	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SE514		
第193図5	焼締陶器	搥鉢	偏前	—	—	—	SE514		
第193図6	焼締陶器	搥鉢	偏前	—	—	—	SE514		
第193図7	焼締陶器	搥鉢	偏前	—	—	—	SE514		
第193図8	焼締陶器	搥鉢	偏前	—	(11.8)	—	SE514		
第193図9	焼締陶器	搥鉢	偏前	—	—	—	SE514		
第193図10	焼締陶器	大甕	偏前	—	—	—	SE514		
第193図11	京都系土師器	皿	在地	9.4	—	2.0	SE514		
第193図12	京都系土師器	皿	在地	(11.8)	—	3.0	SE514		
第193図13	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SE514		
第193図14	京都系土師器	皿	在地	12.0	—	2.2	SE514		
第193図15	京都系土師器	皿	在地	12.7	—	2.4	SE514		
第193図16	京都系土師器	皿	在地	(13.0)	—	2.2	SE514		
第193図17	京都系土師器	皿	在地	(13.3)	—	—	SE514		
第193図18	京都系土師器	皿	在地	(13.6)	—	—	SE514		
第193図19	京都系土師器	皿	在地	(13.8)	—	2.6	SE514		
第193図20	京都系土師器	皿	在地	(15.0)	—	2.0	SE514		
第193図21	京都系土師器	皿	在地	(16.0)	—	(2.6)	SE514		
第193図22	京都系土師器	皿	在地	(17.4)	—	(2.6)	SE514		
第193図23	土師質土器	皿	在地	6.0	—	—	SE514		
第193図24	土師質土器	皿	在地	(7.0)	—	—	SE514		
第193図25	土師質土器	皿	在地	(6.7)	—	—	SE514		
第193図26	土師質土器	燗台	在地	(9.2)	—	—	SE513		
第195図1	青磁	青磁	青磁	(13.4)	—	—	SE506		
第195図2	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SE506		
第195図3	土師質土器	皿	在地	11.4	6.2	2.6	SE506		
第195図4	土師質土器	皿	在地	(7.5)	(4.8)	1.6	SE506		
第195図5	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SE506		

遺物観察表12
(5次調査A区)

5次調査A区遺物観察表(土器・陶磁器類⑫)

挿図No.	器種		生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考	図版No.
				口径	底径	器高			
第195図6	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SE506		
第198図1	土師質土器	皿	在地	12.0	7.3	2.8	SE503		
第198図2	土師質土器	皿	在地	11.8	6.2	2.8	SE503		
第198図3	土師質土器	皿	在地	9.4	4.6	2.1	SE503		
第198図4	瓦質土器	鉢	在地	—	—	—	SE503		
第198図5	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SE503		
第198図6	焼締陶器	播鉢	偏前	—	—	—	SE503		
第200図1	青磁	碗	中国(龍泉窯)	5.2	—	—	SE511		
第200図2	焼締陶器	播鉢	偏前	—	—	—	SE511		
第203図1	焼締陶器	大甕	偏前	—	—	—	SE513		
第203図2	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SE513		
第205図1	焼締陶器	甕	常滑	—	—	—	SE512		
第205図2	瓦質土器	香炉	在地	(10.0)	—	—	SE512		
第208図2	土師質土器	燭台	在地	8.4	6.0	3.3	SE507		
第208図3	土師質土器	皿	在地	(11.2)	(6.6)	1.9	SE507		
第208図6	瓦質土器	鉢	在地	—	—	—	SE507		
第208図7	瓦質土器	*	在地	—	(5.0)	—	SE507	混入?	
第210図1	土師質土器	坏	在地	13.2	10.2	3.8	SE510		
第210図3	瓦質土器	鉢	在地	—	—	—	SE510		
第210図4	瓦質土器	壺	在地	(21.8)	—	—	SE510		
第215図1	青花	皿	中国(景德鎮窯)	—	6.0	—	SF650	E群	
第215図2	青磁	碗	中国	—	5.2	—	SF650		
第215図3	陶器	碗	不明	—	4.8	—	SF650		
第215図4	陶器	皿	肥前(唐津)	12.0	4.3	2.6	SF650		
第215図5	陶器	皿	肥前(唐津)	—	(4.0)	—	SF650		
第215図6	陶器	皿	肥前(唐津)	—	—	—	SF650		
第215図7	焼締陶器	播鉢	中国南部	—	—	—	SF650		
第215図8	土師質土器	燭台	在地	—	5.8	—	SF650		
第215図9	瓦質土器	不明	在地	—	—	—	SF650		
第215図10	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SF650		
第218図1	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SX601		
第218図2	瓦質土器	火鉢	在地	—	33.0	—	SX601		
第218図3	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SX601		
第218図4	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX601		
第219図1	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	5.0	—	包含層	B群	
第219図2	青花	碗	中国(景德鎮窯)	(11.2)	(4.4)	5.9	包含層	C群(蓮子碗)	
第219図3	青花	碗	中国(景德鎮窯)	(15.6)	5.2	5.4	包含層	C群(蓮子碗)	
第219図4	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	包含層		
第219図5	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	包含層		
第219図6	青花	皿	中国(景德鎮窯)	(11.2)	(6.6)	2.6	包含層	B1群	
第219図7	青花	皿	中国(景德鎮窯)	9.2	2.5	3.2	包含層	C群	
第219図8	青花	皿	中国(景德鎮窯)	10.8	(6.6)	2.6	包含層	E群	
第219図9	青花	皿	中国(景德鎮窯)	(10.6)	(6.0)	2.9	包含層	E群	
第219図10	青花	皿	中国(景德鎮窯)	—	—	—	包含層	E群	
第219図11	青花	皿	中国(景德鎮窯)	(11.0)	(4.4)	3.0	包含層		
第219図12	青花	小坏	中国(景德鎮窯)	—	2.4	—	包含層		
第219図13	青花	鉢	中国(景德鎮窯)	—	6.2	—	包含層		
第219図14	五彩	碗	中国	—	4.8	—	包含層		
第219図15	五彩	碗	中国	—	—	—	包含層		
第219図16	五彩	瓶	中国	—	—	—	包含層		
第219図17	五彩	皿	中国	—	—	—	包含層		
第219図18	五彩	皿	中国	—	—	—	包含層		
第219図19	五彩	皿	中国	—	(12.0)	—	包含層		
第219図20	青花	皿	中国(漳州窯)	(10.8)	(5.0)	2.4	包含層		
第219図21	青花	皿	中国(漳州窯)	(31.2)	(13.0)	8.0	包含層		
第220図22	青磁	香炉	中国(龍泉窯)	(8.0)	3.2	4.6	包含層		
第220図23	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	6.4	—	包含層		
第220図24	青磁	皿	中国	(13.6)	(6.2)	3.5	包含層		
第220図25	青磁	皿	中国	(10.6)	(5.2)	3.0	包含層		
第220図26	青磁	皿	中国(景德鎮窯)	(12.4)	(6.1)	2.3	包含層		
第220図27	青磁	瓶	中国(龍泉窯)	—	—	—	包含層		
第220図28	青磁	瓶	中国(龍泉窯)	—	—	—	包含層		
第220図29	青磁	瓶	中国(龍泉窯)	—	—	—	包含層		
第220図30	白磁	碗	中国	(11.0)	—	—	包含層		
第220図31	白磁	碗	中国	—	(4.0)	—	包含層	内底部に朱点	
第220図32	白磁	皿	中国	(13.0)	5.4	2.8	包含層		
第220図33	白磁	蓋	中国	1.6	—	1.8	包含層		
第220図34	白磁	小坏	中国	6.6	2.1	3.4	包含層		
第220図35	陶器	燭台?	中国(磁州窯)	—	—	—	包含層	絵高麗獅子形燭台?	
第220図36	陶器	壺	中国(磁州窯)	—	—	—	包含層		
第220図37	陶器	蓋	中国	(9.0)	—	—	包含層		
第220図38	陶器	蓋	中国	9.6	—	—	包含層	黒釉	
第220図39	陶器	蓋	中国	10.0	—	—	包含層	黒釉	
第220図40	陶器	蓋	中国	10.2	—	—	包含層	黒釉	
第220図41	陶器	皿?	中国	—	4.0	—	包含層	黒釉	

5次調査A区遺物観察表(土器・陶磁器類⑬)

押図No	器種		生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考	図版No
				口径	底径	器高			
第220図42	陶器	天目碗	中国	(13.4)	—	—	包含層		
第220図43	陶器	瓶	中国	—	(9.4)	—	包含層		
第220図44	陶器	壺	中国	—	(13.2)	—	包含層	褐釉	
第220図45	陶器	不明	中国	—	—	—	包含層	褐釉	
第220図46	陶器	皿 or 蓋	中国	—	—	—	包含層	黒釉	
第220図47	陶器	皿 or 蓋	中国	—	—	—	包含層	黒釉	
第220図48	陶器	茶入	中国	—	(3.0)	—	包含層	褐釉	
第221図50	焼締陶器	播鉢	中国南部	—	—	—	包含層		
第221図51	焼締陶器	播鉢	中国南部	—	—	—	包含層		
第221図52	焼締陶器	播鉢	中国南部	—	—	—	包含層		
第221図53	焼締陶器	播鉢	中国南部	—	—	—	包含層		
第221図54	焼締陶器	播鉢	中国南部	—	—	—	包含層		
第221図55	焼締陶器	壺	中国南部	(18.0)	—	—	包含層		
第221図56	焼締陶器	壺	中国南部	(18.0)	—	—	包含層		
第221図57	焼締陶器	蓋	中国南部	—	—	—	包含層		
第221図58	焼締陶器	小壺	中国南部	—	—	—	包含層		
第221図59	焼締陶器	壺	中国南部	—	—	—	包含層		
第221図60	焼締陶器	鉢	中国南部	—	—	—	包含層	A類	
第221図61	焼締陶器	鉢	中国南部	—	—	—	包含層	A類	
第221図62	焼締陶器	鉢	中国南部	—	(14.8)	—	包含層		
第221図63	焼締陶器	鉢	中国南部	(26.4)	(15.0)	11.6	包含層	C類	
第221図64	焼締陶器	鉢	中国南部	(24.2)	—	—	包含層	C類	
第221図65	焼締陶器	鉢	中国南部	—	(11.8)	—	包含層		
第221図66	焼締陶器	鉢	中国南部	(38.8)	—	—	包含層		
第222図67	華南三彩	鉢	中国	—	—	—	包含層		
第222図68	華南三彩	鉢	中国	—	—	—	包含層		
第222図69	華南三彩	瓶?	中国	—	—	—	包含層		
第222図70	華南三彩	水注	中国	—	—	—	包含層		
第222図71	華南三彩	水注	中国	—	—	—	包含層		
第222図72	華南三彩	瓶	中国	—	—	—	包含層		
第222図73	華南三彩	水注	中国	—	—	—	包含層		
第222図74	華南三彩	鴨形水注	中国	—	—	—	包含層		
第222図75	華南三彩	鴨形水注	中国	—	—	—	包含層		
第222図76	華南三彩	水注	中国	—	—	—	包含層		
第222図77	華南三彩	鳥形水滴	中国	—	—	—	包含層		
第222図78	華南三彩	小皿	中国	—	—	—	包含層	緑釉小皿	
第222図79	華南三彩	小皿	中国	—	—	—	包含層	青釉小皿	
第222図80	華南三彩	小皿	中国	—	—	—	包含層	青釉小皿	
第224図81	焼締陶器	四耳壺	タイ(メナムノイ)	(15.0)	—	—	包含層		
第224図82	焼締陶器	四耳壺	タイ(メナムノイ)	—	—	—	包含層		
第224図83	焼締陶器	四耳壺	タイ(メナムノイ)	—	—	—	包含層		
第224図84	焼締陶器	四耳壺	タイ(メナムノイ)	—	—	—	包含層		
第224図85	白磁	碗	ベトナム	—	(6.0)	—	包含層		
第224図86	焼締陶器	長胴壺	ベトナム	—	—	—	包含層		
第224図87	焼締陶器	長胴壺	ベトナム	—	—	—	包含層		
第224図88	焼締陶器	長胴壺	ベトナム	—	(13.0)	—	包含層		
第225図89	陶器	碗	朝鮮王朝	—	—	—	包含層	彫三島	
第225図90	陶器	碗	朝鮮王朝	—	(5.6)	—	包含層		
第225図91	陶器	碗	朝鮮王朝	—	(5.6)	—	包含層		
第225図92	陶器	皿	朝鮮王朝	10.4	4.4	3.0	包含層		
第225図93	白磁	皿	朝鮮王朝	—	(4.8)	—	包含層		
第225図94	白磁	皿	朝鮮王朝	(10.2)	4.4	3.2	包含層		
第225図95	白磁	皿	朝鮮王朝	—	(6.0)	—	包含層		
第225図96	陶器	瓶	朝鮮王朝	—	—	—	包含層	舟徳利	
第225図97	陶器	瓶	朝鮮王朝	—	—	—	包含層	舟徳利	
第225図98	陶器	瓶	朝鮮王朝	—	—	—	包含層	舟徳利	
第225図99	陶器	瓶	朝鮮王朝	—	—	—	包含層	舟徳利	
第225図100	陶器	鉢	朝鮮王朝	—	—	—	包含層	舟徳利	
第225図101	陶器	瓶	朝鮮王朝	—	—	—	包含層	舟徳利	
第225図102	陶器	瓶	朝鮮王朝	—	—	—	包含層	舟徳利	
第225図103	陶器	瓶	朝鮮王朝	—	(10.6)	—	包含層	舟徳利	
第225図104	陶器	瓶	朝鮮王朝	—	—	—	包含層	舟徳利	
第225図105	陶器	瓶	朝鮮王朝	—	(10.8)	—	包含層	舟徳利	
第226図1	陶器	皿	肥前	(8.0)	(3.4)	2.2	包含層		
第226図2	陶器	皿	肥前(唐津)	(12.5)	4.5	4.0	包含層	21	
第226図3	陶器	皿	肥前(唐津)	—	5.0	—	包含層		
第226図4	陶器	皿	瀬戸美濃	(11.0)	(6.0)	2.2	包含層		
第226図5	陶器	卸皿	瀬戸美濃	—	(7.6)	—	包含層		
第226図6	陶器	卸皿	瀬戸美濃	—	(6.4)	—	包含層		
第226図7	陶器	鉢	瀬戸美濃	—	2.3	—	包含層		
第226図8	陶器	皿	瀬戸美濃	8.0	3.9	2.2	包含層		
第226図9	陶器	天目碗	志戸呂	—	—	—	包含層		
第226図10	焼締陶器	壺	備前	10.4	—	—	包含層		
第226図11	焼締陶器	壺	備前	6.4	9.9	12.0	包含層		
第226図12	焼締陶器	壺	備前	11.4	—	—	包含層		

遺物観察表14
(5次調査A区)

5次調査A区遺物観察表(土器・陶磁器類⑭)

挿圖No.	器種		生産地	法量(単位 cm)			遺構名	備考	図版No.
				口徑	底徑	器高			
第226図13	焼締陶器	壺	偏前	(12.0)	—	—	包含層		
第226図14	焼締陶器	壺	偏前	(10.4)	—	—	包含層		
第226図15	焼締陶器	大甕	偏前	—	—	—	包含層	胴部にヘラ記号	
第227図16	焼締陶器	壺	偏前	—	—	—	包含層		
第227図17	焼締陶器	壺	偏前	—	(5.0)	—	包含層		
第227図18	焼締陶器	壺	偏前	—	4.8	—	包含層		
第227図19	焼締陶器	壺	偏前	—	5.6	—	包含層		
第227図20	焼締陶器	壺	偏前	—	4.3	—	包含層	底部にヘラ記号	
第227図21	焼締陶器	壺	偏前	—	(5.4)	—	包含層	底部にヘラ記号	
第227図22	焼締陶器	水屋甕	偏前	(21.6)	(23.0)	27.9	包含層		
第227図23	焼締陶器	水屋甕	偏前	(26.2)	(20.0)	(31.7)	包含層		
第228図1	土師質土器	皿	在地	9.0	4.4	1.9	SP651		
第228図2	土師質土器	皿	在地	10.1	5.0	2.6	SP651		
第228図3	土師質土器	皿	在地	(12.0)	5.1	3.8	SP651		
第228図4	土師質土器	皿	在地	11.2	5.4	2.6	SP651		
第228図5	土師質土器	小皿	在地	5.2	3.0	1.4	包含層		
第228図6	土師質土器	蓋	在地	6.0	—	—	包含層		
第228図7	土師質土器	蓋	在地	7.6	—	2.4	包含層		
第228図8	土師質土器	耳皿	在地	7.2	2.1	—	包含層		
第228図9	土師質土器	耳皿	在地	6.0	1.4	—	包含層		
第228図10	京都系土師器	皿	在地	9.0	—	1.6	包含層		
第228図11	京都系土師器	皿	在地	9.3	—	1.8	包含層		
第228図12	土師質土器	羽釜	在地	8.4	—	—	包含層		
第228図13	土師質土器	燗台	在地	—	8.0	—	包含層		
第228図14	土師質土器	燗台	在地	—	6.4	—	包含層		
第228図15	土師質土器	燗台	在地	—	5.4	—	包含層		
第228図16	土師質土器	燗台	在地	—	5.6	—	包含層		
第228図17	土師質土器	燗台	在地	—	6.4	—	包含層		
第228図18	土師質土器	燗台	在地	—	7.0	—	包含層		
第228図19	土師質土器	燗台	在地	—	6.0	—	包含層		
第228図20	土師質土器	燗台	在地	—	6.2	—	包含層		
第228図21	土師質土器	燗台	在地	—	5.8	—	包含層		
第228図22	土師質土器	燗台	在地	—	6.4	—	包含層		
第228図23	土師質土器	燗台	在地	8.2	9.0	—	包含層		
第230図1	瓦質土器	蓋	在地	11.0	4.0	2.1	包含層		
第230図2	瓦質土器	甕	在地	(10.4)	(5.0)	4.6	包含層		
第230図3	瓦質土器	甕	在地	10.6	—	—	包含層		
第230図4	瓦質土器	甕	在地	—	(3.6)	—	包含層		
第230図5	瓦質土器	甕	在地	(15.3)	—	—	包含層		
第230図6	瓦質土器	播鉢	在地	—	—	—	包含層		
第230図7	瓦質土器	播鉢	在地	—	—	—	包含層		
第230図8	瓦質土器	播鉢	在地	—	—	—	包含層		
第230図9	瓦質土器	土鍋	在地?	(24.8)	—	—	包含層	防長系	
第230図10	瓦質土器	土鍋	在地?	(25.4)	—	—	包含層	防長系	
第230図11	瓦質土器	土鍋	在地?	(27.0)	—	—	包含層	防長系	
第230図12	瓦質土器	羽釜	在地	—	—	—	包含層		
第230図13	瓦質土器	鉢	在地	(28.0)	(18.2)	8.0	包含層		
第231図14	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第231図15	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第231図16	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第231図17	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第231図18	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第231図19	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第231図20	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第231図21	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第231図22	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第231図23	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第231図24	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第231図25	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第231図26	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第231図27	瓦質土器	火鉢	在地	—	26.3	—	包含層		
第231図28	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第231図29	瓦質土器	火鉢	在地	—	39.6	—	包含層		
第231図30	瓦質土器	香炉 or 火鉢	在地	(15.6)	—	—	包含層		
第231図31	瓦質土器	香炉 or 火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第231図32	瓦質土器	香炉 or 火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第231図33	瓦質土器	香炉 or 火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第231図34	瓦質土器	香炉 or 火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第231図35	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第231図36	瓦質土器	火鉢	在地	(34.6)	—	—	包含層		
第231図37	瓦質土器	香炉	在地	(11.6)	10.4	7.4	包含層		
第231図38	瓦質土器	香炉	在地	(11.8)	(10.4)	—	包含層		
第231図39	瓦質土器	火鉢 or 風炉	在地	—	—	—	包含層		
第231図40	瓦質土器	風炉	在地	(28.2)	—	—	包含層		
第231図41	瓦質土器	羽釜	在地	(15.0)	—	—	包含層		

5次調査A区遺物観察表(土器・陶磁器類⑮)

挿図No.	器種		生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考	図版No.
				口径	底径	器高			
第231図42	瓦質土器	鉢	在地	(37.8)	(18.0)	11.4	包含層		
第248図1	縄文土器	深鉢	—	(18.0)	—	—	包含層		
第248図2	縄文土器	深鉢	—	—	—	—	包含層		
第248図3	縄文土器	浅鉢	—	—	—	—	包含層		
第248図4	縄文土器	浅鉢	—	—	—	—	包含層		
第248図5	縄文土器	浅鉢	—	—	—	—	包含層		
第248図7	土師器	長胴壺	—	9.1	—	13.1	包含層		
第248図8	土師器	甌	—	(35.4)	—	—	包含層		

5次調査A区遺物観察表(土製品)

挿図No.	品種	材質	部位	寸法(単位cm)					重量(g)	遺構名	備考	図版No.
				長さ	幅	孔径	厚さ	孔径				
第20図34	土鐘	土師質	—	長さ	4.0	幅	1.1	孔径	0.3	—	SD101	
第20図35	土鐘	土師質	—	長さ	4.3	幅	1.8	孔径	0.8	—	SD103	
第20図36	土鐘	土師質	—	長さ	4.2	幅	1.2	孔径	0.3	—	SD103	
第24図36	土鐘	土師質	—	長さ	4.2	幅	1.0	孔径	0.4	—	SX102	
第24図37	土鐘	土師質	—	長さ	4.2	幅	1.1	孔径	0.2	—	SX102	
第24図38	土鐘	土師質	—	長さ	4.0	幅	1.0	孔径	0.3	—	SX102	
第34図15	土鐘	土師質	—	長さ	3.0	幅	1.0	孔径	0.2	—	SX604	
第47図38	土鐘	土師質	—	長さ	3.1	幅	1.0	孔径	0.2	—	SD436	
第49図11	土鐘	土師質	—	長さ	3.9	幅	1.0	孔径	0.3	—	SD425	
第49図12	土鐘	土師質	—	長さ	4.5	幅	1.2	孔径	0.1	—	SD425	
第55図43	土鐘	土師質	—	長さ	3.0	幅	1.4	孔径	0.3	—	SD153	
第55図44	土鐘	土師質	—	長さ	4.0	幅	1.0	孔径	0.1	—	SD153	
第55図45	土鐘	土師質	—	長さ	4.2	幅	1.2	孔径	0.3	—	SD153	
第55図46	土鐘	土師質	—	長さ	3.9	幅	2.7	孔径	0.5	—	SD153	
第61図13	円盤状加工品	陶器	胴部	径	4.2	厚さ	0.6			—	SD151	
第65図91	土鐘	土師質	—	長さ	2.9	幅	1.0	孔径	0.3	—	SD151	
第65図92	土鐘	土師質	—	長さ	4.1	幅	1.2	孔径	0.3	—	SD151	
第65図93	土鐘	土師質	—	長さ	6.0	幅	2.2	孔径	0.4	—	SD151	
第105図3	土鐘	土師質	—	長さ	5.4	幅	1.2	孔径	0.3	—	SK032	
第134図2	土鐘	土師質	—	長さ	6.1	幅	1.8	孔径	0.2	—	SK029	
第157図9	土器片加工品	土師質	—	径	2.1	厚さ	0.4			—	SX638	
第180図4	泥塔	土師質	—	長さ	5.8	幅	3.2	厚さ	1.6	—	SX633	20
第180図8	土鐘	土師質	—	長さ	5.1	幅	0.9	孔径	0.2	—	SX633	
第180図9	土鐘	土師質	—	長さ	3.4	幅	1.0	孔径	0.3	—	SX633	有孔土鐘 混入
第185図14	土鐘	土師質	—	長さ	4.1	幅	1.0	孔径	0.4	—	SE501	
第189図13	土器片加工品	土師質	—	径	1.9	厚さ	0.4			—	SE505	
第205図3	土鐘	土師質	—	長さ	4.8	幅	1.0	孔径	0.4	—	SE512	
第205図4	土鐘	土師質	—	長さ	3.6	幅	1.0	孔径	0.3	—	SE512	
第205図5	土鐘	土師質	—	長さ	2.6	幅	0.8	孔径	0.2	—	SE512	有孔土鐘 混入
第208図4	土鐘	土師質	—	長さ	5.0	幅	1.0	孔径	0.2	—	SE507	
第208図5	土鐘	土師質	—	長さ	5.2	幅	1.1	孔径	0.2	—	SE507	
第210図2	土鐘	土師質	—	長さ	5.1	幅	1.7	孔径	0.9	—	SE510	
第220図49	円盤状加工品	陶器	胴部	径	3.0	厚さ	1.1			—	SF650	
第228図25	土鈴	土師質	—	長さ	4.5	幅	3.5	厚さ	1.3	—	包含層	
第228図26	土鈴	土師質	—	長さ	3.3	幅	3.0	厚さ	0.6	—	包含層	
第228図27	土鈴	土師質	—	長さ	3.0	幅	2.8	厚さ	0.8	—	包含層	
第229図28	土器片加工品	土師質	—	径	3.6	厚さ	1.0			—	包含層	
第229図29	土器片加工品	土師質	—	径	3.0	厚さ	0.5			—	包含層	
第229図30	土器片加工品	土師質	—	径	2.5	厚さ	0.5			—	包含層	
第229図31	有孔円盤	土師質	—	径	2.6	厚さ	0.5	孔径	0.7	—	包含層	
第229図32	有孔円盤	土師質	—	径	2.1	厚さ	0.3	孔径	0.3	—	包含層	
第233図43	土器片加工品	瓦質	—	径	4.2	厚さ	0.7			—	包含層	
第233図44	土器片加工品	瓦質	—	径	4.4	厚さ	0.8			—	包含層	

遺物観察表16
(5次調査A区)

5次調査A区遺物観察表(石製品)

挿図No.	品 種	材 質	部 位	寸法(単位 cm)					重 量 (g)	遺構名	備 考	図版 No.
				口径	(22.0)	底径	—	器高				
第24図40	石罫	滑石	—	口径	(22.0)	底径	—	器高	—	SX102		
第25図41	砥石		—	長さ	5.4	幅	3.0	厚さ	1.2	SX102		
第25図42	砥石		—	長さ	6.8	幅	2.7	厚さ	1.1	SX102		
第25図43	石臼	凝灰岩	上臼	長さ	—	幅	—	厚さ	6.0	SX102	赤間規	
第25図44	硯	輝綠凝灰岩	—	長さ	3.0	幅	3.2	厚さ	0.5	SX102		
第25図45	加工石材	凝灰岩	—	長さ	24.0	幅	25.0	厚さ	15.0	SX102		
第27図 1	石塔	凝灰岩	水輪	長さ	30.0	幅	30.0	厚さ	18.0	SX102		
第27図 2	石塔	凝灰岩	地輪	長さ	38.0	幅	41.0	厚さ	22.0	SX102		
第27図 3	石塔	凝灰岩	水輪	長さ	36.0	幅	38.0	厚さ	20.0	SX102		
第27図 4	石塔	凝灰岩	地輪	長さ	43.0	幅	44.0	厚さ	27.0	SX102		
第27図 5	石塔	凝灰岩	空風輪	長さ	21.0	幅	19.0			SX102		
第27図 6	石塔	凝灰岩	火輪	長さ	29.0	幅	36.0	厚さ	15.0	SX102		
第27図 7	石塔	凝灰岩	水輪	長さ	23.5	幅	23.0	厚さ	15.0	SX102		
第27図 8	石塔	凝灰岩	地輪	長さ	36.0	幅	35.0	厚さ	16.0	SX102		
第33図 4	砥石		—	長さ	6.6	幅	5.0	厚さ	2.6	SX604		
第66図103	砥石		—	長さ	4.6	幅	3.6	厚さ	1.8	SD151		
第66図104	砥石		—	長さ	7.2	幅	3.4	厚さ	1.8	SD151		
第66図105	砥石		—	長さ	8.0	幅	5.2	厚さ	3.3	SD151		
第66図106	石塔	凝灰岩	—	長さ	12.0	幅	15.0	厚さ	6.0	SD151		
第66図107	石塔	凝灰岩	空風輪	長さ	19.0	幅	18.0	厚さ	18.0	SD151		
第66図108	石塔	凝灰岩	水輪	長さ	28.5	幅	28.0	厚さ	15.5	SD151		
第66図109	石塔	凝灰岩	地輪	長さ	26.0	幅	27.0	厚さ	22.0	SD151		
第69図15	石塔	凝灰岩	地輪	長さ	35.0	幅	34.5	厚さ	15.5	SD404		
第75図	石臼	凝灰岩	上臼	長さ	—	幅	—	厚さ	68.0	SD418		
第79図28	石臼	凝灰岩	下臼	長さ	—	幅	—	厚さ	55.0	SD431		
第79図29	石板	粘板岩	—	長さ	14.4	幅	8.6	厚さ	2.6	SD431	砥石?	
第79図30	石板	粘板岩	—	長さ	18.4	幅	14.0	厚さ	2.6	SD431	砥石?	
第86図 5	硯	輝綠凝灰岩	—	長さ	10.2	幅	7.0	厚さ	1.6	SK027	赤間規	
第136図	石塔	凝灰岩	火輪	長さ	35.5	幅	34.0	厚さ	14.5	SK025		
第161図10	石臼	凝灰岩	鈎	口径	(43.2)	底径	—	器高	—	SX620		
第163図19	砥石		—	長さ	7.7	幅	7.4	厚さ	4.2	SX617		
第163図22	加工石材	凝灰岩	—	長さ	15.0	幅	13.5	厚さ	6.8	SX618		
第169図	加工石材	凝灰岩	—	長さ	14.0	幅	11.0	厚さ	6.6	SX619		
第174図 1	石塔	凝灰岩	地輪	長さ	34.0	幅	35.0	厚さ	22.0	SX645		
第174図 2	石塔	凝灰岩	板碑	長さ	55.0	幅	37.0	厚さ	20.0	SX645		
第174図 3	石塔	凝灰岩	板碑	長さ	52.0	幅	40.0	厚さ	17.5	SX645		
第174図 4	石塔	凝灰岩	火輪	長さ	36.0	幅	36.0	厚さ	20.0	SX645		
第174図 5	石塔	凝灰岩	水輪	長さ	33.0	幅	31.0	厚さ	26.0	SX645		
第174図 6	石塔	凝灰岩	水輪	長さ	36.0	幅	36.0	厚さ	26.0	SX645		
第174図 7	石塔	凝灰岩	地輪	長さ	32.0	幅	31.0	厚さ	16.0	SX645		
第175図 8	石塔	凝灰岩	地輪	長さ	37.0	幅	36.0	厚さ	22.0	SX645		
第175図 9	石塔	凝灰岩	露盤	長さ	12.0	幅	14.5	厚さ	6.6	SX649		
第175図10	石塔	凝灰岩	板碑	長さ	37.0	幅	30.0	厚さ	14.0	SX649		
第183図 1	石塔	凝灰岩	火輪	長さ	34.0	幅	33.0	厚さ	16.0	SE500		
第183図 2	石塔	凝灰岩	水輪	長さ	34.0	幅	32.0	厚さ	30.0	SE501		
第183図 3	石塔	凝灰岩	水輪	長さ	34.0	幅	34.0	厚さ	24.0	SE502		
第183図 4	石塔	凝灰岩	地輪	長さ	31.0	幅	32.0	厚さ	23.0	SE503		
第183図 5	石塔	凝灰岩	地輪	長さ	40.0	幅	31.0	厚さ	17.0	SE504		
第183図 6	石塔	凝灰岩	地輪	長さ	38.0	幅	30.0	厚さ	17.0	SE505		
第198図 8	茶臼	凝灰岩	鈎	口径	—	底径	—	器高	—	SE503		
第198図 9	茶臼		下臼	口径	—	底径	—	器高	12.9	SE503		
第215図12	石臼	凝灰岩	下臼?	径	(39.4)	厚さ	6.4			SF650		
第215図13	石臼	凝灰岩	上臼	径	—	厚さ	7.0			SF650		
第215図14	石臼	凝灰岩	上臼	径	—	厚さ	8.6			SF650		
第234図 1	砥石		—	長さ	10.1	幅	3.5	厚さ	1.0	—	包含層	
第234図 2	砥石		—	長さ	5.6	幅	4.6	厚さ	4.4	—	包含層	
第234図 3	砥石		—	長さ	13.6	幅	4.4	厚さ	1.8	—	包含層	
第234図 4	砥石		—	長さ	5.4	幅	2.6	厚さ	2.2	—	包含層	
第234図 5	砥石		—	長さ	7.4	幅	4.0	厚さ	2.4	—	包含層	
第234図 6	砥石		—	長さ	5.0	幅	4.8	厚さ	0.9	—	包含層	
第234図 7	砥石		—	長さ	5.4	幅	2.4	厚さ	1.6	—	包含層	
第234図 8	砥石		—	長さ	6.0	幅	1.8	厚さ	1.4	—	包含層	
第234図 9	砥石		—	長さ	5.8	幅	3.4	厚さ	2.0	—	包含層	
第234図10	砥石		—	長さ	4.0	幅	4.7	厚さ	3.4	—	包含層	
第234図11	砥石?		—	長さ	9.0	幅	5.9	厚さ	1.0	—	包含層	
第234図12	硯	輝綠凝灰岩	—	長さ	5.4	幅	6.4	厚さ	1.0	—	包含層	赤間規
第234図13	硯	輝綠凝灰岩	—	長さ	6.2	幅	5.4	厚さ	1.4	—	包含層	赤間規
第234図14	硯	輝綠凝灰岩	—	長さ	5.8	幅	5.0	厚さ	0.6	—	包含層	赤間規
第234図15	硯	輝綠凝灰岩	—	長さ	12.0	幅	3.6	厚さ	2.4	—	包含層	赤間規
第234図16	硯	輝綠凝灰岩	—	長さ	4.6	幅	6.4	厚さ	1.6	—	包含層	赤間規
第234図17	硯	頁岩	—	長さ	4.2	幅	2.1	厚さ	1.4	—	包含層	
第234図18	石帯		丸柄	長さ	3.8	幅	2.9	厚さ	0.8	4.6	包含層	21
第235図19	茶臼		上臼	口径	—	底径	—	器高	—	—	包含層	
第235図20	茶臼		上臼	口径	—	底径	—	器高	—	—	包含層	
第235図21	茶臼		上臼	口径	—	底径	—	器高	—	—	包含層	
第235図22	茶臼		下臼	口径	—	底径	—	器高	—	—	包含層	
第235図23	石臼		上臼	口径	—	底径	—	器高	—	—	包含層	

5次調査A区遺物観察表(金属製品)

挿図No	品 種	材 質	寸法(単位 cm)							重 量 (g)	遺構名	備 考	図版 No
			部 位	長さ	幅	厚さ	高さ	口径	孔径				
第33図1	不明	銅	—	長さ	3.0	幅	1.6	厚さ	0.1	—	SX604		
第33図2	不明	金?	—	長さ	0.5	幅	0.5	厚さ	0.1	0.1	SX604		
第236図1	小銅仏	銅	—	長さ	4.0	幅	1.0	厚さ	1.1	10.9	包含層		21
第236図2	提子	鉄	把手金具	長さ	4.2	幅	2.8	厚さ	0.4	10.0	包含層		21
第236図3	目貫金具	銅	—	長さ	3.6	幅	2.2	厚さ	0.2	2.5	包含層		
第236図4	小札金具	銅	—	長さ	3.7	幅	1.4	厚さ	0.2	2.5	包含層		
第236図5	鍵	銅	—	長さ	3.8	幅	0.4	厚さ	0.3	2.4	包含層		
第236図6	不明	銅	—	長さ	3.5	幅	0.8	厚さ	0.1	—	包含層		21
第236図7	不明	銅	—	長さ	4.4	幅	1.5	厚さ	0.1	—	包含層		
第236図8	不明	銅	—	長さ	2.0	幅	2.0	厚さ	0.2	—	包含層		
第236図9	杓子	鉄	—	口径	8.6	高さ	1.9	—	—	—	包含層		
第236図10	匙状製品	銅	—	長さ	12.0	幅	1.5	厚さ	0.2	4.1	包含層		
第236図11	小柄	銅	—	長さ	9.4	幅	1.5	厚さ	0.4	10.1	包含層		
第236図12	小柄	銅	—	長さ	9.6	幅	1.2	厚さ	0.4	20.3	包含層		
第236図13	小柄	銅	—	長さ	8.9	幅	1.4	厚さ	0.4	25.3	包含層		
第236図14	分銅	銅	—	径	0.9	厚さ	0.3	—	—	1.27	包含層		21
第236図15	不明	金	—	径	0.4	厚さ	0.05	—	—	—	包含層		
第236図16	鉛玉	鉛	—	径	1.4	厚さ	1.4	—	—	15.1	包含層	鉄砲玉	21

5次調査A区遺物観察表(ガラス製品)

挿図No	品 種	材 質	寸法(単位 cm)							重 量 (g)	遺構名	備 考	図版 No
			部 位	長さ	幅	厚さ	高さ	口径	孔径				
第33図3	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.2	孔径	0.1	—	SX604		
第237図1	小玉	ガラス	—	径	0.7	厚さ	0.5	孔径	0.1	—	包含層		
第237図2	小玉	ガラス	—	径	0.6	厚さ	0.3	孔径	0.1	—	包含層		
第237図3	小玉	ガラス	—	径	0.5	厚さ	0.3	孔径	0.1	—	包含層		
第237図4	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.3	孔径	0.1	—	包含層		
第237図5	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.3	孔径	0.1	—	包含層		
第237図6	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.3	孔径	0.1	—	包含層		
第237図7	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.3	孔径	0.1	—	包含層		
第237図8	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.3	孔径	0.1	—	包含層		
第237図9	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.3	孔径	0.1	—	包含層		
第237図10	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.2	孔径	0.1	—	包含層		
第237図11	小玉	ガラス	—	径	0.3	厚さ	0.1	孔径	0.1	—	包含層		
第237図12	小玉	ガラス	—	径	0.3	厚さ	0.2	孔径	0.1	—	包含層		
第237図13	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.2	孔径	0.1	—	包含層		
第237図14	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.2	孔径	0.1	—	包含層		
第237図15	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.2	孔径	0.1	—	包含層		
第237図16	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.2	孔径	0.1	—	包含層		
第237図17	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.2	孔径	0.1	—	包含層		
第237図18	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.3	孔径	0.1	—	包含層		
第237図19	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.2	孔径	0.1	—	包含層		

5次調査A区遺物観察表(木製品)

挿図No	品 種	材 質	寸法(単位 cm)							遺構名	備 考	図版 No
			部 位	長さ	幅	厚さ	高さ	口径	孔径			
第54図19	漆器椀	—	口径	16.0	底径	8.4	器高	8.1	SD153			18
第54図20	下駄	—	長さ	18.6	幅	8.5	厚さ	4.2	SD153			
第54図21	加工木材	—	長さ	44.0	幅	3.0	厚さ	2.0	SD153			
第56図61	漆器椀	—	口径	—	底径	—	器高	—	SD153			18
第56図62	下駄	—	長さ	14.8	幅	7.8	厚さ	6.3	SD153			
第193図7	曲物	側板	長さ	16.2	幅	6.5	厚さ	0.2	SE506			
第193図8	竹	—	長さ	14.4	幅	3.1	厚さ	2.2	SE506	下端部を加工、節を抜く		

5次調査A区遺物観察表(瓦)

挿図No	品 種	材 質	寸法(単位 cm)							遺構名	備 考	図版 No
			部 位	長さ	幅	厚さ	高さ	口径	孔径			
第20図37	軒平瓦	瓦当部	長さ	5.4	幅	4.0	厚さ	3.8	SD103			
第24図39	軒丸瓦	瓦当部	長さ	—	幅	—	厚さ	—	SX102			
第44図40	平瓦	—	長さ	15.0	幅	8.0	厚さ	2.0	SD428			
第44図41	塙	—	長さ	8.8	幅	9.0	厚さ	2.0	SD428			
第71図8	平瓦	—	長さ	13.0	幅	9.4	厚さ	1.8	SD411			
第71図9	平瓦	—	長さ	12.0	幅	15.0	厚さ	1.9	SD411			
第72図3	平瓦	—	長さ	11.0	幅	11.0	厚さ	2.1	SD412			
第72図4	伏間瓦	—	長さ	18.8	幅	17.2	厚さ	1.8	SD412			
第78図25	平瓦	—	長さ	10.0	幅	7.0	厚さ	1.8	SD431			
第78図26	塙	—	長さ	6.7	幅	6.9	厚さ	2.9	SD431			
第78図27	丸瓦	—	長さ	21.2	幅	11.0	厚さ	2.2	SD431			
第83図5	平瓦	—	長さ	15.0	幅	17.2	厚さ	1.6	SK001			
第94図4	軒丸瓦	瓦当部	長さ	—	幅	—	厚さ	—	SK024			
第116図2	平瓦	—	長さ	5.0	幅	7.2	厚さ	1.8	SK018			
第116図3	塙	—	長さ	14.2	幅	9.4	厚さ	2.4	SK018			
第138図	軒丸瓦	瓦当部	長さ	—	幅	—	厚さ	—	SK038			
第143図5	塙	—	長さ	10.0	幅	7.1	厚さ	2.0	SX628			
第155図4	塙	—	長さ	10.2	幅	5.0	厚さ	2.7	SX626			
第166図4	平瓦	—	長さ	8.1	幅	11.2	厚さ	2.2	SX622			
第166図5	丸瓦	—	長さ	9.0	幅	15.4	厚さ	2.2	SX622			
第166図6	丸瓦	—	長さ	13.8	幅	8.0	厚さ	1.8	SX622			
第166図7	丸瓦	—	長さ	28.0	幅	12.4	厚さ	1.4	SX622			
第185図15	丸瓦	—	長さ	16.4	幅	11.4	厚さ	2.4	SE501			
第198図7	平瓦	—	長さ	20.0	幅	10.4	厚さ	2.8	SE503			
第200図3	丸瓦	—	長さ	19.4	幅	11.0	厚さ	1.8	SE511			

遺物観察表18
(5次調査A区)

5次調査A区遺物観察表(銅銭①)

押印No	銭名	初鑄造年	国・王朝名	遺構名	重さ(g)	直径(mm)	書体	備考	図版
第17図1	太平通寶	976	北宋	SD101	2.2	2.4	真書		
第17図2	景祐元寶	1034	北宋	SD101	2.7	2.5	篆書		
第17図3	至和元寶	1054	北宋	SD101	2.3	2.4	篆書		
第17図4	元寶通寶	1078	北宋	SD101	2.5	2.4	行書		
第17図5	元寶通寶	1078	北宋	SD101	2.1	2.3	行書		
第17図6	元符通寶	1098	北宋	SD101	2.7	2.3	行書		
第17図7	永樂通寶	1408	明	SD101	2.7	2.4	真書		
第17図8	判読不明	—	—	SD101	2.6	2.4	篆書	「元寶」のみ判読	
第21図1	祥符□□	1008	北宋	SD103	0.8	—	真書		
第21図2	照寧元寶	1068	北宋	SD103	1.3	—	篆書		
第26図1	開元通寶	960	北宋	SX102	2.9	2.3	真書		
第26図2	咸平元寶	976	北宋	SX102	3.5	2.4	真書		
第26図3	皇宋通寶	1038	北宋	SX102	2.1	2.4	真書		
第26図4	皇宋通寶	1038	北宋	SX102	2.7	2.3	真書		
第26図5	嘉祐通寶	1056	北宋	SX102	3.0	2.5	真書		
第26図6	不明	—	—	SX102	3.6	2.4	—		
第26図7	不明	—	—	SX102	1.2	—	真書	「元寶」のみ判読	
第36図7	皇宋通寶	1038	北宋	SX608	3.7	2.3	真書		
第37図3	政和通寶	1111	北宋	SD405	2.9	2.4	篆書		
第44図109	不明	—	—	SD428	1.0	—	—		
第44図110	政和通寶	1111	北宋	SD429	1.1	—	篆書		
第44図111	不明	—	—	SD430	0.4	—	—		
第44図112	不明	—	—	SD431	0.5	—	—		
第47図46	政和通寶	1111	北宋	SD436	2.6	2.4	篆書		
第47図47	不明	—	—	SD436	1.1	2.2	—		
第49図14	洪武通寶	1368	明	SD425	1.1	—	真書		
第49図15	不明	—	—	SD426	1.2	2.2	—		
第57図16	不明	—	—	SD153	1.6	2.3	—		
第67図1	開元通寶	960	唐	SD151	2.4	2.3	真書		
第67図2	景德元寶	1004	北宋	SD152	2.8	2.5	真書		
第67図3	皇宋通寶	1038	北宋	SD153	2.2	2.4	篆書		
第67図4	照寧元寶	1068	北宋	SD154	2.0	2.4	真書		
第67図5	元祐通寶	1086	北宋	SD155	3.0	2.4	篆書		
第67図6	洪武通寶	1368	明	SD156	1.5	—	真書		
第67図7	不明	—	—	SD157	2.0	2.2	—		
第67図8	不明	—	—	SD158	2.9	2.4	—		
第67図9	不明	—	—	SD159	—	2.1	—		
第67図10	不明	—	—	SD160	1.6	2.1	—		
第67図11	不明	—	—	SD161	1.7	2.4	—		
第67図12	無文銭	—	日本?	SD162	1.5	1.9	—		
第69図14	不明	—	—	SD404	—	2.1	—		
第74図4	景德元寶	1004	北宋	SD413	—	—	真書		
第92図5	咸平元寶	976	北宋	SK030	3.2	2.4	真書		
第100図2	天聖元寶	1023	北宋	SK051	2.0	2.4	真書		
第105図3	聖宗通寶	1101	北宋	SK032	2.8	2.2	篆書		
第134図3	天聖元寶	1023	北宋	SK029	1.1	—	真書		
第134図4	照寧元寶	1068	北宋	SK029	2.7	2.3	真書		
第147図	皇宋通寶	1038	北宋	SX630	1.9	2.4	真書		
第161図11	不明	—	—	SX620	0.7	—	真書		
第165図	天聖元寶	1023	北宋	SX622	3.4	2.4	真書		
第189図14	不明	—	—	SE505	0.8	2.3	—		
第189図15	不明	—	—	SE505	3.3	2.3	—		
第189図16	開元通寶	960	唐	SE505	2.7	2.3	真書		
第194図9	洪武通寶	1368	明	SE506	1.7	2.2	真書		
第194図10	永樂通寶	1408	明	SE506	2.4	2.4	真書		
第207図	政和通寶	1111	北宋	SE507	2.1	2.4	真書		
第215図11	寛永通寶	1636	日本	SF650	1.7	2.4	真書		
第238図1	乾元重寶	758	唐	包含層	2.1	2.2	真書		
第238図2	唐國通寶	959	南唐	包含層	3.1	2.4	篆書		
第238図3	開元通寶	960	南唐	包含層	2.0	2.3	真書		
第238図4	開元通寶	960	南唐	包含層	2.3	2.4	真書		
第238図5	開元通寶	960	南唐	包含層	3.1	2.4	真書		
第238図6	開元通寶	960	南唐	包含層	2.2	2.3	真書		
第238図7	開元通寶	960	南唐	包含層	2.7	2.4	真書		
第238図8	開元通寶	960	南唐	包含層	2.4	2.4	真書		
第238図9	開元通寶	960	南唐	包含層	1.7	2.4	真書		
第238図10	宋通元寶	960	北宋	包含層	1.4	—	真書		
第238図11	太平通寶	976	北宋	包含層	2.4	2.4	真書		
第238図12	淳化元寶	990	北宋	包含層	2.0	2.4	真書		
第238図13	至通元寶	995	北宋	包含層	3.1	2.4	行書		
第238図14	至通元寶	995	北宋	包含層	3.3	2.4	行書		
第238図15	咸平元寶	998	北宋	包含層	1.9	2.3	真書		
第238図16	景德元寶	1004	北宋	包含層	3.9	2.4	真書		
第238図17	景德元寶	1004	北宋	包含層	1.0	—	真書		
第238図18	祥符元寶	1009	北宋	包含層	2.3	2.4	真書		

5次調査A区遺物観察表(銅銭②)

挿図No.	銭貨名	初鋳造年	国・王朝名	遺物名	重さ (g)	直径 (mm)	書体	備 考	図版
第238図19	祥符元貨	1009	北宋	包含層	2.2	2.4	真書		
第238図20	祥符元貨	1009	北宋	包含層	2.6	2.4	真書		
第238図21	祥符元貨	1009	北宋	包含層	2.9	2.4	真書		
第239図22	祥符元貨	1008	北宋	包含層	1.5	2.1	真書		
第239図23	祥符元貨	1008	北宋	包含層	1.1	—	真書		
第239図24	祥符通貨	1008	北宋	包含層	1.8	2.4	真書		
第239図25	祥符通貨	1008	北宋	包含層	2.0	2.5	真書		
第239図26	天禧通貨	1017	北宋	包含層	2.9	2.5	真書		
第239図27	天禧通貨	1017	北宋	包含層	2.1	2.4	真書		
第239図28	天聖元貨	1023	北宋	包含層	2.3	2.4	真書		
第239図29	天聖元貨	1023	北宋	包含層	3.1	2.5	篆書		
第239図30	天聖元貨	1023	北宋	包含層	2.8	2.4	篆書		
第239図31	天聖元貨	1023	北宋	包含層	2.7	2.4	篆書		
第239図32	天聖元貨	1023	北宋	包含層	2.5	2.3	篆書		
第239図33	天聖元貨	1023	北宋	包含層	1.3	—	篆書		
第239図34	景祐元貨	1034	北宋	包含層	2.7	2.4	真書		
第239図35	景祐元貨	1034	北宋	包含層	2.6	2.5	篆書		
第239図36	景祐元貨	1034	北宋	包含層	2.3	2.5	篆書		
第239図37	皇宋通貨	1038	北宋	包含層	2.5	2.4	真書		
第239図38	皇宋通貨	1038	北宋	包含層	2.2	2.3	真書		
第239図39	皇宋通貨	1038	北宋	包含層	1.9	2.4	真書		
第239図40	皇宋通貨	1038	北宋	包含層	3.2	2.4	真書		
第239図41	皇宋通貨	1038	北宋	包含層	2.4	2.4	真書		
第239図42	皇宋通貨	1038	北宋	包含層	1.5	—	真書		
第240図43	皇宋通貨	1038	北宋	包含層	0.6	—	真書		
第240図44	皇宋通貨	1038	北宋	包含層	1.8	2.4	篆書		
第240図45	皇宋通貨	1038	北宋	包含層	—	2.4	篆書		
第240図46	皇宋通貨	1038	北宋	包含層	1.6	2.4	篆書		
第240図47	皇宋通貨	1038	北宋	包含層	0.6	—	篆書		
第240図48	嘉祐元貨	1056	北宋	包含層	3.5	2.3	真書		
第240図49	嘉祐元貨	1056	北宋	包含層	1.6	2.3	篆書		
第240図50	嘉祐通貨	1056	北宋	包含層	2.9	2.2	真書		
第240図51	嘉祐通貨	1056	北宋	包含層	2.8	2.4	真書		
第240図52	治平元貨	1064	北宋	包含層	2.8	2.3	真書		
第240図53	治平元貨	1064	北宋	包含層	2.5	2.4	真書		
第240図54	治平元貨	1064	北宋	包含層	2.7	2.4	篆書		
第240図55	治平元貨	1064	北宋	包含層	1.6	—	篆書		
第240図56	熙寧元貨	1068	北宋	包含層	3.3	2.3	真書		
第240図57	熙寧元貨	1068	北宋	包含層	3.0	2.3	真書		
第240図58	熙寧元貨	1068	北宋	包含層	2.2	2.4	真書		
第240図59	熙寧元貨	1068	北宋	包含層	2.4	2.3	真書		
第240図60	熙寧元貨	1068	北宋	包含層	3.5	2.4	真書		
第240図61	熙寧元貨	1068	北宋	包含層	3.0	2.5	篆書		
第240図62	熙寧元貨	1068	北宋	包含層	2.4	2.4	篆書		
第240図63	熙寧元貨	1068	北宋	包含層	3.2	2.4	篆書		
第241図64	熙寧元貨	1068	北宋	包含層	2.4	2.4	篆書		
第241図65	熙寧元貨	1068	北宋	包含層	3.2	2.4	篆書		
第241図66	元豊通貨	1078	北宋	包含層	3.3	2.4	行書		
第241図67	元豊通貨	1078	北宋	包含層	3.2	2.4	行書		
第241図68	元豊通貨	1078	北宋	包含層	2.6	2.4	行書		
第241図69	元豊通貨	1078	北宋	包含層	2.8	2.4	行書		
第241図70	元豊通貨	1078	北宋	包含層	3.1	2.3	行書		
第241図71	元豊通貨	1078	北宋	包含層	3.3	2.3	行書		
第241図72	元豊通貨	1078	北宋	包含層	0.9	—	行書		
第241図73	元豊通貨	1078	北宋	包含層	2.3	2.4	行書		
第241図74	元豊通貨	1078	北宋	包含層	8.9	2.4	行書		
第241図75	元豊通貨	1078	北宋	包含層	1.3	2.2	行書		
第241図76	元豊通貨	1078	北宋	包含層	2.9	2.3	篆書		
第241図77	元豊通貨	1078	北宋	包含層	3.1	2.3	篆書		
第241図78	元豊通貨	1078	北宋	包含層	2.5	2.2	篆書		
第241図79	元豊通貨	1078	北宋	包含層	2.6	2.3	篆書		
第241図80	元豊通貨	1078	北宋	包含層	2.6	2.4	篆書		
第241図81	元豊通貨	1078	北宋	包含層	1.6	2.4	篆書		
第241図82	元豊通貨	1078	北宋	包含層	0.9	—	篆書		
第241図83	元豊通貨	1078	北宋	包含層	0.7	—	篆書		
第242図84	元祐通貨	1086	北宋	包含層	3.0	2.4	行書		
第242図85	元祐通貨	1086	北宋	包含層	1.7	2.4	行書		
第242図86	元祐通貨	1086	北宋	包含層	2.1	2.4	行書		
第242図87	元祐通貨	1086	北宋	包含層	3.2	2.4	篆書		
第242図88	元祐通貨	1086	北宋	包含層	2.9	2.4	篆書		
第242図89	元祐通貨	1086	北宋	包含層	1.9	2.4	篆書		
第242図90	元祐通貨	1086	北宋	包含層	2.9	2.3	篆書		
第242図91	紹聖元貨	1094	北宋	包含層	13.8	2.4	行書		
第242図92	紹聖元貨	1094	北宋	包含層	2.8	2.4	行書		
第242図93	紹聖元貨	1094	北宋	包含層	3.2	2.3	行書		

5次調査A区遺物観察表(銅銭③)

標図No	銭名	初鋳年	国・王朝名	遺構名	皿き(g)	直径(mm)	書体	備考	図版
第242図94	紹聖元寶	1094	北宋	包含層	4.0	2.3	行書		
第242図95	紹聖元寶	1094	北宋	包含層	2.8	2.3	行書		
第242図96	紹聖元寶	1094	北宋	包含層	1.9	2.4	行書		
第242図97	紹聖元寶	1094	北宋	包含層	1.8	2.3	行書		
第242図98	紹聖元寶	1094	北宋	包含層	1.3	—	行書		
第242図99	元符通寶	1095	北宋	包含層	2.0	2.5	篆書		
第242図100	元符通寶	1096	北宋	包含層	2.3	2.4	篆書		
第242図101	元符通寶	1097	北宋	包含層	1.5	—	篆書		
第242図102	聖宗元寶	1101	北宋	包含層	2.4	2.4	行書		
第242図103	聖宗元寶	1101	北宋	包含層	2.3	2.3	篆書		
第243図104	聖宗元寶	1101	北宋	包含層	2.5	2.4	篆書		
第243図105	聖宗元寶	1101	北宋	包含層	1.4	2.4	篆書		
第243図106	大觀通寶	1107	北宋	包含層	2.8	2.3	真書		
第243図107	大觀通寶	1107	北宋	包含層	2.0	2.3	真書		
第243図108	大觀通寶	1107	北宋	包含層	1.1	—	真書		
第243図109	政和通寶	1111	北宋	包含層	1.8	2.3	隸書		
第243図110	政和通寶	1111	北宋	包含層	1.3	2.4	篆書		
第243図111	政和通寶	1111	北宋	包含層	2.4	2.3	篆書		
第243図112	政和通寶	1111	北宋	包含層	3.4	2.6	篆書		
第243図113	政和通寶	1111	北宋	包含層	0.9	—	篆書		
第243図114	大定通寶	1178	金	包含層	2.5	2.5	真書		
第243図115	大定通寶	1178	金	包含層	2.4	2.5	真書		
第243図116	嘉定元寶	1208	南宋	包含層	2.3	2.4	真書	裏面に「六」字	
第243図117	洪武通寶	1368	明	包含層	2.9	2.4	真書		
第243図118	洪武通寶	1368	明	包含層	2.6	2.2	真書		
第243図119	洪武通寶	1368	明	包含層	3.1	2.4	真書		
第243図120	洪武通寶	1368	明	包含層	3.2	2.1	真書		
第243図121	洪武通寶	1368	明	包含層	2.8	1.9	真書		
第243図122	洪武通寶	1368	明	包含層	1.2	2.2	真書		
第243図123	洪武通寶	1368	明	包含層	—	—	真書		
第243図124	永樂通寶	1408	明	包含層	4.7	2.5	真書		
第244図125	永樂通寶	1408	明	包含層	3.5	2.4	真書		
第244図126	永樂通寶	1408	明	包含層	2.8	2.5	真書		
第244図127	永樂通寶	1408	明	包含層	1.7	2.4	真書		
第244図128	永樂通寶	1408	明	包含層	1.4	2.4	真書		
第244図129	寛永通寶	1636	日本	包含層	3.5	2.4	—	古寛永	
第244図130	寛永通寶	1636	日本	包含層	2.6	2.4	—	新寛永	
第244図131	判読不明	—	—	包含層	1.6	2.2	—		
第244図132	判読不明	—	—	包含層	2.8	2.4	—		
第244図133	判読不明	—	—	包含層	2.5	2.4	—		
第244図134	判読不明	—	—	包含層	2.3	2.4	—		
第244図135	判読不明	—	—	包含層	1.8	2.4	—		
第244図136	判読不明	—	—	包含層	1.8	2.4	—		
第244図137	判読不明	—	—	包含層	1.2	—	—		
第244図138	判読不明	—	—	包含層	—	—	—		
第244図139	判読不明	—	—	包含層	0.9	—	—		
第244図140	判読不明	—	—	包含層	1.2	—	—		
第244図141	判読不明	—	—	包含層	1.3	—	—		
第244図142	判読不明	—	—	包含層	1.4	—	—		
第244図143	判読不明	—	—	包含層	0.8	—	—		
第244図144	判読不明	—	—	包含層	0.6	—	—		
第244図145	判読不明	—	—	包含層	0.5	—	—		
第244図146	判読不明	—	—	包含層	0.6	—	—		
第245図147	無文銭	—	—	包含層	0.2	0.9	—		
第245図148	無文銭	—	—	包含層	0.3	1.4	—		
第245図149	無文銭	—	—	包含層	0.6	1.5	—		
第245図150	無文銭	—	—	包含層	0.4	1.7	—		
第245図151	無文銭	—	—	包含層	0.7	2.0	—		
第245図152	判読不明	—	—	包含層	4.1	2.5	—		
第245図153	判読不明	—	—	包含層	3.6	2.5	—		
第245図154	判読不明	—	—	包含層	4.1	2.3	—		
第245図155	判読不明	—	—	包含層	1.6	2.4	—		
第245図156	判読不明	—	—	包含層	2.6	2.3	—		
第245図157	判読不明	—	—	包含層	1.6	2.0	—		
第245図158	判読不明	—	—	包含層	2.5	2.4	—		
第245図159	判読不明	—	—	包含層	2.8	2.3	—		
第245図160	判読不明	—	—	包含層	2.2	2.1	—		
第245図161	判読不明	—	—	包含層	2.6	2.4	—		
第245図162	判読不明	—	—	包含層	2.2	2.2	—		
第245図163	判読不明	—	—	包含層	2.6	2.2	—		
第245図164	判読不明	—	—	包含層	1.4	2.0	—		
第245図165	判読不明	—	—	包含層	2.8	2.3	—		
第245図166	判読不明	—	—	包含層	2.3	2.4	—		
第245図167	判読不明	—	—	包含層	1.8	2.5	—		
第246図168	判読不明	—	—	包含層	2.0	2.3	—		

5次調査A区遺物観察表(銅銭④)

挿図No.	銭貨名	初鋳造年	国・王朝名	遺構名	皿さ (g)	直径 (mm)	書体	備 考	図版
第246図169	判読不明	—	—	包含層	3.0	2.4	—		
第246図170	判読不明	—	—	包含層	2.8	2.3	—		
第246図171	判読不明	—	—	包含層	2.2	2.3	—		
第246図172	判読不明	—	—	包含層	1.7	2.1	—		
第246図173	判読不明	—	—	包含層	1.9	2.1	—		
第246図174	判読不明	—	—	包含層	2.3	2.3	—		
第246図175	判読不明	—	—	包含層	1.6	2.2	—		
第246図176	判読不明	—	—	包含層	1.6	2.4	—		
第246図177	判読不明	—	—	包含層	1.6	2.1	—		
第246図178	判読不明	—	—	包含層	2.0	2.2	—		
第246図179	判読不明	—	—	包含層	2.1	2.3	—		
第246図180	判読不明	—	—	包含層	1.9	2.1	—		
第246図181	判読不明	—	—	包含層	0.9	—	—		
第246図182	判読不明	—	—	包含層	1.2	—	—		
第246図183	判読不明	—	—	包含層	1.6	—	—		
第246図184	判読不明	—	—	包含層	1.0	—	—		
第246図185	判読不明	—	—	包含層	0.9	—	—		
第246図186	判読不明	—	—	包含層	1.0	—	—		
第246図187	判読不明	—	—	包含層	—	—	—		
第246図188	判読不明	—	—	包含層	0.7	—	—		
第247図189	判読不明	—	—	包含層	4.3	2.4	—	2枚が付着	
第247図190	判読不明	—	—	包含層	7.1	2.4	—	3枚が付着	
第247図191	判読不明	—	—	包含層	7.3	2.5	—	2枚が付着	
第247図192	判読不明	—	—	包含層	14.2	2.6	—	5枚以上が付着	

遺物観察表22
(5次調査B区)

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類①)

挿図No	器種		生産地	法量(単位cm)			遺得名	備考	図版No
				口径	底径	器高			
第263図1	青磁	皿	中国	—	6.0	—	SD101		
第263図2	青磁	不明	中国	—	—	—	SD101	把手	
第263図3	白磁	皿	中国	(7.1)	(1.4)	2.1	SD101		
第263図4	陶器	碗	朝鮮王朝	—	6.0	—	SD101		
第263図5	陶器	瓶	瀬戸美濃	—	—	—	SD101		
第263図6	白磁	碗	中国	—	8.0	—	SD101		
第263図7	焼締陶器	擂鉢	中国南部	—	(10.4)	—	SD101		
第263図8	京都系土師器	皿	在地	9.0	—	2.1	SD101		
第263図9	京都系土師器	皿	在地	(10.0)	—	1.8	SD101		
第263図10	京都系土師器	皿	在地	—	—	2.3	SD101		
第263図11	京都系土師器	皿	在地	(12.6)	—	2.6	SD101		
第263図12	京都系土師器	皿	在地	(12.6)	—	2.6	SD101		
第263図13	京都系土師器	皿	在地	11.8	—	2.8	SD101		
第263図14	京都系土師器	皿	在地	(12.1)	—	2.6	SD101		
第263図15	土師質土器	皿	在地	(10.4)	(6.1)	2.0	SD101		
第263図16	土師質土器	皿	在地	(10.4)	(6.0)	2.2	SD101		
第263図17	京都系土師器	皿	在地	(12.1)	—	2.2	SD101		
第263図18	京都系土師器	皿	在地	(11.6)	—	2.3	SD101		
第263図19	京都系土師器	皿	在地	(12.6)	—	3.0	SD101		
第263図20	京都系土師器	皿	在地	(12.8)	—	2.7	SD101		
第263図21	瓦質土器	皿 or 蓋	在地	—	—	—	SD101		
第263図22	瓦質土器	埴	在地	—	—	—	SD101		
第263図23	瓦質土器	埴	在地	—	(4.8)	—	SD101		
第263図24	瓦質土器	不明	在地	—	—	—	SD101		
第263図25	瓦質土器	擂鉢	在地	—	—	—	SD101		
第263図26	瓦質土器	擂鉢	在地	(27.2)	12.2	10.3	SD101		
第263図27	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD101		
第263図30	土師質土器	燭台	在地	—	(7.0)	—	SD101		
第263図31	瓦質土器	土鍋	在地	—	—	—	SD101		
第265図1	青花	小杯	中国(景德鎮窯)	—	(3.0)	—	SX102		
第265図2	青磁	盤	中国	—	—	—	SX102		
第265図3	青磁	皿	中国	—	(5.2)	—	SX102		
第265図4	陶器	壺	中国	(10.5)	—	—	SX102	褐釉・黒釉	
第265図5	陶器	壺	在地	—	—	—	SX102	黒釉	
第265図6	瓦質土器	土鍋	在地	—	—	—	SX102		
第265図7	瓦質土器	擂鉢	在地	—	—	—	SX102		
第265図8	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SX102		
第265図9	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SX102		
第265図10	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SX102		
第265図11	瓦質土器	羽釜	在地	—	—	—	SX102		
第265図12	須恵質土器	壺	在地	—	—	—	SX102		
第266図1	焼締陶器	壺	備前	—	—	—	SX102		
第266図2	焼締陶器	広口壺	備前	—	—	—	SX102	水指	
第266図3	焼締陶器	擂鉢	備前	(29.0)	(13.0)	10.0	SX102		
第266図4	焼締陶器	擂鉢	備前	(29.2)	(15.0)	12.9	SX102		
第267図1	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD103	C群(蓮子碗)	
第267図2	青花	皿	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD103	F群	
第267図3	五彩	皿	中国	—	—	—	SD103		
第267図4	須恵質土器	碗?	在地	—	—	—	SD103		
第267図5	青花	皿	中国(景德鎮窯)	(12.0)	(6.2)	2.9	SD103	B1群	
第267図6	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD103	C群(蓮子碗)	
第267図7	青花	碗	中国(漳州窯)	—	—	—	SD103		
第267図8	白磁	皿	中国	—	—	—	SD103		
第267図9	白磁	小杯	中国	—	(1.7)	—	SD103		
第267図10	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD103		
第267図11	陶器	天目碗	瀬戸美濃	—	4.0	—	SD103		
第267図12	陶器	不明	中国	—	—	—	SD103	黒釉	
第267図13	焼締陶器	鉢	中国南部	(26.2)	—	—	SD103	鉢C類	
第267図14	焼締陶器	鉢	中国南部	—	—	—	SD103	鉢C類	
第267図15	焼締陶器	鉢?	中国?	—	—	—	SD103		38
第267図16	焼締陶器	鉢?	中国?	—	—	—	SD103		38
第267図17	焼締陶器	鉢?	中国?	—	—	—	SD103		38
第267図18	陶器	瓶	中国	—	—	—	SD103	翡翠釉 二次被熱	
第267図19	京都系土師器	皿	在地	(8.4)	—	1.8	SD103		
第267図20	京都系土師器	皿	在地	8.4	—	1.9	SD103		
第267図21	土師質土器	皿	在地	(9.1)	(6.0)	1.6	SD103		
第267図22	土師質土器	皿	在地	(8.8)	(5.3)	2.4	SD103		
第267図23	土師質土器	壺 or 小皿	在地	(5.6)	(3.6)	1.9	SD103		
第267図24	土師質土器	焼壺	在地?	—	—	—	SD103		
第267図25	土師質土器	燭台	在地	8.0	—	—	SD103		
第267図26	瓦質土器	鉢	在地	—	—	—	SD103		
第267図27	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD103		
第267図28	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD103		
第268図1	青磁	碗	中国	—	—	—	SD103		
第268図2	焼締陶器	壺	備前	(9.3)	—	—	SD103		

5次調査B区遺物觀察表(土器・陶磁器類②)

挿圖No	器種		生産地	法量(単位cm)			追掲名	備考	図版No
				口径	底径	器高			
第268図3	焼締陶器	掛花入	備前	—	—	—	SD103		
第268図4	焼締陶器	播鉢	備前	—	—	—	SD103		
第268図5	焼締陶器	播鉢	備前	—	—	—	SD103		
第268図6	焼締陶器	播鉢	備前	—	—	—	SD103		
第268図7	焼締陶器	甕	備前	—	—	—	SD103		
第268図8	焼締陶器	甕	備前	—	—	—	SD103		
第270図1	京都系土師器	皿	在地	7.4	—	1.9	SD105		36
第270図2	京都系土師器	皿	在地	(10.9)	—	—	SD105		36
第270図3	京都系土師器	皿	在地	10.8	—	2.1	SD105		36
第270図4	京都系土師器	皿	在地	10.4	—	2.1	SD105		36
第270図5	京都系土師器	皿	在地	10.6	—	2.1	SD105		36
第270図6	京都系土師器	皿	在地	10.5	—	2.2	SD105		36
第270図7	京都系土師器	皿	在地	10.5	—	2.3	SD105		36
第270図8	京都系土師器	皿	在地	10.4	—	2.2	SD105		36
第270図9	京都系土師器	皿	在地	(11.0)	—	1.9	SD105		36
第270図10	京都系土師器	皿	在地	(13.0)	—	2.5	SD105		36
第270図11	京都系土師器	皿	在地	12.3	—	2.5	SD105		36
第270図12	京都系土師器	皿	在地	14.2	—	2.5	SD105		36
第270図13	京都系土師器	皿	在地	10.4	—	2.0	SD105		36
第270図14	京都系土師器	皿	在地	10.8	—	2.5	SD105		36
第270図15	京都系土師器	皿	在地	13.5	—	2.4	SD105		36
第270図16	京都系土師器	皿	在地	12.8	—	2.2	SD105		36
第270図17	京都系土師器	皿	在地	12.7	—	2.4	SD105		36
第270図18	京都系土師器	皿	在地	(13.8)	—	2.4	SD105		36
第270図19	京都系土師器	皿	在地	15.8	—	2.2	SD105		36
第270図20	京都系土師器	皿	在地	7.8	—	2.0	SD105		36
第270図21	京都系土師器	皿	在地	12.2	—	2.2	SD105		36
第270図22	京都系土師器	皿	在地	(11.7)	—	2.1	SD105		36
第270図23	京都系土師器	皿	在地	12.2	—	2.4	SD105		36
第270図24	京都系土師器	皿	在地	12.6	—	2.6	SD105		36
第270図25	京都系土師器	皿	在地	(15.7)	—	2.8	SD105		36
第270図26	京都系土師器	皿	在地	14.4	—	2.5	SD105		36
第270図27	土師質土器	皿	在地	11.2	5.2	2.2	SD105		
第270図28	土師質土器	皿	在地	12.1	5.5	2.8	SD105		
第270図29	瓦質土器	火鉢	在地	28.2			SD105		
第270図30	土師質土器	皿	在地	(12.0)	(5.5)	3.0	SD105		
第270図31	土師質土器	皿	在地	(11.2)	6.0	3.2	SD105		
第270図32	土師質土器	皿	在地	(14.0)	(8.1)	3.0	SD105		
第270図33	土師質土器	皿	在地	9.3	4.9	2.0	SD105		
第270図34	土師質土器	皿	在地	(9.0)	4.2	1.9	SD105		
第270図35	土師質土器	皿	在地	10.4	—	1.8	SD105		
第270図36	土師質土器	皿	在地	12.4	5.5	3.0	SD105		
第270図37	土師質土器	皿	在地	12.3	6.8	2.5	SD105		
第270図38	土師質土器	鍋台	在地	—	—	—	SD105		
第271図1	京都系土師器	皿	在地	(8.2)	—	1.9	SD105		36
第271図2	京都系土師器	皿	在地	8.3	—	1.9	SD105		36
第271図3	京都系土師器	皿	在地	10.2	—	2.2	SD105		36
第271図4	京都系土師器	皿	在地	10.6	—	2.2	SD105		36
第271図5	京都系土師器	皿	在地	(10.4)	—	2.1	SD105		36
第271図6	京都系土師器	皿	在地	10.8	—	2.3	SD105		36
第271図7	京都系土師器	皿	在地	10.8	—	2.2	SD105		36
第271図8	京都系土師器	皿	在地	10.2	—	2.2	SD105		36
第271図9	京都系土師器	皿	在地	11.9	—	2.4	SD105		36
第271図10	京都系土師器	皿	在地	12.3	—	2.6	SD105		36
第271図11	京都系土師器	皿	在地	(12.7)	—	2.8	SD105		36
第271図12	京都系土師器	皿	在地	12.3	—	2.4	SD105		36
第271図13	京都系土師器	皿	在地	13.1	—	2.1	SD105		36
第271図14	京都系土師器	皿	在地	12.6	—	2.3	SD105		36
第271図15	京都系土師器	皿	在地	(13.0)	—	2.6	SD105		36
第271図16	京都系土師器	皿	在地	12.7	—	2.7	SD105		36
第271図17	京都系土師器	皿	在地	12.6	—	2.7	SD105		36
第271図18	京都系土師器	皿	在地	12.7	—	2.4	SD105		36
第271図19	京都系土師器	皿	在地	12.7	—	2.5	SD105		36
第271図20	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.5	SD105		36
第271図21	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.5	SD105		36
第271図22	京都系土師器	皿	在地	(13.0)	—	2.5	SD105		36
第271図23	京都系土師器	皿	在地	12.7	—	2.1	SD105		36
第271図24	京都系土師器	皿	在地	(12.7)	—	2.4	SD105		36
第271図25	京都系土師器	皿	在地	(13.0)	—	—	SD105		36
第271図26	京都系土師器	皿	在地	14.4	—	2.5	SD105		36
第271図27	京都系土師器	皿	在地	(14.3)	—	2.4	SD105		36
第271図28	京都系土師器	皿	在地	14.0	—	2.4	SD105		36
第271図29	京都系土師器	皿	在地	(14.3)	—	2.5	SD105		36
第271図30	京都系土師器	皿	在地	16.0	—	2.4	SD105		36
第271図31	土師質土器	皿	在地	13.5	7.5	2.5	SD105		

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類③)

挿図No	器種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考	図版No
			口径	底径	器高			
第271図32	京都系土師器 皿	在地	—	—	—	SD105		36
第271図33	京都系土師器 皿	在地	8.3	—	2.0	SD105		36
第271図34	京都系土師器 皿	在地	10.2	—	2.2	SD105		36
第271図35	京都系土師器 皿	在地	(11.0)	—	2.1	SD105		36
第271図36	京都系土師器 皿	在地	(10.0)	—	2.0	SD105		36
第271図37	京都系土師器 皿	在地	(10.8)	—	2.3	SD105		36
第271図38	京都系土師器 皿	在地	10.4	—	2.2	SD105		36
第271図39	京都系土師器 皿	在地	10.6	—	2.0	SD105		36
第271図40	京都系土師器 皿	在地	10.4	—	2.3	SD105		36
第271図41	京都系土師器 皿	在地	(10.7)	—	2.3	SD105		36
第271図42	京都系土師器 皿	在地	10.7	—	2.1	SD105		36
第271図43	京都系土師器 皿	在地	(13.1)	—	—	SD105		36
第271図44	京都系土師器 皿	在地	13.5	—	2.5	SD105		36
第271図45	京都系土師器 皿	在地	13.7	—	2.5	SD105		36
第271図46	京都系土師器 皿	在地	(15.6)	—	2.5	SD105		36
第272図1	京都系土師器 皿	在地	8.8	—	1.9	SD105		36
第272図2	京都系土師器 皿	在地	7.9	—	1.9	SD105		36
第272図3	京都系土師器 皿	在地	(11.0)	—	2.3	SD105		36
第272図4	京都系土師器 皿	在地	(12.2)	—	—	SD105		36
第272図5	京都系土師器 皿	在地	(10.7)	—	—	SD105		36
第272図6	京都系土師器 皿	在地	(11.0)	—	—	SD105		36
第272図7	京都系土師器 皿	在地	(10.7)	—	2.3	SD105		36
第272図8	京都系土師器 皿	在地	10.3	—	2.3	SD105		36
第272図9	京都系土師器 皿	在地	11.5	—	2.4	SD105		36
第272図10	京都系土師器 皿	在地	(11.3)	—	2.4	SD105		36
第272図11	京都系土師器 皿	在地	(10.5)	—	1.9	SD105		36
第272図12	京都系土師器 皿	在地	10.8	—	2.2	SD105		36
第272図13	京都系土師器 皿	在地	(10.6)	—	2.2	SD105		36
第272図14	京都系土師器 皿	在地	10.8	—	2.5	SD105		36
第272図15	京都系土師器 皿	在地	13.0	—	2.5	SD105		36
第272図16	京都系土師器 皿	在地	(12.8)	—	2.5	SD105		36
第272図17	京都系土師器 皿	在地	12.8	—	3.0	SD105		36
第272図18	京都系土師器 皿	在地	12.6	—	2.4	SD105		36
第272図19	京都系土師器 皿	在地	12.9	—	2.6	SD105		36
第272図20	京都系土師器 皿	在地	12.2	—	2.6	SD105		36
第272図21	京都系土師器 皿	在地	13.3	—	2.6	SD105		36
第272図22	京都系土師器 皿	在地	12.8	—	2.6	SD105		36
第272図23	京都系土師器 皿	在地	(12.4)	—	2.2	SD105		36
第272図24	京都系土師器 皿	在地	13.1	—	2.5	SD105		36
第272図25	京都系土師器 皿	在地	(13.6)	—	2.7	SD105		36
第272図26	京都系土師器 皿	在地	14.8	—	2.6	SD105		36
第272図27	京都系土師器 皿	在地	(16.0)	—	2.9	SD105		36
第272図28	京都系土師器 皿	在地	(17.4)	—	—	SD105		36
第272図29	土師質土器 皿	在地	12.0	6.8	2.5	SD105		
第272図30	京都系土師器 皿	在地	15.9	—	2.7	SD105		
第272図31	土師質土器 皿	在地	8.0	4.2	2.1	SD105		
第273図1	荷花 皿	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD105		
第273図2	京都系土師器 皿	在地	7.9	—	2.0	SD105		36
第273図3	京都系土師器 皿	在地	10.7	—	2.3	SD105		36
第273図4	京都系土師器 皿	在地	10.8	—	2.2	SD105		36
第273図5	京都系土師器 皿	在地	(10.5)	—	2.6	SD105		36
第273図6	京都系土師器 皿	在地	12.7	—	2.2	SD105		36
第273図7	京都系土師器 皿	在地	(13.0)	—	2.4	SD105		36
第273図8	京都系土師器 皿	在地	13.7	—	2.4	SD105		36
第273図9	京都系土師器 皿	在地	(12.6)	—	2.2	SD105		36
第273図10	京都系土師器 皿	在地	13.1	—	2.5	SD105		36
第273図11	京都系土師器 皿	在地	(14.4)	—	2.3	SD105		36
第273図12	京都系土師器 皿	在地	14.4	—	2.8	SD105		36
第273図13	京都系土師器 皿	在地	(15.6)	—	2.6	SD105		36
第273図14	京都系土師器 皿	在地	(16.0)	—	2.7	SD105		36
第273図15	京都系土師器 皿	在地	(15.9)	—	2.5	SD105		36
第273図16	京都系土師器 皿	在地	(16.9)	—	2.4	SD105		36
第273図17	土師質土器 皿	在地	10.0	5.7	2.5	SD105		
第273図18	土師質土器 皿	在地	12.0	6.4	3.0	SD105		
第273図19	陶器 天目碗	中国	—	4.2	—	SD105		
第273図20	焼締陶器 播鉢	備前	—	—	—	SD105		
第273図21	陶器 不明	不明	—	—	—	SD105	把手	
第273図22	荷花 碗	中国	—	(4.0)	—	SD105		
第273図23	焼締陶器 鉢	中国南部	—	—	—	SD105		
第273図24	焼締陶器 鉢	中国南部	—	—	—	SD105		
第273図25	京都系土師器 皿	在地	(10.7)	—	2.2	SD105		36
第273図26	京都系土師器 皿	在地	11.2	—	2.6	SD105		36
第273図27	京都系土師器 皿	在地	(11.0)	—	2.4	SD105		36
第273図28	京都系土師器 皿	在地	10.6	—	2.4	SD105		36
第273図29	京都系土師器 皿	在地	(12.5)	—	2.5	SD105		36

5次調査B区遺物觀察表(土器・陶磁器類④)

押図No	器種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考	図版No
			口径	底径	器高			
第273図30	京都系土師器	皿	在地	12.2	—	2.6	SD105	36
第273図31	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.5	SD105	36
第273図32	京都系土師器	皿	在地	14.0	—	2.3	SD105	36
第273図33	京都系土師器	皿	在地	(16.6)	—	2.4	SD105	36
第273図34	土師質土器	皿	在地	11.8	5.5	2.4	SD105	
第275図	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD105	
第279図1	青磁	碗	中国	—	—	—	SD145	
第279図2	白磁	碗	朝鮮王朝	—	4.5	—	SD145	
第279図3	青磁	碗	中国	—	(5.4)	—	SD145	
第279図4	青花	碗	中国(瀋州窯)	—	5.1	—	SD145	
第279図5	陶器	壺	中国	—	(14.0)	—	SD145	褐釉
第279図6	陶器	壺	中国	—	(36.0)	—	SD145	褐釉
第279図7	京都系土師器	皿	在地	(11.4)	—	2.6	SD145	
第279図8	京都系土師器	皿	在地	(11.8)	—	2.7	SD145	
第279図9	京都系土師器	皿	在地	(12.4)	—	2.5	SD145	
第279図10	京都系土師器	皿	在地	(12.8)	—	2.0	SD145	
第279図11	京都系土師器	皿	在地	(13.2)	—	1.8	SD145	
第279図12	京都系土師器	皿	在地	(12.4)	—	3.0	SD145	
第279図13	京都系土師器	皿	在地	(14.9)	—	2.4	SD145	金箔貼り
第279図14	京都系土師器	皿	在地	(17.8)	—	—	SD145	
第279図15	京都系土師器	皿	在地	(18.4)	—	2.2	SD145	
第279図16	京都系土師器	皿	在地	(21.4)	—	—	SD145	
第279図17	青磁	皿	中国	(8.0)	(4.8)	1.9	SD145	
第279図18	京都系土師器	皿	在地	(12.4)	—	2.2	SD145	
第279図19	土師質土器	皿	在地	(10.8)	(4.5)	2.7	SD145	
第279図20	土師質土器	皿	在地	(11.5)	5.9	3.0	SD145	
第279図21	土師質土器	皿	在地	(12.0)	(7.0)	3.6	SD145	
第279図22	瓦質土器	壺	在地	—	—	—	SD145	
第279図23	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD145	
第279図24	瓦質土器	鍋	在地	—	—	—	SD145	
第279図25	瓦質土器	風炉	在地	—	—	—	SD145	
第279図26	瓦質土器	搥鉢	在地	—	—	—	SD145	
第279図27	瓦質土器	蓋	在地	(12.0)	—	1.1	SD145	
第280図1	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD145	
第280図2	瓦質土器	鉢	在地	(33.2)	—	—	SD145	
第280図3	瓦質土器	鍋	在地	(38.0)	—	—	SD145	
第280図4	瓦質土器	壺	在地	(25.4)	—	—	SD145	
第280図5	瓦質土器	羽釜	在地	—	—	—	SD145	
第280図6	瓦質土器	壺	在地	—	—	—	SD145	
第280図7	瓦質土器	搥鉢	在地	—	—	—	SD145	
第280図8	瓦質土器	壺	在地	—	(12.6)	—	SD145	
第280図9	瓦質土器	壺	在地	—	(16.4)	—	SD145	
第280図10	瓦質土器	鉢	在地	—	(17.0)	—	SD145	
第281図1	焼締陶器	甕	在地	—	—	—	SD145	
第281図2	焼締陶器	甕	在地	—	—	—	SD145	
第281図3	焼締陶器	壺	在地	—	(5.0)	—	SD145	
第281図4	焼締陶器	壺	在地	—	(7.4)	—	SD145	
第281図5	焼締陶器	搥鉢	在地	—	—	—	SD145	
第281図6	焼締陶器	搥鉢	在地	—	—	—	SD145	
第281図7	焼締陶器	搥鉢	在地	—	—	—	SD145	
第281図8	焼締陶器	搥鉢	在地	—	—	—	SD145	
第281図9	焼締陶器	搥鉢	在地	—	(11.6)	—	SD145	
第281図10	焼締陶器	搥鉢	在地	—	(17.2)	—	SD145	
第283図1	青磁	碗	中国(越州窯)	—	(8.4)	—	SD310	
第283図2	陶器	卸皿	瀬戸美濃	—	—	—	SD310	
第283図3	白磁	皿	中国	(14.0)	—	—	SD310	
第283図4	瓦質土器	羽釜	在地	—	—	—	SD310	
第283図5	瓦質土器	脚	在地	—	—	—	SD310	
第284図1	土師質土器	皿	在地	8.2	4.5	1.7	SD114	
第284図2	土師質土器	皿	在地	(8.6)	(4.6)	2.1	SD114	
第284図3	土師質土器	皿	在地	(11.4)	5.6	2.7	SD114	
第284図4	土師質土器	皿	在地	12.3	6.0	3.1	SD114	
第284図5	土師質土器	皿	在地	12.6	6.5	3.1	SD114	
第284図6	土師質土器	皿	在地	(13.4)	(6.6)	2.8	SD114	
第284図7	土師質土器	皿	在地	13.0	7.0	3.1	SD114	
第284図8	土師質土器	皿	在地	(13.0)	6.2	3.4	SD114	
第284図9	土師質土器	皿	在地	(15.1)	(7.4)	3.8	SD114	
第285図1	五彩	碗	中国	(12.5)	(4.8)	5.8	SD114	
第285図2	京都系土師器	皿	在地	10.4	—	2.0	SD114	
第285図3	京都系土師器	皿	在地	10.7	—	2.2	SD114	
第285図4	京都系土師器	皿	在地	12.8	—	2.4	SD114	
第285図5	京都系土師器	皿	在地	(16.0)	—	2.2	SD114	
第285図6	土師質土器	皿	在地	8.0	4.1	2.5	SD114	
第285図7	土師質土器	皿	在地	11.4	5.2	3.1	SD114	
第285図8	土師質土器	皿	在地	11.2	5.9	3.3	SD114	

遺物観察表26
(5次調査B区)

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類⑤)

挿図No.	器種	生産地	法量(単位 cm)			遺構名	備考	図版No.
			口径	底径	器高			
第285図9	土師質土器	皿	在地	12.2	6.3	2.5	SD114	
第285図10	土師質土器	皿	在地	—	5.0	—	SD114	
第285図11	土師質土器	皿	在地	13.0	7.2	4.2	SD114	
第285図12	土師質土器	燭台	在地	—	6.5	—	SD114	
第285図13	土師質土器	燭台	在地	—	6.0	—	SD114	
第285図14	土師質土器	耳皿	在地	6.7	5.4	2.0	SD114	
第285図15	焼締陶器	槽鉢	備前	(31.2)	(17.8)	13.9	SD114	
第288図1	陶器	小壺	中国	—	—	—	SD123	黒釉 茶入
第288図2	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SD123	
第288図3	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SD123	
第288図4	京都系土師器	皿	在地	7.8	—	2.1	SD123	
第288図5	京都系土師器	皿	在地	10.4	—	2.0	SD123	
第288図6	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.4	SD123	
第288図7	京都系土師器	皿	在地	12.4	—	2.2	SD123	
第288図8	京都系土師器	皿	在地	16.0	—	2.2	SD123	
第288図9	土師質土器	皿	在地	(5.2)	(3.6)	1.5	SD123	
第288図10	土師質土器	皿	在地	(7.4)	(5.0)	1.6	SD123	
第288図11	土師質土器	皿	在地	8.8	5.0	1.9	SD123	
第288図12	土師質土器	皿	在地	8.8	4.6	2.1	SD123	
第288図13	土師質土器	皿	在地	8.4	5.4	1.9	SD123	
第288図14	土師質土器	皿	在地	9.6	5.0	2.0	SD123	
第288図15	土師質土器	皿	在地	(10.4)	5.8	2.0	SD123	
第288図16	土師質土器	皿	在地	(10.8)	(6.6)	1.9	SD123	
第288図17	土師質土器	皿	在地	(1.4)	(6.4)	2.3	SD123	
第288図18	土師質土器	皿	在地	(11.0)	5.8	2.3	SD123	
第288図19	土師質土器	皿	在地	(11.6)	(5.8)	2.7	SD123	
第288図20	土師質土器	皿	在地	(12.2)	(6.2)	3.0	SD123	
第288図21	土師質土器	皿	在地	(12.2)	6.0	3.0	SD123	
第288図22	土師質土器	皿	在地	(12.2)	(6.4)	2.9	SD123	
第288図23	土師質土器	皿	在地	(12.0)	(6.0)	2.4	SD123	
第288図24	土師質土器	皿	在地	(11.8)	6.4	2.4	SD123	
第288図25	土師質土器	皿	在地	11.6	6.2	2.7	SD123	
第288図26	土師質土器	皿	在地	(11.8)	5.2	3.0	SD123	
第288図27	土師質土器	皿	在地	12.4	5.4	3.0	SD123	
第288図28	土師質土器	皿	在地	(13.0)	7.2	3.3	SD123	
第288図29	土師質土器	皿	在地	12.3	6.0	3.1	SD123	
第288図30	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD123	
第288図31	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD123	
第288図32	土師質土器	蓋	在地	4.5	3.7	1.2	SD123	
第292図1	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD151	C群(蓮子碗)
第292図2	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD151	B群
第292図3	青花	皿	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD151	B1群
第292図4	青花	碗	中国(漳州窯)	—	—	—	SD151	
第292図5	青花	蓋	中国(景德鎮窯)	(16.4)	—	—	SD151	
第292図6	青花	皿	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SD151	B1群
第292図7	青磁	碗 or 鉢	中国(龍泉窯)	(21.6)	—	—	SD151	
第292図8	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD151	
第292図9	青磁	碗	中国(龍泉窯)	(13.2)	—	—	SD151	
第292図10	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	6.1	—	SD151	
第292図11	青磁	皿	中国(龍泉窯)	—	(10.0)	—	SD151	
第292図12	白磁	皿	中国	—	(7.8)	—	SD151	
第292図13	陶器	天目碗	中国(茶葉窯?)	—	4.1	—	SD151	赤漆で「玉」or「王」字
第292図14	陶器	瓶	中国	(7.2)	—	—	SD151	褐釉 14~16は同一個体
第292図15	陶器	瓶	中国	—	—	—	SD151	褐釉
第292図16	陶器	瓶	中国	—	—	—	SD151	褐釉
第292図17	陶器	瓶	朝鮮王朝	—	—	—	SD151	舟徳利
第292図18	焼締陶器	壺	タイ(メナムノイ窯)	—	—	—	SD151	四耳壺
第292図19	京都系土師器	皿	在地	8.7	—	1.9	SD151	
第292図20	京都系土師器	皿	在地	9.3	—	2.1	SD151	
第292図21	京都系土師器	皿	在地	8.4	—	2.3	SD151	
第292図22	京都系土師器	皿	在地	8.5	—	2.5	SD151	
第292図23	京都系土師器	皿	在地	11.0	—	2.2	SD151	
第292図24	京都系土師器	皿	在地	10.7	—	2.5	SD151	
第292図25	京都系土師器	皿	在地	10.8	—	1.9	SD151	
第292図26	京都系土師器	皿	在地	12.3	—	2.1	SD151	
第292図27	京都系土師器	皿	在地	12.4	—	2.4	SD151	
第292図28	京都系土師器	皿	在地	12.3	—	2.8	SD151	
第292図29	京都系土師器	皿	在地	12.4	—	2.7	SD151	
第292図30	京都系土師器	皿	在地	13.4	—	2.7	SD151	
第292図31	京都系土師器	皿	在地	12.4	—	—	SD151	
第293図1	京都系土師器	皿	在地	12.4	—	2.2	SD151	
第293図2	京都系土師器	皿	在地	12.6	—	2.8	SD151	
第293図3	京都系土師器	皿	在地	11.8	—	2.4	SD151	
第293図4	京都系土師器	皿	在地	11.8	—	2.6	SD151	
第293図5	京都系土師器	皿	在地	12.4	—	2.4	SD151	

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類⑥)

標図No.	器種		生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考	図版No.
				口径	底径	器高			
第293図6	京都系土師器	皿	在地	12.3	—	2.5	SD151		
第293図7	京都系土師器	皿	在地	12.8	—	2.3	SD151		
第293図8	京都系土師器	皿	在地	13.7	—	2.6	SD151		
第293図9	京都系土師器	皿	在地	13.7	—	—	SD151		
第293図10	京都系土師器	皿	在地	13.6	—	2.5	SD151		
第293図11	京都系土師器	皿	在地	13.1	—	2.0	SD151		
第293図12	京都系土師器	皿	在地	13.4	—	2.9	SD151		
第293図13	京都系土師器	皿	在地	12.3	—	2.5	SD151		
第293図14	京都系土師器	皿	在地	12.8	—	2.6	SD151		
第293図15	京都系土師器	皿	在地	14.7	—	2.7	SD151		
第293図16	京都系土師器	皿	在地	12.3	—	2.5	SD151		
第293図17	京都系土師器	皿	在地	(12.8)	—	2.6	SD151		
第293図18	京都系土師器	皿	在地	16.8	—	2.6	SD151		
第293図19	京都系土師器	皿	在地	17.3	—	2.9	SD151		
第293図20	京都系土師器	皿	在地	(17.8)	—	3.0	SD151		
第293図21	土師質土器	小皿	在地	4.8	3.2	1.3	SD151		
第293図22	土師質土器	皿	在地	6.3	3.1	1.8	SD151		
第293図23	土師質土器	皿	在地	7.4	4.7	1.6	SD151		
第293図24	土師質土器	皿	在地	7.2	4.0	1.7	SD151		
第293図25	土師質土器	皿	在地	8.0	4.7	1.8	SD151		
第293図26	土師質土器	皿	在地	7.6	4.4	1.6	SD151		
第293図27	土師質土器	皿	在地	7.7	4.8	1.6	SD151		
第293図28	土師質土器	皿	在地	7.7	5.6	2.1	SD151		
第293図29	土師質土器	皿	在地	8.0	4.6	1.9	SD151		
第293図30	土師質土器	皿	在地	(7.8)	5.0	2.6	SD151		
第293図31	土師質土器	皿	在地	7.4	5.6	1.6	SD151		
第293図32	土師質土器	皿	在地	7.6	5.7	1.5	SD151		
第293図33	土師質土器	皿	在地	7.7	4.4	1.6	SD151		
第293図34	土師質土器	皿	在地	8.5	4.1	2.1	SD151		
第293図35	土師質土器	皿	在地	(9.4)	5.5	2.1	SD151		
第293図36	土師質土器	皿	在地	9.3	5.3	2.2	SD151		
第293図37	土師質土器	皿	在地	11.2	5.1	2.9	SD151		
第293図38	土師質土器	皿	在地	10.9	6.2	2.8	SD151		
第293図39	土師質土器	皿	在地	8.7	4.6	1.7	SD151		
第294図1	土師質土器	皿	在地	11.0	6.0	2.6	SD151		
第294図2	土師質土器	皿	在地	10.4	6.4	2.6	SD151		
第294図3	土師質土器	皿	在地	10.5	5.2	3.0	SD151		
第294図4	土師質土器	皿	在地	11.0	6.2	3.1	SD151		
第294図5	土師質土器	皿	在地	10.5	5.4	3.9	SD151		
第294図6	土師質土器	皿	在地	11.3	5.9	2.8	SD151		
第294図7	土師質土器	皿	在地	10.2	6.0	2.2	SD151		
第294図8	土師質土器	皿	在地	10.7	6.2	3.2	SD151		
第294図9	土師質土器	皿	在地	11.5	6.0	2.8	SD151		
第294図10	土師質土器	皿	在地	11.8	7.3	3.1	SD151		
第294図11	土師質土器	皿	在地	11.1	6.5	2.8	SD151		
第294図12	土師質土器	皿	在地	11.3	5.3	2.9	SD151		
第294図13	土師質土器	皿	在地	11.6	5.2	3.3	SD151		
第294図14	土師質土器	皿	在地	11.8	6.6	2.8	SD151		
第294図15	土師質土器	皿	在地	11.7	6.4	3.0	SD151		
第294図16	土師質土器	皿	在地	11.5	6.0	2.8	SD151		
第294図17	土師質土器	皿	在地	11.3	5.0	3.4	SD151		
第294図18	土師質土器	皿	在地	12.3	—	2.4	SD151		
第294図19	土師質土器	皿	在地	11.8	6.2	3.0	SD151		
第294図20	土師質土器	皿	在地	12.0	7.4	3.2	SD151		
第294図21	土師質土器	皿	在地	(11.6)	6.3	2.7	SD151		
第294図22	土師質土器	皿	在地	11.7	6.3	2.3	SD151		
第294図23	土師質土器	皿	在地	12.4	5.6	2.8	SD151		
第294図24	土師質土器	皿	在地	11.9	5.6	3.5	SD151		
第295図1	土師質土器	皿	在地	12.2	6.5	3.5	SD151		
第295図2	土師質土器	皿	在地	12.4	7.2	3.0	SD151		
第295図3	土師質土器	皿	在地	11.8	6.2	3.2	SD151		
第295図4	土師質土器	皿	在地	13.2	—	2.9	SD151		
第295図5	土師質土器	皿	在地	13.7	7.0	3.4	SD151		
第295図6	土師質土器	皿	在地	13.7	6.5	3.3	SD151		
第295図7	土師質土器	皿	在地	13.6	6.8	2.8	SD151		
第295図8	土師質土器	皿	在地	12.8	6.8	3.6	SD151		
第295図9	土師質土器	皿	在地	16.9	9.2	3.9	SD151		
第295図10	土師質土器	皿	在地	14.0	7.5	2.8	SD151		
第295図11	土師質土器	皿	在地	12.2	8.4	3.1	SD151		
第295図12	土師質土器	皿	在地?	—	6.0	—	SD151	白色系	
第295図13	土師質土器	蓋	在地	5.5	—	1.8	SD151	焼塩釜の蓋または小皿	
第295図14	土師質土器	蓋	在地	4.3	—	1.7	SD151	焼塩釜の蓋または小皿	
第295図15	土師質土器	焼塩釜	在地?	—	—	—	SD151		
第295図16	土師質土器	耳皿	在地	6.0	—	1.5	SD151		
第295図17	土師質土器	耳皿	在地	5.8	3.5	1.3	SD151		

遺物觀察表28
(5次調査B区)

5次調査B区遺物觀察表(土器・陶磁器類⑦)

挿図No	器種		生産地	法量(単位 cm)			遺構名	備考	図版No
				口径	底径	器高			
第295図22	土師質土器	燭台	在地	—	8.0	—	SD151		
第295図23	土師質土器	燭台	在地	6.3	6.6	6.1	SD151		
第295図24	土師質土器	燭台	在地	—	7.2	—	SD151		
第296図1	瓦質土器	蓋	在地	11.5	—	—	SD151		
第296図2	瓦質土器	埴	在地	(15.2)	(7.5)	7.1	SD151		
第296図3	瓦質土器	羽釜	在地	—	—	—	SD151		
第296図4	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD151		
第296図5	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD151		
第296図6	瓦質土器	火鉢	在地	26.8	—	—	SD151		
第296図7	瓦質土器	鉢	在地	—	—	—	SD151		
第296図8	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD151		
第296図9	瓦質土器	鍋	在地	—	—	—	SD151		
第296図10	瓦質土器	播鉢	在地	29.8	14.5	8.5	SD151		
第296図11	焼締陶器	広口壺	偏前	15.2	—	—	SD151	水指	
第296図12	焼締陶器	播鉢	偏前	31.0	—	—	SD151		
第297図1	焼締陶器	播鉢	偏前	(26.6)	—	—	SD151		
第297図2	焼締陶器	播鉢	偏前	(30.2)	—	—	SD151		
第299図1	青磁	碗	中国(龍泉窯)	(13.8)	—	—	SD151		
第299図2	青磁	皿	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD151		
第299図3	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	5.0	—	SD151		
第299図4	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	4.5	—	SD151		
第299図5	青磁	皿 or 盤	中国(龍泉窯)	—	7.5	—	SD151		
第299図6	陶器	天目碗	中国	—	—	—	SD151		
第299図7	陶器	天目碗	中国	(12.4)	—	—	SD151		
第299図8	土師質土器	小皿	在地	3.7	2.5	1.6	SD151		
第299図9	土師質土器	小皿	在地	4.8	3.0	1.5	SD151		
第299図10	土師質土器	小皿	在地	5.5	4.0	1.6	SD151		
第299図11	土師質土器	皿	在地	6.5	4.6	1.4	SD151		
第299図12	土師質土器	皿	在地	7.0	3.2	1.9	SD151		
第299図13	土師質土器	皿	在地	8.0	4.2	1.7	SD151		
第299図14	土師質土器	皿	在地	8.3	4.8	2.0	SD151		
第299図15	土師質土器	皿	在地	8.8	4.4	1.7	SD151		
第299図16	土師質土器	皿	在地	8.8	5.4	2.0	SD151		
第299図17	土師質土器	皿	在地	8.3	4.2	1.9	SD151		
第299図18	土師質土器	皿	在地	9.5	5.2	2.4	SD151		
第299図19	土師質土器	皿	在地	9.4	5.7	2.1	SD151		
第299図20	土師質土器	皿	在地	10.0	6.3	2.4	SD151		
第299図21	土師質土器	皿	在地	10.7	5.6	3.5	SD151		
第299図22	土師質土器	皿	在地	10.6	5.7	2.8	SD151		
第299図23	土師質土器	皿	在地	10.7	5.9	3.0	SD151		
第299図24	土師質土器	皿	在地	10.2	6.4	2.8	SD151		
第299図25	土師質土器	皿	在地	10.8	5.3	2.3	SD151		
第299図26	土師質土器	皿	在地	10.3	5.5	2.3	SD151		
第299図27	土師質土器	皿	在地	11.0	6.5	2.6	SD151		
第299図28	土師質土器	皿	在地	11.2	5.5	2.7	SD151		
第299図29	土師質土器	皿	在地	10.8	5.6	3.0	SD151		
第299図30	土師質土器	皿	在地	10.3	5.6	3.0	SD151		
第299図31	土師質土器	皿	在地	10.8	5.6	3.0	SD151		
第299図32	土師質土器	皿	在地	11.4	6.0	2.7	SD151		
第299図33	土師質土器	皿	在地	11.0	6.7	3.0	SD151		
第299図34	土師質土器	皿	在地	11.1	6.3	2.9	SD151		
第300図1	土師質土器	皿	在地	11.5	6.3	3.1	SD151		
第300図2	土師質土器	皿	在地	11.0	6.7	3.2	SD151		
第300図3	土師質土器	皿	在地	11.5	6.7	3.3	SD151		
第300図4	土師質土器	皿	在地	12.0	6.7	2.9	SD151		
第300図5	土師質土器	皿	在地	12.0	6.3	2.7	SD151		
第300図6	土師質土器	皿	在地	12.3	6.4	2.8	SD151		
第300図7	土師質土器	皿	在地	11.8	5.7	3.0	SD151		
第300図8	土師質土器	皿	在地	13.2	7.0	2.5	SD151		
第300図9	土師質土器	皿	在地	13.0	7.3	2.9	SD151		
第300図10	土師質土器	皿	在地	12.4	7.5	3.3	SD151		
第300図11	土師質土器	皿	在地	13.2	7.5	3.1	SD151		
第300図12	土師質土器	皿	在地	12.8	5.6	3.1	SD151		
第300図13	土師質土器	皿	在地	14.0	7.4	2.9	SD151		
第300図14	土師質土器	皿	在地	(14.6)	7.1	3.2	SD151		
第300図15	土師質土器	皿	在地	(14.2)	7.3	3.1	SD151		
第300図16	土師質土器	皿	在地	14.8	7.7	3.9	SD151		
第300図17	土師質土器	皿	在地	—	6.1	—	SD151		
第300図18	土師質土器	皿	在地	—	7.8	—	SD151		
第300図19	土師質土器	皿	在地?	(16.5)	—	—	SD151	白色系	
第300図20	土師質土器	皿	在地?	—	(4.3)	—	SD151	白色系	
第300図21	土師質土器	皿	在地?	—	(7.6)	—	SD151	白色系	
第300図22	土師質土器	皿	在地?	—	(7.4)	—	SD151	白色系	
第301図1	土師質土器	耳皿	在地	5.4	3.8	1.0	SD151		
第301図2	土師質土器	耳皿	在地	6.3	3.1	1.3	SD151		

5次調査B区遺物觀察表(土器・陶磁器類⑧)

挿図No.	器種		生産地	法量(単位 cm)			遺物名	備考	図版No.
				口径	底径	器高			
第301図3	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SD151		
第301図4	土師質土器	燭台	在地	—	—	—	SD151		
第301図5	土師質土器	燭台	在地	—	5.8	—	SD151		
第301図6	土師質土器	燭台	在地	—	5.3	—	SD151		
第301図7	土師質土器	燭台	在地	—	6.2	3.1	SD151		
第301図8	焼締陶器	摺鉢	備前	—	—	—	SD151		
第301図9	焼締陶器	摺鉢	備前	—	—	—	SD151		
第301図10	焼締陶器	摺鉢	備前	—	—	—	SD151		
第301図11	焼締陶器	摺鉢	備前	—	—	—	SD151		
第301図12	焼締陶器	摺鉢	備前	(26.5)	13.4	12.0	SD151		
第301図13	焼締陶器	摺鉢	備前	—	—	—	SD151		
第302図1	土師質土器	皿	在地	11.1	6.0	3.4	SD151		
第302図2	土師質土器	皿	在地	12.4	7.6	3.4	SD151		
第302図3	土師質土器	皿	在地	13.1	7.3	3.4	SD151		
第302図4	土師質土器	不明	在地	—	—	—	SD151	把手	
第302図5	土師質土器	皿	在地	6.8	4.0	1.7	SD151		
第302図6	土師質土器	皿	在地	8.0	4.4	2.4	SD151		
第302図7	土師質土器	皿	在地	8.0	4.2	1.9	SD151		
第302図8	土師質土器	皿	在地	9.2	5.2	1.9	SD151		
第302図9	土師質土器	皿	在地	8.8	5.7	2.1	SD151		
第302図10	土師質土器	皿	在地	9.9	5.4	2.3	SD151		
第302図11	土師質土器	皿	在地	10.8	5.2	3.0	SD151		
第302図12	土師質土器	皿	在地	10.8	6.2	3.1	SD151		
第302図13	土師質土器	皿	在地	11.3	6.4	2.8	SD151		
第302図14	土師質土器	皿	在地	12.1	6.7	3.4	SD151		
第302図15	土師質土器	皿	在地	11.4	6.0	2.7	SD151		
第302図16	土師質土器	皿	在地	(16.4)	—	—	SD151		
第302図17	土師質土器	皿	在地	—	5.8	—	SD151		
第302図18	土師質土器	皿	在地	—	11.0	—	SD151		
第302図19	焼締陶器	摺鉢	備前	—	—	—	SD151		
第302図20	焼締陶器	摺鉢	備前	—	—	—	SD151		
第305図1	土師質土器	皿	在地	5.3	3.6	1.9	SD153		
第305図2	土師質土器	皿	在地	12.1	6.2	2.6	SD153		
第310図1	京都系土師器	皿	在地	12.4	—	2.6	SK127		
第310図2	京都系土師器	坏	在地	(13.0)	—	4.5	SK127		
第313図1	京都系土師器	皿	在地	12.7	—	2.7	SK140		
第313図2	京都系土師器	皿	在地	10.7	—	2.2	SK241		
第315図1	京都系土師器	皿	在地	11.2	—	2.1	SK227		
第315図2	京都系土師器	皿	在地	13.2	—	2.4	SK227		
第315図3	京都系土師器	皿	在地	13.2	—	2.7	SK227		
第315図4	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.7	SK227		
第315図5	京都系土師器	皿	在地	20.8	—	3.2	SK227		
第318図1	京都系土師器	皿	在地	10.9	—	2.2	SK106	36	
第318図2	京都系土師器	皿	在地	11.0	—	2.2	SK106	36	
第318図3	京都系土師器	皿	在地	11.1	—	2.4	SK106	36	
第318図4	京都系土師器	皿	在地	12.9	—	2.6	SK106	36	
第318図5	京都系土師器	皿	在地	12.7	—	2.4	SK106	36	
第318図6	京都系土師器	皿	在地	13.3	—	2.7	SK106	36	
第318図7	京都系土師器	皿	在地	13.1	—	2.3	SK106	36	
第318図8	京都系土師器	皿	在地	13.1	—	2.1	SK106	36	
第318図9	京都系土師器	皿	在地	14.6	—	3.0	SK106	36	
第318図10	京都系土師器	皿	在地	13.2	—	2.6	SK106	36	
第318図11	京都系土師器	皿	在地	15.0	—	2.9	SK106	36	
第318図12	京都系土師器	皿	在地	16.5	—	3.0	SK106	36	
第318図13	京都系土師器	皿	在地	16.5	—	3.0	SK106	36	
第320図1	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SK110		
第320図2	京都系土師器	皿	在地	(10.8)	—	—	SK111		
第322図	土師質土器	皿	在地	(7.8)	(4.2)	1.9	SK129		
第324図1	京都系土師器	皿	在地	(10.2)	—	2.3	SK202		
第324図2	京都系土師器	皿	在地	10.8	—	2.8	SK202		
第324図3	京都系土師器	皿	在地	13.2	—	2.4	SK202		
第326図1	京都系土師器	皿	在地	12.0	—	—	SK214		
第326図2	京都系土師器	皿	在地	8.2	—	2.1	SK215		
第329図1	青磁	碗	中国(龍泉窯)	(12.0)	—	—	SK222		
第329図2	青磁	碗	中国(龍泉窯)	(13.5)	—	—	SK222		
第329図3	陶器	壺	中国	(10.8)	—	—	SK222	褐釉	
第329図4	京都系土師器	皿	在地	8.1	—	2.1	SK222		
第329図5	京都系土師器	皿	在地	8.1	—	2.1	SK222		
第329図6	京都系土師器	皿	在地	8.5	—	2.2	SK222		
第329図7	京都系土師器	皿	在地	8.5	—	2.2	SK222		
第329図8	京都系土師器	皿	在地	8.4	—	2.1	SK222		
第329図9	京都系土師器	皿	在地	8.1	—	2.0	SK222		
第329図10	京都系土師器	皿	在地	8.1	—	2.2	SK222		
第329図11	京都系土師器	皿	在地	8.7	—	1.9	SK222		
第329図12	京都系土師器	皿	在地	8.8	—	2.1	SK222		

遺物観察表30
(5次調査B区)

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類⑨)

挿図No.	器種	生産地	法量(単位cm)			追柄名	備考	図版No.
			口径	底径	器高			
第329図13	京都系土師器	皿	在地	11.0	—	2.8	SK222	
第329図14	京都系土師器	皿	在地	10.7	—	2.1	SK222	
第329図15	京都系土師器	皿	在地	10.6	—	2.5	SK222	
第329図16	京都系土師器	皿	在地	10.3	—	2.4	SK222	
第329図17	京都系土師器	皿	在地	11.0	—	2.4	SK222	
第329図18	京都系土師器	皿	在地	11.1	—	2.4	SK222	
第329図19	京都系土師器	皿	在地	11.0	—	2.6	SK222	
第329図20	京都系土師器	皿	在地	12.8	—	2.2	SK222	
第329図21	京都系土師器	皿	在地	12.1	—	2.1	SK222	
第329図22	京都系土師器	皿	在地	12.5	—	2.1	SK222	
第329図23	京都系土師器	皿	在地	12.7	—	2.3	SK222	
第329図24	京都系土師器	皿	在地	12.6	—	2.2	SK222	
第329図25	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.0	SK222	
第329図26	京都系土師器	皿	在地	12.6	—	2.0	SK222	
第329図27	京都系土師器	皿	在地	12.9	—	2.3	SK222	
第329図28	京都系土師器	皿	在地	12.7	—	2.2	SK222	
第329図29	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.3	SK222	
第329図30	京都系土師器	皿	在地	12.4	—	2.1	SK222	
第329図31	京都系土師器	皿	在地	12.5	—	2.4	SK222	
第329図32	京都系土師器	皿	在地	12.6	—	2.6	SK222	
第329図33	京都系土師器	皿	在地	12.0	—	2.5	SK222	
第329図34	京都系土師器	皿	在地	12.7	—	2.2	SK222	
第329図35	京都系土師器	皿	在地	13.3	—	2.5	SK222	
第329図36	京都系土師器	皿	在地	12.7	—	2.2	SK222	
第329図37	京都系土師器	皿	在地	12.3	—	2.1	SK222	
第329図38	京都系土師器	皿	在地	13.1	—	2.4	SK222	
第329図39	京都系土師器	皿	在地	12.9	—	2.4	SK222	
第329図40	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.2	SK222	
第329図41	京都系土師器	皿	在地	14.2	—	2.4	SK222	
第329図42	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.3	SK222	
第329図43	京都系土師器	皿	在地	13.5	—	2.4	SK222	
第329図44	京都系土師器	皿	在地	15.3	—	1.9	SK222	
第329図45	京都系土師器	皿	在地	15.0	—	2.6	SK222	
第329図46	京都系土師器	皿	在地	15.9	—	2.4	SK222	
第329図47	京都系土師器	皿	在地	16.0	—	2.6	SK222	
第330図1	土師質土器	皿	在地	7.8	4.2	2.4	SK222	
第330図2	土師質土器	皿	在地	9.7	6.4	1.8	SK222	
第330図3	土師質土器	皿	在地	11.4	6.8	2.1	SK222	
第330図4	土師質土器	皿	在地	11.4	6.0	2.0	SK222	
第330図5	土師質土器	皿	在地	(11.4)	6.8	2.1	SK222	
第330図6	土師質土器	皿	在地	11.8	6.4	2.1	SK222	
第330図7	土師質土器	皿	在地	12.3	5.7	2.2	SK222	
第330図8	土師質土器	皿	在地	—	5.0	—	SK222	
第330図9	焼締陶器	播鉢	備前	34.2	—	—	SK222	
第330図10	焼締陶器	播鉢	備前	—	—	—	SK222	
第332図1	京都系土師器	皿	在地	13.2	—	2.6	SK226	
第332図2	京都系土師器	皿	在地	(14.0)	—	2.7	SK226	
第334図1	青花	碗	中国(景德鎮窯)	—	(8.4)	—	SK229	37
第334図2	青磁	皿	中国(龍泉窯)	13.1	4.4	2.9	SK229	37
第336図1	京都系土師器	皿	在地	(13.2)	—	—	SK302	
第336図2	瓦質土器	鍋	在地	—	—	—	SK302	
第338図	京都系土師器	皿	在地	(8.3)	—	2.1	SK304	
第340図1	京都系土師器	皿	在地	12.8	—	2.1	SK115	
第340図2	土師質土器	皿	在地	(11.6)	(6.0)	2.7	SK115	
第340図3	土師質土器	皿	在地	(11.8)	(6.0)	3.3	SK115	
第340図4	土師質土器	皿	在地	—	5.9	—	SK115	
第340図5	土師質土器	皿	在地	(12.2)	(6.4)	3.3	SK115	
第340図6	土師質土器	燭台	在地	—	6.8	—	SK115	
第340図7	焼締陶器	播鉢	備前	—	—	—	SK115	
第342図	京都系土師器	皿	在地	(12.0)	—	2.2	SK118	
第344図1	京都系土師器	皿	在地	(13.0)	—	—	SK121	
第344図2	京都系土師器	皿	在地	(13.6)	—	—	SK121	
第344図3	京都系土師器	皿	在地	12.6	—	2.3	SK121	
第344図4	土師質土器	皿	在地	7.6	3.8	2.0	SK121	
第344図5	土師質土器	皿	在地	(11.7)	—	—	SK121	
第344図6	土師質土器	皿	在地	(12.0)	—	—	SK121	
第344図7	土師質土器	皿	在地	11.1	5.8	3.8	SK121	
第344図8	土師質土器	皿	在地	12.0	5.8	3.0	SK121	
第344図9	土師質土器	皿	在地	12.5	6.2	2.8	SK121	
第344図10	土師質土器	皿	在地	(12.6)	(7.2)	2.5	SK121	
第344図11	土師質土器	皿	在地	13.0	7.0	3.8	SK121	
第344図12	土師質土器	皿	在地	—	5.8	—	SK121	
第344図13	土師質土器	皿	在地	—	5.6	—	SK121	
第344図14	土師質土器	皿	在地	—	(6.0)	—	SK121	
第344図15	土師質土器	皿	在地	—	5.5	—	SK121	

5次調査B区遺物觀察表(土器・陶磁器類⑩)

押印No.	器種		生産地	法量(単位cm)			遺物名	備考	図版No.
				口径	底径	器高			
第344図16	土師質土器	皿	在地	—	7.5	—	SK121		
第344図17	土師質土器	皿	在地	—	(5.8)	—	SK121		
第344図18	土師質土器	皿	在地	—	5.6	—	SK121		
第344図19	土師質土器	皿	在地	—	6.4	—	SK121		
第346図1	京都系土師器	皿	在地	(7.5)	—	1.5	SK125		
第346図2	京都系土師器	皿	在地	(12.0)	—	2.1	SK125		
第346図3	京都系土師器	皿	在地	12.8	—	2.4	SK125		
第346図4	京都系土師器	皿	在地	(13.0)	—	2.4	SK125		
第346図5	京都系土師器	皿	在地	(13.4)	—	2.1	SK125		
第346図6	土師質土器	皿	在地	(8.9)	(4.8)	2.1	SK125		
第346図7	土師質土器	皿	在地	(11.6)	(6.6)	2.3	SK125		
第346図8	土師質土器	皿	在地	—	(6.4)	—	SK125		
第346図9	土師質土器	皿	在地	—	—	—	SK125		
第346図10	瓦質土器	鉢 or 鍋	在地	—	—	—	SK125		
第346図11	瓦質土器	碗	在地	—	—	—	SK125		
第348図1	苴磁	皿	中国(龍泉窯)	—	—	—	SK126		
第348図2	京都系土師器	皿	在地	(16.0)	—	2.6	SK126		
第350図1	京都系土師器	皿	在地	16.7	—	2.7	SK146		
第350図2	土師質土器	皿	在地	8.2	4.4	1.8	SK146		
第350図3	土師質土器	皿	在地	9.6	5.5	2.2	SK146		
第350図4	土師質土器	皿	在地	—	—	—	SK146		
第352図	京都系土師器	皿	在地	14.0	—	2.2	SK147		
第354図1	苴花	皿	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SK150	B1群	
第354図2	苴花	皿	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SK150	B1群	
第354図3	白磁	碗?	中国	—	—	—	SK150		
第354図4	京都系土師器	皿	在地	10.1	—	2.2	SK150		
第354図5	京都系土師器	皿	在地	10.3	—	2.3	SK150		
第354図6	京都系土師器	皿	在地	10.4	—	2.9	SK150		
第354図7	京都系土師器	皿	在地	(13.7)	—	2.4	SK150		
第354図8	京都系土師器	皿	在地	12.8	—	2.1	SK150		
第354図9	京都系土師器	皿	在地	12.4	—	2.4	SK150		
第354図10	京都系土師器	皿	在地	13.3	—	2.4	SK150		
第354図11	京都系土師器	皿	在地	13.6	—	2.7	SK150		
第354図12	京都系土師器	皿	在地	(14.6)	—	—	SK150		
第354図13	京都系土師器	皿	在地	(14.7)	—	—	SK150		
第354図14	京都系土師器	皿	在地	(16.2)	—	2.8	SK150		
第354図15	土師質土器	皿	在地	6.0	4.8	1.7	SK150		
第354図16	土師質土器	皿	在地	9.1	—	1.7	SK150		
第354図17	土師質土器	皿	在地	(11.6)	(6.0)	2.9	SK150		
第354図18	土師質土器	皿	在地	9.5	5.3	1.9	SK150		
第354図19	土師質土器	皿	在地	11.8	6.6	3.3	SK150		
第355図1	瓦質土器	摺鉢	在地	(25.2)	—	—	SK150		
第355図2	瓦質土器	摺鉢	在地	—	—	—	SK150		
第358図1	京都系土師器	皿	在地	(12.8)	—	—	SK204		
第358図2	京都系土師器	皿	在地	(13.0)	—	2.1	SK204		
第358図3	土師質土器	皿	在地	7.8	5.0	1.7	SK204		
第358図4	京都系土師器	皿	在地	(13.6)	—	2.4	SK205		
第358図5	土師質土器	皿	在地	11.3	5.6	2.5	SK205		
第358図6	瓦質土器	火鉢	在地	—	(30.4)	—	SK205		
第360図1	苴磁	皿	中国	—	—	—	SK206		
第360図2	京都系土師器	皿	在地	9.7	—	1.9	SK206		
第360図3	京都系土師器	皿	在地	9.2	—	2.1	SK206		
第360図4	京都系土師器	皿	在地	(12.8)	—	2.2	SK206		
第360図5	京都系土師器	皿	在地	(14.7)	—	—	SK206		
第360図1	土師質土器	皿	在地	8.2	4.6	2.1	SK206		
第360図2	土師質土器	皿	在地	(9.3)	(5.0)	2.5	SK206		
第360図3	土師質土器	皿	在地	11.9	5.6	2.9	SK206		
第360図4	土師質土器	皿	在地	12.2	5.7	2.8	SK206		
第360図5	土師質土器	皿	在地	13.3	6.9	3.6	SK206		
第360図6	土師質土器	皿	在地	—	5.1	—	SK206		
第360図7	土師質土器	皿	在地	—	4.0	—	SK206		
第360図8	土師質土器	皿	在地	—	3.7	—	SK206		
第360図9	土師質土器	皿	在地	—	(6.8)	—	SK206		
第360図10	土師質土器	皿	在地	—	(6.0)	—	SK206		
第360図11	土師質土器	皿	在地	—	7.3	—	SK206		
第360図12	土師質土器	皿	在地	—	7.6	—	SK206		
第360図13	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SK206		
第360図14	燒埴陶器	摺鉢	備前	(30.5)	—	—	SK206		
第363図1	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SK218		
第363図2	土師質土器	皿	在地	(11.4)	(6.1)	2.8	SK218		
第365図	京都系土師器	皿	在地	11.0	—	2.4	SK225		
第367図1	苴花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SK246	C群(蓮子碗)	
第367図2	京都系土師器	皿	在地	(12.4)	—	—	SK246		
第367図3	土師質土器	皿	在地	11.8	6.2	2.5	SK246		
第369図1	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SK130		

遺物觀察表32
(5次調査B区)

5次調査B区遺物觀察表(土器・陶磁器類①)

挿圖No.	器種		生産地	法量(単位 cm)			遺構名	備考	図版No.
				口径	底径	器高			
第369図2	土師質土器	皿	在地	(12.0)	(5.6)	3.0	SK130		
第371図1	青磁	碗	中国	—	4.8	—	SK133		
第371図2	土師質土器	皿	在地	8.1	4.4	1.5	SK133		
第371図3	土師質土器	皿	在地	(8.6)	4.8	1.6	SK133		
第371図4	土師質土器	皿	在地	8.4	4.4	2.1	SK133		
第371図5	土師質土器	皿	在地	8.4	4.7	2.0	SK133		
第371図6	土師質土器	皿	在地	(9.4)	(5.5)	1.8	SK133		
第371図7	土師質土器	皿	在地	11.3	5.4	2.8	SK133		
第371図8	土師質土器	皿	在地	(11.4)	(6.0)	2.3	SK133		
第371図9	土師質土器	皿	在地	11.8	6.1	2.5	SK133		
第371図10	土師質土器	皿	在地	11.8	5.3	2.7	SK133		
第371図11	土師質土器	皿	在地	11.8	5.8	2.4	SK133		
第371図12	土師質土器	皿	在地	(13.0)	(6.6)	2.6	SK133		
第371図13	土師質土器	皿	在地	(12.6)	(6.2)	2.3	SK133		
第371図14	土師質土器	皿	在地	(12.5)	(6.2)	2.4	SK133		
第371図15	土師質土器	皿	在地	12.5	5.7	2.9	SK133		
第371図16	土師質土器	皿	在地	12.8	6.4	3.0	SK133		
第371図17	土師質土器	皿	在地	13.2	5.8	2.7	SK133		
第371図18	土師質土器	皿	在地	(13.2)	(6.3)	3.0	SK133		
第371図19	土師質土器	皿	在地	(12.9)	(6.6)	2.5	SK133		
第371図20	土師質土器	皿	在地	(15.2)	—	—	SK133		
第371図21	土師質土器	皿	在地	—	3.8	—	SK133		
第371図22	土師質土器	皿	在地	—	5.7	—	SK133		
第371図23	土師質土器	皿	在地	—	5.4	—	SK133		
第371図24	土師質土器	皿	在地	—	5.9	—	SK133		
第371図25	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SK133		
第371図26	土師質土器	耳皿	在地	5.7	2.0	1.7	SK133		
第376図1	土師質土器	皿	在地	8.8	5.0	2.3	SK135		
第376図2	土師質土器	皿	在地	(10.8)	(6.7)	2.3	SK135		
第376図3	土師質土器	皿	在地	(11.6)	(5.8)	2.8	SK135		
第376図4	土師質土器	皿	在地	13.1	7.3	2.7	SK135		
第376図5	土師質土器	皿	在地	12.7	6.4	3.1	SK135		
第376図6	土師質土器	皿	在地	12.0	6.8	3.1	SK135		
第376図7	土師質土器	皿	在地	12.7	6.3	3.1	SK135		
第376図8	土師質土器	皿	在地	12.5	5.0	2.9	SK135		
第378図	土師質土器	皿	在地	—	5.7	—	SK217		
第380図1	土師質土器	小皿	在地	3.7	3.0	1.7	SK230		37
第380図2	土師質土器	小皿	在地	3.5	2.4	1.2	SK230		37
第380図3	土師質土器	小皿	在地	5.0	3.3	1.4	SK230		37
第380図4	土師質土器	小皿	在地	4.7	3.2	1.1	SK230		37
第380図5	土師質土器	小皿	在地	4.5	4.2	1.3	SK230		37
第380図6	土師質土器	小皿	在地	5.4	4.3	1.3	SK230		37
第380図7	土師質土器	小皿	在地	5.0	4.2	1.1	SK230		37
第380図8	土師質土器	小皿	在地	5.4	3.7	1.7	SK230		37
第380図9	土師質土器	小皿	在地	(5.2)	(4.3)	1.2	SK230		37
第380図10	土師質土器	皿	在地	(7.7)	(5.0)	1.5	SK230		37
第380図11	土師質土器	皿	在地	8.8	5.2	2.3	SK230		37
第380図12	土師質土器	皿	在地	9.2	5.6	2.4	SK230		37
第380図13	土師質土器	皿	在地	8.9	5.5	2.0	SK230		37
第380図14	土師質土器	皿	在地	10.5	6.0	3.1	SK230		37
第380図15	土師質土器	皿	在地	10.8	6.5	2.9	SK230		37
第380図16	土師質土器	皿	在地	10.2	6.0	2.5	SK230		37
第380図17	土師質土器	皿	在地	10.4	6.8	3.0	SK230		37
第380図18	土師質土器	皿	在地	11.3	6.2	2.6	SK230		37
第380図19	土師質土器	皿	在地	11.1	7.0	2.9	SK230		37
第380図20	土師質土器	皿	在地	11.8	5.4	2.8	SK230		37
第380図21	土師質土器	皿	在地	11.2	5.5	2.9	SK230		37
第380図22	土師質土器	皿	在地	11.2	6.0	3.0	SK230		37
第380図23	土師質土器	皿	在地	(11.2)	(6.3)	2.4	SK230		37
第380図24	土師質土器	皿	在地	11.2	4.6	2.6	SK230		37
第380図25	土師質土器	皿	在地	11.3	5.8	2.8	SK230		37
第380図26	土師質土器	皿	在地	(12.0)	5.9	2.9	SK230		37
第380図27	土師質土器	皿	在地	11.5	6.2	2.5	SK230		37
第380図28	土師質土器	皿	在地	11.1	6.0	3.0	SK230		37
第380図29	土師質土器	皿	在地	(11.9)	6.2	3.0	SK230		37
第380図30	土師質土器	皿	在地	11.6	5.6	3.1	SK230		37
第380図31	土師質土器	皿	在地	(12.2)	(6.4)	2.4	SK230		37
第380図32	土師質土器	皿	在地	(11.6)	(6.4)	2.9	SK230		37
第380図33	土師質土器	皿	在地	(12.2)	(6.8)	2.8	SK230		37
第380図34	土師質土器	皿	在地	(12.6)	(7.0)	2.8	SK230		37
第381図1	土師質土器	皿	在地	10.8	6.1	3.1	SK230		37
第381図2	土師質土器	皿	在地	12.4	7.0	3.0	SK230		37
第381図3	土師質土器	皿	在地	(12.2)	(6.8)	2.6	SK230		37
第381図4	土師質土器	皿	在地	(12.2)	(6.8)	2.6	SK230		37
第381図5	土師質土器	皿	在地	(12.4)	(7.0)	3.0	SK230		37

5次調査B区遺物觀察表(土器・陶磁器類②)

挿圖No	器種		生産地	法量(単位cm)			遺物名	備考	図版No
				口径	底径	器高			
第381図6	土師質土器	皿	在地	(12.0)	7.0	2.9	SK230		37
第381図7	土師質土器	皿	在地	13.2	7.2	3.3	SK230		37
第381図8	土師質土器	皿	在地	12.6	5.4	3.3	SK230		37
第381図9	土師質土器	皿	在地	12.6	7.0	3.3	SK230		37
第381図10	土師質土器	耳皿	在地	5.3	4.1	1.2	SK230		37
第381図11	土師質土器	耳皿	在地	5.0	4.0	1.5	SK230		37
第381図12	土師質土器	耳皿	在地	6.4	4.0	1.2	SK230		37
第381図13	土師質土器	耳皿	在地	(6.4)	4.0	1.3	SK230		37
第381図14	瓦質土器	鍋	在地?	(28.8)	—	—	SK230	防長系	
第381図15	瓦質土器	風炉	在地	—	—	—	SK230		
第385図1	土師質土器	皿	在地	8.4	4.5	2.1	SK234		
第385図2	土師質土器	皿	在地	10.5	5.4	2.7	SK234		
第385図3	土師質土器	皿	在地	11.9	5.7	3.0	SK234		
第385図4	土師質土器	皿	在地	11.3	5.1	2.8	SK234		
第385図5	土師質土器	皿	在地	12.1	5.4	3.0	SK234		
第385図6	土師質土器	皿	在地	(13.4)	(6.1)	3.2	SK234		
第385図7	土師質土器	皿	在地	(14.6)	(7.2)	3.1	SK234		
第385図8	土師質土器	皿	在地	—	3.6	—	SK234		
第385図9	土師質土器	皿	在地	—	5.1	—	SK234		
第385図10	焼締陶器	檜鉢	偏前	—	—	—	SK234		
第387図1	土師質土器	皿	在地	8.8	5.0	2.2	SK235		
第387図2	土師質土器	皿	在地	9.4	4.8	2.5	SK235		
第387図3	土師質土器	皿	在地	11.5	5.3	3.1	SK235		
第387図4	土師質土器	皿	在地	(12.0)	(5.8)	2.8	SK235		
第387図5	土師質土器	皿	在地	(12.2)	—	—	SK235		
第387図6	土師質土器	皿	在地	(11.7)	—	—	SK235		
第387図7	土師質土器	皿	在地	(12.2)	5.5	3.0	SK235		
第387図8	土師質土器	皿	在地	12.4	6.0	3.1	SK235		
第387図9	土師質土器	皿	在地	12.8	(5.5)	3.1	SK235		
第387図10	土師質土器	皿	在地	(14.0)	—	—	SK235		
第387図11	土師質土器	皿	在地	(13.5)	—	—	SK235		
第387図12	土師質土器	皿	在地	(13.6)	(5.5)	3.2	SK235		
第387図13	土師質土器	皿	在地	—	5.2	—	SK235		
第387図14	土師質土器	皿	在地	—	5.8	—	SK235		
第387図15	土師質土器	皿	在地	—	6.3	—	SK235		
第387図16	土師質土器	皿	在地	—	5.8	—	SK235		
第389図1	土師質土器	皿	在地	11.9	6.5	3.0	SK242		
第391図1	土師質土器	皿	在地	8.6	4.9	2.1	SK244		
第391図2	土師質土器	皿	在地	11.2	5.6	3.0	SK244		
第393図1	土師質土器	皿	在地	9.4	5.9	3.3	SK303		
第393図2	土師質土器	皿	在地	(12.8)	(6.4)	2.8	SK303		
第396図1	青磁	碗	中国	—	6.7	—	SK245		
第396図2	土師質土器	皿	在地	7.6	4.5	1.8	SK245		
第396図3	土師質土器	皿	在地	8.8	5.2	2.3	SK245		
第396図4	土師質土器	皿	在地	10.9	5.8	2.6	SK245		
第396図5	土師質土器	皿	在地	11.3	5.8	3.0	SK245		
第396図6	土師質土器	皿	在地	11.2	6.5	2.9	SK245		
第396図7	土師質土器	皿	在地	11.4	5.7	2.7	SK245		
第396図8	土師質土器	皿	在地	10.9	6.3	2.8	SK245		
第396図9	土師質土器	皿	在地	—	(5.7)	—	SK245		
第396図10	土師質土器	皿	在地	—	(6.0)	—	SK245		
第398図	土師質土器	皿	在地	(12.1)	(5.6)	3.3	SK139		
第400図	焼締陶器	檜鉢	偏前	—	—	—	SK160		
第402図	土師質土器	坏	在地	12.6	7.5	3.9	SK316		
第404図1	土師質土器	坏	在地	7.3	6.0	1.4	SK252		39
第404図2	土師質土器	坏	在地	11.7	9.2	3.1	SK252		39
第404図3	土師質土器	坏	在地	12.1	9.1	3.0	SK252		39
第404図4	土師質土器	坏	在地	12.0	9.4	3.0	SK252		39
第406図1	土師質土器	坏	在地	12.6	9.1	3.6	SK236		39
第406図2	土師質土器	坏	在地	(12.6)	(8.7)	3.1	SK236		39
第406図3	土師質土器	坏	在地	12.4	9.1	3.1	SK236		39
第406図4	土師質土器	坏	在地	13.3	10.0	3.3	SK236		39
第406図5	土師質土器	坏	在地	12.8	9.6	3.3	SK236		39
第406図6	土師質土器	坏	在地	12.7	9.1	3.3	SK236		39
第406図7	土師質土器	坏	在地	12.8	9.6	3.2	SK236		39
第406図8	土師質土器	坏	在地	12.8	9.5	3.3	SK236		39
第406図9	土師質土器	坏	在地	12.3	9.6	3.4	SK236		39
第406図10	土師質土器	坏	在地	12.6	9.1	3.4	SK236		39
第406図11	土師質土器	坏	在地	12.6	9.4	3.4	SK236		39
第406図12	土師質土器	坏	在地	12.4	8.2	3.3	SK236		39
第406図13	土師質土器	坏	在地	12.7	9.5	3.3	SK236		39
第406図14	土師質土器	坏	在地	12.9	9.2	3.1	SK236		39
第409図	陶器	大甕	常滑	—	—	—	SK201		
第409図	磁器	小杯	中国(景德鎮窯)	—	3.0	—	SK223	裾袖	
第411図	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SK257		

遺物觀察表34
(5次調査B区)

5次調査B区遺物觀察表(土器・陶磁器類⑬)

挿入No.	器種		生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考	図版No.
				口径	底径	器高			
第411図	土師質土器	皿	在地	—	(2.5)	—	SK311		
第414図1	白磁	皿	中国	(12.4)	6.1	6.1	SE220		
第414図2	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	6.0	—	SE220		
第414図3	土師質土器	皿	在地	(12.4)	—	2.4	SE220		
第416図1	焼締陶器	鉢	中国南部	(22.0)	—	—	SE221	C類	
第416図2	陶器	天目碗	瀬戸美濃	—	—	—	SE221		
第416図3	京都系土師器	皿	在地	(12.2)	—	2.4	SE221		
第416図4	京都系土師器	皿	在地	(12.0)	—	2.1	SE221		
第416図5	土師質土器	皿	在地	7.6	5.1	1.8	SE221		
第416図6	土師質土器	皿	在地	8.2	5.6	2.1	SE221		
第417図1	陶器	甕	偏前	—	(17.2)	—	SE221		
第417図2	陶器	擂鉢	偏前	—	(11.6)	—	SE221		
第417図3	陶器	甕	偏前	—	19.7	—	SE221		
第417図4	陶器	甕	偏前	(9.6)	—	—	SE221		
第417図5	瓦質土器	火鉢	在地	(43.2)	—	33.0	SE221		
第419図1	陶器	碗	朝鮮王朝	—	4.7	—	SE248		
第419図2	京都系土師器	皿	在地	10.5	—	2.2	SE248		
第419図3	瓦質土器	香炉	在地	7.0	6.4	5.0	SE248		
第422図1	青花	碗	中国(滄州窯)	—	—	—	SE247		
第422図2	青花	碗	中国(滄州窯)	—	—	—	SE247		
第422図3	陶器	卸皿	瀬戸美濃	—	—	—	SE247		
第422図4	青磁	盤	中国	—	—	—	SE247		
第424図1	青花	皿	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SE108		
第424図2	京都系土師器	皿	在地	(9.8)	—	1.9	SE108		
第424図3	京都系土師器	皿	在地	(10.0)	—	2.5	SE108		
第424図4	京都系土師器	皿	在地	(10.6)	—	2.0	SE108		
第424図5	京都系土師器	皿	在地	(10.4)	—	2.4	SE108		
第424図6	京都系土師器	皿	在地	(10.8)	—	2.1	SE108		
第424図7	京都系土師器	皿	在地	10.2	—	2.3	SE108		
第424図8	京都系土師器	皿	在地	10.4	—	2.1	SE108		
第424図9	京都系土師器	皿	在地	(10.2)	—	1.9	SE108		
第424図10	京都系土師器	皿	在地	(10.2)	—	2.2	SE108		
第424図11	京都系土師器	皿	在地	(10.4)	—	2.2	SE108		
第424図12	京都系土師器	皿	在地	(11.2)	—	3.2	SE108		
第424図13	京都系土師器	皿	在地	(11.4)	—	2.0	SE108		
第424図14	京都系土師器	皿	在地	(13.2)	—	2.5	SE108		
第424図15	京都系土師器	皿	在地	(13.2)	—	—	SE108		
第424図16	京都系土師器	皿	在地	(13.4)	—	2.3	SE108		
第424図17	京都系土師器	皿	在地	(13.4)	—	2.2	SE108		
第424図18	土師質土器	皿	在地	(5.6)	3.2	1.0	SE108		
第424図19	土師質土器	皿	在地	(8.0)	5.6	1.6	SE108		
第424図20	土師質土器	皿	在地	(8.8)	4.8	1.6	SE108		
第424図21	土師質土器	皿	在地	9.6	5.4	2.8	SE108		
第424図22	土師質土器	皿	在地	10.0	5.0	1.9	SE108		
第424図23	土師質土器	皿	在地	(10.4)	5.2	2.2	SE108		
第424図24	土師質土器	耳皿	在地	—	(2.5)	1.7	SE108		
第424図25	土師質土器	燗台	在地	—	(6.0)	—	SE108		
第424図26	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SE108		
第426図	瓦質土器	碗	在地	(12.0)	—	—	SE203		
第428図1	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SE119		
第428図2	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SE119		
第428図3	土師質土器	皿	在地	(6.0)	2.0	1.4	SE119		
第428図4	土師質土器	皿	在地	6.2	4.0	1.5	SE119		
第428図5	土師質土器	皿	在地	(12.4)	6.4	3.1	SE119		
第428図6	土師質土器	皿	在地	(12.6)	(6.0)	3.5	SE119		
第428図7	焼締陶器	甕	偏前	—	—	—	SE119		
第431図1	白磁	碗	中国	—	—	—	SE249		
第431図2	白磁	小杯	中国	—	3.4	—	SE249		
第431図3	青磁	碗	中国(龍泉窯)	—	(5.3)	—	SE249		
第431図4	土師質土器	小皿	在地	(4.0)	2.9	1.0	SE249		
第431図5	土師質土器	皿	在地	7.5	6.6	1.8	SE249		
第431図6	土師質土器	燗台	在地	—	5.6	—	SE249		
第431図7	瓦質土器	擂鉢	在地	—	—	—	SE249		
第433図1	土師質土器	皿	在地	10.8	6.4	2.5	SE228		
第433図2	土師質土器	皿	在地	11.8	6.8	2.9	SE228		
第435図1	白磁	不明	中国	—	—	—	SE142	把手	
第435図2	焼締陶器	擂鉢	偏前	—	—	—	SE142		
第437図1	陶器	卸皿	瀬戸美濃	—	—	—	SE259		
第437図2	土師質土器	皿	在地?	—	5.6	—	SE259	白色系	
第440図	焼締陶器	甕	偏前	—	(35.4)	—	SE238		
第445図1	土師質土器	皿	在地	7.6	4.1	1.9	SX134	39	
第445図2	土師質土器	皿	在地	7.3	4.3	1.7	SX134	39	
第445図3	土師質土器	皿	在地	7.5	4.7	1.7	SX134	39	
第445図4	土師質土器	皿	在地	7.5	5.4	1.5	SX134	39	
第445図5	土師質土器	皿	在地	7.5	4.5	1.9	SX134	39	

5次調査B区遺物觀察表(土器・陶磁器類④)

挿圖No.	器種		生産地	法量(単位 cm)			遺物名	備考	図版No.
				口径	底径	器高			
第445図6	土師質土器	皿	在地	7.5	4.4	1.6	SX134		39
第445図7	土師質土器	皿	在地	7.5	4.6	1.6	SX134		39
第445図8	土師質土器	皿	在地	7.4	4.2	1.5	SX134		39
第445図9	土師質土器	皿	在地	7.4	4.4	1.7	SX134		39
第445図10	土師質土器	皿	在地	7.3	4.4	1.5	SX134		39
第445図11	土師質土器	皿	在地	11.3	5.9	2.9	SX134		39
第445図12	土師質土器	皿	在地	11.0	5.4	2.8	SX134		39
第445図13	土師質土器	皿	在地	11.2	5.8	3.1	SX134		39
第445図14	土師質土器	皿	在地	11.3	5.9	3.3	SX134		39
第445図15	土師質土器	皿	在地	11.3	5.4	3.2	SX134		39
第445図16	土師質土器	皿	在地	11.2	5.9	3.1	SX134		39
第449図1	京都系土師器	皿	在地	(10.2)	—	—	SX301		39
第449図2	土師質土器	皿	在地	(12.2)	—	—	SX301		39
第449図3	土師質土器	皿	在地	11.5	6.4	3.2	SX301		39
第451図1	土師質土器	坏	在地	8.6	6.6	2.1	SX308		
第451図2	土師質土器	坏	在地	13.0	9.5	3.8	SX308		
第451図3	土師質土器	坏	在地	12.9	9.0	3.9	SX308		
第453図1	五彩	碗	中国	—	—	—	SX113		
第453図2	青花	皿	中国(景德鎮窯)	(9.6)	(4.2)	2.2	SX113		
第453図3	青花	皿	中国(景德鎮窯)	(14.8)	(8.6)	3.3	SX113		
第453図4	白磁	皿	中国	(12.0)	(6.2)	2.8	SX113		
第453図5	京都系土師器	皿	在地	8.2	—	1.9	SX113		
第453図6	京都系土師器	皿	在地	8.2	—	1.8	SX113		
第453図7	京都系土師器	皿	在地	8.4	—	2.0	SX113		
第453図8	京都系土師器	皿	在地	(8.4)	—	1.7	SX113		
第453図9	京都系土師器	皿	在地	(12.8)	—	2.0	SX113		
第453図10	京都系土師器	皿	在地	(12.6)	—	2.8	SX113		
第453図11	京都系土師器	皿	在地	(12.4)	—	2.4	SX113		
第453図12	京都系土師器	皿	在地	(12.0)	—	2.4	SX113		
第453図13	京都系土師器	皿	在地	(12.4)	—	2.5	SX113		
第453図14	京都系土師器	皿	在地	12.8	—	2.6	SX113		
第453図15	京都系土師器	皿	在地	(13.0)	—	2.4	SX113		
第453図16	京都系土師器	皿	在地	(13.2)	—	2.3	SX113		
第453図17	京都系土師器	皿	在地	(13.4)	—	2.3	SX113		
第453図18	京都系土師器	皿	在地	(13.4)	—	2.3	SX113		
第453図19	京都系土師器	皿	在地	12.9	—	2.5	SX113		
第453図20	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.1	SX113		
第453図21	京都系土師器	皿	在地	(13.6)	—	—	SX113		
第453図22	京都系土師器	皿	在地	(13.2)	—	2.3	SX113		
第453図23	京都系土師器	皿	在地	(13.6)	—	1.9	SX113	内面に墨書	38
第454図1	土師質土器	皿	在地	(8.2)	2.1	1.9	SX113		
第454図2	土師質土器	皿	在地	8.0	4.2	2.3	SX113		
第454図3	土師質土器	皿	在地	(8.2)	4.8	2.5	SX113		
第454図4	土師質土器	皿	在地	(8.8)	4.6	2.5	SX113		
第454図5	土師質土器	皿	在地	(9.4)	4.7	2.0	SX113		
第454図6	土師質土器	皿	在地	(10.9)	(5.0)	2.5	SX113		
第454図7	土師質土器	皿	在地	(11.4)	(5.3)	3.3	SX113		
第454図8	土師質土器	皿	在地	(11.4)	(5.6)	3.3	SX113		
第454図9	土師質土器	皿	在地	(12.6)	(6.4)	3.2	SX113		
第454図10	土師質土器	皿	在地	(12.0)	(6.7)	2.9	SX113		
第454図11	土師質土器	皿	在地	(13.0)	(6.1)	2.8	SX113		
第454図12	土師質土器	皿	在地	(14.6)	(6.8)	3.2	SX113		
第454図13	土師質土器	皿	在地	(12.0)	6.2	3.7	SX113		
第454図14	土師質土器	皿	在地	—	5.4	—	SX113		
第454図15	土師質土器	碗	在地	(12.8)	—	—	SX113		
第454図16	瓦質土器	風炉 or 火鉢	在地	—	—	—	SX113		
第454図17	瓦質土器	火鉢	在地	(39.4)	—	—	SX113		
第455図2	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	14.1	SX113		
第455図3	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	14.1	SX113		
第456図1	白磁	皿	中国	(13.5)	(7.6)	2.7	SX120		
第456図2	土師質土器	皿	在地	(8.4)	(4.9)	1.9	SX120		
第456図3	土師質土器	皿	在地	(9.5)	(5.3)	2.6	SX120		
第456図4	土師質土器	皿	在地	(13.1)	(6.6)	3.3	SX120		
第456図5	土師質土器	皿	在地	13.2	7.1	2.7	SX120		
第456図6	土師質土器	皿	在地	—	(6.0)	—	SX120		
第456図7	土師質土器	皿	在地	11.3	5.8	2.7	SX120		
第456図8	土師質土器	燭台	在地	—	(10.2)	—	SX120		
第456図9	土師質土器	燭台	在地	7.6	5.8	5.6	SX120		
第459図1	白磁	皿?	中国	—	—	—	SX124		
第459図2	不明	皿	不明	—	—	—	SX124		
第459図3	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX124		
第459図4	土師質土器	皿	在地	(7.6)	3.6	1.5	SX124		
第459図5	土師質土器	皿	在地	—	4.4	—	SX124		
第459図6	土師質土器	皿	在地	—	5.4	—	SX124		
第459図7	土師質土器	皿	在地	—	6.4	—	SX124		

遺物觀察表36
(5次調査B区)

5次調査B区遺物觀察表(土器・陶磁器類⑮)

押図No	器種		生産地	法丘(単位 cm)			遺構名	備考	図版No
				口径	底径	器高			
第459図8	瓦質土器	鍋	在地	—	—	—	SX124		
第459図9	瓦質土器	皿?	在地	—	—	—	SX124		
第459図10	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SX124		
第464図1	苜磁	碗	中国(龍泉窯)	(12.4)	—	—	SX143		
第464図2	陶器	瓶	朝鮮王朝	—	(17.6)	—	SX143	舟德利	
第464図3	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX143		
第464図4	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX143		
第464図5	京都系土師器	皿	在地	—	—	—	SX143		
第464図6	京都系土師器	皿	在地	(10.6)	—	2.1	SX143		
第464図7	土師質土器	皿	在地	—	—	—	SX143		
第464図8	土師質土器	皿	在地	8.0	4.1	2.1	SX143		
第464図9	土師質土器	皿	在地	(9.0)	4.3	2.0	SX143		
第464図10	土師質土器	皿	在地	(8.4)	(4.2)	2.2	SX143		
第464図11	土師質土器	皿	在地	(9.8)	5.2	1.9	SX143		
第464図12	土師質土器	皿	在地	(9.8)	(5.2)	1.8	SX143		
第464図13	土師質土器	皿	在地	(10.2)	(5.8)	2.4	SX143		
第464図14	土師質土器	皿	在地	(11.2)	(6.0)	3.4	SX143		
第464図15	土師質土器	皿	在地	(11.4)	(6.0)	2.5	SX143		
第464図16	土師質土器	皿	在地	(11.1)	(5.6)	2.8	SX143		
第464図17	土師質土器	皿	在地	(11.0)	(6.2)	3.4	SX143		
第464図18	土師質土器	皿	在地	(11.8)	(6.0)	2.5	SX143		
第464図19	土師質土器	皿	在地	(12.0)	(5.4)	2.7	SX143		
第464図20	土師質土器	皿	在地	11.9	5.8	3.5	SX143		
第464図21	土師質土器	皿	在地	(11.8)	(6.0)	2.6	SX143		
第464図22	土師質土器	皿	在地	15.4	6.4	3.8	SX143		
第464図23	土師質土器	皿	在地	(12.4)	(6.2)	2.6	SX143		
第464図24	土師質土器	皿	在地	—	4.4	—	SX143		
第464図25	土師質土器	皿	在地	—	4.4	—	SX143		
第464図26	土師質土器	皿	在地	—	(6.1)	—	SX143		
第464図27	土師質土器	皿	在地	—	(7.2)	—	SX143	白色系	
第465図1	陶器	碗	朝鮮王朝	—	—	—	SX143		
第465図2	瓦質土器	搥鉢	在地	29.8	14.4	10.1	SX143	39	
第465図3	焼締陶器	甕	偏前	—	—	—	SX143		
第465図4	焼締陶器	搥鉢	偏前	—	—	—	SX143		
第465図5	焼締陶器	搥鉢	偏前	(31.6)	(14.2)	12.0	SX143		
第466図1	苜花	碗	中国(景德鎮窯)	(10.4)	—	—	SX258	E群(饅頭心碗)	
第466図2	焼締陶器	鉢	中国南部	(20.4)	—	—	SX258	鉢B類	
第466図3	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SX258		
第467図1	苜花	小杯?	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SX306		
第467図2	苜花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	SX306		
第468図1	京都系土師器	皿	在地	(10.4)	—	2.5	SX117		
第468図2	京都系土師器	皿	在地	(11.0)	—	2.4	SX117		
第468図3	京都系土師器	皿	在地	(12.2)	—	2.0	SX117		
第468図4	土師質土器	皿	在地	(12.4)	—	—	SX117		
第468図5	土師質土器	皿	在地	(11.4)	5.4	2.8	SX117		
第468図6	土師質土器	皿	在地	(13.2)	6.4	3.4	SX117		
第468図7	土師質土器	皿	在地	(11.6)	(5.8)	2.5	SX117		
第470図	焼締陶器	甕	偏前	—	—	—	SX307		
第472図1	焼締陶器	搥鉢	偏前	(30.2)	—	—	SX131		
第472図2	焼締陶器	搥鉢	偏前	(26.2)	—	—	SX131		
第472図3	焼締陶器	搥鉢	偏前	(20.0)	10.5	(8.0)	SX131		
第473図1	陶器	甕 or 鉢	中国?	7.2	—	—	SX131		
第473図2	瓦質土器	火鉢	在地	—	(25.6)	—	SX131		
第473図3	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SX131		
第473図4	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SX131		
第473図5	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	SX131		
第475図1	苜花	碗	中国(景德鎮窯)	—	—	—	包含層	C群(蓮子碗)	
第475図2	苜花	碗	中国(景德鎮窯)	(13.4)	—	—	包含層	C群(蓮子碗)	
第475図3	苜花	皿	中国(景德鎮窯)	(9.6)	(5.0)	4.0	包含層		
第475図4	苜花	皿	中国(景德鎮窯)	12.2	6.0	2.1	包含層		
第475図5	苜花	皿	中国(景德鎮窯)	(10.2)	(3.3)	2.8	包含層		
第475図6	苜花	皿	中国(景德鎮窯)	—	(7.0)	—	包含層		
第475図7	白磁	小杯	中国(景德鎮窯)	—	(2.8)	—	包含層		
第475図8	華南三彩	小皿	中国	—	(3.2)	—	包含層	苜釉小皿	
第475図9	華南三彩	小皿	中国	—	(3.4)	—	包含層	苜釉小皿	
第475図10	苜花	小杯	中国(景德鎮窯)	—	(2.8)	—	包含層		
第475図11	苜花	碗	中国(景德鎮窯)	—	(7.1)	—	包含層		
第475図12	苜磁	小皿	中国	—	—	—	包含層		
第475図13	苜磁	碗	中国	—	(7.2)	—	包含層		
第475図14	苜花	皿	中国(漳州窯)	—	(8.4)	—	包含層		
第475図15	苜花	碗	中国(漳州窯)	—	5.0	—	包含層		
第475図16	苜花	碗	中国(漳州窯)	—	(5.2)	—	包含層		
第475図17	苜磁	碗	中国	(14.2)	—	—	包含層		
第475図18	苜磁	碗	中国	(15.0)	—	—	包含層		
第475図19	苜磁	碗	中国	13.2	5.4	5.0	包含層		

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類⑬)

挿図No.	器種		生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考	図版No.
				口径	底径	器高			
第475図20	白磁	小皿	中国	(8.8)	(4.9)	2.2	包含層		
第475図21	白磁	皿	中国	(15.8)	(9.0)	4.2	包含層		
第475図22	白磁	皿	中国	—	3.0	—	包含層		
第475図23	青磁	碗	中国	—	(6.6)	—	包含層		
第475図24	白磁	皿	中国	—	(6.4)	—	包含層		
第475図25	白磁	皿	中国	—	5.0	—	包含層		
第476図1	陶器	天目碗	中国	—	—	—	包含層		
第476図2	陶器	蓋	中国	—	—	—	包含層	褐釉	
第476図3	陶器	蓋	中国	—	—	—	包含層	褐釉	
第476図4	陶器	蓋	中国	—	—	—	包含層	褐釉	
第476図5	陶器	蓋	中国	(7.4)	—	—	包含層	黒釉	
第476図6	陶器	皿	中国	(12.8)	(5.4)	2.7	包含層	黒釉	
第476図7	陶器	壺	中国	—	—	—	包含層	褐釉	
第476図8	磁器	瓶	中国	—	—	—	包含層	把手	
第476図9	磁器	瓶	中国	—	—	—	包含層	把手 黒釉	
第476図10	陶器	壺?	中国	—	—	—	包含層		
第476図11	華南三彩	小皿	中国	—	—	—	包含層	青釉小皿	
第476図12	焼締陶器	蓋	中国	(10.2)	—	—	包含層	褐釉	
第476図13	陶器	甕	中国南部?	(18.0)	—	—	包含層		
第476図14	焼締陶器	鉢	中国南部	(19.2)	—	—	包含層		
第476図15	焼締陶器	鉢	中国南部	—	—	—	包含層		
第476図16	焼締陶器	鉢	中国南部	—	—	—	包含層		
第476図17	焼締陶器	鉢	中国南部	—	—	—	包含層		
第476図18	焼締陶器	摺鉢	中国南部	—	—	—	包含層		
第476図19	焼締陶器	鉢	中国南部	—	—	—	包含層		
第476図20	焼締陶器	鉢	中国南部	(25.6)	—	—	包含層		
第476図21	焼締陶器	壺	タイ	—	—	—	包含層		
第476図22	土師質土器	壺	タイ?	—	—	—	包含層	ハンネラ?	
第476図23	土師質土器	壺	タイ?	—	—	—	包含層	ハンネラ?	
第476図24	土師質土器	壺	タイ?	—	—	—	包含層	ハンネラ?	
第476図25	土師質土器	壺	タイ?	—	—	—	包含層	ハンネラ?	
第476図26	陶器	小杯 or 蓋	不明	—	0.8	—	包含層		
第476図27	陶器	碗	朝鮮王朝	—	—	—	包含層	彫三島	
第476図28	陶器	小杯	朝鮮王朝	—	4.2	—	包含層		
第476図29	陶器	瓶	朝鮮王朝	—	(14.2)	—	包含層	舟徳利	
第476図30	陶器	皿	朝鮮王朝	—	4.0	—	包含層	砂目	
第477図1	華南三彩	鴨形水注	中国	—	—	—	包含層		
第477図2	華南三彩	鴨形水注	中国	—	—	—	包含層		
第477図3	華南三彩	鴨形水注	中国	—	—	—	包含層		
第477図4	華南三彩	鶴形水注	中国	—	—	—	包含層		
第477図5	華南三彩	水注	中国	—	—	—	包含層		
第477図6	華南三彩	鳥形水滴	中国	—	—	—	包含層		
第477図7	華南三彩	不明	中国	—	—	—	包含層		
第477図8	華南三彩	不明	中国	—	—	—	包含層		
第478図1	陶器	天目碗	志戸呂	—	—	—	包含層		
第478図2	陶器	天目碗	瀬戸美濃	—	—	—	包含層		
第478図3	陶器	天目碗	瀬戸美濃	—	—	—	包含層		
第478図4	陶器	天目碗	瀬戸美濃	(11.4)	—	—	包含層		
第478図5	陶器	天目碗	瀬戸美濃	(10.5)	—	—	包含層		
第478図6	陶器	天目碗	瀬戸美濃	—	4.1	—	包含層		
第478図7	陶器	天目碗	瀬戸美濃	—	3.8	—	包含層		
第478図8	陶器	鉢	瀬戸美濃	(9.0)	(3.6)	3.1	包含層		
第478図9	陶器	碗 or 鉢	美濃	—	—	—	包含層	志野	
第478図10	陶器	瓶	瀬戸美濃	—	—	—	包含層		
第478図11	青磁	碗	中国	(12.4)	—	—	包含層		
第478図12	磁器	小杯	肥前	(6.0)	4.3	2.7	包含層	明緑灰色釉	
第478図13	陶器	皿	肥前(唐津)	(14.8)	—	—	包含層	砂目	
第478図14	焼締陶器	摺鉢	備前	—	—	—	包含層		
第478図15	陶器	碗	朝鮮王朝	—	(4.6)	—	包含層		
第478図16	陶器	碗	肥前(唐津)	—	—	—	包含層		
第478図17	陶器	小皿	肥前(唐津)	—	3.0	—	包含層	胎土目	
第478図18	陶器	皿	肥前(唐津)	—	4.4	—	包含層	砂目	
第479図1	京都系土師器	皿	在地	7.6	—	1.5	包含層		
第479図2	京都系土師器	皿	在地	8.6	—	1.8	包含層		
第479図3	京都系土師器	皿	在地	8.8	—	2.3	包含層		
第479図4	京都系土師器	皿	在地	8.6	—	2.0	包含層		
第479図5	京都系土師器	皿	在地	8.7	—	2.5	包含層		
第479図6	京都系土師器	皿	在地	8.6	—	2.1	包含層		
第479図7	京都系土師器	皿	在地	8.9	—	1.9	包含層		
第479図8	京都系土師器	皿	在地	10.4	—	1.8	包含層		
第479図9	京都系土師器	皿	在地	10.4	—	2.0	包含層		
第479図10	京都系土師器	皿	在地	10.2	—	2.1	包含層		
第479図11	京都系土師器	皿	在地	10.3	—	2.3	包含層		
第479図12	京都系土師器	皿	在地	10.0	—	2.3	包含層		
第479図13	京都系土師器	皿	在地	10.2	—	1.9	包含層		

遺物観察表38
(5次調査B区)

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類⑰)

押図No	器種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考	図版No
			口径	底径	器高			
第479図14	京都系土師器	皿	在地	10.9	—	2.5	包含層	
第479図15	京都系土師器	皿	在地	11.2	—	2.4	包含層	
第479図16	京都系土師器	皿	在地	10.8	—	2.3	包含層	
第479図17	京都系土師器	皿	在地	10.4	—	2.1	包含層	
第479図18	京都系土師器	皿	在地	(11.6)	—	2.7	包含層	
第479図19	京都系土師器	皿	在地	12.6	—	2.6	包含層	
第479図20	京都系土師器	皿	在地	13.2	—	2.1	包含層	
第479図21	京都系土師器	皿	在地	12.8	—	2.2	包含層	
第479図22	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.3	包含層	
第479図23	京都系土師器	皿	在地	12.8	—	2.2	包含層	
第479図24	京都系土師器	皿	在地	12.8	—	2.4	包含層	
第479図25	京都系土師器	皿	在地	13.2	—	2.2	包含層	
第479図26	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.3	包含層	
第479図27	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.1	包含層	
第479図28	京都系土師器	皿	在地	12.4	—	2.6	包含層	
第479図29	京都系土師器	皿	在地	12.8	—	2.7	包含層	
第479図30	京都系土師器	皿	在地	(12.7)	—	2.3	包含層	
第479図31	京都系土師器	皿	在地	12.6	—	2.5	包含層	
第479図32	京都系土師器	皿	在地	13.4	—	2.7	包含層	
第479図33	京都系土師器	皿	在地	13.2	—	2.2	包含層	
第479図34	京都系土師器	皿	在地	13.0	—	2.2	包含層	
第479図35	京都系土師器	皿	在地	12.8	—	2.3	包含層	
第479図36	京都系土師器	皿	在地	13.2	—	2.1	包含層	
第479図37	京都系土師器	皿	在地	13.2	—	2.0	包含層	
第479図38	京都系土師器	皿	在地	14.1	—	2.7	包含層	
第479図39	京都系土師器	皿	在地	14.0	—	2.7	包含層	
第479図40	京都系土師器	皿	在地	14.0	—	1.8	包含層	
第479図41	京都系土師器	皿	在地	(14.6)	—	—	包含層	
第479図42	京都系土師器	皿	在地	16.6	—	2.4	包含層	
第479図43	京都系土師器	皿	在地	16.2	—	2.6	包含層	
第480図1	土師質土器	小皿	在地	3.6	2.3	1.2	包含層	
第480図2	土師質土器	小皿	在地	4.6	3.2	1.0	包含層	
第480図3	土師質土器	小皿	在地	4.6	3.0	1.1	包含層	
第480図4	土師質土器	小皿	在地	4.8	3.5	1.2	包含層	
第480図5	土師質土器	小皿	在地	5.0	2.6	1.6	包含層	
第480図6	土師質土器	小皿	在地	4.7	2.5	1.2	包含層	
第480図7	土師質土器	小皿	在地	5.4	3.1	1.4	包含層	
第480図8	土師質土器	小皿	在地	4.9	3.2	1.5	包含層	
第480図9	土師質土器	皿	在地	5.5	2.5	2.0	包含層	白色系
第480図10	土師質土器	皿	在地	7.2	4.7	1.6	包含層	
第480図11	土師質土器	皿	在地	7.8	5.0	1.5	包含層	
第480図12	土師質土器	皿	在地	7.6	4.0	1.6	包含層	
第480図13	土師質土器	皿	在地	7.6	4.7	1.9	包含層	
第480図14	土師質土器	皿	在地	8.5	5.0	2.0	包含層	
第480図15	土師質土器	皿	在地	8.7	4.6	1.8	包含層	
第480図16	土師質土器	皿	在地	8.3	5.5	2.2	包含層	
第480図17	土師質土器	皿	在地	8.4	5.6	2.2	包含層	
第480図18	土師質土器	皿	在地	7.5	4.7	2.4	包含層	
第480図19	土師質土器	皿	在地	8.1	4.4	2.1	包含層	
第480図20	土師質土器	皿	在地	9.0	4.7	1.8	包含層	
第480図21	土師質土器	皿	在地	9.8	5.6	1.6	包含層	
第480図22	土師質土器	皿	在地	8.8	5.0	1.4	包含層	
第480図23	土師質土器	皿	在地	9.2	5.0	2.1	包含層	
第480図24	土師質土器	皿	在地	9.8	5.0	1.9	包含層	
第480図25	土師質土器	皿	在地	9.0	5.3	2.1	包含層	
第480図26	土師質土器	皿	在地	10.2	5.4	3.1	包含層	
第480図27	土師質土器	皿	在地	11.4	5.0	3.2	包含層	
第480図28	土師質土器	皿	在地	11.4	6.8	2.3	包含層	
第480図29	土師質土器	皿	在地	11.0	5.8	2.5	包含層	
第480図30	土師質土器	皿	在地	11.0	5.8	2.2	包含層	
第480図31	土師質土器	皿	在地	(11.2)	(6.0)	2.7	包含層	
第480図32	土師質土器	皿	在地	11.9	5.1	3.4	包含層	
第480図33	土師質土器	皿	在地	11.8	6.0	2.6	包含層	
第480図34	土師質土器	皿	在地	(11.4)	(6.0)	2.6	包含層	
第480図35	土師質土器	皿	在地	(11.4)	(6.0)	3.3	包含層	
第480図36	土師質土器	皿	在地	11.0	4.4	3.4	包含層	
第480図37	土師質土器	皿	在地	(11.6)	(6.0)	3.3	包含層	
第481図1	土師質土器	皿	在地	12.2	5.8	2.8	包含層	
第481図2	土師質土器	皿	在地	(12.0)	6.0	2.9	包含層	
第481図3	土師質土器	皿	在地	12.0	6.6	2.7	包含層	
第481図4	土師質土器	皿	在地	12.0	6.6	3.0	包含層	
第481図5	土師質土器	皿	在地	12.6	5.8	3.2	包含層	
第481図6	土師質土器	皿	在地	13.0	5.8	2.8	包含層	
第481図7	土師質土器	皿	在地	12.0	6.0	2.7	包含層	
第481図8	土師質土器	皿	在地	11.6	6.0	2.9	包含層	

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類⑱)

標図No	器種		生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考	図版No
				口径	底径	器高			
第481図9	土師質土器	皿	在地	11.7	6.4	3.0	包含層		
第481図10	土師質土器	皿	在地	12.0	7.0	3.0	包含層		
第481図11	土師質土器	皿	在地	11.9	5.5	3.2	包含層		
第481図12	土師質土器	皿	在地	11.8	6.5	3.0	包含層		
第481図13	土師質土器	皿	在地	11.7	6.1	2.9	包含層		
第481図14	土師質土器	皿	在地	(12.8)	(6.4)	2.8	包含層		
第481図15	土師質土器	皿	在地	(12.6)	(6.2)	2.7	包含層		
第481図16	土師質土器	皿	在地	12.4	5.9	2.9	包含層		
第481図17	土師質土器	皿	在地	12.6	5.8	3.2	包含層		
第481図18	土師質土器	皿	在地	13.4	6.5	3.2	包含層	穿孔あり	
第481図19	土師質土器	皿	在地	18.4	9.6	4.5	包含層		
第482図1	土師質土器	皿	在地	9.6	6.2	2.2	包含層		
第482図2	土師質土器	皿	在地	10.4	6.0	3.1	包含層		
第482図3	土師質土器	皿	在地	11.0	6.6	2.4	包含層		
第482図4	土師質土器	皿	在地	12.2	7.8	2.6	包含層		
第482図5	土師質土器	皿	在地	12.1	6.9	2.3	包含層		
第482図6	土師質土器	皿	在地	12.0	6.0	3.0	包含層		
第482図7	土師質土器	皿	在地	12.4	8.8	2.3	包含層		
第482図8	土師質土器	皿	在地	12.0	8.5	3.0	包含層		
第482図9	土師質土器	皿	在地	7.2	6.4	1.5	包含層		
第482図10	土師質土器	皿	在地	8.2	6.6	1.4	包含層		
第482図11	土師質土器	皿	在地	8.0	7.0	2.1	包含層		
第482図12	土師質土器	皿	在地	8.9	7.0	1.1	包含層		
第482図13	土師質土器	坏	在地	8.4	6.2	2.2	包含層		
第482図14	土師質土器	坏	在地	7.0	5.1	2.6	包含層		
第482図15	土師質土器	坏	在地	8.4	5.8	2.3	包含層		
第482図16	土師質土器	坏	在地	7.5	5.8	2.5	包含層		
第482図17	土師質土器	坏	在地	12.0	9.0	2.7	包含層		
第482図18	土師質土器	坏	在地	12.0	10.0	3.2	包含層	穿孔あり	
第482図19	土師質土器	坏	在地	12.7	8.8	3.4	包含層		
第483図1	土師質土器	蓋	在地	(5.5)	3.0	1.5	包含層		
第483図2	土師質土器	蓋	在地	(4.3)	(4.0)	1.9	包含層		
第483図3	土師質土器	蓋	在地	4.8	4.0	1.8	包含層		
第483図4	土師質土器	蓋	在地	(5.2)	(2.8)	1.7	包含層		
第483図5	土師質土器	蓋	在地	(4.9)	3.7	1.8	包含層		
第483図6	土師質土器	蓋	在地	6.0	4.4	1.8	包含層		
第483図7	土師質土器	蓋	在地	(6.2)	(4.0)	2.0	包含層		
第483図8	土師質土器	耳皿	在地	5.5	3.2	1.8	包含層		
第483図9	土師質土器	耳皿	在地	(5.4)	3.5	2.2	包含層		
第483図10	土師質土器	皿	在地	6.8	4.4	2.6	包含層		
第483図11	土師質土器	燭台	在地	8.8	—	—	包含層		
第483図12	土師質土器	燭台	在地	—	(7.2)	—	包含層		
第483図13	土師質土器	燭台	在地	8.4	7.6	6.4	包含層		
第483図15	瓦質土器	鍋	在地?	—	—	—	包含層	防長系	
第483図16	瓦質土器	鍋	在地	—	—	—	包含層		
第483図17	瓦質土器	鍋	在地	—	—	—	包含層		
第484図1	瓦質土器	鉢	在地	—	—	—	包含層		
第484図2	瓦質土器	鉢	在地	—	—	—	包含層		
第484図3	瓦質土器	鉢	在地	(25.4)	—	—	包含層		
第484図4	瓦質土器	鉢	在地	(35.0)	—	—	包含層		
第484図5	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第484図6	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第484図7	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第484図8	瓦質土器	火鉢	在地	(33.0)	—	—	包含層		
第484図9	瓦質土器	火鉢	在地	(35.0)	—	—	包含層		
第484図10	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第484図11	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第484図12	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第484図13	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第484図14	瓦質土器	火鉢	在地	—	(23.6)	—	包含層		
第484図15	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	包含層		
第485図1	焼締陶器	大甕	備前	(41.0)	—	—	包含層		
第485図2	須恵質土器	甕	不明	(22.6)	—	—	包含層		
第492図1	縄文土器	甕	—	—	—	—	ビット	轟B式	
第492図2	縄文土器	鉢	—	—	—	—	SD145	北久根山式	
第492図3	縄文土器	深鉢	—	—	—	—	SK119	刻目突帯文	
第492図4	縄文土器	浅鉢	—	—	—	—	SD310	波状口縁	
第492図5	弥生土器	脚 or 器台	—	13.6	—	—	SD145		
第492図6	弥生土器	甕	—	—	—	—	SE228		
第492図7	土師質土器	甕	—	(20.0)	—	—	包含層		
第492図8	土師質土器	甕	—	(20.0)	—	—	SD208		
第492図9	土師質土器	鉢	—	(12.8)	—	—	トレンチ		
第492図10	土師質土器	鉢	—	(12.2)	—	—	トレンチ		
第492図11	須恵器	甕?	—	—	12.4	—	包含層		
第492図12	埴輪	—	—	—	—	—	SD310		
第492図13	埴輪	—	—	—	—	—	SK202		
第492図14	陶器	皿	—	—	(6.8)	—	SK119	緑釉陶器	

遺物観察表40
(5次調査B区)

5次調査B区遺物観察表(土製品①)

押印No	品 種	材 質	寸法 (単位 cm)							重 量 (g)	遺構名	備 考	図版 No
			部 位	—	—	—	—	—	—				
第266図5	土鍾	土師質	—	—	—	—	—	孔径	0.7	—	SX102		
第268図2	有孔円盤	土師質	—	径	2.1	厚さ	0.6	孔径	0.6	—	SD103		
第268図3	土鍾	土師質	—	長さ	4.5	幅	1.1	孔径	0.3	5.7	SD103		
第285図16	土鍾	土師質	—	長さ	4.6	—	—	孔径	0.4	—	SD114		
第298図1	泥塔	土師質	—	高さ	6.4	幅	3.4	—	—	116.9	SD151		38
第298図2	土鍾	土師質	—	長さ	5.5	—	—	孔径	0.2	—	SD151		
第298図3	土鍾	土師質	—	長さ	4.3	—	—	孔径	0.5	—	SD151		
第298図4	土鍾	土師質	—	長さ	5.6	—	—	孔径	0.8	—	SD151		
第298図5	有孔円盤	土師質	—	径	2.9	厚さ	0.3	孔径	0.6	—	SD151		
第298図6	有孔円盤	土師質	—	径	4.7	厚さ	0.3	孔径	0.5	—	SD151	京都系土師器を加工	
第330図11	土鍾	土師質	—	長さ	4.3	幅	1.8	孔径	0.9	—	SK222		
第332図3	有孔円盤	土師質	—	径	2.4	厚さ	—	孔径	0.6	—	SK226		
第381図16	土鍾	土師質	—	長さ	6.4	幅	4.3	孔径	1.6	115.1	SK230		
第389図2	土鍾	土師質	—	長さ	4.0	幅	1.2	—	—	—	SK242		
第447図1	土器片加工品	土師質	—	径	2.2	厚さ	0.4	—	—	—	SX170	1~47 おはじき?	39
第447図2	土器片加工品	土師質	—	径	2.8	厚さ	0.4	—	—	—	SX170		39
第447図3	土器片加工品	土師質	—	径	2.6	厚さ	0.4	—	—	—	SX170		39
第447図4	土器片加工品	土師質	—	径	2.0	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図5	土器片加工品	土師質	—	径	2.4	厚さ	0.8	—	—	—	SX170		39
第447図6	土器片加工品	土師質	—	径	2.8	厚さ	0.5	—	—	—	SX170		39
第447図7	土器片加工品	土師質	—	径	2.6	厚さ	0.8	—	—	—	SX170		39
第447図8	土器片加工品	土師質	—	径	2.6	厚さ	0.8	—	—	—	SX170		39
第447図9	土器片加工品	土師質	—	径	2.8	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図10	土器片加工品	土師質	—	径	2.8	厚さ	0.8	—	—	—	SX170		39
第447図11	土器片加工品	土師質	—	径	2.4	厚さ	0.4	—	—	—	SX170		39
第447図12	土器片加工品	土師質	—	径	2.4	厚さ	0.4	—	—	—	SX170		39
第447図13	土器片加工品	土師質	—	径	2.8	厚さ	0.4	—	—	—	SX170		39
第447図14	土器片加工品	土師質	—	径	2.4	厚さ	0.8	—	—	—	SX170		39
第447図15	土器片加工品	土師質	—	径	2.8	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図16	土器片加工品	土師質	—	径	2.4	厚さ	0.5	—	—	—	SX170		39
第447図17	土器片加工品	土師質	—	径	2.4	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図18	土器片加工品	土師質	—	径	3.2	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図19	土器片加工品	土師質	—	径	3.0	厚さ	0.8	—	—	—	SX170		39
第447図20	土器片加工品	土師質	—	径	2.8	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図21	土器片加工品	土師質	—	径	2.6	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図22	土器片加工品	土師質	—	径	2.6	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図23	土器片加工品	土師質	—	径	3.0	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図24	土器片加工品	土師質	—	径	2.6	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図25	土器片加工品	土師質	—	径	3.0	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図26	土器片加工品	土師質	—	径	2.8	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図27	土器片加工品	土師質	—	径	2.6	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図28	土器片加工品	土師質	—	径	2.8	厚さ	0.8	—	—	—	SX170		39
第447図29	土器片加工品	土師質	—	径	3.0	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図30	土器片加工品	土師質	—	径	2.6	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図31	土器片加工品	土師質	—	径	2.6	厚さ	0.5	—	—	—	SX170		39
第447図32	土器片加工品	土師質	—	径	2.4	厚さ	0.8	—	—	—	SX170		39
第447図33	土器片加工品	土師質	—	径	2.4	厚さ	0.5	—	—	—	SX170		39
第447図34	土器片加工品	土師質	—	径	2.4	厚さ	0.5	—	—	—	SX170		39
第447図35	土器片加工品	土師質	—	径	2.2	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図36	土器片加工品	土師質	—	径	2.4	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図37	土器片加工品	土師質	—	径	2.4	厚さ	0.5	—	—	—	SX170		39
第447図38	土器片加工品	土師質	—	径	2.4	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図39	土器片加工品	土師質	—	径	3.0	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図40	土器片加工品	土師質	—	径	2.2	厚さ	0.7	—	—	—	SX170		39
第447図41	土器片加工品	土師質	—	径	2.4	厚さ	0.4	—	—	—	SX170		39
第447図42	土器片加工品	土師質	—	径	2.8	厚さ	0.4	—	—	—	SX170		39
第447図43	土器片加工品	土師質	—	径	2.6	厚さ	0.5	—	—	—	SX170		39
第447図44	土器片加工品	土師質	—	径	2.6	厚さ	0.4	—	—	—	SX170		39
第447図45	土器片加工品	土師質	—	径	2.4	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図46	土器片加工品	土師質	—	径	2.4	厚さ	0.6	—	—	—	SX170		39
第447図47	土器片加工品	土師質	—	径	3.0	厚さ	0.5	—	—	—	SX170		39
第455図1	土鍾	土師質	—	長さ	6.2	幅	2.2	孔径	0.4	—	SX113		
第458図1	土鍾	土師質	—	長さ	6.2	幅	2.4	孔径	0.5	—	SX124		
第463図2	有孔円盤	土師質	—	径	2.2	厚さ	0.4	孔径	0.5	—	SX143		
第473図6	糶	土師質	羽口	長さ	16.0	幅	9.2	孔径	1.0	—	SX131		
第473図7	糶	土師質	羽口	長さ	11.0	幅	9.0	孔径	4.0	—	SX131		
第483図14	糶	土師質	羽口	—	—	—	—	—	—	—	包含層		
第487図1	土鍾	土師質	—	長さ	2.7	幅	1.1	孔径	0.4	—	包含層		
第487図2	土鍾	土師質	—	長さ	3.4	幅	0.8	孔径	0.3	—	包含層		
第487図3	土鍾	土師質	—	長さ	4.2	幅	1.5	孔径	0.4	—	包含層		
第487図4	土鍾	土師質	—	長さ	3.7	幅	1.4	孔径	0.4	—	包含層		
第487図5	土鍾	土師質	—	長さ	4.4	幅	1.4	孔径	0.3	—	包含層		
第487図6	土鍾	土師質	—	長さ	4	幅	1.1	孔径	0.3	—	包含層		
第487図7	土鍾	土師質	—	長さ	3.9	幅	1.0	孔径	0.3	—	包含層		
第487図8	土鍾	土師質	—	長さ	3.8	幅	1.1	孔径	0.4	—	包含層		

5次調査B区遺物観察表(土製品②)

採図No	品 種	材 質	寸法(単位 cm)							重 量 (g)	遺構名	備 考	図版 No
			部 位										
第487図9	土鍾	土師質	—	長さ	4.3	幅	1.2	孔径	0.5	—	包含層		
第487図10	土鍾	土師質	—	長さ	4.7	幅	1.3	孔径	0.2	—	包含層		
第487図11	土鍾	土師質	—	長さ	4.5	幅	1.4	孔径	0.3	—	包含層		
第487図12	土鍾	土師質	—	長さ	3.2	幅	1.2	孔径	0.3	—	包含層		
第487図13	土鍾	土師質	—	長さ	4.6	幅	1.6	孔径	0.5	—	包含層		
第487図14	土鍾	土師質	—	長さ	4.5	幅	1.2	孔径	0.4	—	包含層		
第487図15	土鍾	土師質	—	長さ	5.5	幅	1.2	孔径	0.3	—	包含層		
第487図16	土鍾	土師質	—	長さ	5.8	幅	1.3	孔径	0.3	—	包含層		
第487図17	土鍾	土師質	—	長さ	5.7	幅	1.4	孔径	0.3	—	包含層		
第487図18	土鍾	土師質	—	長さ	5.3	幅	1.0	孔径	0.4	—	包含層		
第487図19	土鍾	土師質	—	長さ	6	幅	1.3	孔径	0.4	—	包含層		
第487図20	土鍾	土師質	—	長さ	7.2	幅	1.4	孔径	0.4	—	包含層		
第487図21	土鍾	土師質	—	長さ	3.5	幅	2.0	孔径	0.4	—	包含層		
第487図23	有孔円盤	土師質	—	径	2.5	厚さ	0.4	孔径	0.5	—	包含層		
第487図26	土器片加工品	土師質	—	径	3.2	厚さ	0.9	—	—	—	包含層	京都系土師器を加工	
第487図27	土器片加工品	瓦質	—	径	3.7	厚さ	0.7	—	—	—	包含層		
第487図28	土器片加工品	瓦質	—	径	2.7	厚さ	0.9	—	—	—	包含層		
第487図29	土器片加工品	土師質	—	径	3.2	厚さ	1.1	—	—	—	包含層		

5次調査B区遺物観察表(金属製品)

採図No	品 種	材 質	寸法(単位 cm)							重 量 (g)	遺構名	備 考	図版 No
			部 位										
第255図	煙管	真鍮	火皿	口径	2.8	—	—	—	—	—	SD210		
第266図6	小柄	青銅	柄~刃	柄長	6.5	刃長	9.0	—	—	—	SX102		
第269図1	碗?	青銅	口縁部	—	—	—	—	—	—	—	SD103		
第268図5	鍵	銅	—	長さ	7.3	幅	3.2	—	—	14.8	SD103		40
第281図11	小柄	鉄	刃	長さ	12.4	幅	2.2	厚さ	1.3	—	SD103		
第285図17	不明	鉄	—	長さ	20.8	幅	2.4	—	—	—	SD114		
第304図2	鉄鍬?	鉄	—	長さ	8.2	幅	1.5	—	—	—	SD151		
第304図1	和釘	鉄	—	長さ	7.0	幅	0.6	—	—	—	SD153		
第414図6	杓子	鉄	—	口径	5.8	底径	4.0	器高	—	—	SE220		
第458図2	不明	青銅	—	長さ	9.0	幅	1.5	—	—	—	SX124		
第488図11	煙管	真鍮	火皿	口径	1.6	—	—	—	—	—	包含層		
第488図12	靱尻金具	銅	—	長さ	3.0	幅	3.6	—	—	—	包含層		40

5次調査B区遺物観察表(石製品)

採図No	品 種	材 質	寸法(単位 cm)							重 量 (g)	遺構名	備 考	図版 No
			部 位										
第263図28	石臼	石	罎	—	—	—	—	—	—	—	SD101		
第263図29	石臼	石	罎	—	—	—	—	—	—	—	SD101		
第268図4	砥石	不明	—	長さ	6.6	幅	4.6	厚さ	2.5	145.1	SD103		
第297図8	不明	凝灰岩	—	—	—	—	—	—	—	—	SD151		
第327図	硯	輝緑凝灰岩	—	長さ	6.8	幅	4.7	高さ	1.2	—	SK214		
第373図	砥石	不明	—	長さ	6.2	幅	4.4	厚さ	1.4	73.3	SK133		
第414図5	石臼	凝灰岩	下臼	口径	—	底径	16.2	器高	8.6	—	SE220		
第463図3	不明	凝灰岩	—	長さ	20.0	幅	18.5	高さ	8.6	—	SX143		
第473図8	石臼	不明	上臼	口径	17.0	底径	19.8	器高	7.0	—	SX131		
第473図9	石臼	不明	上臼	口径	24.0	底径	24.8	器高	8.0	—	SX131		
第485図5	石臼	不明	罎	—	—	—	—	—	—	—	包含層		
第485図6	石臼	不明	罎	—	—	—	—	—	—	—	包含層		
第485図7	石臼	不明	下臼	—	—	—	—	—	—	—	包含層		
第486図1	石臼	不明	上臼	—	—	—	—	—	—	—	包含層		
第486図2	石臼	不明	上臼	—	—	—	—	—	—	—	包含層		
第486図3	石臼	不明	上臼	—	—	—	—	—	—	—	包含層		
第486図4	石臼	不明	上臼	—	—	—	—	—	—	—	包含層		
第486図5	不明	凝灰岩	—	—	—	—	—	—	—	—	包含層		
第487図22	有孔円盤	軽石	—	径	1.9	厚さ	0.4	孔径	0.4	—	包含層		
第487図24	有孔円盤	軽石	—	径	3.5	厚さ	1.0	孔径	0.5	—	包含層		
第487図25	有孔円盤	軽石	—	径	6.9	厚さ	3.3	孔径	1.2	—	包含層		
第487図30	軽石加工品	軽石	—	径	7.2	厚さ	2.5	孔径	0.5	—	包含層		
第488図1	硯	不明	—	長さ	7.5	幅	3.1	高さ	1.1	—	包含層		
第488図2	硯	輝緑凝灰岩	—	長さ	3.4	幅	3.4	高さ	1.3	—	包含層		
第488図3	不明	滑石	—	長さ	6.0	幅	2.1	厚さ	1.5	—	包含層		
第488図4	砥石	不明	—	長さ	3.1	幅	1.5	厚さ	1.5	—	包含層		
第488図5	砥石	不明	—	長さ	4.1	幅	2.2	厚さ	0.8	12.4	包含層		
第488図6	砥石	不明	—	長さ	4.5	幅	2.2	厚さ	2.2	—	包含層		
第488図7	砥石	天草石	—	長さ	5.2	幅	4.0	厚さ	2.4	—	包含層		
第488図8	砥石	天草石	—	長さ	5.3	幅	3.0	厚さ	1.4	—	包含層		
第488図9	砥石	不明	—	長さ	5.3	幅	4.3	厚さ	2.8	104.8	包含層		
第488図10	砥石	不明	—	長さ	6.6	幅	5.3	厚さ	1.3	76.8	包含層		

遺物観察表42
(5次調査B区)

5次調査B区遺物観察表(瓦)

挿図No	品 種	部 位	寸法 (単位 cm)						遺構名	備 考	図版 No
			径	長さ	厚さ	幅	長さ	厚さ			
第268図9	軒丸瓦	瓦当部	径	9.5	厚さ	1.3	—	—	SD103		
第268図10	塙		長さ	13.2	幅	13.6	厚さ	2.7	SD103		
第282図1	平瓦		長さ	14.4	幅	11.5	厚さ	2.1	SD145		
第282図2	平瓦		長さ	12.8	幅	110.2	厚さ	2.2	SD145		
第282図3	平瓦		長さ	18.6	幅	11.7	厚さ	2.4	SD145		
第282図4	丸瓦		長さ	30.3	幅	13.6	厚さ	—	SD145		
第297図3	軒平瓦	瓦当部	長さ	—	幅	—	厚さ	—	SD151		
第297図4	軒平瓦	瓦当部	長さ	—	幅	—	厚さ	3.8	SD151		
第297図5	丸瓦		長さ	—	幅	15.1	厚さ	—	SD151		
第297図6	道具瓦?		長さ	—	幅	10	厚さ	—	SD151		
第297図7	雁振瓦		長さ	—	幅	—	厚さ	—	SD151		
第372図	平瓦		長さ	11.5	幅	13.1	厚さ	1.8	SK133		
第414図4	塙		長さ	17.4	幅	12.7	厚さ	3.5	SE220		
第463図1	丸瓦		長さ	5.2	幅	7.6	厚さ	1.4	SX143		
第474図1	平瓦		長さ	7.2	幅	10	厚さ	1.8	SX131		
第474図2	丸瓦		長さ	8	幅	7.4	厚さ	1.8	SX131		
第474図3	雁振瓦		長さ	6	幅	14.2	厚さ	1.8	SX131		
第474図4	平瓦		長さ	10.2	幅	10.8	厚さ	1.8	SX131		
第474図5	丸瓦		長さ	23.8	幅	14.8	厚さ	1.3	SX131		
第485図3	軒丸瓦	瓦当部	長さ	7.4	幅	11.8	厚さ	1.8	包含層		
第485図4	平瓦		長さ	10.2	幅	8.4	厚さ	1.8	包含層		

5次調査B区遺物観察表(銅銭①)

挿図No	銭貨名	初鋳造年	国・王朝名	重さ (g)	直径 (cm)	書体	遺構名	備 考	図版 No
第264図1	元豊通貨	1078	北宋	2.4	2.4	篆書	SD101		
第264図2	天禧通貨	1017	北宋	3.0	2.5	真書	SD101		
第266図7	開元通貨	621	唐	1.5	2.3	真書	SX102		
第274図	熙寧元貨	1068	北宋	3.2	2.5	真書	SD105		
第281図12	洪部通貨	1368	明	1.9	2.4	真書	SD145		
第289図	大觀通貨	1107	北宋	1.8	2.5	真書	SD123		
第303図1	元祐通貨	1086	北宋	2.5	2.5	行書	SD151		
第303図2	不明	—	—	2.5	2.4	—	SD151		
第303図3	熙寧元貨	1068	北宋	3.4	2.5	篆書	SD151		
第303図4	元祐通貨	1086	北宋	2.5	4.1	行書	SD151		
第303図5	不明	—	—	1.5	2.5	—	SD151	「和通」のみ判読	
第303図6	天禧通貨	—	北宋	2.4	2.4	真書	SD151		
第303図7	開元通貨	621	唐	2.3	2.5	真書	SD151		
第303図8	熙寧元貨	1068	北宋	2.2	2.3	真書	SD151		
第303図9	熙寧元貨	1068	北宋	2.0	2.3	真書	SD151		
第303図10	熙寧元貨	1068	北宋	3.0	2.4	真書	SD151		
第303図11	元豊通貨	1078	北宋	2.3	2.4	真書	SD151		
第303図12	元豊通貨	1078	北宋	2.4	2.5	行書	SD151		
第303図13	政和通貨	1111	北宋	2.0	2.3	真書	SD151		
第303図14	景定通貨	1260	南宋	2.0	2.4	真書	SD151	背文字「元」	
第303図15	皇宋元貨	1253	南宋	2.2	2.4	真書	SD151		
第306図	紹聖元貨	1094	北宋	1.4	2.3	真書	SD153		
第317図	熙寧元貨	1068	北宋	3.4	2.5	篆書	SK106		
第374図1	不明	—	—	1.4	2.5	—	SK133		
第374図2	不明	—	—	1.2	2.3	—	SK133		
第382図	永樂通貨	1408	明	2.5	2.5	真書	SK230		
第384図	開元通貨	621	唐	2.4	2.3	真書	SK234		
第395図	宣徳通貨	1433	明	2.7	2.5	真書	SK245		
第407図	元豊通貨	1078	北宋	2.3	2.4	篆書	SK109		
第408図	景徳元貨	1004	北宋	2.6	2.4	真書	SK141		
第411図	不明	—	—	1.6	2.4	—	SK315		
第421図	治平元貨	1064	北宋	2.1	2.4	篆書	SE247		
第430図	皇宋通貨	1038	北宋	2.3	2.4	真書	SE249		
第454図4	天聖元貨	1023	北宋	1.4	2.5	篆書	SX113		
第462図	祥符元貨	1009	北宋	0.9	2.4	真書	SX143		
第489図1	不明	—	—	0.5	—	—	6 BSP55	「祐」のみ判読	
第489図2	永樂通貨	1408	明	3.0	2.5	真書	6 BSP102		
第489図3	咸平元貨	998	—	2.8	2.5	真書	7 CSP19		
第489図4	開元通貨	621	唐	2.5	2.4	真書	8 CSP34		
第489図5	皇宋通貨	1038	北宋	1.9	2.4	真書	9 DSP05		
第489図6	皇宋通貨	1038	北宋	2.2	2.4	真書	9 BSP12		
第489図7	紹聖元貨	1094	北宋	2.1	2.3	行書	10 CSP02		
第489図8	至和元貨	1054	北宋	5.4	2.4	真書	11 BSP06	2枚が付属	
第489図9	嘉祐通貨	1056	北宋	2.3	2.4	篆書	11 BSP12		
第489図10	景徳元貨	1034	北宋	3.0	2.5	篆書	11 BSP21		
第489図11	元豊通貨	1078	北宋	1.9	2.3	篆書	11 BSP21		

5次調査B区遺物観察表(銅銭②)

挿図No.	銭貨名	初鑄造年	国・王朝名	重さ(g)	直径(cm)	書体	遺構名	備 考	図版No.
第489図12	元豊通寶	1078	北宋	2.2	2.4	行書	118SP39		
第490図1	天聖元寶	1023	北宋	2.2	2.5	真書	包含層		
第490図2	皇宋通寶	1038	北宋	3.0	2.5	篆書	包含層		
第490図3	皇宋通寶	1038	北宋	2.0	2.4	真書	包含層		
第490図4	至和元寶	1054	北宋	2.9	2.5	真書	包含層		
第490図5	嘉祐通寶	1056	北宋	2.0	2.4	真書	包含層		
第490図6	嘉祐通寶	1056	北宋	1.6	—	真書	包含層		
第490図7	熙寧元寶	1068	北宋	2.4	2.3	真書	包含層		
第490図8	熙寧元寶	1068	北宋	3.6	2.5	真書	包含層		
第490図9	熙寧元寶	1068	北宋	2.2	2.5	真書	包含層		
第490図10	元豊通寶	1078	北宋	2.5	2.4	真書	包含層		
第490図11	元豊通寶	1078	北宋	2.5	2.4	行書	包含層		
第490図12	元祐通寶	1086	明	3.4	2.4	行書	包含層		
第490図13	元祐通寶	1086	北宋	2.5	2.4	行書	包含層		
第490図14	政和通寶	1111	北宋	2.4	2.5	篆書	包含層		
第490図15	洪部通寶	1368	明	3.4	2.4	真書	包含層		
第490図16	洪部通寶	1368	明	2.1	2.3	真書	包含層		
第490図17	洪部通寶	1368	明	1.8	2.4	真書	包含層		
第490図18	洪部通寶	1368	明	2.7	2.4	真書	包含層		
第491図1	不明	—	—	0.4	—	—	包含層	「寶」のみ判読	
第491図2	不明	—	—	1.9	—	—	包含層		
第491図3	不明	—	—	0.7	—	—	包含層		
第491図4	皇宋通寶	1038	北宋	0.7	—	—	包含層		
第491図5	大觀通寶	1107	北宋	1.4	2.4	真書	包含層		
第491図6	不明	—	—	0.9	—	—	包含層		
第491図7	不明	—	—	0.7	—	—	包含層	「元」のみ判読	
第491図8	寛永通寶		日本	1.1	2.4	—	包含層	新寛永	
第491図9	皇宋通寶	1038	北宋	0.8	2.4	真書	包含層		
第491図10	皇宋通寶	1038	北宋	1.6	2.4	真書	包含層		
第491図11	不明	—	—	1.8	2.5	—	包含層		
第491図12	不明	—	—	1.8	2.3	—	包含層		
第491図13	不明	—	—	1.4	2.2	—	包含層		
第491図14	不明	—	—	1.9	2.3	—	包含層	「寶」のみ判読	
第491図15	不明	—	—	2.6	2.4	—	包含層		
第491図16	朝鮮通寶	1423	朝鮮王朝	2.0	2.3	—	包含層		
第491図17	開元通寶	621	唐	4.8	2.5	真書	包含層	2枚が付着	
第491図18	開元通寶	621	唐	2.0	2.5	真書	包含層		
第491図19	太平通寶	976	北宋	1.7	2.5	真書	包含層		
第491図20	景德元寶	1004	北宋	2.8	2.5	真書	包含層		
第491図21	景德元寶	1004	北宋	2.7	2.5	真書	包含層		
第491図22	景德元寶	1004	北宋	2.1	2.5	真書	包含層		
第491図23	景德元寶	1004	北宋	2.6	2.4	真書	包含層		

8次調査区遺物観察表(土器・陶磁器類①)

No	器種		生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考	図版No
	口徑	底徑		器高					
509	青花	碗	中国	-	-	-	SD-103		
509	青花	碗	中国	-	(6.6)	-	SD-103		
509	青花	皿	景德鎮	-	(5.0)	-	SD-103	底径は高台径	
509	青磁	碗	中国	(10.6)	-	-	SD-103	口縁1/8形	
509	青花	万頭身	景德鎮	-	(5.6)	-	SD-103	底径は高台径	
509	青花	皿	彰洲窯	-	(3.4)	-	SD-103	底部1/2残存	
509	青磁	皿	中国	-	(8.4)	-	SD-103	底径は高台径	
509	青花	碗	彰洲窯	(9.8)	5.0	3.0	SD-103	底径は高台径	
509	青磁	碗	中国	-	(6.4)	-	SD-103	底径は高台径 貫入あり	
509	青花	?	中国	-	-	-	SD-103		
509	白磁	陵花皿	中国	(12.0)	-	-	SD-103		
509	青磁	鉢	中国	-	(11.0)	-	SD-103	底径は高台径	
509	青磁	碗	中国	-	4.9	-	SD-103	貫入あり	
509	白磁	碗	中国	(9.4)	-	-	SD-103		
509	磁器	皿	朝鮮産	-	4.0	-	SD-103		
509	青釉磁器	小皿	中国	(6.4)	3.2	1.2	SD-103	底径は高台径約1/3形	
509	青釉磁器	小皿	中国	(5.7)	-	0.75+α	SD-103	約1/5形	
510	陶器	擂鉢	備前	(27.6)	-	-	SD-103	底径は高台径 底部完形	
510	陶器	擂鉢	備前	-	-	-	SD-103		
510	陶器	擂鉢	備前	-	-	-	SD-103		
510	陶器	擂鉢	備前	(26.6)	-	-	SD-103		
510	陶器	擂鉢	備前	-	-	-	SD-103		
510	陶器	擂鉢	備前	(27.6)	-	-	SD-103		
510	陶器	擂鉢	備前	-	-	-	SD-103	破片	
510	陶器	擂鉢	備前?	(16.6)	(18.2)	-	SD-103		
510	陶器	擂鉢	備前	-	-	-	SD-103	底径は脚部最大径 スス付煎	
510	陶器	擂鉢	備前	-	(12.8)	-	SD-103		
511	陶器	甕	タイ	(23.2)	-	-	SD-103		
511	陶器	甕?	備前?	(22.4)	-	-	SD-103		
511	陶器	大甕	備前	(47.8)	-	-	SD-103	底径は脚部最大径 スス付煎	
511	陶器	甕	備前	-	-	-	SD-103	口縁1/5	
511	陶器	大甕	備前	-	-	-	SD-103		
511	陶器	大甕	備前	-	-	-	SD-103		
511	陶器	大甕	備前	-	-	-	SD-103		
511	陶器	甕底部	備前	-	24.4	-	SD-103		
512	陶器	大甕	備前	-	-	-	SD-103		
512	陶器	大甕	備前	-	-	-	SD-103		
512	陶器	甕	備前	-	-	-	SD-103		
512	陶器	甕	備前	-	-	-	SD-103	口縁部片	
512	陶器	水甕	備前	-	-	-	SD-103	破片	
512	陶器	甕	備前	-	-	-	SD-103	口縁部片	
512	陶器	甕?	備前	-	(12.0)	-	SD-103	破片	
512	陶器	甕	備前	(21.2)	-	-	SD-103		
512	陶器	鉢	備前	(16.6)	(18.2)	-	SD-103		
512	陶器	?	備前	(4.0)	-	-	SD-103	口縁部	
512	陶器	鉢?	備前	-	-	-	SD-103	口縁部6.5×13.0	
512	陶器	甕	備前	-	(16.6)	-	SD-103	底部	
512	陶器	鉢	備前	-	(24.2)	-	SD-103	口縁部	
512	陶器	鉢?	備前	-	-	-	SD-103		
512	陶器	?	備前	-	(10.0)	-	SD-103		
513	京都系土師器	小皿	在地	(13.0)	-	2.5	SD-103	底部1/4形	
513	京都系土師器	小皿	在地	(11.8)	(7.4)	1.9	SD-103		
513	京都系土師器	小皿	在地	(11.8)	-	2.5	SD-103		
513	京都系土師器	小皿	在地	(12.2)	-	2.3	SD-103		
513	京都系土師器	小皿	在地	(12.2)	-	2.1	SD-103	スス付煎 灯明皿?	
513	京都系土師器	小皿	在地	(12.2)	(6.2)	2.4	SD-103	完形	
513	京都系土師器	小皿	在地	(12.0)	(6.2)	2.3	SD-103	半完形	
513	京都系土師器	小皿	在地	(12.0)	(8.0)	1.9	SD-103	完形	
513	京都系土師器	小皿	在地	(12.3)	-	2.1	SD-103	完形	
513	京都系土師器	小皿	在地	(13.2)	-	2.6	SD-103	完形	
513	京都系土師器	小皿	在地	(11.8)	(5.0)	2.5	SD-103	完形	
513	京都系土師器	小皿	在地	(10.8)	6.4	3.2	SD-103	完形	
513	京都系土師器	小皿	在地	(8.6)	-	-	SD-103	完形	
513	京都系土師器	小皿	在地	(8.8)	-	-	SD-103	内外スス付煎	
513	京都系土師器	小皿	在地	(8.4)	-	2.3	SD-103	完形	
513	京都系土師器	小皿	在地	(9.0)	-	1.9	SD-103	1/3形	
513	京都系土師器	小皿	在地	9.0	2.0	2.1	SD-103	スス付煎(灯明用として使用)	
513	京都系土師器	小皿	在地	(8.4)	-	2.2	SD-103		
513	京都系土師器	小皿	在地	8.4	4.0	2.2	SD-103	口縁部~底部1/5形	
513	京都系土師器	小皿	在地	8.7	-	2.2	SD-103	1/4片	
513	京都系土師器	小皿	在地	9.0	-	2.2	SD-103	1/6形	
513	京都系土師器	小皿	在地	9.0	-	2.5	SD-103	1/3形	
513	京都系土師器	小皿	在地	9.9	-	2.7	SD-103		
513	京都系土師器	小皿	在地	8.4	-	2.3	SD-103	2/3完形	
513	京都系土師器	小皿	在地	(9.0)	-	2.1	SD-103	1/7残存	

8次調査区遺物観察表(土器・陶磁器類②)

	器種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考	図版No.
			口径	底径	器高			
513	京都系土師器	小皿	在地	9.0	—	2.1	SD-103	口縁部1/4形
513	京都系土師器	小皿	在地	(9.0)	(2.2)	2.2	SD-103	完形
513	京都系土師器	小皿	在地	(8.6)	(2.6)	2.0	SD-103	口縁~底部1/4形
513	京都系土師器	小皿	在地	(9.8)	—	2.5	SD-103	—
513	京都系土師器	小皿	在地	(9.8)	(4.6)	1.7	SD-103	口縁部1/4形
513	京都系土師器	小皿	在地	(9.2)	—	—	SD-103	スス付蓋1/4残存
513	京都系土師器	小皿	在地	(11.0)	(4.8)	2.0	SD-103	スス付蓋1/5残存
513	京都系土師器	小皿	在地	(11.4)	—	—	SD-103	完形スス付蓋
513	京都系土師器	小皿	在地	(11.6)	—	—	SD-103	スス付蓋1/3形
513	京都系土師器	小皿	在地	10.4	—	2.0	SD-103	完形
513	京都系土師器	小皿	在地	(11.6)	4.0	2.4	SD-103	スス付蓋約半形
513	京都系土師器	小皿	在地	(10.0)	—	2.5	SD-103	完形スス付蓋
513	京都系土師器	小皿	在地	(11.6)	(4.0)	2.0	SD-103	1/5残存
513	京都系土師器	小皿	在地	10.6	6.4	2.0	SD-103	完形
513	京都系土師器	小皿	在地	12.2	—	—	SD-103	1/4残存
513	京都系土師器	小皿	在地	(12.5)	—	2.4	SD-103	完形
513	京都系土師器	小皿	在地	8.7	2.5	1.8	SD-103	口縁部1/5形
513	京都系土師器	小皿	在地	8.9	3.7	2.1	SD-103	—
513	京都系土師器	小皿	在地	9.2	3.4	2.0	SD-103	口縁部1/2形底部完形
513	京都系土師器	小皿	在地	9.0	2.2	3.0	SD-103	完形
513	京都系土師器	小皿	在地	12.6	2.6	3.0	SD-103	ほぼ完形
513	京都系土師器	坏	在地	(11.6)	—	2.4	SD-103	スス付蓋灯明用?
513	京都系土師器	坏	在地	11.0	—	3.3	SD-103	1/3形
513	京都系土師器	坏	在地	10.4	4.7	3.6	SD-103	1/3形
513	京都系土師器	坏	在地	10.6	—	3.6	SD-103	1/4残存
514	京都系土師器	坏	在地	(11.0)	(4.8)	3.2	SD-103	完形
514	京都系土師器	坏	在地	11.6	6.0	3.4	SD-103	スス付蓋1/2形
514	京都系土師器	坏	在地	11.0	—	3.4	SD-103	スス付蓋口縁~底部1/6
514	京都系土師器	坏	在地	(11.0)	6.8	3.1	SD-103	完形
514	京都系土師器	坏	在地	(11.8)	—	—	SD-103	1/5残存
514	京都系土師器	坏	在地	(11.8)	6.0	3.1	SD-103	口縁~底部1/4形
514	京都系土師器	坏	在地	(10.4)	—	—	SD-103	1/3形
514	京都系土師器	坏	在地	(10.6)	—	3.8	SD-103	1/4形
514	京都系土師器	坏	在地	(10.4)	—	3.4	SD-103	完形
514	京都系土師器	小皿	在地	—	(6.8)	—	SD-103	1/4残存
514	京都系土師器	小皿	在地	—	—	—	SD-103	底部のみスス付蓋
514	京都系土師器	小皿	在地	—	—	—	SD-103	口縁部4.7×2.5
514	京都系土師器	小皿	在地	—	—	—	SD-103	口縁部4.2×6.9
514	京都系土師器	小皿	在地	—	—	—	SD-103	口縁部
514	土師質土器	土鍋	国産	(32.2)	—	—	SD-103	—
514	土師質土器	土鍋	国産	—	—	—	SD-103	口縁部4.1×5.5
514	土師質土器	風炉もしくは鍋	国産	—	—	—	SD-103	口縁部破片
514	土師器	灯火具	国産	—	(6.7)	—	SD-103	—
514	土師質土器	焼燗登	朝鮮産	(4.2)	(7.8)	—	SD-103	口縁部3.5×1.5
514	土師質土器	高台付杯	在地	—	(9.5)	—	SD-103	口縁は復元部部径
515	瓦質土器	火鉢	国産	(43.0)	—	—	SD-103	—
515	瓦質土器	火鉢	国産	—	—	—	SD-103	—
515	瓦質土器	風炉	国産	(31.4)	—	—	SD-103	—
515	瓦質土器	風炉	国産	(29.2)	—	—	SD-103	—
515	瓦質土器	火鉢	国産	—	—	—	SD-103	—
515	瓦質土器	火鉢	国産	—	(28.4)	—	SD-103	脚がおれている
515	瓦質土器	火鉢	国産	—	27.8	—	SD-103	—
516	瓦質土器	槽鉢	国産	—	—	—	SD-103	口縁部破片
516	瓦質土器	槽鉢	国産	—	(14.3)	—	SD-103	底部1/5
516	瓦質土器	槽鉢	国産	—	(7.8)	—	SD-103	—
516	瓦質土器	槽鉢	国産	(26.6)	—	—	SD-103	型造り
516	瓦質土器	槽鉢	国産	—	(13.2)	—	—	—
516	瓦質土器	こね鉢	国産	(32.2)	—	—	—	—
516	瓦質土器	土鍋	国産	—	—	—	—	—
516	瓦質土器	?	国産	(13.6)	—	—	—	—
521		埴の蓋	国産	—	5.0	2.9	SD-103	—
521		埴の蓋	国産	—	4.8	—	SD-103	付蓋物あり
521		埴	国産	4.4	—	1.7	SD-103	スス付蓋、付蓋物あり
521		埴	国産	4.2	—	1.8	SD-103	—
521		埴	国産	4.2	—	1.7	SD-103	—
521		埴	国産	4.1	—	1.5	SD-103	青灰色の付蓋物あり
521		埴	国産	4.4	—	1.7	SD-103	—
521		埴	国産	(4.6)	—	—	SD-103	—
521		埴の蓋	国産	(4.2)	—	—	SD-103	—
521		埴	国産	5.2	—	2.0	SD-103	—
521		埴	国産	(5.7)	—	(2.1)	SD-103	赤褐色の付蓋物あり
521		埴	国産	(5.8)	(2.0)	2.6	SD-103	1/2口縁残存
521		埴	国産	(4.7)	—	—	SD-103	1/3口径残存
521		埴	国産	(5.2)	—	—	SD-103	1/4口縁残存
521		埴	国産	(5.4)	—	2.9	SD-103	1/4口縁残存

8次調査区遺物観察表(土器・陶磁器類④)

No.	器種		生産地	法量(単位cm)			追掲名	備考	図版 No.
	口徑	底徑		器高					
526	土師質土器	土鍋	在地	-	-	-	SD-104	口縁部片	
526	土師質土器	土鍋	在地	-	-	-	SD-105		
526	土師質土器	燗台	国産	-	-	-	SD-101		
526	土師質土器	燗台	国産	-	-	-	SD-101	底部ほぼ完形	
527	瓦質土器	甕	国産	(24.8)	-	-	SD-101		
527	瓦質土器	鍋?	国産	-	-	-	SD-101		
527	瓦質土器	摺鉢	国産	(31.8)	-	-	SD-101		
527	瓦質土器	摺鉢	国産	-	-	-	SD-101		
527	瓦質土器	摺鉢	国産	-	-	-	SD-101		
527	瓦質土器	摺鉢	国産	-	-	-	SD-101		
527	瓦質土器	摺鉢	国産	-	(8.9)	-	SD-101		
527	瓦質土器		国産	-	9.0	4.3+α	SD-101	底部破片	
527		摺鉢	国産	-	-	-	SD-101		
527	瓦質	火鉢	国産	-	-	-	SD-101		
527	瓦質	火鉢	国産	-	-	-	SD-101		
527	瓦質	火鉢	国産	-	-	-	SD-101	脚部1/4形	
527	火鉢	脚	国産	-	-	-	SD-101		54
527	火鉢	風炉、脚部	国産	-	-	-	SD-101		54
527	瓦質土器	風炉	国産	-	-	-	SD-101	破片	
527	瓦質土器	香炉	国産	-	(13.7)	-	SD-101		
532	須恵質	甕	在地	-	-	-	SD-101		
532	須恵質	甕	在地	-	-	-	SD-101		
532	須恵器	甕	在地	-	-	-	SD-101	10.5×6.2	
532	須恵器	高杯	在地	5.0	-	-	SD-101	頸部の径	
532	須恵器	高杯	在地	-	-	-	SD-101		
532	土師器	甕	国産	-	-	-	SD-101	二次加熱輪づみ	
534	青磁	皿	中国産	-	-	-	SD102	貫入あり	
535	白磁	皿	中国産	(17.0)	(8.8)	(1.8)	SD-105		
535	陶器	摺鉢	備前	(24.4)	-	-	SD-105		
535	陶器	甕	備前	-	-	-	SD-105		
535	陶器	摺鉢	周防?	-	-	-	SD-105		
535	土師質土器	坏	在地	(11.8)	(9.0)	3.7	SD-105	1/3残存	
535	瓦質土器?	甕	在地	(40.0)	(34.0)	-	SD-105	底径は頸部1/5残存	
535	土師質土器	甕	在地	-	-	-	SD-105	外スス付着	
535	縄文土器	鉢	在地	-	-	-	SD-105		
536	青花	碗	泉徳鎮	-	6.0	-	SD-106A	底部1/5形	
536	青磁	碗	中国産	-	-	-	SD-106A	口縁部3.3×2.1貫入あり	
536	藍南三彩	?	中国産	-	-	-	SD-106A		53
536	朝鮮王朝産陶器	粉青沙器	朝鮮	-	-	-	SD-106A	胴部破片3.2×2.1	
536	白磁	?	?	-	(6.0)	-	SD-106A	底部の一部	
536	陶器	摺鉢	備前	(12.0)	-	-	SD-106A		
536	陶器	甕	備前	-	-	-	SD-106A		
536	土師質土器	坏	在地	(14.4)	(10.0)	3.6	SD-106A	底部1/4形	
536	土師質土器	小皿	在地	(7.0)	(3.5)	1.6	SD-106A	2/3形スス付着	
536	土師質土器	小皿	在地	-	(5.4)	-	SD-106A	底部1/4形	
536	土師質土器	坏	在地	(13.0)	-	-	SD-106A	口縁部1/4形	
536	瓦器	碗	在地	(10.8)	-	-	SD-106A	口縁部1/6残	
536	土師質土器	火鉢	在地	-	-	-	SD-106A	胴部破片5.6×5.1	
536	瓦質土器	火鉢	在地	-	-	-	SD-106A	口縁部7.4×6.4	
536	瓦質土器	火鉢	在地	-	-	-	SD-106A	口縁部5.5×6	
536	土師質土器	甕	在地	-	-	-	SD-106A	把手部分11.7×10	
536	須恵器	高台杯	在地	-	(10.0)	-	SD-106A	底部1/4形	
536	須恵器	高台杯	在地	-	(10.3)	-	SD-106A	底部1/4形	
537	青磁	?	中国産	-	-	-	SD-106B	貫入あり	
537	陶器	鉢	ベトナム製?	-	(21.0)	-	SD-106B	底部1/4形	
537	陶器	?	ベトナム?	-	-	-	SD-106B		
537	陶器	片口摺鉢	備前	-	-	-	SD-106B		
537	土師質土器	轆の羽口	在地	(8.4)	-	-	SD-106B	5.3×5.6スス付着	
538	粉青沙器	碗	朝鮮	-	-	-	一括	口縁部破片	
538	陶器	摺鉢	備前	-	-	-	一括	口縁部10.1×8.4	
538	陶器	摺鉢	備前	-	-	-	一括	口縁部10.1×8.4	
538	土師質土器	土鍋	在地	-	-	-	一括	口縁部の破片	
538	土師質土器	鉢	在地	(16.5)	-	-	一括	口縁部1/6形	
541	土師質土器	坏	在地	11.8	8.5	3.4	SD-104	ほぼ完形	
541	土師質土器	土鍋	在地	-	-	-	SD-104		
540	青磁	皿	中国産	18.4	9.6	4.6	SD-107		
547	土師質土器	土鍋	国産	(28.0)	-	-	SK-107	1/6口縁残存	
549	京都系土師器	坏	在地	11.0	5.2	2.7	SK-108	1/4形	
549	在地系土師質土器	碗	在地	-	5.1	-	SK-108	底部完形黒変(外側)	
551	磁器	青磁	中国	(13.4)	-	-	SK-109		
551	陶器	天目茶碗	?	(12.2)	-	-	SK-109	6×5.5片	51
551	京都系土師器	小皿	在地	8.6	3.0	1.9	SK-109	完形	
551	京都系土師器	小皿	在地	8.8	3.8	2.1	SK-109	完形	
551	京都系土師器	小皿	在地	(8.8)	-	1.9	SK-109	1/4残存	
551	京都系土師器	小皿	在地	(8.8)	-	-	SK-109	1/2残存	

遺物観察表48
(8次調査区)

8次調査区遺物観察表(土器・陶磁器⑤)

挿図No.	器種	生産地	法量(単位 cm)			遺構名	備考	図版No.	
			口径	底径	器高				
551	京都系土師器	皿?	在地	8.8	—	2.1	SK-109	口径1/3残存	
551	京都系土師器	坏	在地	9.0	—	2.1	SK-109	完形	
551	京都系土師器	坏	在地	8.3~9	—	2.2	SK-109	完形	
551	京都系土師器	皿	在地	9.0	3.0	1.8	SK-109	3/4残存	
551	京都系土師器	皿	在地	8.4	—	2.0	SK-109	完形	
551	京都系土師器	坏	在地	(9.4)	—	1.8	SK-109	1/4残存	
551	京都系土師器	皿	在地	(8.4)	—	—	SK-109	1/3残存	
551	京都系土師器	坏	在地	8.6	3.8	2.0	SK-109	完形	
551	京都系土師器	坏	在地	6.0	—	2.5	SK-109	完形	
551	京都系土師器	坏	在地	9.0	—	2.1	SK-109	2/3残存	
551	京都系土師器	坏	在地	(11.8)	—	2.4	SK-109	1/2残存	
551	京都系土師器	坏	在地	(11.8)	—	2.4	SK-109	1/2残存	
551	京都系土師器	皿	在地	(12.6)	—	2.1	SK-109	2/3残存	
551	京都系土師器	皿?	在地	12.2	—	2.5	SK-109	1/2残存	
551	京都系土師器	坏	在地	(13.2)	—	1.9+α	SK-109	1/2残存	
551	京都系土師器	坏	在地	(10.0)	—	3.3+α	SK-109	1/4残存	
553	陶器	甕	中国	(10.0)	—	—	SK-110	最大胴部31.8	53
553	青花	碗	景德镇	10.6	—	—	SK-110	富貴佳器	51
553	白磁		中国	—	—	—	SK-110	口縁部残存	
553	京都系土師器	坏	碗	9.0	3.5	2.0	SK-110	3/4残存	
553	京都系土師器	小皿	在地	12.0	4.5~5.5	2.4	SK-110	ほぼ完形	
553	京都系土師器	坏	在地	(8.7)	—	—	SK-110	内外スス付筋1/3残存	
553	京都系土師器	杯(灯明皿)	在地	8.5	3.1	1.8	SK-110	内外スス付筋4/5残存	
553	京都系土師器	灯明皿	在地	8.5	3.4	2.1	SK-110	1/2残存	
553	京都系土師器	小皿	在地	(8.0)	(3.2)	(2.0)	SK-110	2/3残存	
553	京都系土師器	小皿	在地	(8.8)	(3.8)	(1.9)	SK-110	1/3残存	
553	京都系土師器	小皿	在地	(8.8)	(3.0)	2.0	SK-110	1/2残存	
553	京都系土師器	坏	在地	(9.0)	—	—	SK-110	1/8残存	
553	京都系土師器	小皿	在地	(9.2)	(2.8)	(2.0)	SK-110	1/5残存	
553	京都系土師器	小皿	在地	(9.0)	(3.2)	(2.1)	SK-110	2/3残存	
553	京都系土師器	坏	在地	(10.9)	—	—	SK-110	1/4残存	
553	京都系土師器	坏	在地	12.0	4.5~5.5	2.4	SK-110	1/2残存	
553	京都系土師器	坏	在地	11.8	3.6	2.3	SK-110	1/4残存	
553	京都系土師器	坏	在地	12.2	3.6	2.5	SK-110	2/3残存	
553	京都系土師器	坏	在地	(11.8)	(4.7)	(2.4)	SK-110	2/3残存	
553	京都系土師器	坏	在地	(12.0)	(2.5)	2.4	SK-110	4/5残存	
553	京都系土師器	坏	在地	(11.8)	—	—	SK-110	縦目あり1/4残存	
553	京都系土師器	坏	在地	(12.2)	(6.0)	2.0	SK-110	1/4残存	
554	瓦質土器	風炉	国産	(32.2)	—	—	SK-110	口縁部一部残存	
554	瓦質土器	風炉	国産	(24.2)	—	—	SK-110	1/2残存	
554	瓦質土器	碗	国産	(10.1)	—	—	SK-110	スス付筋	
554	瓦質土器	碗	国産	(10.8)	(5.4)	4.0	SK-110	1/3残存	
554	瓦質土器	風炉	国産	(28.0)	—	—	SK-110	口縁部片	
554	瓦質土器	風炉	国産	(38.6)	—	—	SK-110	口縁部一部残存比熱して赤変している	
556	瓦質土器	すり鉢	国産	(26.6)	—	—	SK-111		
560	土師質土器	坏	在地	(14.5)	(10.0)	4.5	SK-115		
562	陶器	摺鉢	備前	(20.6)	—	—	SK-118	口縁部片	
562	京都系土師器	小皿	在地	(8.0)	—	—	SK-118	口縁部片	
562	瓦質土器	摺鉢	防長	(27.0)	—	—	SK-118	口縁部1/2形	
572	土師質土器	皿	在地	8.1	1.2	7.5	SK-132		
572	土師質土器	土鍋	国産	—	—	—	SK-132	土器の胴部片	
574	都城系土器	坏	国産	(12.7)	—	—	SK-139	1/7残存	
576	瓦質土器	鉢?	国産	—	—	(4.7)	SK-144	底部1/4形	
579	土師質土器	坏	在地	(15.6)	(12.0)	—	SK-147		
579	土師質土器	土鍋	国産	(28.4)	—	—	SK-147		
579	瓦質土器	鉢	国産	—	—	—	SK-147	口縁部一部残存	
582	土師質土器	坏	在地	—	8.4	—	SK-106		
582	土師質土器	坏	在地	13.7	9.7	3.6	SK-106	口縁部から胴部1/4残存	
582	須恵器	鉢?	国産	—	—	—	SK-106		
584	在地系土師器	坏	在地	14.0	11.6	2.9	SK-112	1/4残存	
584	在地系土師器	坏	在地	12.4	7.4	3.6	SK-112	完形	
587	土師質土器	坏	在地	(11.0)	(7.4)	3.1	SK-114	口縁部~底部1/4形	
587	土師質土器	坏	在地	(11.8)	(8.0)	3.3	SK-114	1/4形	
587	土師質土器	坏	在地	(12.2)	(8.6)	3.7	SK-114	口縁1/8形底部1/4形	
587	土師質土器	坏	在地	12.4	9.1	3.2	SK-114	完形	
587	土師質土器	坏	在地	12.4	9.2	3.5	SK-114	ほぼ完形	
587	土師質土器	坏	在地	12.2	9.0	3.3	SK-114	2/3形	
587	土師質土器	坏	在地	12.8	9.2	3.7	SK-114	完形	
587	土師質土器	坏	在地	13.2	9.2	3.2	SK-114	口縁1/2形底部3/4形	
587	土師質土器	坏	在地	(13.6)	(9.5)	3.3	SK-114	1/4形	
587	土師質土器	坏	在地	13.4	9.8	3.4	SK-114	口縁部~底部	
587	土師質土器	小皿	在地	(8.1)	(6.4)	1.1	SK-114	2/3形	
587	土師質土器	小皿	在地	(8.4)	(6.7)	1.3	SK-114	1/2形	
587	土師質土器	小皿	在地	7.4	5.8	1.2	SK-114		
589	土師質土器	托	国産	9.5	(7.4)	3.3	SK-116	皿部は完形脚部1/2残存	

8次調査区遺物観察表(土器・陶磁器類⑥)

挿図No.	器種		生産地	法量(単位 cm)			遺物名	備考	図版No.
				口径	底径	器高			
589	土師質土器	坏	在地	(13.6)	(9.6)	3.3	SK-116	1/4 弱形	
589	土師質土器	坏	在地	(12.4)	(9.4)	3.8	SK-116	1/2 口縁~底部形	
591	土師質土器	小皿	在地	(8.8)	(6.2)	1.4	SK-119	1/4 形	
593	磁器	茶碗	中国	-	-	-	SK-120		
593	瓦質土器	摺鉢	国産	(26.6)	-	-	SK-120		
593	在地系土師器	坏	在地	(12.6)	7.2	3.7	SK-120		
593	在地系土師器	坏	在地	13.0	6.4	3.7	SK-120		
593	在地系土師器	坏	在地	(13.4)	10.6	3.6	SK-120	1/6 残存	
593	在地系土師器	坏	在地	13.2	9.6	3.1	SK-120	1/6 残存	
593	在地系土師器	坏	在地	(12.0)	-	-	SK-120	1/8 残存	
596	緑釉陶器		中国	-	-	-	SK-122	貫入あり	
596	土師質土器	小皿	在地	(12.2)	(9.0)	3.5	SK-122	1/2 残存	
596	土師質土器	坏	在地	(11.0)	(8.3)	3.5	SK-122	1/8 残存	
596	土師質土器	坏	在地	(8.4)	(7.1)	1.5	SK-122	1/6 残存	
596	瓦質土器	土鍋	国産	-	-	-	SK-122	口縁部一部残存	
593	瓦質土器	鉢	国産	-	-	-	SK-122	口縁部一部残存	
596	瓦質土器	鉢	国産	(17.8)	-	-	SK-122	口縁部一部残存	
596	須恵器	甕	在地	-	-	-	SK-122	胴部片	
598	染付磁器		中国	-	-	-	SK-123	口縁破片	
598	土師質土器	坏	在地	(13.0)	9.3	2.9	SK-123	底部完形	
598	土師質土器	坏?	在地	(12.6)	-	-	SK-123	口縁部破片	
598	土師質土器	坏	在地	(12.6)	(10.2)	2.8	SK-123	口縁部破片	
598	土師質土器	坏	在地	11.8	8.2	2.8	SK-123	3/4 形	
598	土師質土器	小皿	在地	8.5	7.3	1.0	SK-123		
598	土師質土器	小皿	在地	(7.8)	(6.4)	1.0	SK-123	半完形	
598	土師質土器	小皿	在地	8.0	7.0	0.9	SK-123	半完形口縁部 3/4 残存	
598	土師質土器	小皿	在地	(9.6)	(8.0)	0.9	SK-123	口縁~底部破片	
600	土師質土器	坏	在地	(13.0)	(8.5)	2.8	SK-124	1/4 形	
605	土師質土器	坏	在地	12.6	3.2	9.7	SK-131	窪みあり楕円形	
602	土師質土器	坏	在地	12.2	9.2	2.9	SK-127	ほぼ完形(少しくぼみあり)	
602	土師質土器	坏	在地	12.4	9.0	3.1	SK-127	ほぼ完形 3/4 形	
602	土師質土器	坏	在地	12.8	9.0	3.1	SK-127	くぼみあり完形	
602	土師質土器	小皿	在地	8.6	6.6	1.1	SK-127	ほぼ完形	
602	京都系土師質土器	小皿	在地	(9.4)	(6.0)	1.6	SK-127	1/2 形	
607	陶器	甕	偏前	-	(24.0)	-	SK-133		
607	土師質土器	こね鉢	国産	-	-	-	SK-133	外面ス付甕	
607	土師質土器	こね鉢	在地	-	-	-	SK-133	口縁部5.4×6.2	
607	土師質土器	坏	在地	(8.2)	(6.4)	1.0	SK-133	1/4 残存	
607	土師質土器	坏	在地	(10.6)	(6.8)	3.3	SK-133	1/5 残存	
607	土師質土器	坏	在地	(11.4)	(8.2)	3.2	SK-133	口縁~底部破片	
607	土師質土器	坏	在地	(12.4)	(8.4)	3.8	SK-133	1/4 残存	
607	土師質土器	坏	在地	(11.8)	(8.8)	3.3	SK-133	1/3 残存	
607	土師質土器	碗?	在地	(12.0)	-	-	SK-133	口縁部破片	
607	土師質土器	坏	在地	(11.8)	(9.4)	3.0	SK-133	1/4 残存	
607	土師質土器	碗?	在地	(13.4)	-	-	SK-133	破片	
607	土師質土器	坏	在地	12.2	9.2	3.2	SK-133	1/2 形	
609	土師質土器	甕	在地	-	(19.3)	-	SK-134		
611	土師質土器	坏	在地	(12.8)	(9.3)	2.8	SK-137		
611	土師質土器	小皿	在地	7.6	5.8	1.3	SK-137		
611	瓦質土器	鉢?	在地	-	-	(9.8)	SK-137		
614	土師質土器	坏	在地	(12.2)	(9.0)	(2.7)	SK-140	口縁 1/6 形	
614	土師質土器	坏	在地	(12.2)	(8.8)	(3.3)	SK-140	口縁3.5cm底部 1/2 形	
614	土師質土器	坏	在地	(13.0)	(9.8)	(2.9)	SK-140	口縁部 1/6 形底部 2/3 形	
614	土師質土器	坏	在地	(13.0)	(9.0)	(3.2)	SK-140	1/3 形	
614	土師質土器	坏	在地	(12.4)	(9.0)	(3.1)	SK-140	口縁部 1/3 形底部 1/4 形	
614	土師質土器	小皿	在地	(6.7)	(6.0)	(1.1)	SK-140	1/2 形	
614	土師質土器	小皿	在地	(7.4)	(5.8)	(1.2)	SK-140	完形	
616	土師質土器	坏	在地	(12.0)	(8.0)	(3.6)	SK-141	1/4 形	
616	土師質土器	坏	在地	12.6	8.0	3.6	SK-141	完形	
616	土師質土器	坏	在地	(12.5)	(9.0)	(3.4)	SK-141	1/2 形	
616	土師質土器	坏	在地	(14.4)	(11.8)	-	SK-141	口縁部破片	
616	土師質土器	坏	在地	(12.0)	(9.2)	(2.5)	SK-141	1/8 形	
616	土師質土器	坏	在地	(12.6)	(9.2)	-	SK-141	口縁部破片	
616	土師質土器	坏	在地	(12.2)	(8.5)	(2.6)	SK-141	1/4 形	
616	土師質土器	坏	在地	10.8	-	-	SK-141	口縁部破片	
616	土師質土器	小皿	在地	8.2	7.2	1.0	SK-141	完形	
616	土師質土器	小皿	在地	(8.8)	(6.8)	1.2	SK-141	1/2 形	
616	土師質土器	小皿	在地	8.2	6.8	1.0	SK-141	1/2 形	
616	土師質土器	小皿	在地	(8.6)	(7.8)	(1.1)	SK-141	1/4 形	
616	土師質土器	小皿	在地	(7.8)	(6.6)	(1.4)	SK-141	1/2 形	
616	土師質土器	小皿	在地	7.7	6.6	1.2	SK-141	1/2 形	
616	土師質土器	小皿	在地	7.5	6.5	1.0	SK-141	1/2 形	
616	土師質土器	小皿	在地	(8.6)	(7.0)	-	SK-141	口縁部破片	
616	土師質土器	小皿	在地	(7.8)	(6.5)	0.8	SK-141	2/3 形	
616	土師質土器	坏?	在地	-	(8.6)	-	SK-141	底部 1/2 形	

8次調査区遺物観察表(土器・陶磁器類⑦)

押図No.	器種		生産地	法量(単位 cm)			遺構名	備考	図版No.
				口径	底径	器高			
616	土師質土器	小皿	在地	(8.0)	(6.8)	(1.1)	SK-141	1/3形	
616	土師質土器	小皿	在地	(7.8)	(7.0)	1.0	SK-141	1/2形	
616	土師質土器	小皿	在地	7.6	6.2	1.2	SK-141	ほぼ完形口縁部少し欠損	
616	土師質土器	小皿	在地	(8.3)	(7.2)	(1.1)	SK-141	1/3形	
616	土師質土器	小皿	在地	8.3	7.0	1.6	SK-141	1/2形	
616	在地系土師質土器	小皿	在地	(6.7)	(5.0)	1.2	SK-141	1/3形	
619	土師質土器	坏	在地	12.9	9.6	3.0	SK-142	1/4形	
619	陶器	甕	信楽系	-	-	-	SK-142	口縁部一部6.5×5	
619	瓦質土器	土鍋	在地	(30.2)	-	-	SK-142	1/2形	
619	瓦質土器	鉢	国産	-	-	-	SK-142		
619	瓦質土器	こね鉢	国産	-	23.7	6.6	SK-142		
619	瓦質土器	こね鉢	国産	(29.0)	(20.3)	(9.5)	SK-142		
619	瓦質土器	こね鉢	国産	(26.6)	-	-	SK-142	口縁部一部形	
619	瓦質土器	摺鉢	国産	-	-	12.4	SK-142	底部胴部一部形	
620	土師質土器	坏	在地	(13.6)	(10.0)	(3.1)	SK-143	1/2形	
620	土師質土器	坏	在地	(12.2)	(9.0)	(3.6)	SK-143	1/2形	
620	土師質土器	坏	在地	(13.8)	-	-	SK-143	1/5形	
620	土師質土器	小皿	在地	(8.2)	(6.7)	(1.1)	SK-143	2/3形	
544	京都系土師器	坏	在地	(9.2)	-	-	SK-104	1/3残存	
544	京都系土師器	坏	在地	(8.6)	-	2.1	SK-104	1/2残存	
544	京都系土師器	坏	在地	(10.9)	(4.6)	2.2	SK-104	1/5残存	
544	京都系土師器	坏	在地	(12.0)	-	2.3	SK-104	1/6残存	
544	京都系土師器	坏	在地	(12.6)	(6.0)	2.0	SK-104	1/4残存	
544	京都系土師器	坏	在地	(14.4)	(7.6)	2.9	SK-104	1/3残存	
544	京都系土師器	坏	在地	-	-	-	SK-104	口縁~1/4残存	
545	京都系土師器	皿	在地	(12.6)	(5.6)	2.5	SK-105	1/4形ス付唇	
545	京都系土師器	小皿	在地	(10.2)	-	2.5	SK-105		
624	青花	茶碗	中国	-	-	-	東端土抗	口縁部のみ	
624	青花	皿?	景德鎮	-	(4.8)	-	東端土抗	底部1/4残存	
624	陶器	?	東南アジア	-	-	-	東端土抗		
624	陶器	德利?	ベトナム	-	-	-	東端土抗	頸部から胴部残存	
624	陶器	甕	備前	-	-	-	東端土抗	口縁部の一部	
624	陶器	甕	備前	(35.4)	-	-	東端土抗		
624	陶器	德利	備前	-	7.9	-	東端土抗	1/2残存	53
624	陶器	摺鉢	在地系	(27.8)	(15.6)	12.2	東端土抗	口縁部1/5形	
624	陶器	鉢	備前	(14.2)	(9.9)	6.6	東端土抗	1/4残存	
624	陶器	火鉢	国産	-	(10.0)	-	東端土抗	底部の一部	
624	陶器	摺鉢	在地系	-	-	-	東端土抗		
625	京都系土師器	坏	在地	(8.2)	(2.4)	2.0	東端土抗	1/4形	
625	京都系土師器	坏	在地	(8.8)	(1.8)	2.4	東端土抗	1/4形	
625	京都系土師器	坏	在地	(9.0)	-	(2.3)	東端土抗	半形	
625	京都系土師器	坏	在地	(10.8)	-	-	東端土抗	口縁部のみ1/6形	
625	京都系土師器	坏	在地	(12.1)	(5.3)	3.1	東端土抗	1/4形	
625	京都系土師器	坏	在地	(6.6)	(3.3)	2.3	東端土抗	1/3形	
625	京都系土師器	坏	在地	(10.9)	(5.6)	3.2	東端土抗	1/6形	
625	京都系土師器	坏	在地	(12.9)	(4.2)	2.6	東端土抗	1/4形	
625	京都系土師器	坏	在地	(10.0)	(3.2)	(3.6)	東端土抗	口縁部1/4形	
625	京都系土師器	坏	在地	(10.6)	-	-	東端土抗	口縁部5.2×3.9	
625	京都系土師器	坏	在地	(12.6)	-	-	東端土抗	口縁部1/4形	
625	京都系土師器	坏	在地	(1.4)	-	-	東端土抗	1/4形	
625	京都系土師器	坏	在地	(11.2)	(4.7)	3.4	東端土抗	1/2形	
625	京都系土師器	坏	在地	(12.0)	(5.3)	2.6	東端土抗	1/5形	
625	京都系土師器	坏	在地	(15.6)	(9.4)	2.5	東端土抗	1/5形	
625	京都系土師器	坏	在地	(13.2)	-	-	東端土抗	口縁部1/4形	
625	京都系土師器	坏	在地	(15.0)	(5.1)	3.2	東端土抗	1/3形	
626	土師質土器	坏	在地	11.6	8.1	3.3	東端土抗	完形	
626	瓦質土器	風炉	在地	-	(17.7)	-	東端土抗		
626	瓦質土器	風炉	在地	32.6	-	-	東端土抗		
626	瓦質土器	増焔	在地	(6.0)	-	-	東端土抗	口縁部1/4形	
628	瓦質土器	火鉢	在地	-	-	-	東端土抗		
626	青花	椀	景德鎮	-	-	-	東端土抗	小片5.5×2.9	
628	青花	皿	彰州窯	-	-	-	東端土抗	内面施文	
628	陶器	天目	志登呂	12.0	-	-	東端土抗	6.0×5.2	
628	陶器	鉢	東南アジア	12.8	-	-	東端土抗		
628	陶器	小壺	東南アジア	-	-	-	東端土抗		
628	京都系土師器	小皿	在地	11.8	6.0	2.4	東端土抗		
628	京都系土師器	小皿	在地	(8.4)	-	-	東端土抗	口縁部片	
628	京都系土師器	小皿	在地	(11.0)	-	-	東端土抗	口縁部片	
628	京都系土師器	小皿	在地	(9.2)	-	-	東端土抗	口縁部片	
628	京都系土師器	小皿	在地	(10.8)	-	-	東端土抗	口縁部片	
628	京都系土師器	小皿	在地	(11.2)	-	-	東端土抗	口縁部片	
628	京都系土師器	小皿	在地	(15.4)	-	-	東端土抗	口縁部片	
628	京都系土師器	小皿	在地	(12.6)	-	-	東端土抗	口縁部片	
628	京都系土師器	小皿	在地	(11.6)	-	-	東端土抗	口縁部片	
628	京都系土師器	小皿	在地	9.0	4.4	2.0	東端土抗		

8次調査区遺物観察表(土器・陶磁器類⑧)

押印No	器種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考	図版No	
			口径	底径	器高				
628	京都系土師器	小皿	在地	8.8	3.8	2.0	東端土抗	灯明皿	
628	京都系土師器	坏	在地	10.0	—	2.9	東端土抗		
628	瓦質土器	鉢	在地	—	—	—	東端土抗		
628	瓦質土器	風炉	在地	31.4	—	—	東端土抗		
635	陶器	播鉢	偏前	—	(12.6)	—	土壘	1/3残存	
630	青磁	碗	景德鎮	—	4.3	—	整地層	底部に文字「富貴佳器」	
630	青花	碗	中国	—	—	—	整地層		52
630	青花	碗	中国	—	—	—	整地層		
630	青花	碗	景德鎮	—	—	—	整地層		
630	青花	碗	景德鎮	—	4.7	—	整地層		
630	青花	皿	景德鎮	—	5.0	—	整地層		
630	青花	小坏	景德鎮	—	2.3	—	整地層		
630	青花	皿	景德鎮	—	14.9	—	整地層		
630	陶器	碗	朝鮮	—	(5.0)	2.5+α	整地層		
630	陶器	四耳壺	タイ	—	—	—	整地層		54
630	陶器	壺	偏前	—	—	—	整地層		
630	陶器	鉢	偏前	(19.0)	—	5.85+α	整地層	1/7残存	
630	陶器	すり鉢	偏前	—	—	—	整地層		
630	陶器	すり鉢	偏前	—	—	—	整地層		
630	陶器	壺	偏前	—	—	—	整地層	口縁部破片	
631	京都系土師質	小皿	在地	(7.6)	—	2.0	整地層	1/4残存	
631	京都系土師質	小皿	在地	(8.2)	—	2.3	整地層	1/2残存	
631	京都系土師質	小皿	在地	(9.0)	—	1.8	整地層	1/3残存	
631	京都系土師質	小皿	在地	(9.0)	—	2.1	整地層	1/4残存	
631	京都系土師質	小皿	在地	(10.2)	—	1.8	整地層	1/4残存	
631	京都系土師質	小皿	在地	(10.2)	—	2.0	整地層	1/5残存	
631	京都系土師質	小皿	在地	(10.3)	(4.6)	1.9	整地層	1/4残存	
631	京都系土師質	小皿	在地	(10.6)	—	2.2	整地層	1/4残存	
631	京都系土師質	小皿	在地	(10.8)	—	—	整地層	1/5残存	
631	京都系土師質	小皿	在地	(12.0)	—	2.6	整地層	1/8残存	
631	京都系土師質	小皿	在地	(11.6)	(4.8)	2.4	整地層	1/4残存	
631	京都系土師質	小皿	在地	(12.0)	—	2.5	整地層	1/6残存	
631	京都系土師質	小皿	在地	(9.8)	—	—	整地層	1/4残存	
631	京都系土師質	小皿	在地	(12.2)	(5.5)	2.1	整地層	1/4残存	
631	京都系土師質	小皿	在地	(11.6)	(6.4)	3.2	整地層	1/4残存	
631	土師質	小皿	在地	(9.6)	(6.0)	3.0	整地層	1/4残存	
631	京都系土師質	坏	在地	(17.0)	—	2.8	整地層	1/7残存	
631	土師質土器	土鍋	在地	—	—	—	整地層	破片	
631	瓦質土器	壺	在地	(13.0)	—	—	整地層	1/5残存	
631	瓦質土器	火鉢	在地	—	29.6	7.8+α	整地層	破片	
631	瓦質土器	風炉	在地	—	5.2	2.8+α	整地層	脚	
631	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	整地層	破片	
631	瓦質土器	火鉢	在地	—	—	—	整地層	口縁部破片	
640	京都系土師器	小皿	在地	(11.0)	—	2.8	SX-101	1/5残存	
640	京都系土師器	小皿	在地	8.9~9.4	—	2.1	SX-101	完形	
640	京都系土師器	小皿	在地	8.4~8.8	—	2.2	SX-101	ほぼ完形	
641	陶器	壺	偏前	17.6	—	—	SX-102		
642	陶器	壺	偏前	(40.2)	—	—	SX-103		
642	陶器	壺	偏前	—	—	—	SX-103		
646	陶器	壺	偏前系	—	—	—	SP100	降灰の痕?	
646	瓦質土器	風呂	在地	(31.0)	—	—	SP102		
646	土師質土器	坏	在地	12.5	9.9	2.9	SP103	ほぼ完形	
646	土師質土器	坏	在地	(10.8)	(8.9)	(3.0)	SP104	1/5形	
646	陶器	壺	偏前系	—	(34.2)	—	SP100		54
652	陶器	?	?	—	—	—	SE102		
652	土師質土器	坏	在地	7.5	5.1	2.2	SE102		
652	土師質土器	坏	在地	13.6	9.4	4.0	SE102		
652	土師質土器	コップ型土器	在地	—	8.3	—	SE102		
652	土師質土器	壺	在地	—	20.5	—	SE102		
652	瓦質土器	壺	東播系	—	—	—	SE102		
655	陶器	壺	信楽	—	—	—	SE101	底部8.2×7.3	
655	陶器	壺	信楽	—	—	—	SE101	口縁部6.9×5.3	
655	陶器	壺	偏前	—	—	—	SE101	底部4.1×7.2	
655	陶器	壺	偏前	—	—	—	SE101		
655	陶器	壺	偏前	—	—	—	SE101		
655	陶器	深皿	瀬戸美濃	(27.5)	—	—	SE101		53
656	青磁	碗	中国産	—	(5.3)	—	一括	胴~底部5.6×3.1	
656	青磁	皿	中国産	—	(5.0)	—	一括	1/3底6.2×3	
656	青磁	皿	景德鎮	—	(5.3)	—	一括	底部4.9×2	
656	白磁	皿	中国産	—	(3.0)	—	一括	1/2底2.45×2.2	
656	白磁	皿	中国産	—	(5.6)	—	一括	1/4形	
656	青花	碗	景德鎮	—	(6.0)	—	一括		52
656	青花	皿	彭州窯	—	(9.2)	—	一括		
656	青花	小坏	景德鎮	—	(4.1)	—	一括	底部3×1.9	
656	朝鮮王朝産陶磁器	碗	朝鮮	—	—	—	一括	口縁~胴部3.5×2.9	

8次調査区遺物観察表(土器・陶磁器類⑨)

挿図No.	器種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考	図版No.	
			口径	底径	器高				
656	朝鮮王朝産陶磁器	碗	朝鮮	—	—	一括	胴部5.2×3.7		
656	陶器	撻鉢	備前	(24.6)	—	一括	口縁部片		
656	陶器	?	?	—	—	一括	胴部破片4.6×5.7		
656	陶磁器	碗	?	(11.9)	—	一括	口縁~胴部5.1×2.3		
656	陶磁器	碗	?	—	(5.2)	一括	底部6.7×4.8		
656	京都系土師器	坏	在地	(8.2)	(1.1)	1.8	一括	1/4形	
656	京都系土師器	坏	在地	(11.8)	(4.6)	2.1	一括	1/8形	
656	京都系土師器	坏	在地	(9.4)	—	—	一括	スス付箱	
656	京都系土師器	灯明皿	在地	(7.7)	(1.5)	1.8	一括	1/4形	
656	京都系土師器	坏	在地	(10.7)	—	—	一括	1/6形	
656	土師器	土鍋	国産	—	—	—	一括	口縁~胴部破片	
656	弥生土器	甕	在地	—	—	—	一括	弥生時代後期	
656	土師質土器	?	在地	(6.6)	(7.0)	2.3	一括	1/2形	
656	土師質土器	蓋のつまみ	在地	2.4	3.6	1.9	一括	8c後半~9c前半	
656	土師質土器	蓋?	在地	(7.9)	(6.0)	2.6	一括	1/3形	54
657	?	火鉢	在地	—	—	—	一括		
657	瓦質	摺場	在地	(6.0)	—	2.2	一括	スス付箱?	
657		フィゴの羽口	在地	2.7	—	3.8	一括	内側が熱で赤変	
657	須恵器	?	在地	頸部のみ4.6×7.5	—	—	一括	8~9世紀?	
657	須恵器	?	在地	胴径12×11.8	—	—	一括	9世紀	

8次調査区遺物観察表(土製品)

挿図No.	品種	材質	部位	寸法(単位cm)						重量(g)	遺構名	備考	図版No.
				円径	8	幅	8.3	厚	4.3~5.5				
560	土製品	土製		円径	8	幅	8.3	厚	4.3~5.5	—	SK-115		
607	土鏡	土製		長	6.8	幅	1.6	口径	0.6	4.9	SK-133		
607	土鏡	土製		長	4.2	幅	1.4	口径	0.5	2.8	SK-133	1/2欠損	
607	土鏡	土製		長	3.8	幅	1.5	口径	0.7	3	SK-133	1/2欠損	
632	土鏡	土製		長	5.1	幅	1.2	口径	0.4	8.4	整地層		
632	土鏡	土製		長	6.2	幅	1.3	口径	0.2	8.7	整地層		
632	メンコ	土製		長	4.9	幅	5.15	厚	1	—	整地層	弥生時代	

8次調査区遺物観察表(金属製品・石製品)

挿図No.	品種	材質	部位	寸法(単位cm)						重量(g)	遺構名	備考	図版No.
				縦	1.2	横	1.1	厚	0.6				
519	銅製品	銅		縦	1.2	横	1.1	厚	0.6	—	SD-103		
519	銅製品	銅		縦	1.2	横	0.7	厚	0.6	—	SD-103		
520	茶臼	安山岩		縦	—	横	—	厚	—	—	SD-103	半完形	
520	茶臼	安山岩		縦	—	横	—	厚	—	—	SD-103	上の段10cm片	
520	石鍋	滑石		縦	—	横	—	厚	—	—	SD-103		
520	砥石	結晶片岩		縦	9.0	横	6.7	厚	2.0	193.3	SD-103		
520	石鏡			縦	10.3	横	8.6	厚	—	231.7	SD-103	縄文時代	
520	火打ち石?	石英		縦	6.2	横	5.6	厚	—	184.1	SD-103		
520	磨石?			縦	8.3	横	7.5	厚	4.9	144.1	SD-103		
521	椀型滓			縦	(5.4)	短	(5.3)	厚	(3.8)	137	SD-103		
532	椀型滓	金属		縦	5.8	横	5.4	厚	3.8	134.6	SD-101		
532	椀型滓	金属		縦	6.4	横	9.1	厚	4.4	284	SD-101		
532	椀型滓	金属		縦	5.4	横	6.9	厚	3.7	166.6	SD-101		
532	火打ち石	チャート		縦	4.6	横	4.5	厚	2.0	56.1	SD-101		
532	火打ち石	チャート		縦	2.0	横	3.4	厚	1.2	8.9	SD-101		
536	椀型滓			縦	6.7	横	5.2	厚	2.3	92.9	SD-106A		
536	椀型滓			縦	5.3	横	4.0	厚	2.4	53.1	SD-106A		
545	弾	鉄		縦	1.1	横	1.2	—	—	4.2	SK-105		
559	金具	金属		長	1.6	—	—	厚	0.4	2.7	SK-116		
629	石臼	安山岩		—	—	—	—	—	—	—	東端土坑		
632	鉄製品	銅		長	3.7	—	—	—	—	1.7	整地層		
632	石鍋	滑石		—	—	—	—	—	—	9	整地層		
652	鉄釘	鉄		長	6.2	—	—	—	—	9.1	SE-102		
652	鉄釘	鉄		長	5.3	—	—	—	—	2.4	SE-102		
652	鉄釘	鉄		長	6.2	—	—	—	—	4.2	SE-102		
652	鉄釘	鉄		長	6.1	—	—	—	—	3	SE-102		
652	鉄釘	鉄		長	3.4	—	—	—	—	1.2	SE-102		
652	鉄釘	鉄		長	3.9	—	—	—	—	3.2	SE-102		
652	鉄釘	鉄		長	4.2	—	—	—	—	1.8	SE-102		
652	鉄釘	鉄		長	4.5	—	—	—	—	2.5	SE-102		
652	鉄釘	鉄		長	1.4	—	—	—	—	0.3	SE-102		
652	鉄釘	鉄		長	1.1	—	—	—	—	0.1	SE-102		
657	砥石	緑泥片岩		縦	14.8	横	5.4	厚	1.7	220	一括		

8次調査区遺物観察表(瓦類)

挿図No	品 種	部 位	寸法(単位 cm)						遺構名	備 考	図版 No.
			長さ	短	厚さ	幅	厚さ	幅			
516	瓦	丸瓦	長さ	10.9	短	10.3	厚さ	3.6	SD-103	破片、裏コビキ A	
516	瓦	軒丸瓦	長さ	7.1	短	6.2	厚さ	2.7	SD-103	破片	
516	瓦	平瓦	長さ	7.5	短	11.2	厚さ	3.1	SD-103	破片裏コビキ A	
516	瓦	平瓦	長さ	7.1	短	6.6	厚さ	1.9	SD-103	裏コビキ A	
516	瓦	平瓦	長さ	3.4	短	5.9	厚さ	2.1	SD-103	破片裏コビキ A	
517	瓦	得	長さ	15.0	短	18.4	厚さ	2.9	SD-103	破片表・裏ナデ	
517	瓦	平瓦	長さ	9.9	短	12.7	厚さ	2.0	SD-103	破片表・裏ナデ	
517	瓦	平瓦	長さ	9.9	短	12.6	厚さ	2.1	SD-103		
518	瓦	丸瓦	長さ	13.3	短	10.1	厚さ	1.7	SD-103	破片表・裏ナデ	
518	瓦	平瓦	長さ	8.4	短	8.2	厚さ	1.6	SD-103	破片裏コビキ A	
528	瓦	丸瓦	縦	13.3	横	6.7	厚さ	3.5	SD-101	表ナデ裏タタキ目	
528	塼		縦	9.2	横	7.2	幅	3.6	SD-101	表ナデ裏タタキ目	
528	塼		縦	5.4	横	5.1	幅	2.2	SD-101	表ナデ裏タタキ目	
528	瓦	軒平瓦	長さ	5.4	幅	4.2	厚さ	3.5	SD-101		
528	瓦	巴瓦	縦	8.5	横	9.0	厚さ	2.0~2.5	SD-101	表ナデ裏布目ナデ	
528	瓦	巴瓦	長さ	5.9	幅	11.1	厚さ	3.2	SD-101	表ナデ裏布目ナデ	
528	瓦	丸瓦	縦	9.9	横	12.1	幅	0.6~2.1	SD-101	表縄目痕裏布目痕	
528	瓦	丸瓦	長さ	10.3	幅	10.9	厚さ	2.4	SD-101	表縄目痕裏布目痕	
529	瓦	丸瓦	長さ	8.6	幅	8.6	厚さ	2.3	SD-101	表ナデ裏コビキ A	
529	瓦	丸瓦	長さ	3	幅	10.3	厚さ	2.0~2.1	SD-102	表ナデ裏布目痕ナデ	
529	瓦	丸瓦	縦	6.9	横	8.5	厚さ	2.2	SD-101	表縄目痕裏布目痕	
529	瓦	丸瓦	長さ	7.8	幅	6.7	厚さ	1.8	SD-101	表縄目痕裏布目痕	
529	瓦	丸瓦	縦	11.1	横	10.5	厚さ	2.2	SD-101	表縄目痕裏布目痕	
529	瓦	丸瓦	縦	8.8	横	11.3	厚さ	2.1	SD-101	表縄目痕裏布目痕	
529	古代瓦	丸瓦	縦	10.3	横	6.5	幅	1.8	SD-101	表ナデ裏布目痕	
544	瓦	平瓦	長さ	10.9	幅	8.8	厚さ	2.0	SK-104	破片、表ナデ・コビキ A 裏ナデ	
544	瓦	平瓦	長さ	12.7	幅	9.9	厚さ	2.5	SK-104	表ナデ・コビキ A 裏ナデ	
560	瓦	丸瓦	縦	6.5	横	8.2	厚さ	1.9	SD-101	表縄目痕裏布目痕	
560	瓦	丸瓦	長さ	6.8	幅	8.8	厚さ	1.5	SD-101	表ナデ裏布目痕	
560	瓦	丸瓦	長さ	6.7	幅	5.6	厚さ	2.2	SD-101	表ナデ裏布目ナデ	
560	瓦	丸瓦	長さ	8.7	幅	6.1	厚さ	2.8	SD-101	表ナデ裏コビキ A	
560	瓦	丸瓦?	長さ	11.3	幅	11.1	厚さ	2.0	SD-101	裏布目痕	
560	瓦	丸瓦	長さ	11.1	幅	11.0	厚さ	2.1	SD-101	表ナデ裏布目ナデ	
561	瓦	軒丸瓦	縦	5.5	横	4.5	厚さ	9.8	SD-101	表ナデ	
561	瓦	平瓦	縦	10.9	横	6.2	幅	1.7	SD-101		
561	瓦	平瓦	縦	15.2	横	8.75	厚さ	1.3	SD-101		
561	瓦	平瓦	長さ	10.1	横	13.2	厚さ	2.1	SD-101	表ナデ裏コビキ A	
561	瓦	平瓦	縦	9.1	横	11.4	幅	1.8	SD-101	ナデ	
626	丸瓦		径	6.4	縦	7.4	横	6.1	東端土坑		
			巾	3.2		—		—			
629	瓦	丸瓦	巾	25.8	縦	15.6	横	2.4	東端土坑	表ナデ・裏ナデ、布目痕	
632	瓦	平瓦	長さ	—	幅	—	厚さ	—	整地層	表カキ目痕・裏布目痕古代瓦	
632	瓦	平瓦	長さ	11.8	幅	7.9	厚さ	3.4	整地層	表格子目タタキ痕・裏布目痕	
632	瓦	丸瓦	長さ	8.9	幅	8.0	厚さ	2.8	整地層	裏裏ナデ	
657	瓦	軒平瓦	長さ	11.8	幅	7.9	厚さ	3.4	一括	破片	

遺物観察表54
(8次調査区)

8次調査区遺物観察表(古銭)

挿図No	銭貨名	初鑄造年	国・王朝名	遺構名	重さ (g)	直径 (mm)	書体	備 考	図版
533	元祐通寶	1086	北宋	SD-101	2.2	24.0	篆書	折二銭・1093	
533	景德元寶	1004	北宋	SD-101	2.6	24.0			
533	開元通寶	845	唐	SD-101	2.4	23.0		「元」の裏に文字あり 紀地銭	
519	天聖元寶	1023	北宋	SD-103	1.8	25.0			
519	?	?	?	SD-103	2.3	23.0			
627	元豐通寶	1078	北宋	東郷土坑	2.6	25.0	行書	星形孔	
569	咸平元寶	998	北宋	SK-121	3.0	24.0			
569	開元通寶	845	唐	SK-121	2.2	23.0			
569	皇宋通寶	1038	北宋	SK-121	2.4	24.0	真書		
565	熙寧元寶	1068	北宋	SK-126	2.5	24.0	真書		
565	元祐通寶	1086	北宋	SK-126	3.5	23.0	行書		
565	至和元寶	1054	北宋	SK-126	3.8	23.0	真書		
565	熙寧元寶	1068	北宋	SK-126	4.1	23.0	篆書		
565	聖宋元寶	1101	北宋	SK-126	3.3	23.0	行書		
565	熙寧元寶	1068	北宋	SK-126	4.2	23.5	真書		
565	元祐通寶	1086	北宋	SK-126	2.7	24.0	篆書		
565	至道元寶	995	北宋	SK-126	2.1	21.0	行書		
565	天聖元寶	1023	北宋	SK-126	3.0	24.0	真書		
565	咸平元寶	998	北宋	SK-126	4.0	23.0			
565	天聖元寶	1023	北宋	SK-126	3.5	24.0	真書		
565	熙寧元寶	1068	北宋	SK-126	3.5	24.0	篆書		
565	皇宋通寶	1038	北宋	SK-126	3.5	24.0	篆書		
565	皇宋通寶	1038	北宋	SK-126	4.0	24.0	真書		
565	皇宋元寶	1253	北宋	SK-126	2.6	23.0			
566	治元元寶	1064	北宋	SK-126	3.7	24.0	篆書		
566	紹聖元寶	1094	北宋	SK-126	3.9	23.0	篆書		
566	景祐元寶	1034	北宋	SK-126	3.7	23.0			
566	開元通寶	621	唐	SK-126	1.7	22.0			
566	開元通寶	621	唐	SK-126	2.2	23.0			
566	元豐通寶	1078	北宋	SK-126	3.4	23.0	行書		
566	皇宋通寶	1038	北宋	SK-126	2.7	23.0	真書		
566	天聖元寶	1023	北宋	SK-126	3.3	24.0	篆書		
566	開元通寶	621	唐	SK-126	2.3	23.0			
566	天聖○○?	?	?	SK-126	1.3		篆書		
566	元祐通寶	1086	北宋	SK-126	3.9	23.0	行書		
566	開元通寶	621	唐	SK-126	3.2	24.0			
566	景德元寶	1004	北宋	SK-126	3.9	24.0			
566	紹聖元寶	1094	北宋	SK-126	3.3	23.0	行書		
566	淳熙元寶	1174	南宋	SK-126	2.9	21.0		背十五	
566	淳化元寶	990	北宋	SK-126	3.9	23.0	行書		
566	熙寧元寶	1068	北宋	SK-126	3.4	23.0	真書		
566	たく元重寶	758	唐	SK-126	2.9	23.0			
567	治平元寶	1064	北宋	SK-126	3.9	23.0			
567	開元通寶	621	唐	SK-126	2.6	22.0			
567	熙寧元寶	1068	北宋	SK-126	3.5	23.0			
567	天聖元寶	1023	北宋	SK-126	3.5	24.0			
567	元豐通寶	1078	北宋	SK-126	3.7	24.0	行書		
567	皇宋通寶	1038	北宋	SK-126	3.2	24.0			
567	?	?	?	SK-126	2.2	25.0			
567	熙寧元寶	1068	北宋	SK-126	3.7	23.0			
567	元符通寶	1098	北宋	SK-126	2.3	2.1			
567	天聖元寶	1023	北宋	SK-126	3.0	24.0			
567	皇宋通寶	1038	北宋	SK-126	2.6	24.0	真書		
567	開元通寶	621	唐	SK-126	1.7	17.0			
607	至和元寶	1054	北宋	SK-133	2.5	22.0			

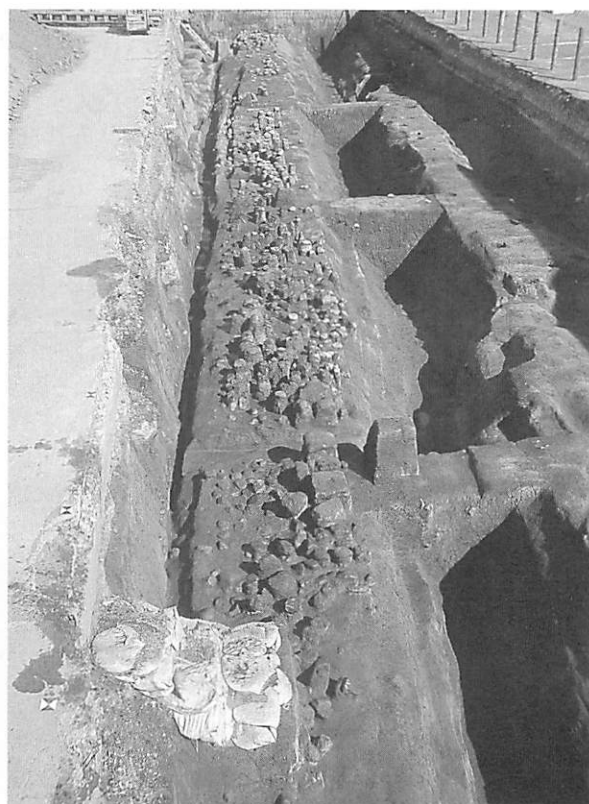
写 真 图 版



中世大友府内町跡第5次調査区全景



SD101・SX102・SD103全景 (1999年度)



SX102撤去後 (1999年度)



SD101・SX102・SD103全景① (2000年度)



SD101・SX102・SD103全景② (2000年度)



SX102撤去後① (2000年度)



SX102撤去後② (2000年度)



SX102検出状況



SX102土層



SD101コーナー遺物出土状況①



SD101コーナー遺物出土状況②



SD428遺物出土状況



SD428・SD429



SD428・SD429土層



SD152



SD152土層



SD425土層



SD425検出



SD425完掘



SD153人骨出土状況



SD411~413検出状況



SD151人骨出土状況①



SD411~413完掘



SD151人骨出土状況②



SD431石塔類出土状況



SD431完掘



SK001



SK026



SK027



SK006



SK012



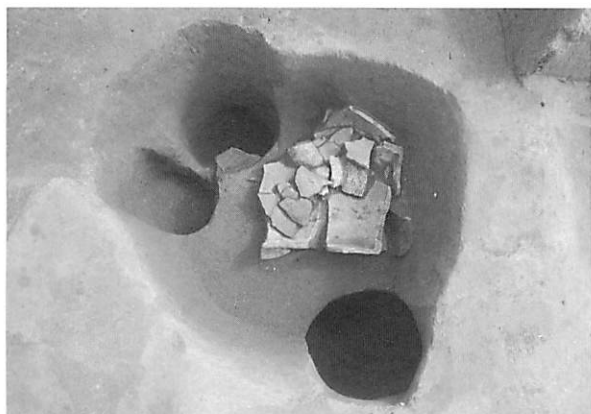
SK012金箔貼り京都系土師器出土状況



SK030



SK024



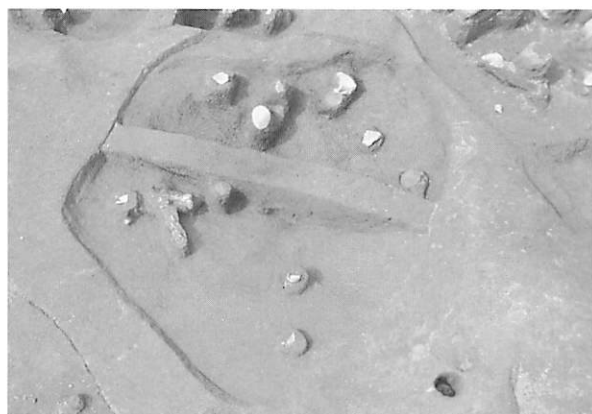
SK028



SK028出土遺物近景



SK035



SK031



SK032



SK049 (礎石廃棄土坑)



SK049礎石近景①



SK049礎石近景②



SK004・SD405



SK002



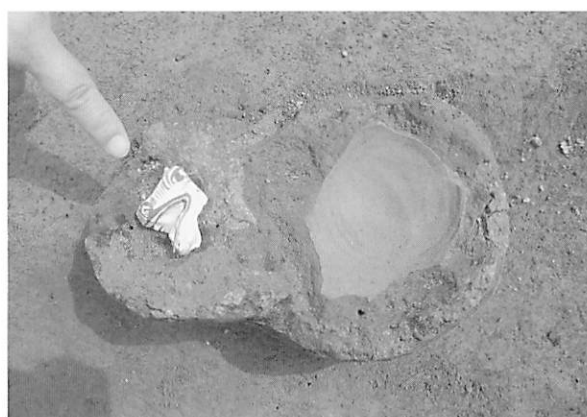
SK003



SK003遺物出土状況



SK053



SK0053遺物(磁州窯系陶器)出土状況



SK034



SK036



SK029



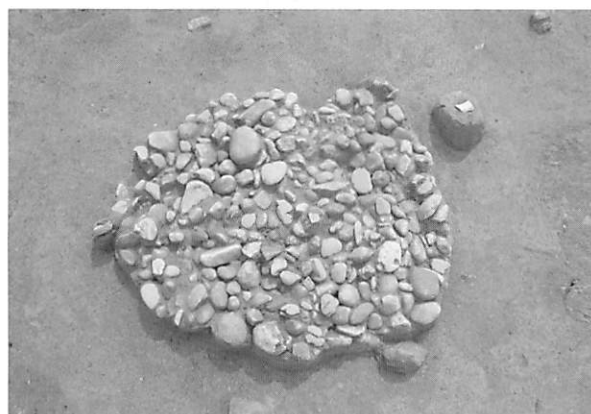
SK025



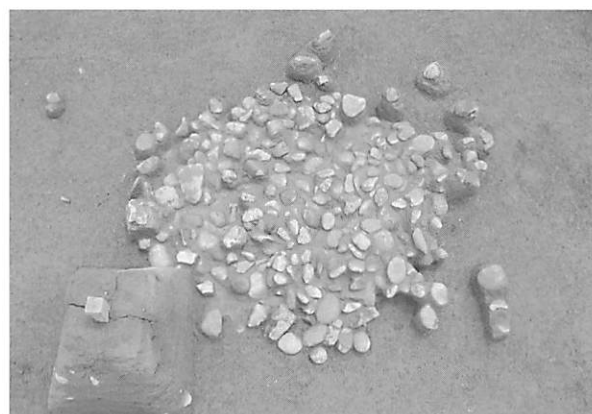
SK038



SK019



SX628



SX629



SX630



SX632



SX635



SX625



SX626



SX638



SX620



SX618



SX617 · SX618①



SX617 · SX618②



SX622



SX634



SX649



SX619



SX645a



SX633



SX627



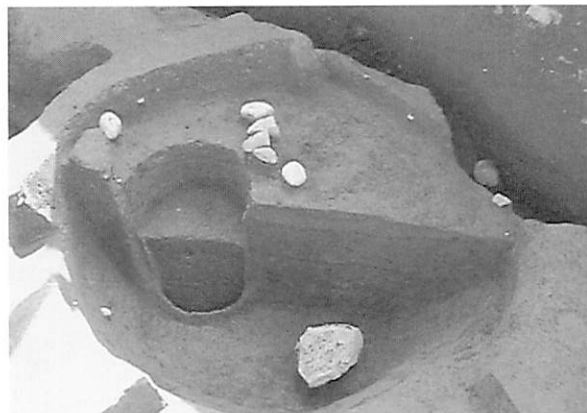
SE500上面



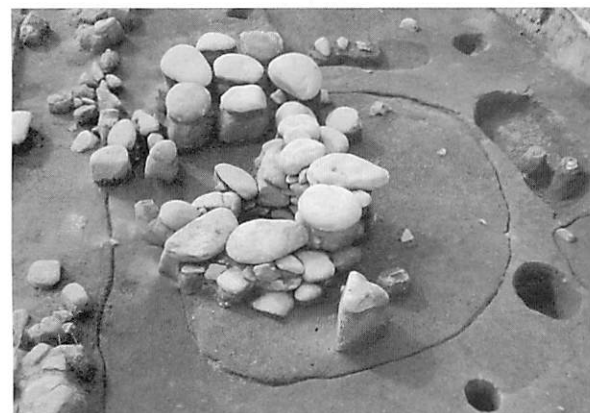
SE500完掘



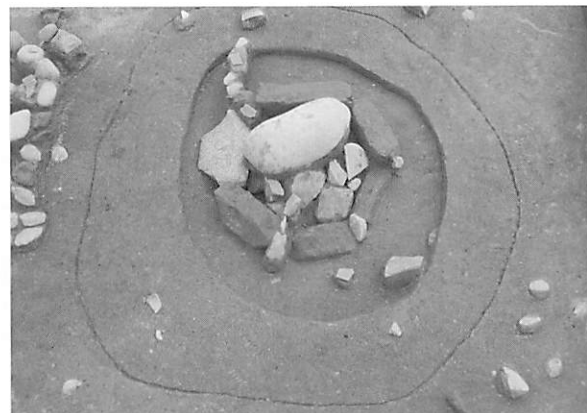
SE501掘り下げ



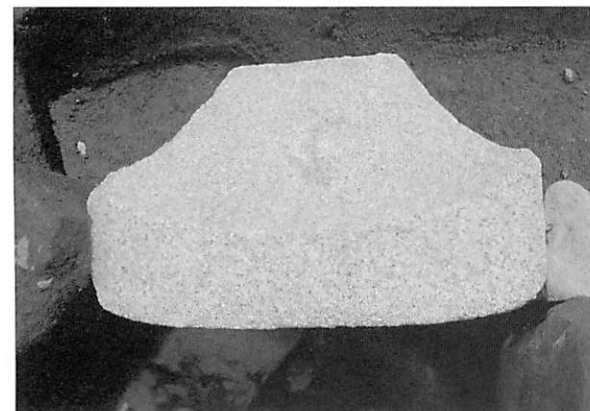
SE500断ち割り



SE502



SE505検出 (上面に大型の礫が覆う)



SE505転用石塔 (近畿・瀬戸内地域からの搬入)



SE505完掘



SE514



SE506土層断面



SE506竹の出土状況



SE506完掘



SE503



SE503結桶出土状況



SE511



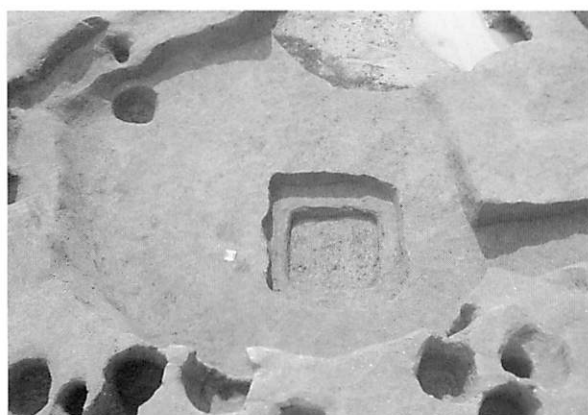
SE504



SE513



SE512



SE510



SE508



SF650 (近世初頭～前葉段階の路面)



SF650 (中世段階の路面)



SF650近景 (中世段階のバラス敷き部分)



SF650断面 (調査区西壁部分)



備前系陶器壺
(第31図9参照)

備前系陶器広口壺
(第31図10参照)

SK028出土
備前系陶器壺
(第96図)

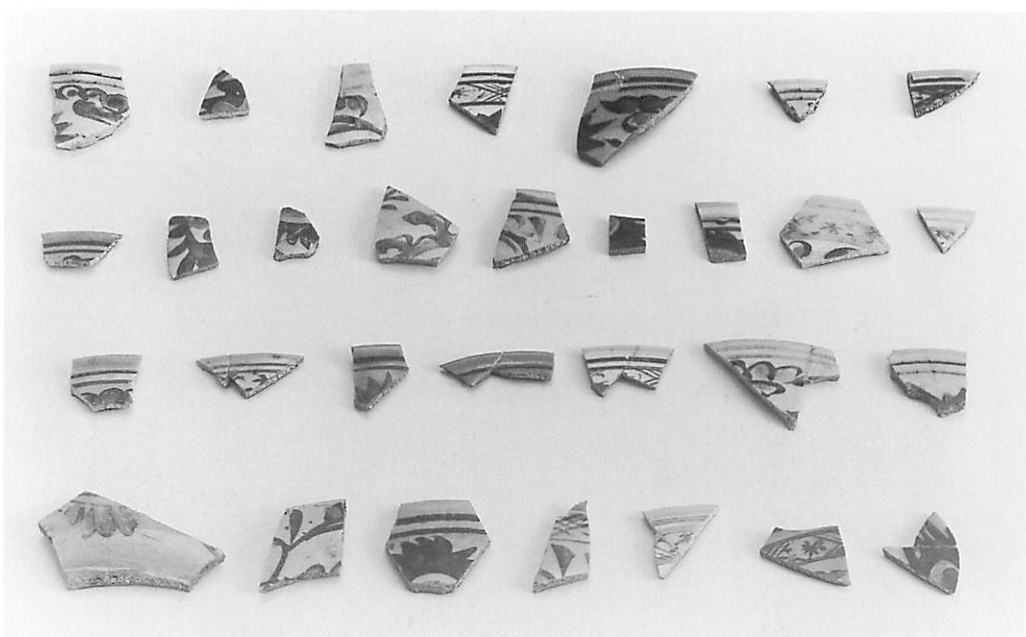
備前系陶器水屋甕
(第227図23参照)

青花瓶
(第29図1参照)

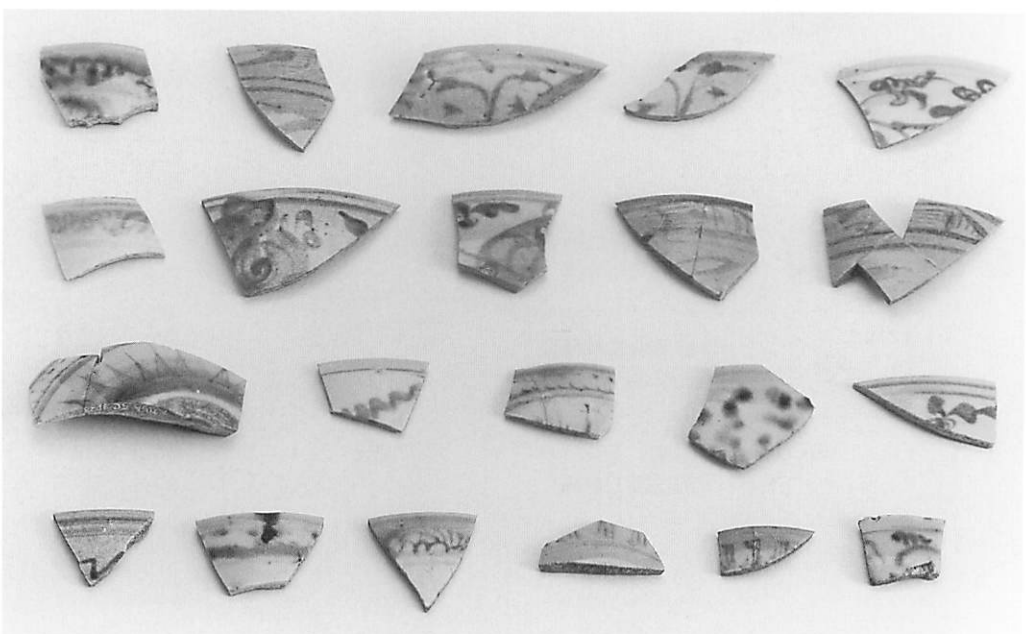




SD428出土
土師質土器
(第43・44図
88~102)



SD428出土五彩
(第42図
1~31)



SD428出土青花
(第42図
32~52)

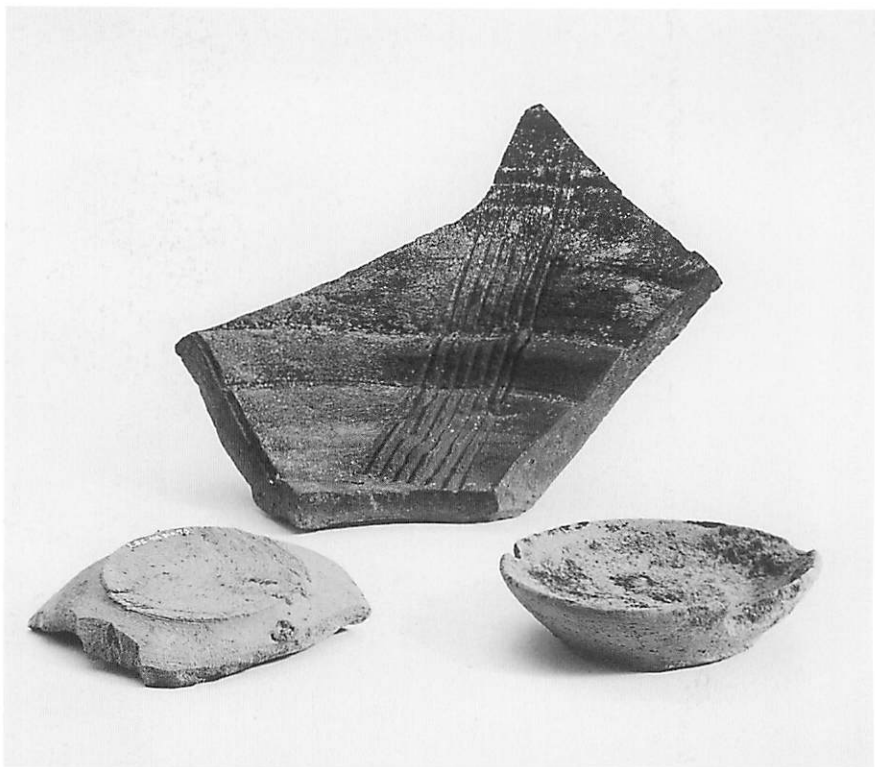


集合写真

京都系土師器	在地系土師質土器 (第53図9参照)
京都系土師器 (第53図18参照)	在地系土師質土器 (第53図16参照)
	在地系土師質土器 (第53図17参照)



SD153第1集中部上層・下層出土土師質土器 (第53図参照)



SD153第1集中部
東側出土遺物
(第53図1～3参照)



SD153第1集中部
最下層出土漆器椀
(第54図19参照)



SD153出土漆器椀
(第56図61参照)



SD411出土遺物
集合写真
(第71図参照)



SD411出土
在地系土師質土器
(第71図1参照)



SD411出土
京都系土師器
(第71図7参照)

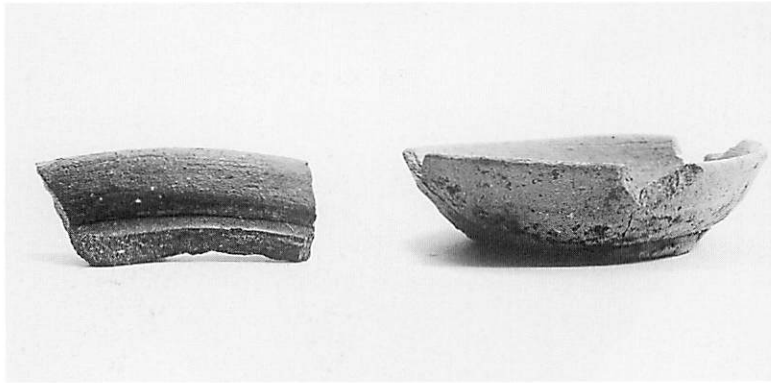




SD151出土白色系土師質土器皿 (第64図76~78参照)



SK013出土遺物 (第120図参照)



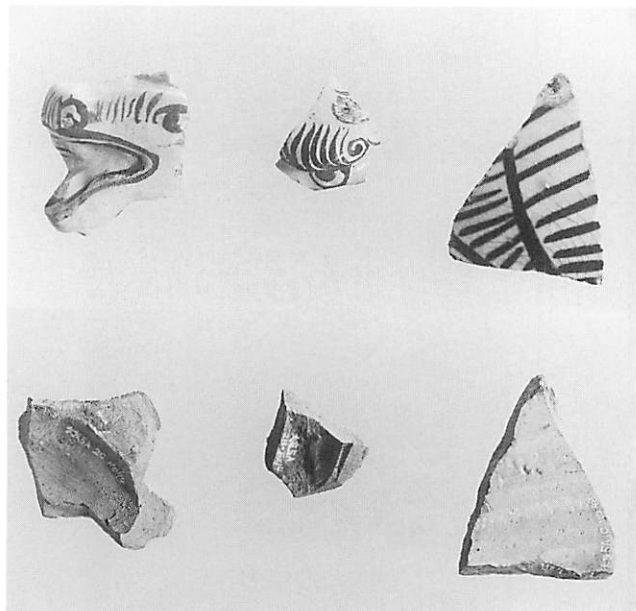
SK009出土遺物 (第129図参照)



SX633出土泥塔 (第180図4参照)



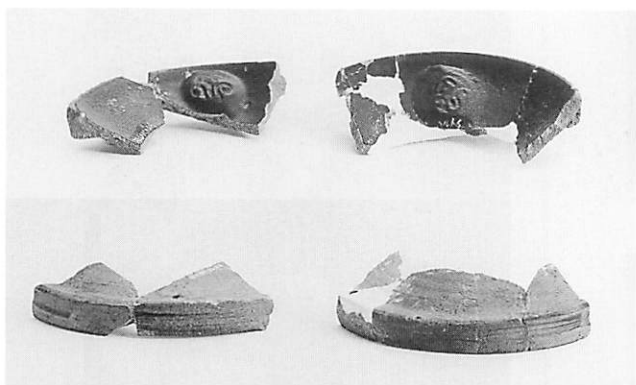
SK019出土遺物 (第140図参照)



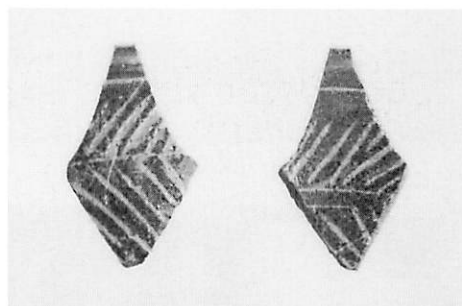
磁州窯系陶器
(第124図1・第220図35・36参照)



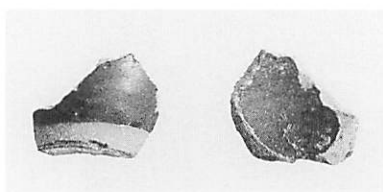
唐津系陶器 (第226図2参照)



黒釉陶器蓋 (第220図39・40)



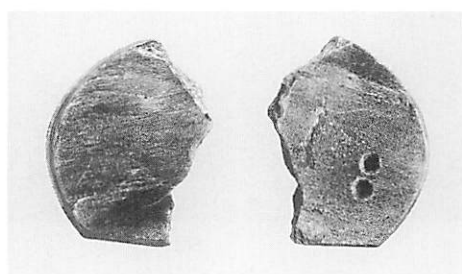
彫三島茶碗 (第225図89参照)



黒釉陶器小壺 (茶入)
(第220図48参照)



用途不明銅製品
(第236図6)



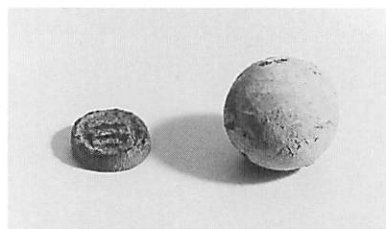
石帯 (丸柄) (第234図18参照)



小銅仏 (第236図1参照)



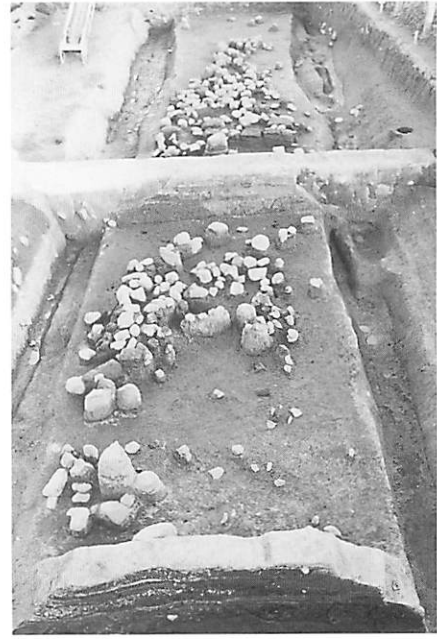
提子把手金具 (第236図2参照)



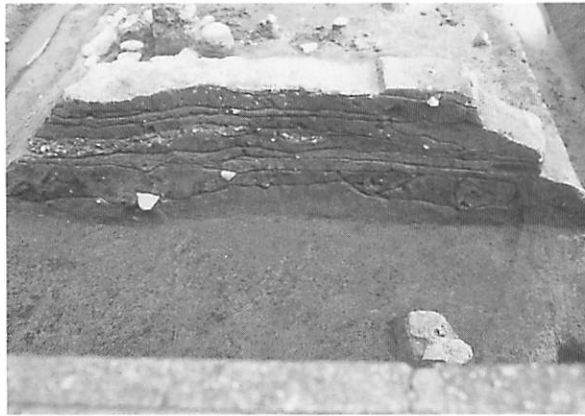
分銅・鉛玉 (第236図14・16参照)



平成12年度調査区



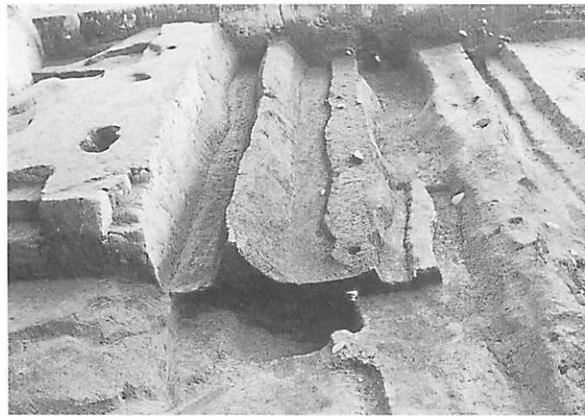
SX102



SX102土層断面



SX102石列



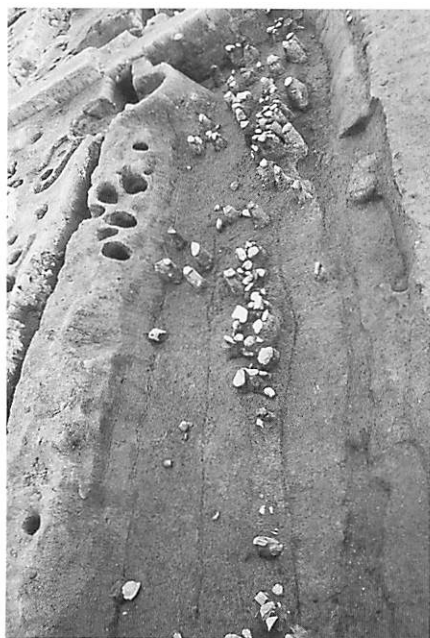
SD151



SD151



SD151土層断面



SD153



SD153



SD153



SD105遺物出土状況



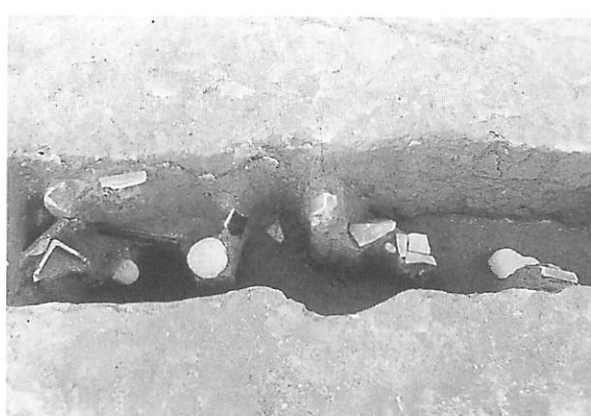
SD105遺物出土状況



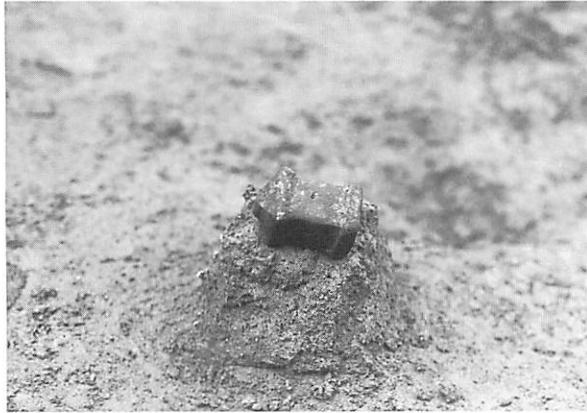
SD114



SD105遺物出土状況



SD105遺物出土状況



SD151泥塔出土状況



SD151人骨出土状況



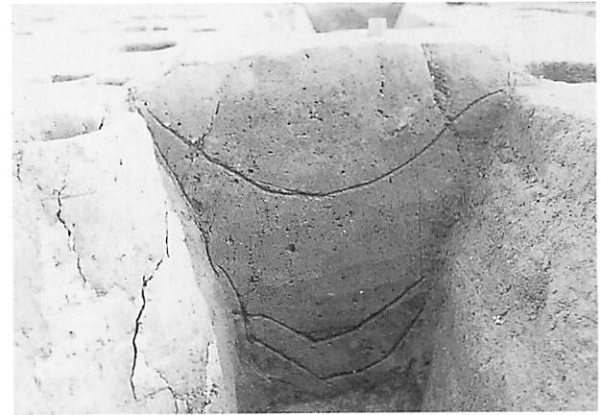
SD105土層断面①



SD105土層断面②



SD123土層断面①



SD123土層断面②



SD145土層断面①



SD145土層断面②



SD145



SD145



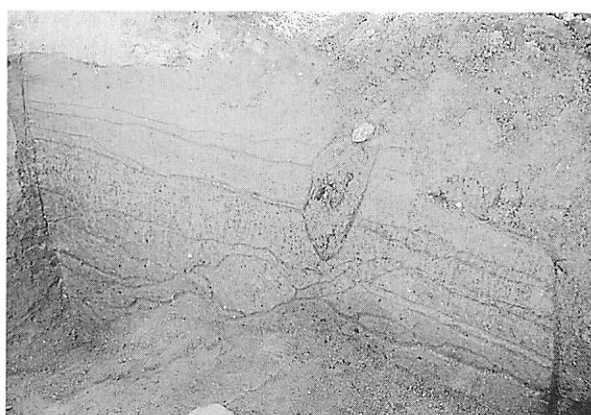
SD145金箔土師器出土状況



SD310



SD310土層断面①



SD310土層断面②



SK127



SK129



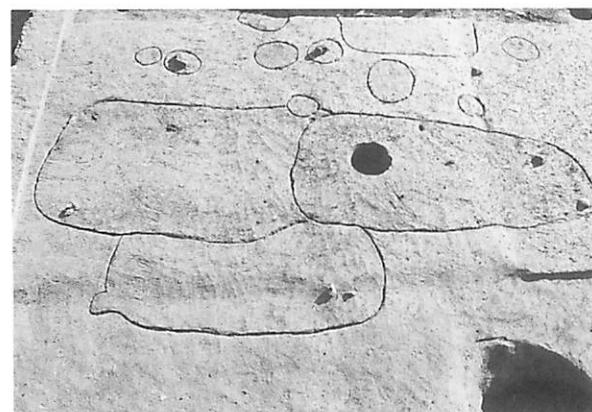
SK202



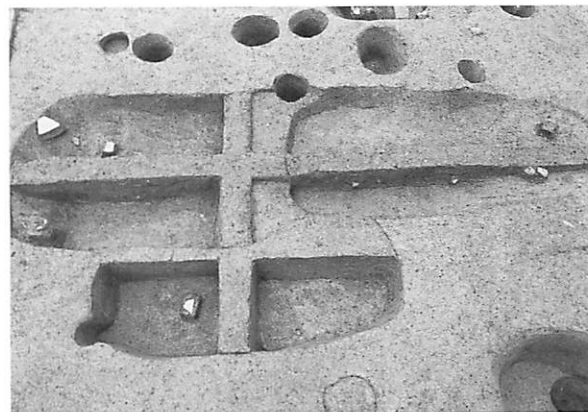
SK106



SK302



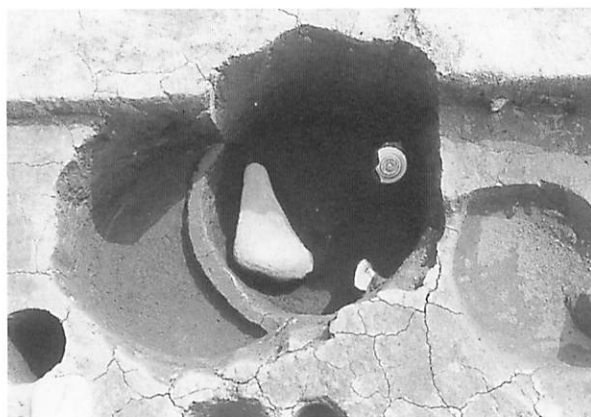
SK214・SK215・SK216検出状況



SK214・SK215・SK216



SK304



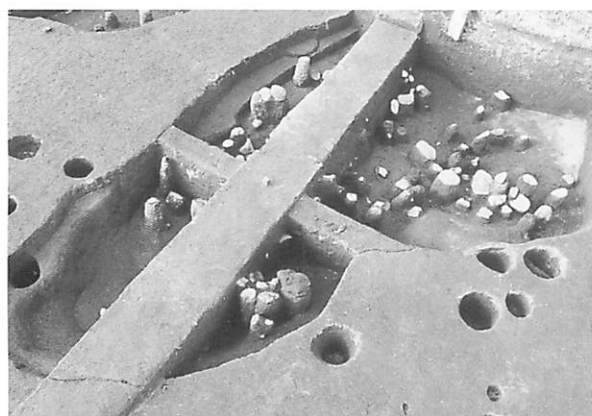
SK229



SK227



SK226



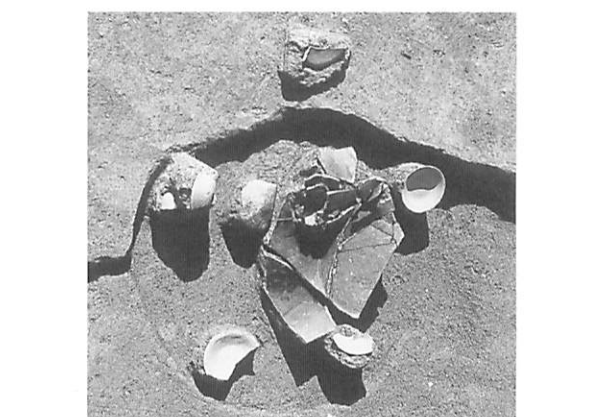
SK222



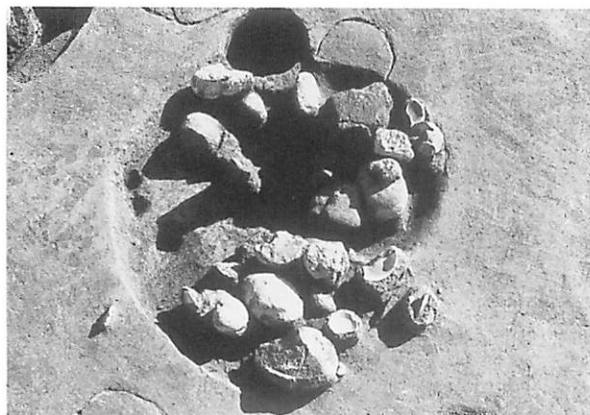
SK306



SK206



SK205



SK204



SK146



SK126



SK125



SK121



SK303



SK245



SK230



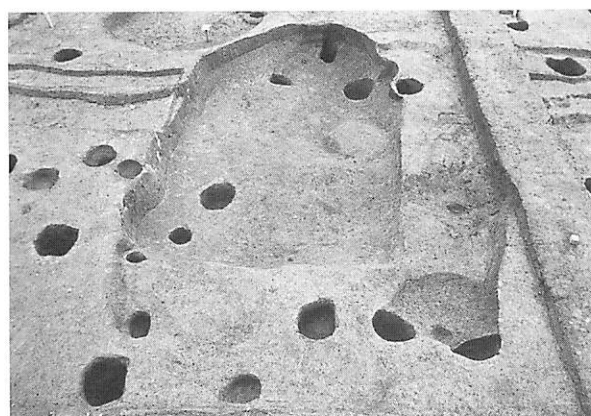
SK150



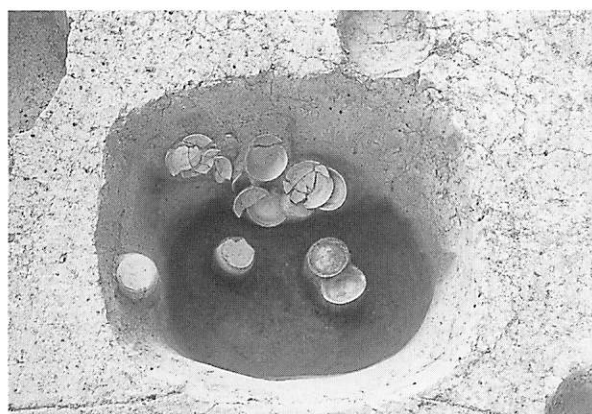
SK217



SK133



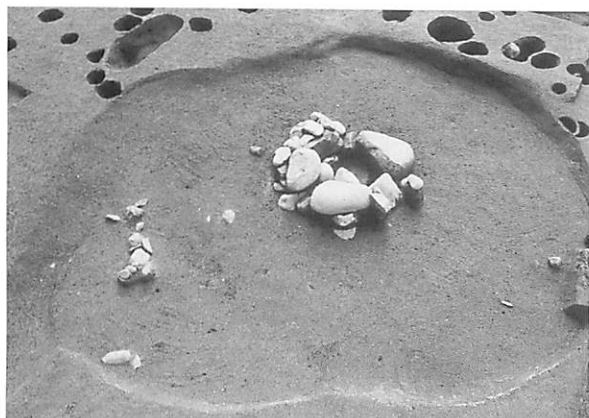
SK133完掘状況



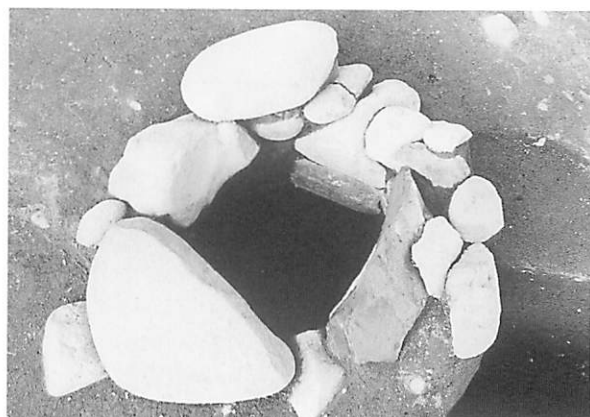
SK236



SK252



SE220



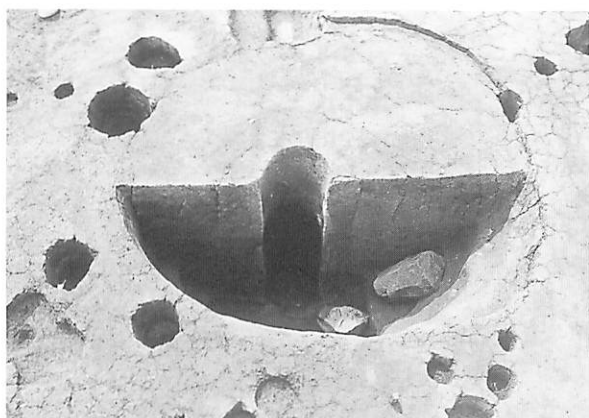
SE220



SE220



SE220



SE221



SE221



SE221



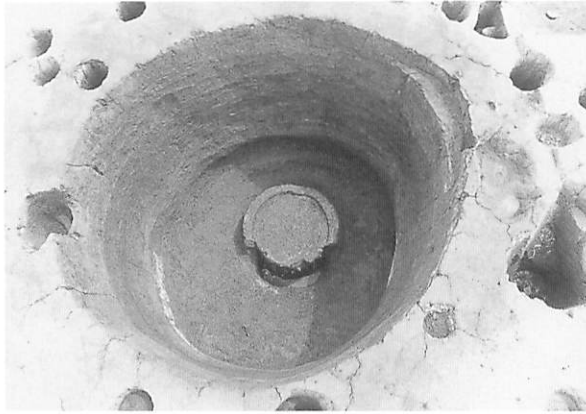
SE221



SE247



SE247



SE248



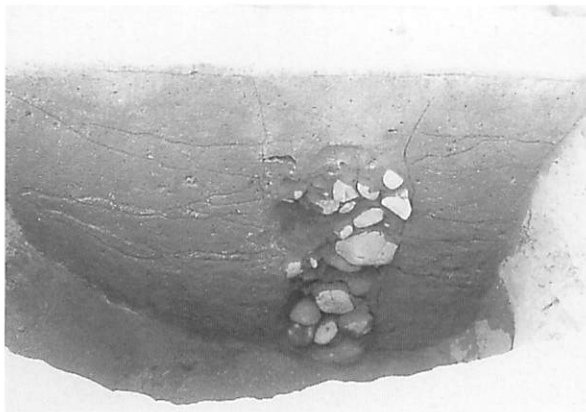
SE248井筒



SE132



SE132井筒



SE203



SE203



SE108



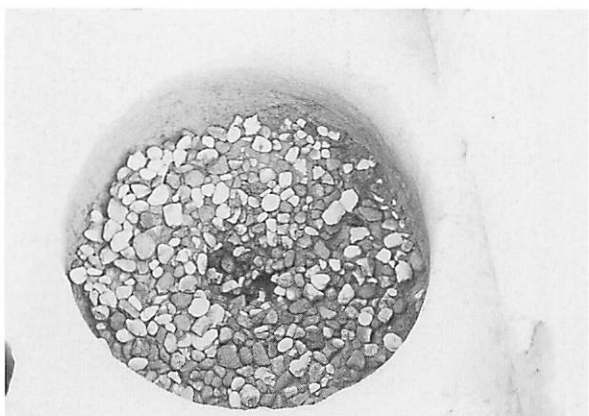
SE108



SE108半截状況



SE108完掘状況



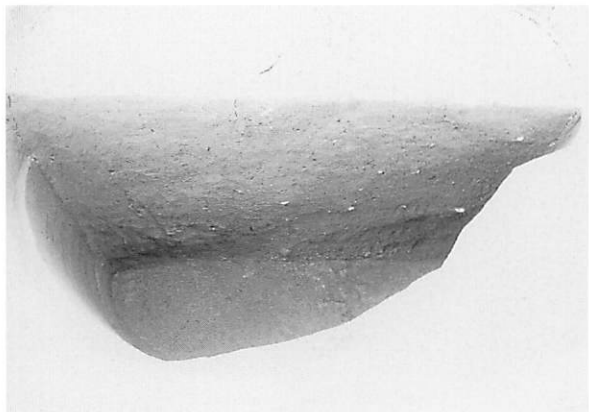
SE119



SE119



SE142



SE228



SE249検出状況



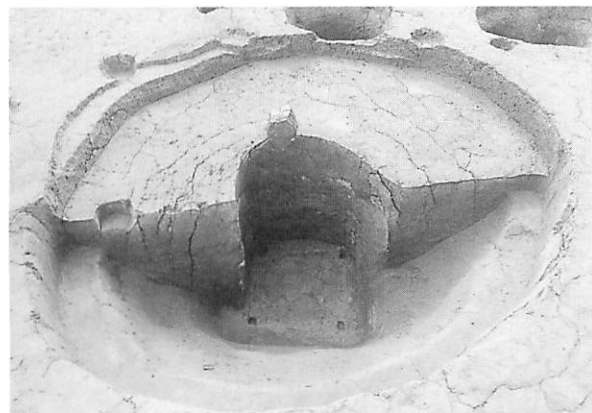
SE249完掘状況



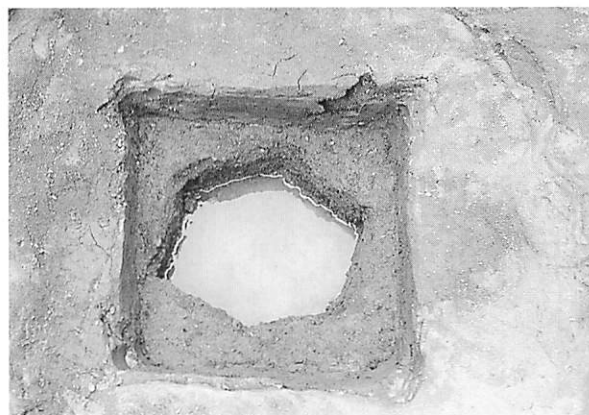
SE259



SE238



SE238



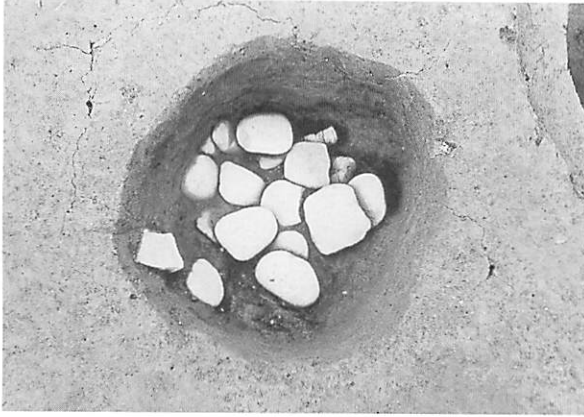
SE238井筒



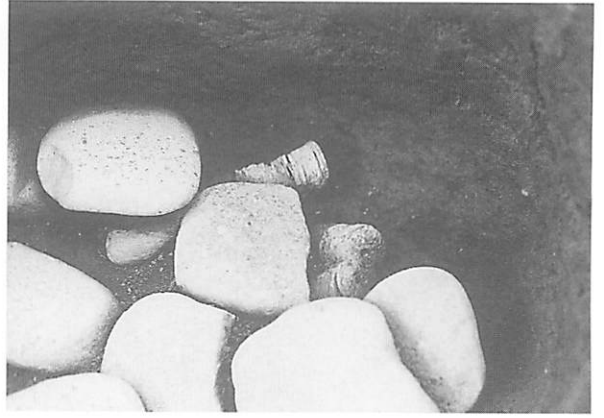
SE238井筒



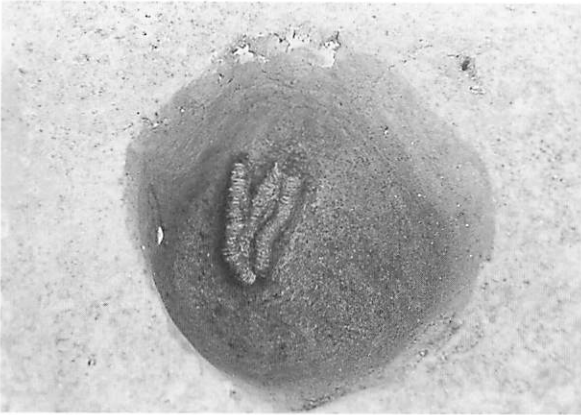
SE238完掘状況



SX270検出状況



SX270



SX270縐銭



SX270縐銭近景



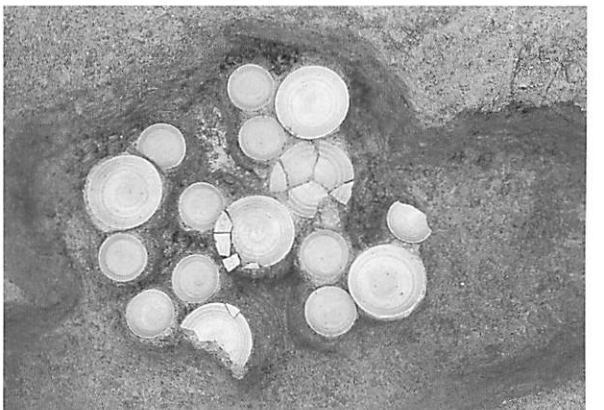
SX253検出状況



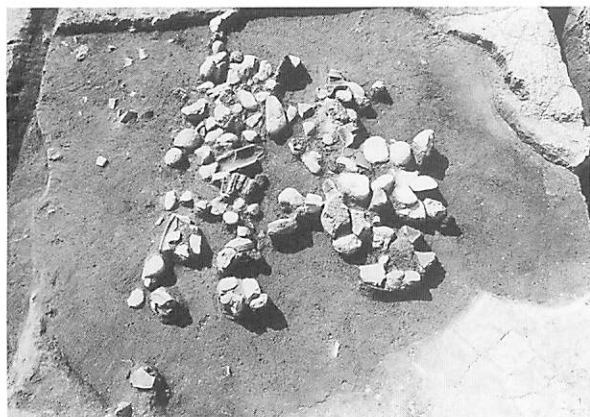
SX253



SX253縐銭



SX134



SX131



SX170



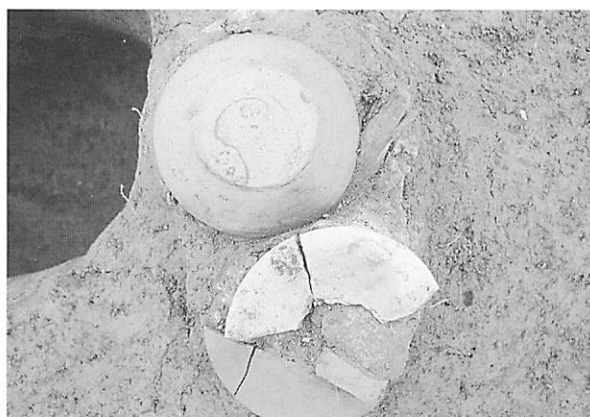
SX143



SX308



SX301



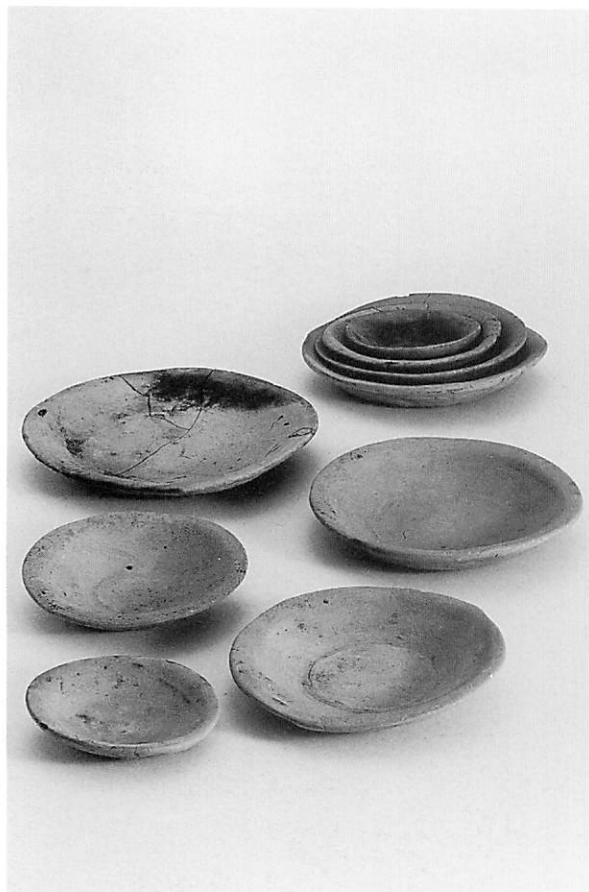
SX301



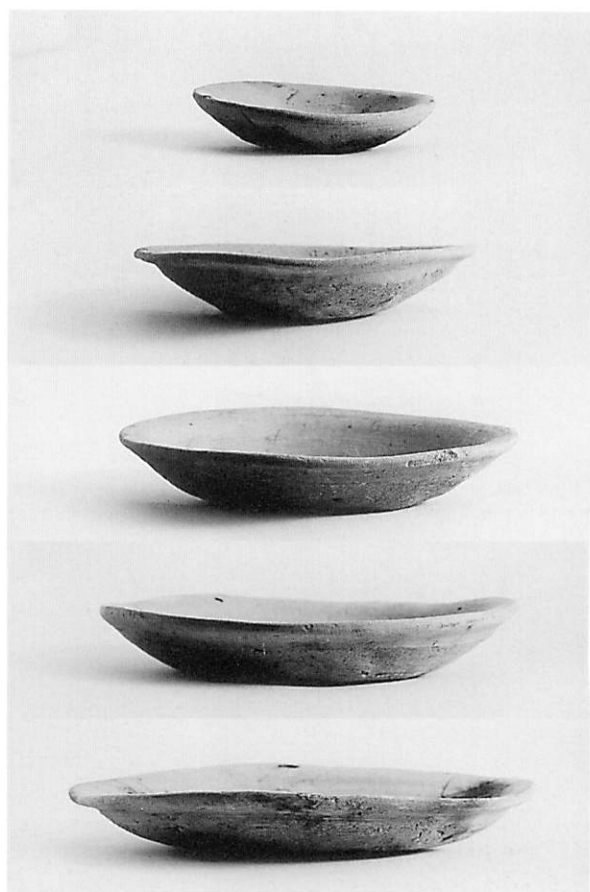
SX258



SX307



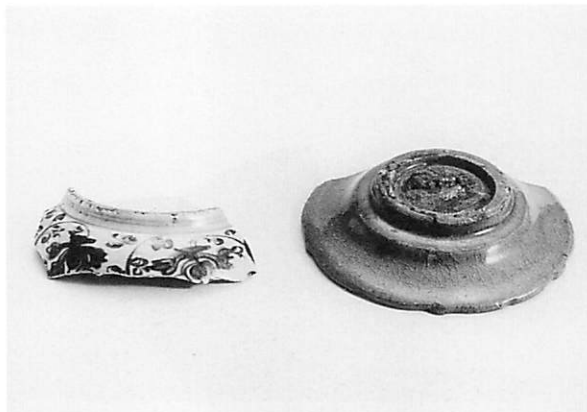
SD105出土京都系土師器① (第270~273図)



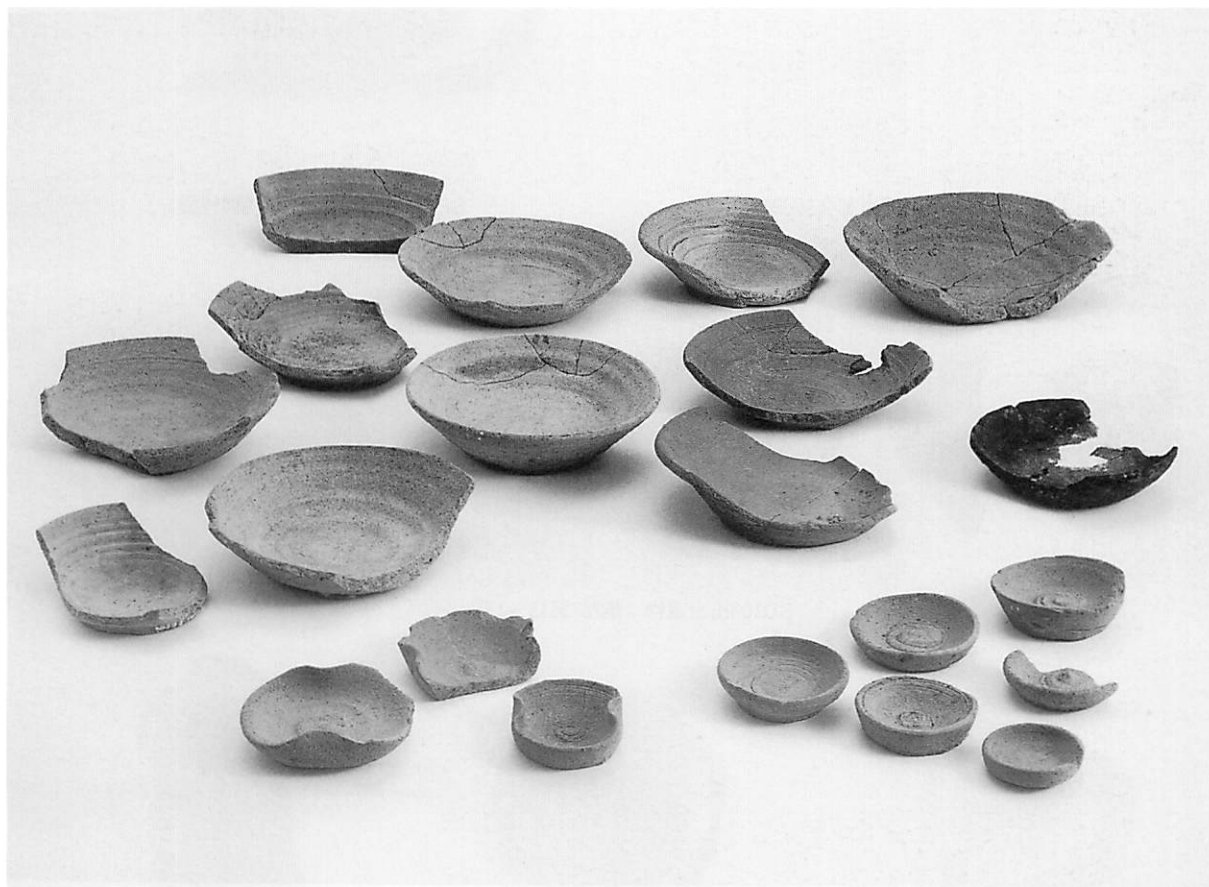
SD105出土京都系土師器② (第270~273図)



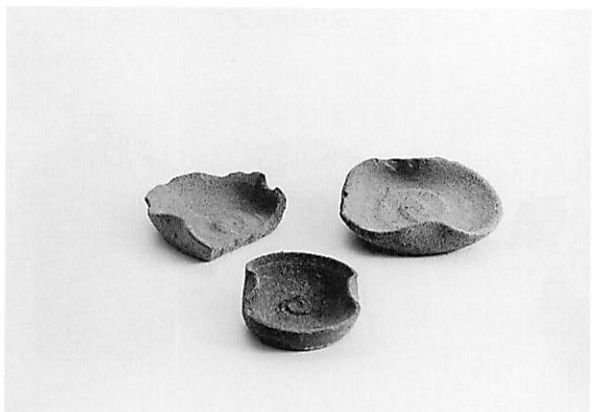
SK106出土京都系土師器 (第318図)



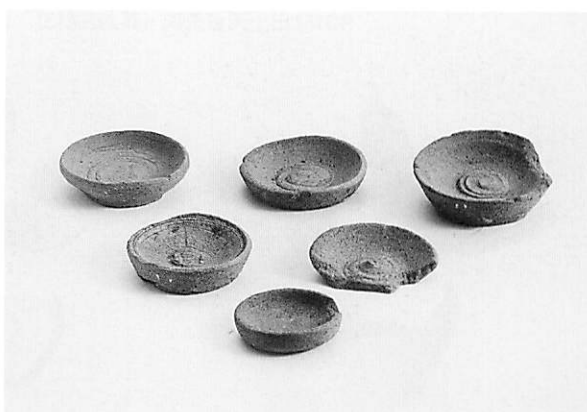
SK229出土遺物 (第334図1・2)



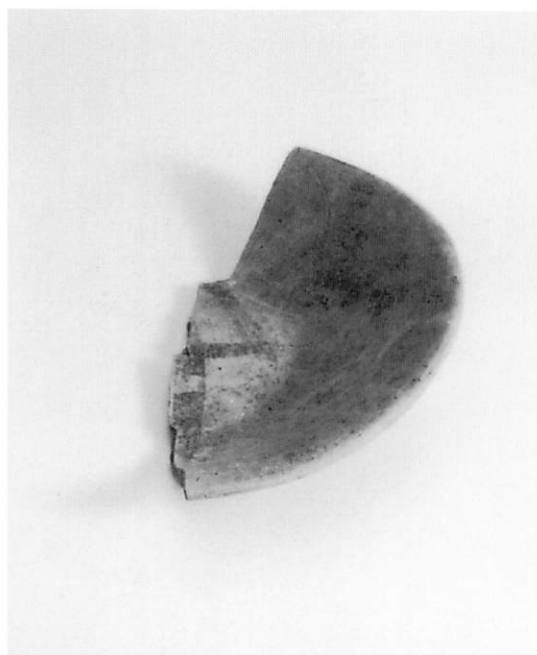
SK230出土遺物① (第380~381図)



SK230出土遺物② (第381図11~13)



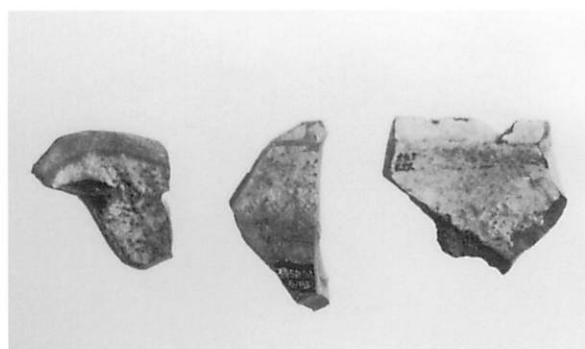
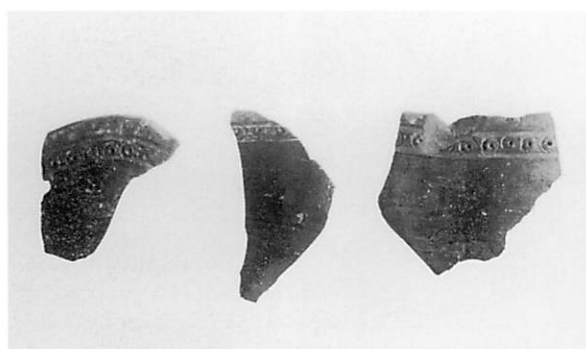
SK230出土遺物③ (第380図)



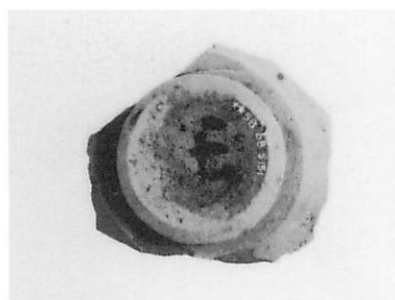
SX113出土墨書京都系土師器 (第453図23)



SE221出土瓦質火鉢 (第417図5)

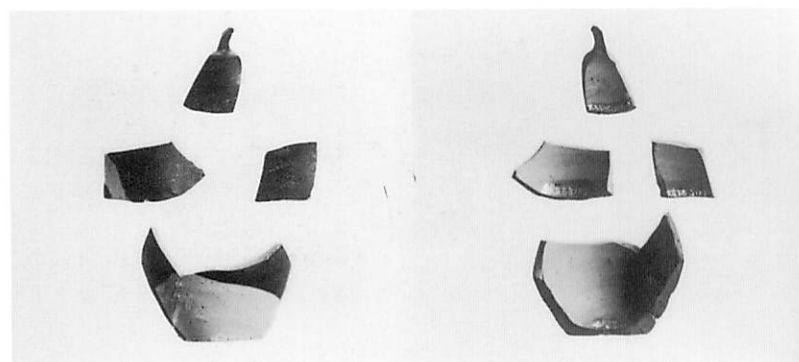


SD103出土遺物 (第267図15~17)



SD151出土天目茶碗 (第292図13)

SD151出土泥塔 (第298図1)

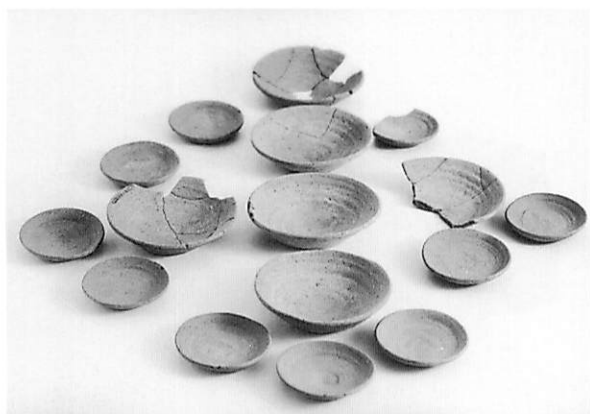


SD123出土遺物 (第288図1)

SX633・SD151出土泥塔 (第180図4・298図1)

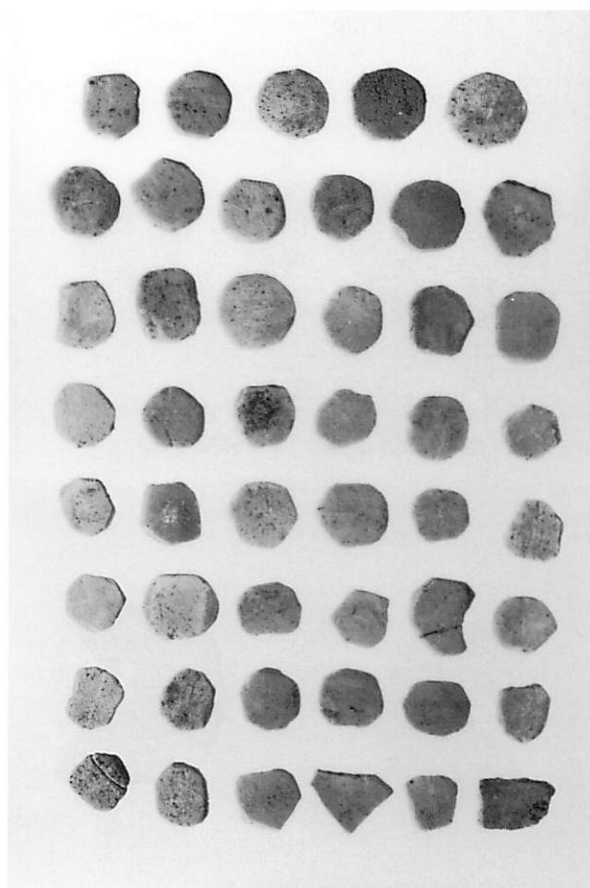


SX143出土遺物 (第465図2)

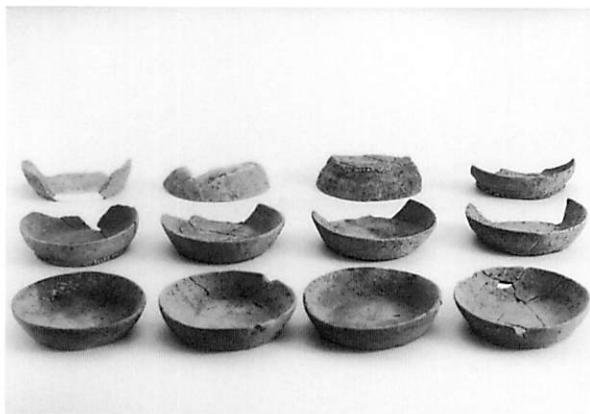


SX134出土遺物 (第445図)

SX301出土遺物 (第449図)

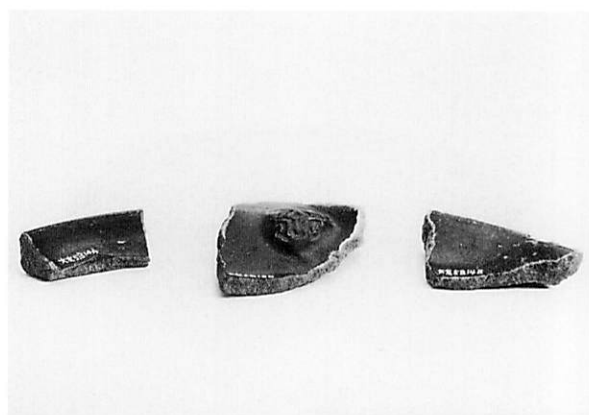
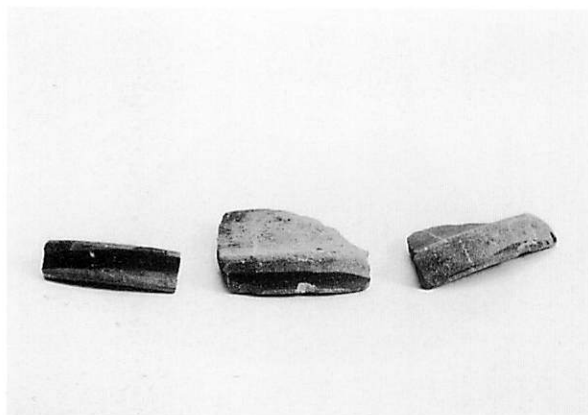


SK252出土遺物 (第404図)

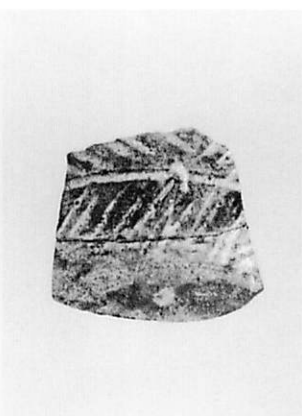
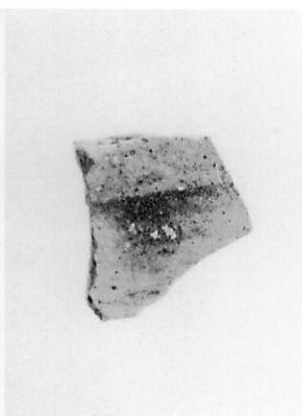
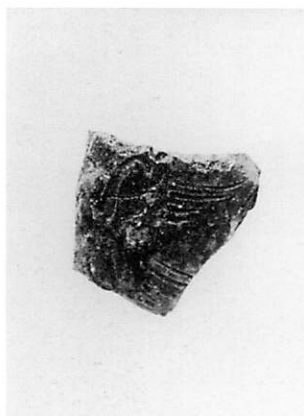


SK236出土遺物 (第406図)

SX170出土遺物 (第447図)

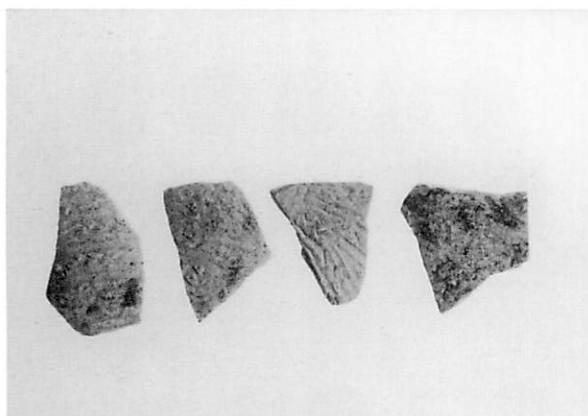


包含層出土遺物① (第476図2~4)



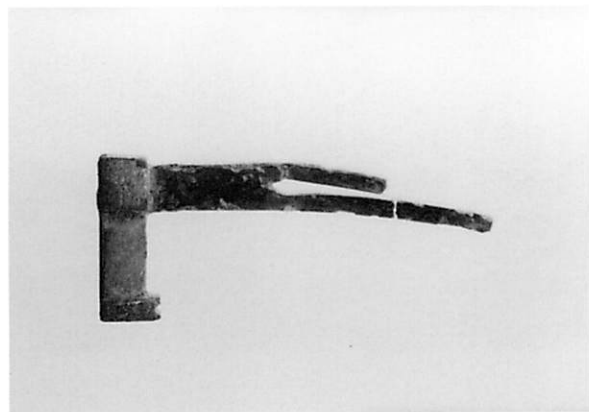
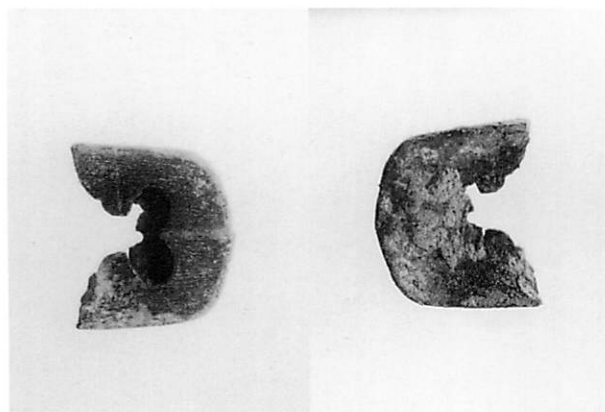
包含層出土遺物② (第476図7)

包含層出土遺物③ (第476図27)



包含層出土遺物④ (第476図22~25)

包含層出土遺物⑤ (第476図26)



包含層出土遺物⑥ (第488図12)

SD103出土遺物 (第269図5)



SD101全景



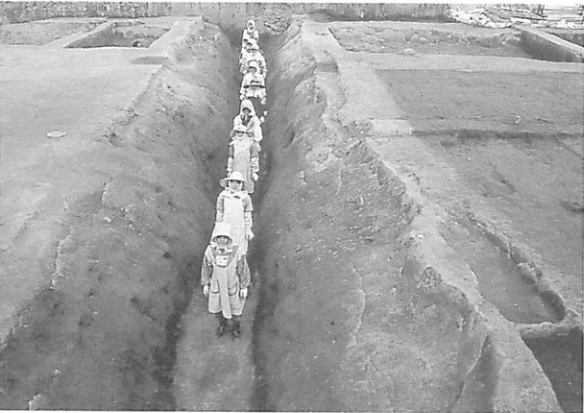
SD101東から



SD101西から



SD102



SD103



SD103南から



SD103北から



SD103埴埴出土状況



SD105東側



SD105西側



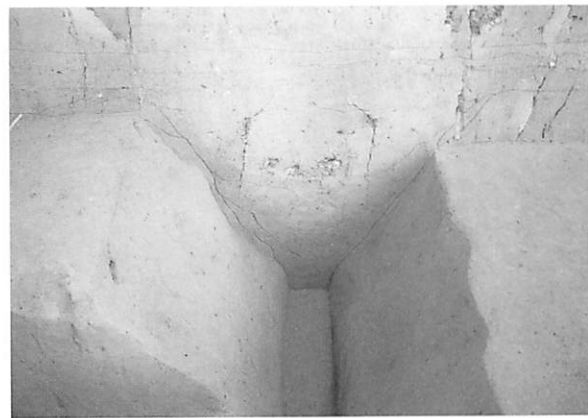
SD106全景



SD106A



SD106B



SD107



SD108



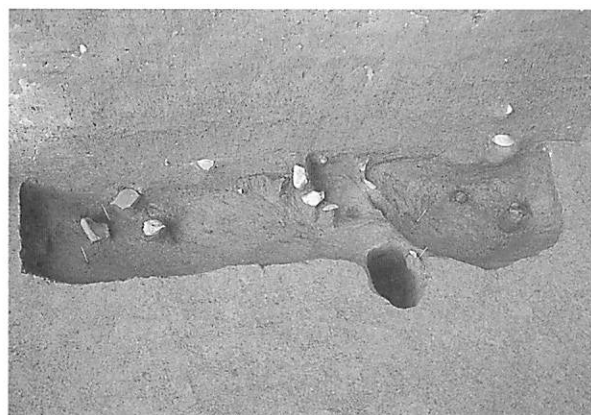
SK101完掘状況



SK102・103遺物出土状況



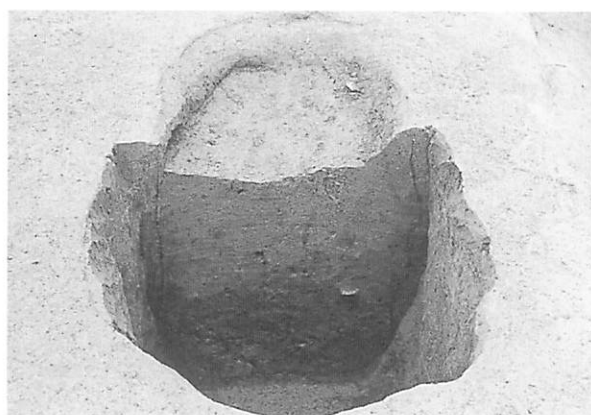
SK102・103完掘状況



SK104・105遺物出土状況



SK105遺物出土状況



SK106



SK107遺物出土状況



SD108土層断面



SK109



SK110遺物出土状況



SD111遺物出土状況



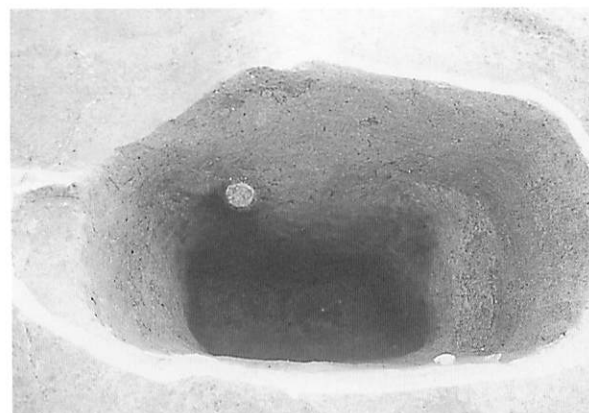
SD111完掘状況



SD112遺物出土状況



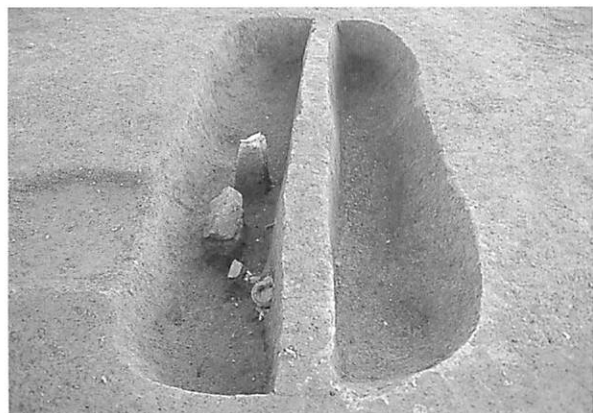
SD112完掘状況



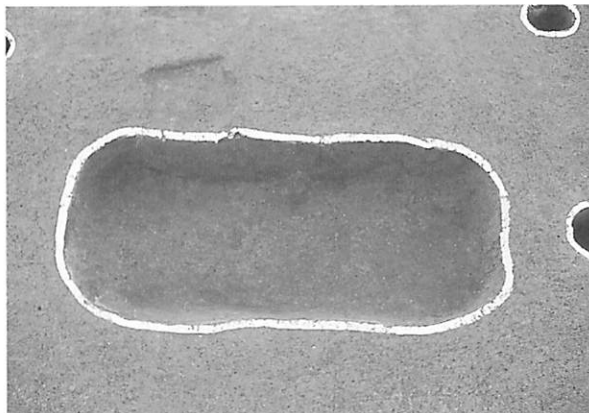
SK113完掘状況



SK114遺物出土状況



SK115遺物出土状況



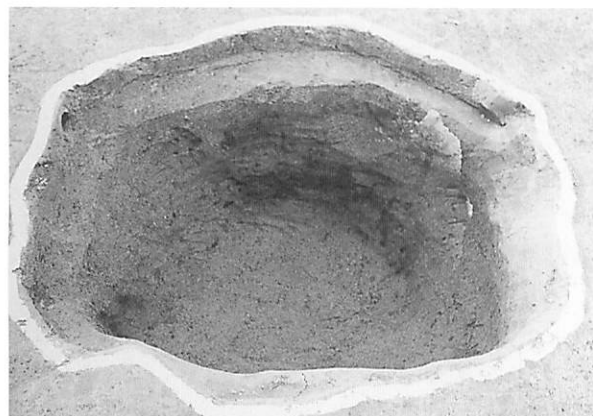
SK115完掘状況



SK116完掘状況



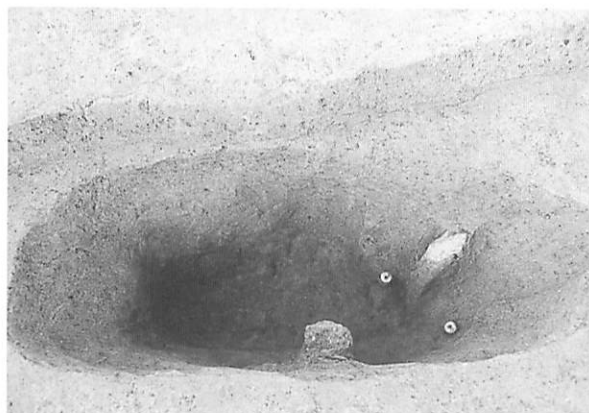
SK117完掘状況



SK118完掘状況



SK120



SK121遺物出土状況



SK122~124遺物出土状況



SK122~124完掘状況



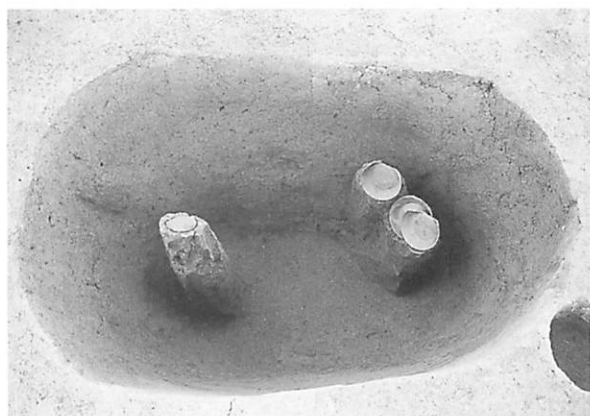
SK125



SK126銭出土状況



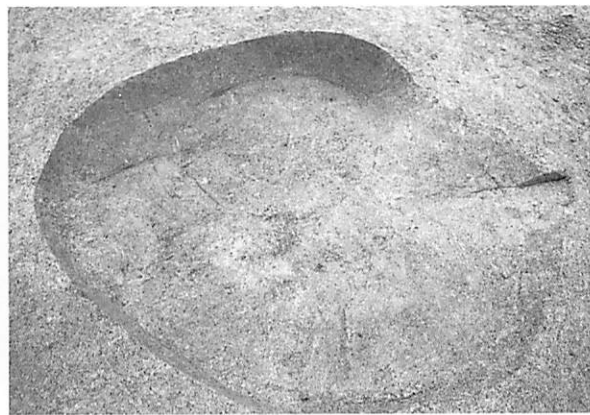
SK126完掘状況



SK127遺物出土状況



SK128遺物出土状況



SK128完掘状況



SK130



SK131



SK132西から



SK133遺物出土状況



SK133完掘状況



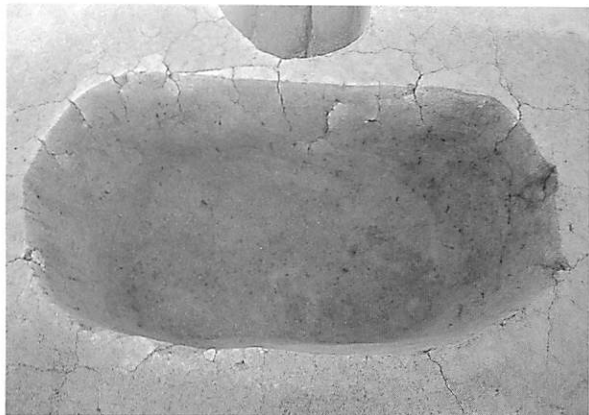
SK134・135・136完掘状況



SK137完掘状況



SK138遺物出土状況



SK138完掘状況



SK139遺物出土状況



SK140遺物出土状況



SK141遺物出土状況



SK142完掘状況



SK143完掘状況



SK144完掘状況



SK145完掘状況



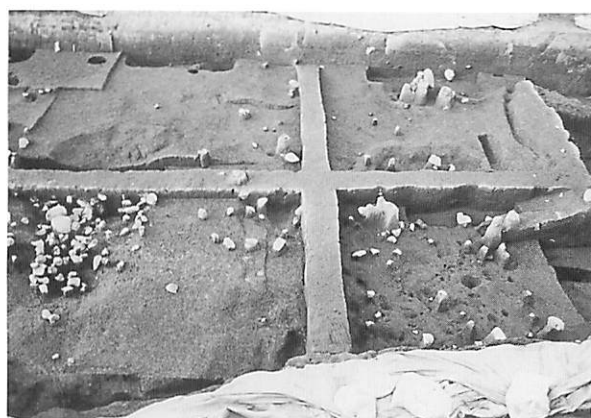
SK146完掘状況



SK147遺物出土状況



SK148完掘状況



東端土坑群



土塁状遺構



SX101



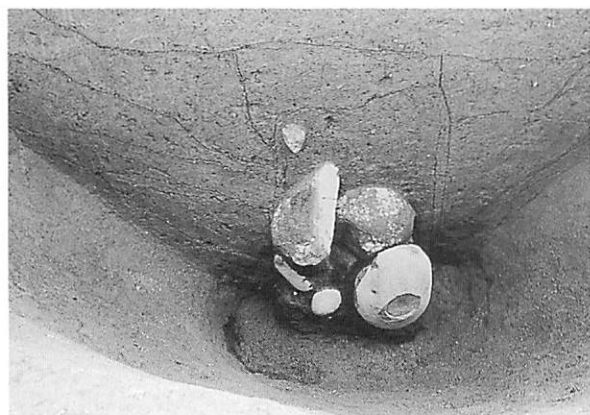
SX103



SE101



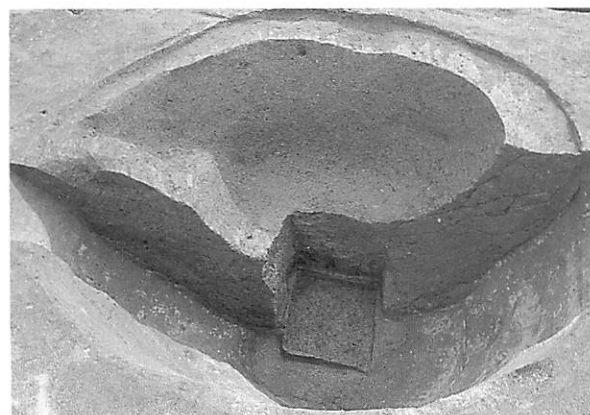
SE101完掘状況



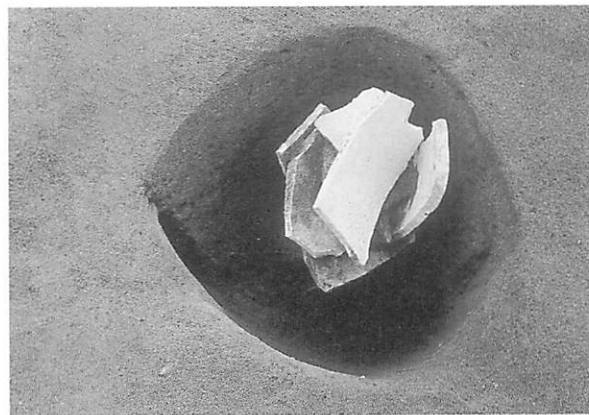
SE102



SE102



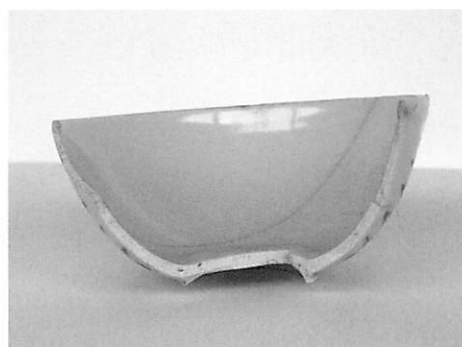
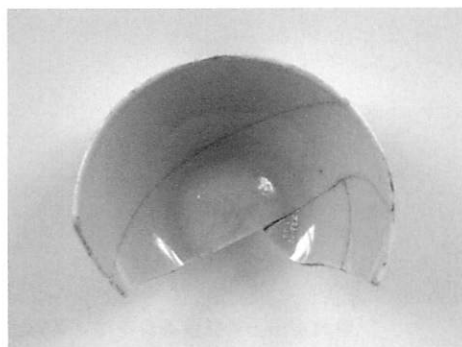
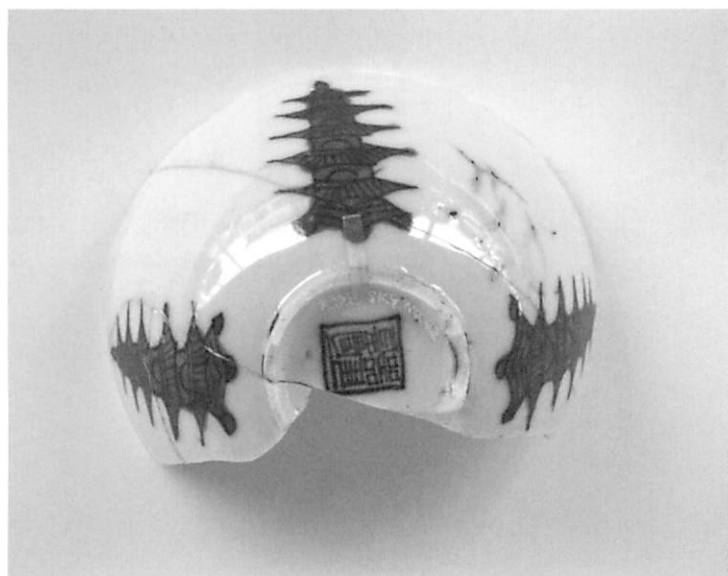
SE102全景



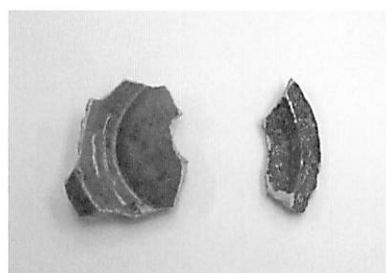
SP100遺物出土状況



作業風景



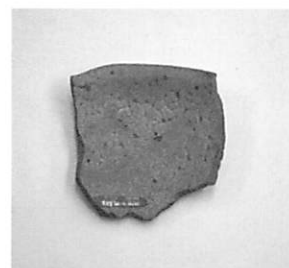
SK110出土景德鎮系青花碗 (第553図)



中国産翡翠釉小皿 (第509図)



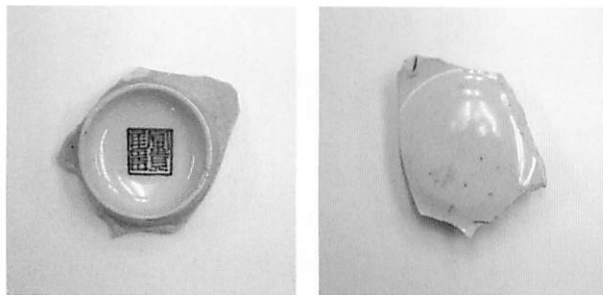
SD103出土中国産青磁皿 (第509図)



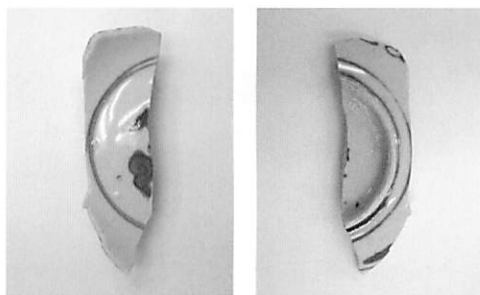
上 SK109出土天目茶碗 (第551図)



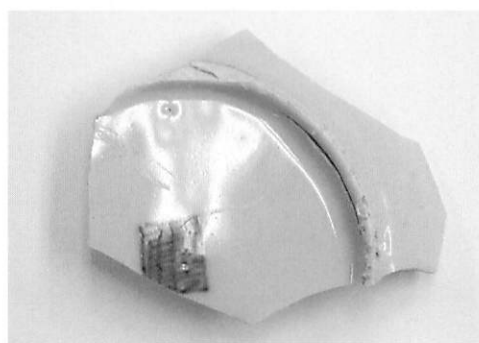
左 東端土坑群出土 志戸呂焼天目茶碗 (第628図)



整地層出土景德鎮系青花碗 (第630図)



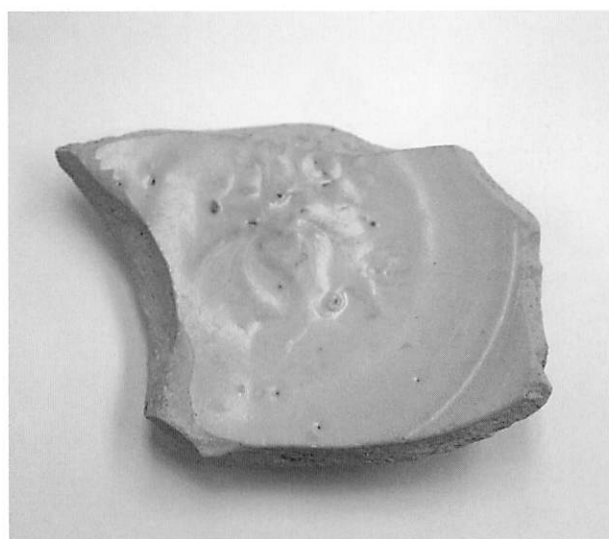
SD103出土景德鎮系青花皿 (第509図)



一括出土景德鎮窯系青花皿 (第656図)



SD103出土彰州窯系青花皿 (第509図)



SD101出土中国産白磁皿 (第524図)



SD106A 出土粉青砂器 (第536図)



整地層出土備前系徳利 (第624図)



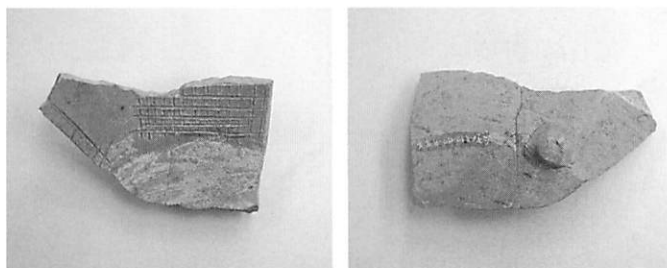
SK110出土中国産褐色釉陶器 (第553図)



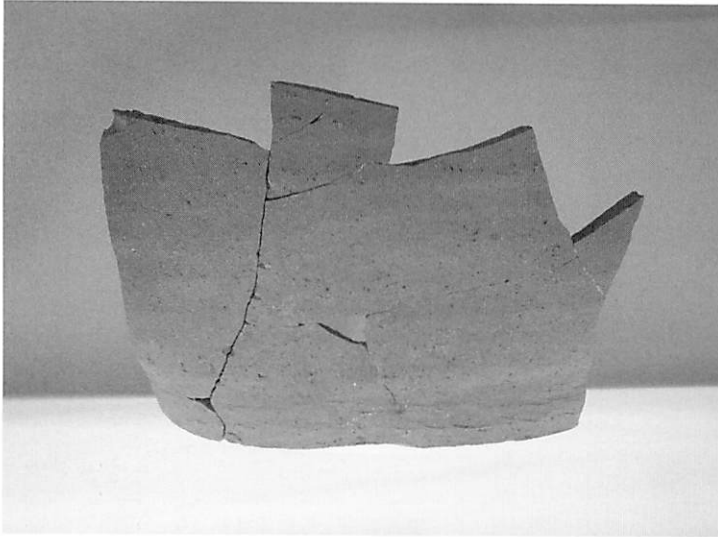
SD103出土朝鮮産陶器椀 (第509図)



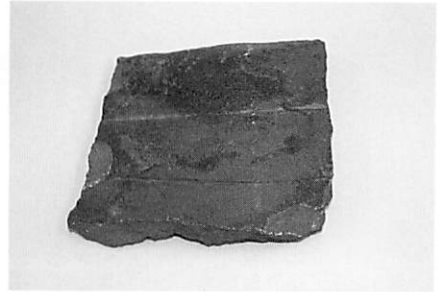
SE101出土瀬戸美濃系深皿 (第655図)



SD101出土瀬戸美濃系卸皿 (第524図)



SP100出土備前系焼締陶器大甕 (第646図)



SD103出土備前系焼締陶器甕 (第512図)



SD101出土備前系
焼締陶器注口部
(第524図)



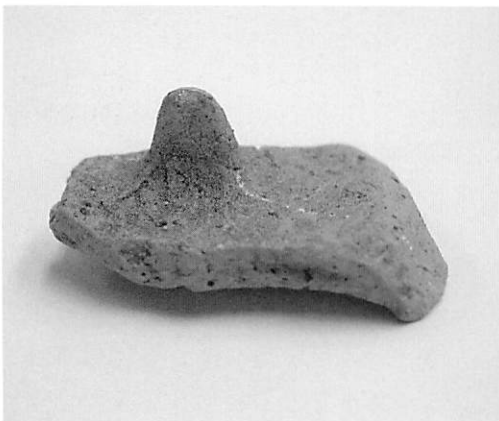
整地層出土タイ産焼締陶器
(第523図)



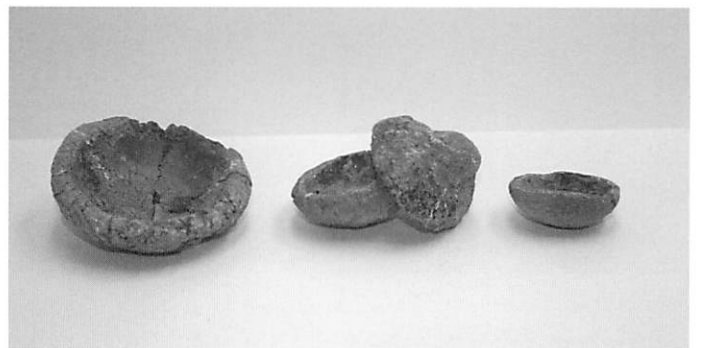
SD101出土瓦質土器火鉢脚 (第527図)



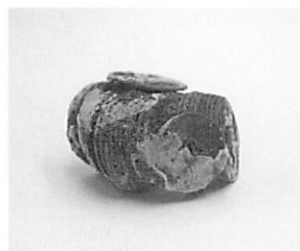
SD101出土瓦質土器火鉢脚 (第527図)



土師質土器小皿蓋 (第656図)



SD103出土埴塼 三法量 (第521図)



SD108出土銅銭
(第523図)

報 告 書 抄 録

ふりがな	ぶんごふない1 ちゅうせいおおともふないまちあとだい5じ・だい8じちようさく
書名	豊後府内1 中世大友府内町跡第5次・第8次調査区
副書名	大分駅付近連続立体交差事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	(2)
シリーズ名	大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第1集
編著者名	坂本嘉弘・吉田寛・槇島隆二・甲斐寿義・石川健・田中良之・山田拓伸
編集機関	大分県教育庁埋蔵文化財センター
所在地	〒870-1113 大分市中判田1977
発行年月日	西暦2005年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 。'。"	東経 。'。"	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ちゅうせいおおとも 中世大友 ふないまちあと 府内町跡 第5次調査	おおいたしろくほうぎなまち 大分市六坊北町	322	051	33° 13' 32"	131° 37' 08"	1999年 9月 ～ 2001年 12月	4,200	大分駅 周辺連続 立体交差 事業
ちゅうせいおおとも 中世大友 ふないまちあと 府内町跡 第8次調査	おおいたしもとまち 大分市元町	322	051	33° 13' 32"	131° 37' 13"	2000年 4月 ～ 2001年 3月	2,000	大分駅 周辺連続 立体交差 事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
中世大友 府内町跡 第5次調査	中世都市	中世	柱穴群・溝・道路 ・土坑・井戸	金箔貼り京都系土師器・華 南三彩・小銅仏・分銅	林小路町関連の遺構 ・御蔵場北端の区画 遺構(?)を検出
中世大友 府内町跡 第8次調査	中世都市	中世	溝・井戸・土坑・ 土塁状遺構	コンタ(ガラス玉)・地藏 菩薩像	大友氏館跡と御蔵場 の間の空閑地(?)

要 約	<p>大友府内町跡第5次調査では柱穴群・溝・道路・土坑・井戸など、「林小路町」関連の遺構や「御蔵場」北端の区画(?)と考えられる遺構を検出した。中世大友府内町跡第8次調査では大友氏館跡と御蔵場の間の空閑地と推定される地点の調査であったが、大規模な堀状の遺構や土塁状遺構を検出し、その性格の解明が今後の課題となった。</p>
-----	---

豊後府内 1

中世大友府内町跡第 5 次・第 8 次調査区

大分駅付近連続立体交差事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（2）

大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書 第 1 集

平成17年 3 月31日

編集・発行 大分県教育庁埋蔵文化財センター
〒870-1113
大分市字中判田字ビワノ門1977番地
TEL (097) 597-5675

印 刷 佐伯印刷株式会社
〒870-0844
大分市古国府1155-1
TEL (097) 543-1211



5次調査A区

D

C

B

A

(X = 25592.899m)
X = 25220m

(Y = 57398.840m)
Y = 57620m

(Y = 57418.840m)
Y = 57640m

(Y = 57438.840m)
Y = 57660m

(Y = 57458.840m)
Y = 57680m

(X = 25572.899m)
X = 25200m

(X = 25552.899m) X = 25180m

98 99 0 1 2 3 4 5 6

SD426

SD424

SD420

SD414

SD415

SD428

SD409

SD103

SD103

SX102

SX102

SD101

SD101

(Y= 57478.840m)
Y= 57700m

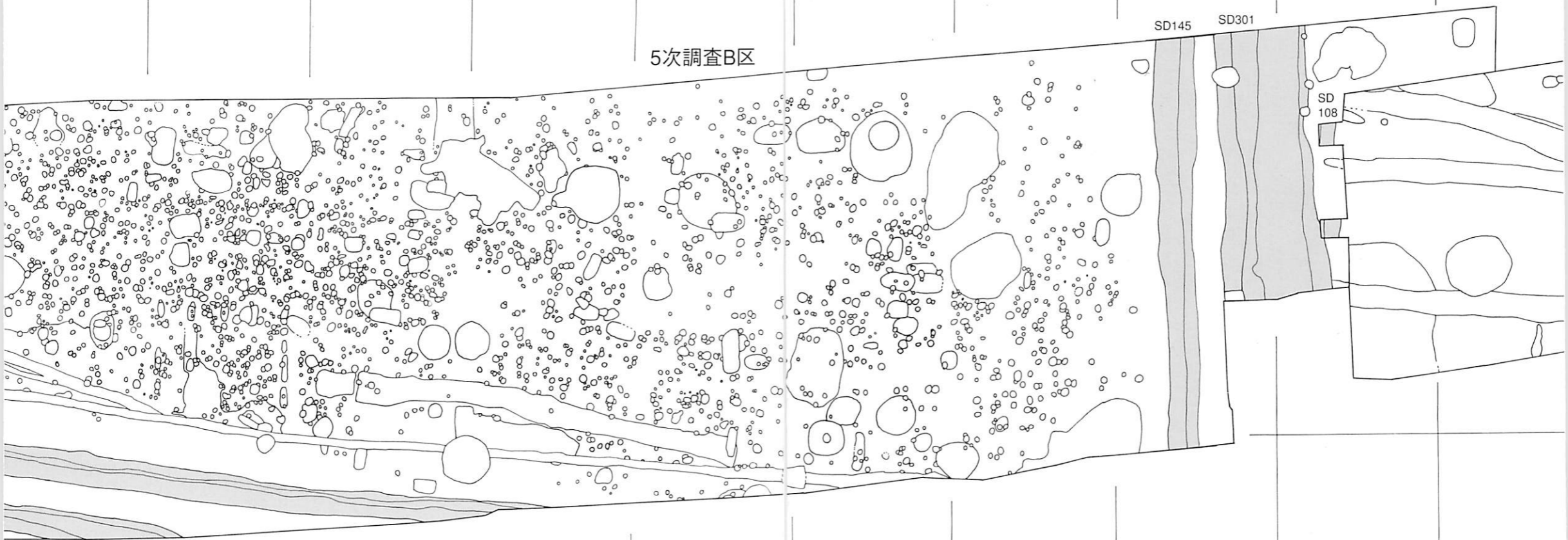
(Y= 57498.840m)
Y= 57720m

(Y= 57518.840m)
Y= 57740m

(Y= 57538.840m)
Y= 57760m

(Y= 57558.840m)
Y= 57780m

5次調査B区



7

8

9

10

11

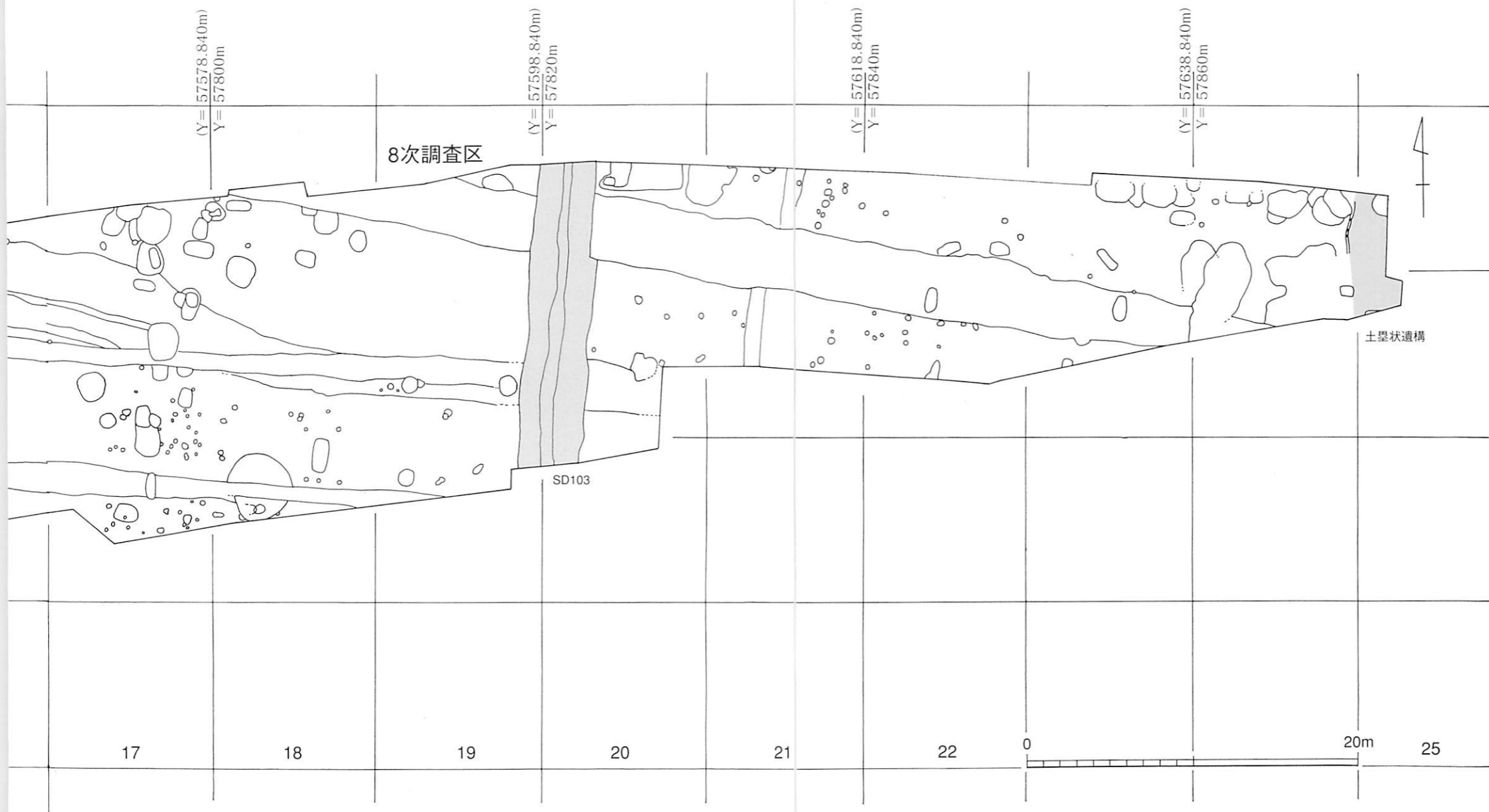
12

13

14

15

16



付図 中世大友府内町跡第5次・第8次調査区遺構配置図 (1/300)
 (網掛けは16世紀後葉～末葉の溝および土塁状遺構)